

《 別 添 資 料 集 》

1. 岩盤調査坑(切羽の状況)
2. 岩盤調査坑(研磨面, 薄片観察)
3. 岩盤調査坑(CT画像解析)
4. 条線観察結果
5. シーム付近のコア写真及びBHTV画像一覧
6. 既往調査結果
7. 福浦断層受堤北方周辺での調査結果
8. 陸上ボーリング(高浜地区), 海上ボーリング調査結果
9. 敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線高度調査結果

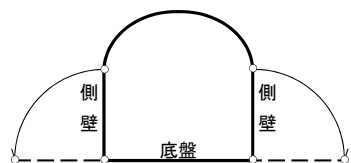


# 1. 岩盤調査坑(切羽の状況)

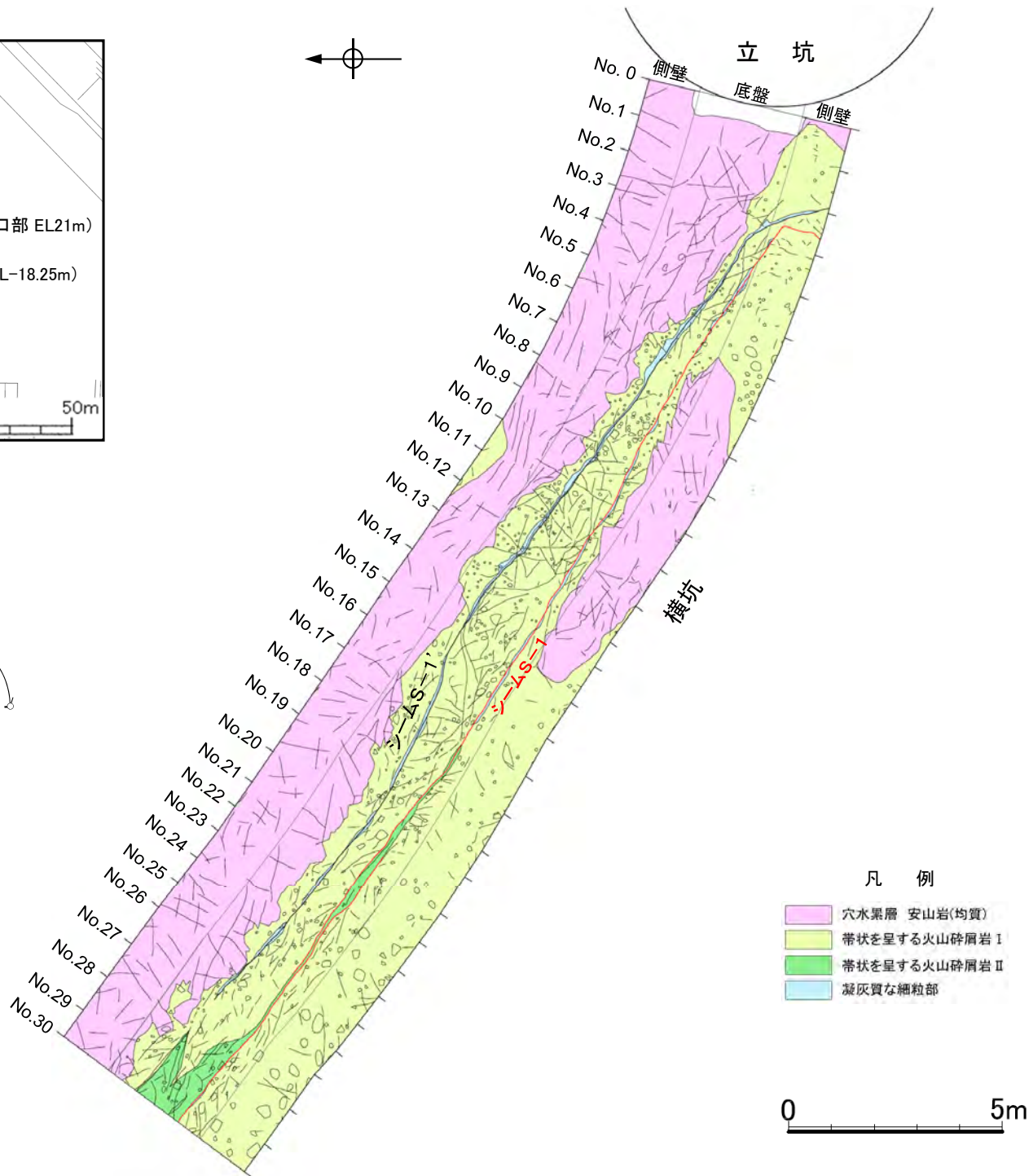
# 岩盤調査坑 横坑底盤・側壁展開図



岩盤調査坑位置図



展開方法



# No.3切羽

←SW

NE→

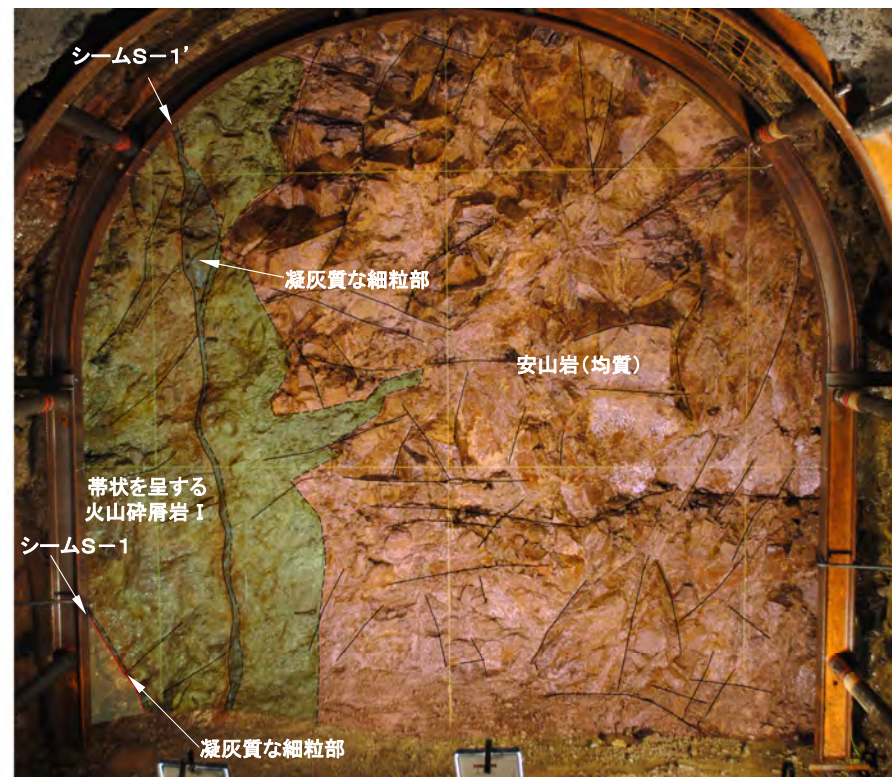


No.3切羽写真



←SW

NE→



No.3切羽写真(割れ目等を加筆)

— 割れ目



- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN48° W/78° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.5cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN30° W/85° NEである。



## No.4切羽

←SW

NE→

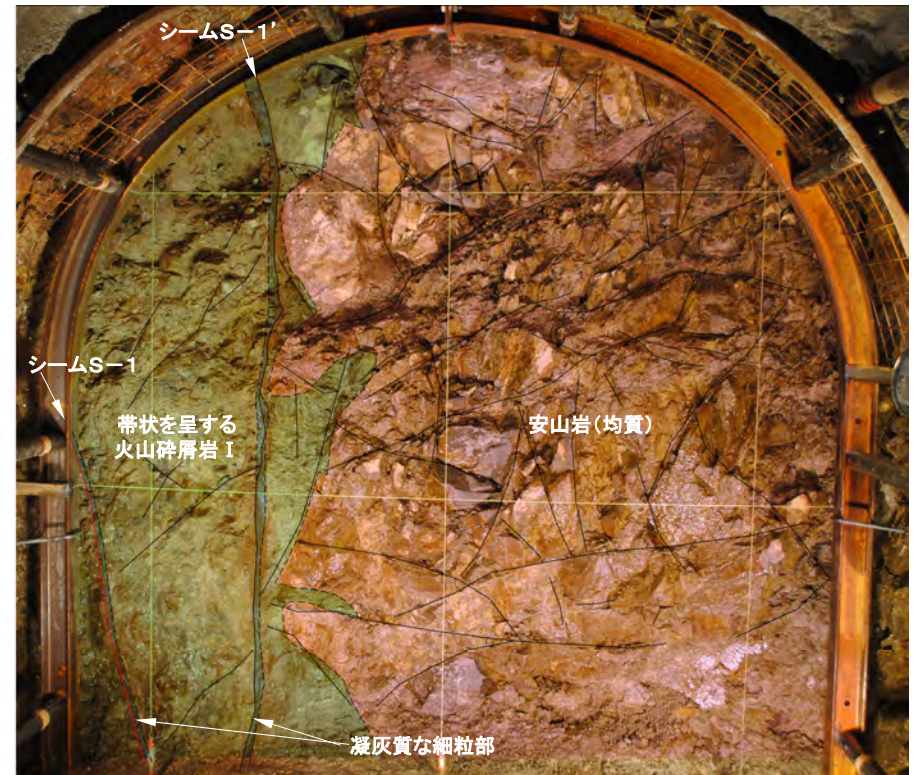


No.4切羽写真



←SW

NE→



No.4切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN55° W/72° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN57° W/85° NEである。



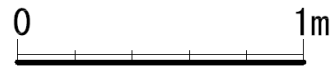
# No.5切羽

←SW

NE→



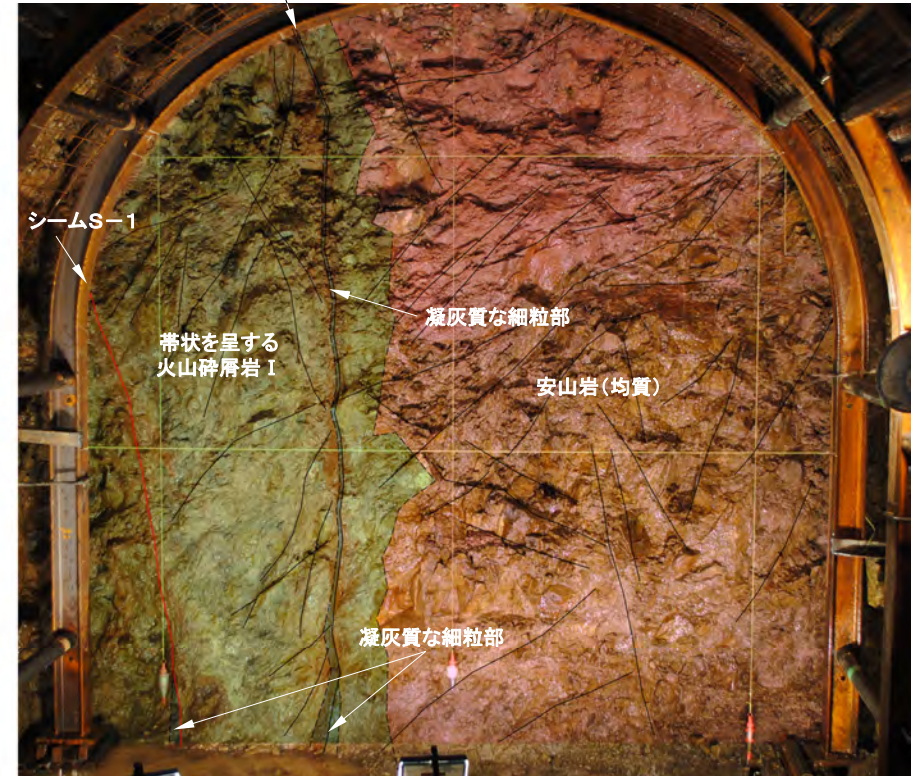
No.5切羽写真



←SW

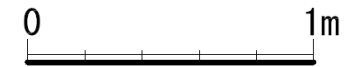
シームS-1'

NE→



No.5切羽写真(割れ目等を加筆)

┌ 割れ目



- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~2.0cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/72° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.5cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN49° W/90° である。



# No.6切羽

←SW

NE→

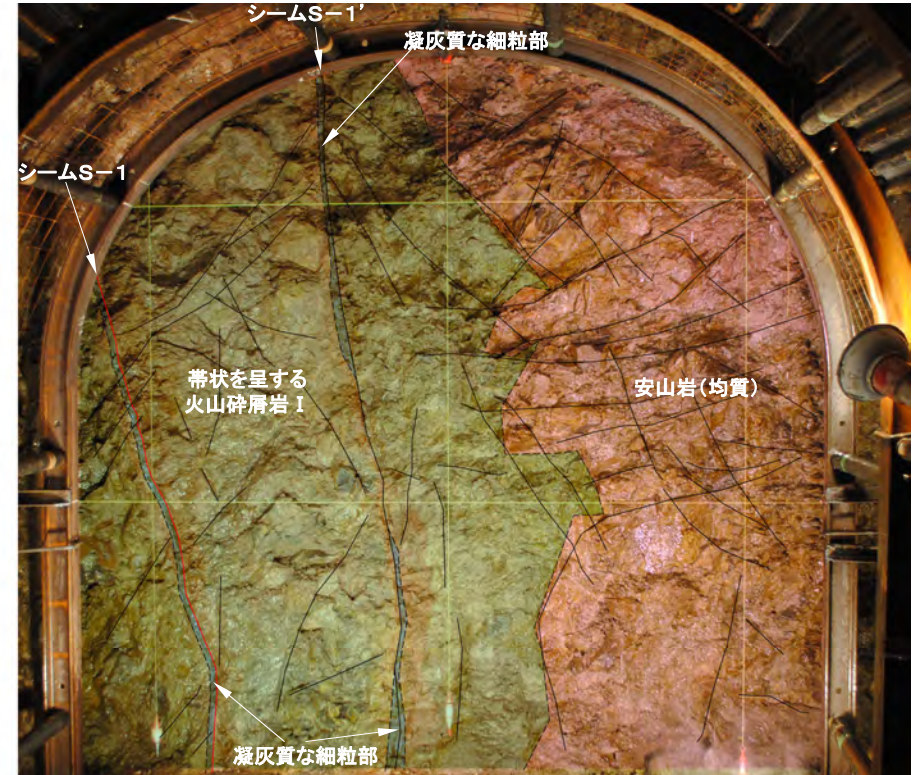


No.6切羽写真



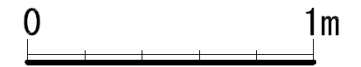
←SW

NE→



No.6切羽写真(割れ目等を加筆)

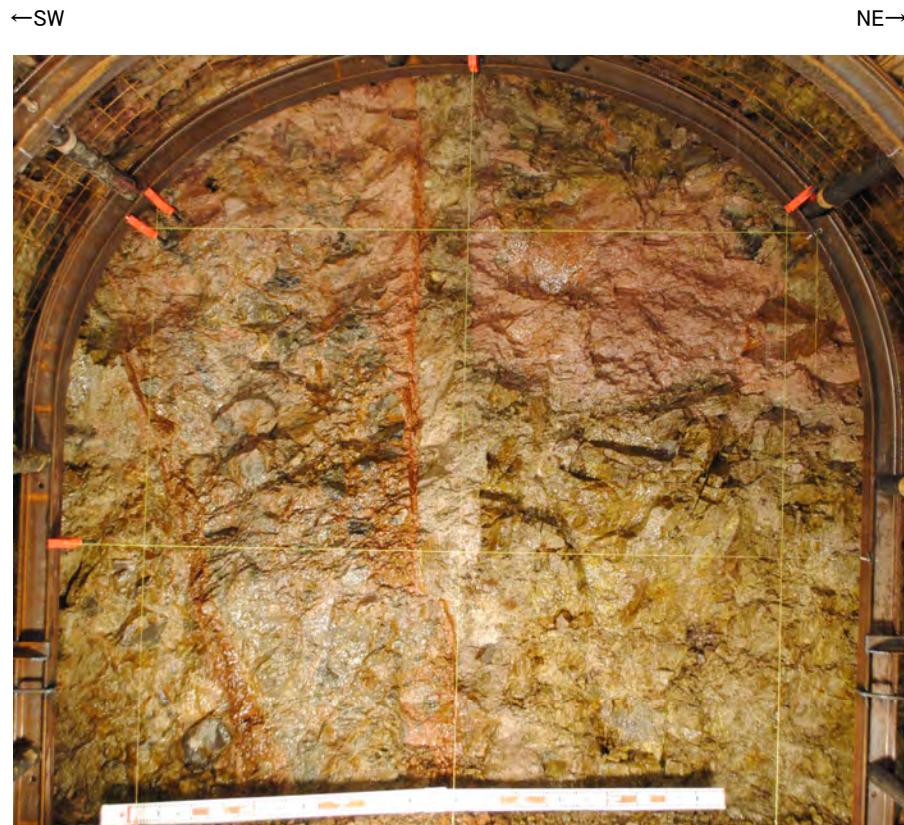
— 割れ目



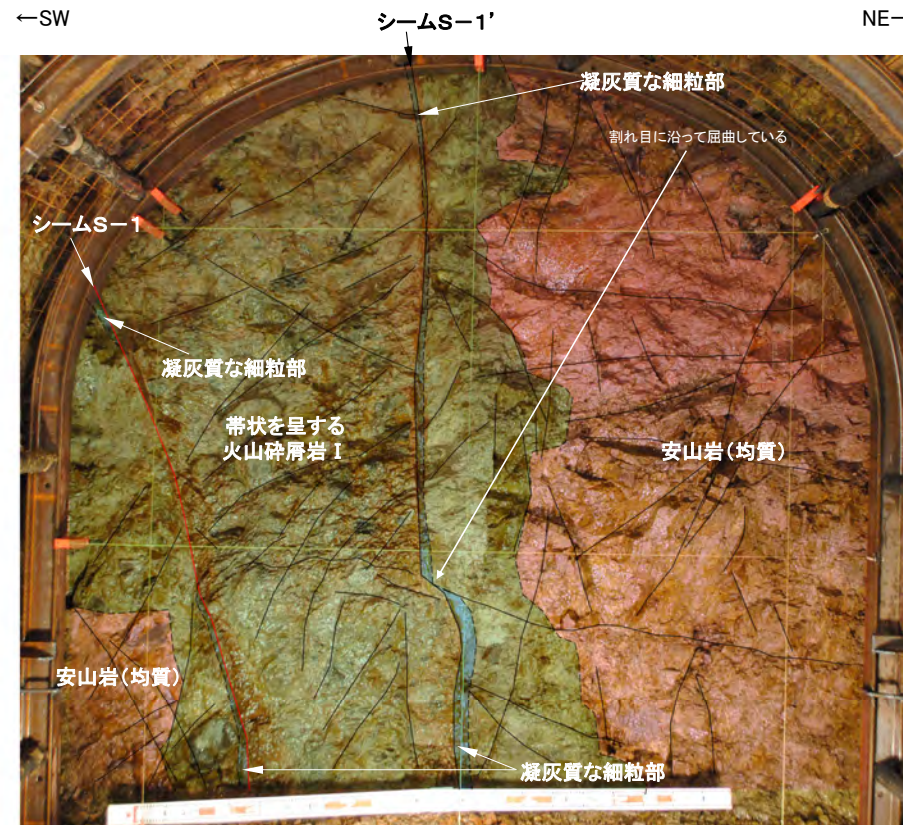
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~2.0cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN58° W/75° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.2cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/80° NEである。



# No.7切羽



No.7切羽写真



No.7切羽写真(割れ目等を加筆)

┌ 割れ目



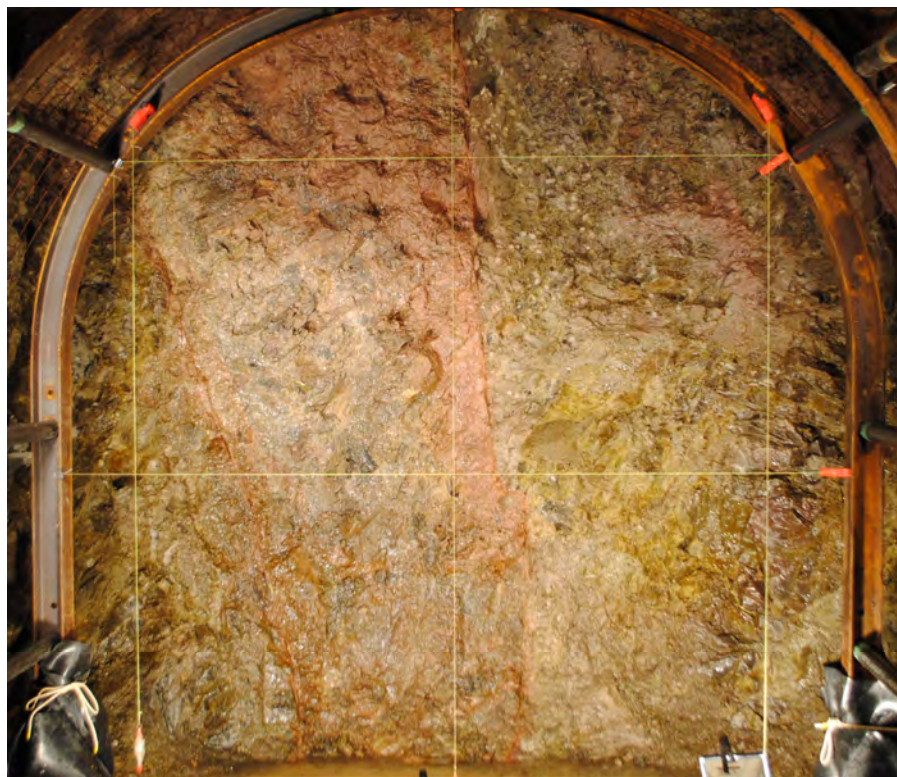
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5~1.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN53° W/74° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.3~0.4cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN54° W/78° NEである。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



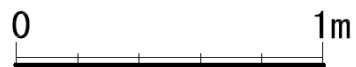
# No.8切羽

←SW

NE→



No.8切羽写真



←SW

NE→



No.8切羽写真(割れ目等を加筆)

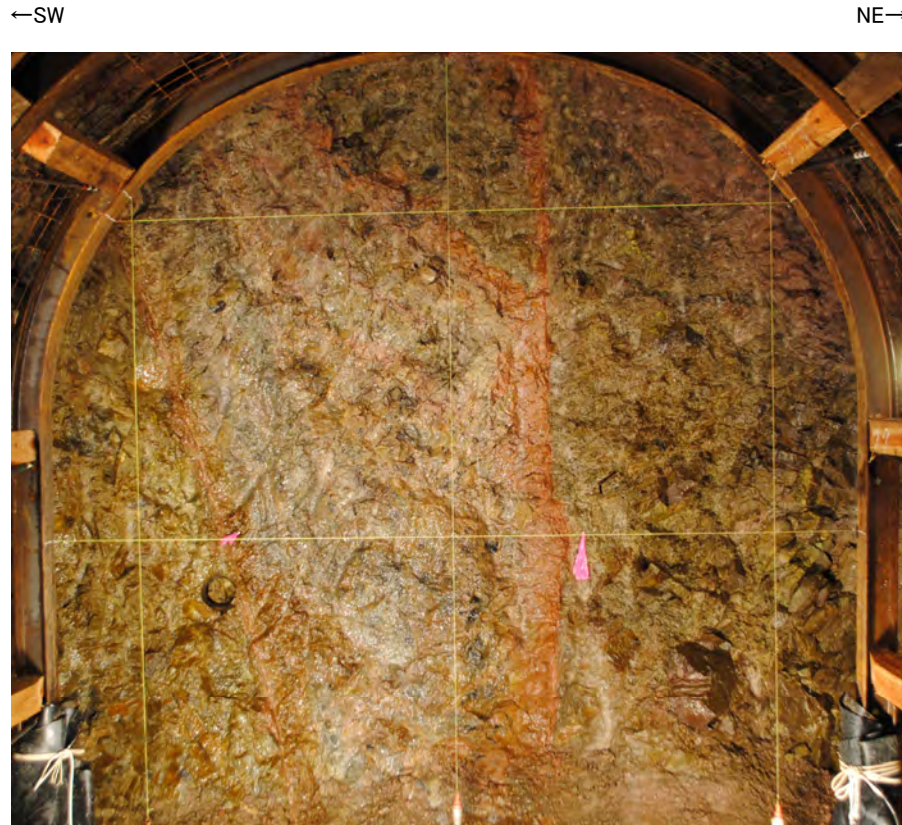
— 割れ目



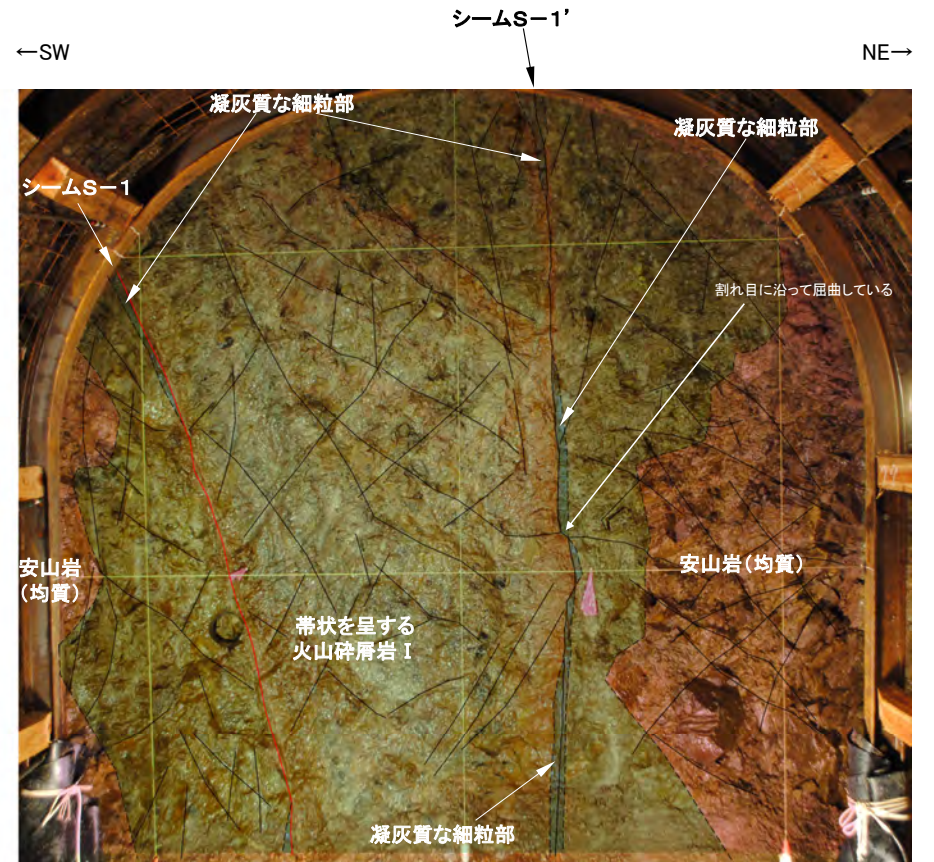
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN67° W/70° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN48° W/84° NE~82° SWである。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.9切羽

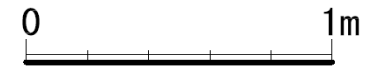


No.9切羽写真



No.9切羽写真(割れ目等を加筆)

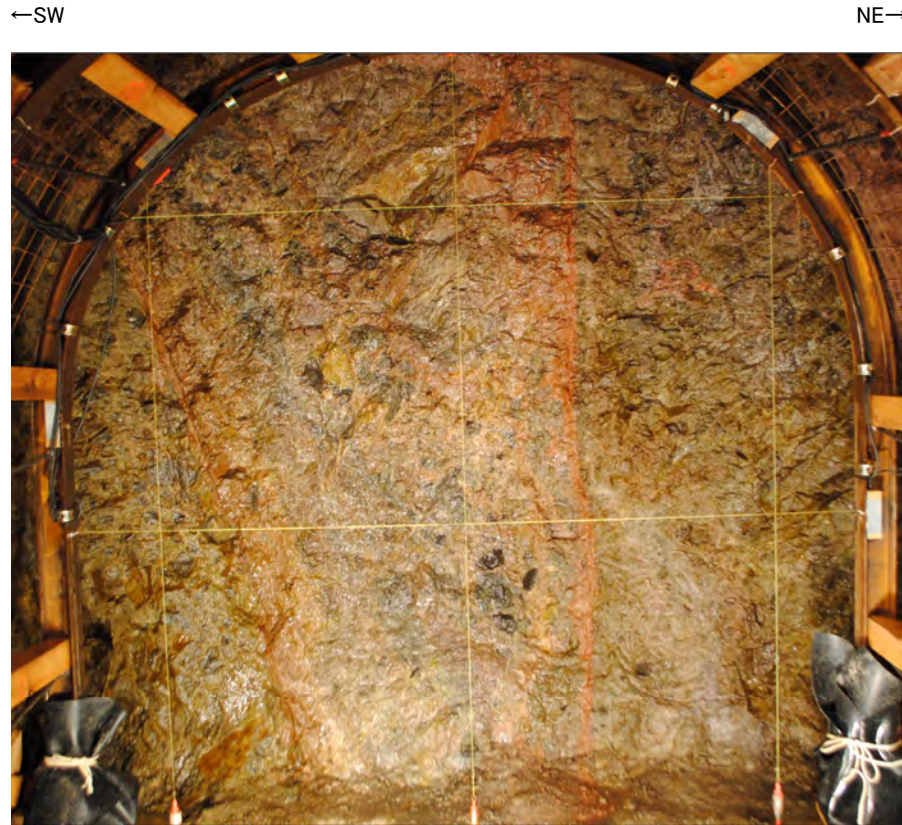
└ 割れ目



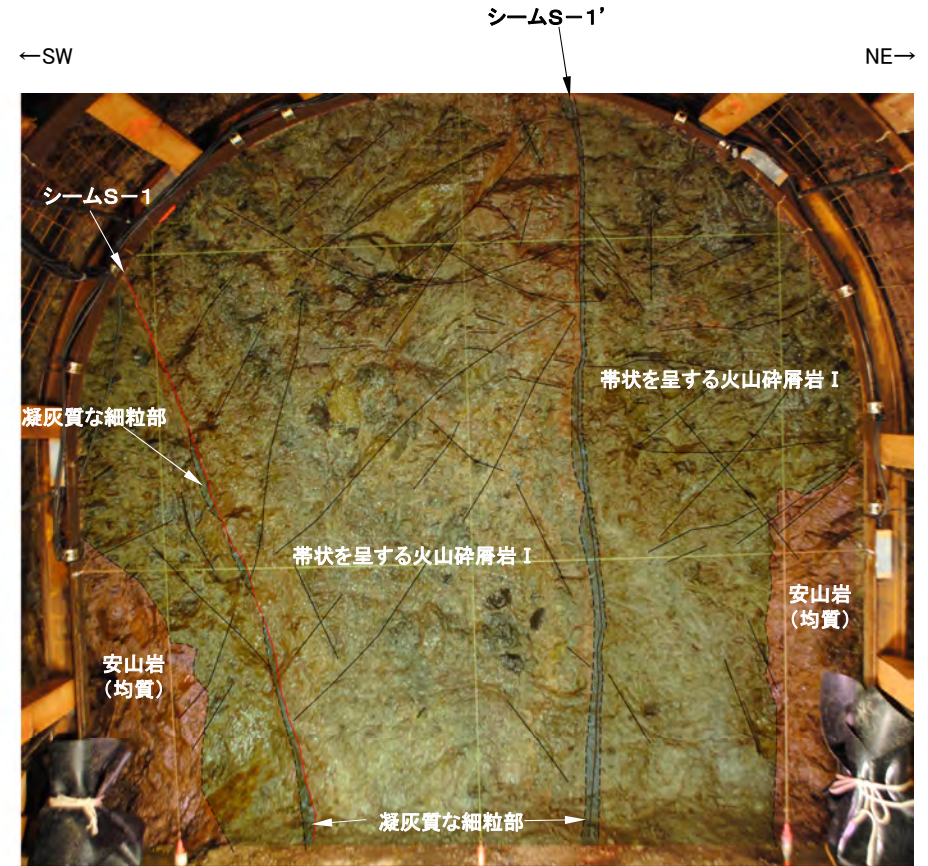
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~2.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN64° W/75° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.3cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.10切羽

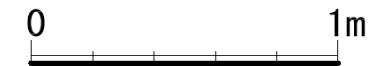


No.10切羽写真



No.10切羽写真(割れ目等を加筆)

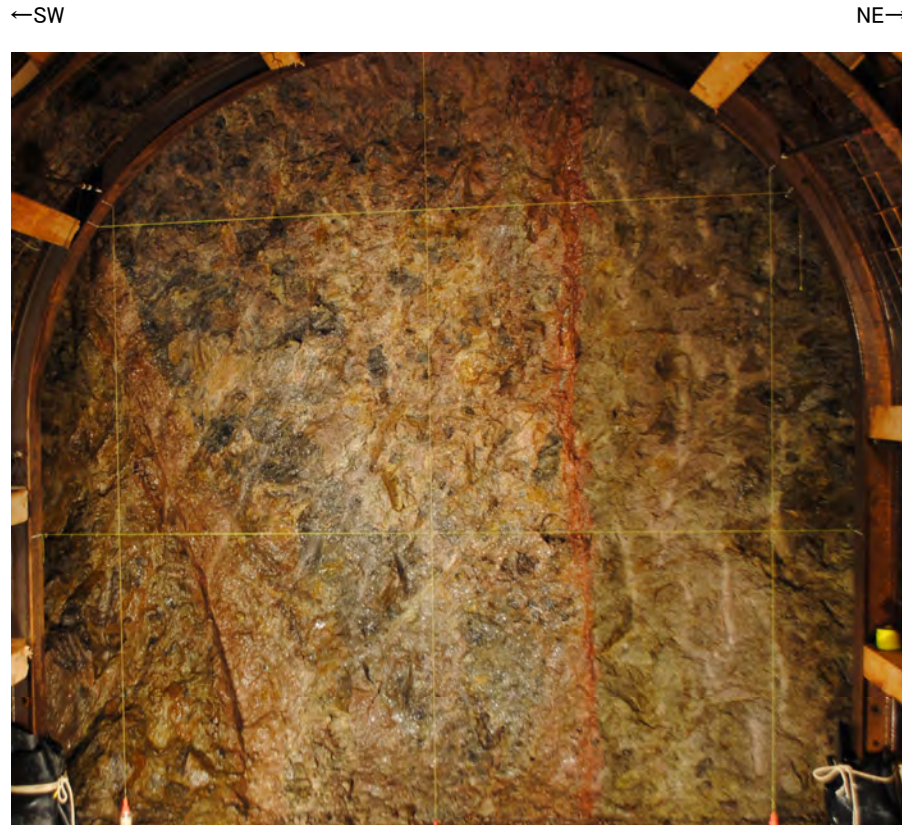
— 割れ目



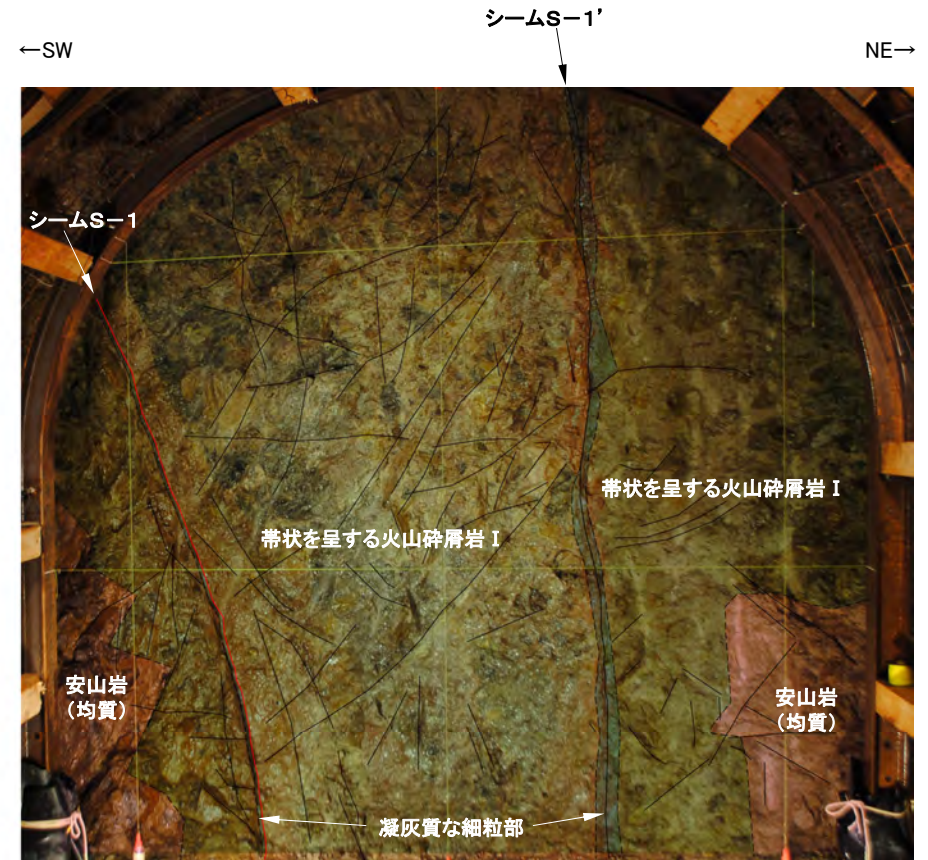
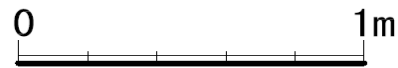
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN61° W/75° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN46° W/90° である。



# No.11切羽

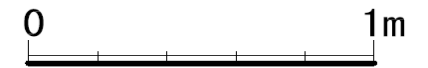


No.11切羽写真



No.11切羽写真(割れ目等を加筆)

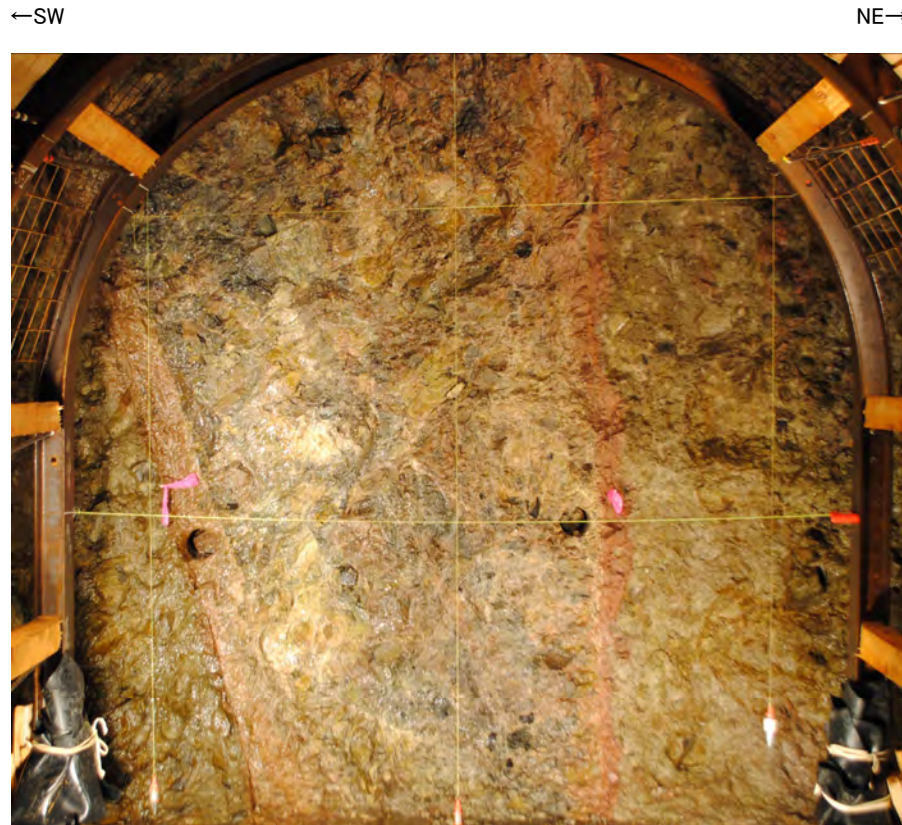
— 割れ目



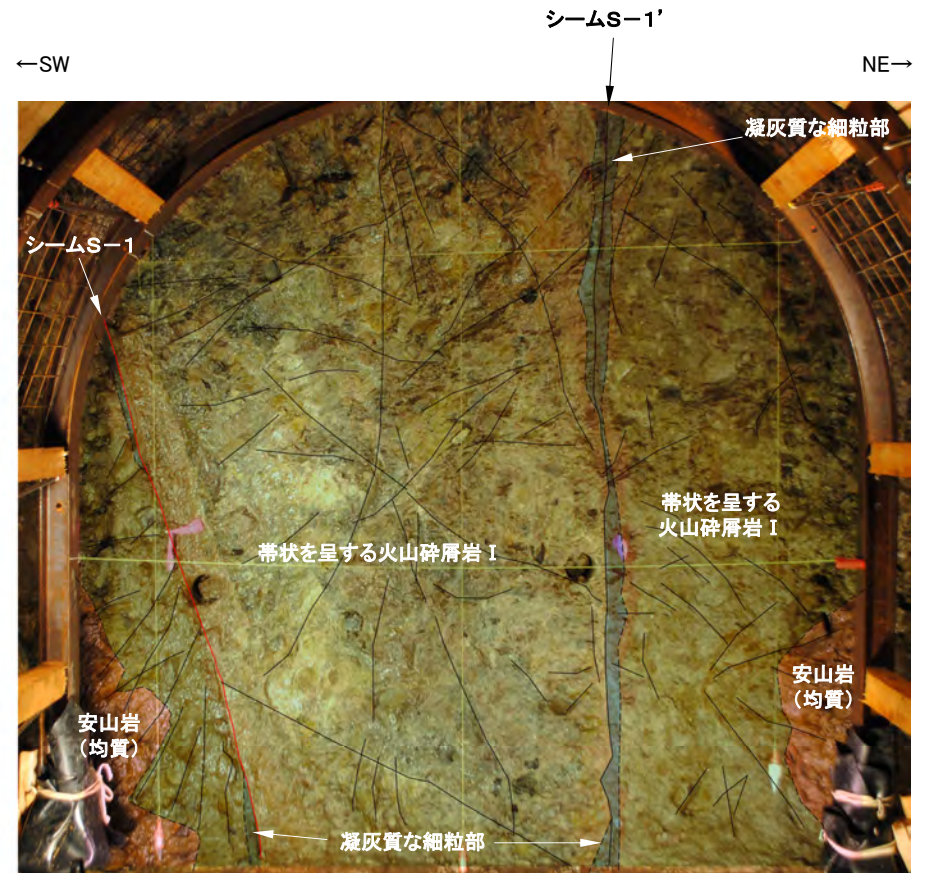
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN46° W/75° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。



# No.12切羽



No.12切羽写真



No.12切羽写真(割れ目等を加筆)

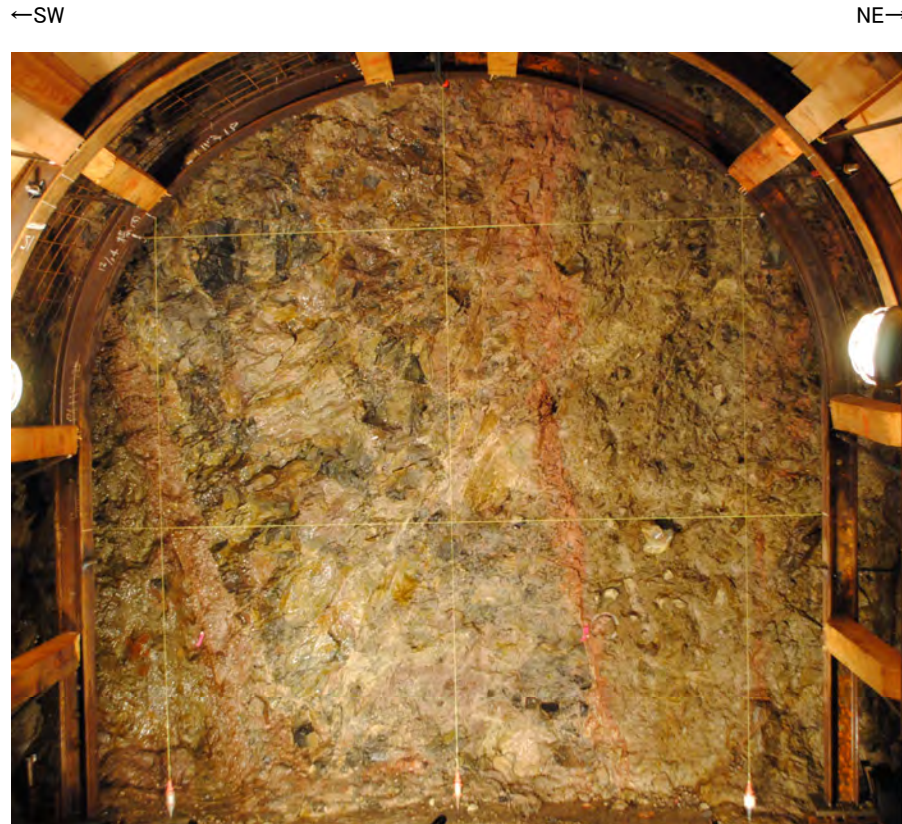
— 割れ目



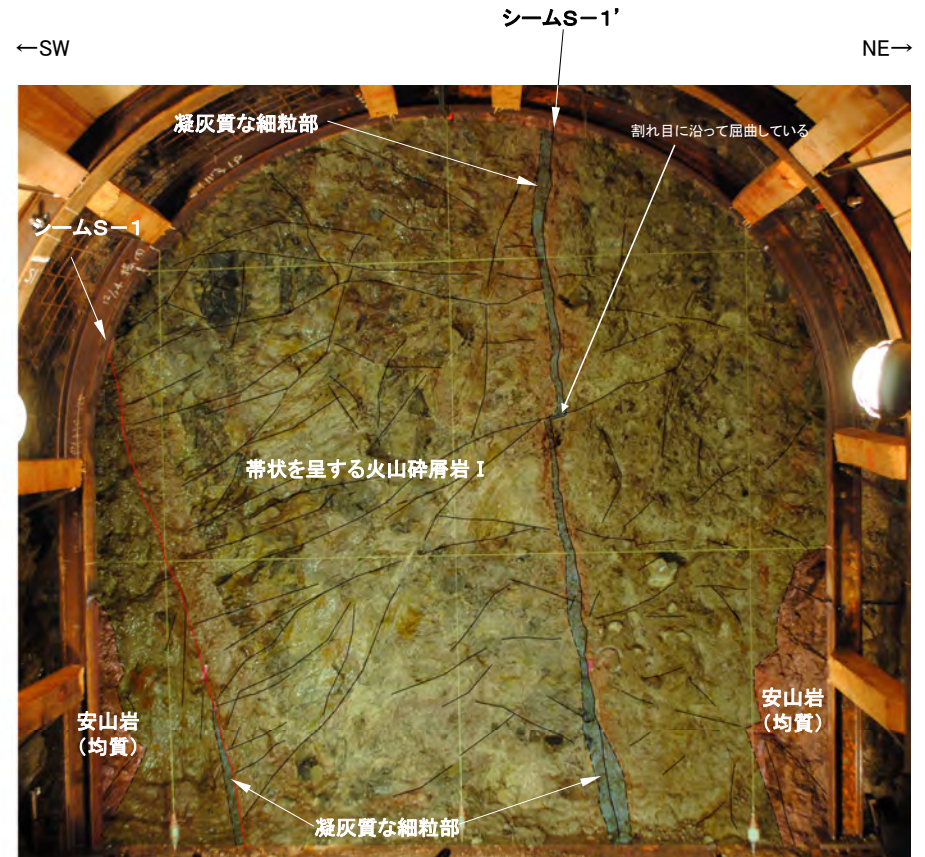
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN52° W/70° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.1cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN54° W/90° である。



# No.13切羽



No.13切羽写真



No.13切羽写真(割れ目等を加筆)

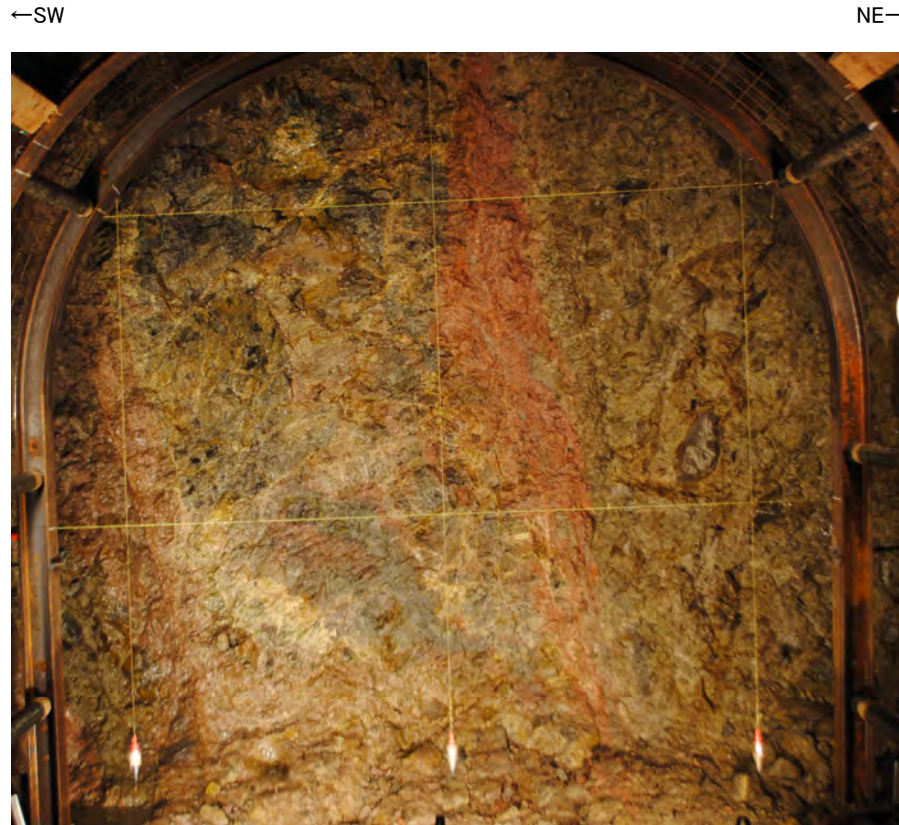
— 割れ目



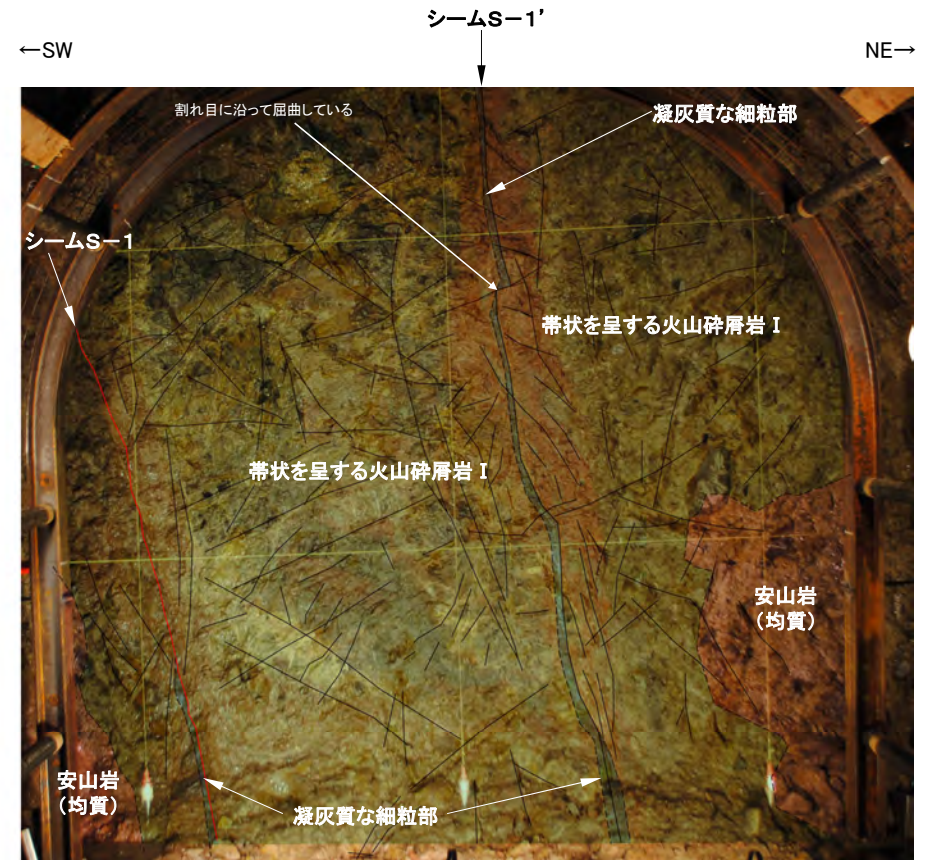
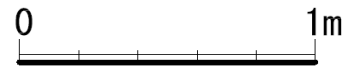
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN36° W/81° NE~83° SWである。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.14切羽

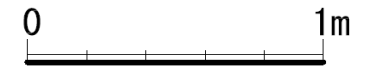


No.14切羽写真



No.14切羽写真(割れ目等を加筆)

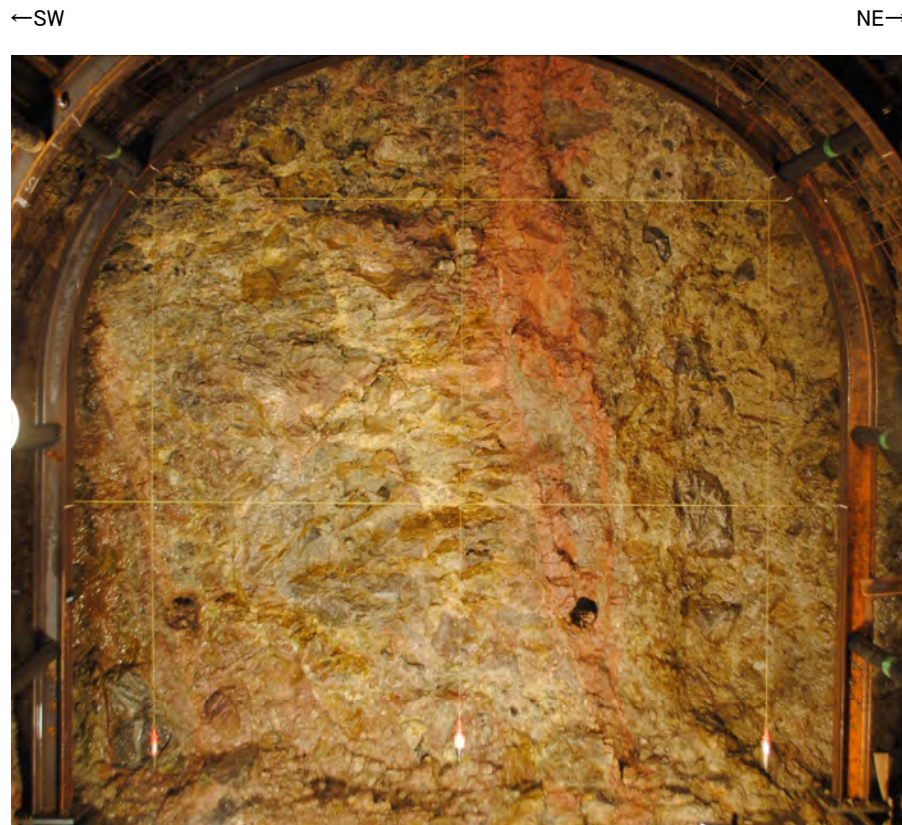
— 割れ目



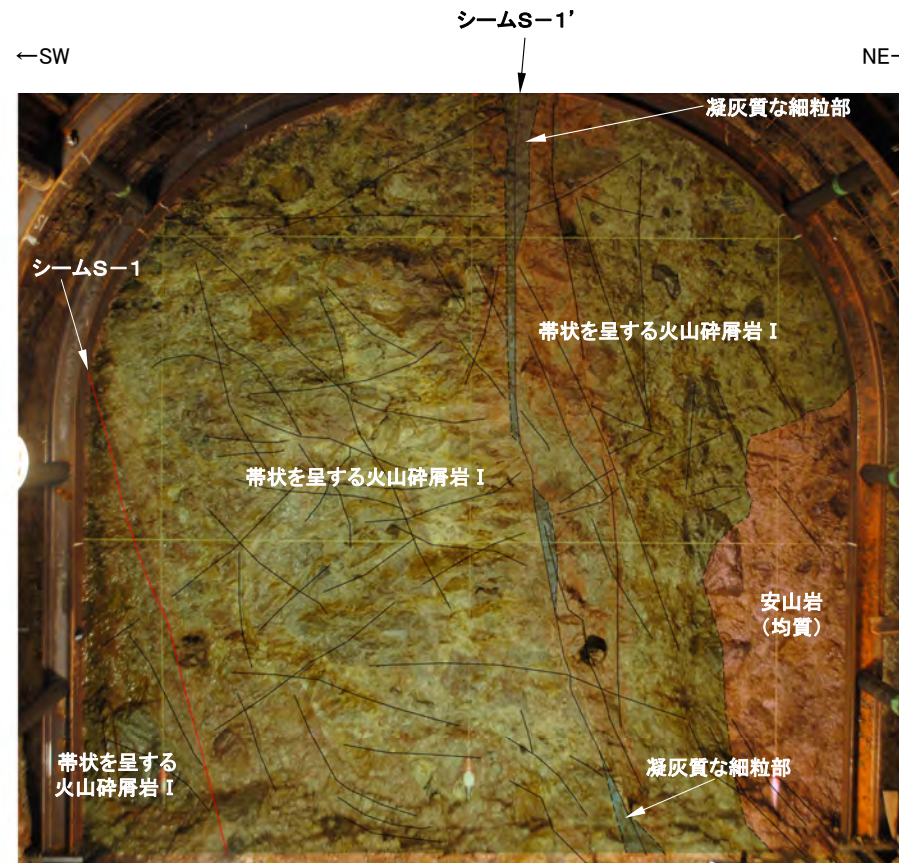
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN60° W/70° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状の褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN50° W/80° NEである。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.15切羽



No.15切羽写真



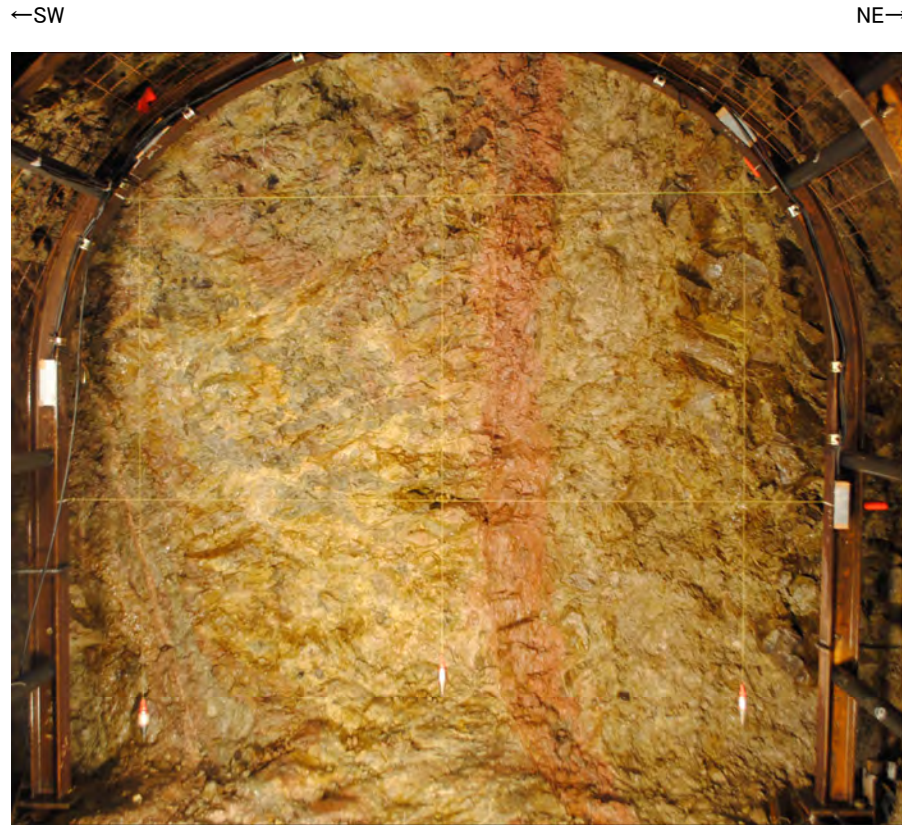
No.15切羽写真(割れ目等を加筆)



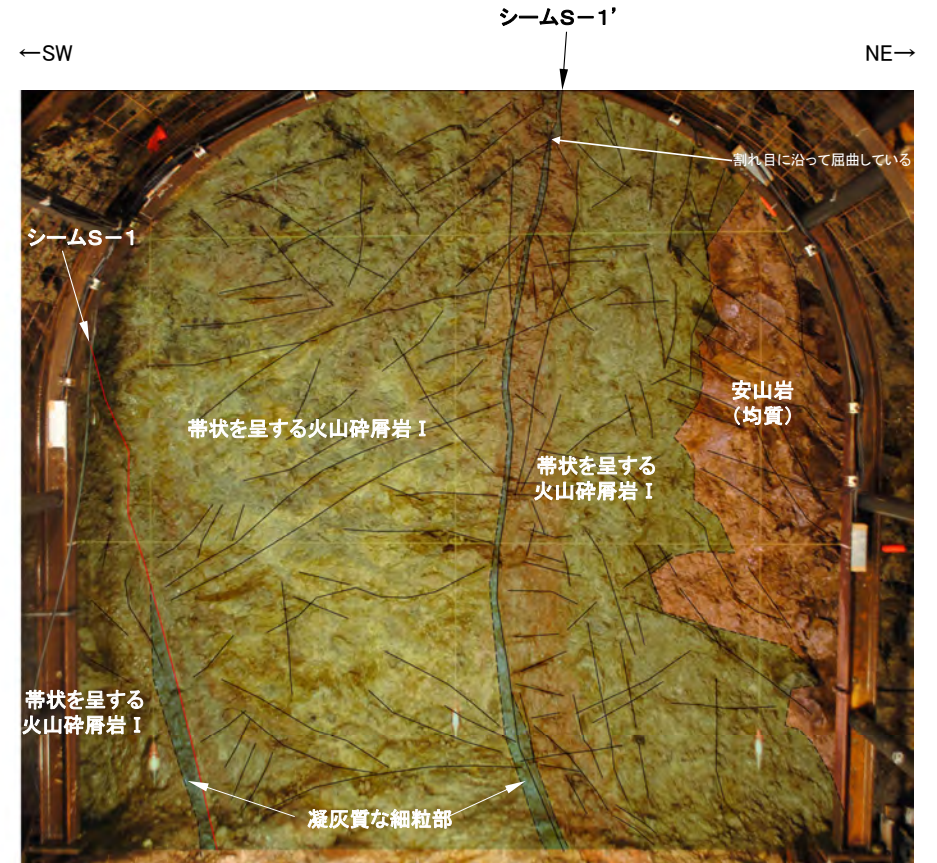
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 I 中にシームS-1、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.8cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さはフィルム状~0.1cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN51° W/85° NEである。



# No.16切羽



No.16切羽写真



No.16切羽写真(割れ目等を加筆)

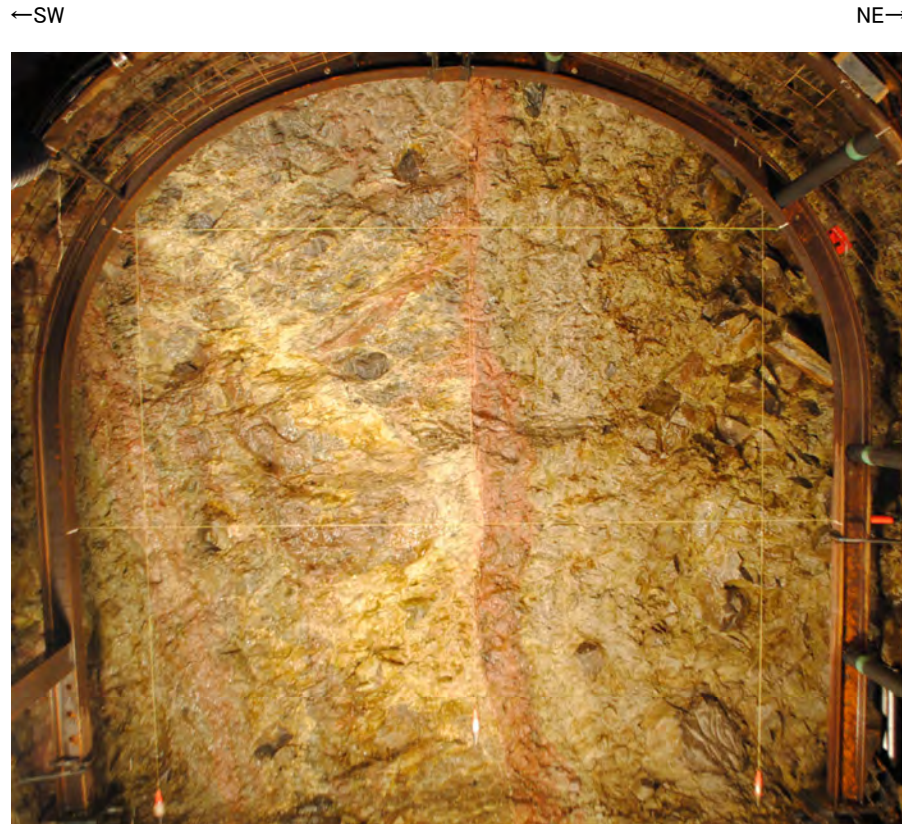
— 割れ目



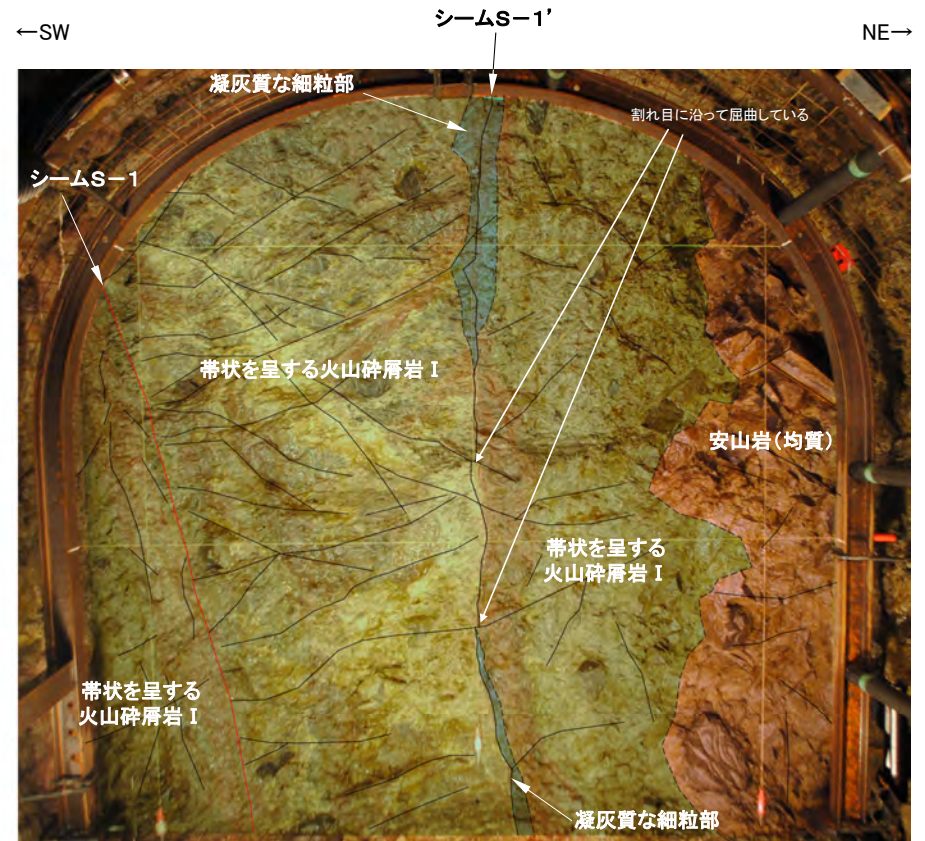
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1及びシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5~2.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN53° W/75° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN75° W/90° である。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.17切羽



No.17切羽写真



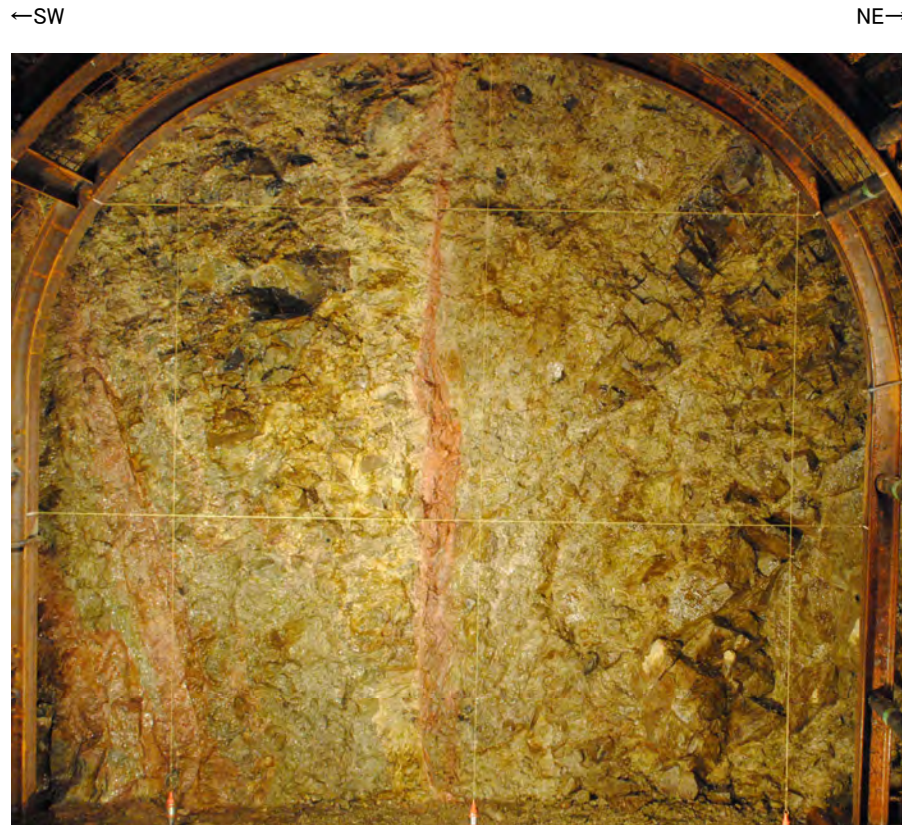
No.17切羽写真(割れ目等を加筆)



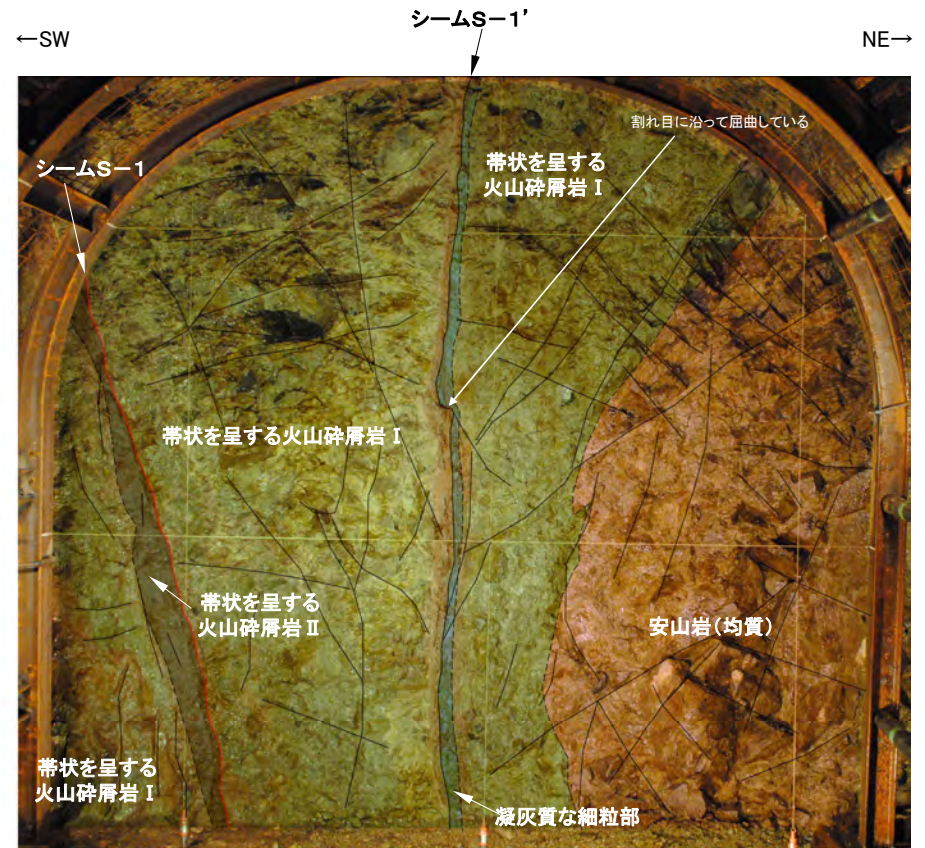
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 I 中にシームS-1、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.5~3.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN56° W/73° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さはフィルム状~0.5cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN60° W/86° NE~90° である。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.18切羽



No.18切羽写真



No.18切羽写真(割れ目等を加筆)

— 割れ目



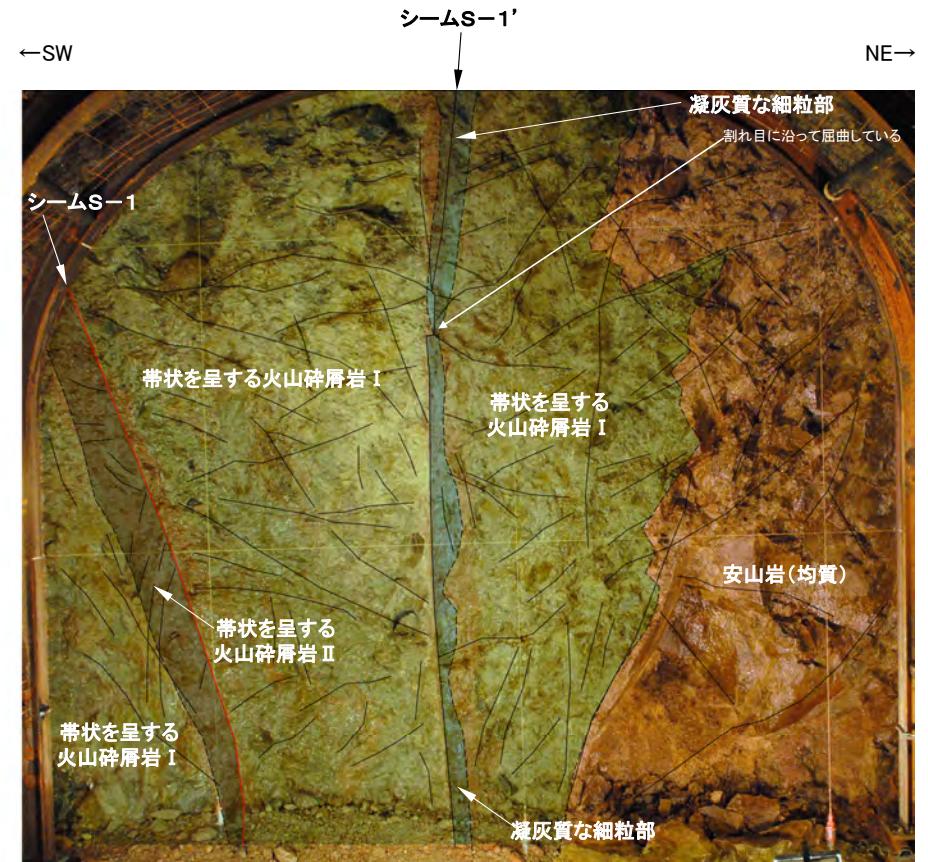
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の北東縁に沿ってシームS-1、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~2.0cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN42° W/72° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さはフィルム状~0.1cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN55° W/90° である。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



# No.19切羽



No.19切羽写真



No.19切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



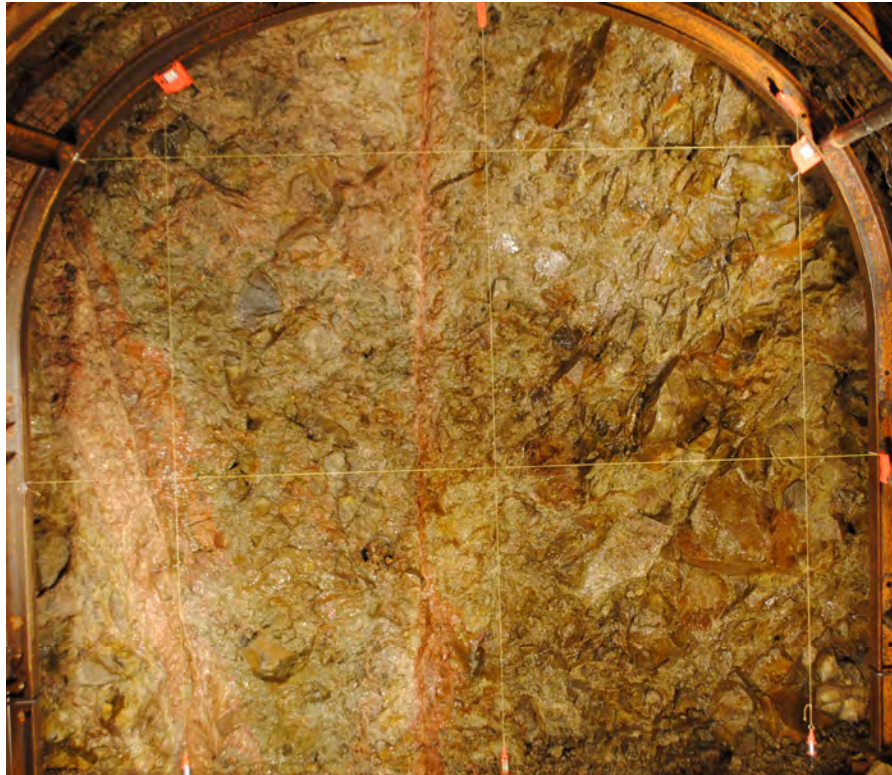
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の北東縁に沿ってシームS-1, 凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.4cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN44° W/74° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さ0.2~0.4cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN58° W/88° NEである。同シームには、割れ目に沿って屈曲している部分が認められる。



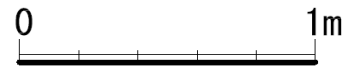
# No.20切羽

←SW

NE→

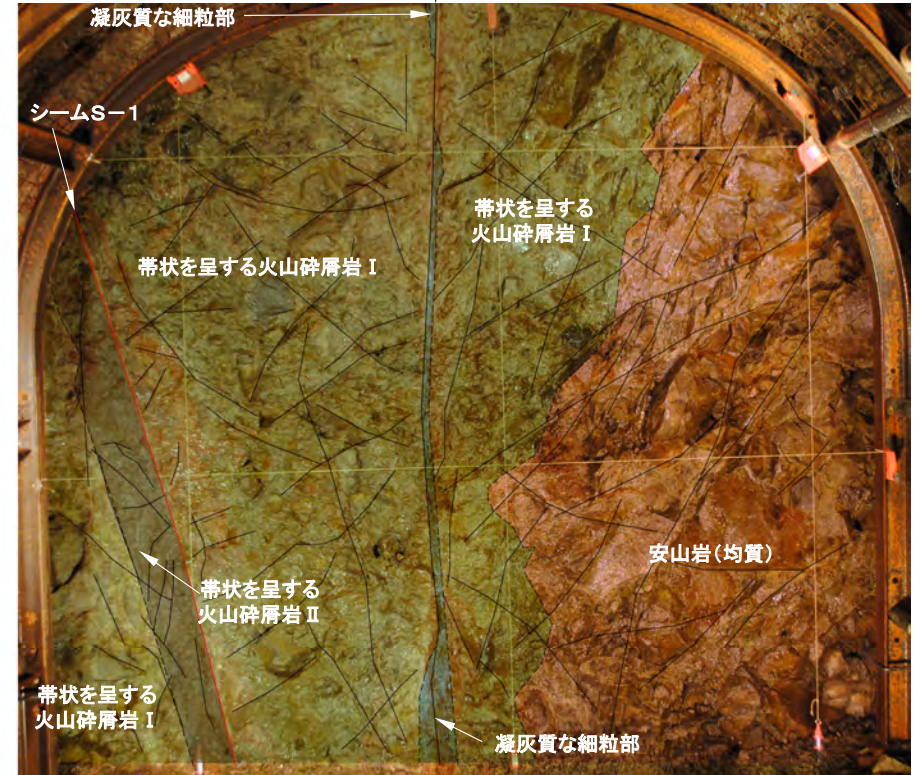


No.20切羽写真



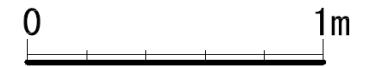
←SW

NE→



No.20切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



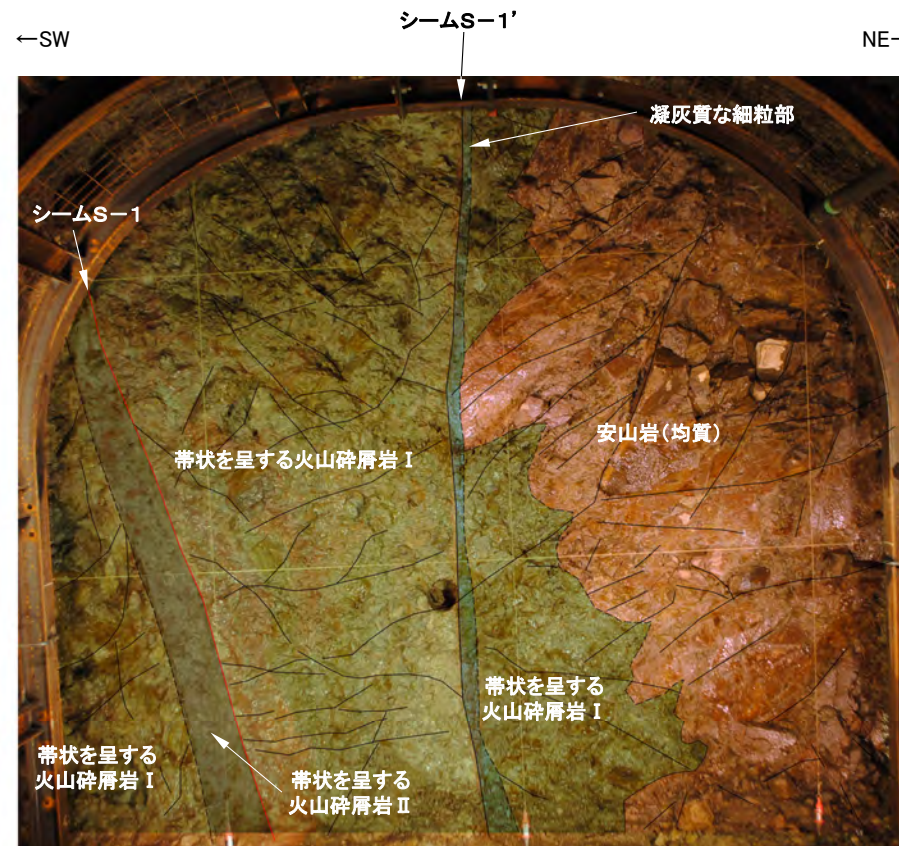
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、带状を呈する火山碎屑岩 II の北東縁に沿ってシームS-1, 凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN48° W/73° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/90° である。



# No.21切羽



No.21切羽写真



No.21切羽写真(割れ目等を加筆)

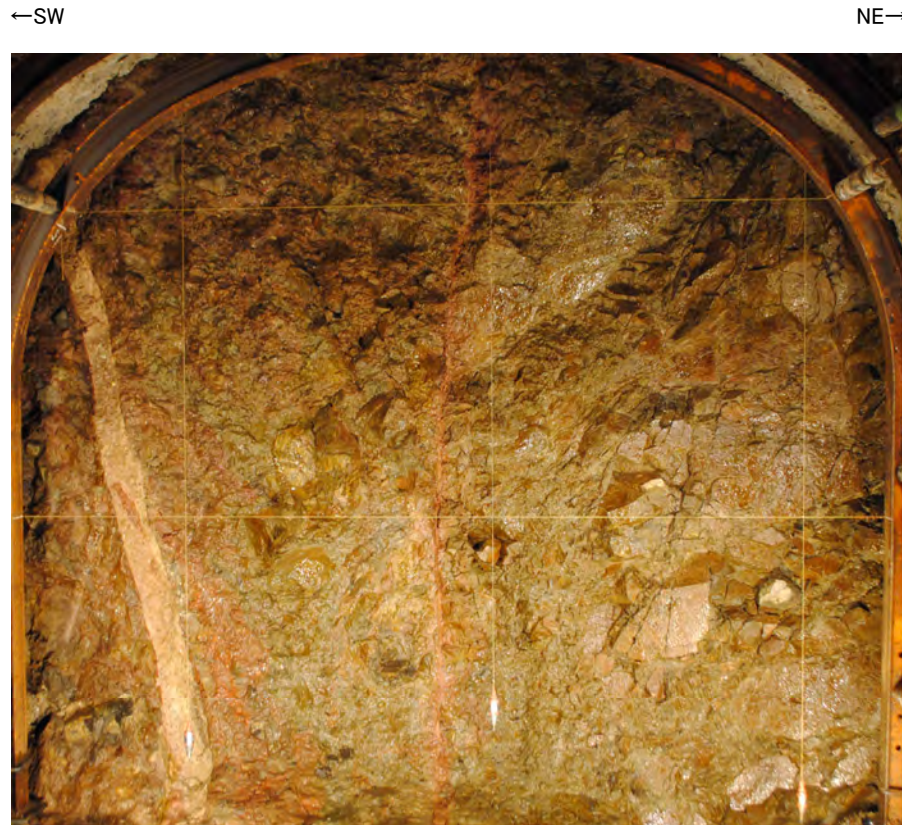
┌ 割れ目



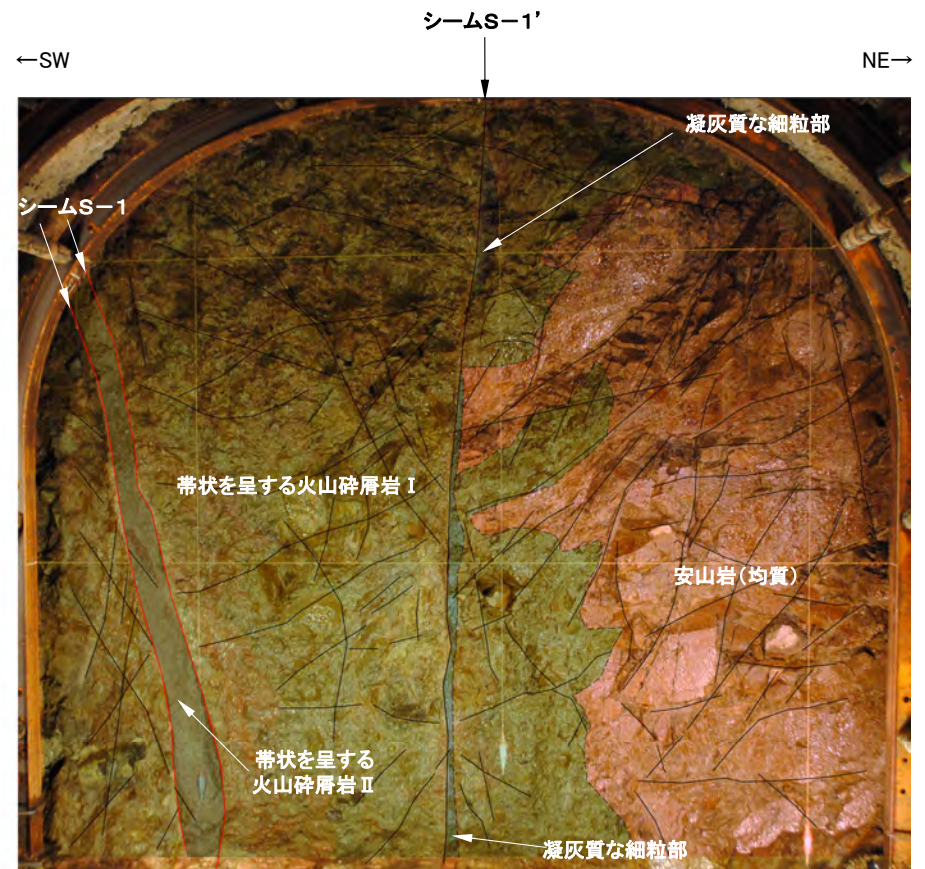
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の北東縁に沿ってシームS-1, 凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN47° W/70° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.4cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SW~90° である。



# No.22切羽



No.22切羽写真



No.22切羽写真(割れ目等を加筆)

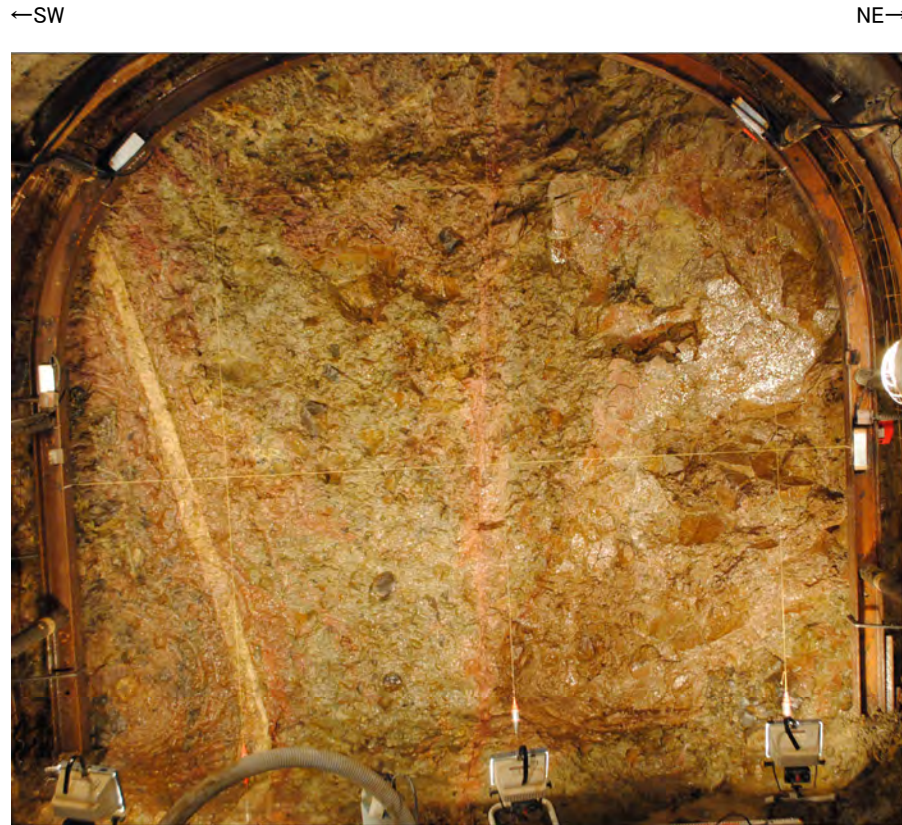
— 割れ目



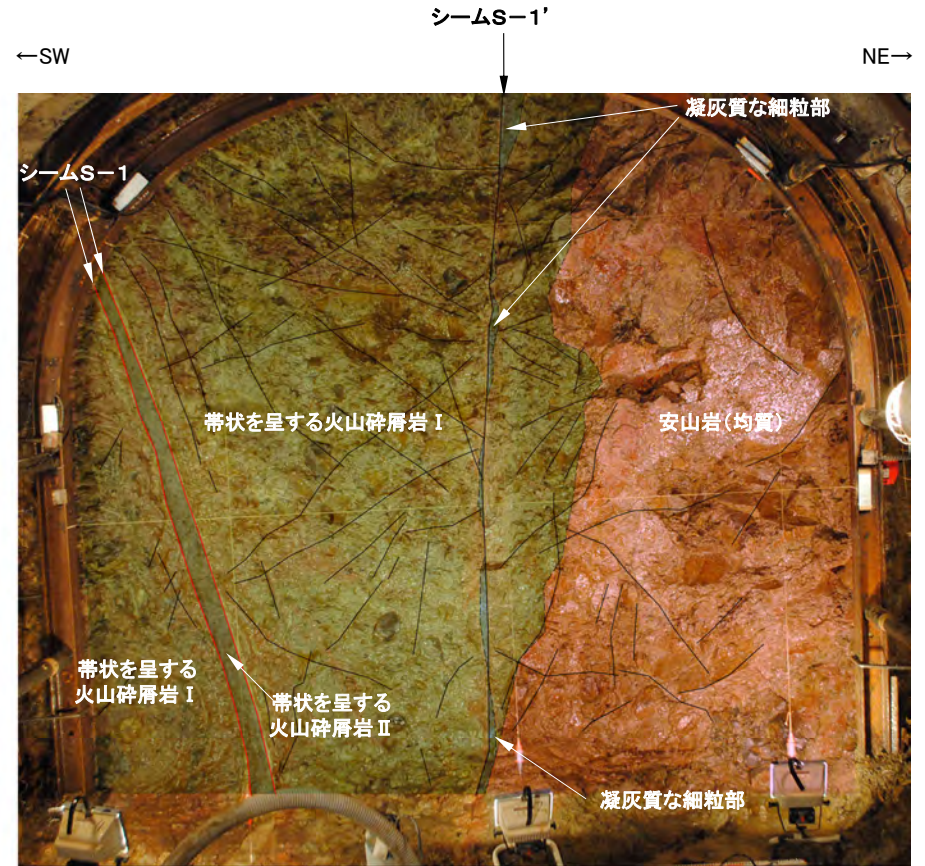
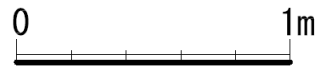
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、带状を呈する火山碎屑岩 II の両縁に沿ってシームS-1が、凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1'が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~1.0cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN54° W/72° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.3cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN45° W/90° である。



# No.23切羽

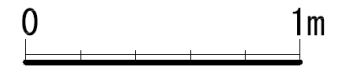


No.23切羽写真



No.23切羽写真(割れ目等を加筆)

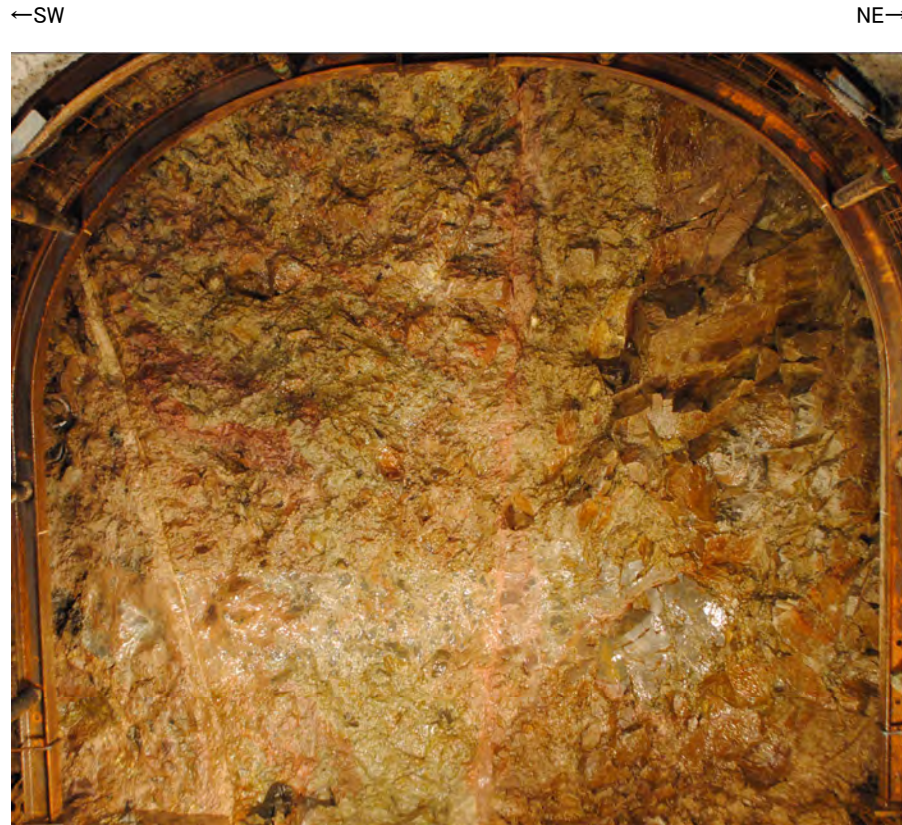
／ 割れ目



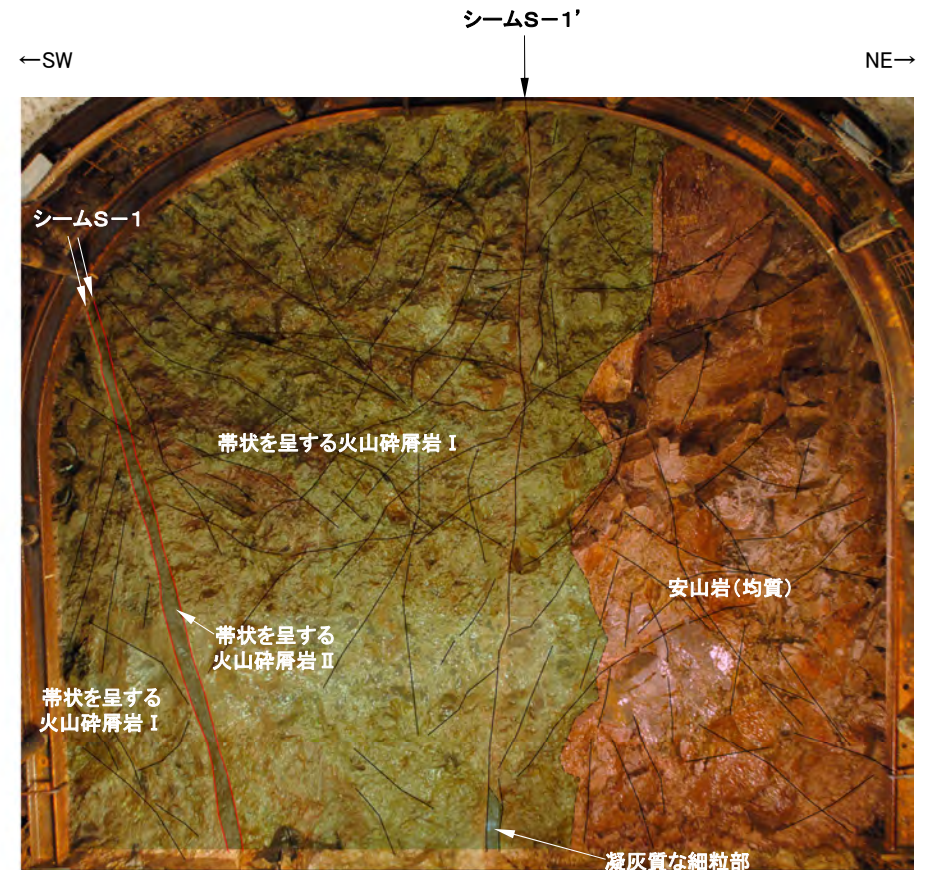
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、带状を呈する火山碎屑岩 II の両縁に沿ってシームS-1, 凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~0.6cmの淡黄白色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN49° W/72° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さ0.1~0.2cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SWである。



# No.24切羽

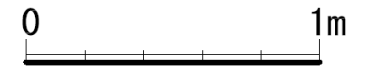


No.24切羽写真



No.24切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



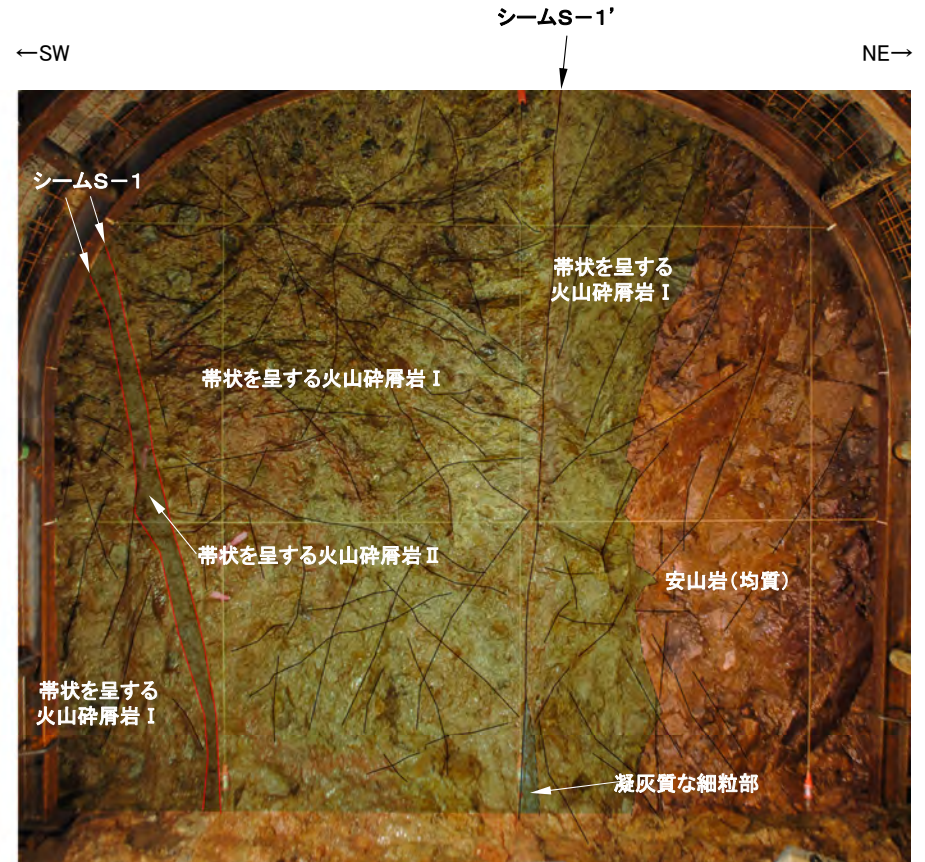
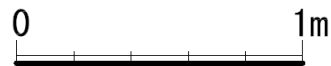
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の両縁に沿ってシームS-1、概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.4cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN53° W/73° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN44° W/85° SWである。



# No.25切羽



No.25切羽写真



No.25切羽写真(割れ目等を加筆)

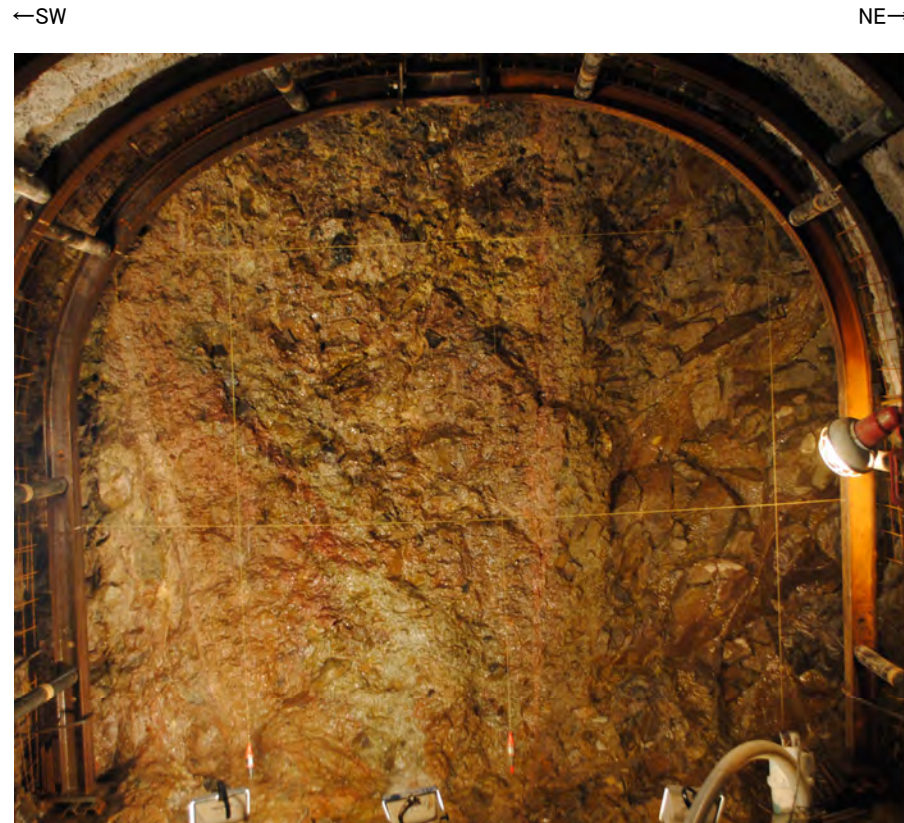
／ 割れ目



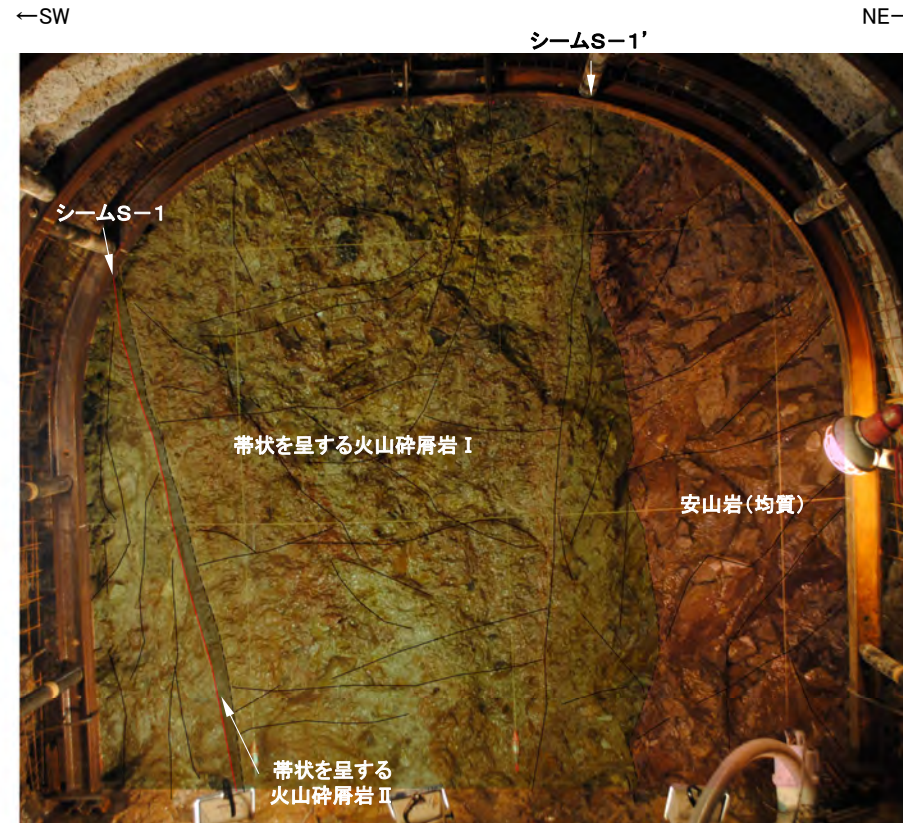
- ・安山岩(均質)と带状を呈する火山碎屑岩が分布し、带状を呈する火山碎屑岩 II の両縁に沿ってシームS-1, 概ね凝灰質な細粒部に沿ってシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.5cmの灰白色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN46° W/78° NEである。
- ・シームS-1'は、厚さ0.1~0.2cmの灰白色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN36° W/85° SWである。



# No.26切羽



No.26切羽写真



No.26切羽写真(割れ目等を加筆)

ㄱ 割れ目



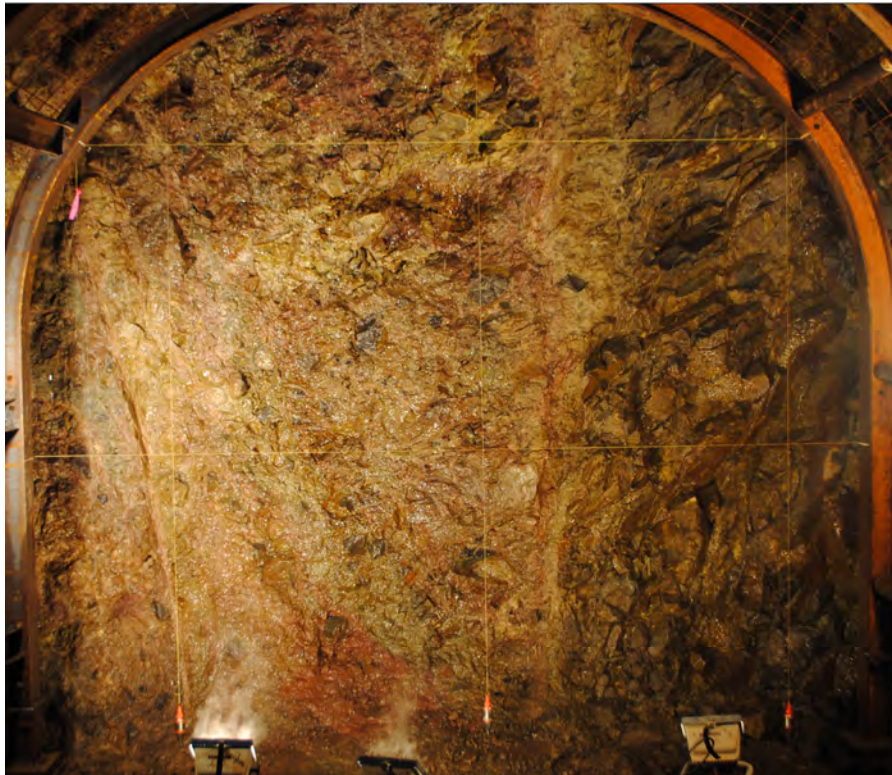
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の南西縁に沿ってシームS-1, 帯状を呈する火山碎屑岩 I 中にシームS-1' が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.2~0.4cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN48° W/71° NEである。
- ・シームS-1' は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN45° W/85° SWである。



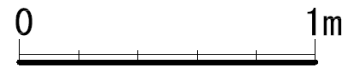
# No.27切羽

←SW

NE→



No.27切羽写真



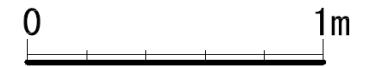
←SW

NE→



No.27切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩Ⅱの南西縁に沿ってシームS-1が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN43° W/77° NEである。
- ・シームS-1'は認められない。



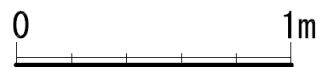
# No.28切羽

←SW

NE→

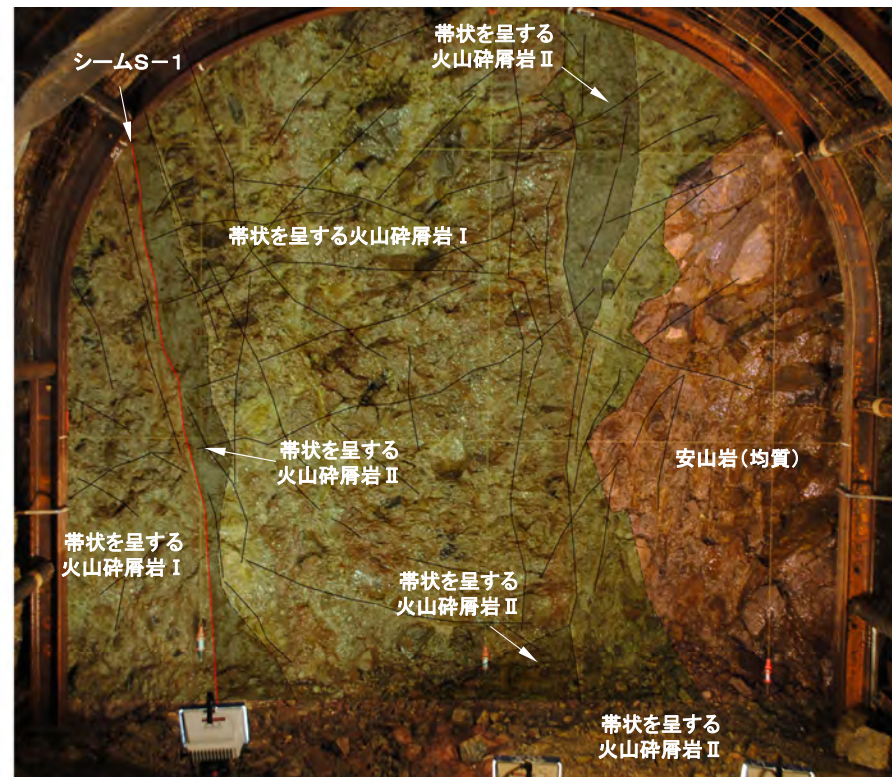


No.28切羽写真



←SW

NE→



No.28切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



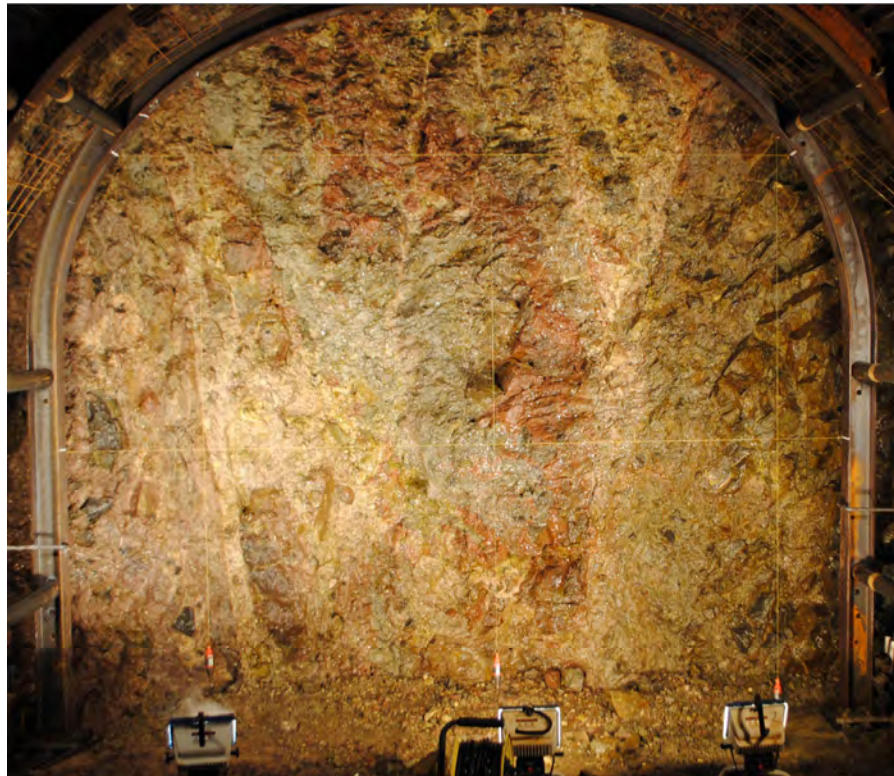
- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の南西縁に沿ってシームS-1が認められる。
- ・シームS-1は、厚さはフィルム状~0.1cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN42° W/77° NEである。
- ・シームS-1'は認められない。



# No.29切羽

←SW

NE→



No.29切羽写真



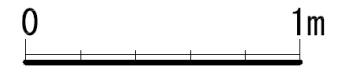
←SW

NE→



No.29切羽写真(割れ目等を加筆)

／ 割れ目



- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の南西縁に沿ってシームS-1が認められる。
- ・シームS-1は、厚さ0.1~0.2cmの褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN41° W/80° NEである。
- ・シームS-1'は認められない。



# No.30切羽

←SW

NE→

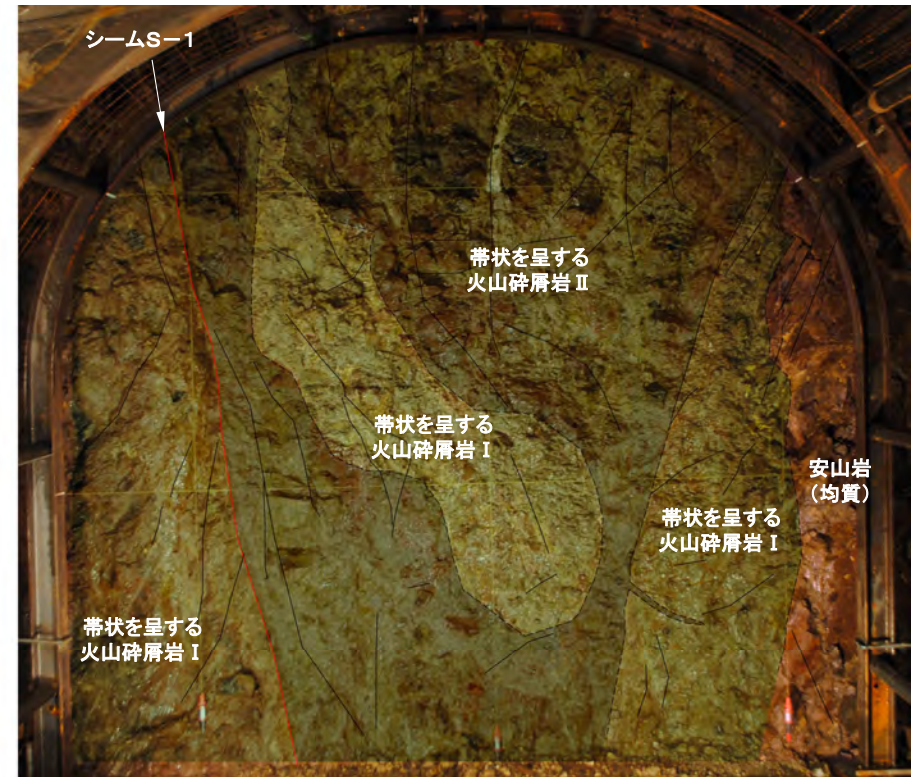


No.30切羽写真



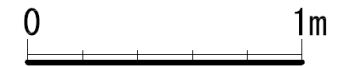
←SW

NE→



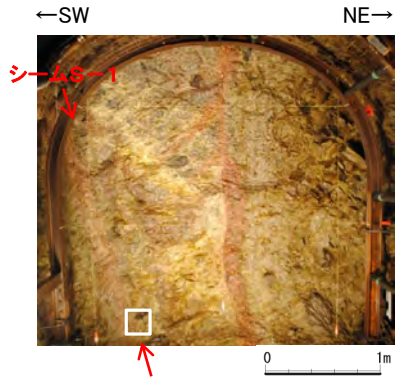
No.30切羽写真(割れ目等を加筆)

— 割れ目

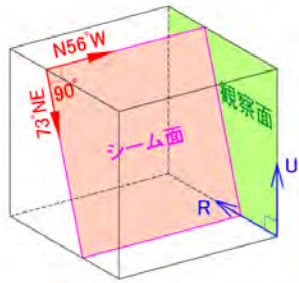


- ・安山岩(均質)と帯状を呈する火山碎屑岩が分布し、帯状を呈する火山碎屑岩 II の南西縁に沿ってシームS-1が認められる。
- ・シームS-1は、厚さはフィルム状~0.8cmの赤褐色を呈する粘土からなり、走向・傾斜はN49° W/82° NEである。
- ・シームS-1'は認められない。

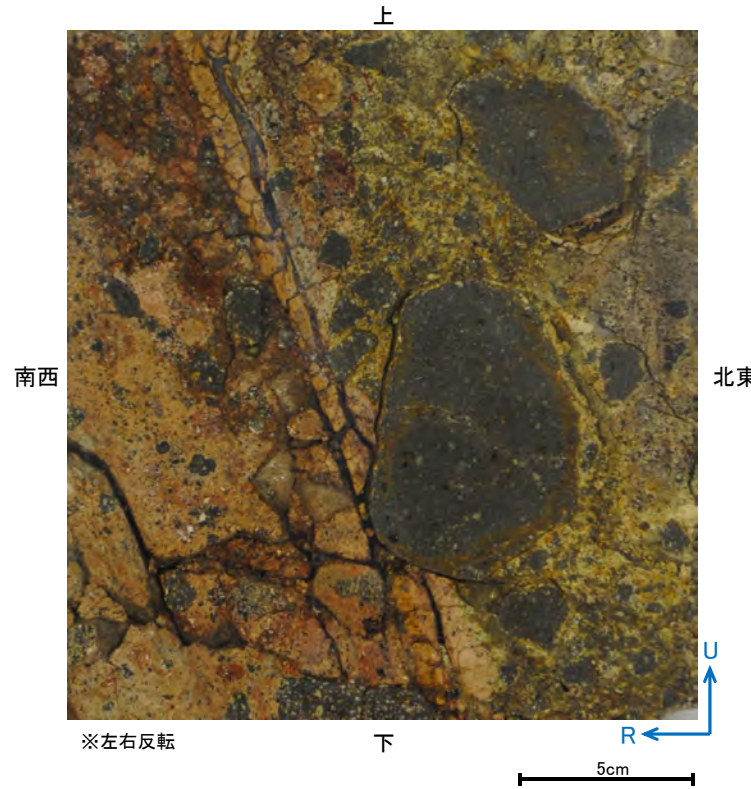
## 2. 岩盤調查坑(研磨面, 薄片觀察)



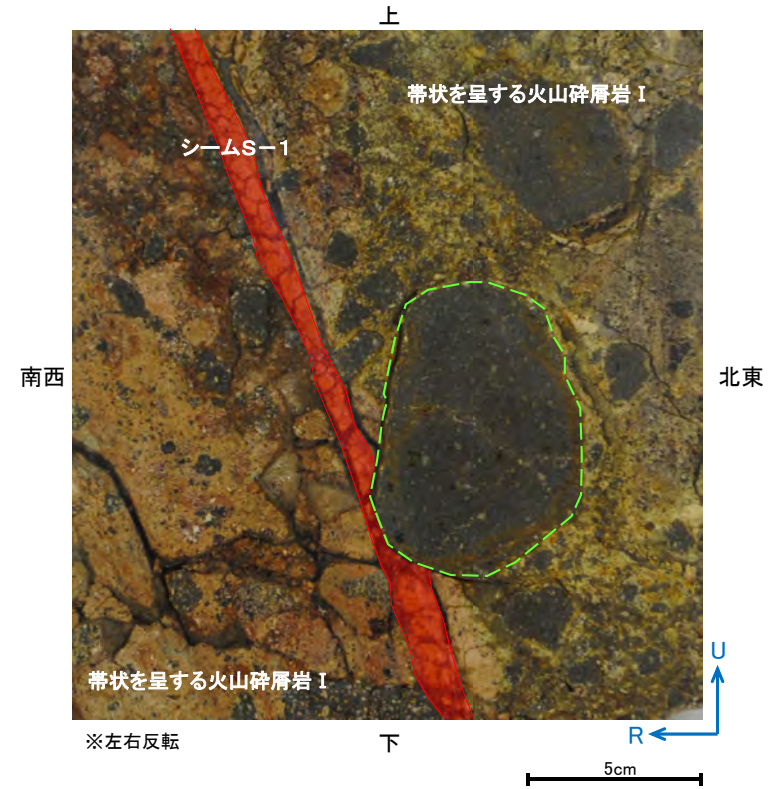
試料採取位置付近(No.17切羽)



観察面概念図(No.17-1\_90)



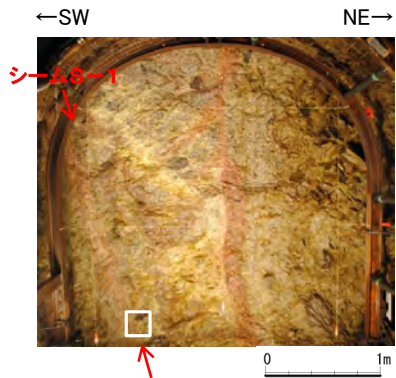
研磨面写真



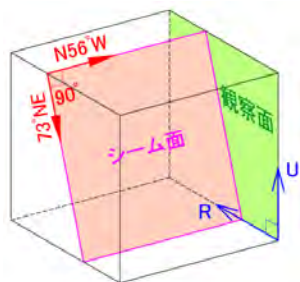
研磨面写真(加筆)



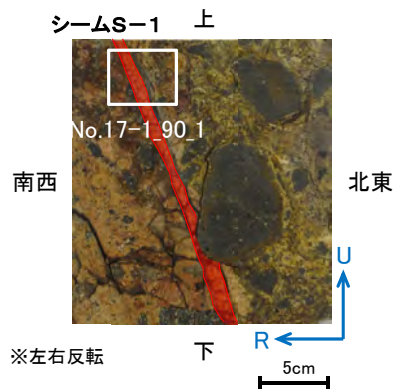
# No.17切羽(薄片 No.17-1\_90\_1)



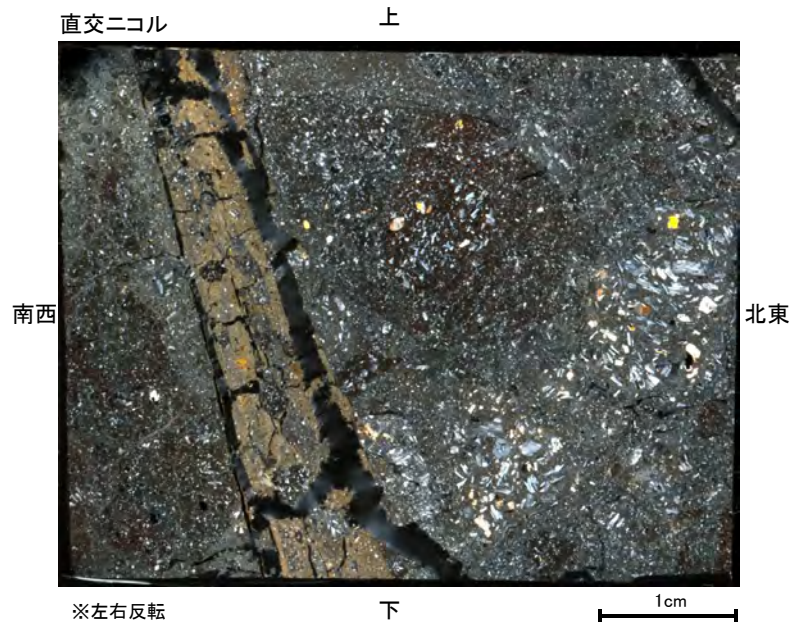
試料採取位置付近 (No.17切羽)



観察面概念図 (No.17-1\_90)

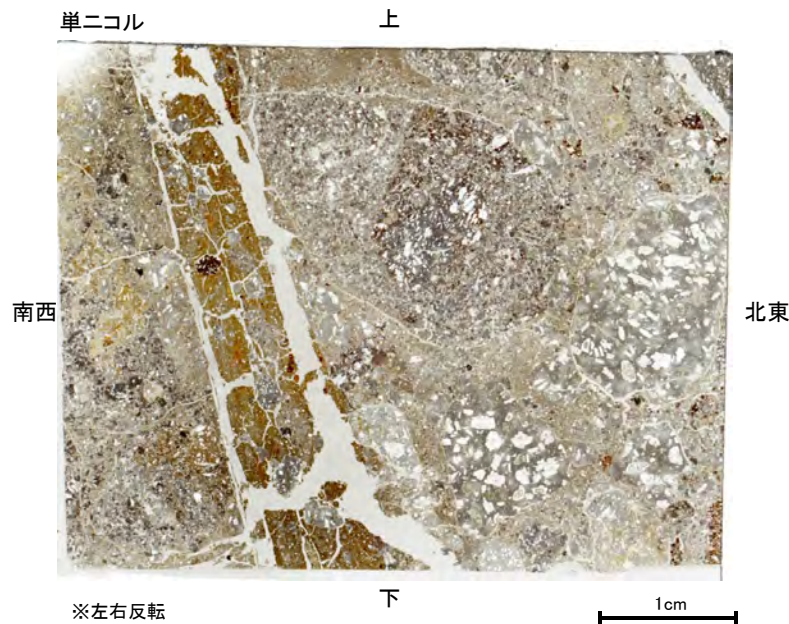
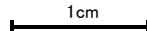


薄片作成位置付近 (No.17-1\_90)



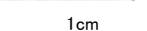
※左右反転

下

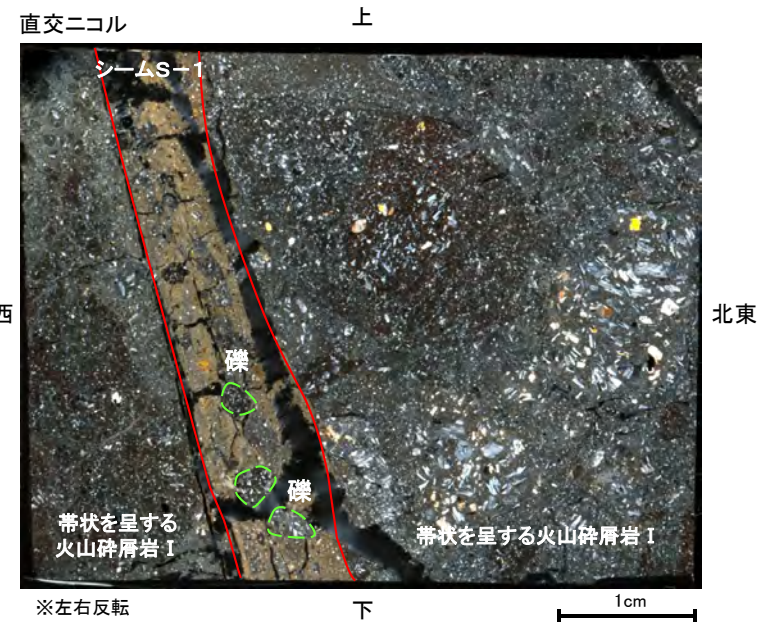


※左右反転

下

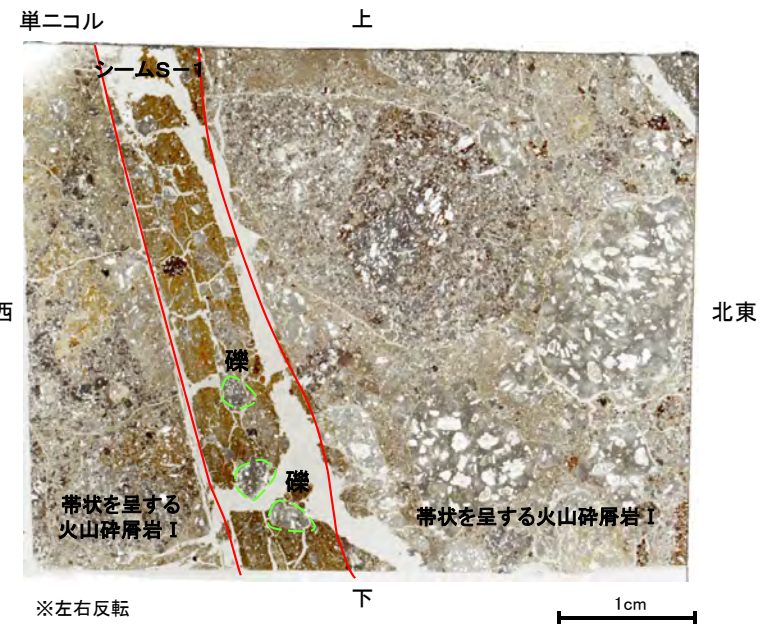


薄片写真



※左右反転

下



※左右反転

下



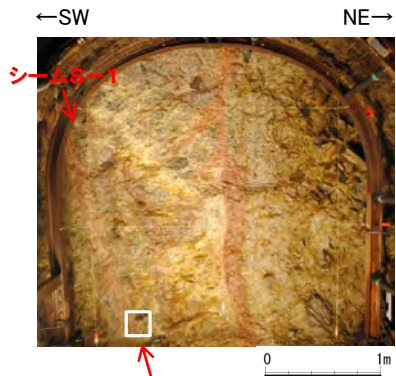
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

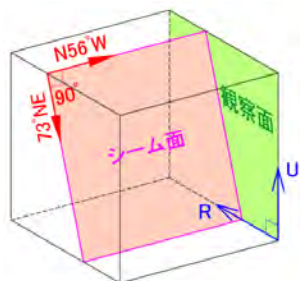
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



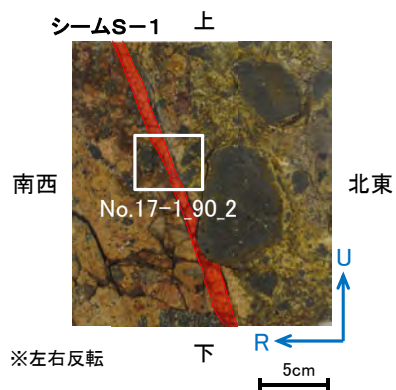
# No.17切羽(薄片 No.17-1\_90\_2)



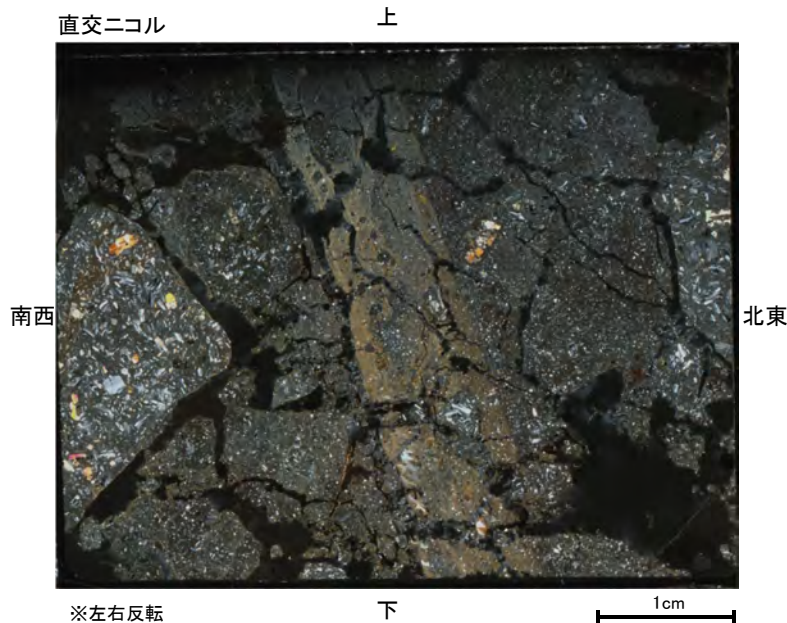
試料採取位置付近 (No.17切羽)



観察面概念図 (No.17-1\_90)

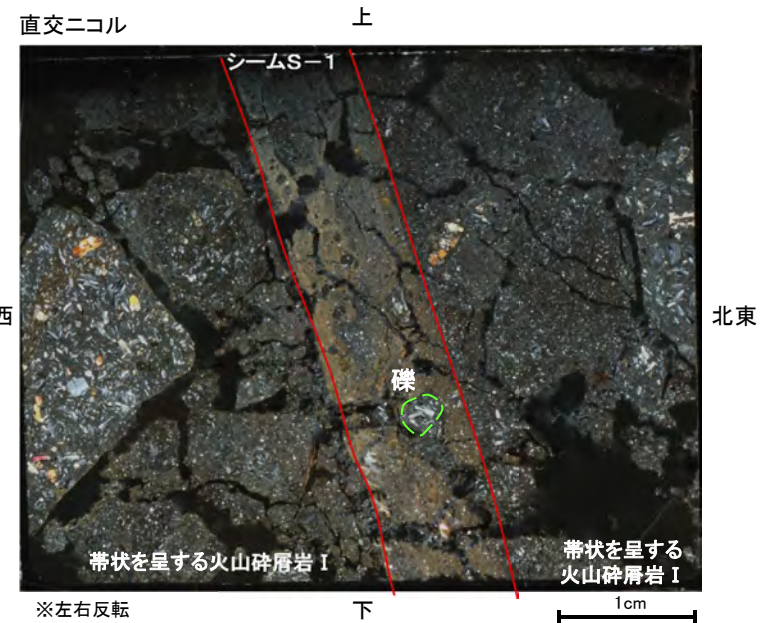
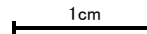


薄片作成位置付近 (No.17-1\_90)



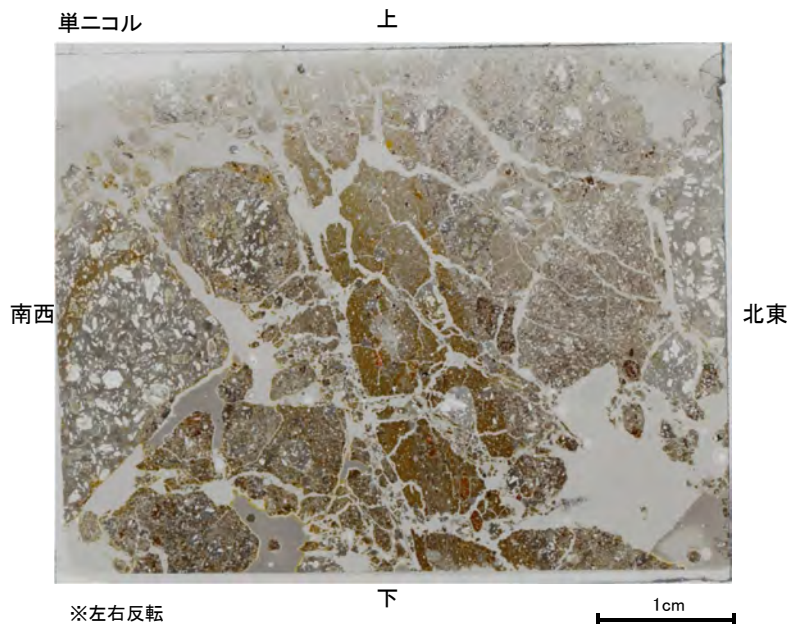
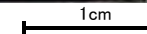
※左右反転

下



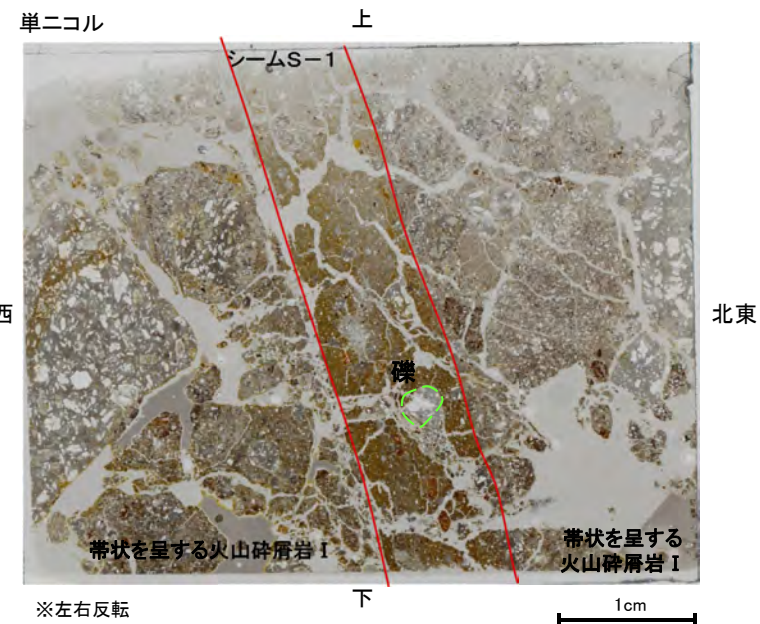
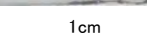
※左右反転

下



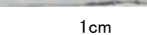
※左右反転

下



※左右反転

下



薄片写真

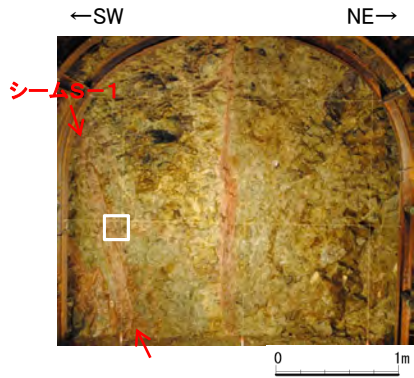
薄片写真(加筆)

・帯状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

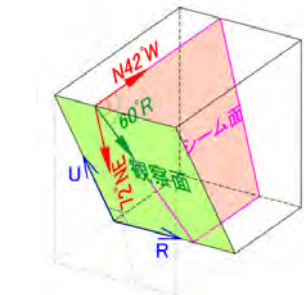
・シームS-1は、帯状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



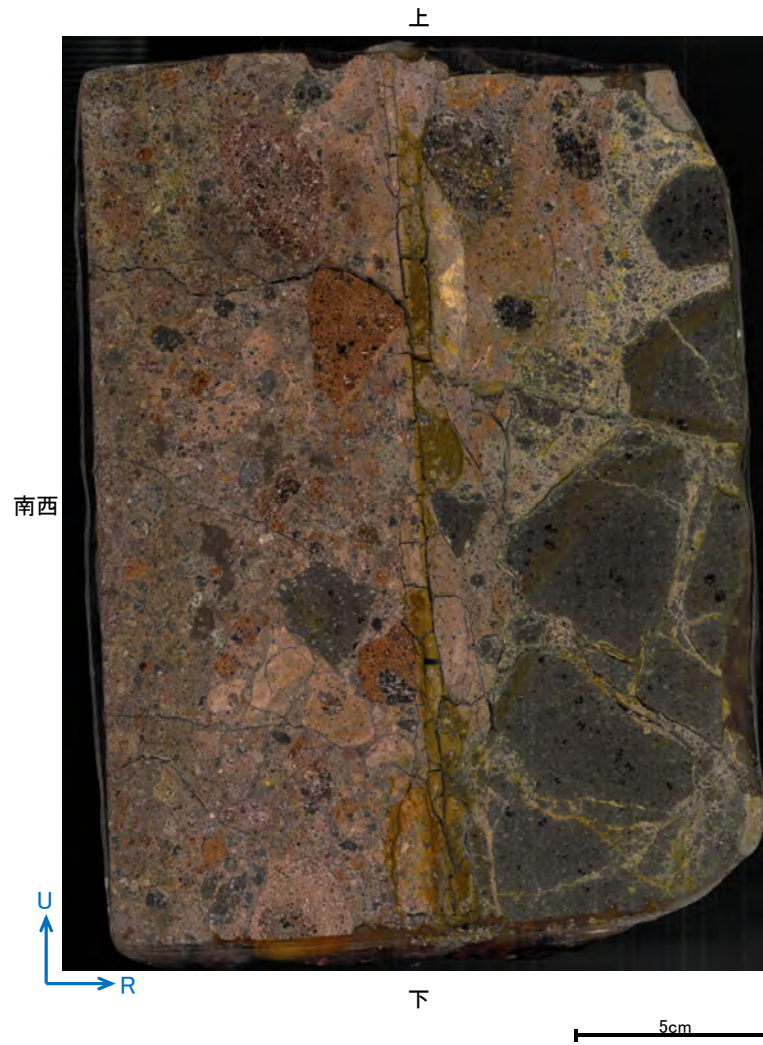
No.18切羽(研磨面 No.18-1\_60R)



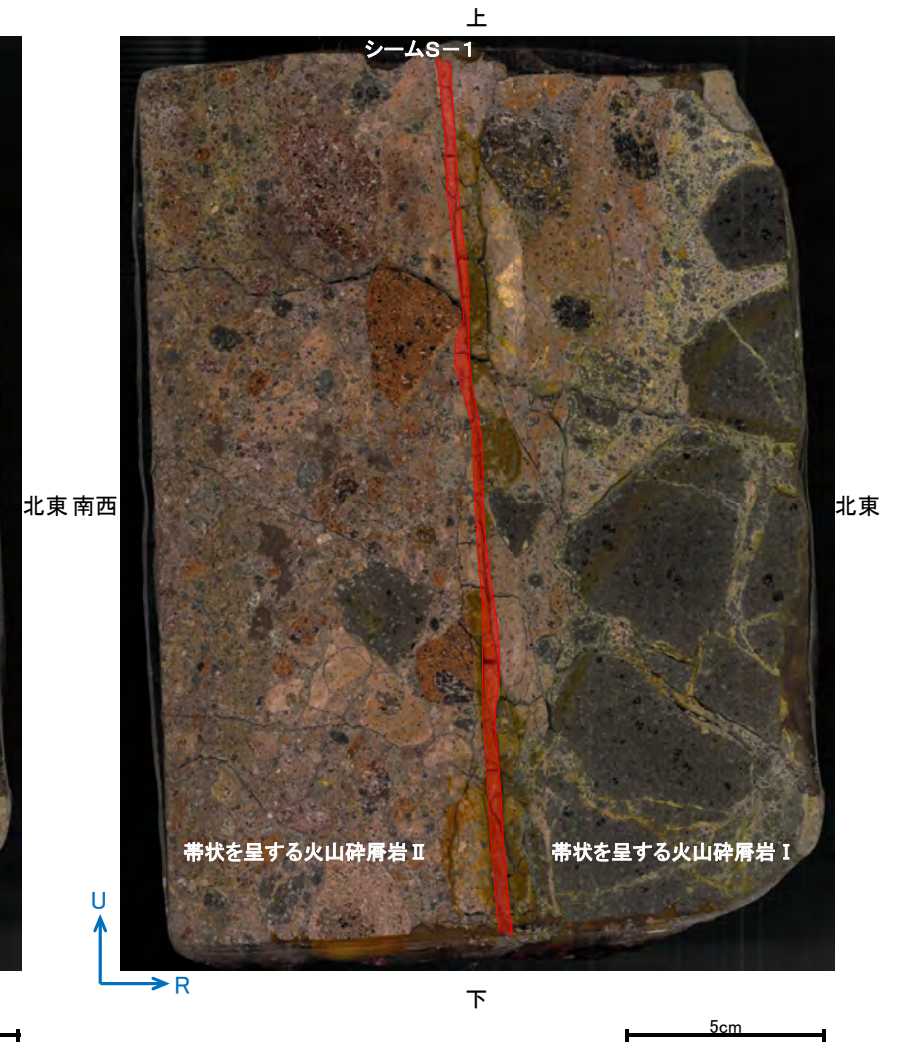
試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-1\_60R)



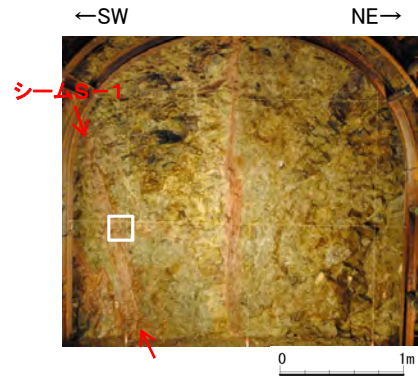
研磨面写真



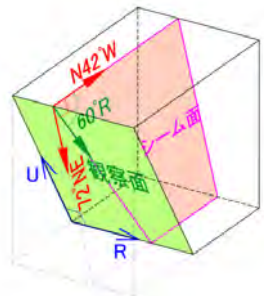
研磨面写真(加筆)



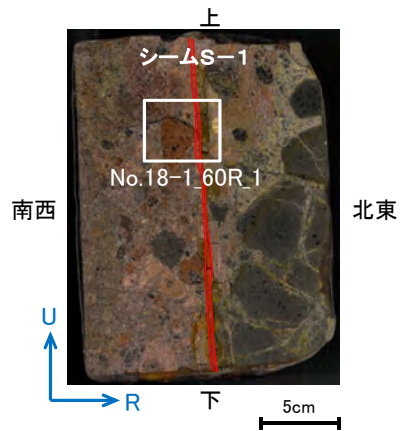
# No.18切羽(薄片 No.18-1\_60R\_1)



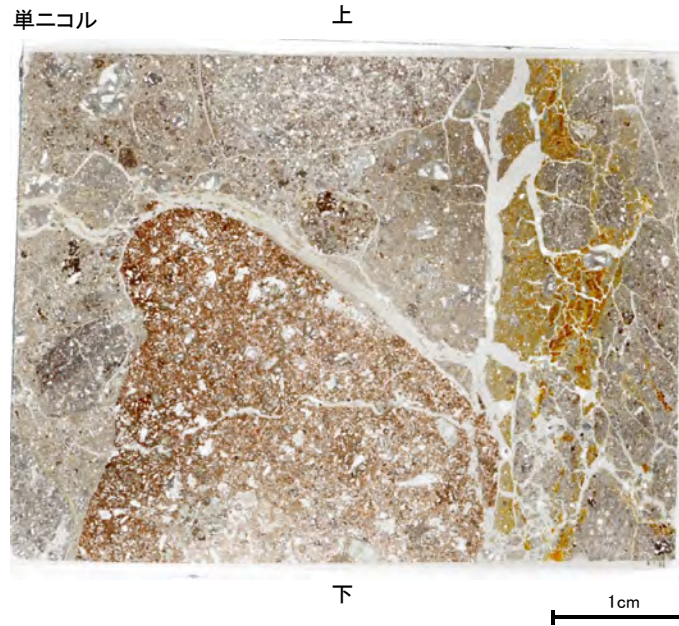
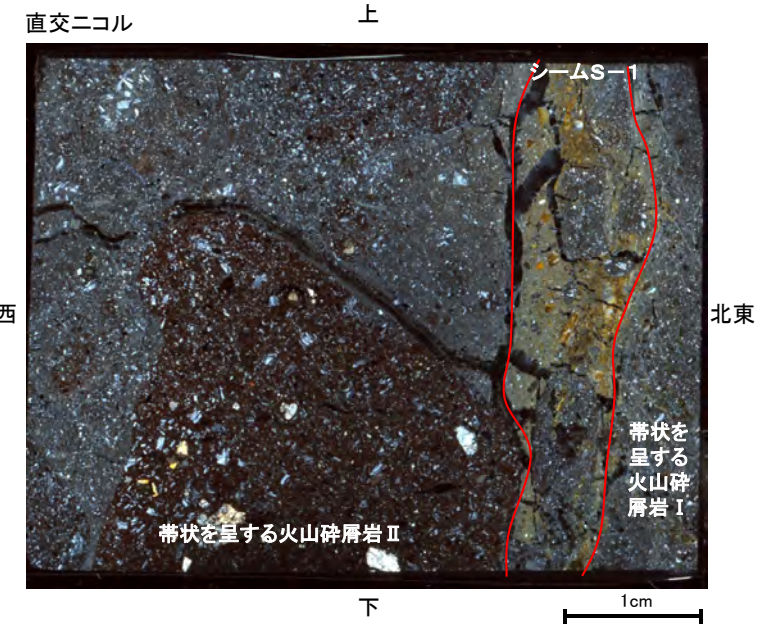
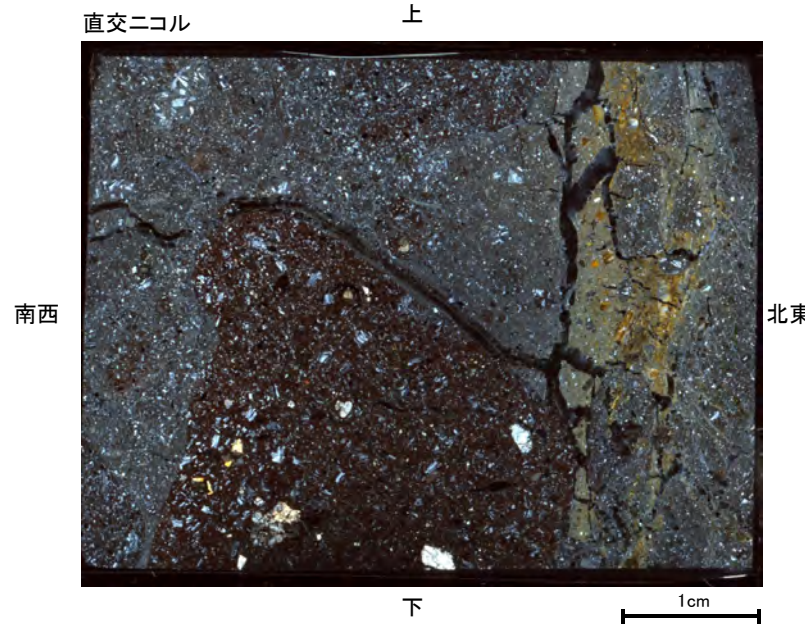
試料採取位置付近(No.18切羽)



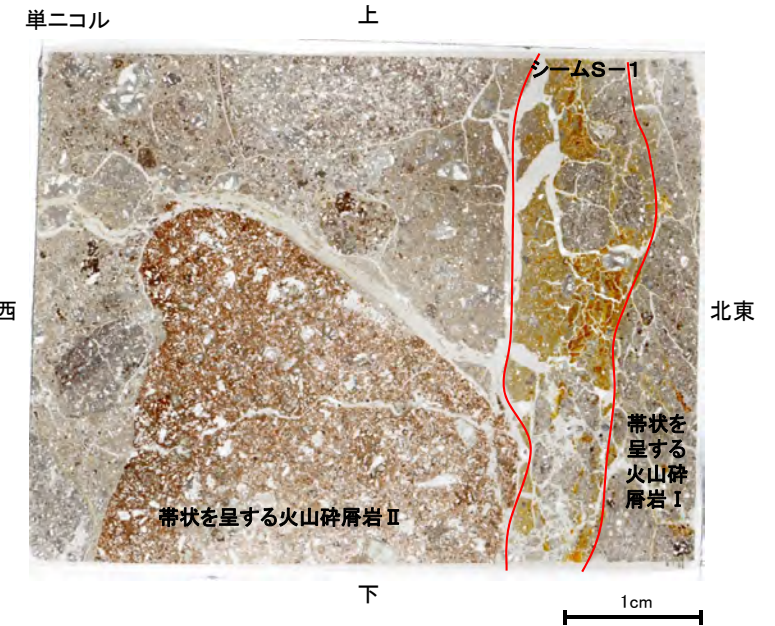
観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)



薄片写真



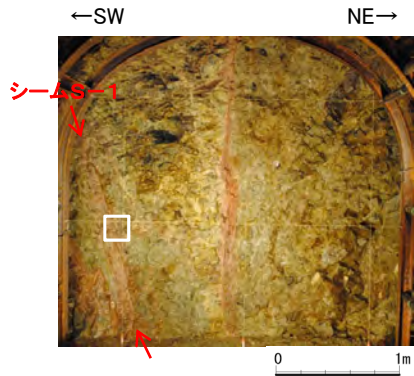
薄片写真(加筆)

・帯状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

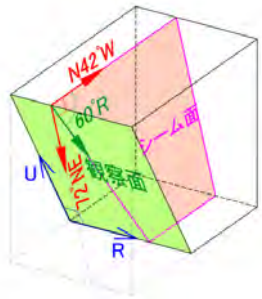
・シームS-1は、帯状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



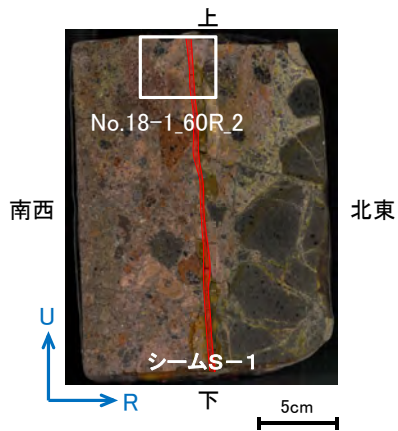
# No.18切羽(薄片 No.18-1\_60R\_2)



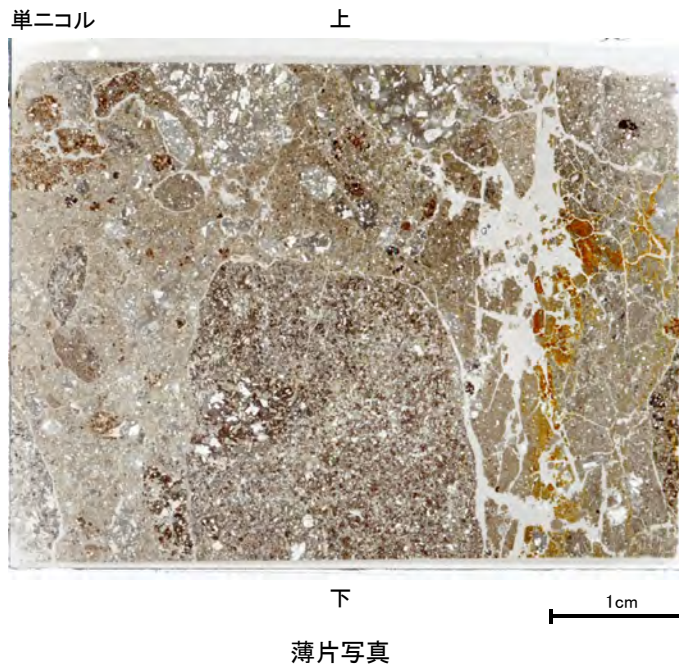
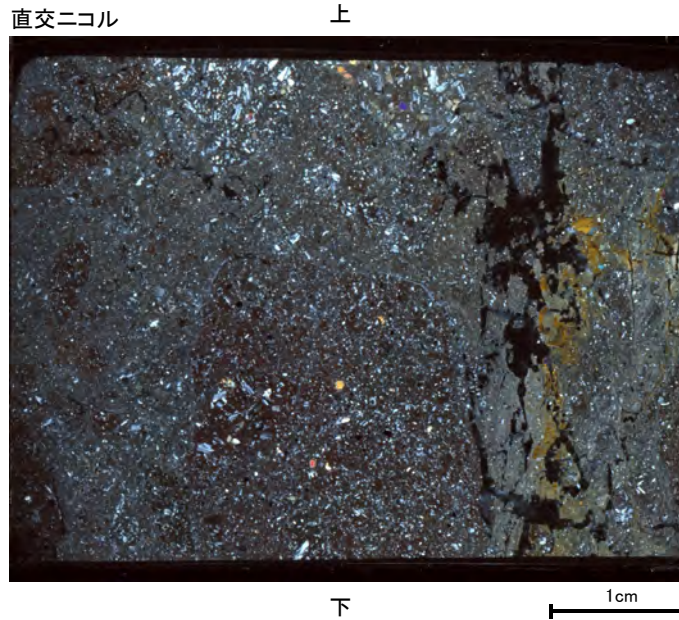
試料採取位置付近(No.18切羽)



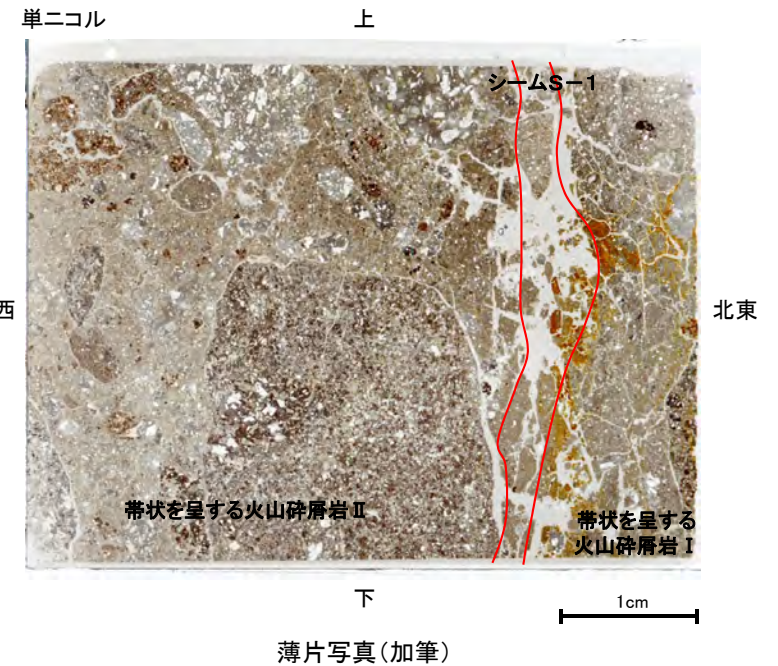
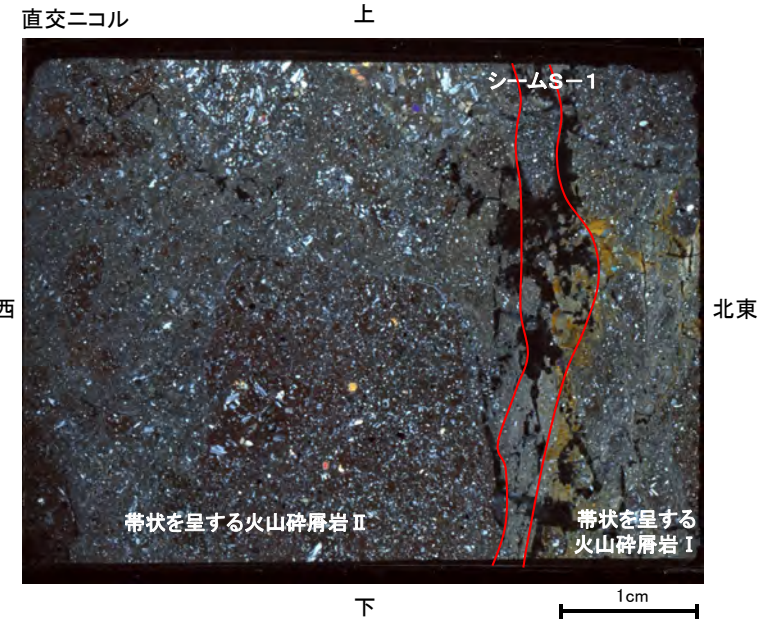
観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)



薄片写真



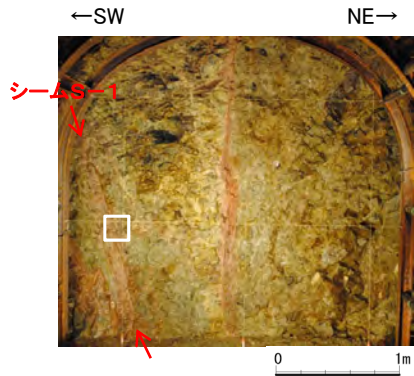
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

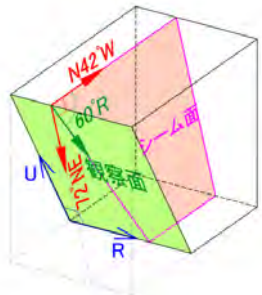
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



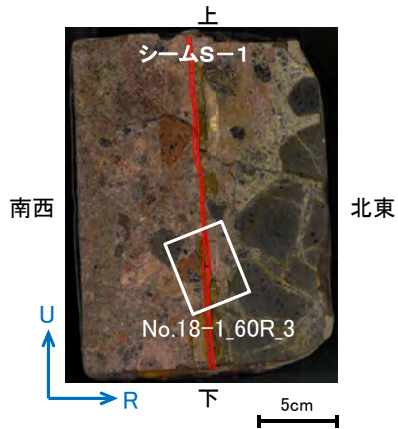
# No.18切羽(薄片 No.18-1\_60R\_3)



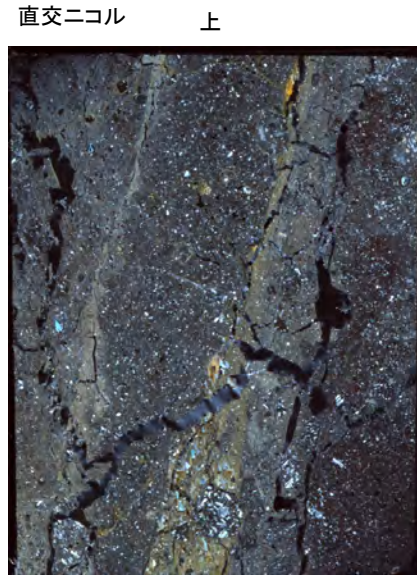
試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.18-1\_60R)



南西

北東

下

1cm



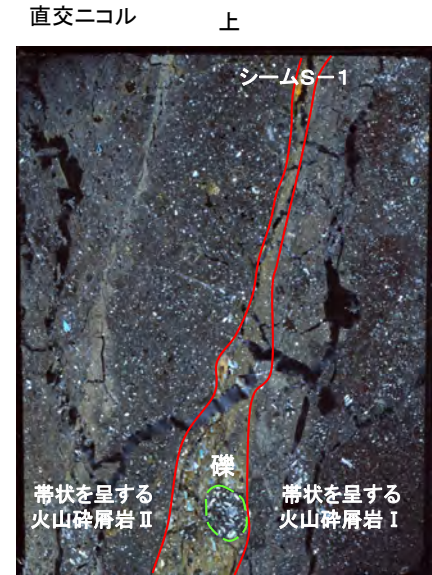
南西

北東

下

1cm

薄片写真



南西

北東

下

1cm



南西

北東

下

1cm

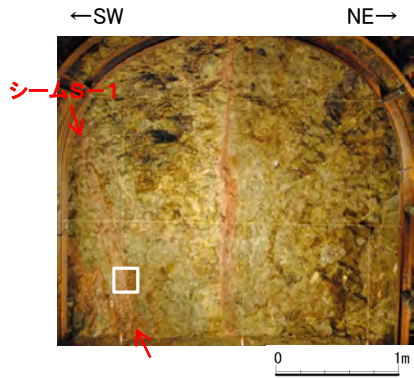
薄片写真(加筆)

・帯状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

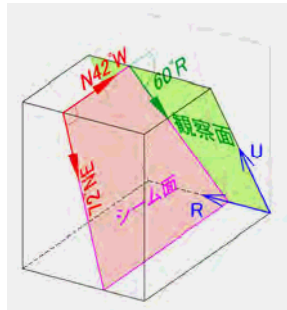
・シームS-1は、帯状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



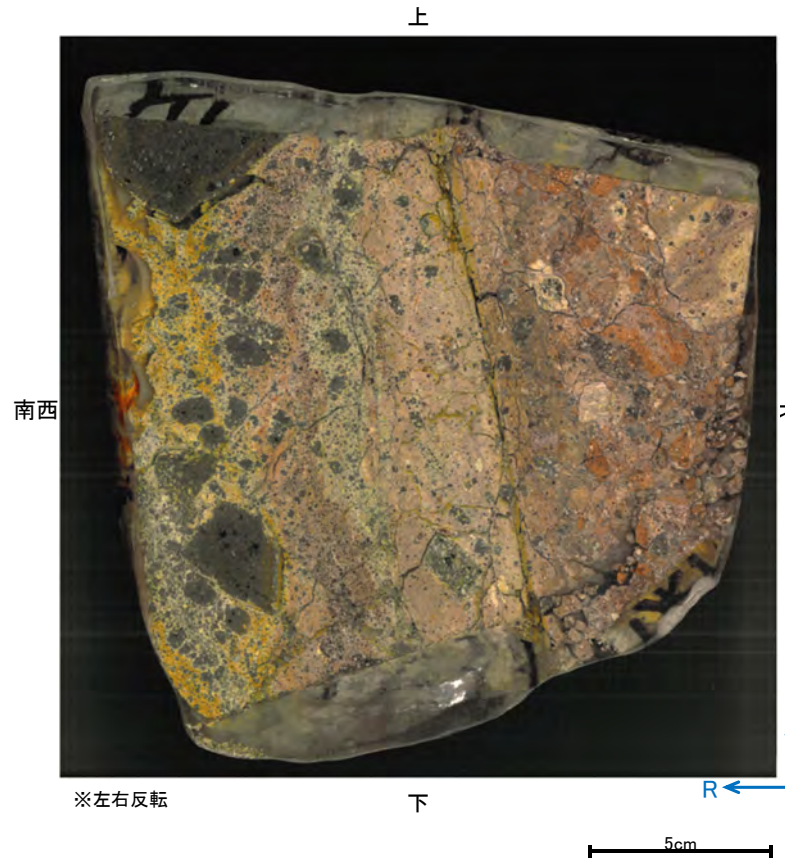
No.18切羽(研磨面 No.18-2\_60R)



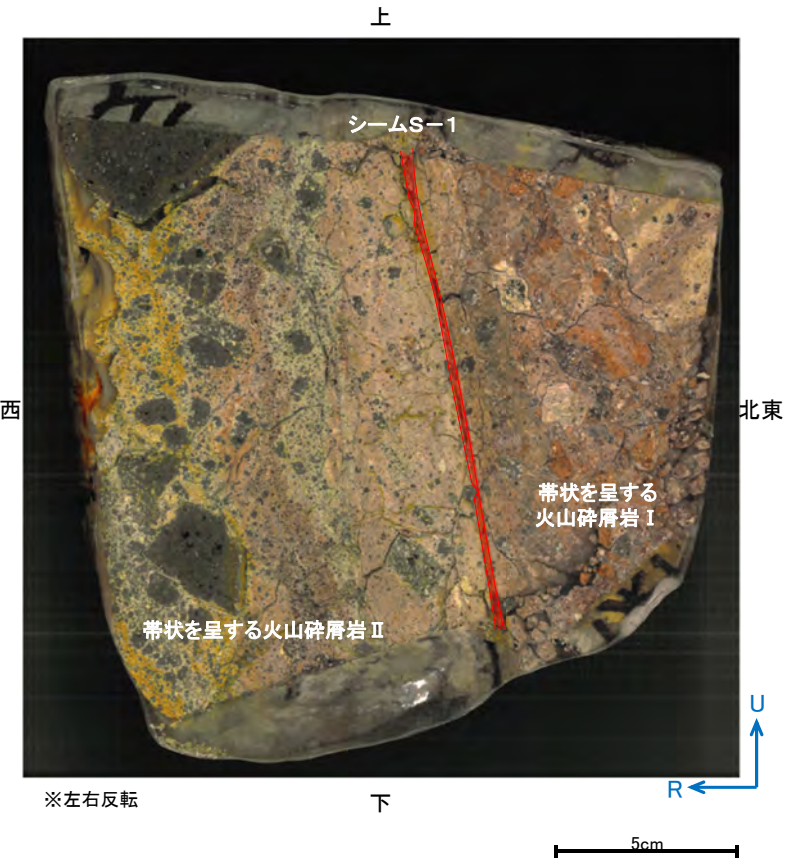
試料採取位置付近(No.18切羽)



観察面概念図(No.18-2\_60R)



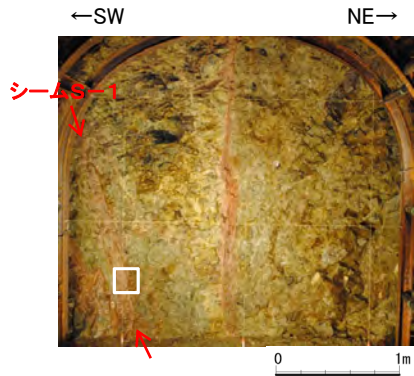
研磨面写真



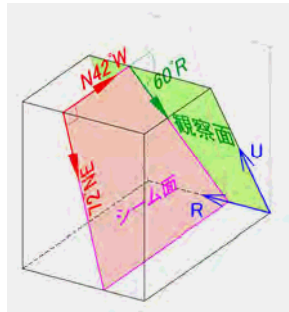
研磨面写真(加筆)



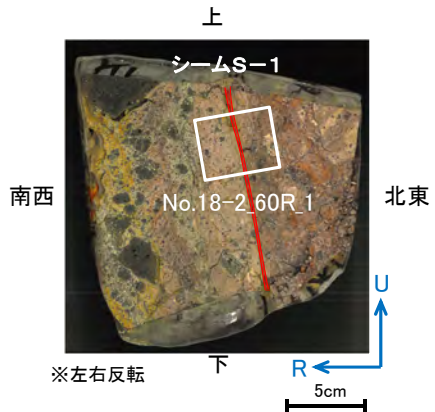
# No.18切羽(薄片 No.18-2\_60R\_1)



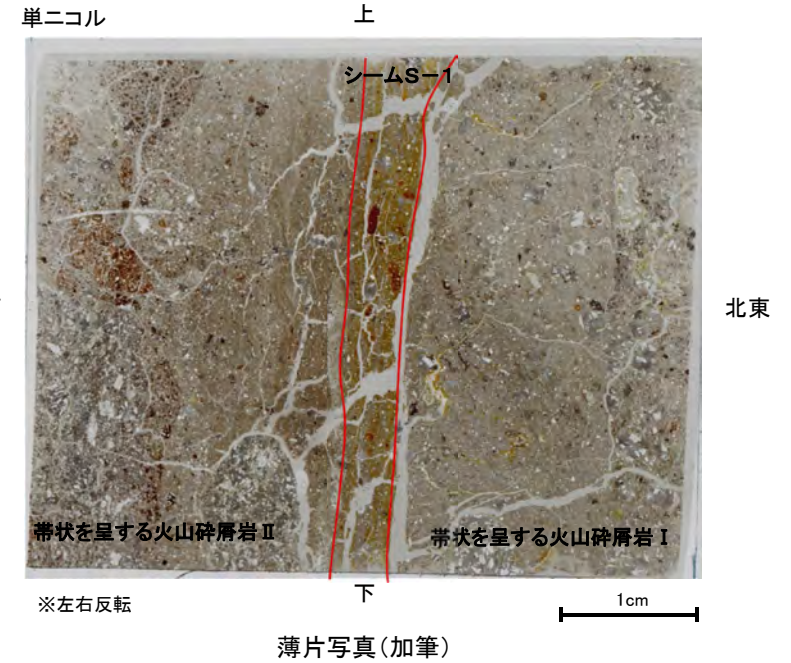
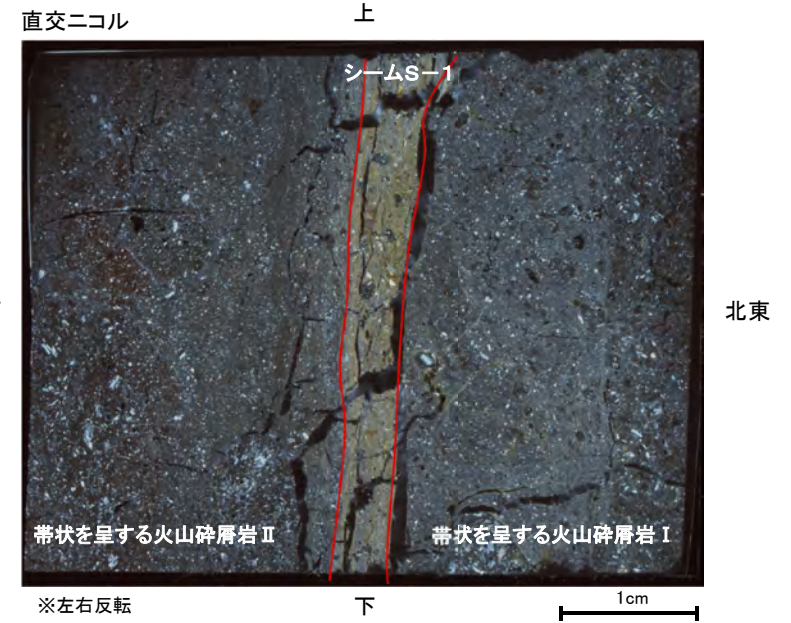
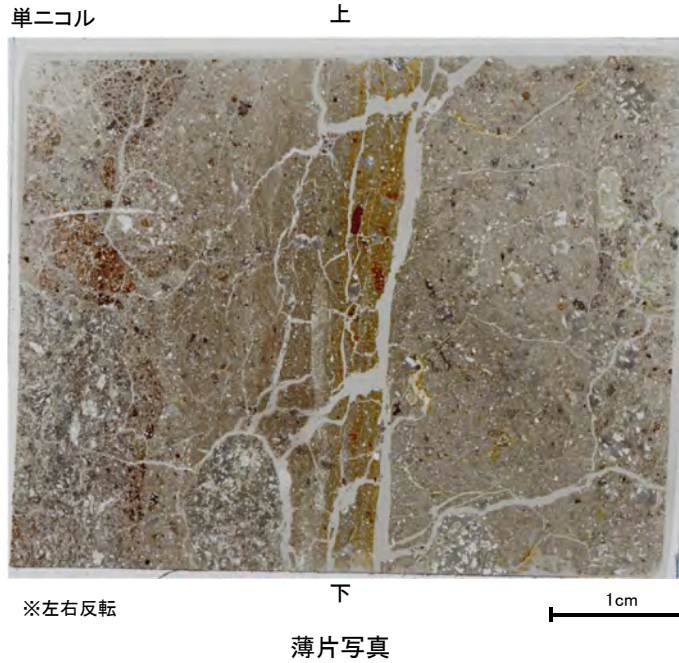
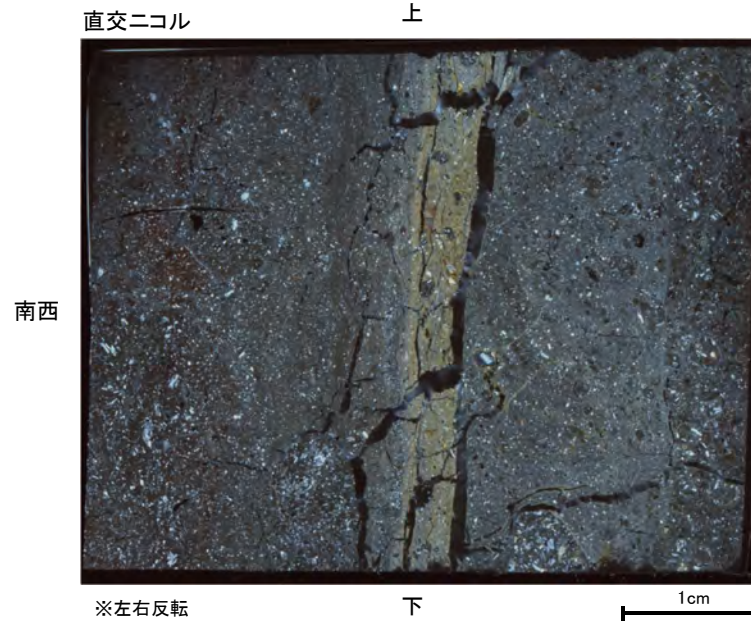
試料採取位置付近 (No.18切羽)



観察面概念図 (No.18-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.18-2\_60R)

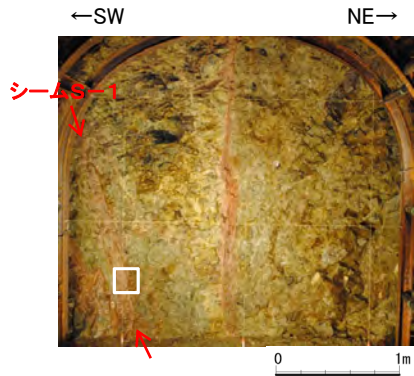


・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

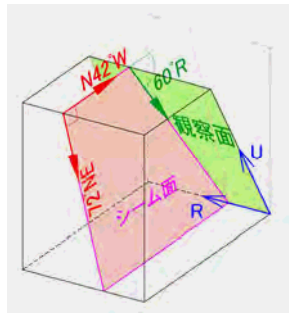
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



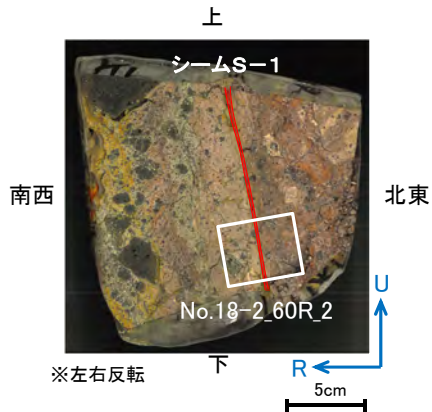
# No.18切羽(薄片 No.18-2\_60R\_2)



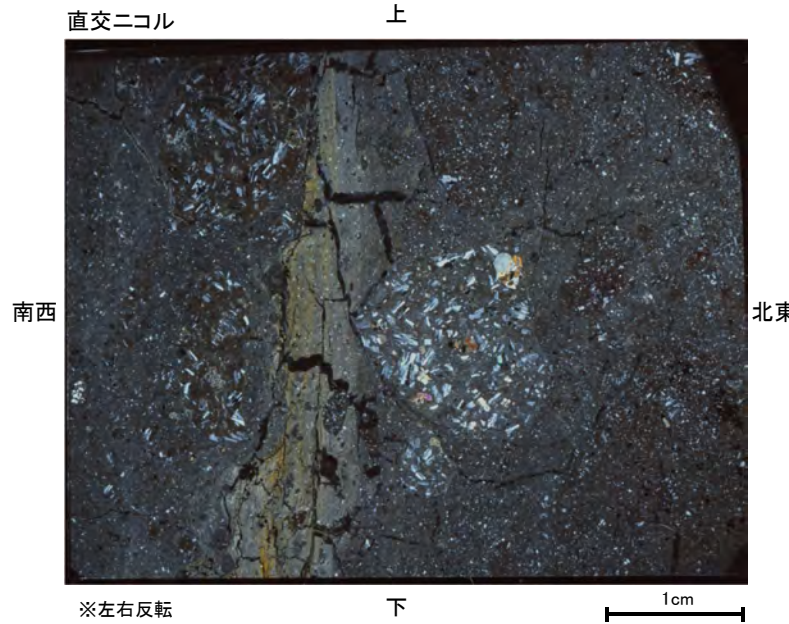
試料採取位置付近 (No.18切羽)



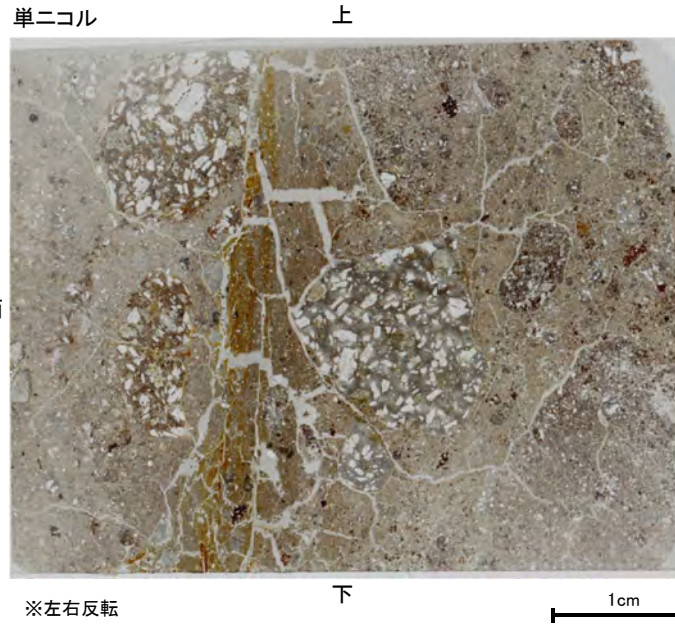
観察面概念図 (No.18-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.18-2\_60R)

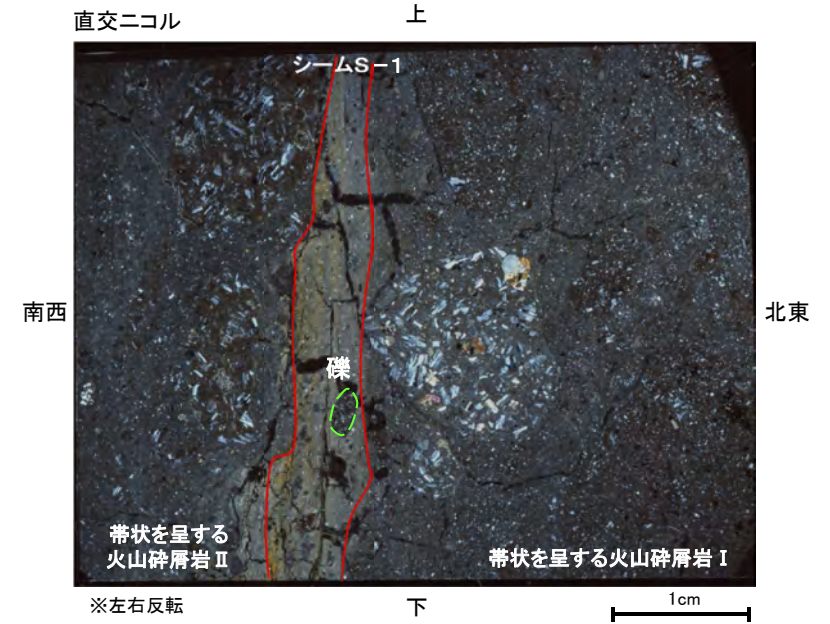


※左右反転

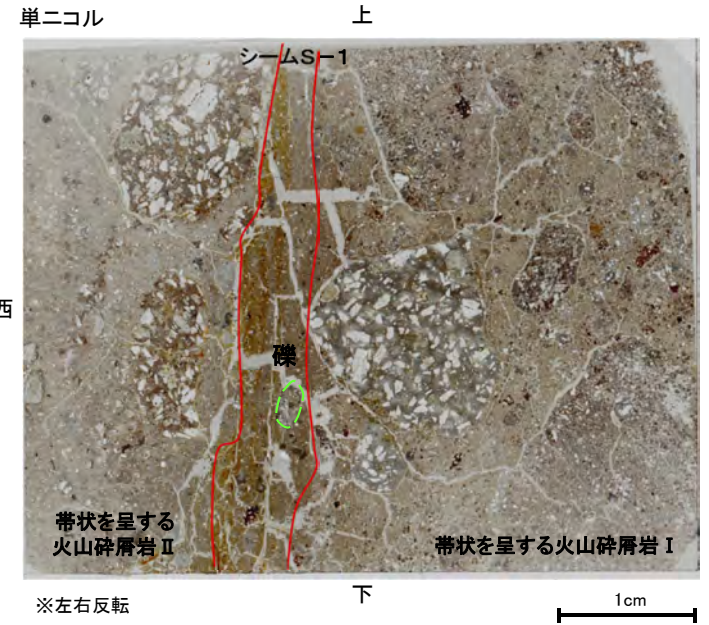


※左右反転

薄片写真



※左右反転



※左右反転

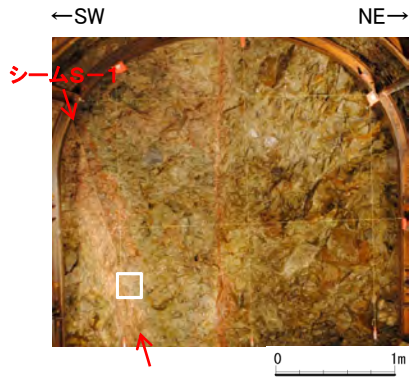
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

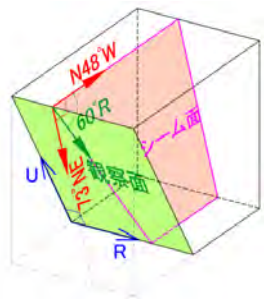
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



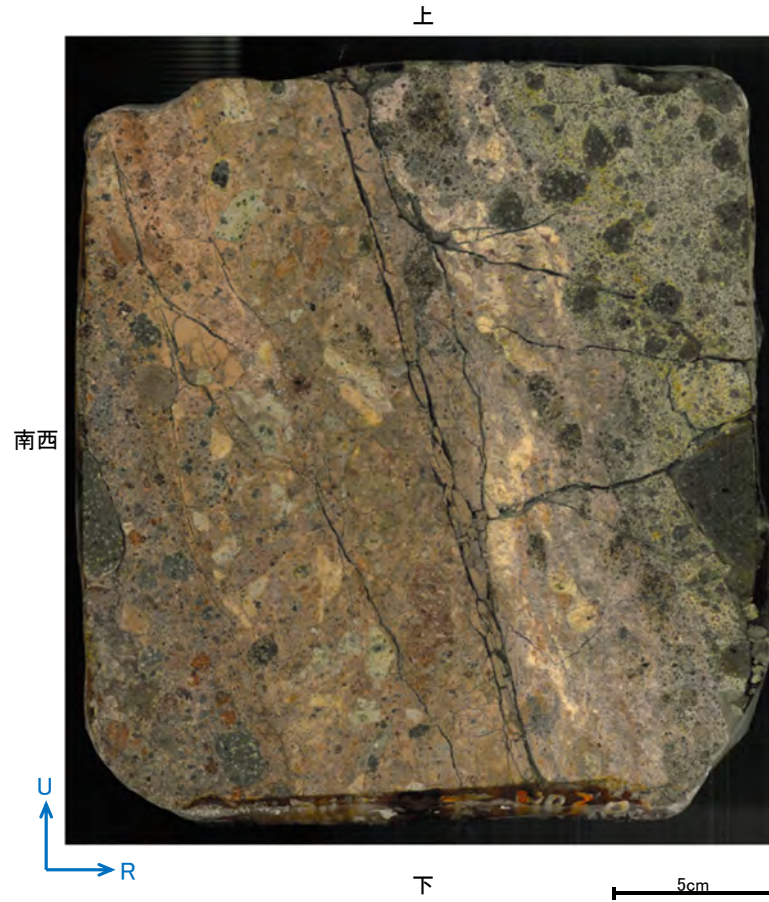
No.20切羽(研磨面 No.20-2\_60R)



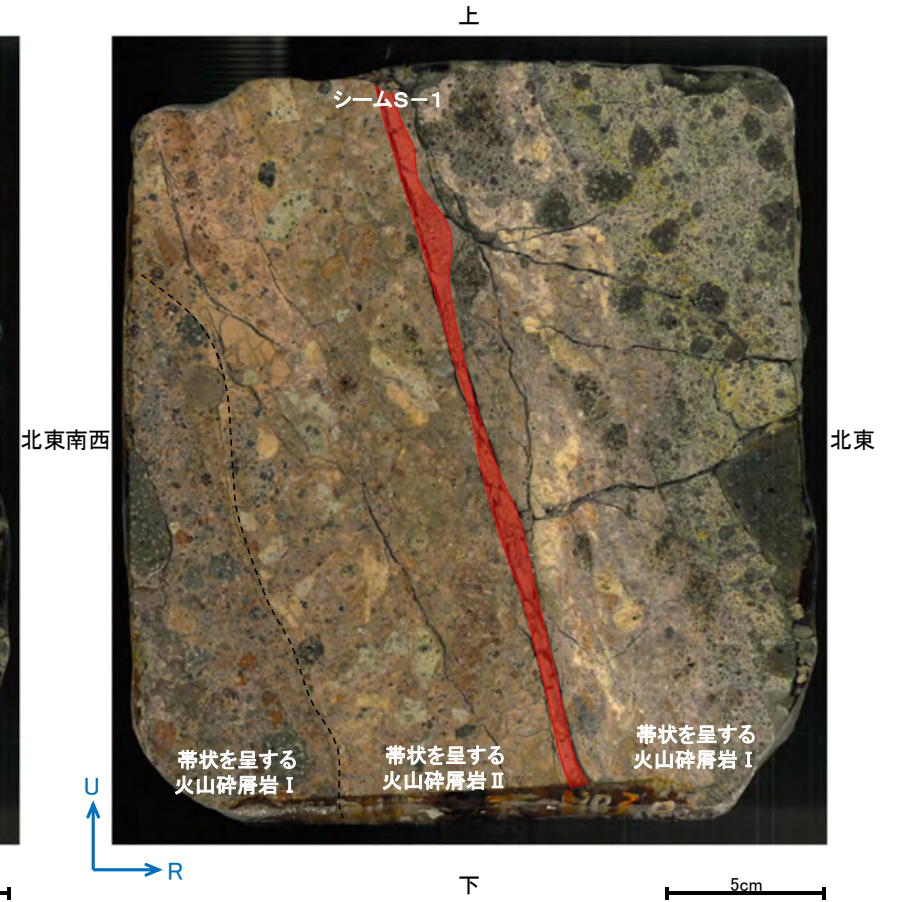
試料採取位置付近(No.20切羽)



観察面概念図(No.20-2\_60R)



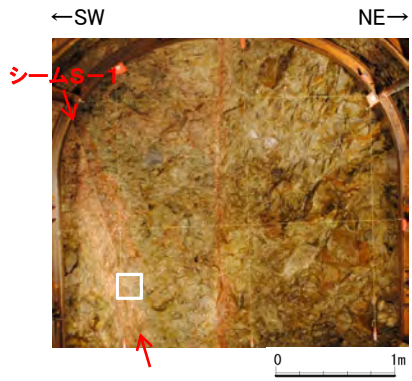
研磨面写真



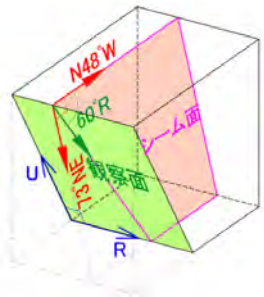
研磨面写真(加筆)



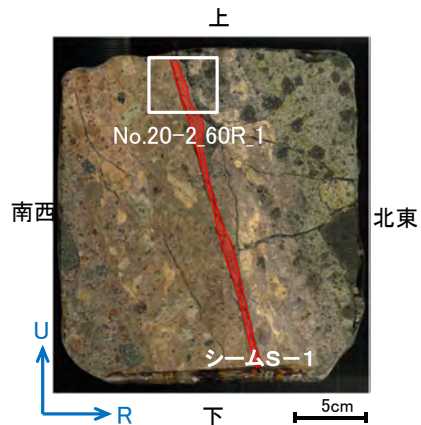
# No.20切羽(薄片 No.20-2\_60R\_1)



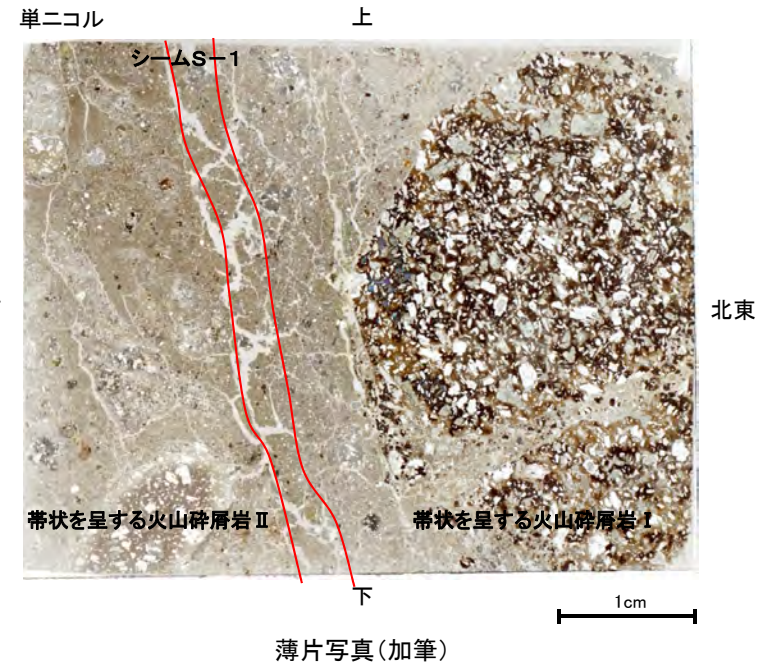
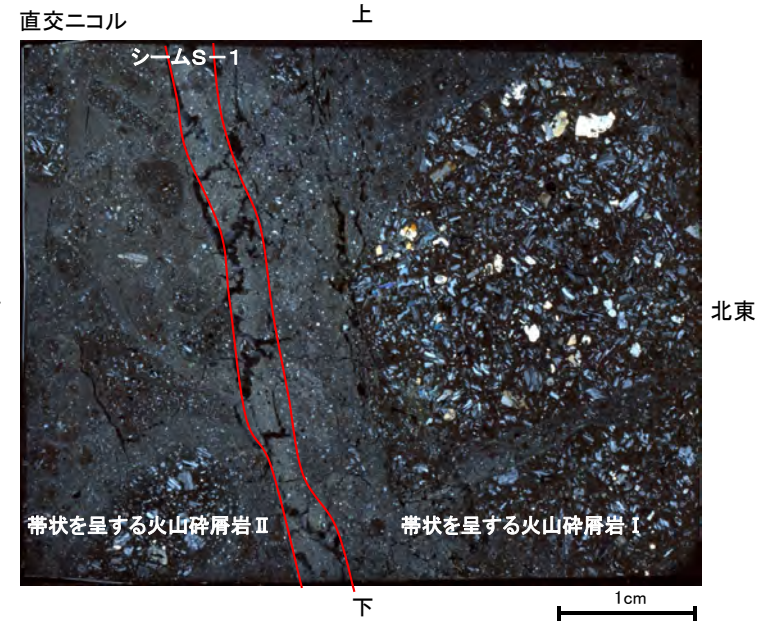
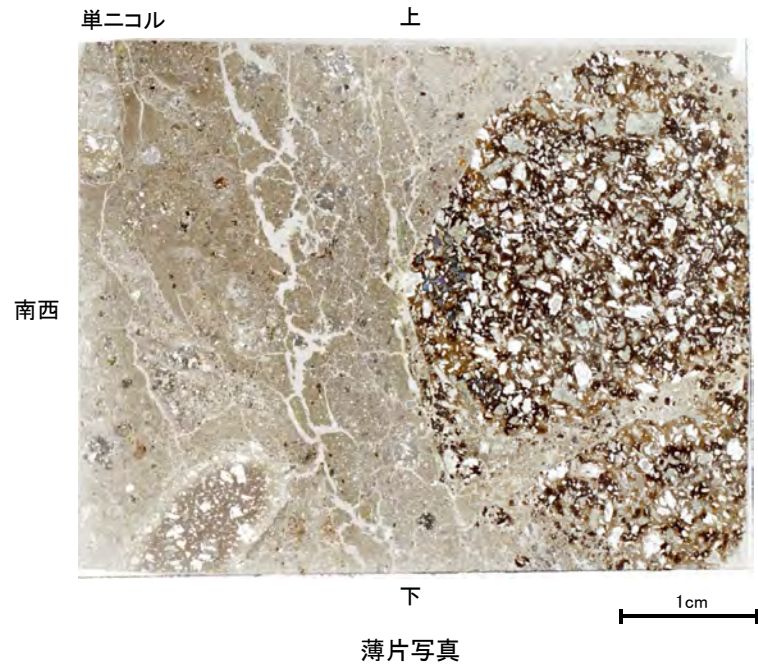
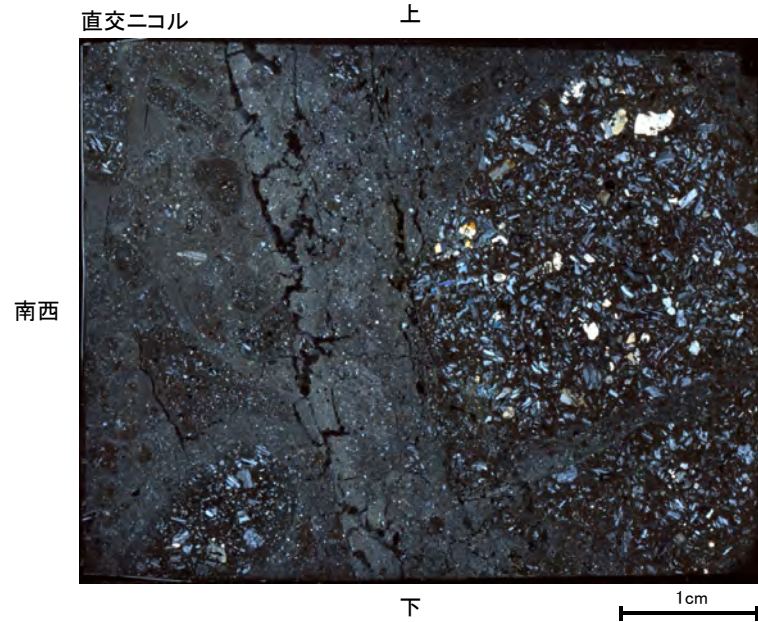
試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.20-2\_60R)

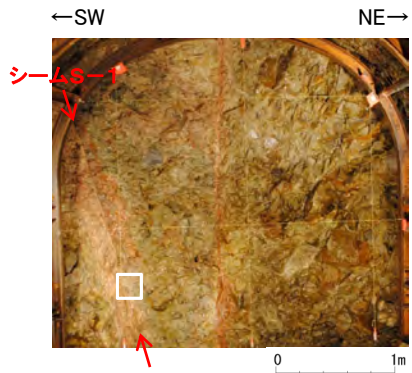


・帯状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

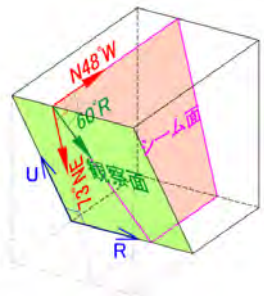
・シームS-1は、帯状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



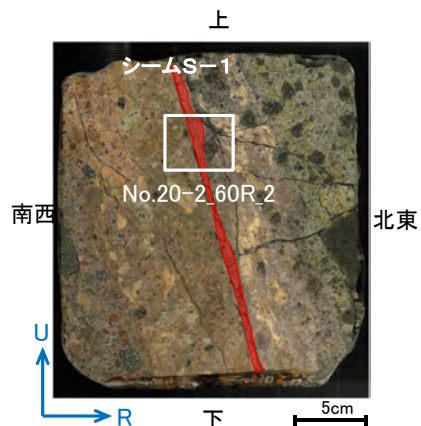
# No.20切羽(薄片 No.20-2\_60R\_2)



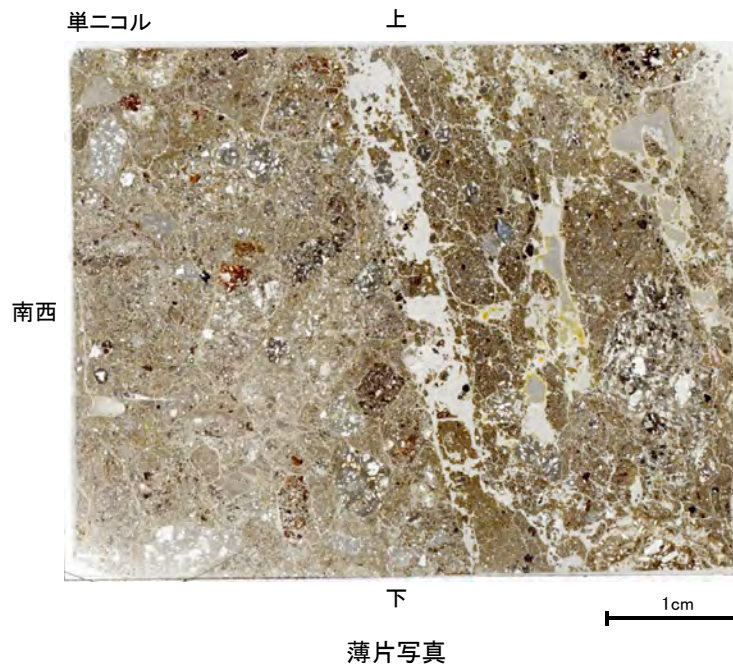
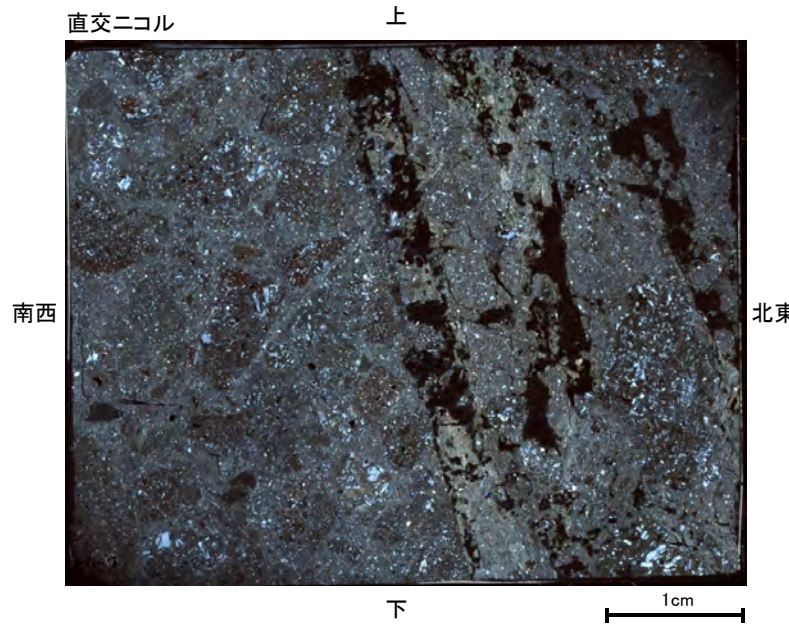
試料採取位置付近 (No.20切羽)



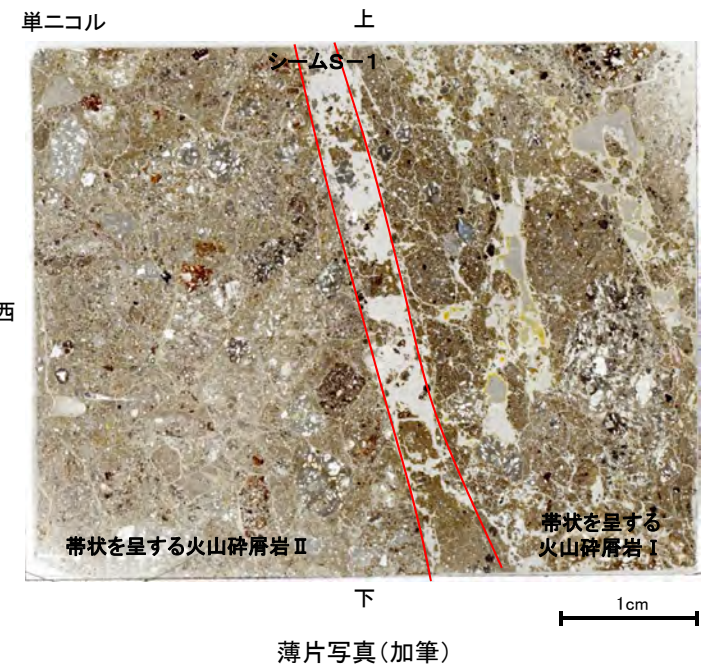
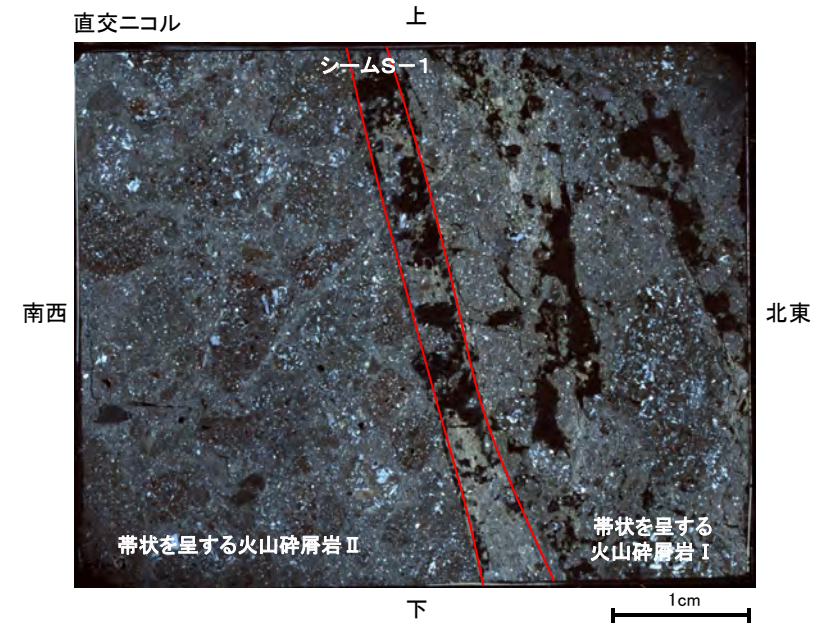
観察面概念図 (No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.20-2\_60R)



薄片写真



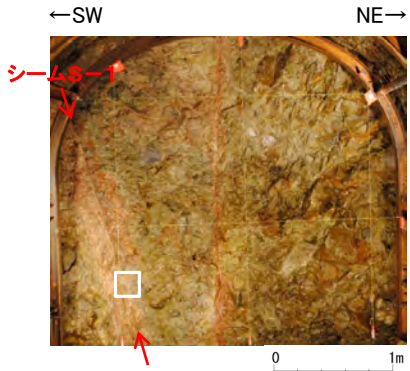
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

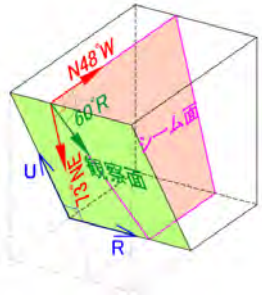
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



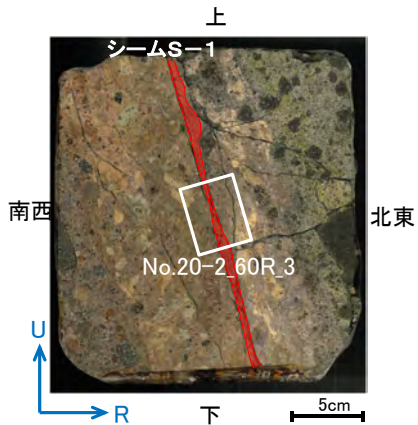
# No.20切羽(薄片 No.20-2\_60R\_3)



試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.20-2\_60R)

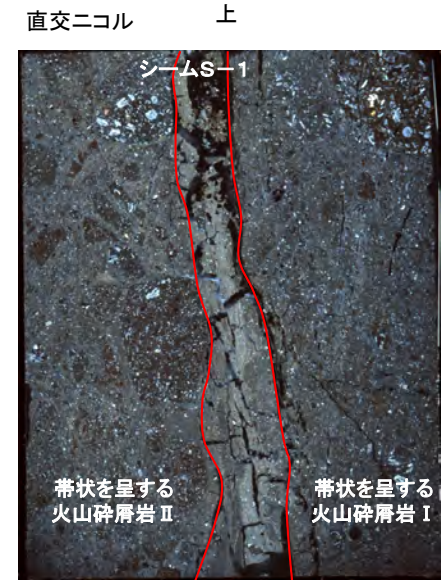


直交ニコル 上  
下 1cm

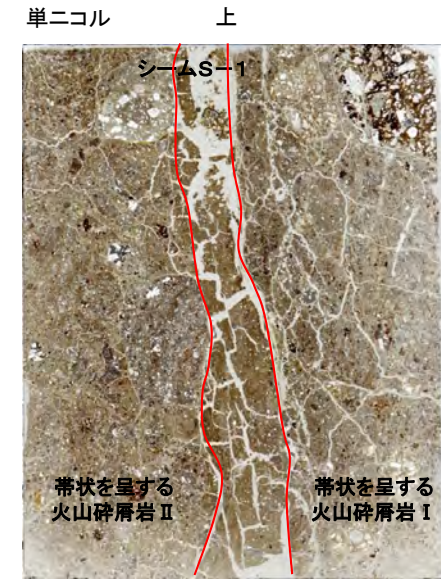


単ニコル 上  
下 1cm

薄片写真



直交ニコル 上  
下 1cm



単ニコル 上  
下 1cm

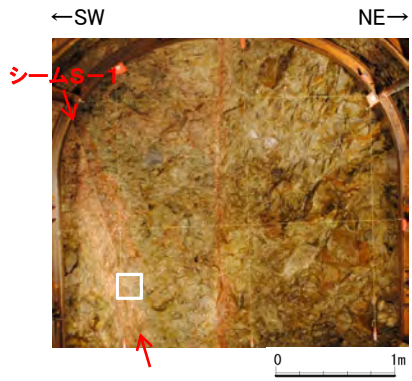
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

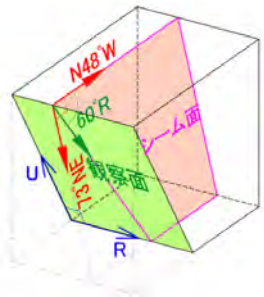
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



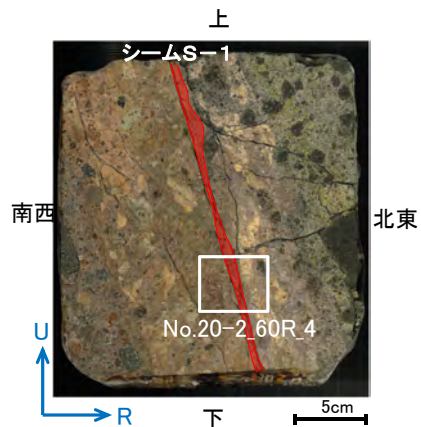
# No.20切羽(薄片 No.20-2\_60R\_4)



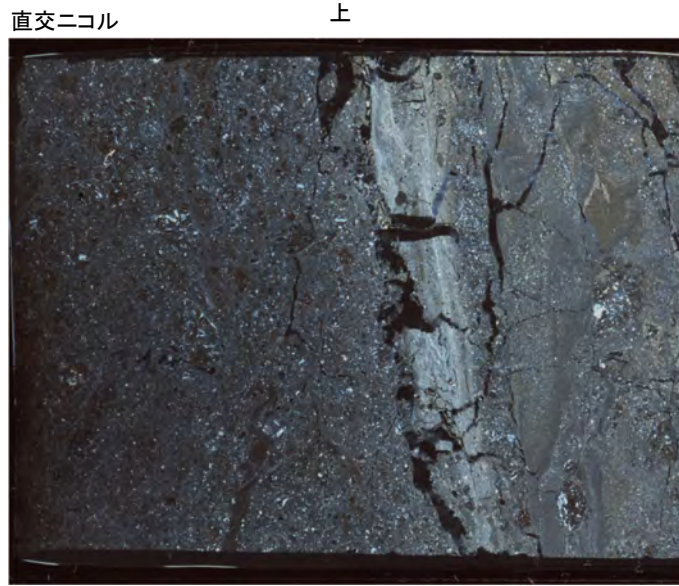
試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-2\_60R)

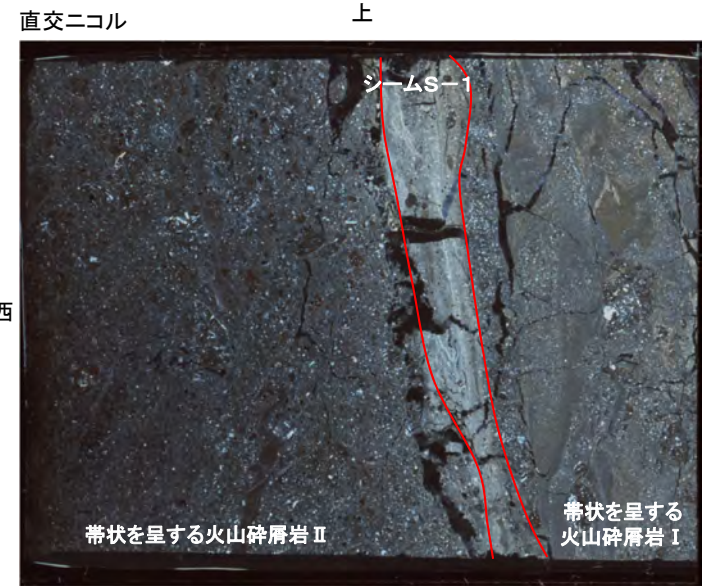
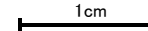


薄片作成位置付近 (No.20-2\_60R)



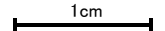
※左右反転

下



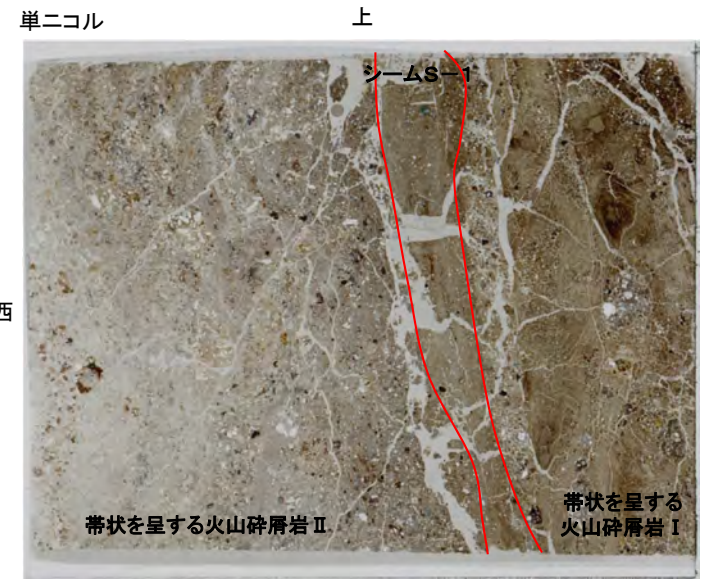
※左右反転

下



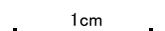
※左右反転

下



※左右反転

下



薄片写真

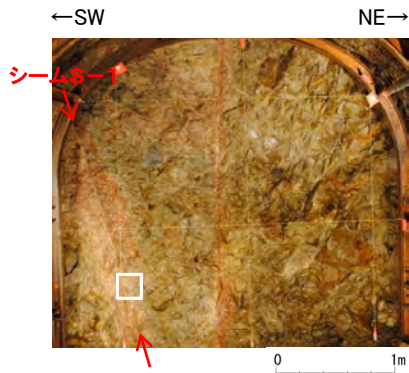
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

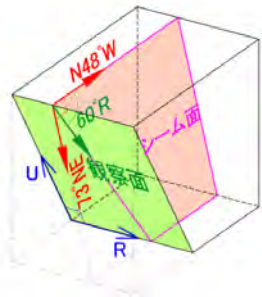
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



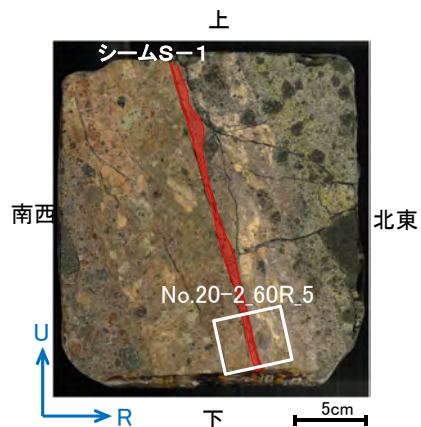
# No.20切羽(薄片 No.20-2\_60R\_5)



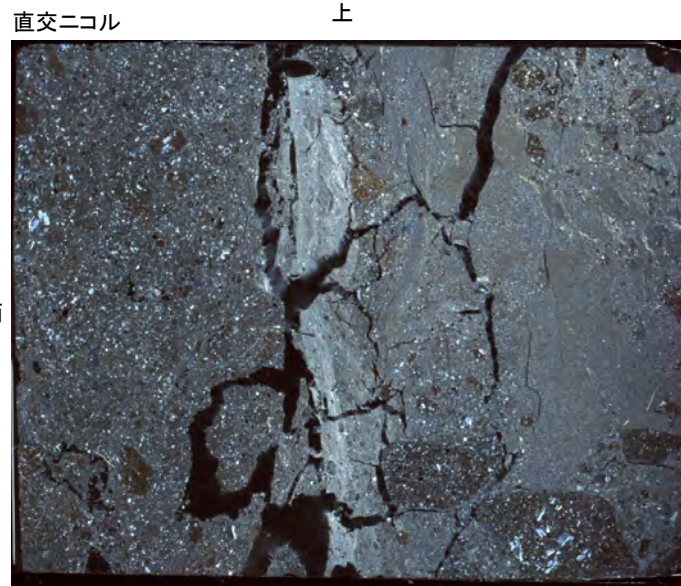
試料採取位置付近 (No.20切羽)



観察面概念図 (No.20-2\_60R)

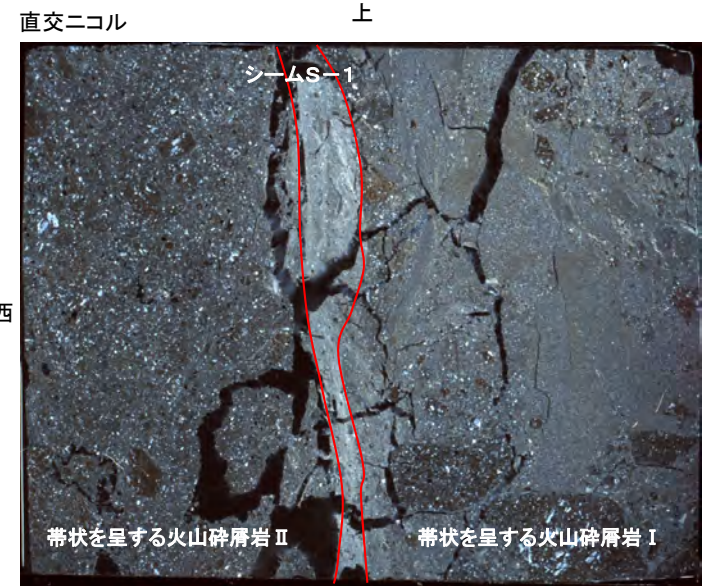
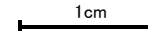


薄片作成位置付近 (No.20-2\_60R)



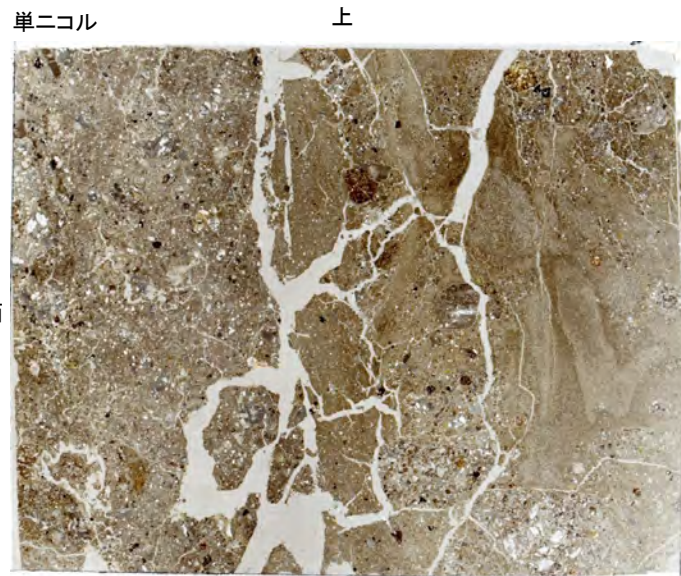
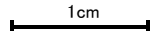
※左右反転

下



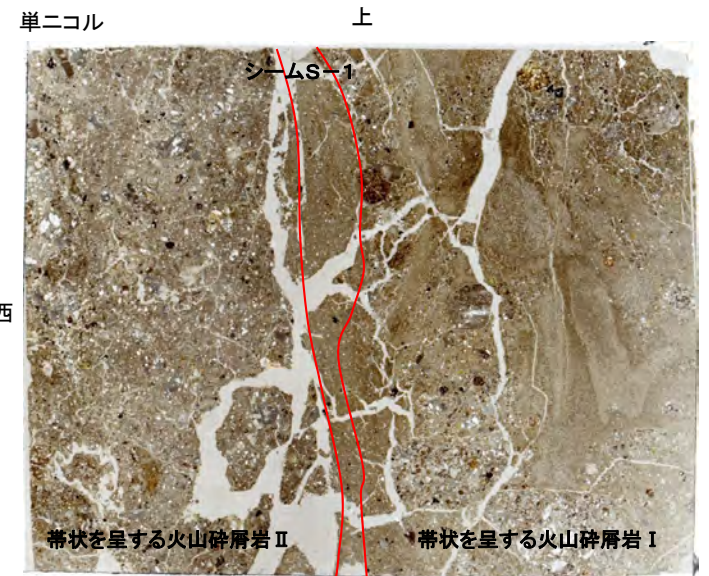
※左右反転

下



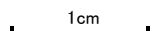
※左右反転

下



※左右反転

下



薄片写真

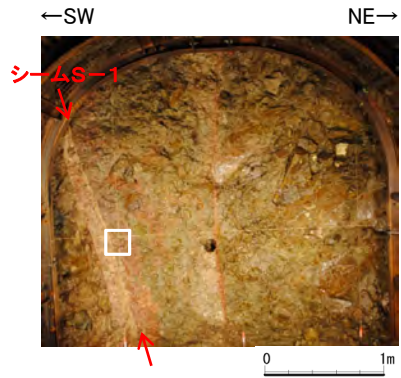
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

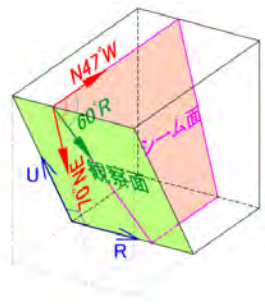
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



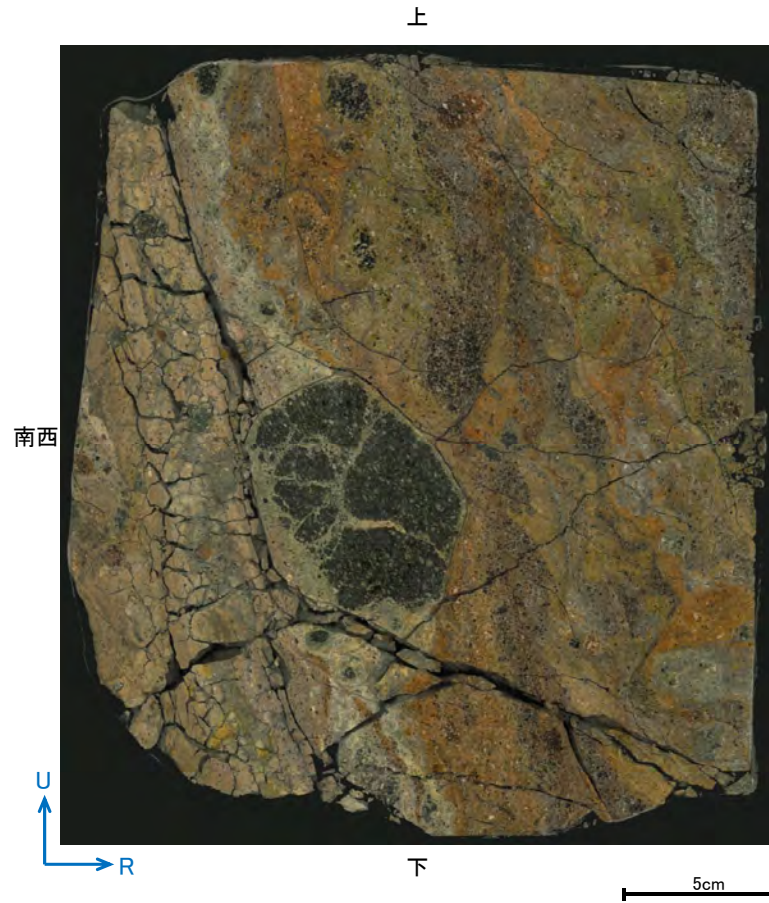
No.21切羽(研磨面 No.21-1\_60R)



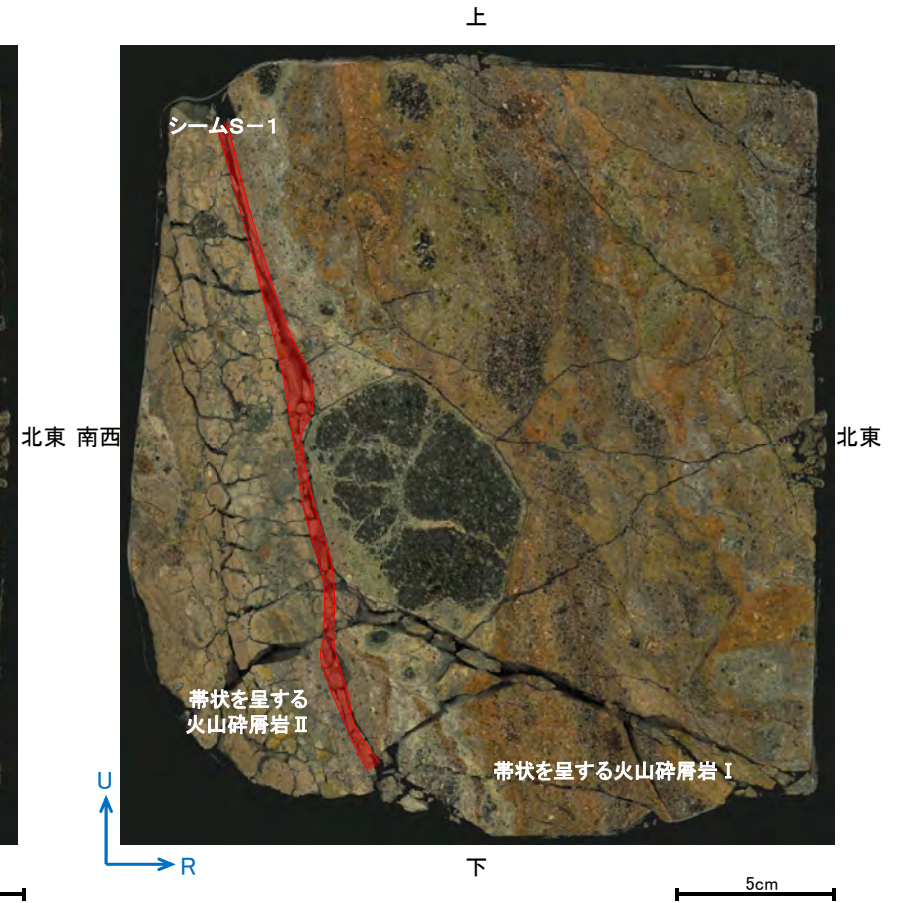
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-1\_60R)



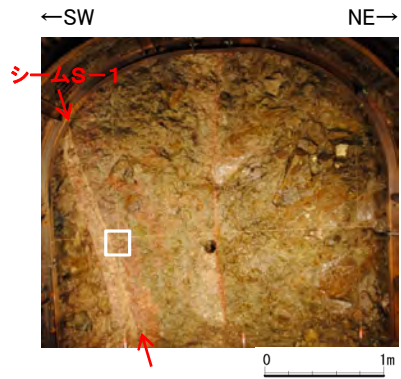
研磨面写真



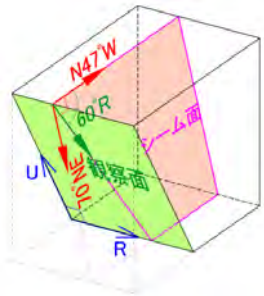
研磨面写真(加筆)



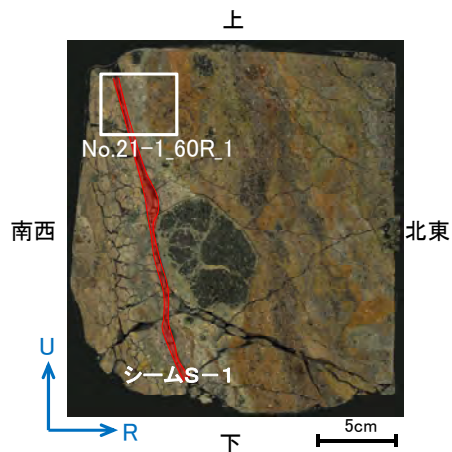
# No.21切羽(薄片 No.21-1\_60R\_1)



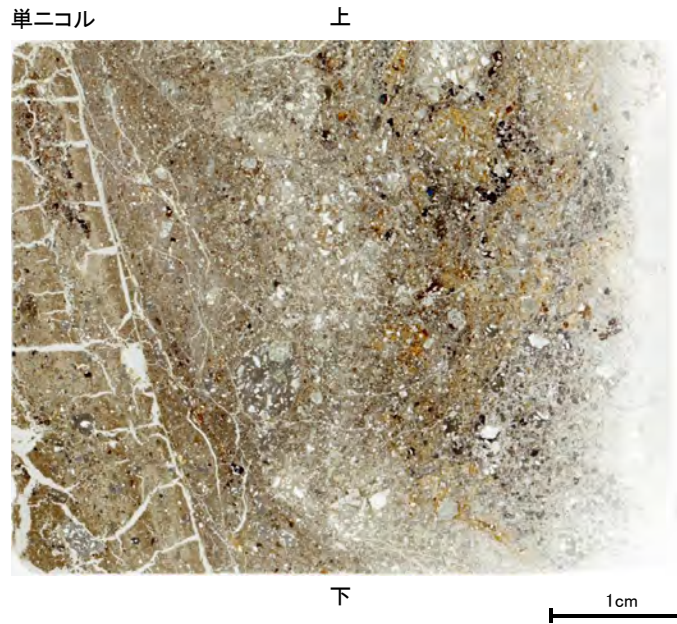
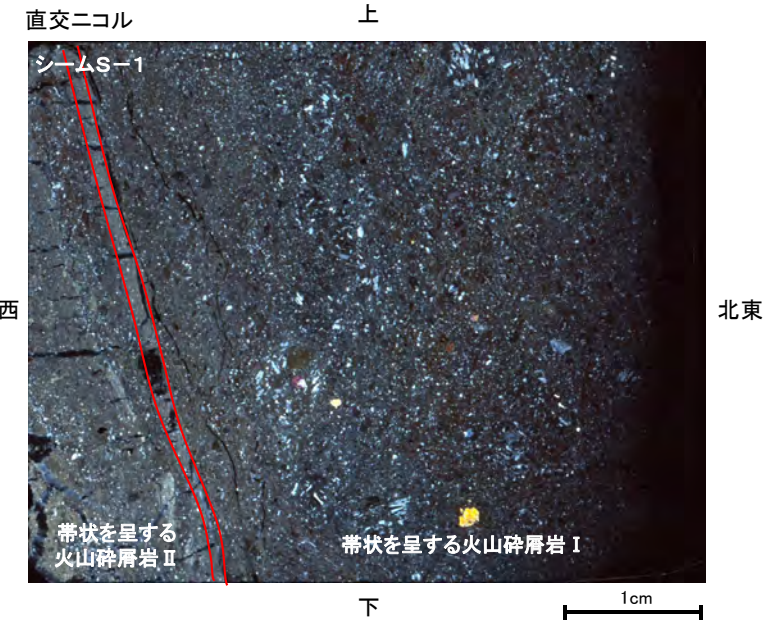
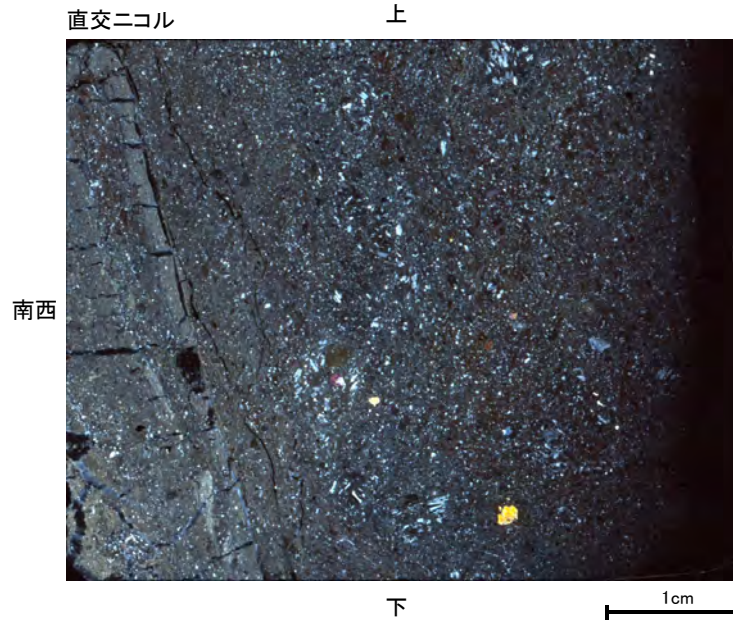
試料採取位置付近(No.21切羽)



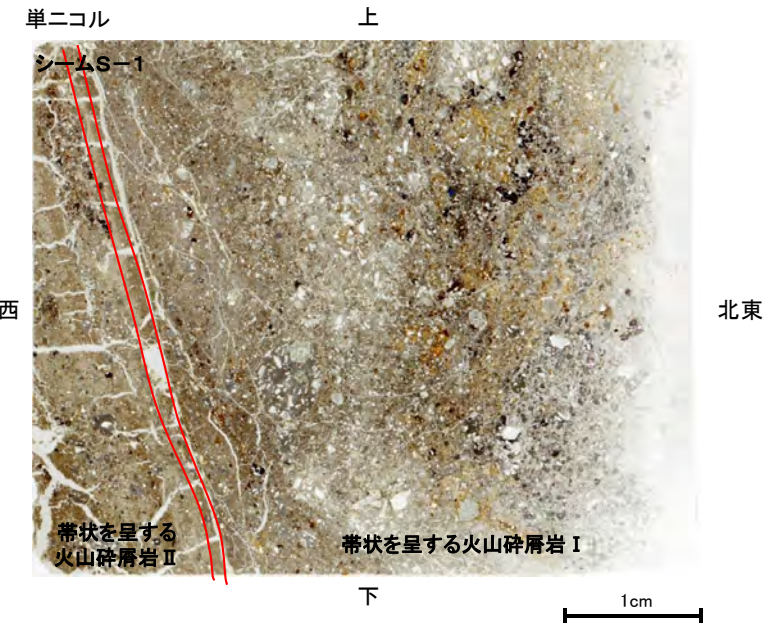
観察面概念図(No.21-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-1\_60R)



薄片写真



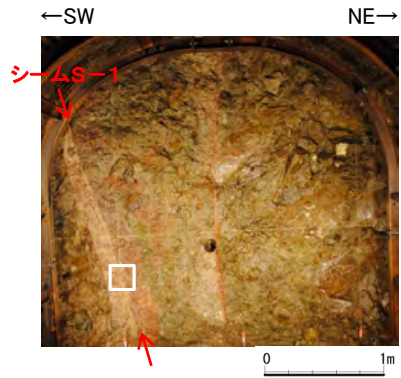
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

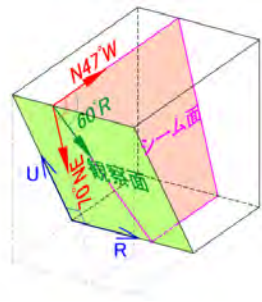
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



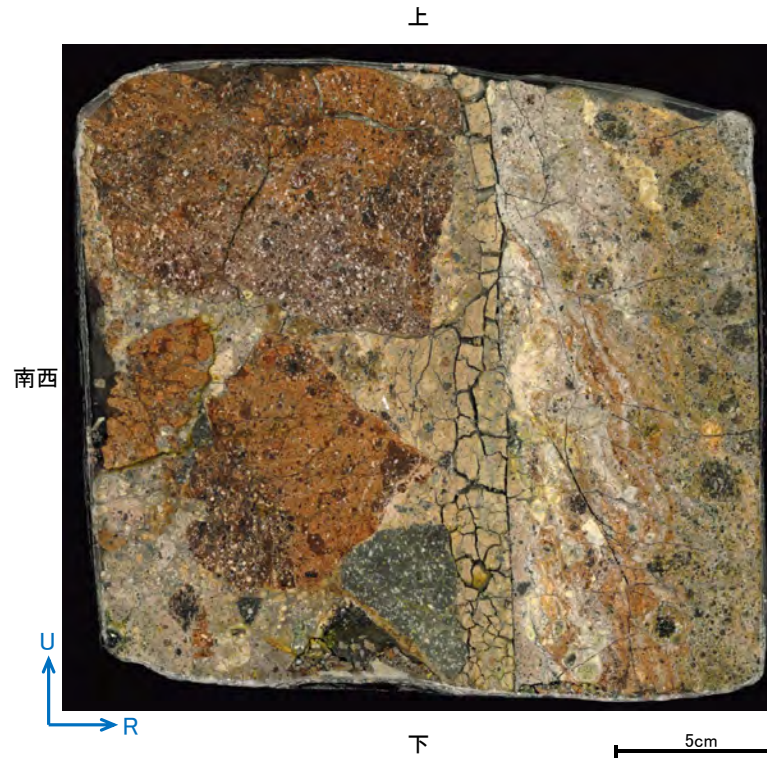
No.21切羽(研磨面 No.21-2\_60R)



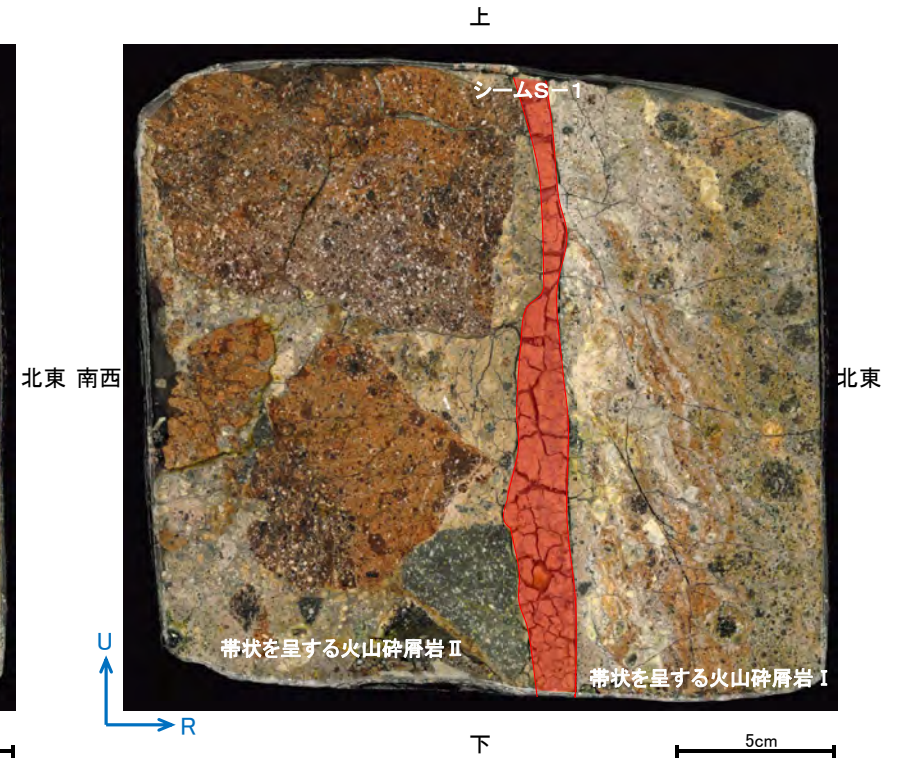
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-2\_60R)



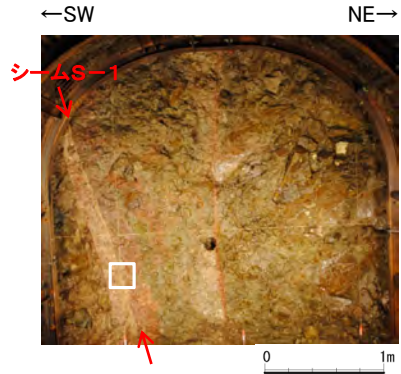
研磨面写真



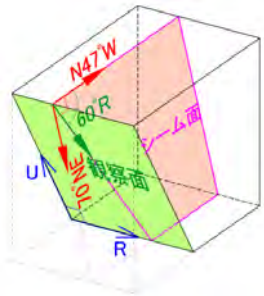
研磨面写真(加筆)



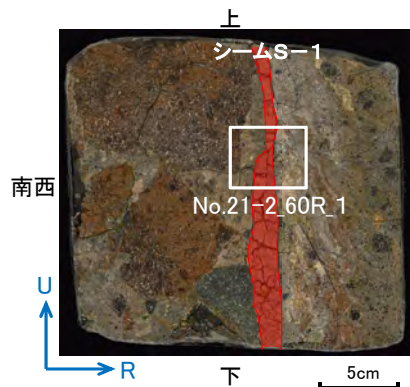
# No.21切羽(薄片 No.21-2\_60R\_1)



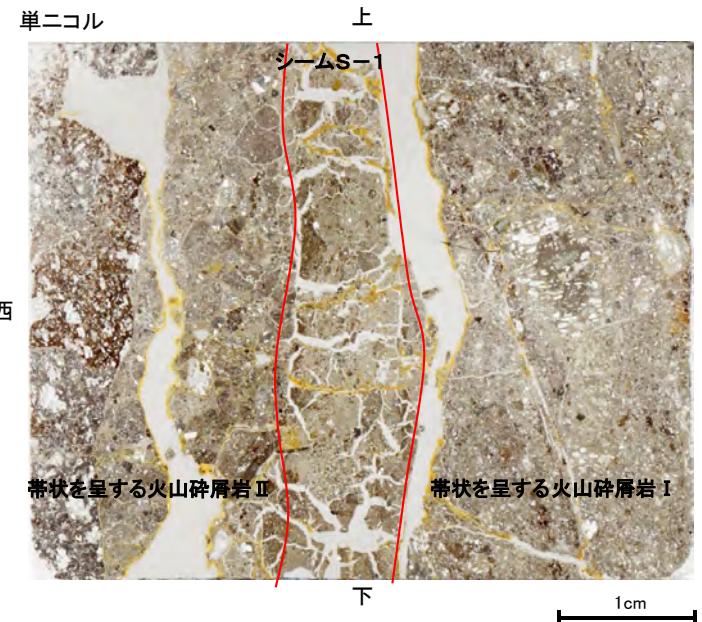
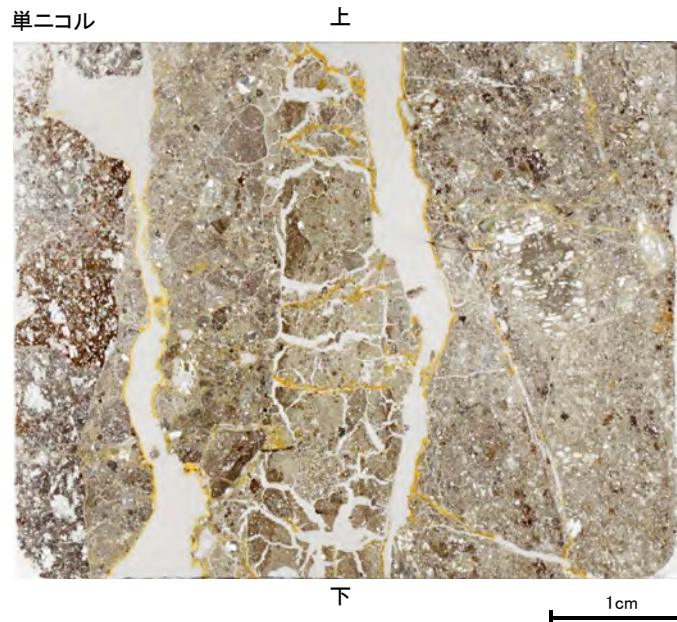
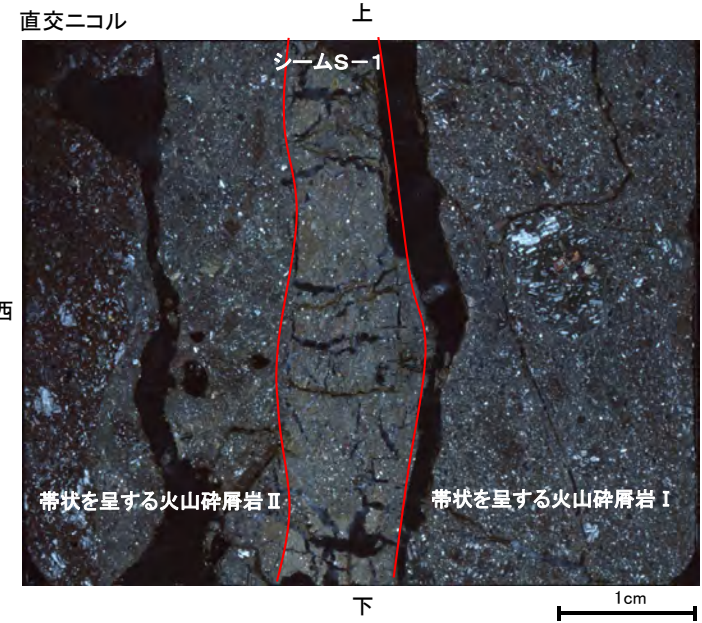
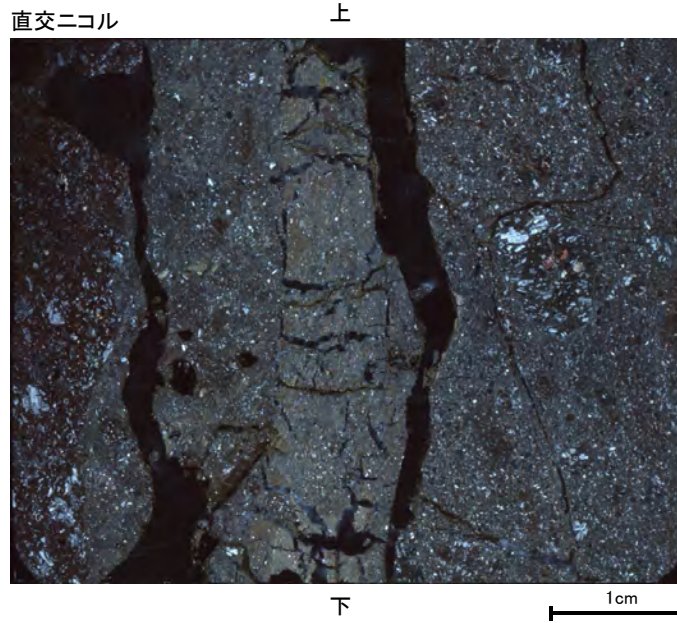
試料採取位置付近 (No.21切羽)



観察面概念図 (No.21-2\_60R)



薄片作成位置付近 (No.21-2\_60R)



薄片写真

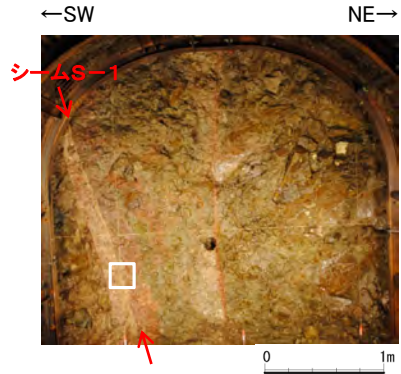
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

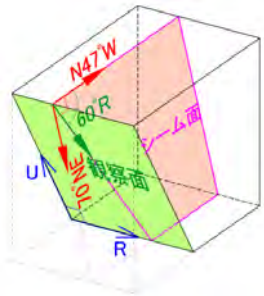
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



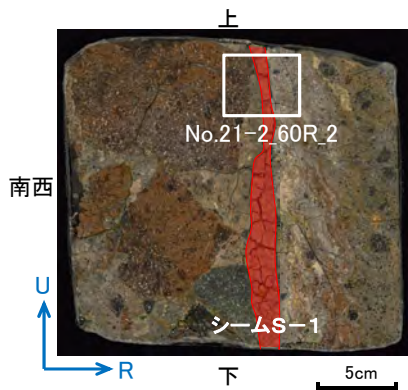
# No.21切羽(薄片 No.21-2\_60R\_2)



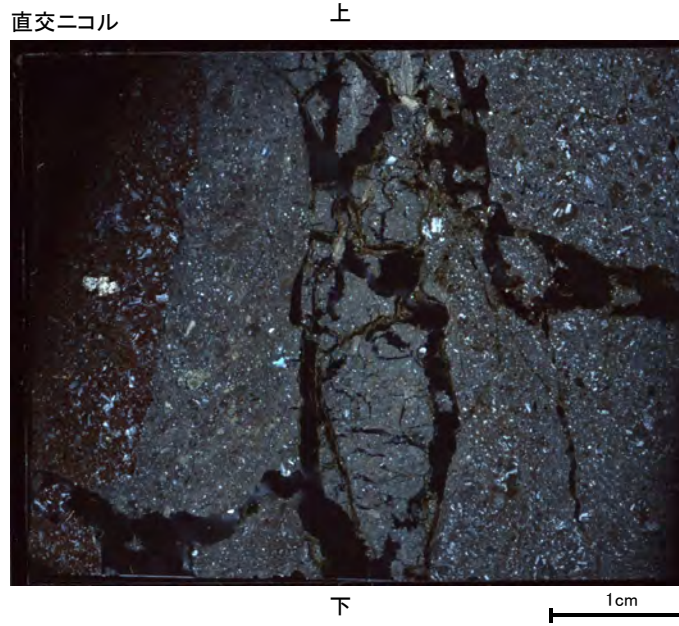
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-2\_60R)

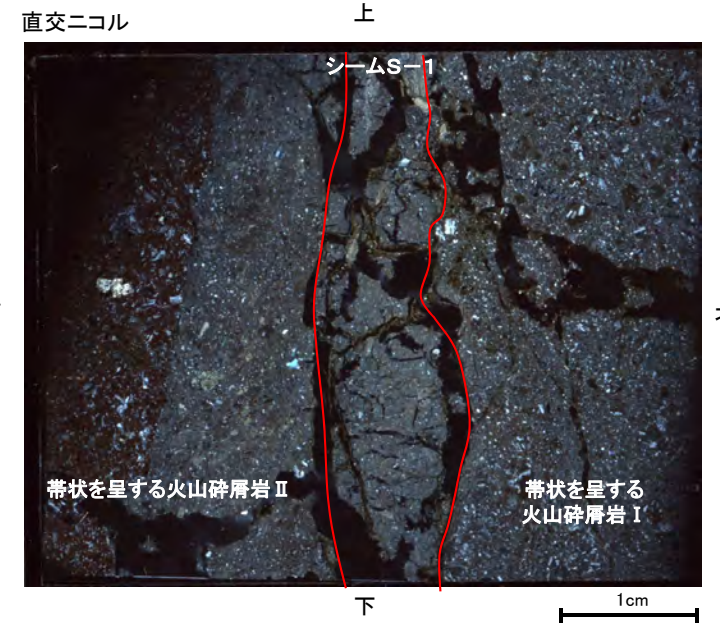


南西

北東

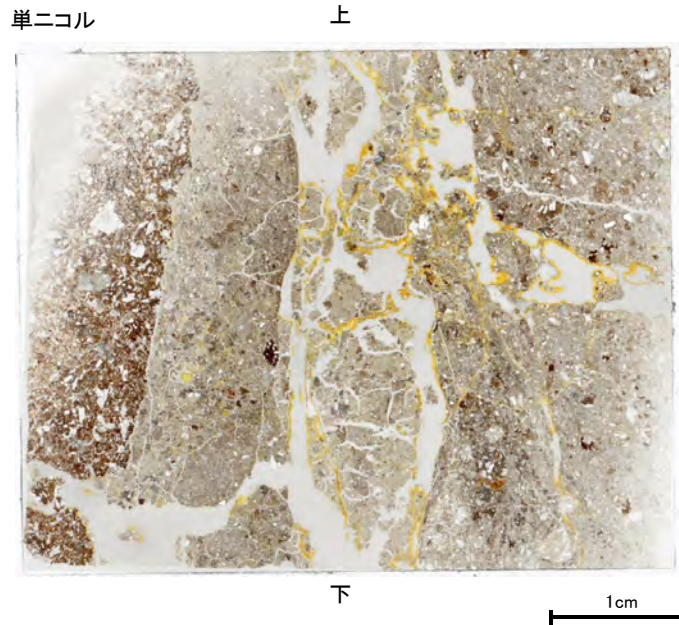
南西

北東



带状を呈する火山碎屑岩II

带状を呈する火山碎屑岩I

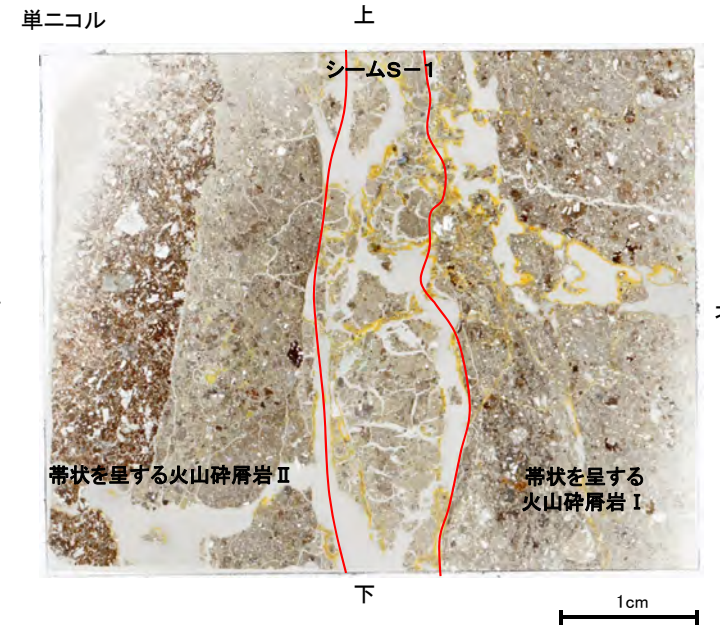


南西

北東

南西

北東



带状を呈する火山碎屑岩II

带状を呈する火山碎屑岩I

薄片写真

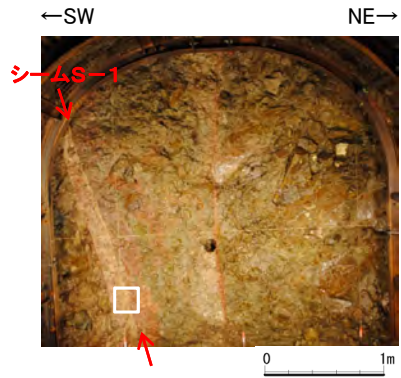
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

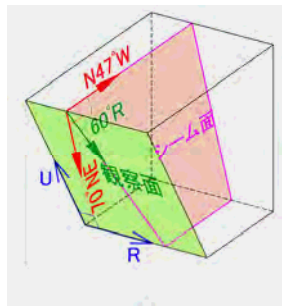
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



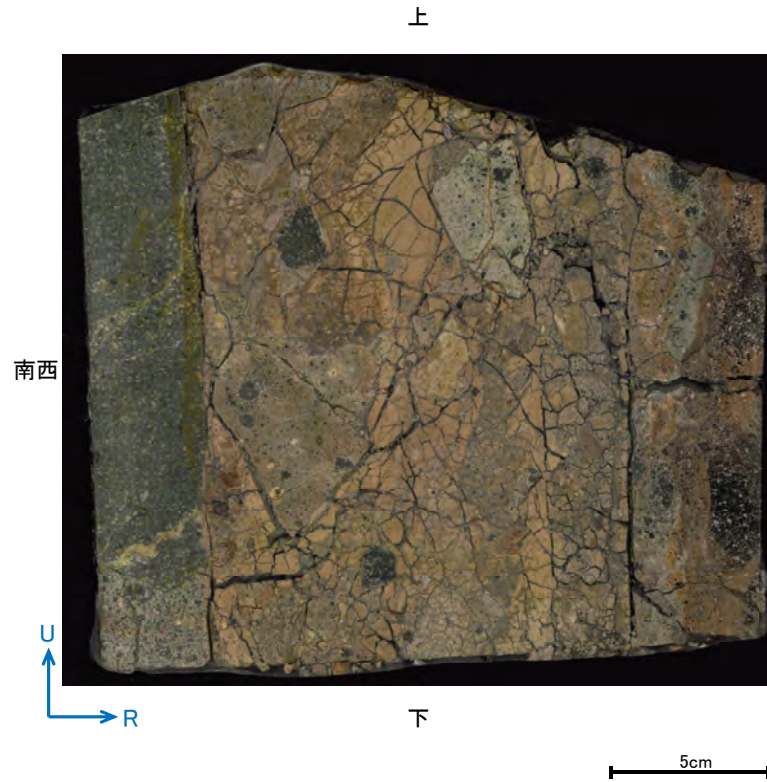
No.21切羽(研磨面 No.21-3\_60R)



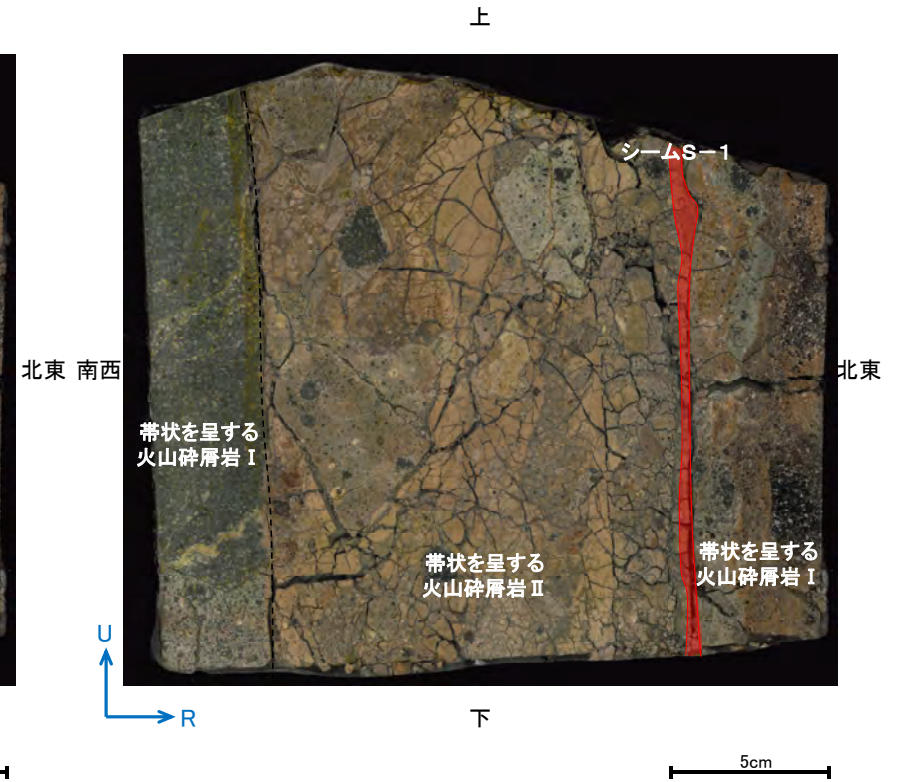
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-3\_60R)



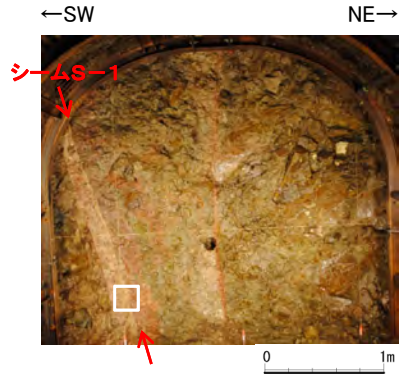
研磨面写真



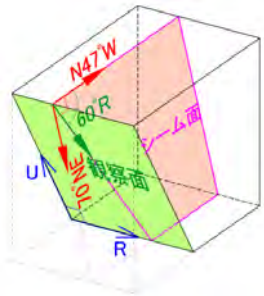
研磨面写真(シームS-1等を加筆)



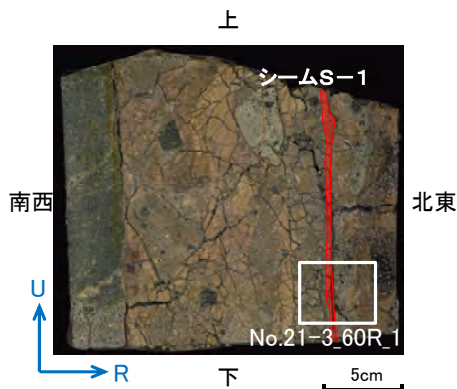
# No.21切羽(薄片 No.21-3\_60R\_1)



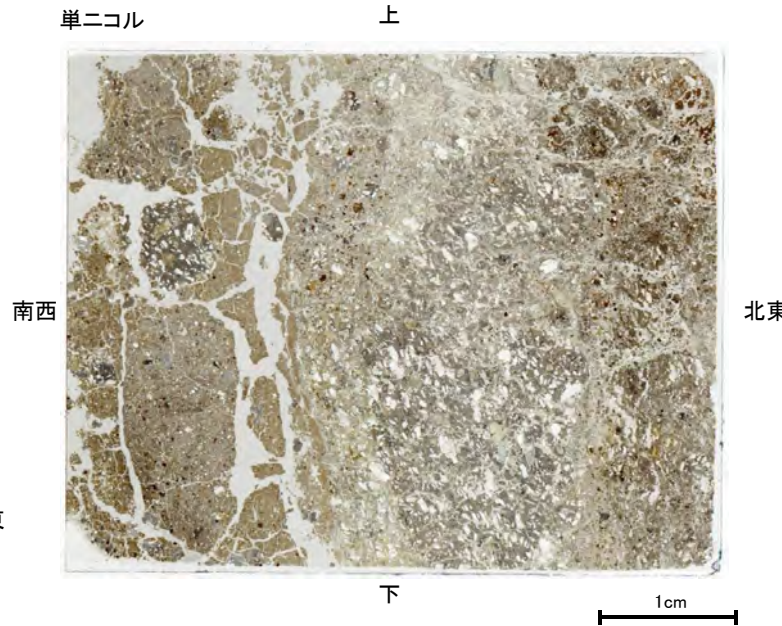
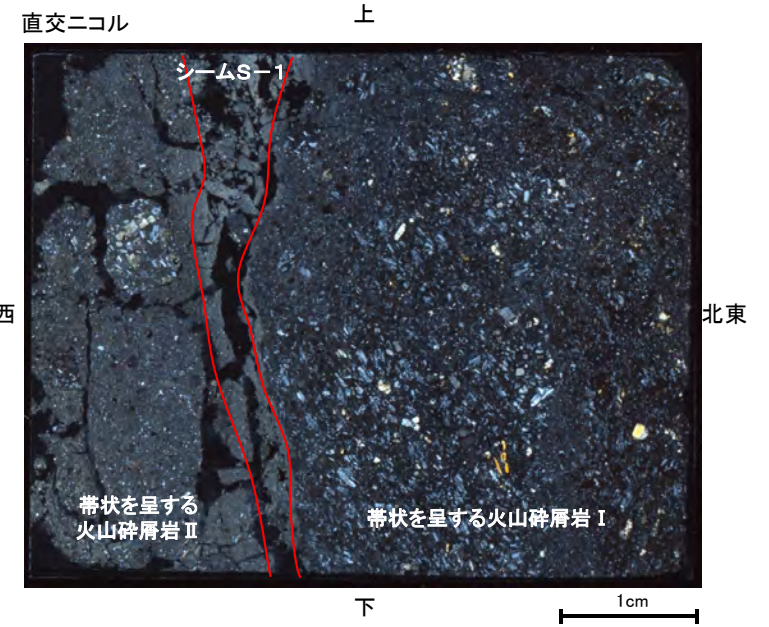
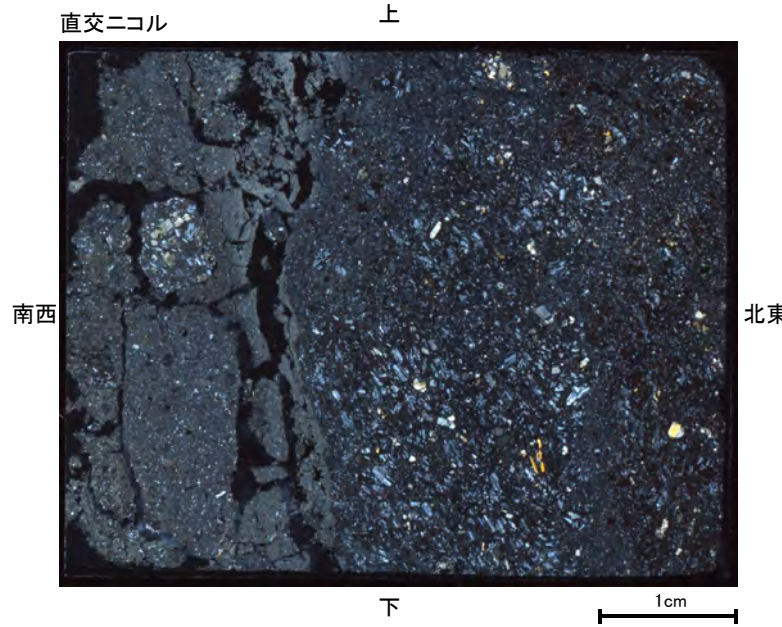
試料採取位置付近(No.21切羽)



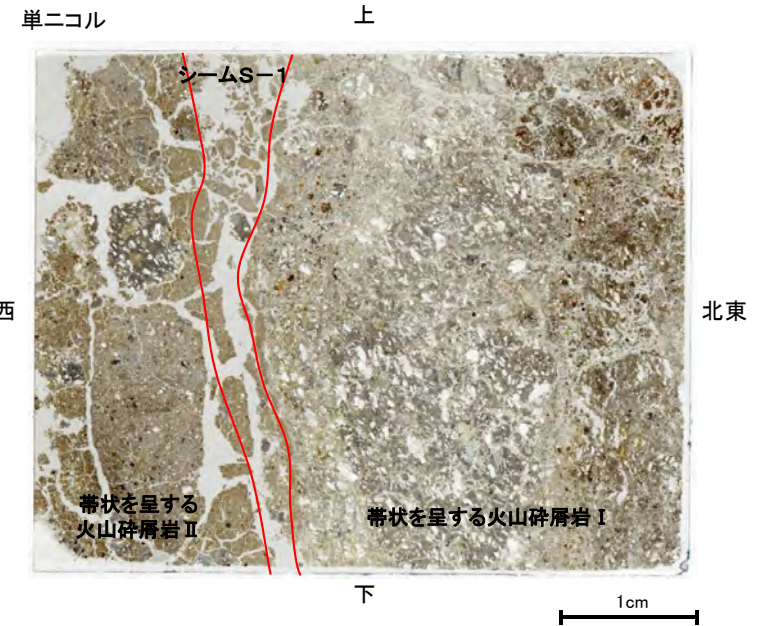
観察面概念図(No.21-3\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-3\_60R)



薄片写真



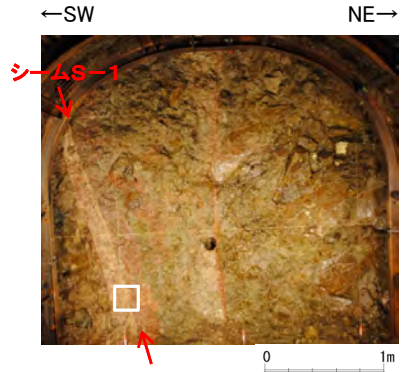
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

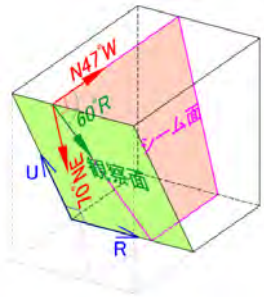
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



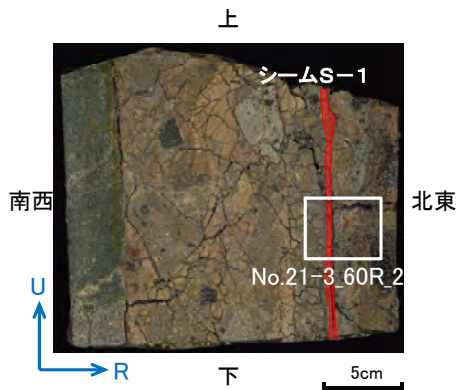
# No.21切羽(薄片 No.21-3\_60R\_2)



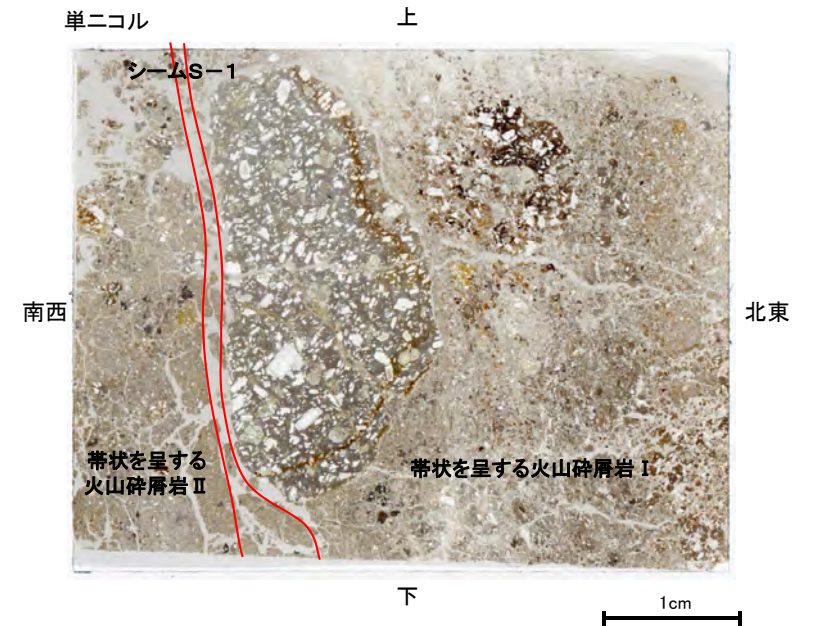
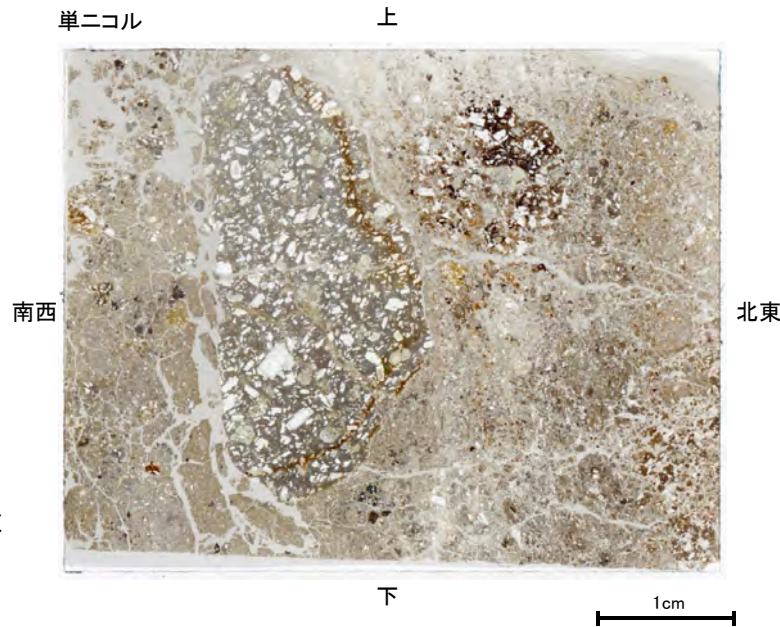
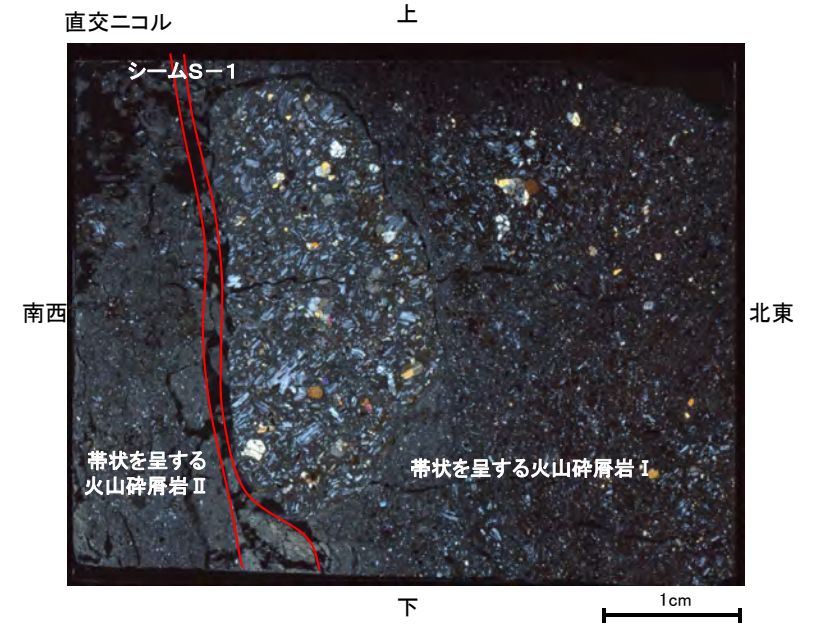
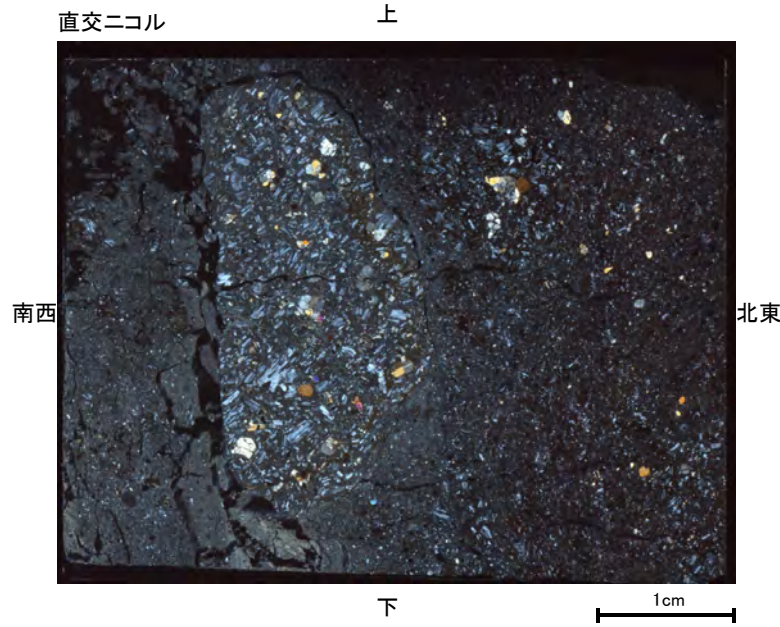
試料採取位置付近(No.21切羽)



観察面概念図(No.21-3\_60R)



薄片作成位置付近(No.21-3\_60R)



薄片写真

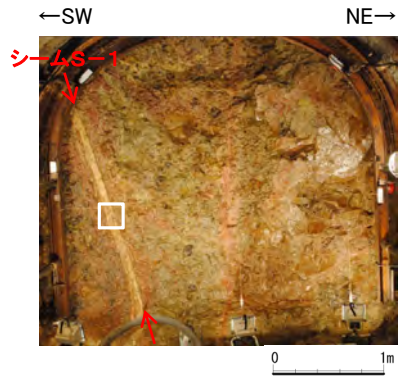
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

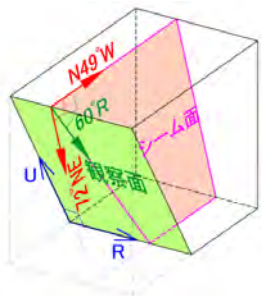
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



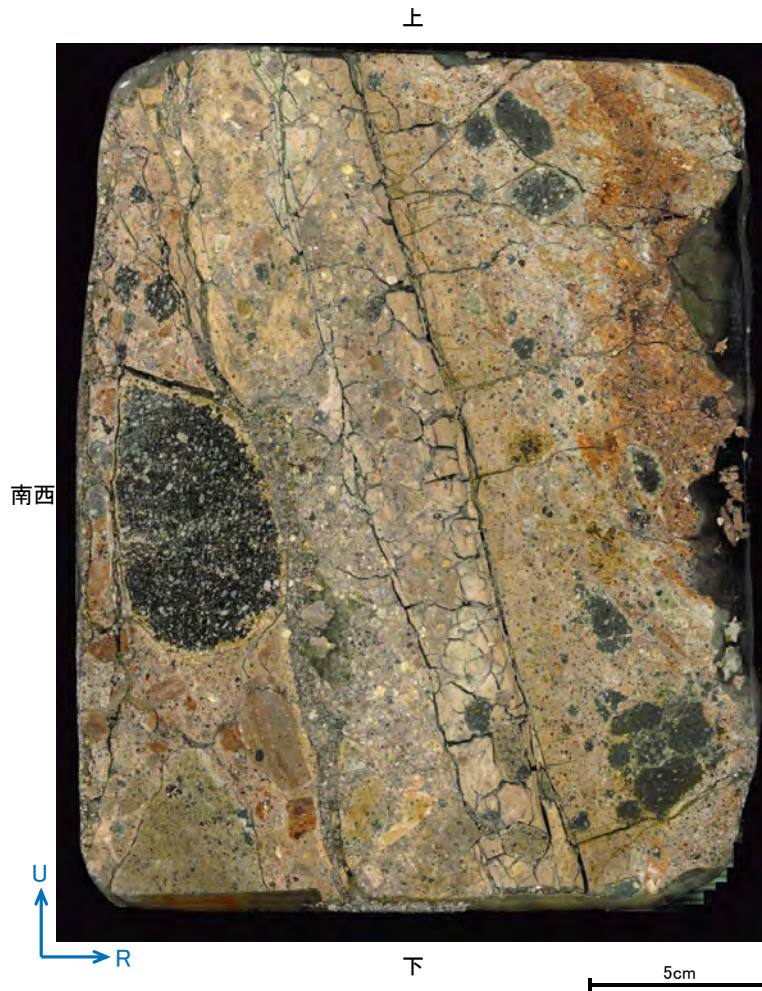
No.23切羽(研磨面 No.23-1\_60R)



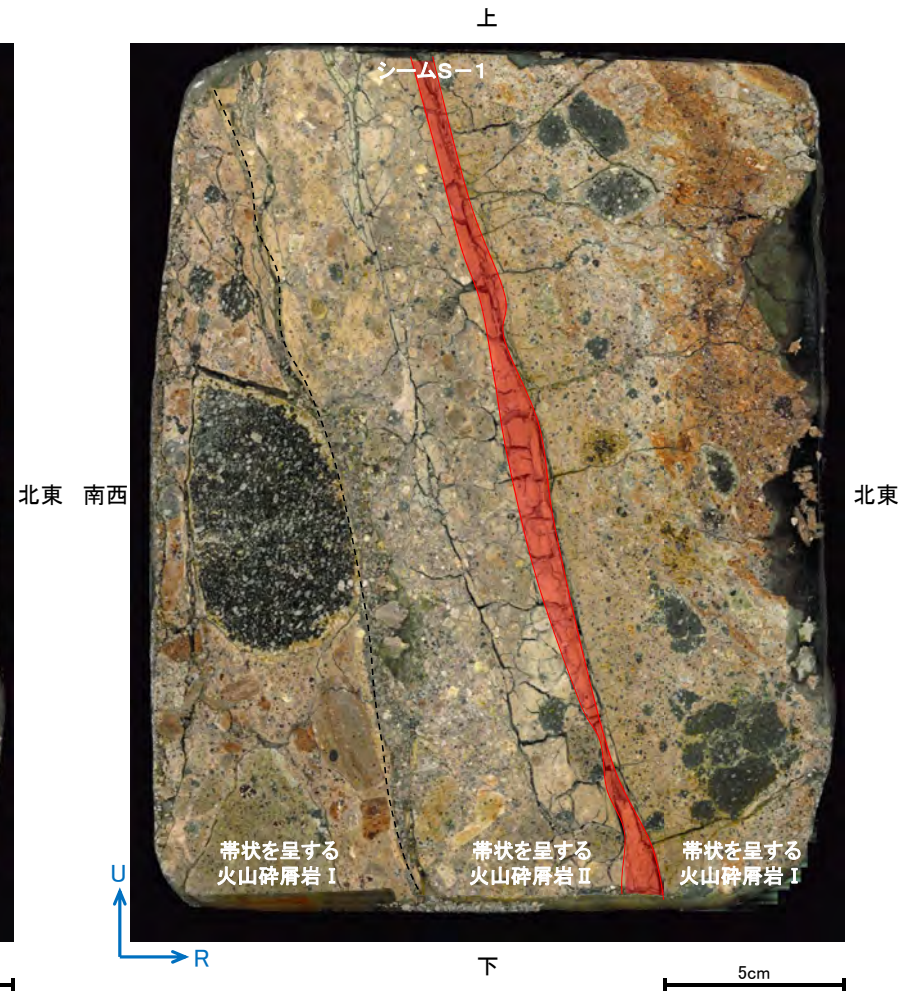
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-1\_60R)



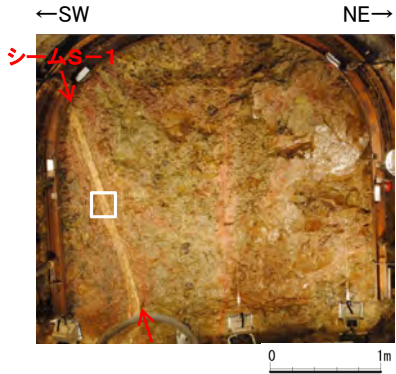
研磨面写真



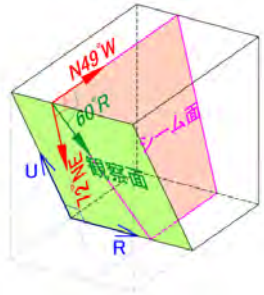
研磨面写真(加筆)



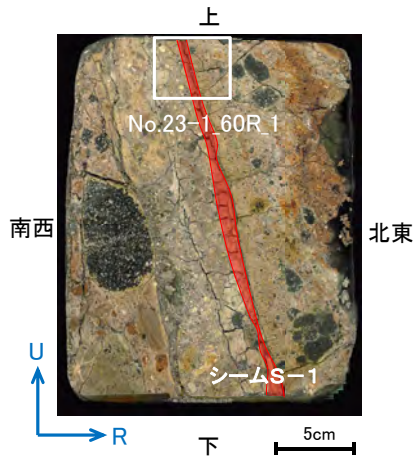
# No.23切羽(薄片 No.23-1\_60R\_1)



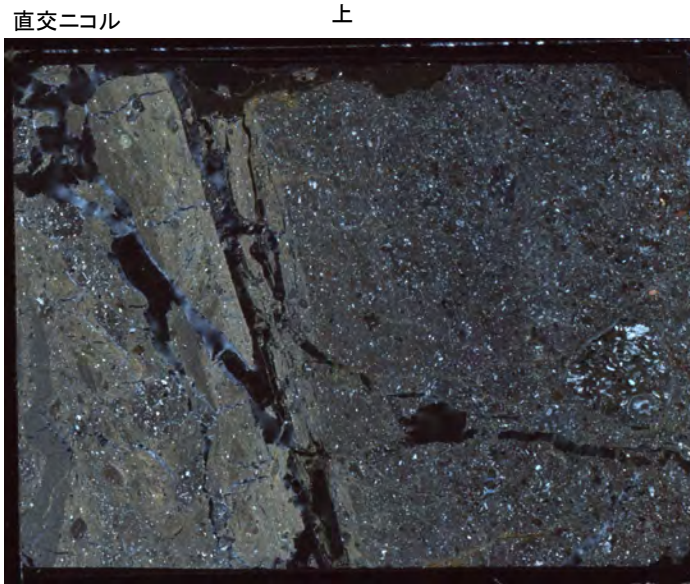
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-1\_60R)



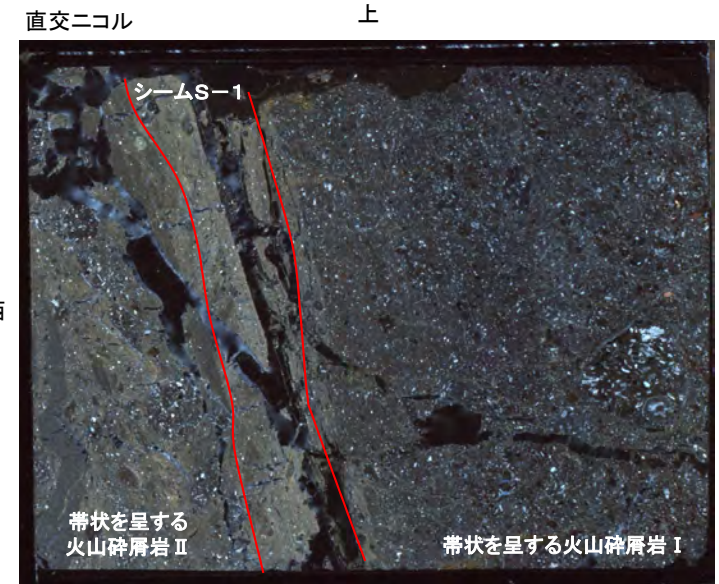
薄片作成位置付近(No.23-1\_60R)



南西

北東 南西

下 1cm

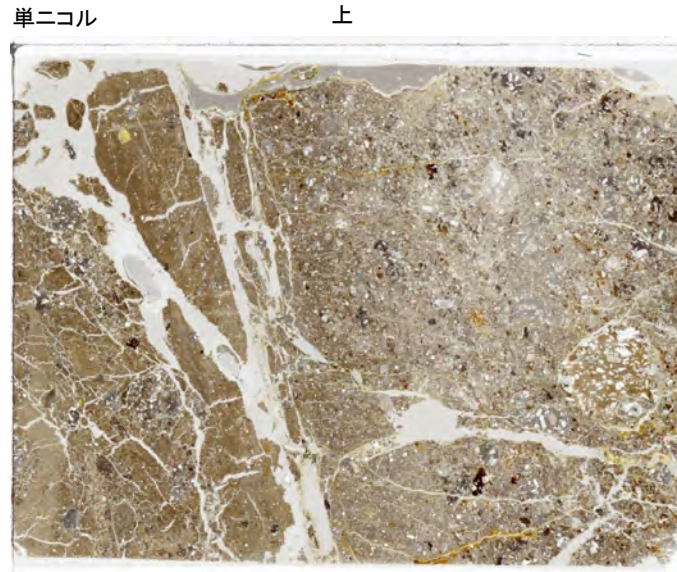


北東

带状を呈する  
火山碎屑岩II

带状を呈する火山碎屑岩I

下 1cm

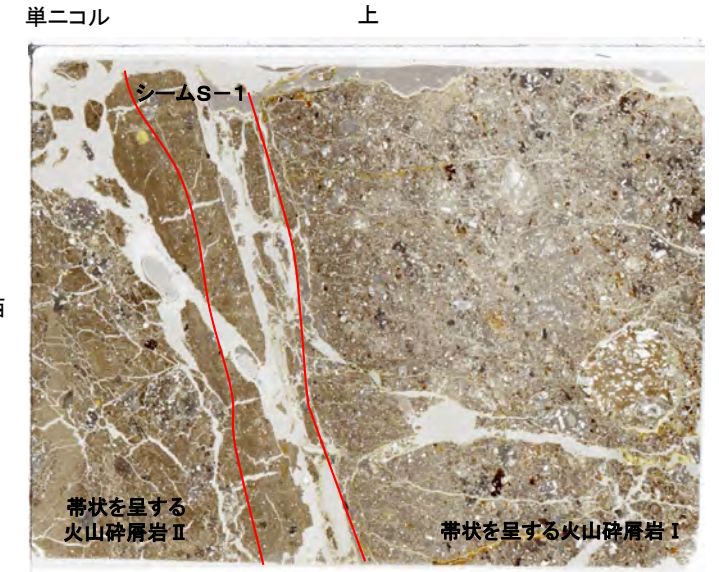


南西

北東 南西

下 1cm

薄片写真



北東

带状を呈する  
火山碎屑岩II

带状を呈する火山碎屑岩I

下 1cm

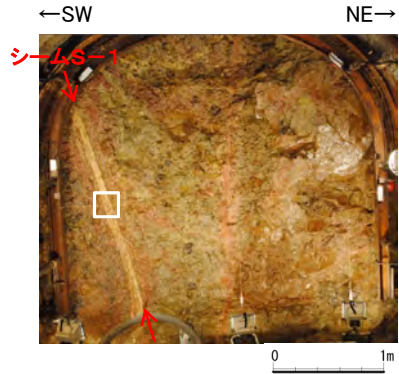
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

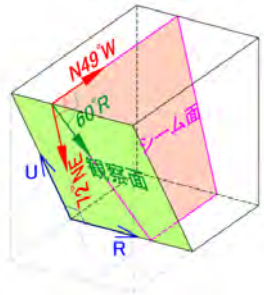
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



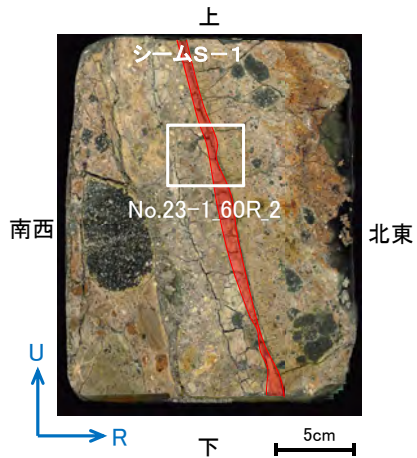
# No.23切羽(薄片 No.23-1\_60R\_2)



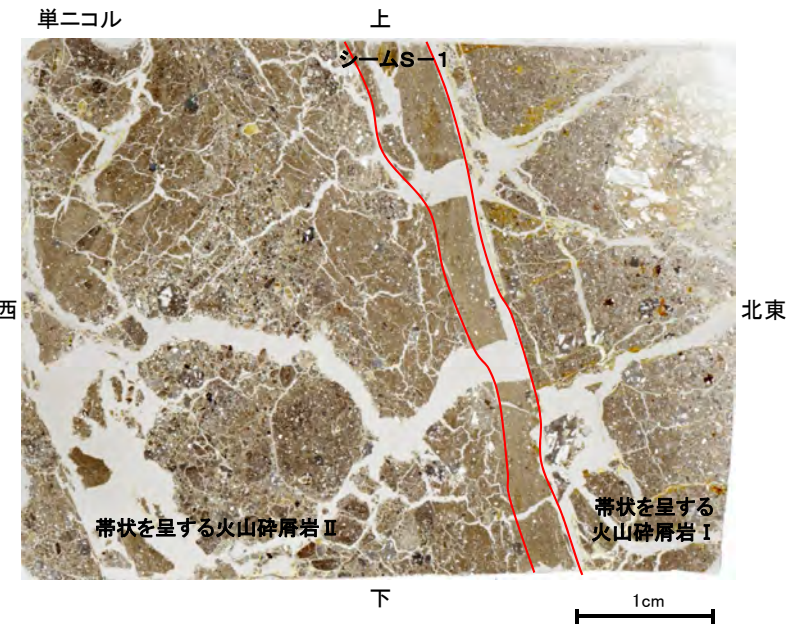
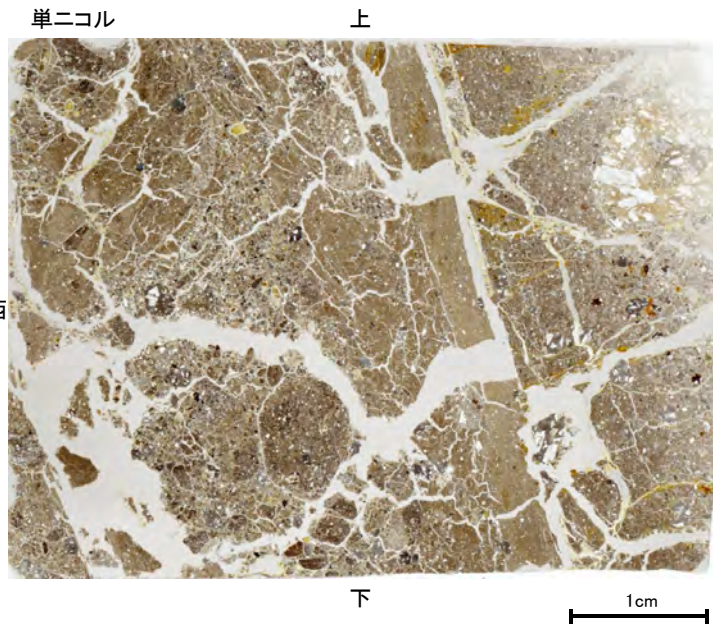
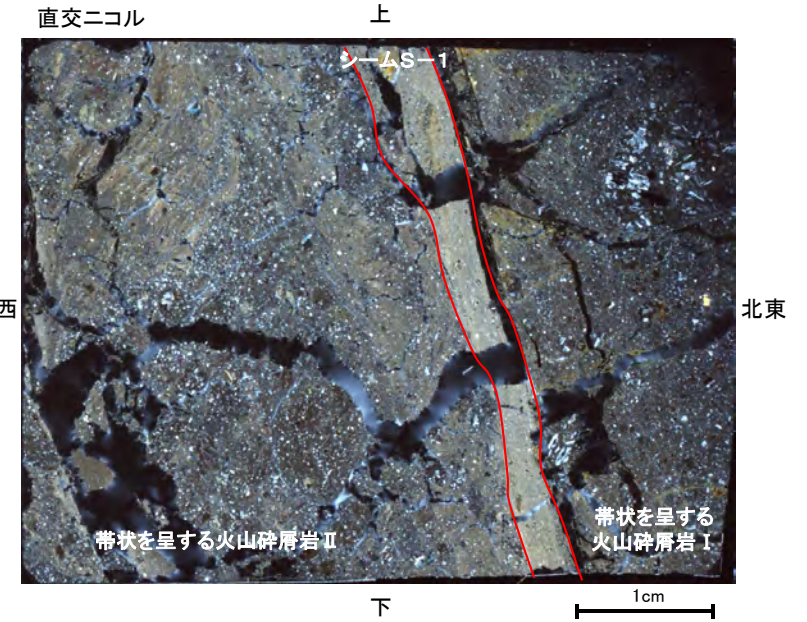
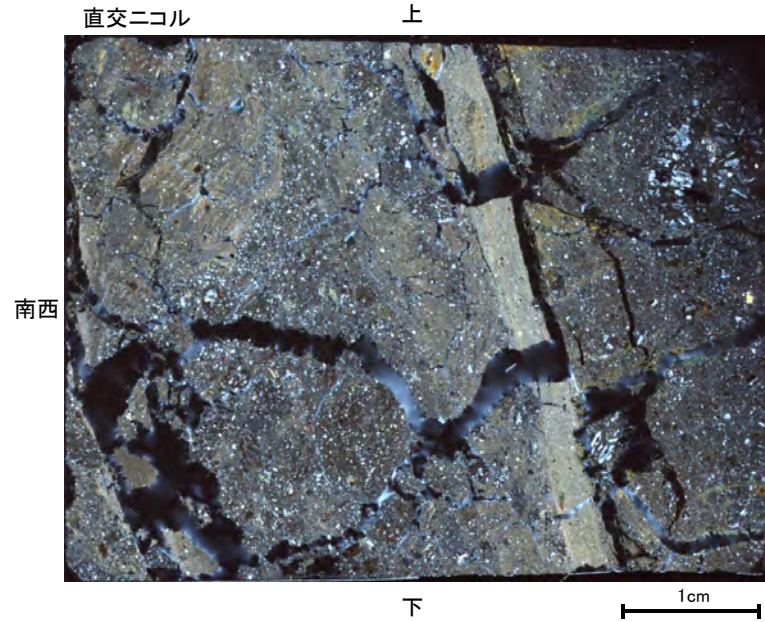
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-1\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-1\_60R)



薄片写真

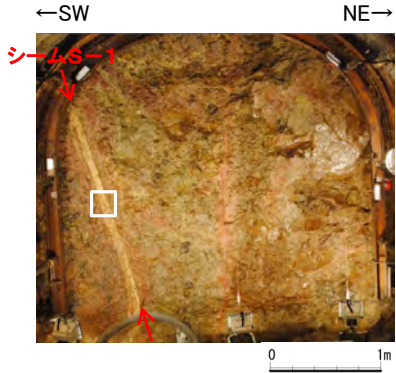
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

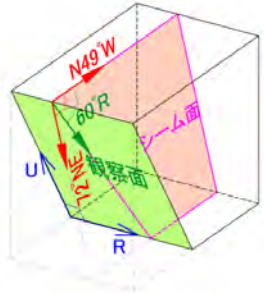
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



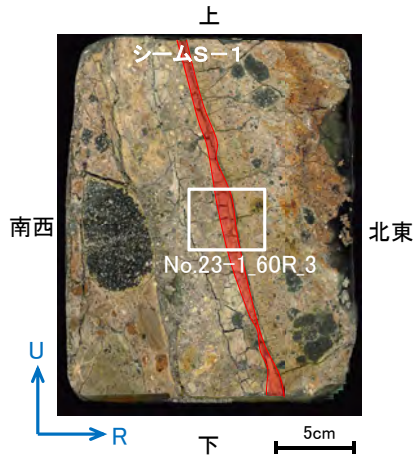
# No.23切羽(薄片 No.23-1\_60R\_3)



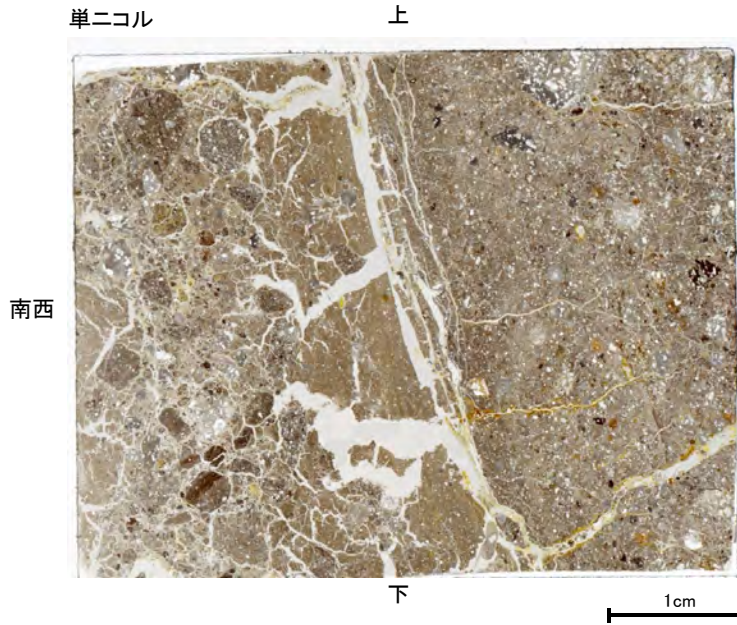
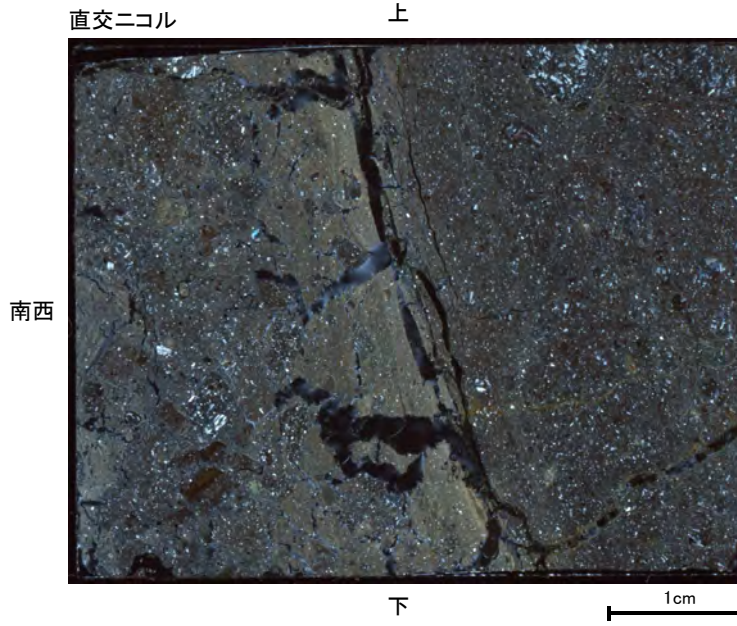
試料採取位置付近 (No.23切羽)



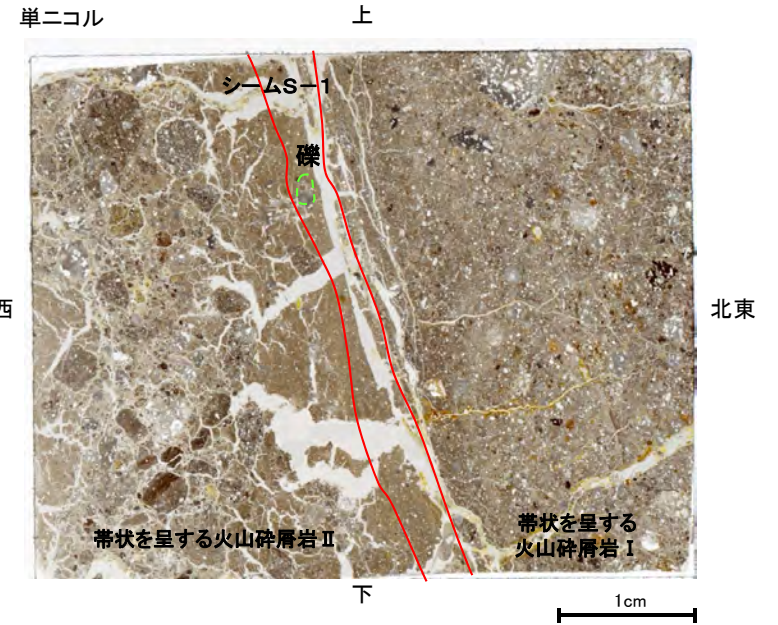
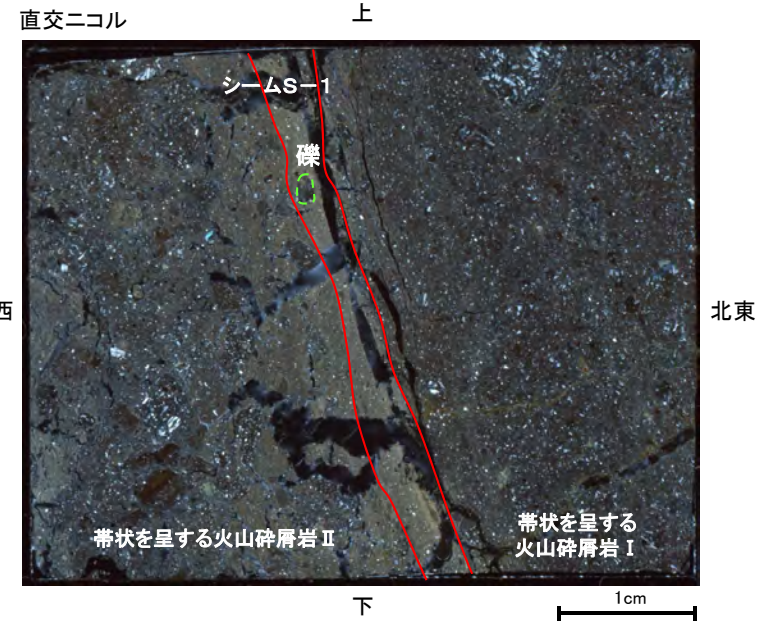
観察面概念図 (No.23-1\_60R)



薄片作成位置付近 (No.23-1\_60R)



薄片写真



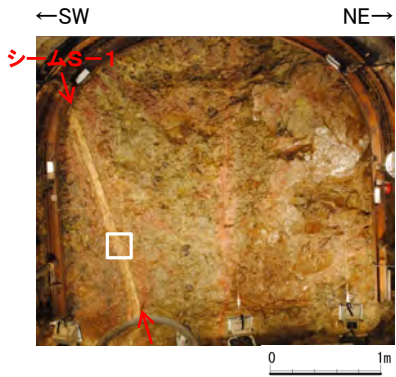
薄片写真(加筆)

・帯状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

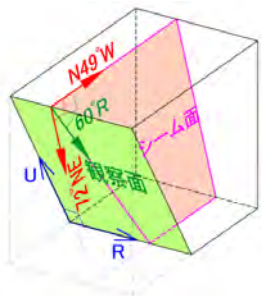
・シームS-1は、帯状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



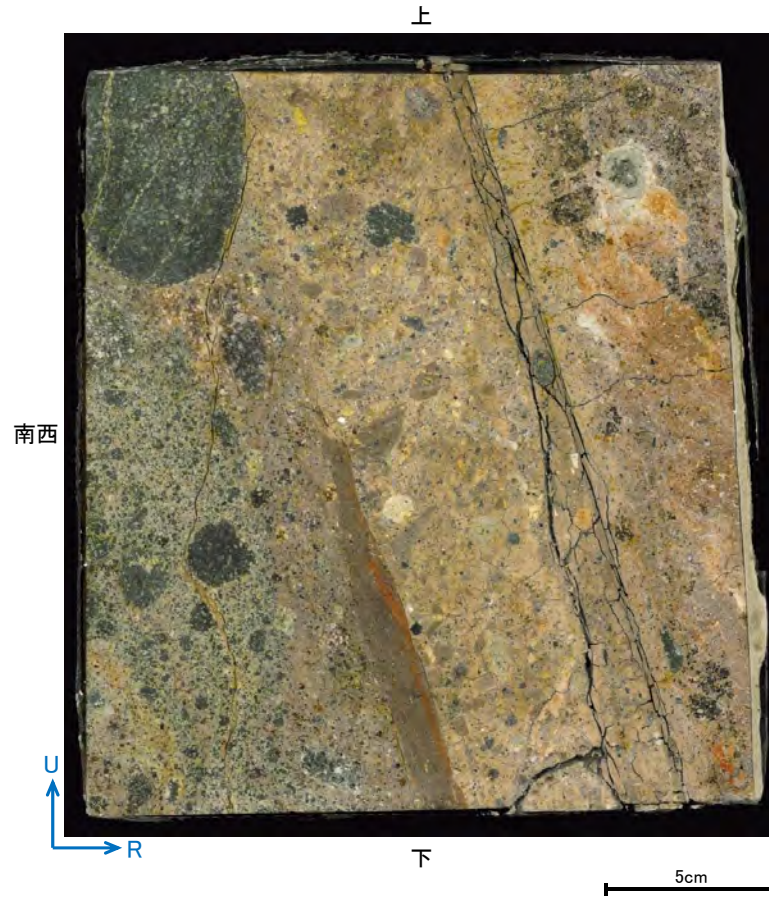
No.23切羽(研磨面 No.23-2\_60R)



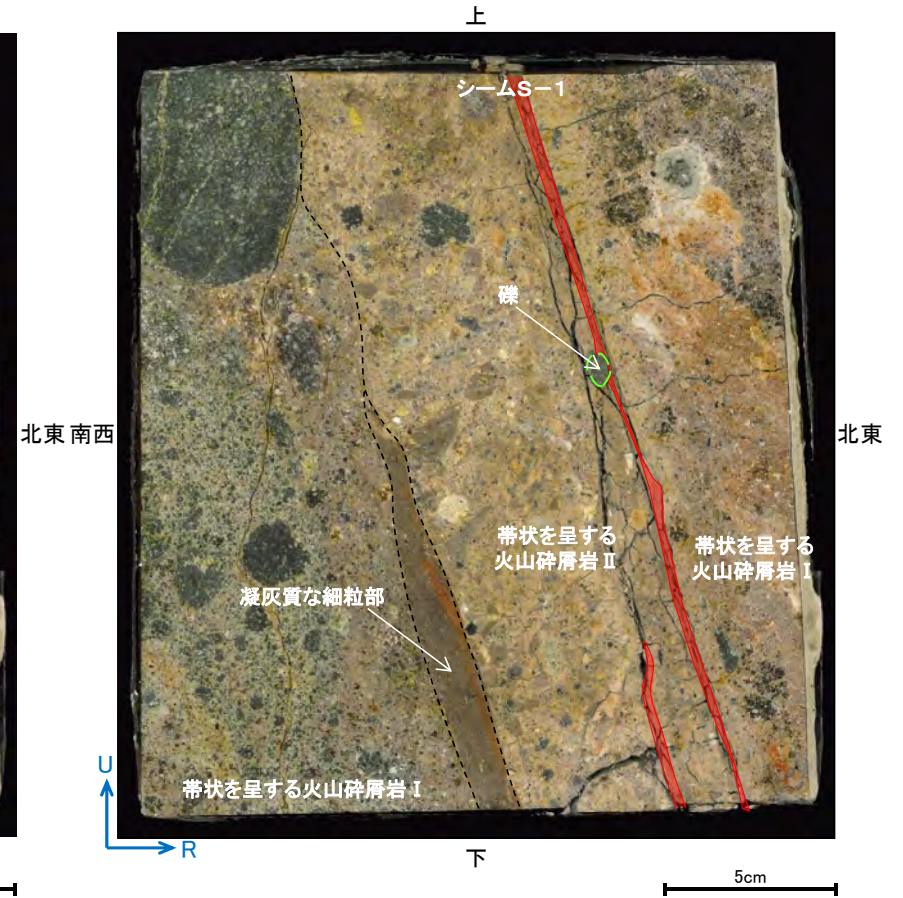
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-2\_60R)



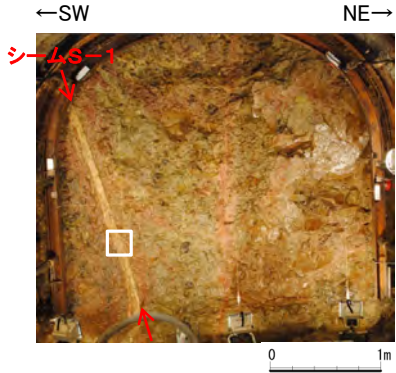
研磨面写真



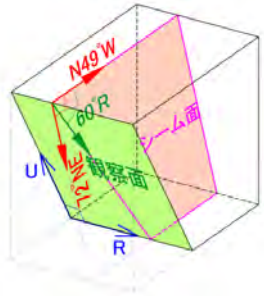
研磨面写真(加筆)



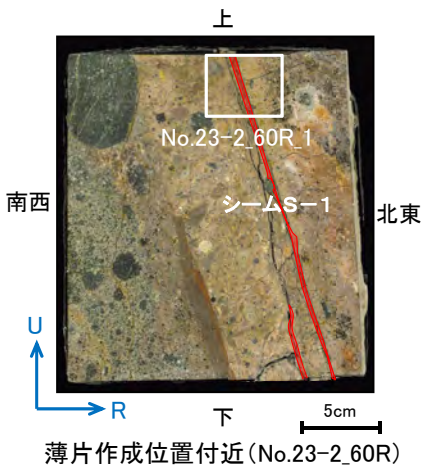
# No.23切羽(薄片 No.23-2\_60R\_1)



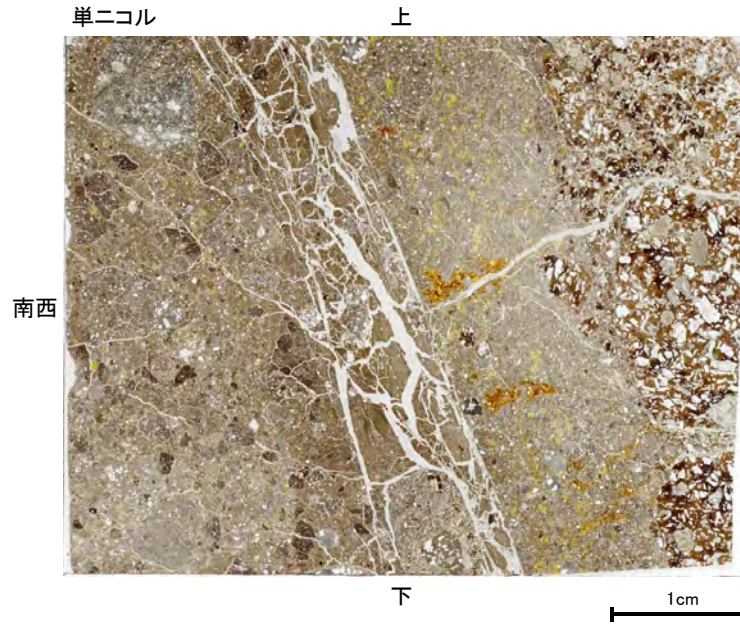
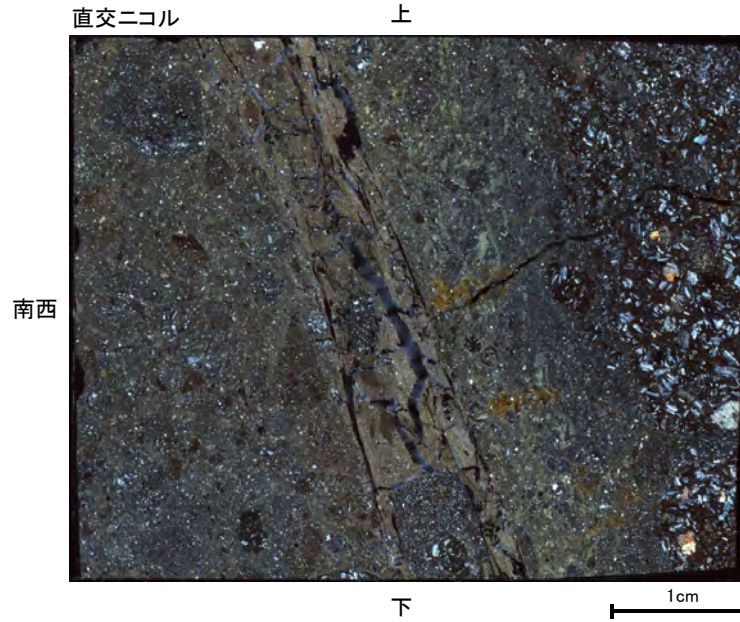
試料採取位置付近(No.23切羽)



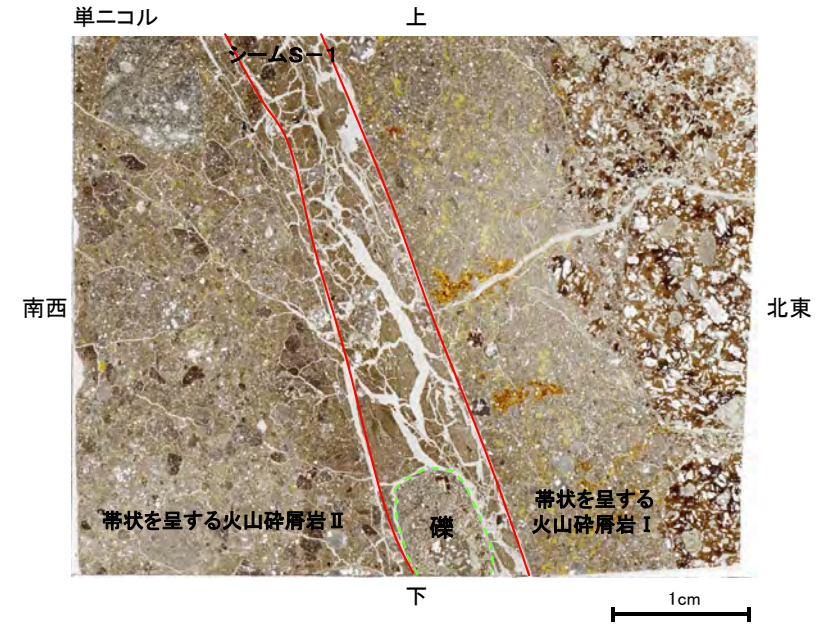
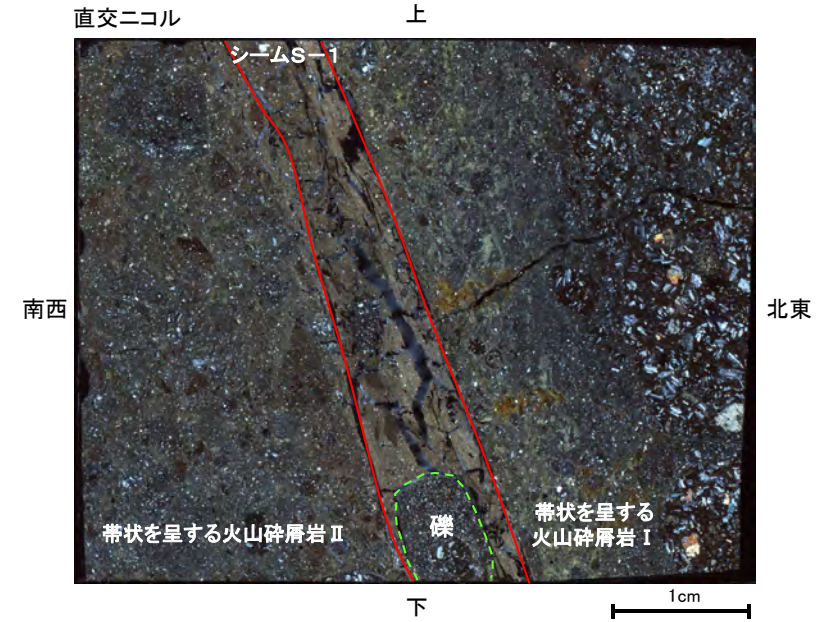
観察面概念図(No.23-2\_60R)



薄片作成位置付近(No.23-2\_60R)



薄片写真



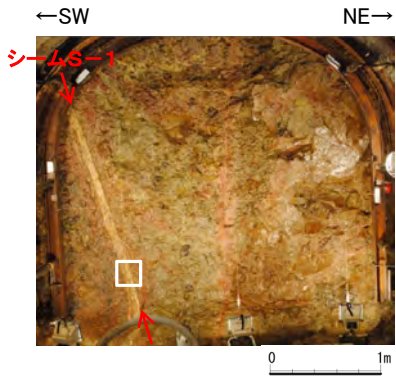
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

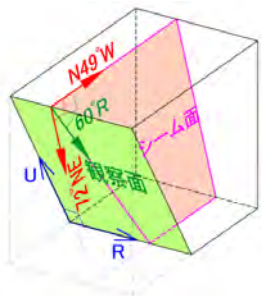
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。  
 ・シームS-1中には礫が含まれており、その礫に破断は認められない。



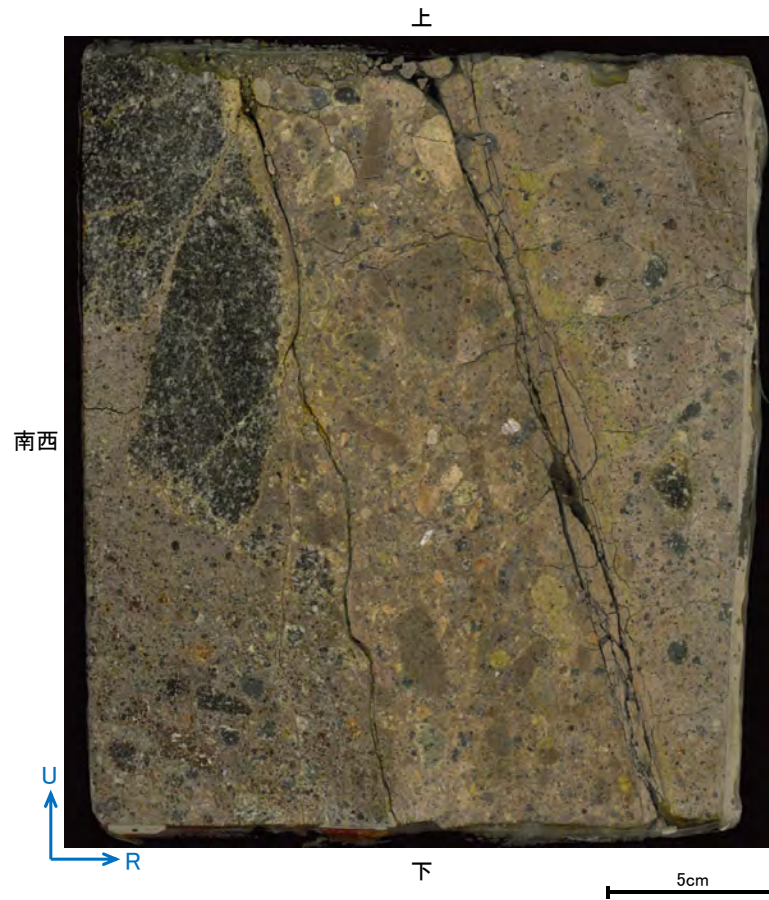
No.23切羽(研磨面 No.23-3\_60R)



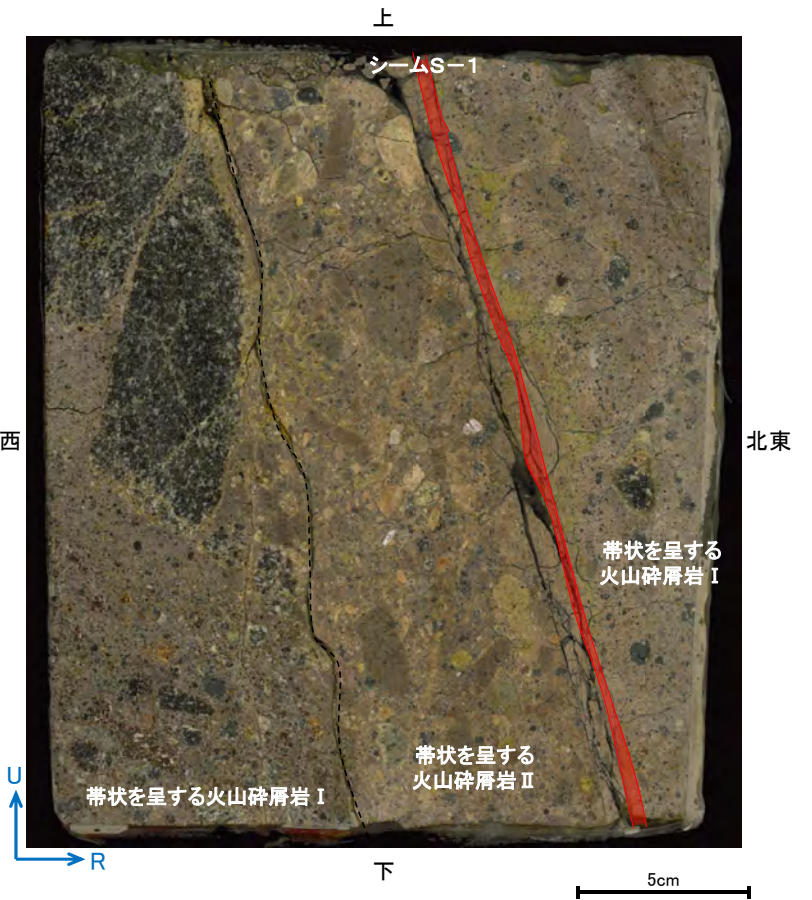
試料採取位置付近(No.23切羽)



観察面概念図(No.23-3\_60R)



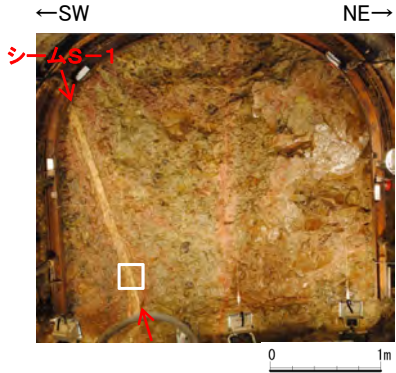
研磨面写真



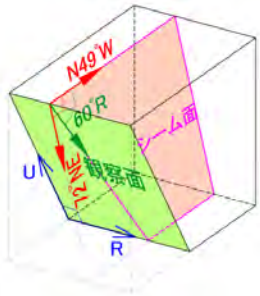
研磨面写真(加筆)



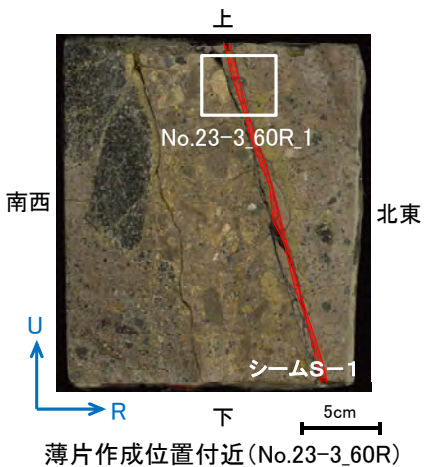
# No.23切羽(薄片 No.23-3\_60R\_1)



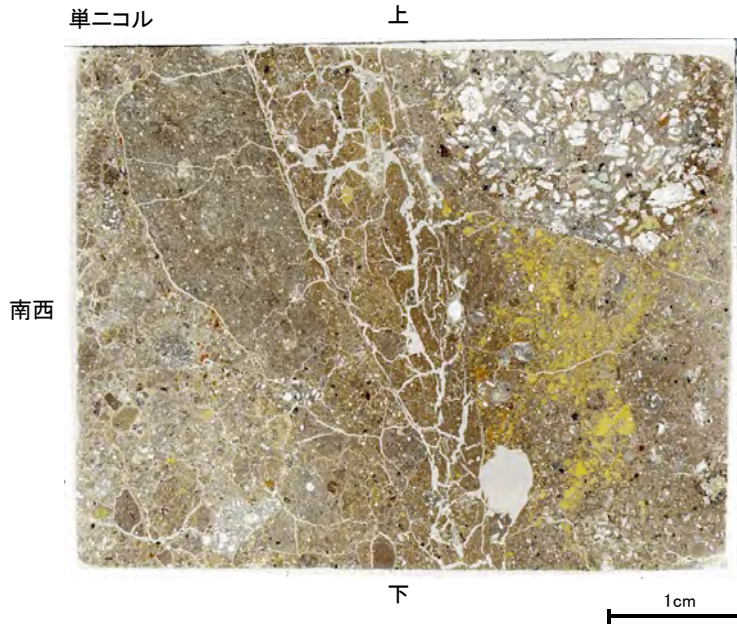
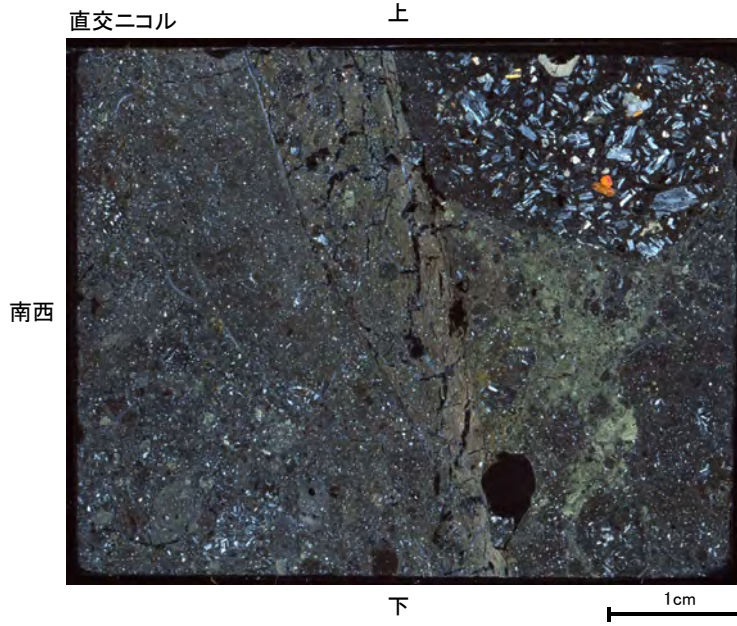
試料採取位置付近 (No.23切羽)



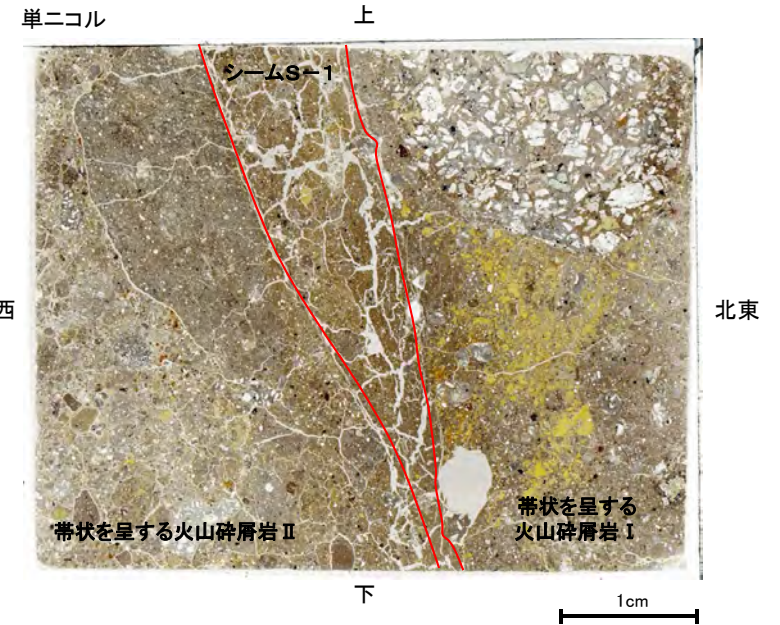
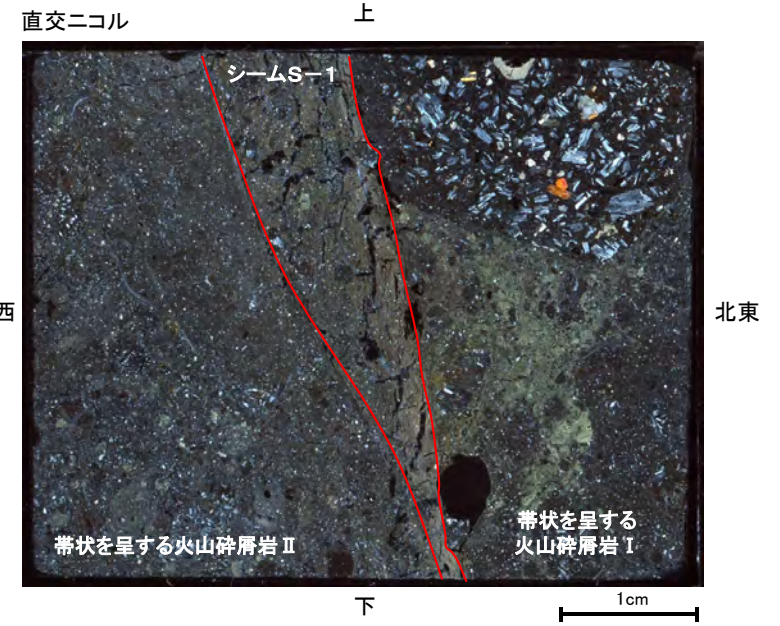
観察面概念図 (No.23-3\_60R)



薄片作成位置付近 (No.23-3\_60R)



薄片写真

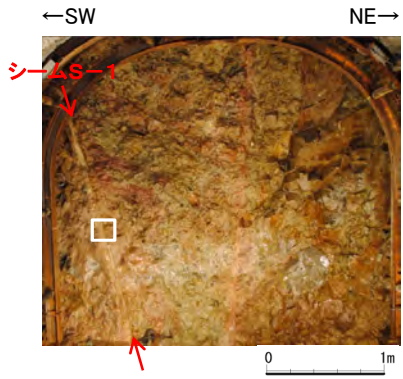


薄片写真(加筆)

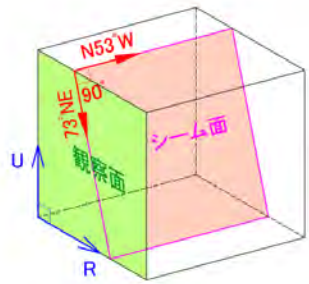
・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。





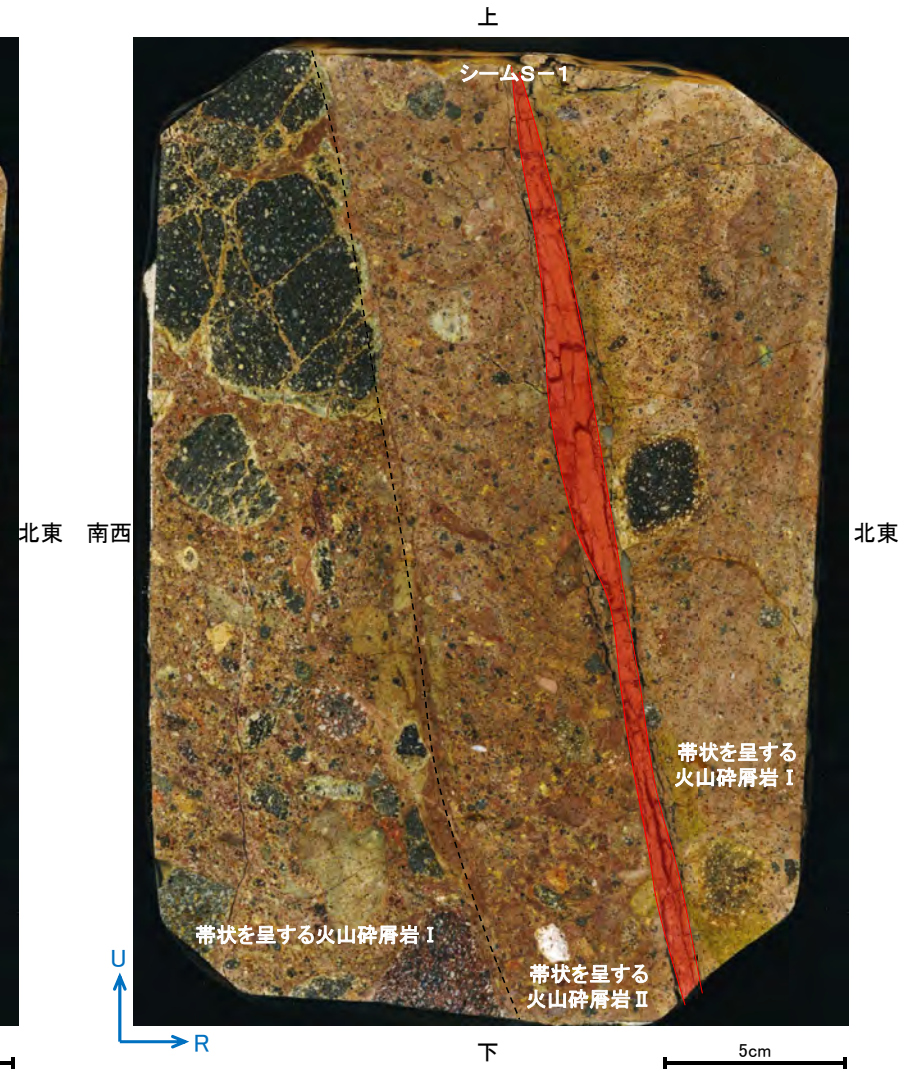
試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-1\_90)



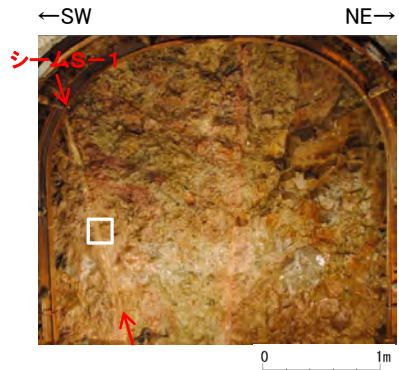
研磨面写真



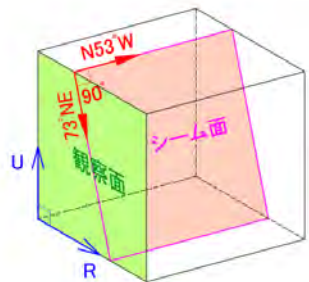
研磨面写真(加筆)



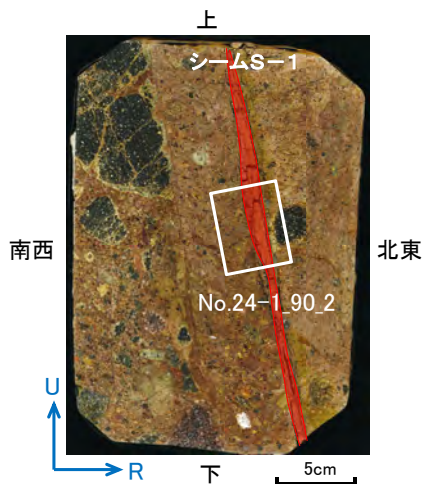
# No.24切羽(薄片 No.24-1\_90\_2)



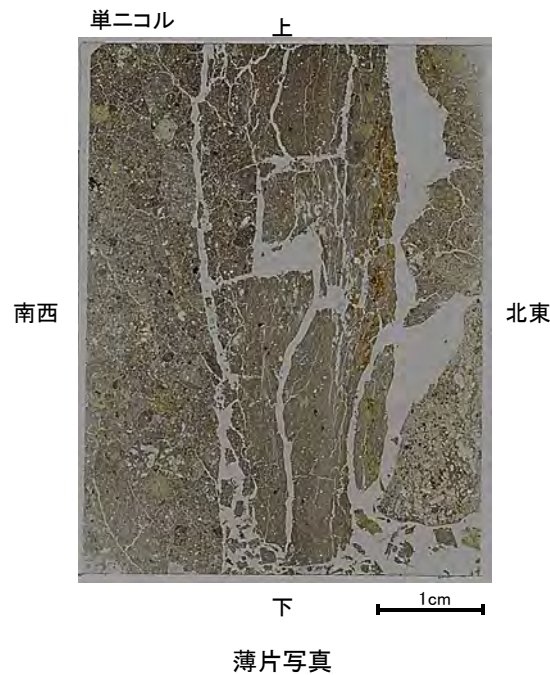
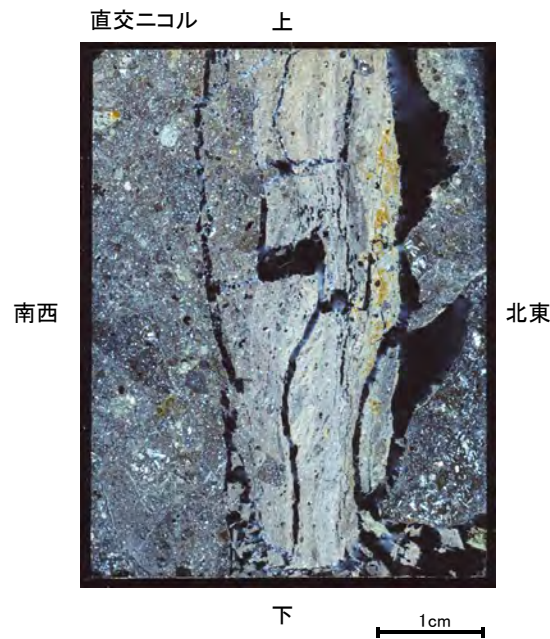
試料採取位置付近 (No.24切羽)



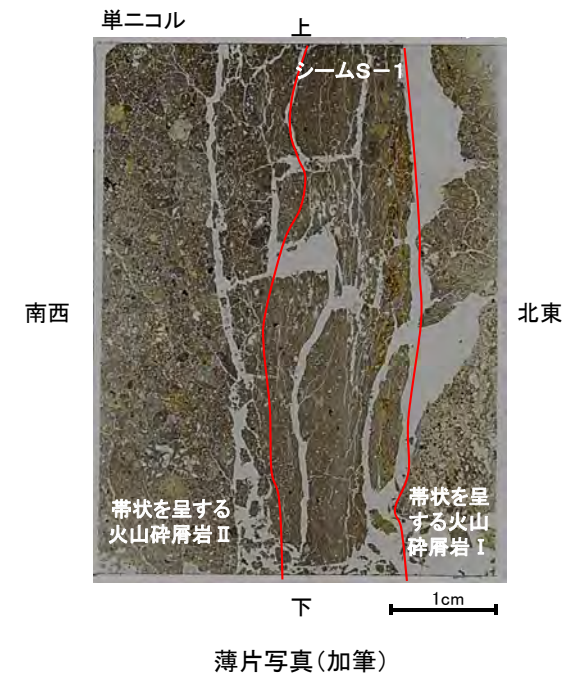
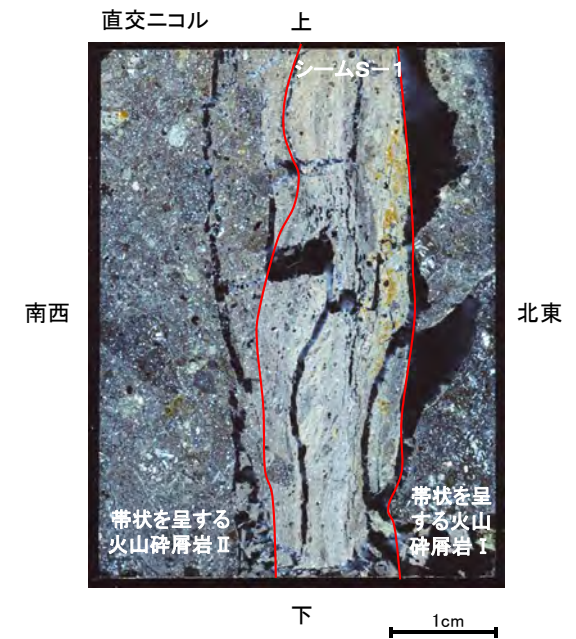
観察面概念図 (No.24-1\_90)



薄片作成位置付近 (No.24-1\_90)



薄片写真



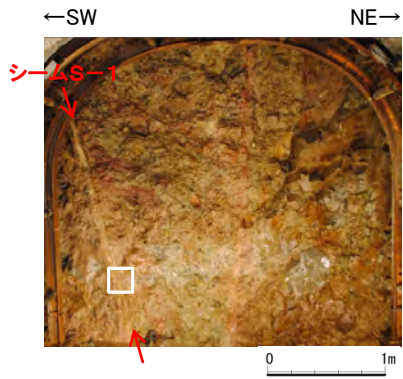
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

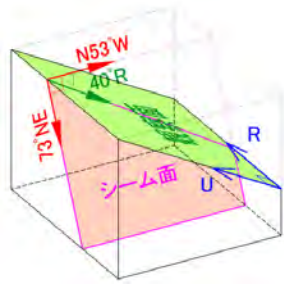
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



No.24切羽(研磨面 No.24-2\_40R)



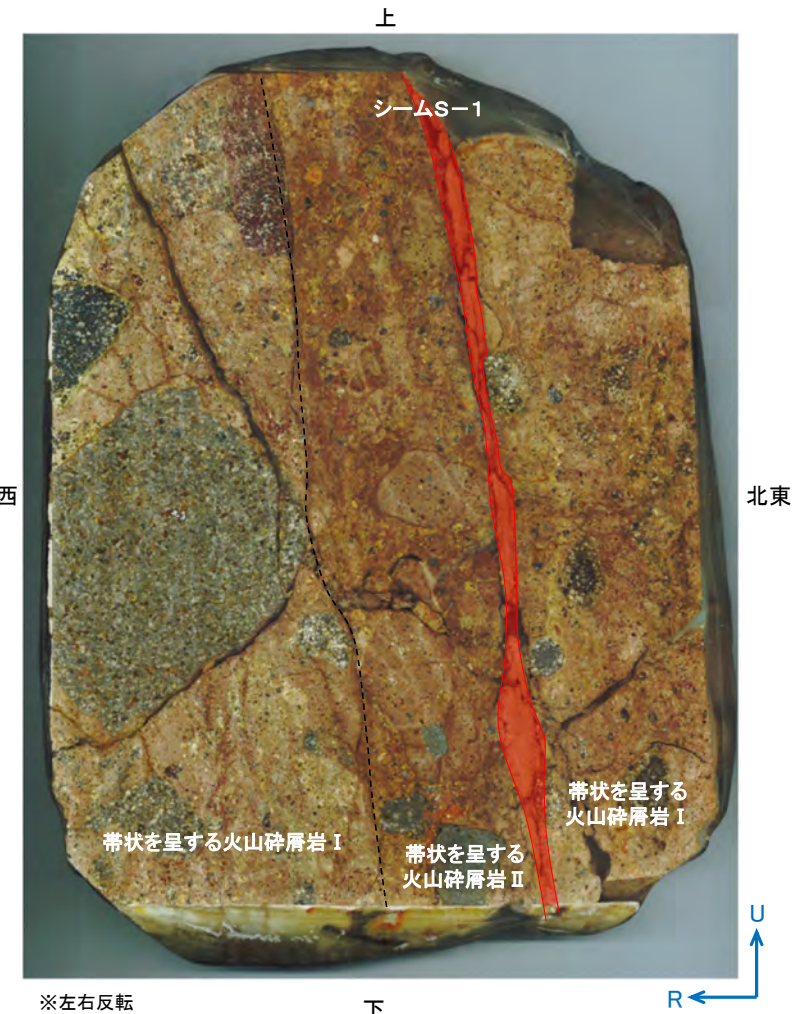
試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-2\_40R)



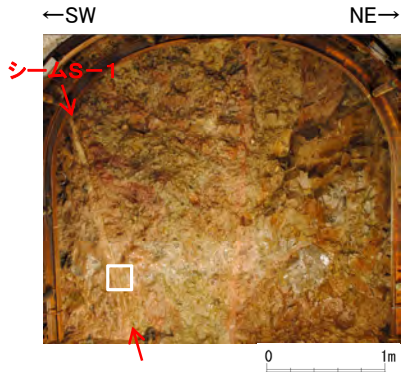
研磨面写真



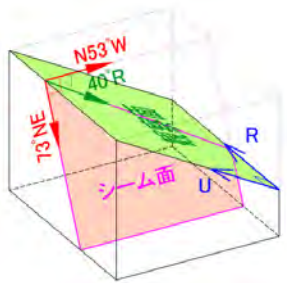
研磨面写真(加筆)



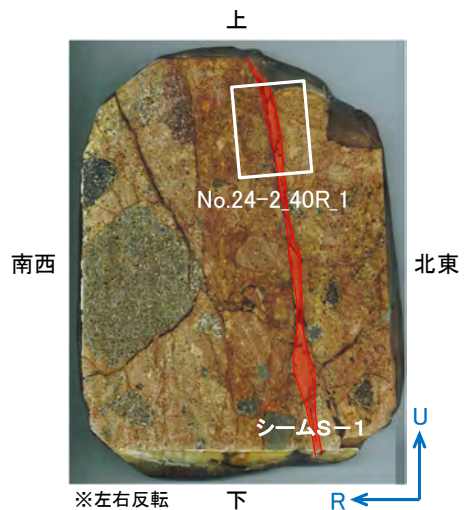
# No.24切羽(薄片 No.24-2\_40R\_1)



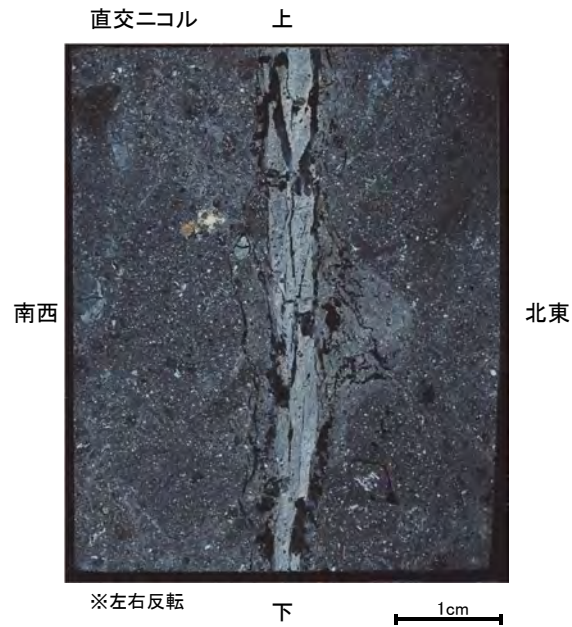
試料採取位置付近(No.24切羽)



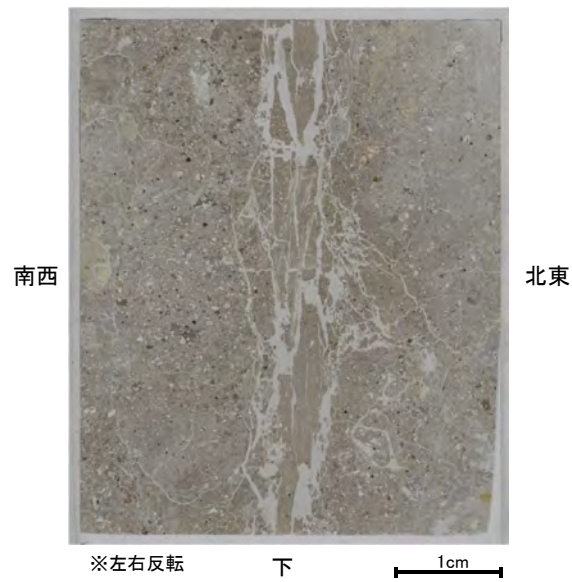
観察面概念図(No.24-2\_40R)



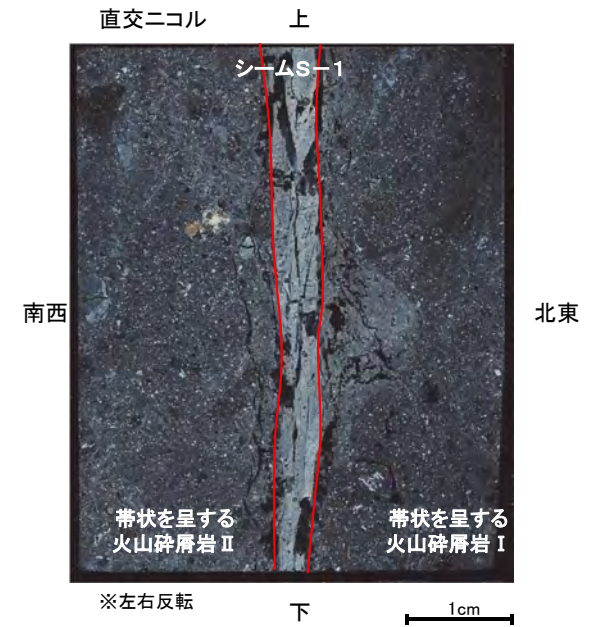
薄片作成位置付近(No.24-2\_40R)



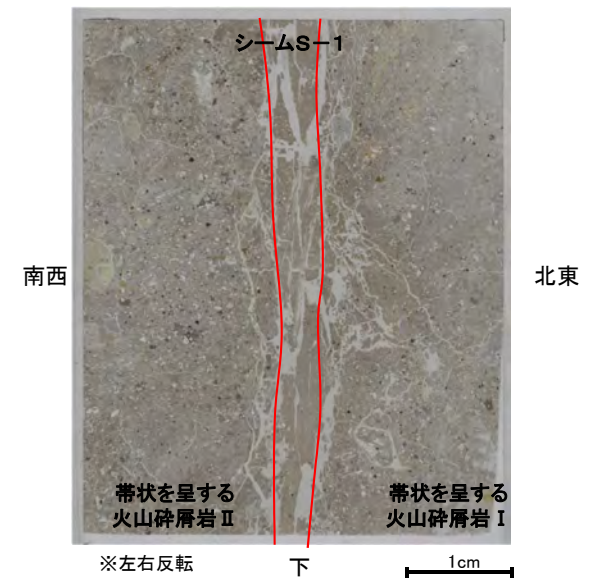
単ニコル 上



薄片写真



単ニコル 上



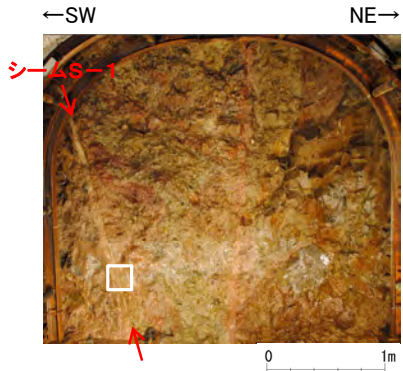
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

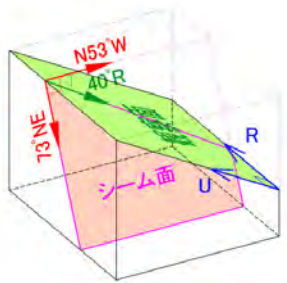
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



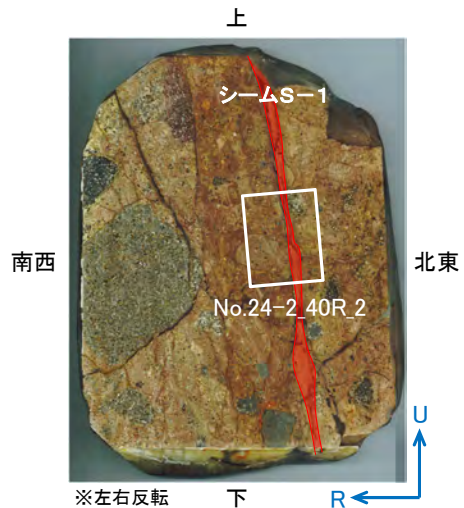
# No.24切羽(薄片 No.24-2\_40R\_2)



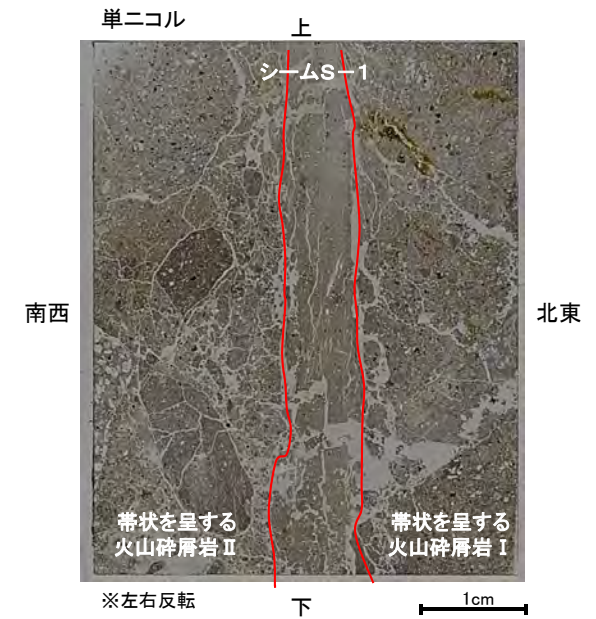
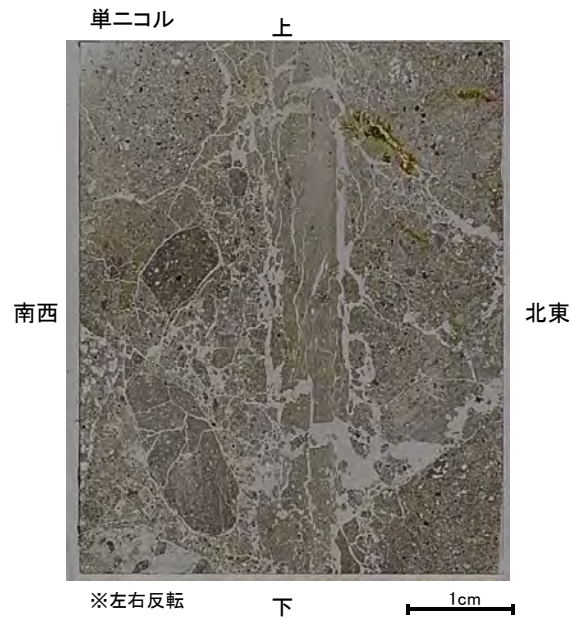
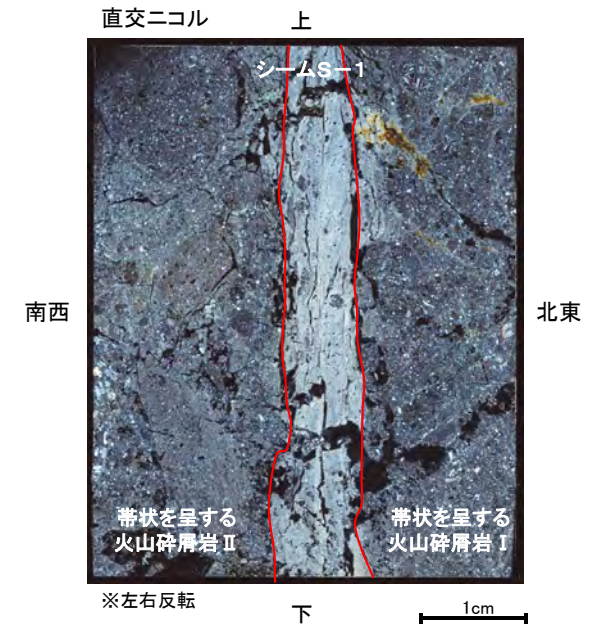
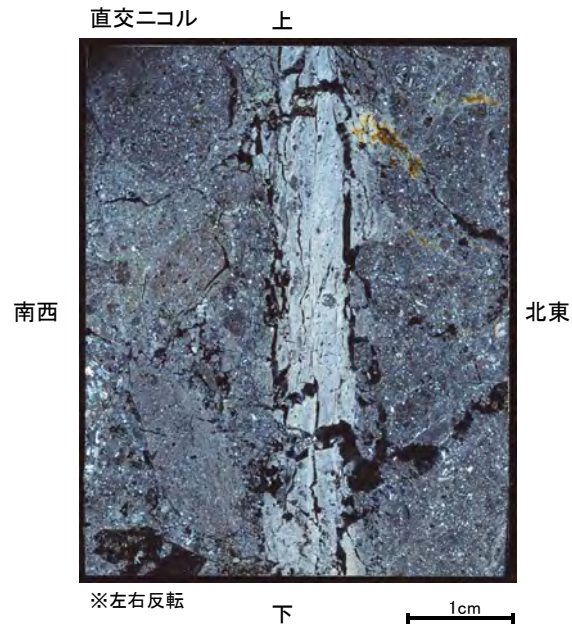
試料採取位置付近 (No.24切羽)



観察面概念図 (No.24-2\_40R)



薄片作成位置付近 (No.24-2\_40R)



薄片写真

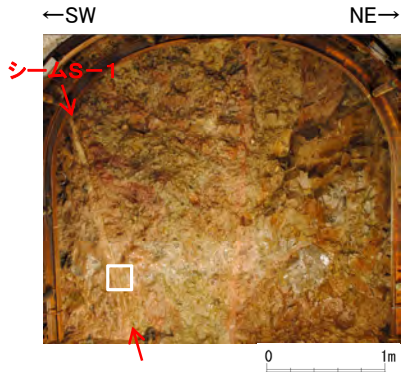
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

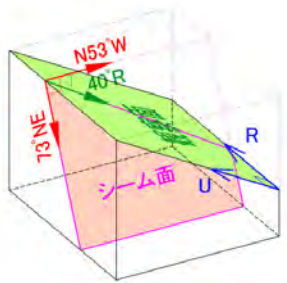
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



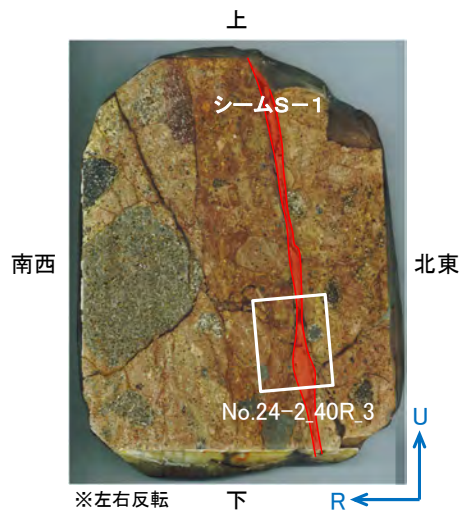
# No.24切羽(薄片 No.24-2\_40R\_3)



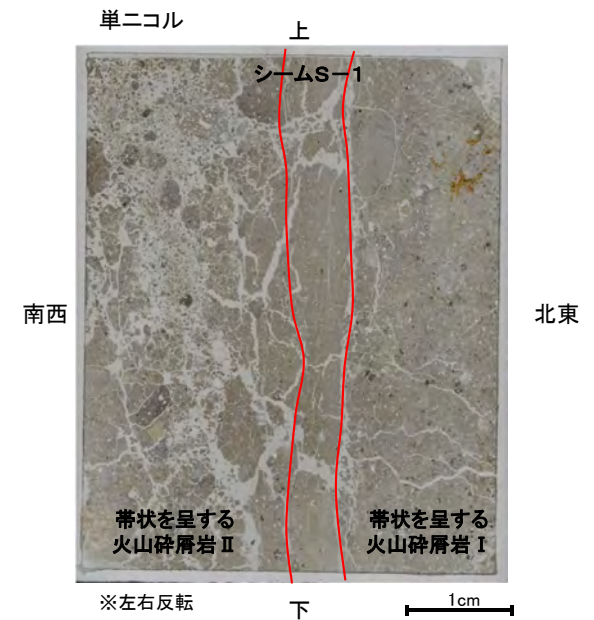
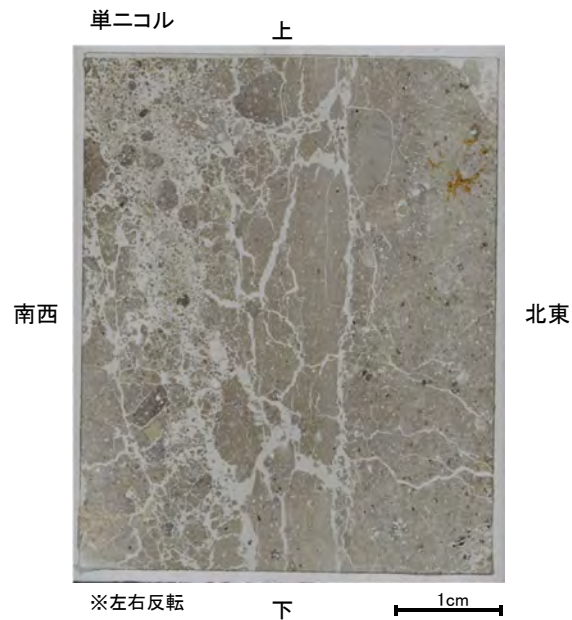
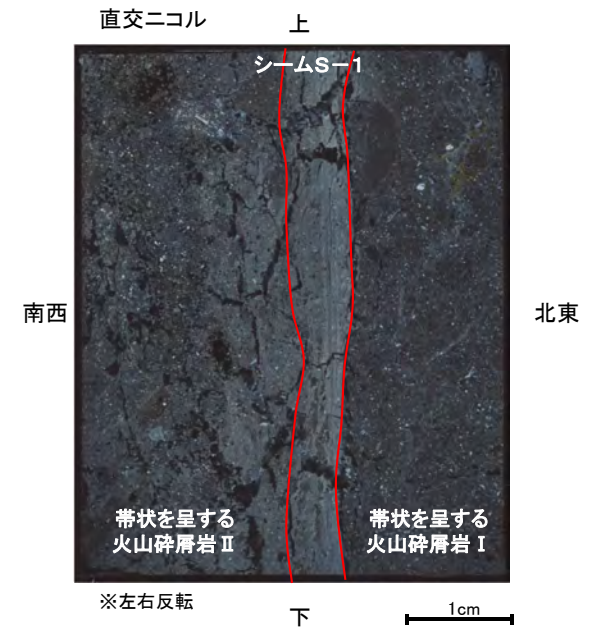
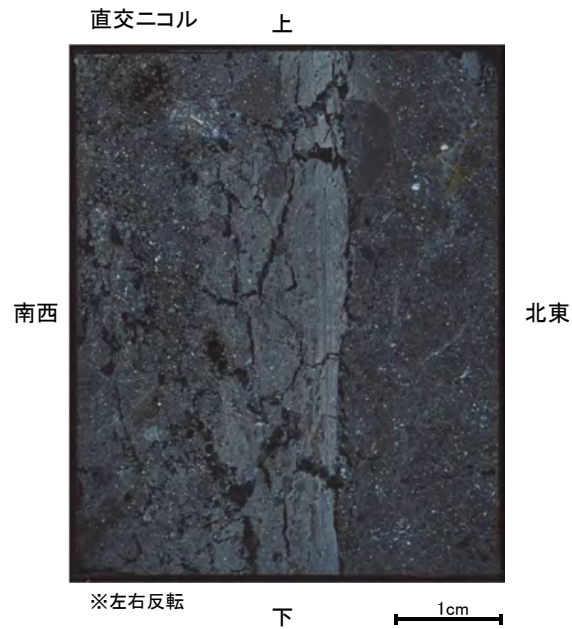
試料採取位置付近 (No.24切羽)



観察面概念図 (No.24-2\_40R)



薄片作成位置付近 (No.24-2\_40R)



薄片写真

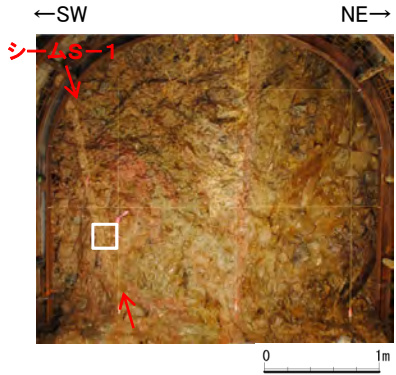
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

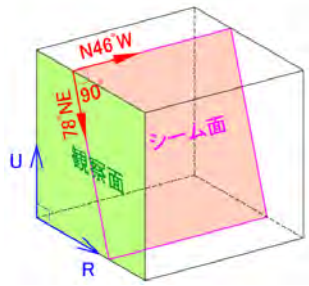
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



No.25切羽(研磨面 No.25-1\_90)



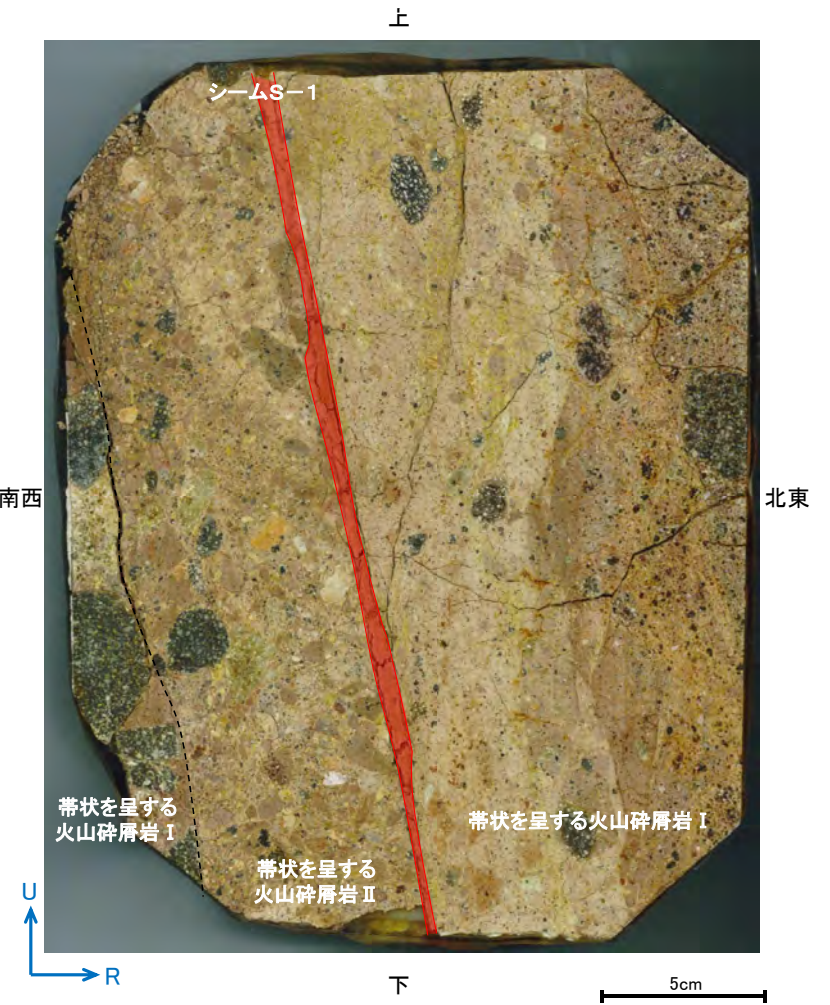
試料採取位置付近(No.25切羽)



観察面概念図(No.25-1\_90)



研磨面写真



研磨面写真(加筆)



# No.25切羽(薄片 No.25-1\_90\_2)

直交ニコル 上



南西

北東

下 1cm

単ニコル 上



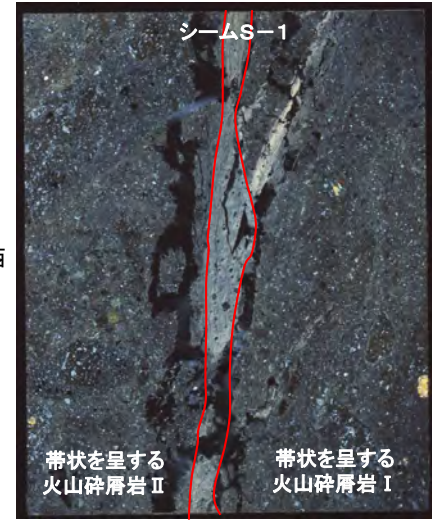
南西

北東

下 1cm

薄片写真

直交ニコル 上



南西

北東

下 1cm

単ニコル 上

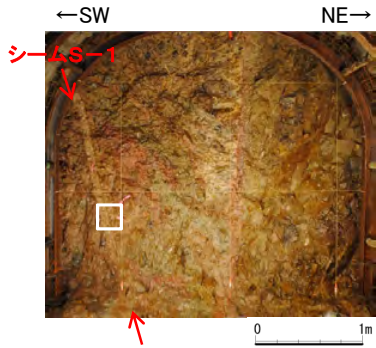


南西

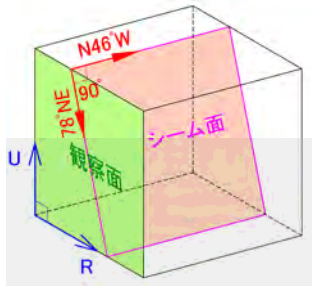
北東

下 1cm

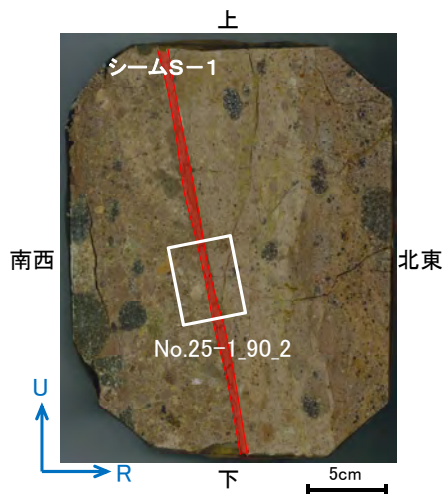
薄片写真(加筆)



試料採取位置付近(No.25切羽)



観察面概念図(No.25-1\_90)



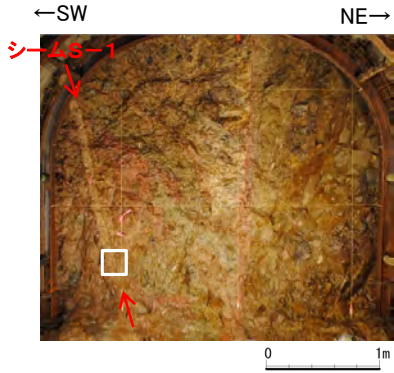
薄片作成位置付近(No.25-1\_90)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

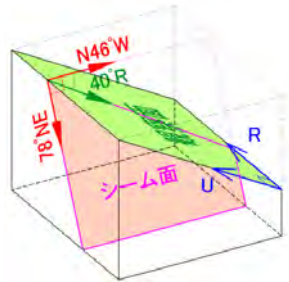
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



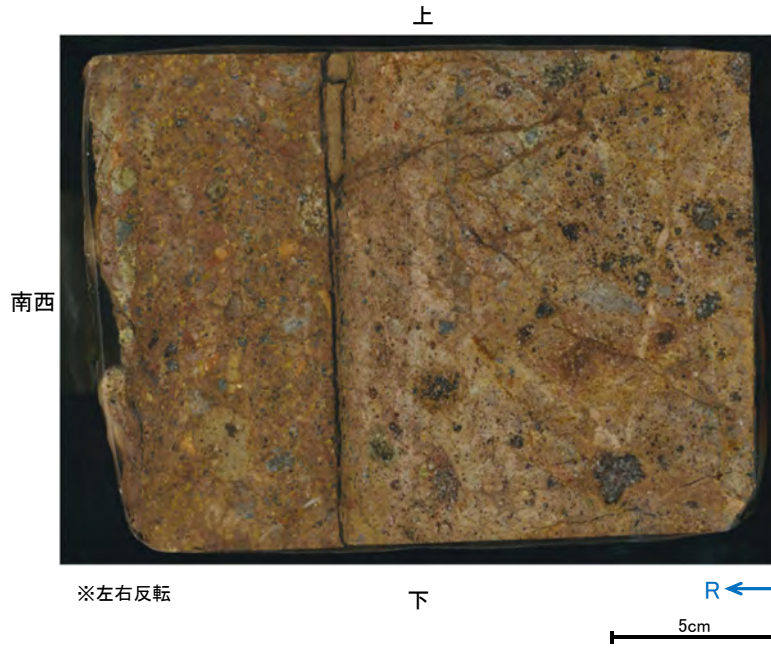
No.25切羽(研磨面 No.25-2\_40R)



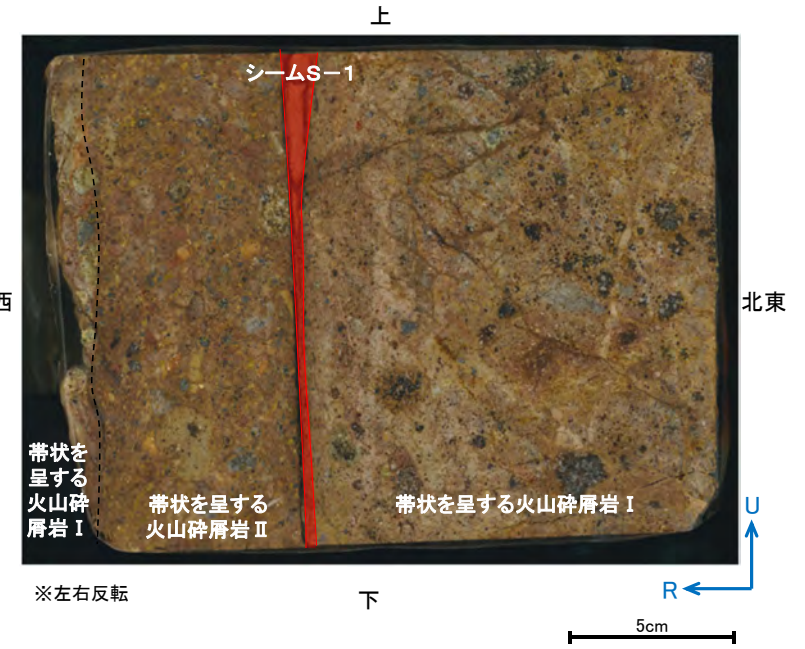
試料採取位置付近 (No.25切羽)



観察面概念図 (No.25-2\_40R)



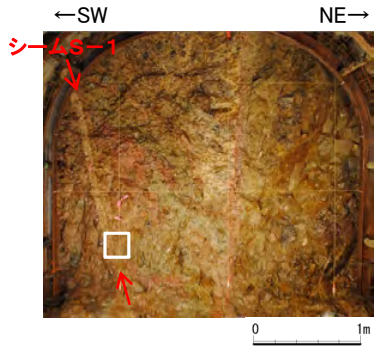
研磨面写真



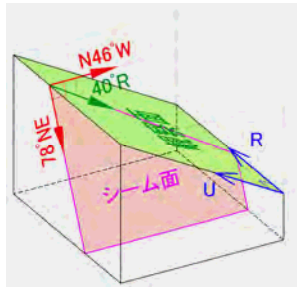
研磨面写真(加筆)



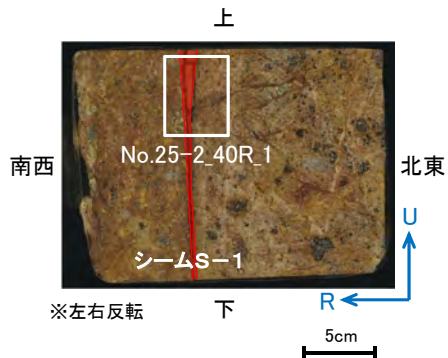
# No.25切羽(薄片 No.25-2\_40R\_1)



試料採取位置付近 (No.25切羽)



観察面概念図 (No.25-2\_40R)

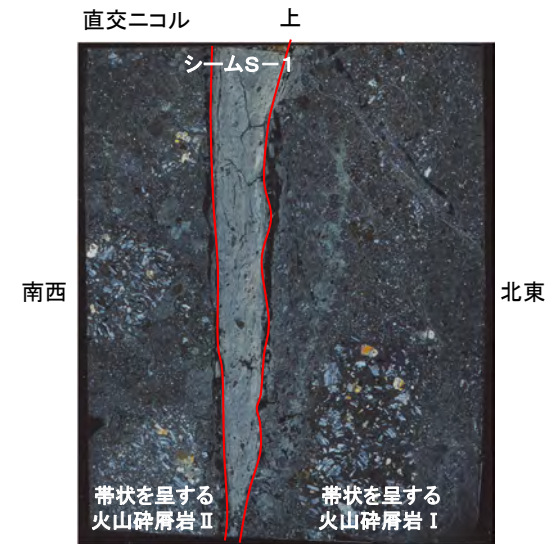
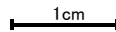


薄片作成位置付近 (No.25-2\_40R)



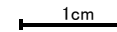
※左右反転

下



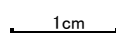
※左右反転

下

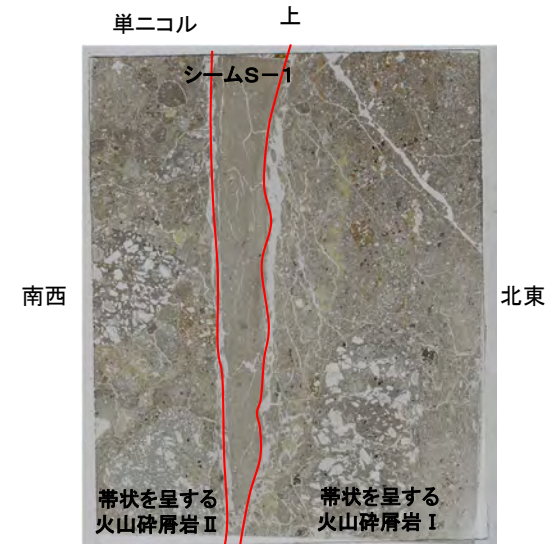


※左右反転

下

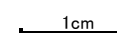


薄片写真



※左右反転

下



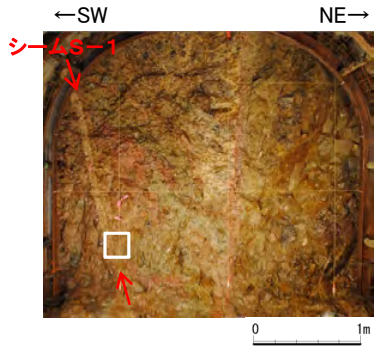
薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

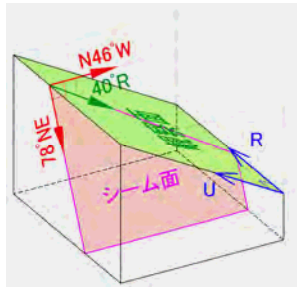
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



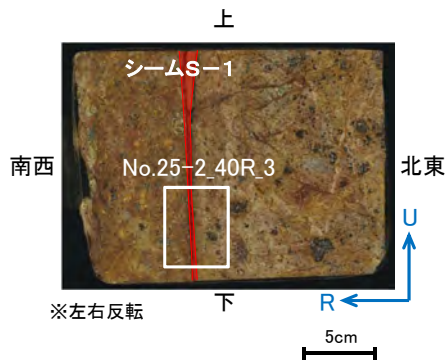
# No.25切羽(薄片 No.25-2\_40R\_3)



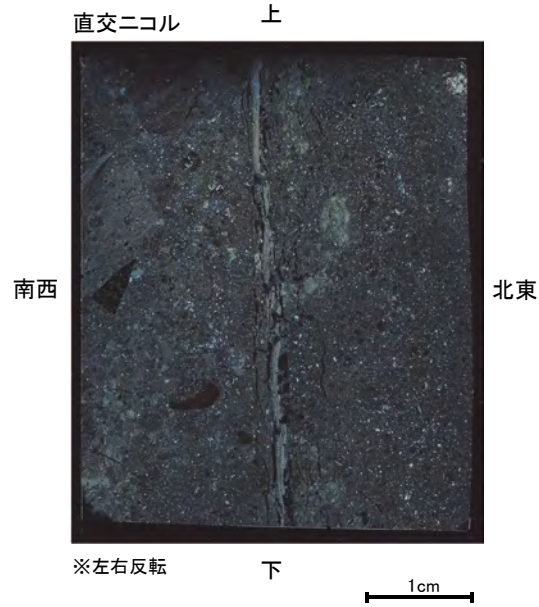
試料採取位置付近 (No.25切羽)



観察面概念図 (No.25-2\_40R)

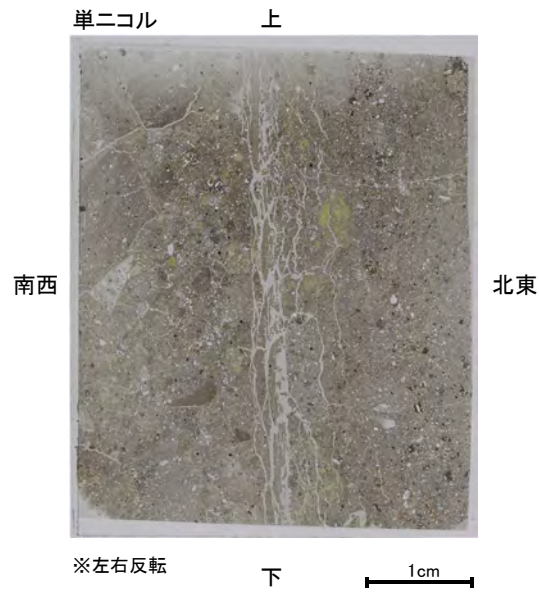
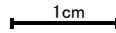


薄片作成位置付近 (No.25-2\_40R)



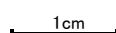
※左右反転

下

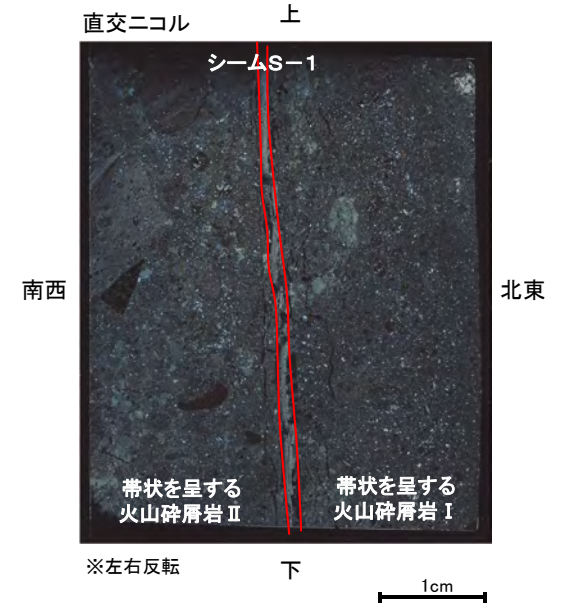


※左右反転

下

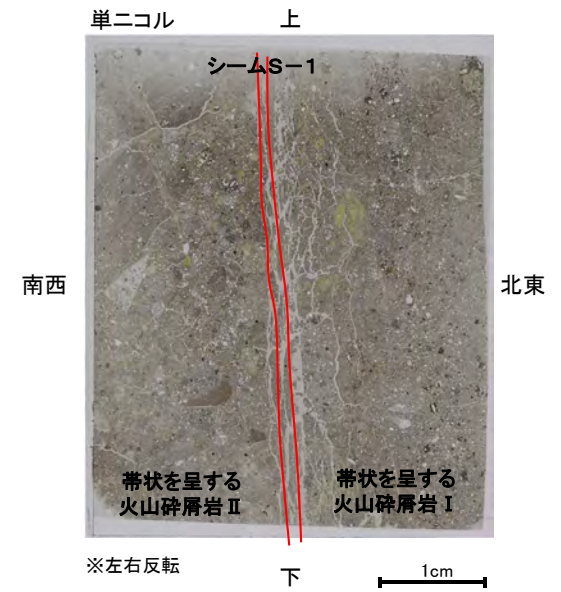
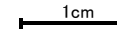


薄片写真



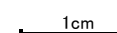
※左右反転

下



※左右反転

下



薄片写真(加筆)

・带状を呈する火山碎屑岩のシームS-1近接部の礫及び基質には、せん断性の割れ目は認められない。

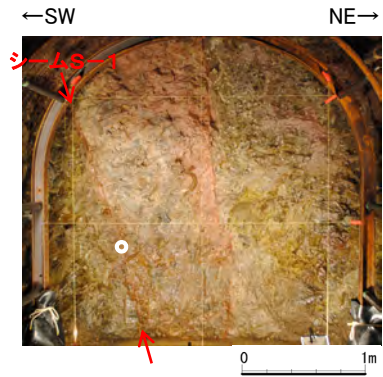
・シームS-1は、带状を呈する火山碎屑岩の基質の構造を残して粘土化している。



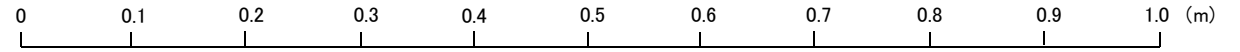
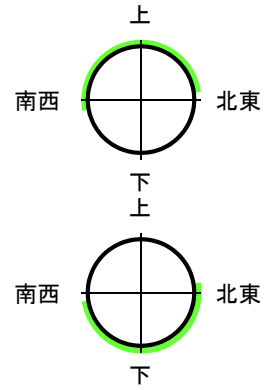
### 3. 岩盤調査坑(CT画像解析)



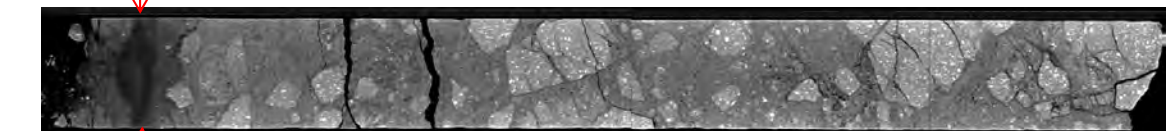
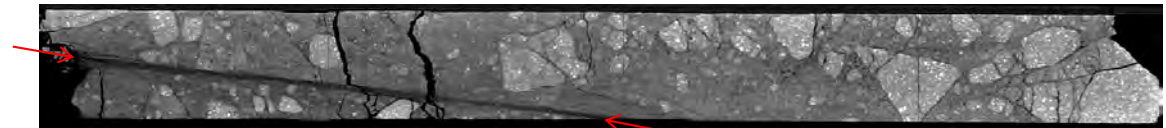
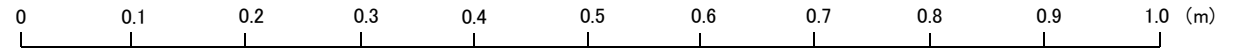
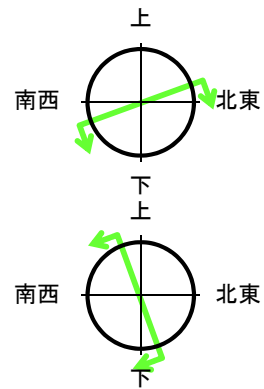
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.8)



試料採取位置(No.8切羽)



コア写真



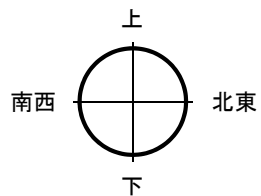
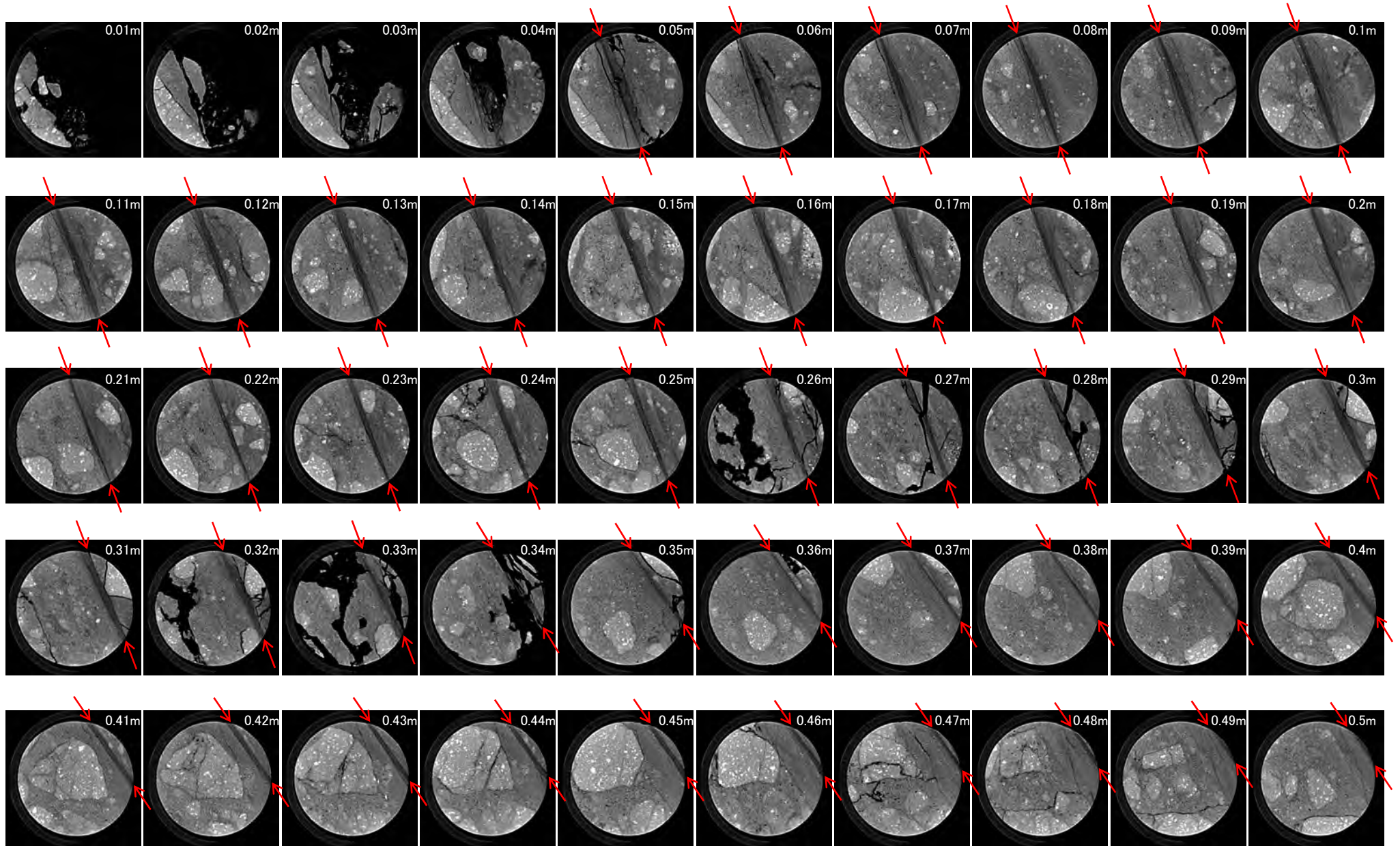
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

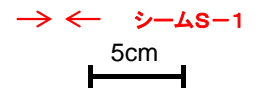
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.05~0.50m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.8) [0.01~0.5m]

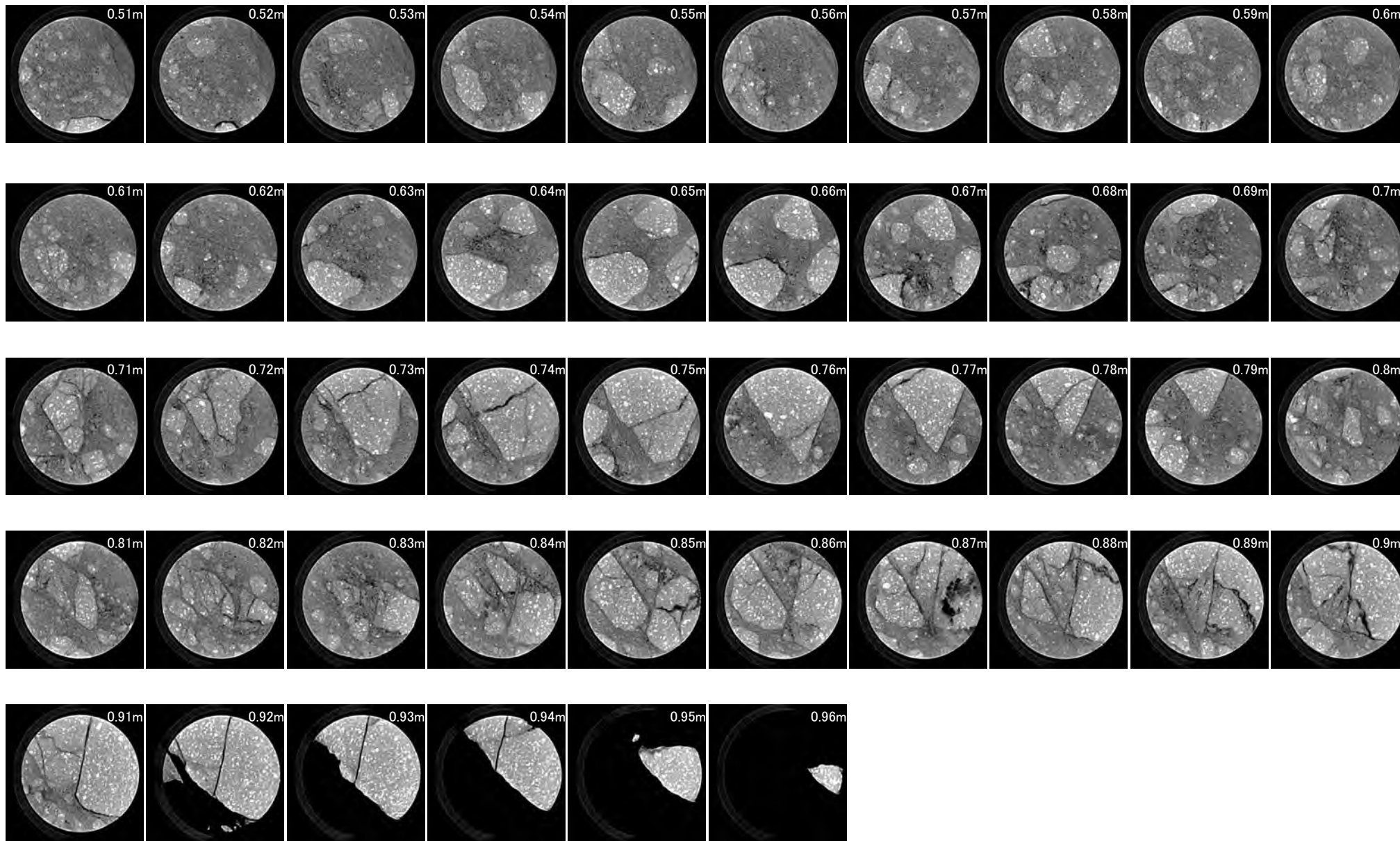


CTスキャン画像(横断面)

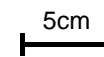
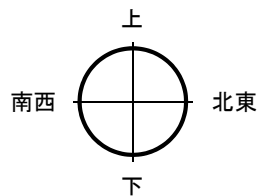




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.8) [0.51~0.96m]

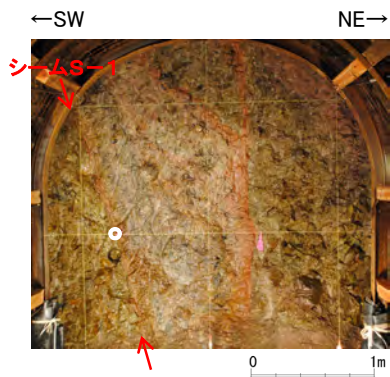


CTスキャン画像(横断面)

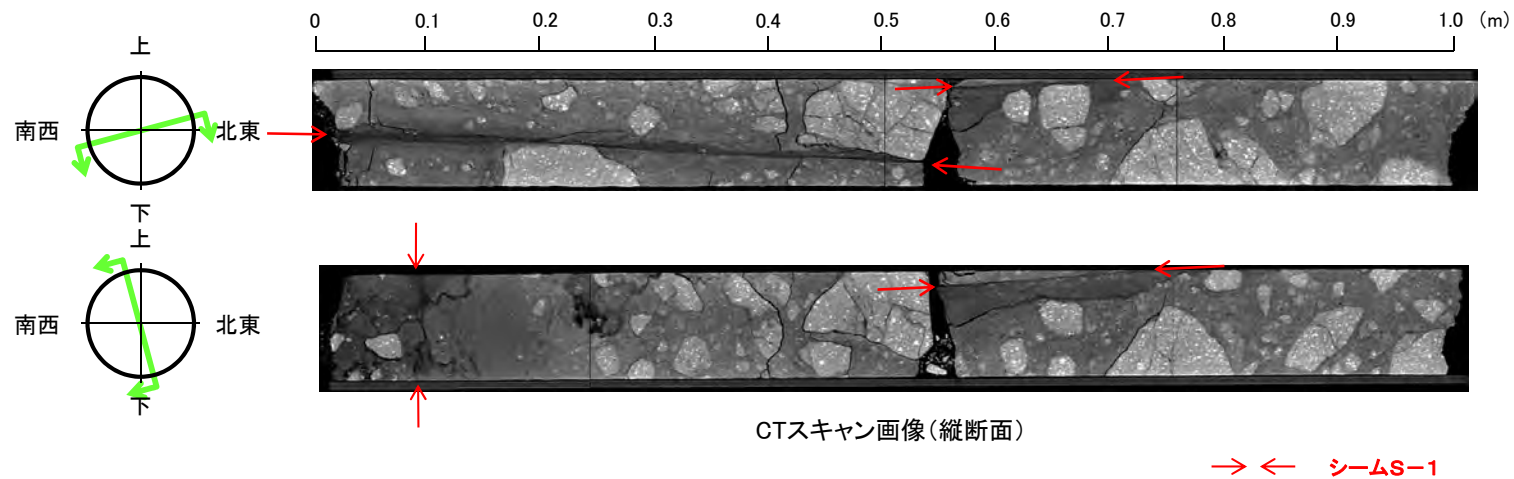
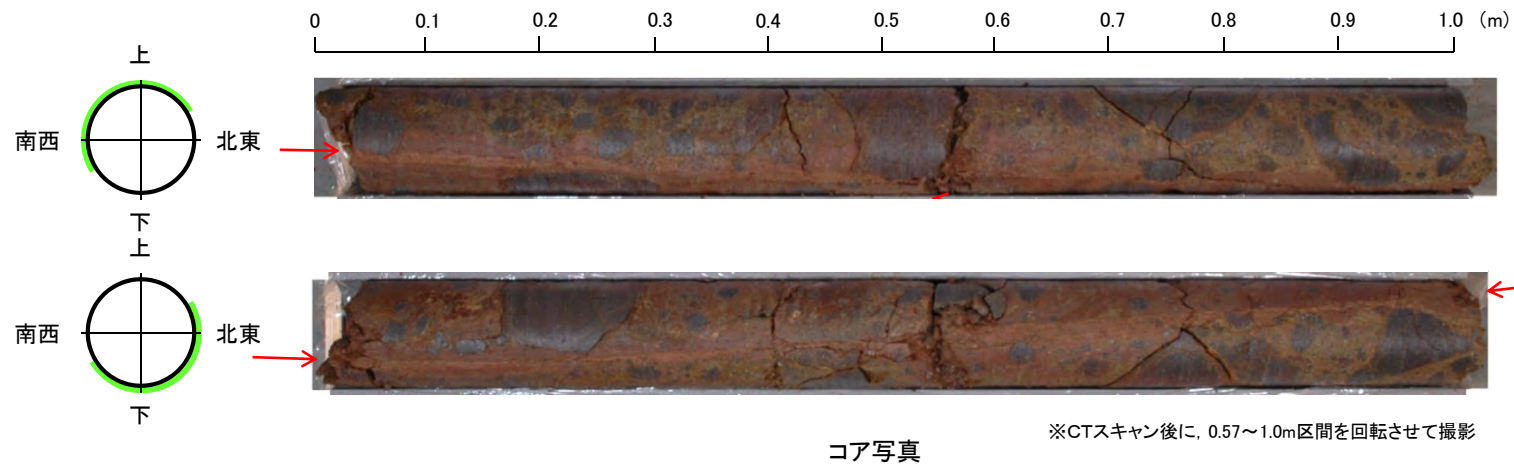




# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.9)



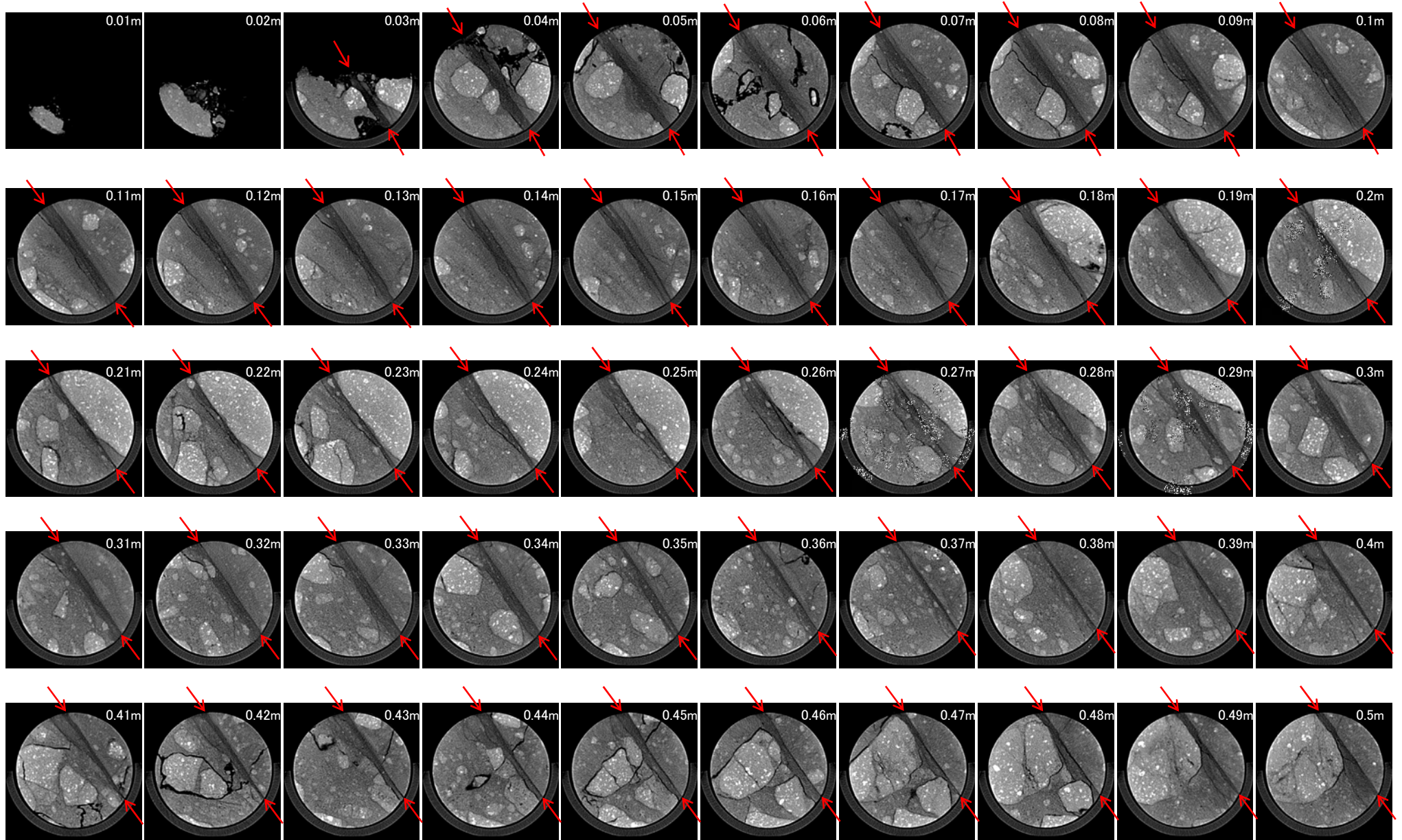
試料採取位置(No.9切羽)



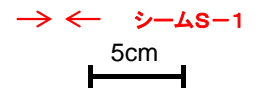
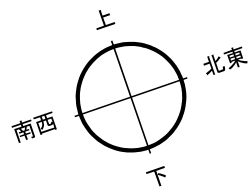
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.03~1.00m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.9) [0.01~0.5m]

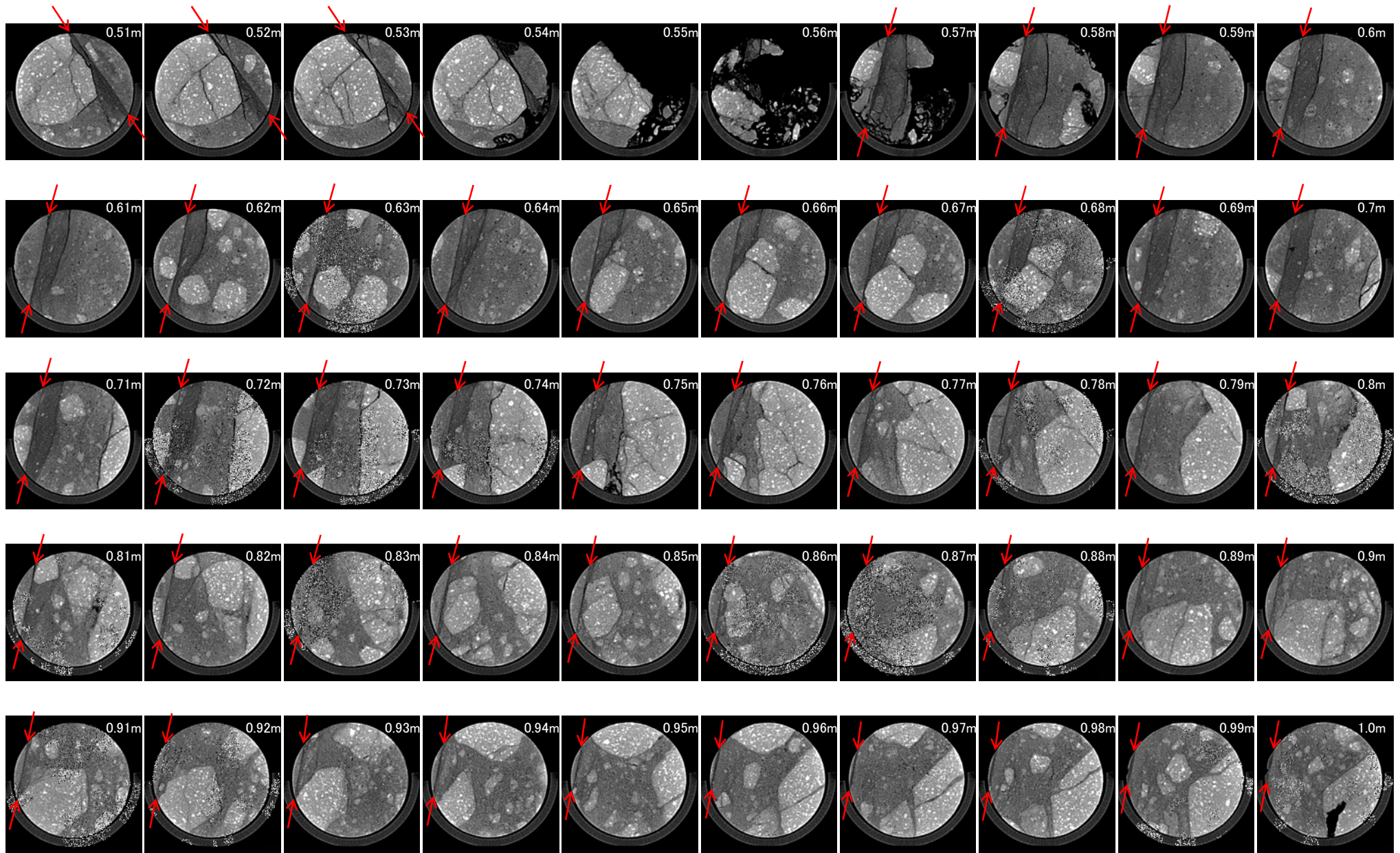


CTスキャン画像(横断面)

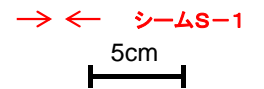
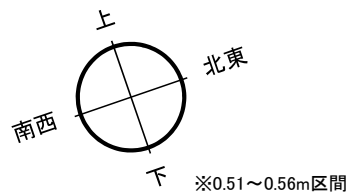




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.9) [0.51~1.00m]

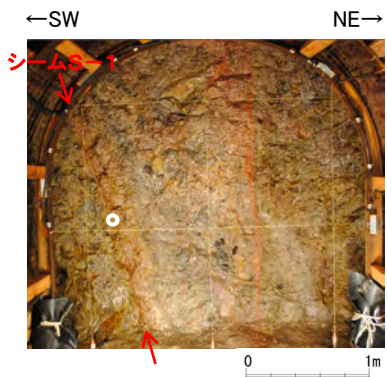


CTスキャン画像(横断面)

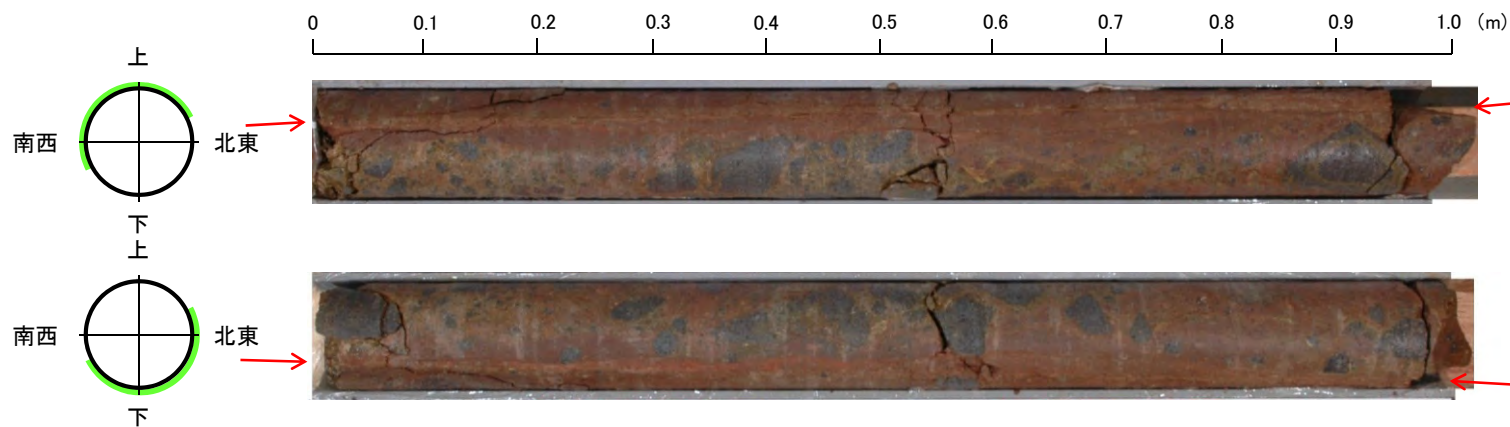




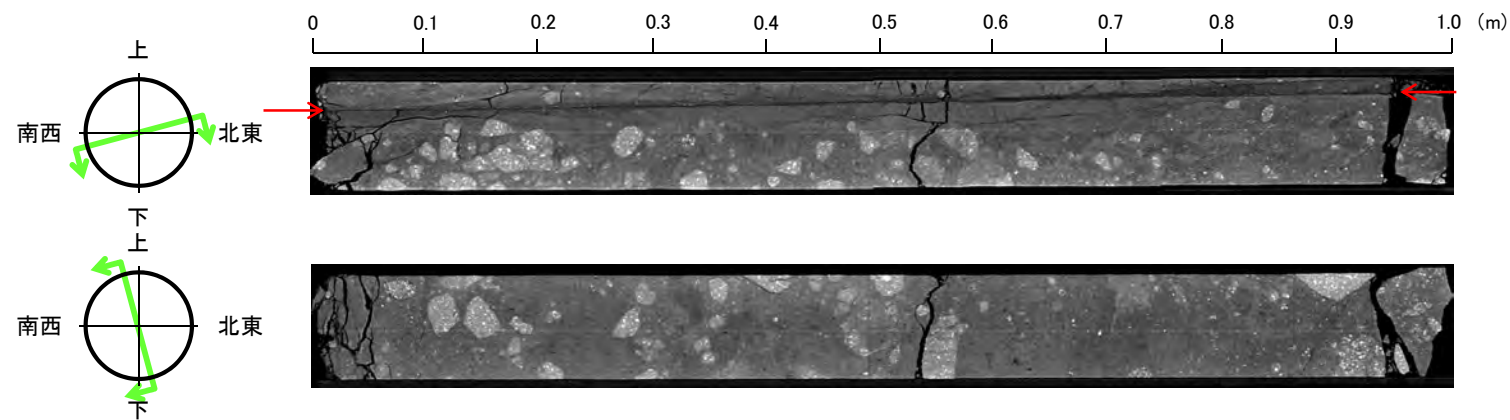
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.10)



試料採取位置(No.10切羽)



コア写真



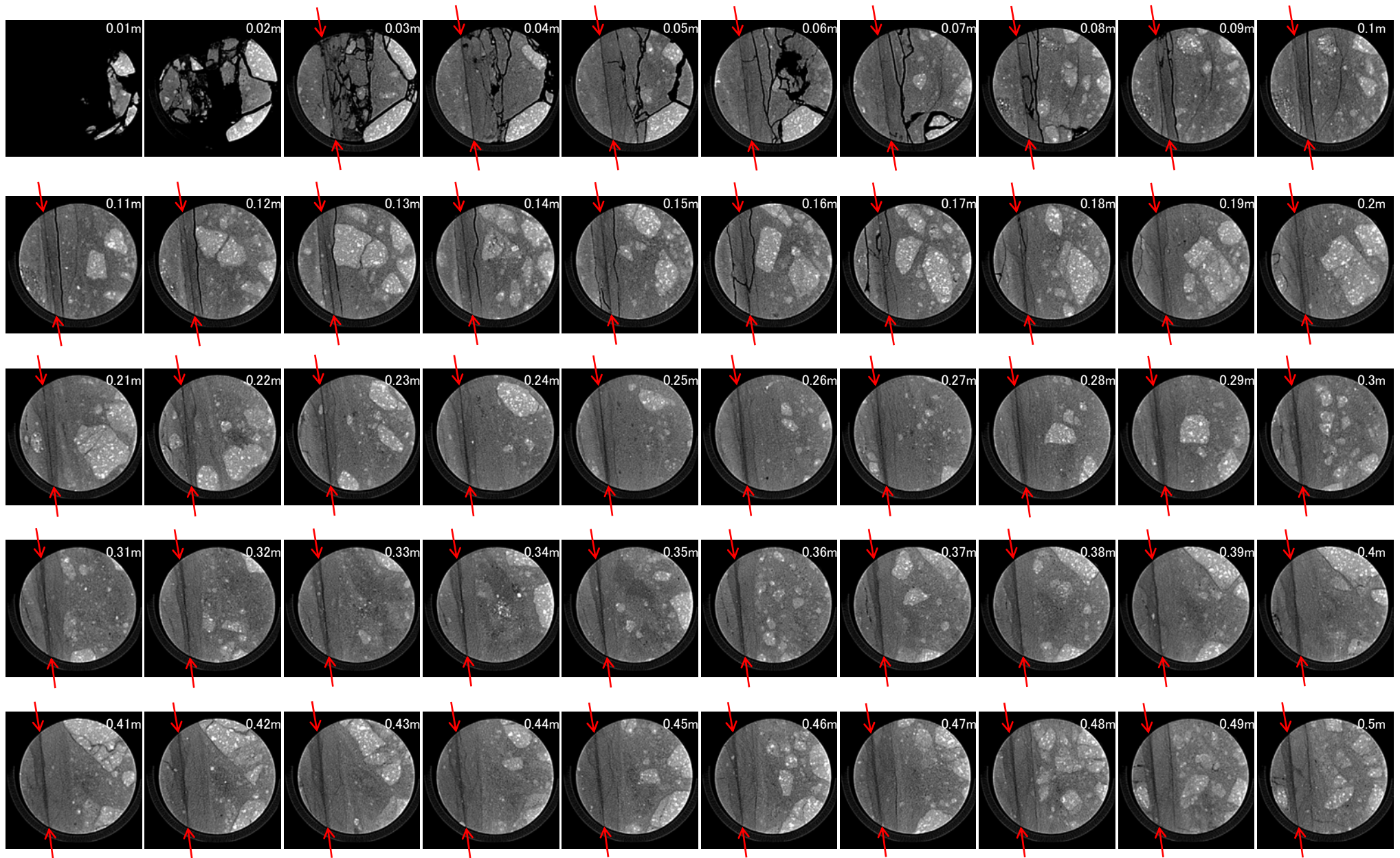
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

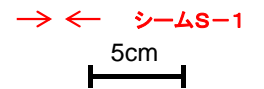
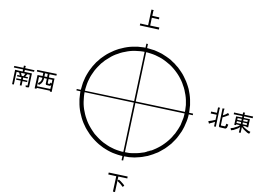
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.03~0.94m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.10) [0.01~0.5m]

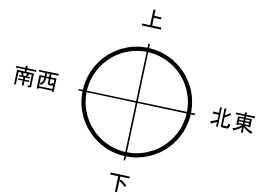
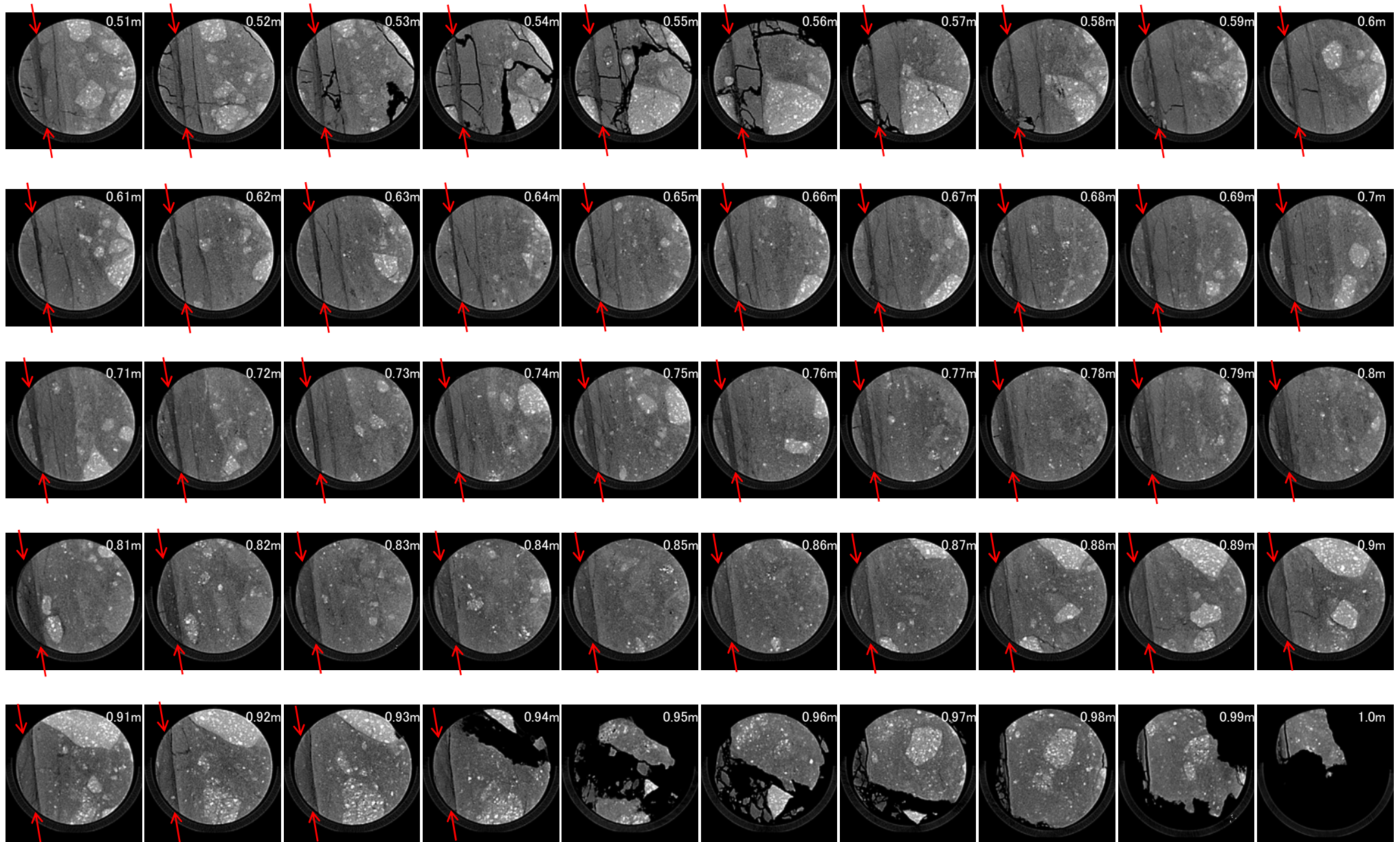


CTスキャン画像(横断面)

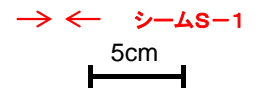




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.10) [0.51~1.0m]

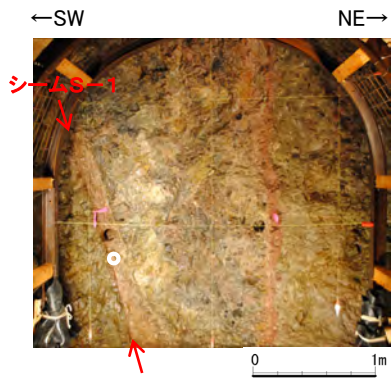


CTスキャン画像(横断面)

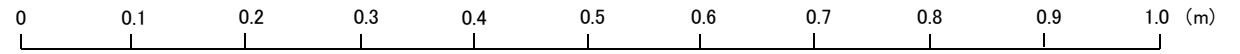
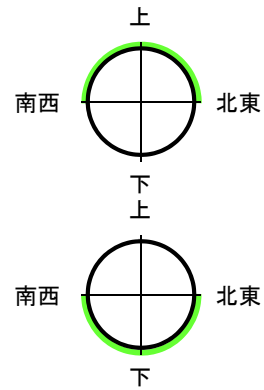




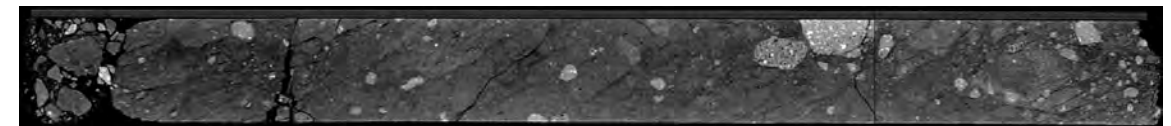
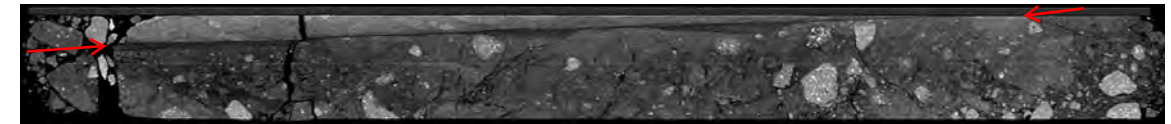
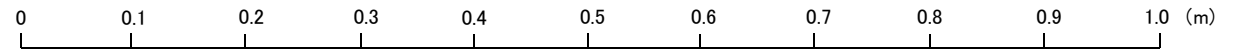
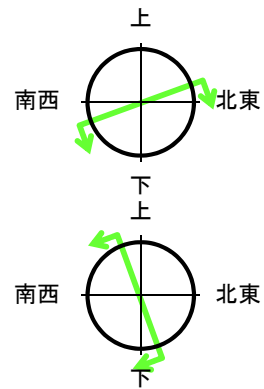
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.12)



試料採取位置(No.12切羽)



コア写真



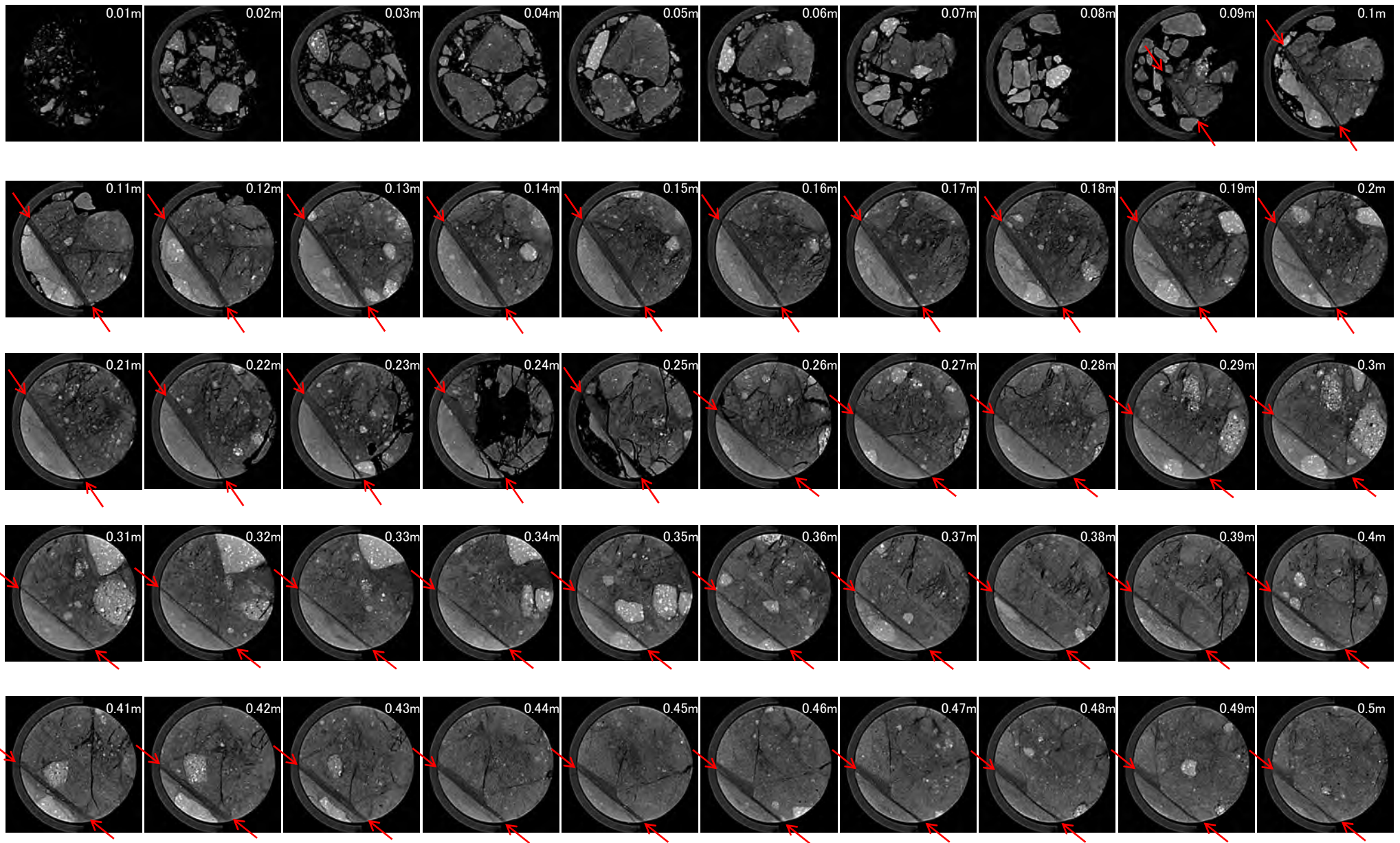
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

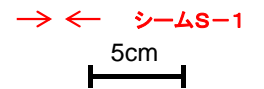
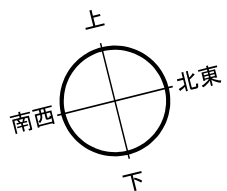
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.09~0.89m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.12) [0.01~0.5m]

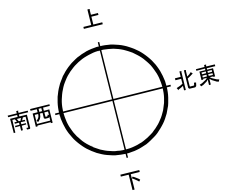
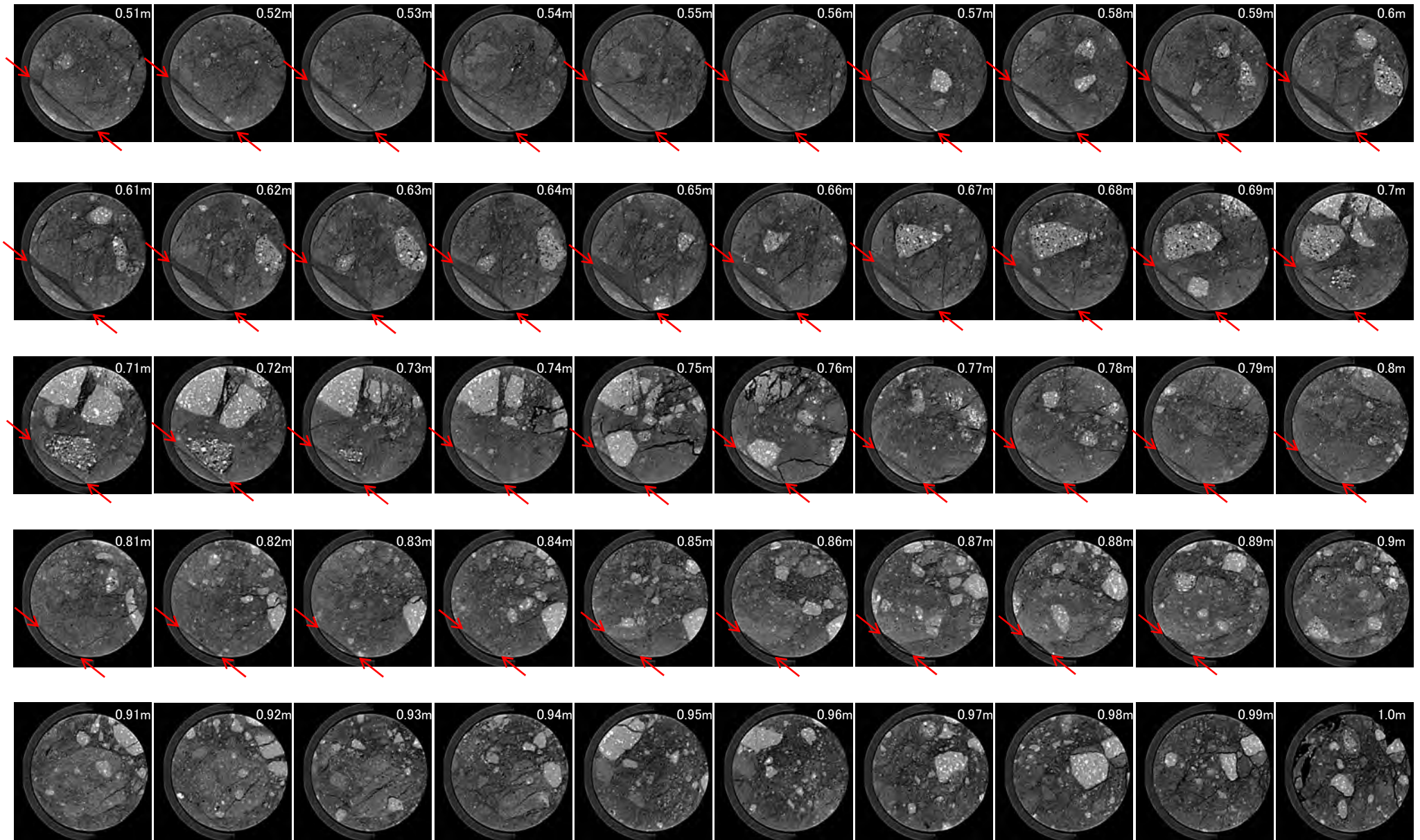


CTスキャン画像(横断面)

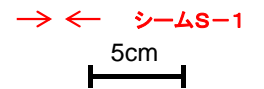




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.12) [0.51~1.0m]

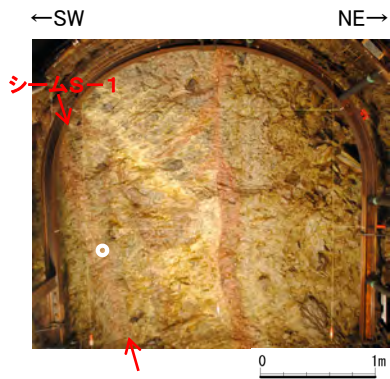


CTスキャン画像(横断面)

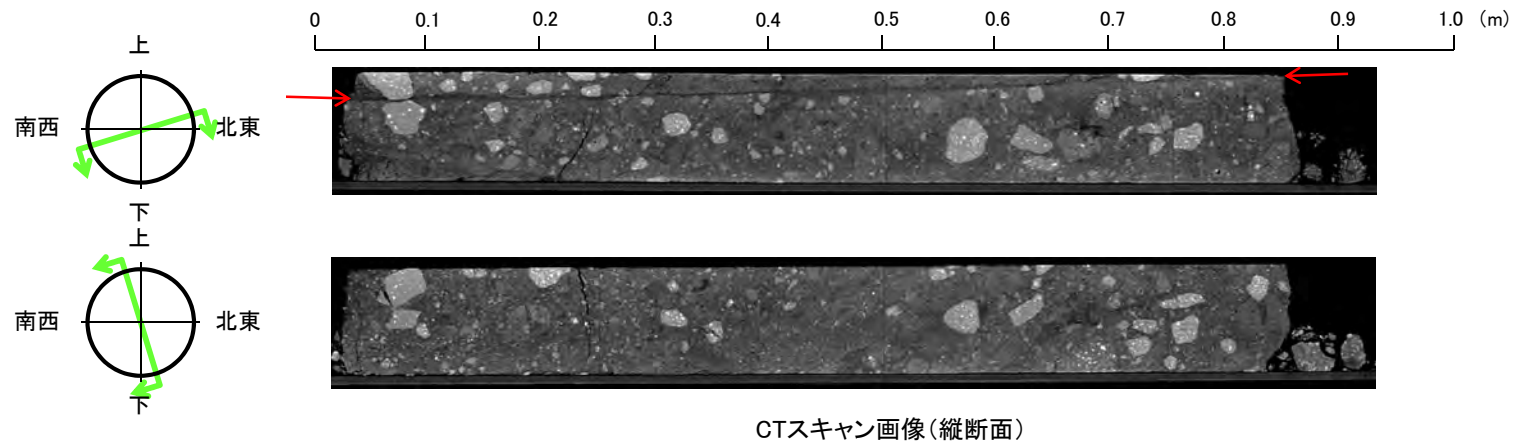
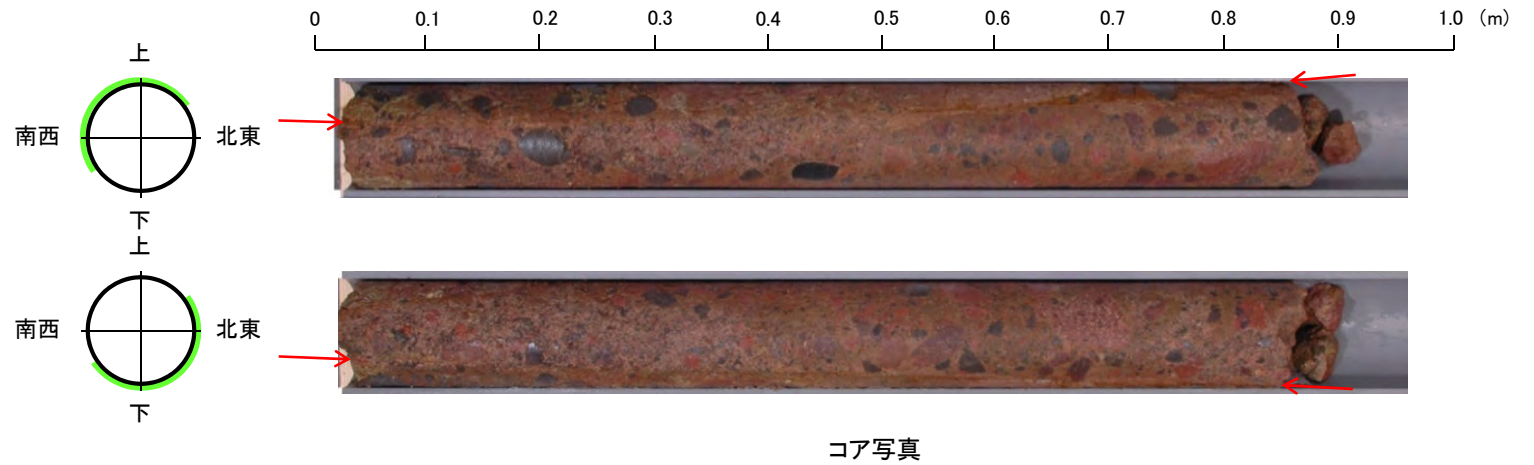




# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.17)



試料採取位置(No.17切羽)

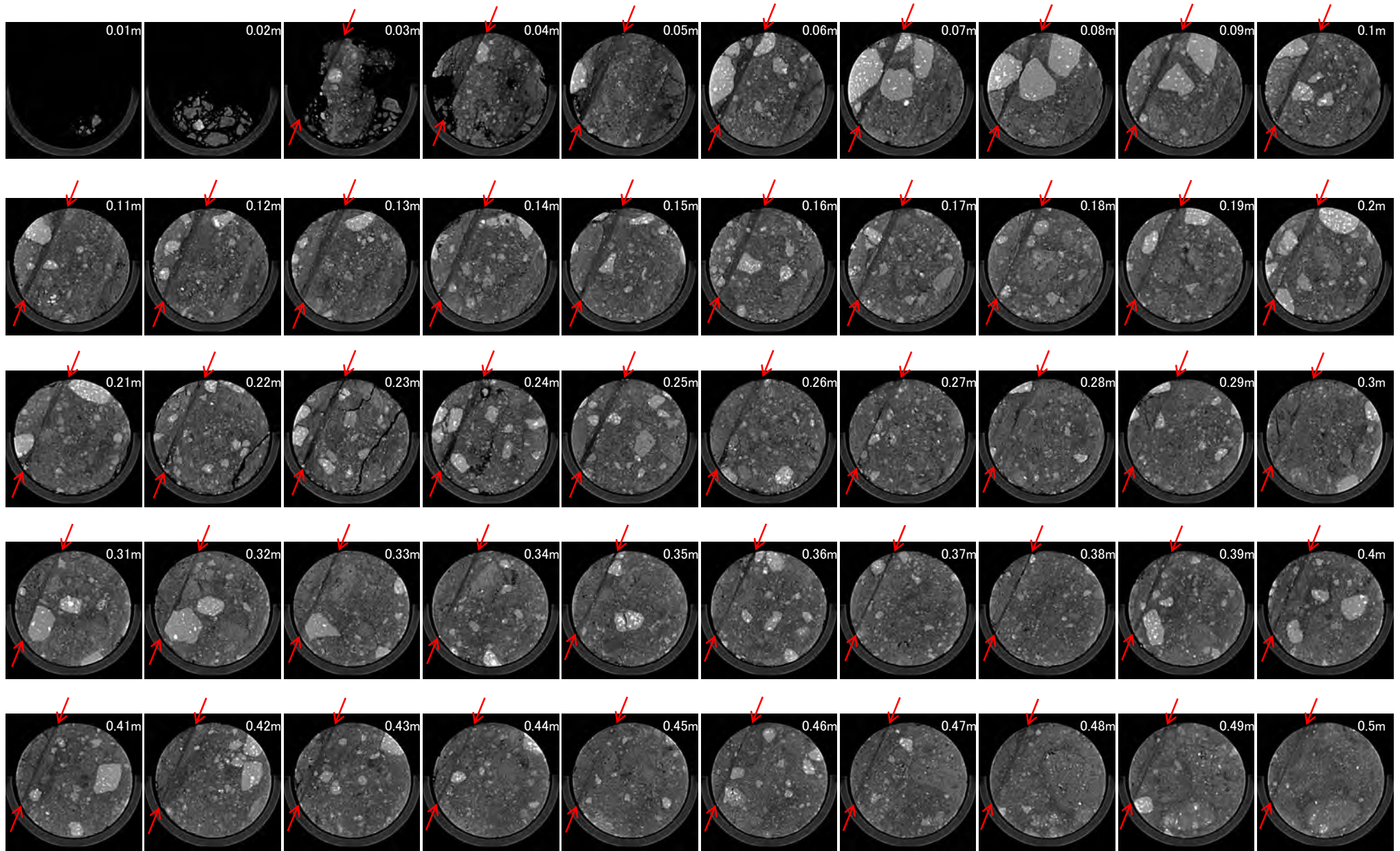


→ ← シームS-1

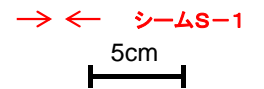
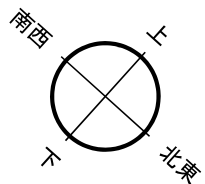
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.03~0.84m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.17) [0.01~0.5m]

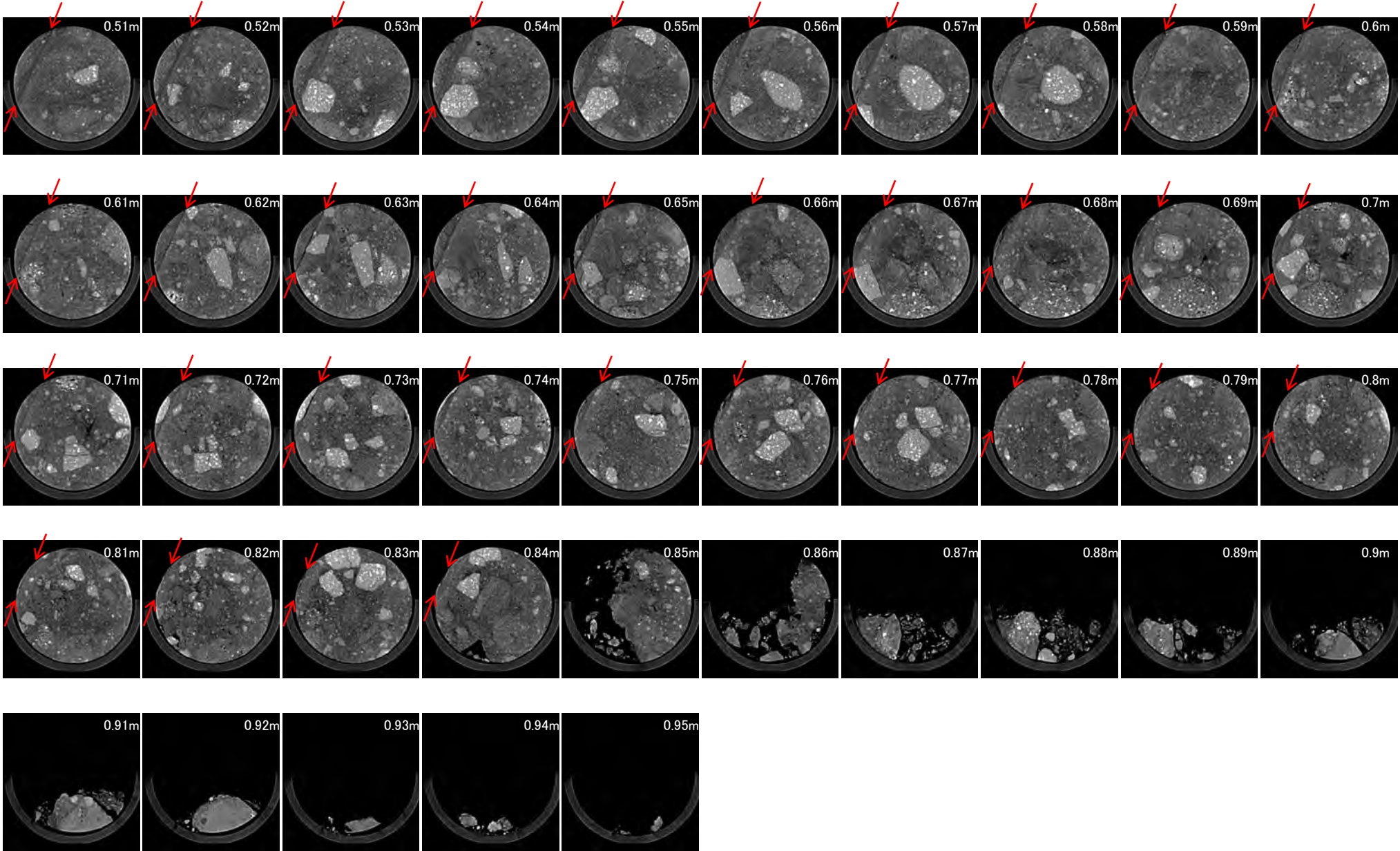


CTスキャン画像(横断面)

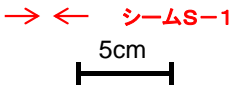
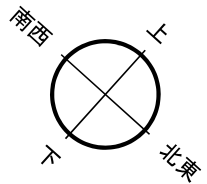




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.17) [0.51~0.95m]

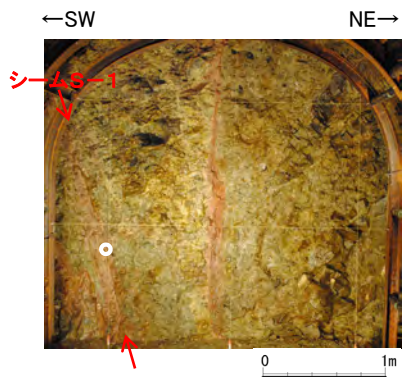


CTスキャン画像(横断面)

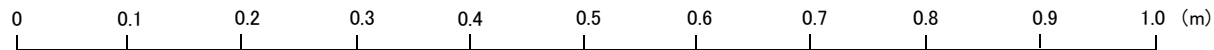
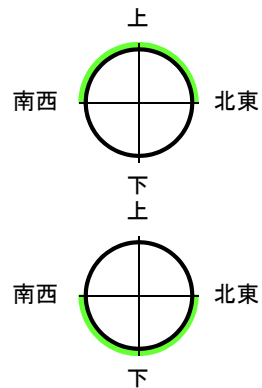




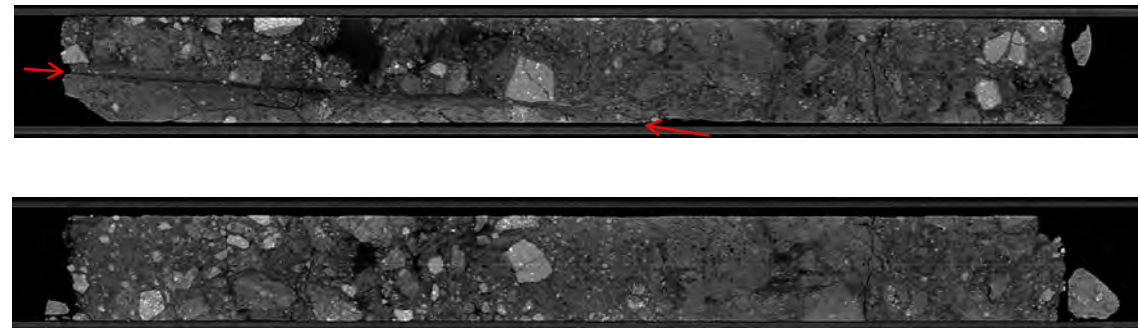
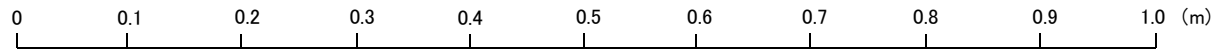
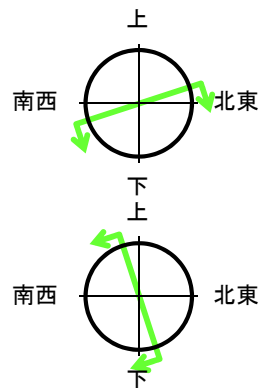
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.18-1)



試料採取位置(No.18切羽)



コア写真



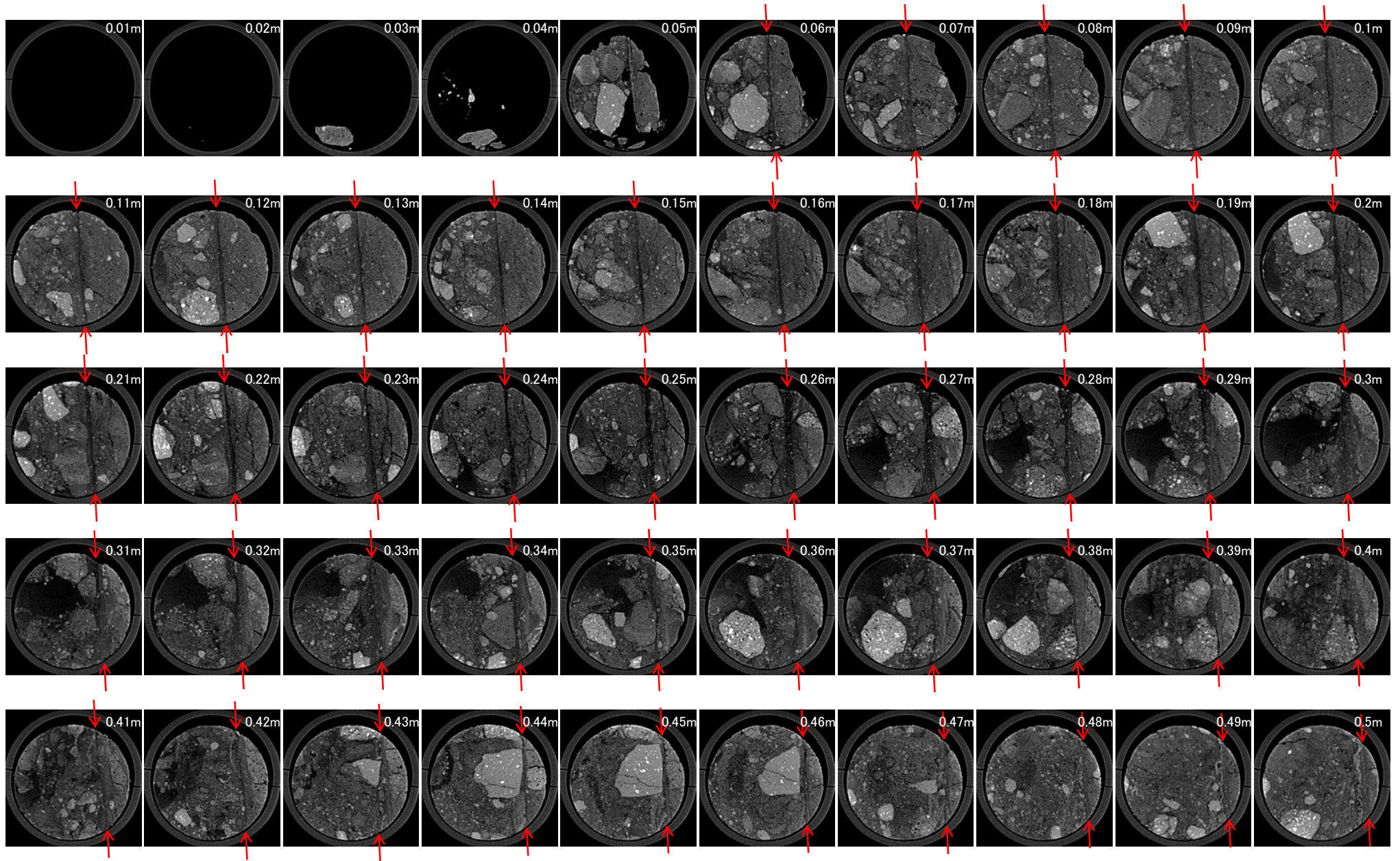
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

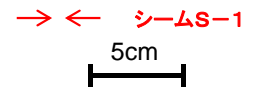
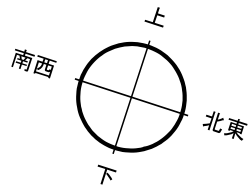
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.06~0.53m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.18-1) [0.01~0.5m]

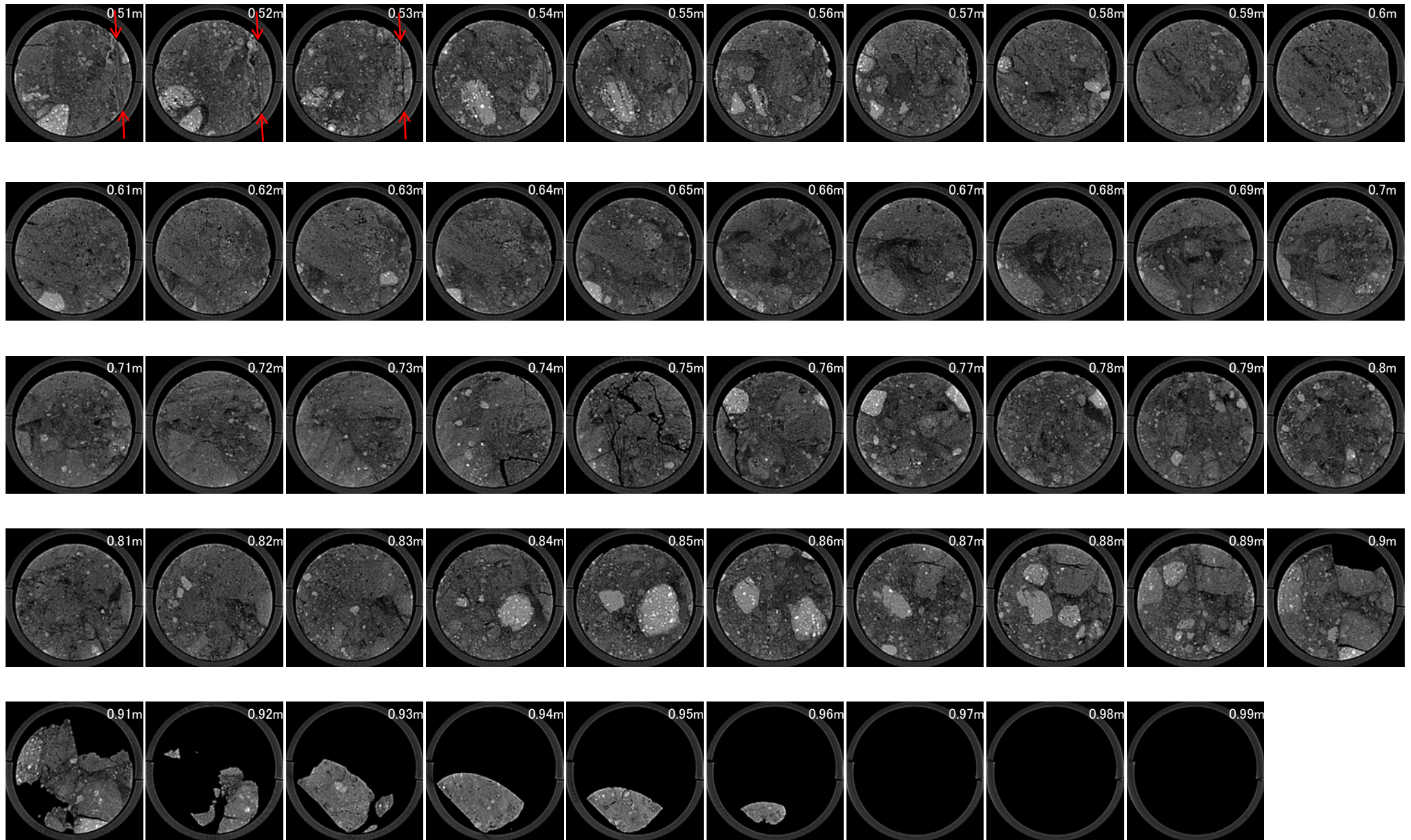


CTスキャン画像(横断面)

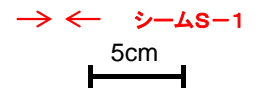
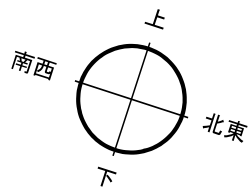




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.18-1) [0.51~0.99m]

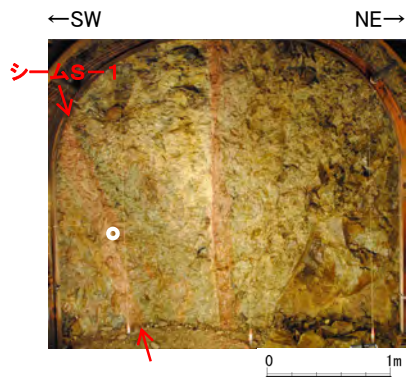


CTスキャン画像(横断面)

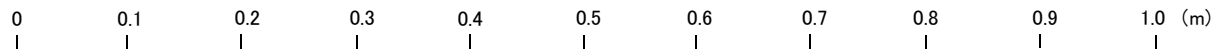
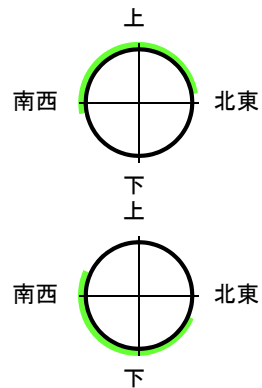




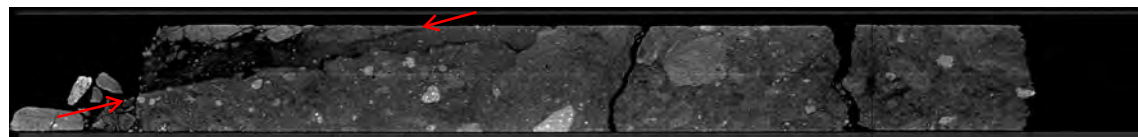
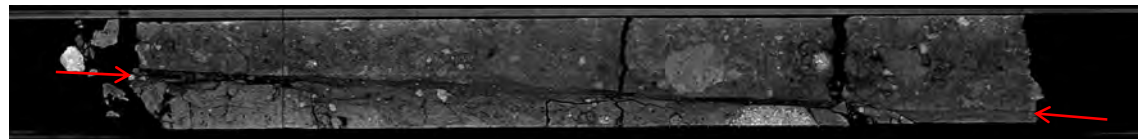
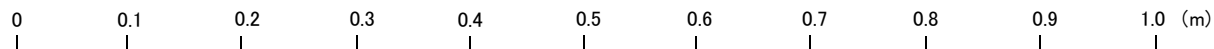
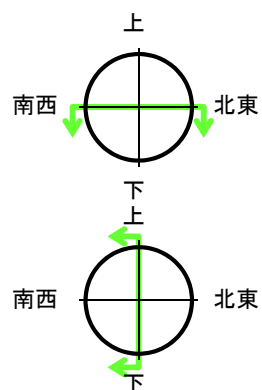
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.19)



試料採取位置(No.19切羽)



コア写真



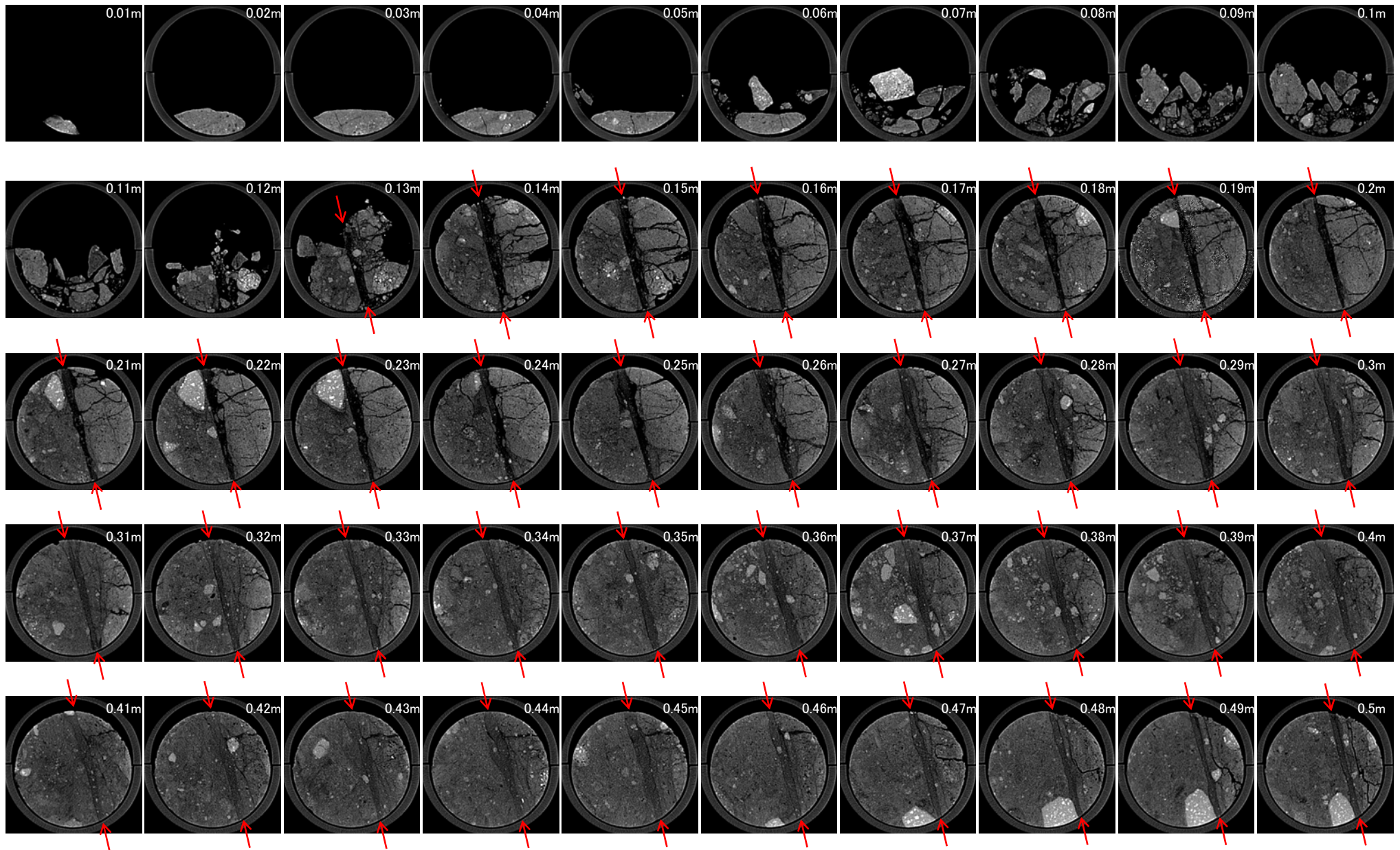
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

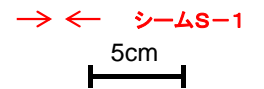
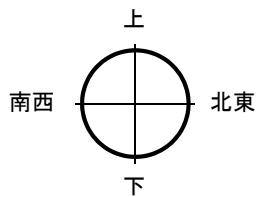
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.13~0.88m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.19) [0.01~0.5m]

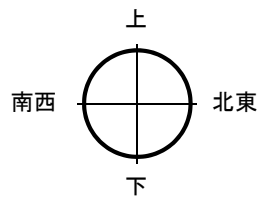
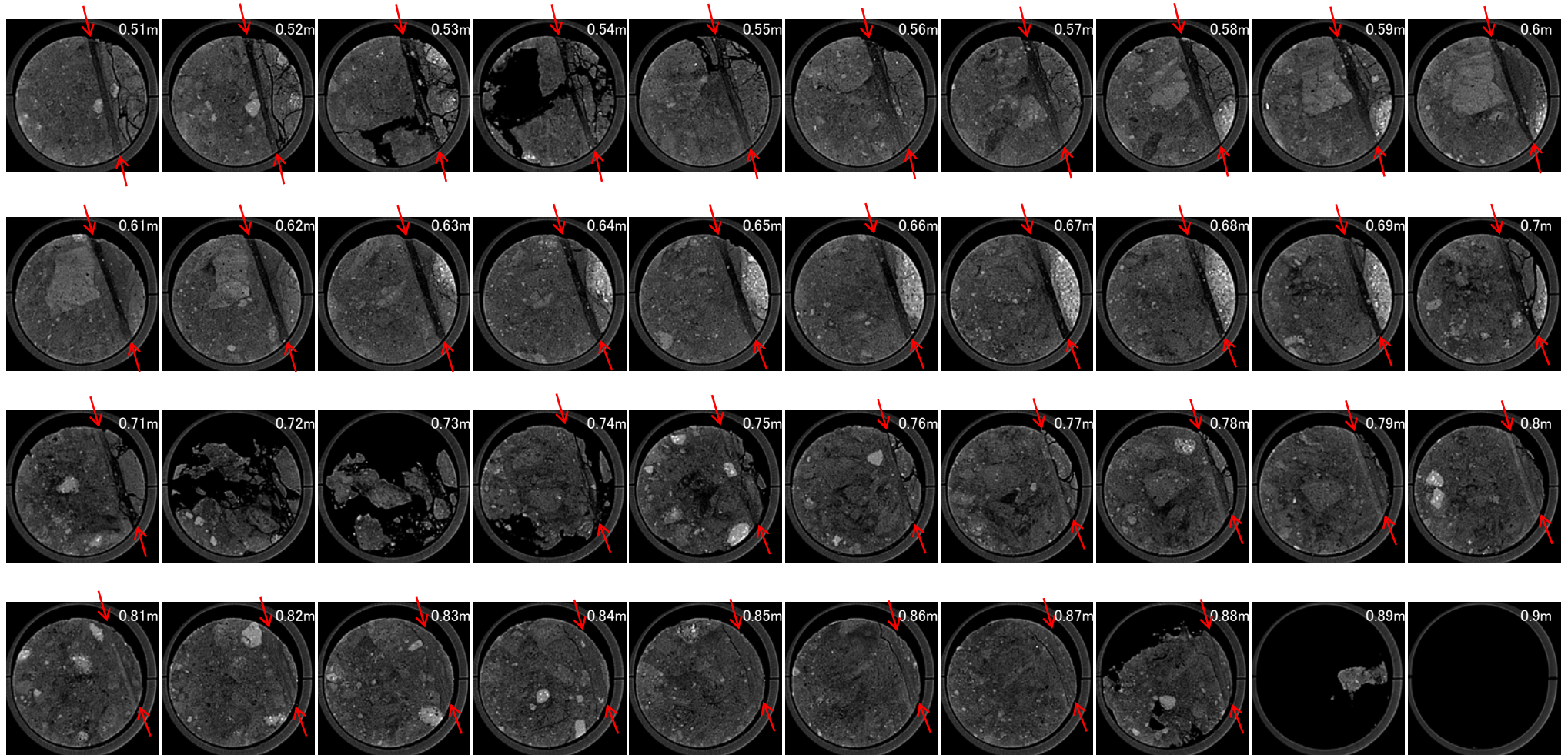


CTスキャン画像(横断面)

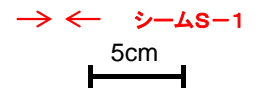




# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.19) [0.51~0.9m]

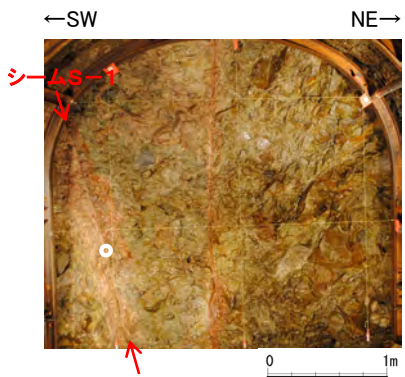


CTスキャン画像(横断面)

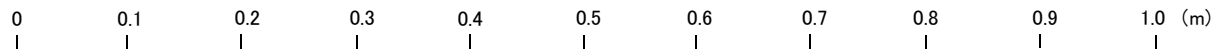
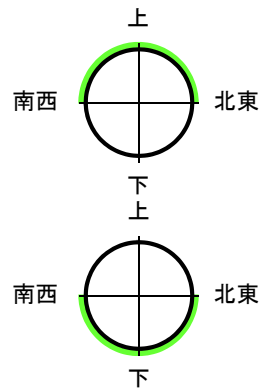




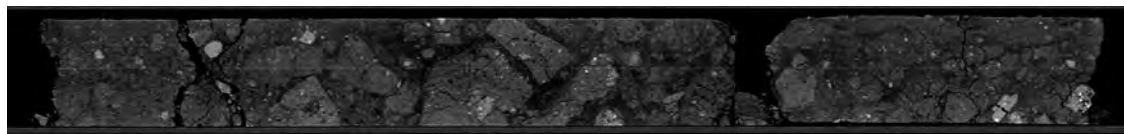
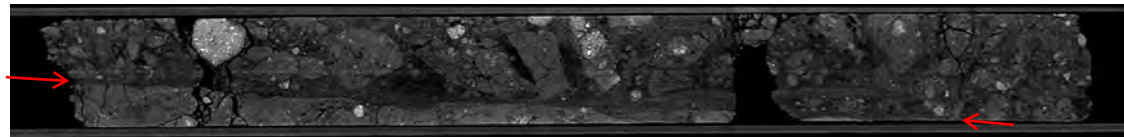
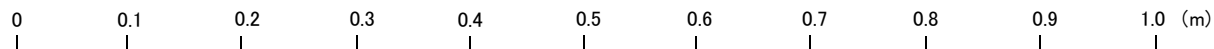
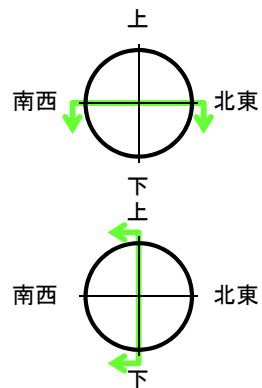
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.20)



試料採取位置(No.20切羽)



コア写真



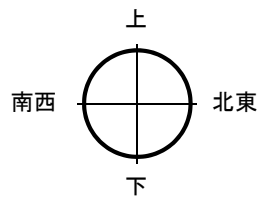
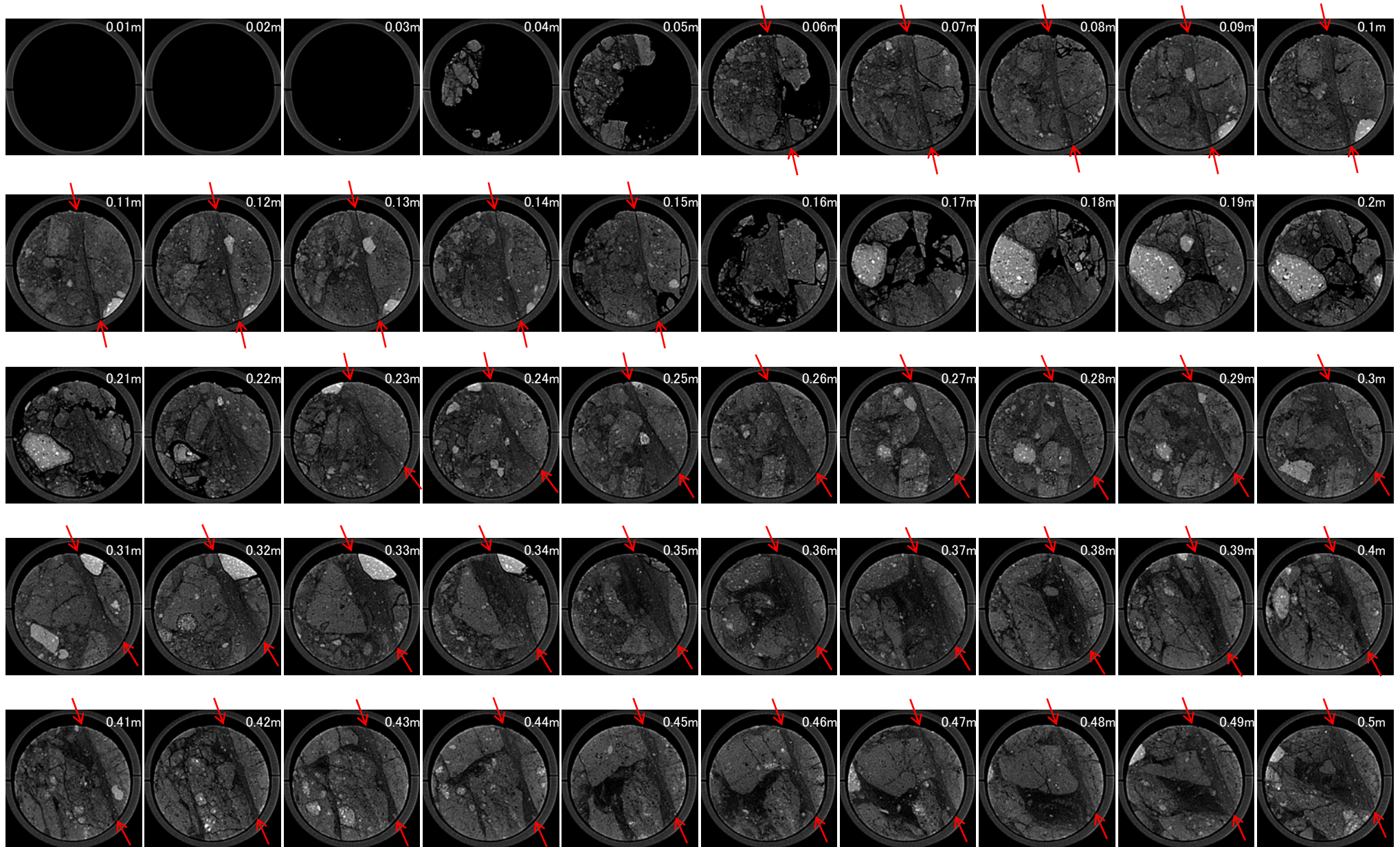
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

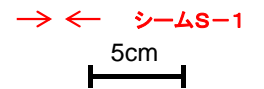
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.06~0.84m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.20) [0.01~0.5m]

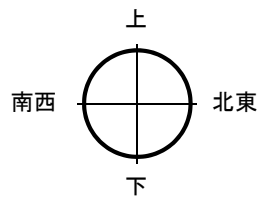
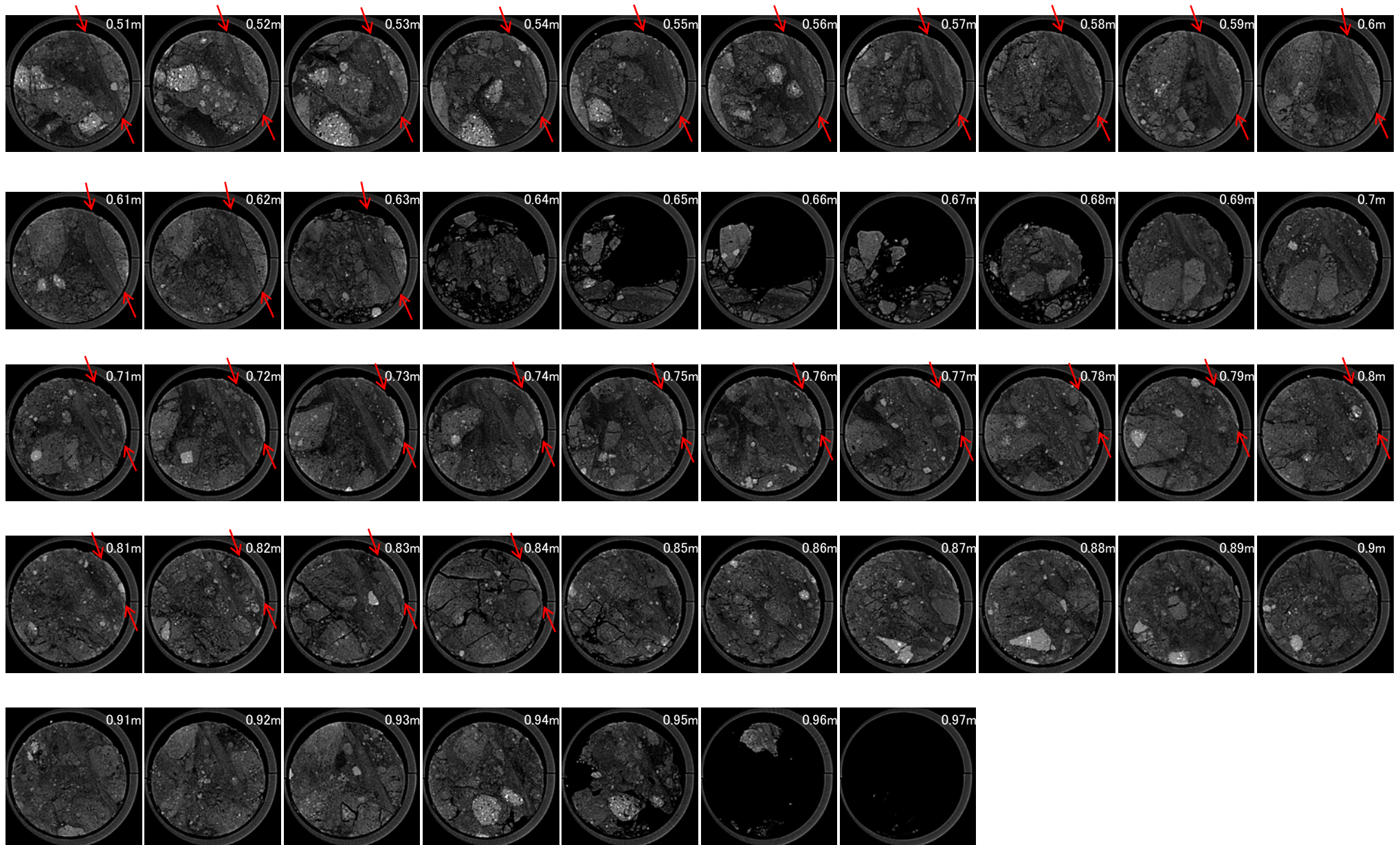


CTスキャン画像(横断面)

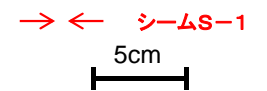




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.20) [0.51~0.97m]

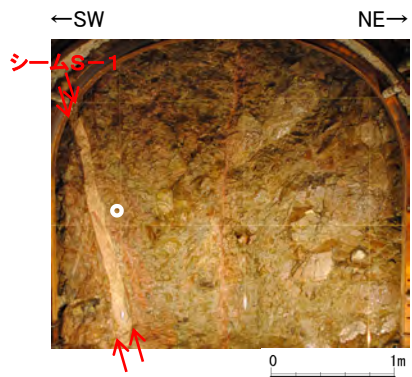


CTスキャン画像(横断面)

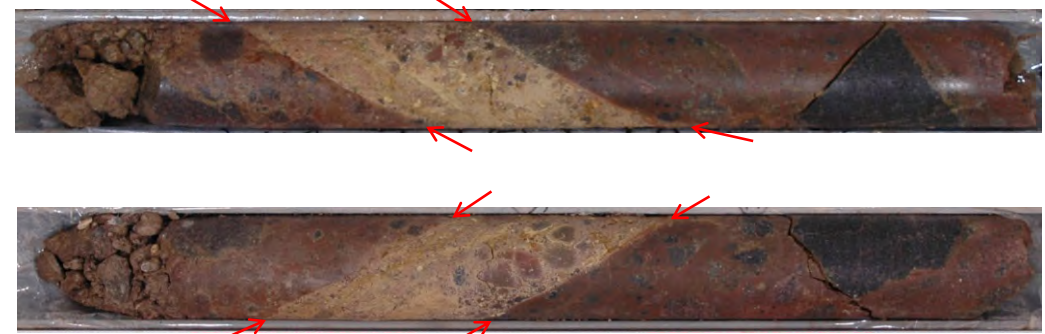
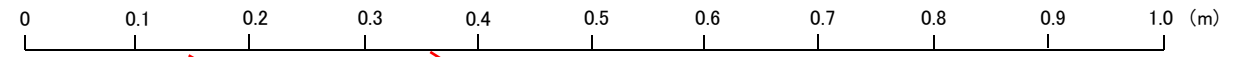
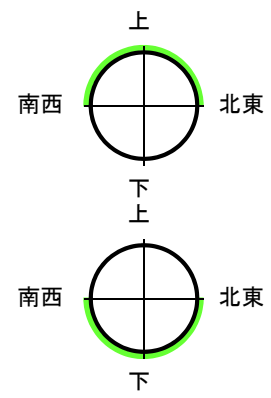




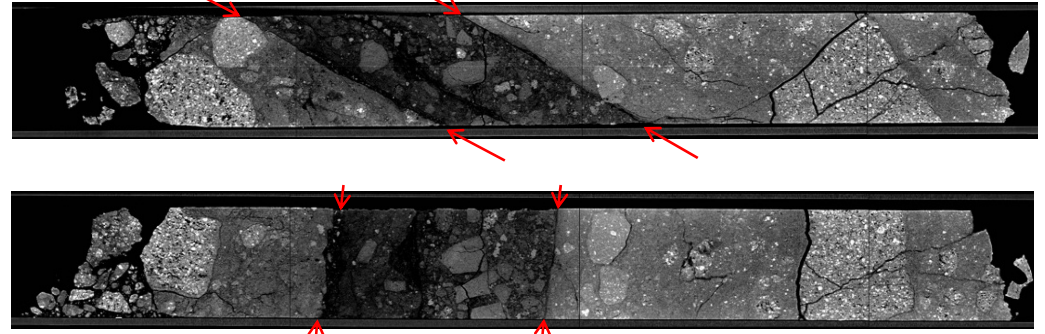
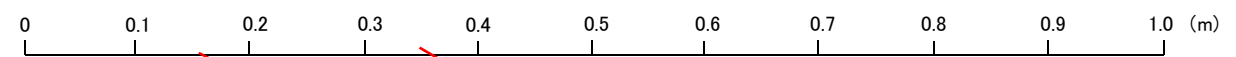
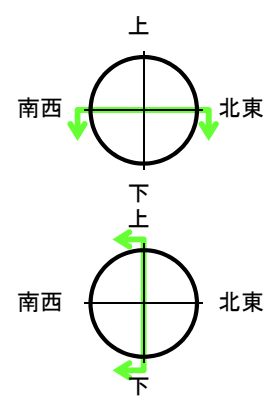
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.22-2)



試料採取位置(No.22切羽)



コア写真



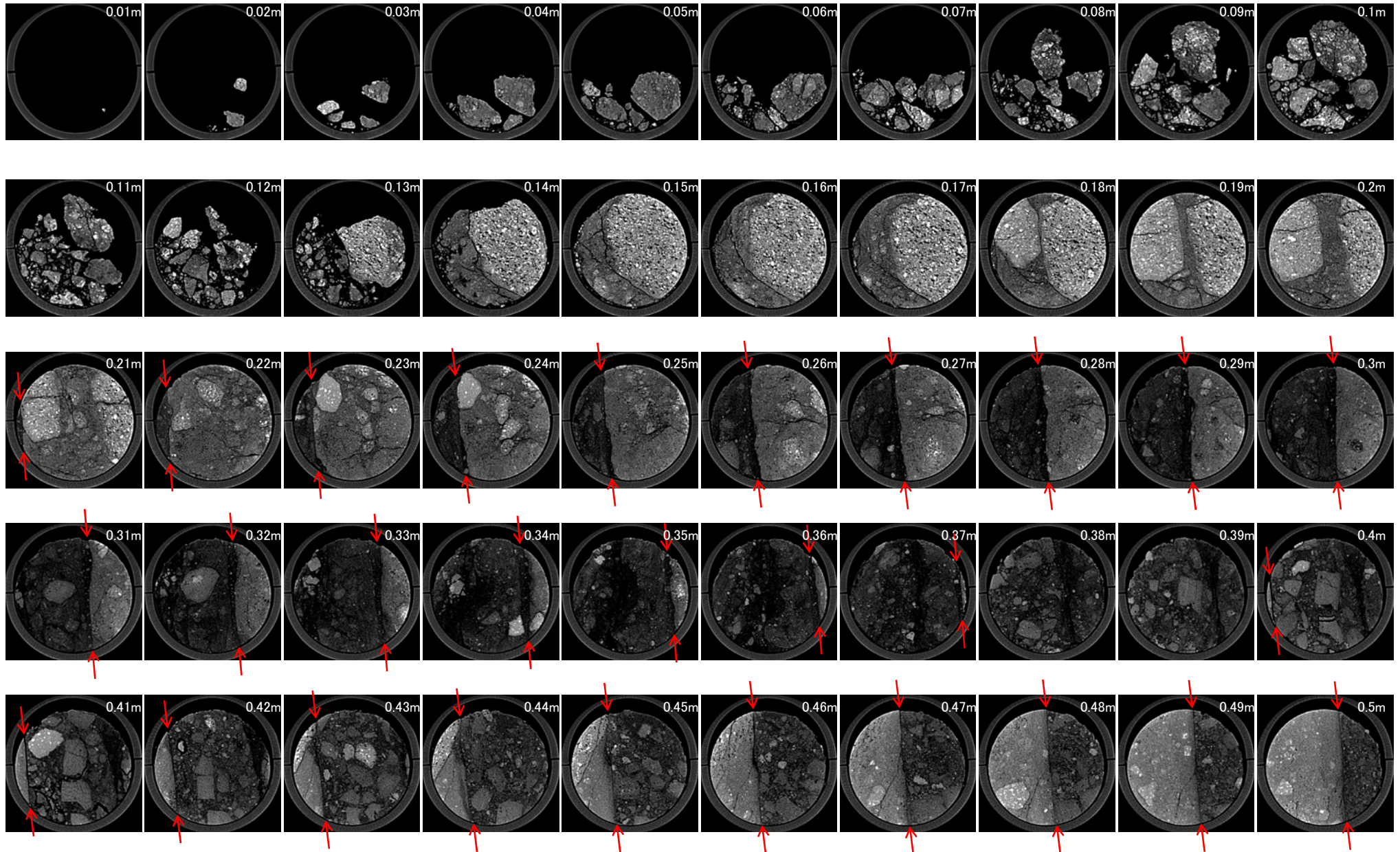
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

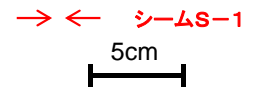
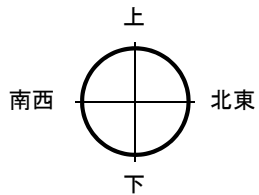
- ・切羽面に対して南西側30° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.21~0.37m, 0.4~0.55m区間において, 2本のシームS-1を確認。



# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.22-2) [0.01~0.5m]

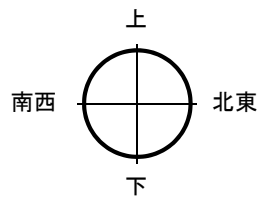
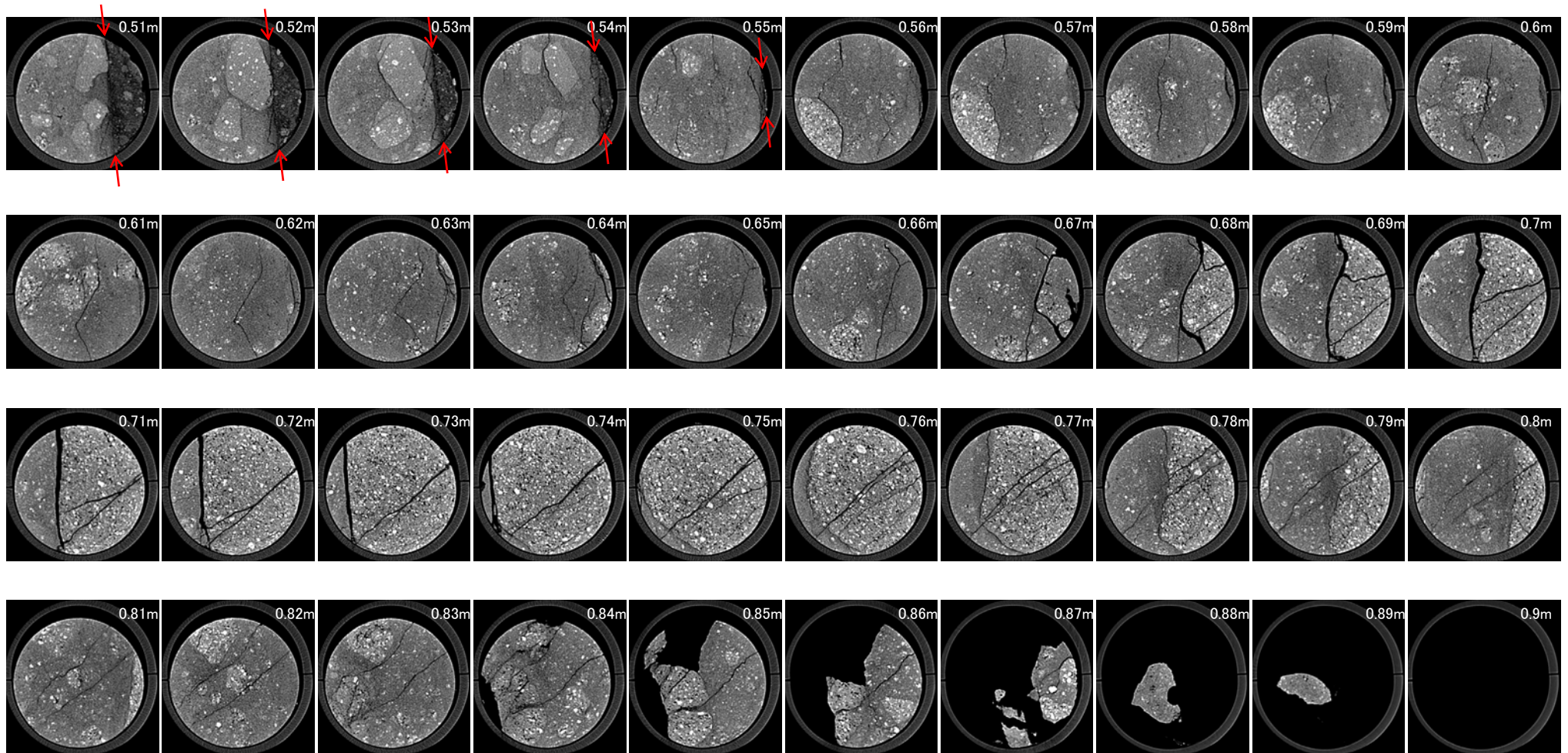


CTスキャン画像(横断面)

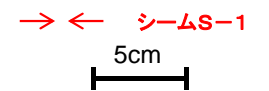




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.22-2) [0.51~0.9m]

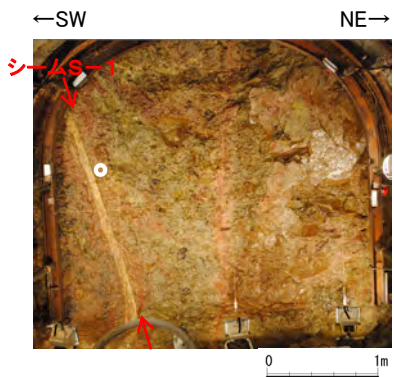


CTスキャン画像(横断面)

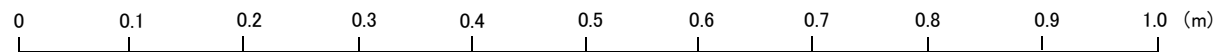
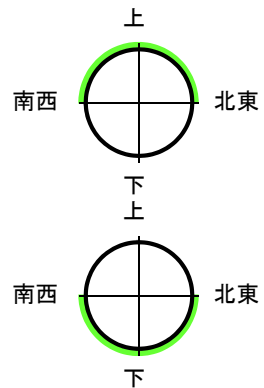




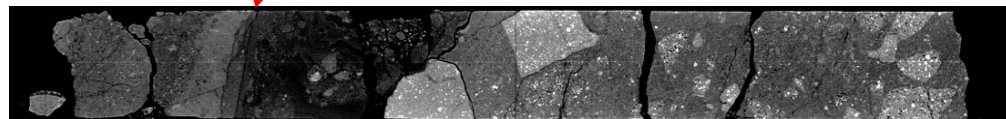
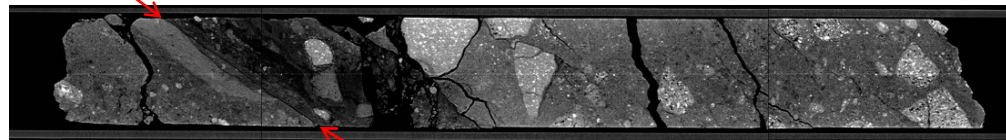
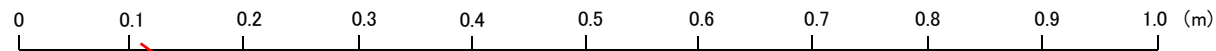
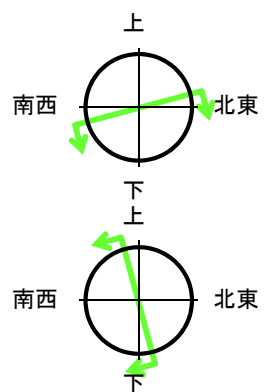
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.23-2)



試料採取位置(No.23切羽)



コア写真



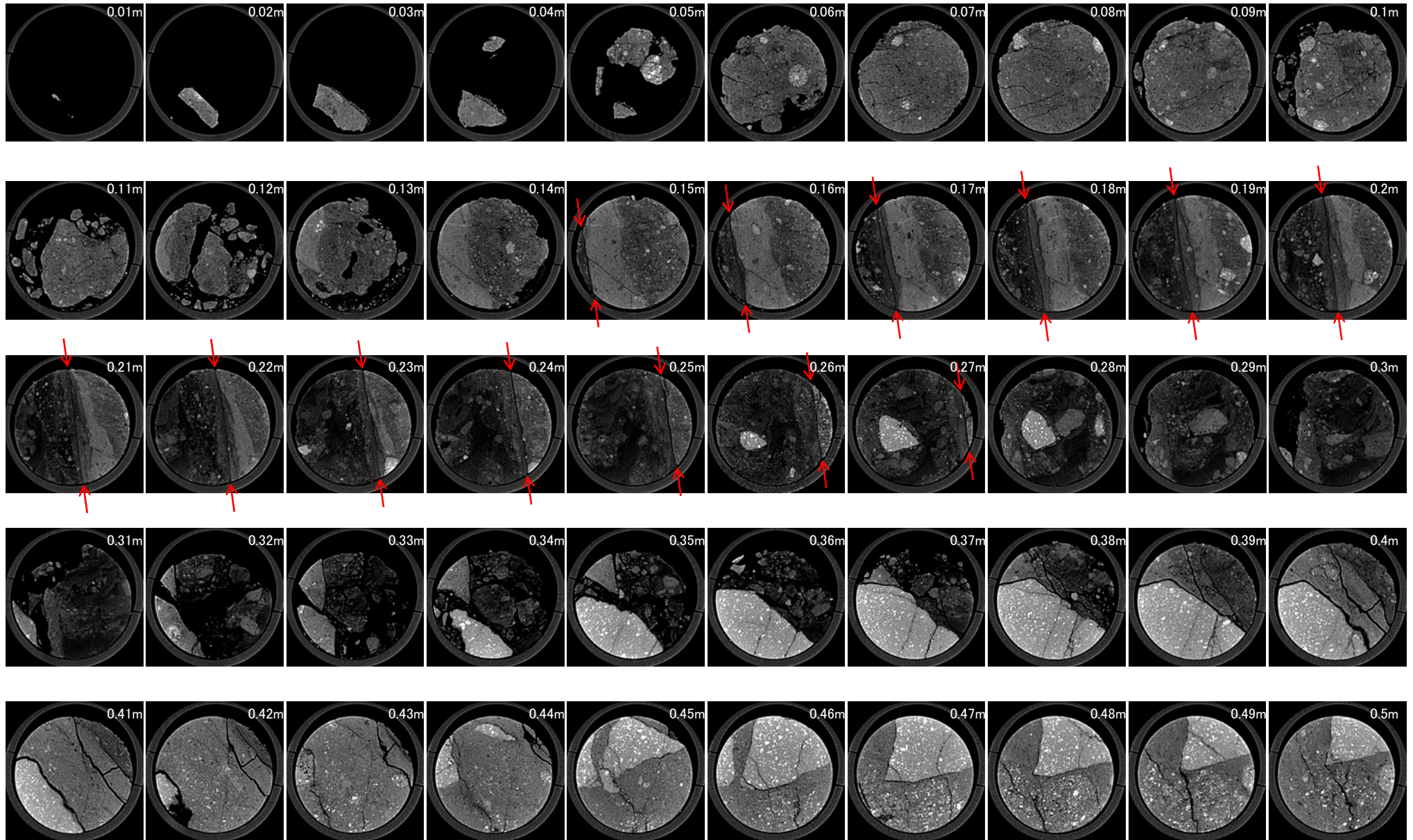
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

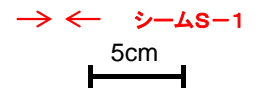
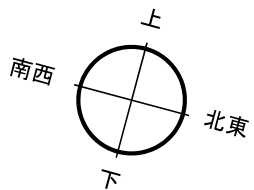
- ・切羽面に対して南西側30° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.15~0.27m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.23-2) [0.01~0.5m]

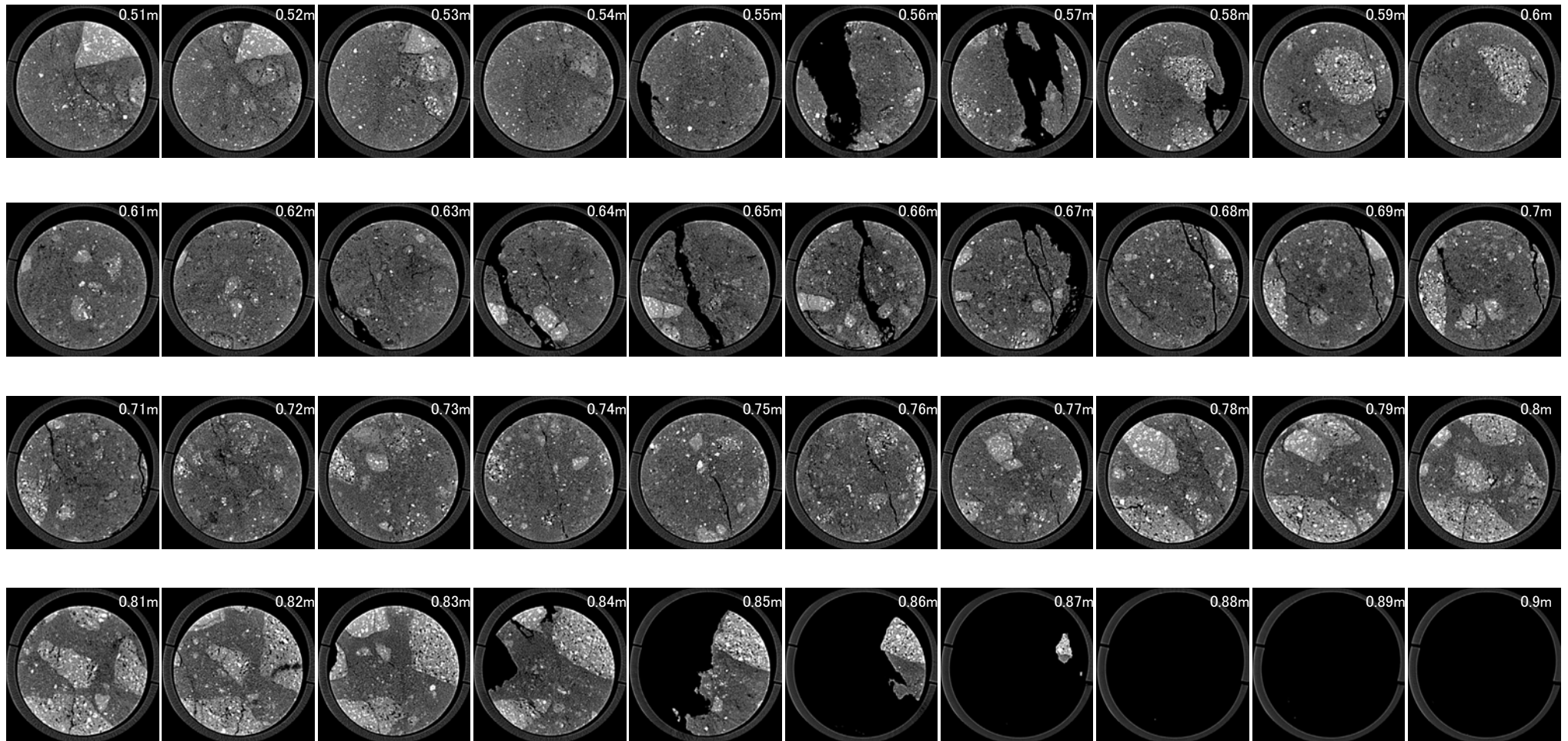


CTスキャン画像(横断面)

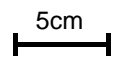
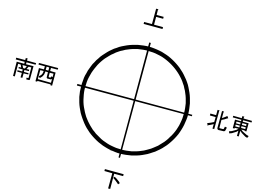




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.23-2) [0.51~0.9m]

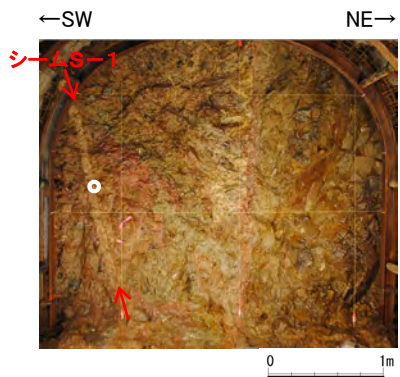


CTスキャン画像(横断面)

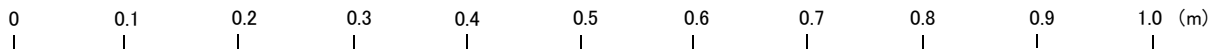
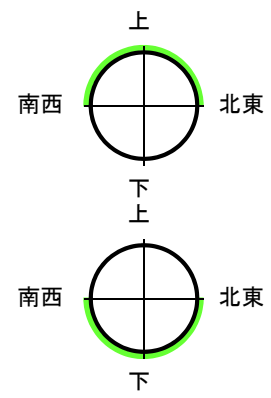




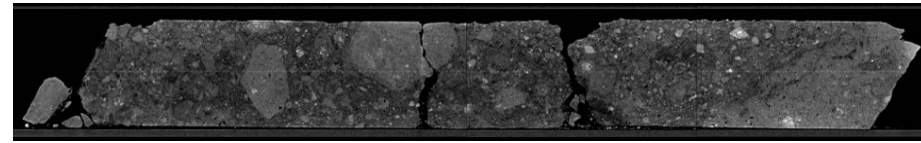
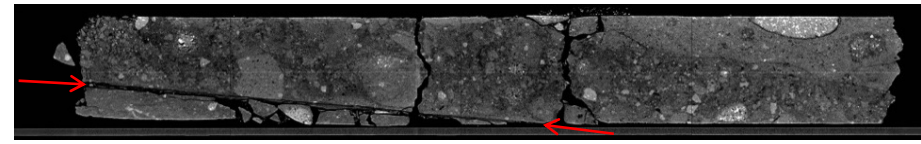
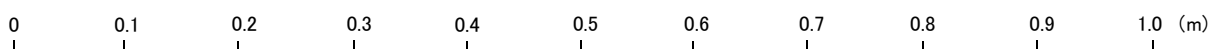
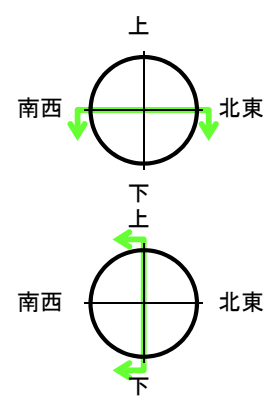
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.25-1)



試料採取位置(No.25切羽)



コア写真



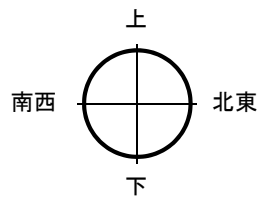
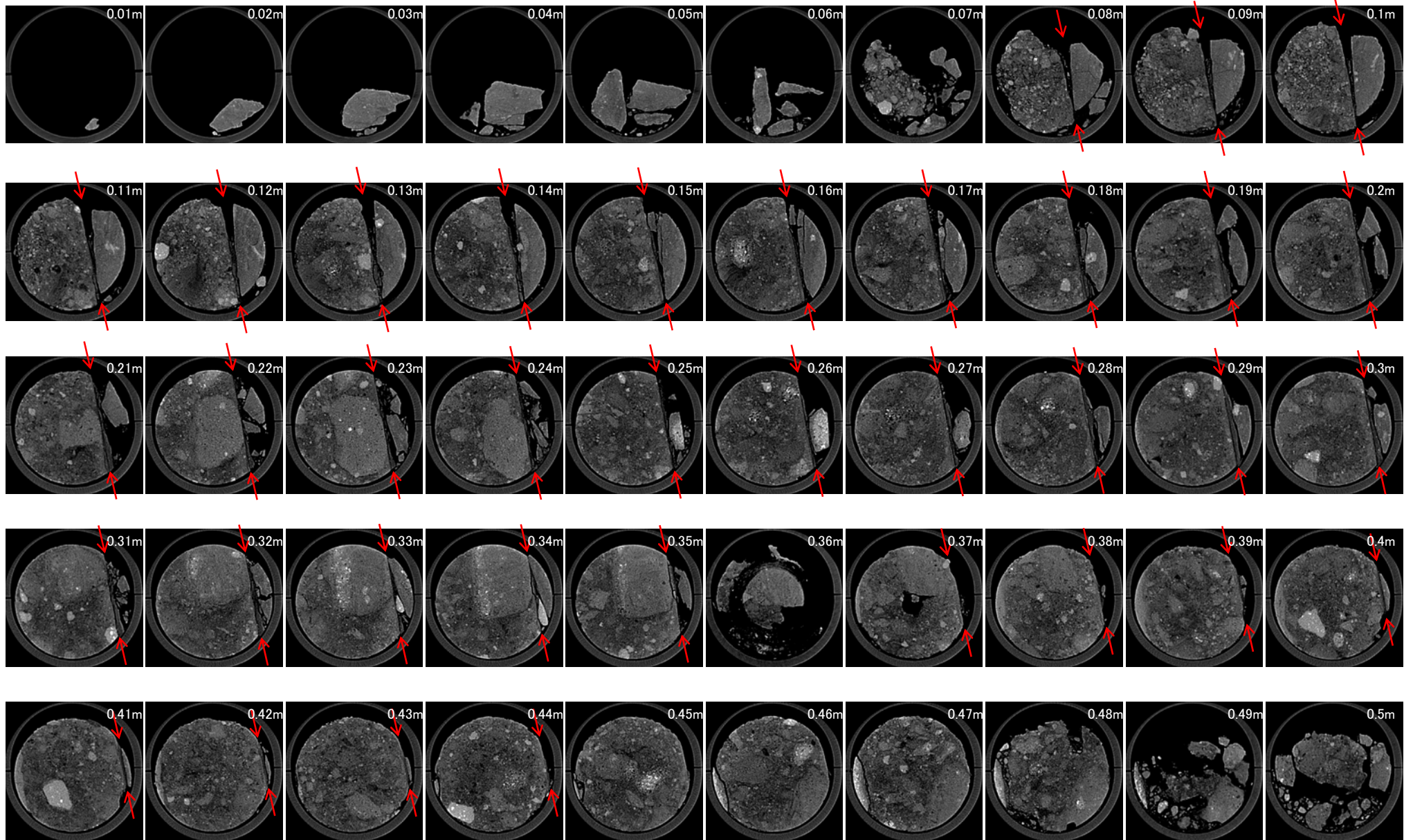
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

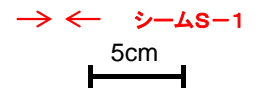
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.08~0.44m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.25-1) [0.01~0.5m]

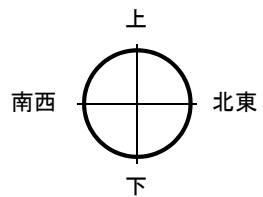
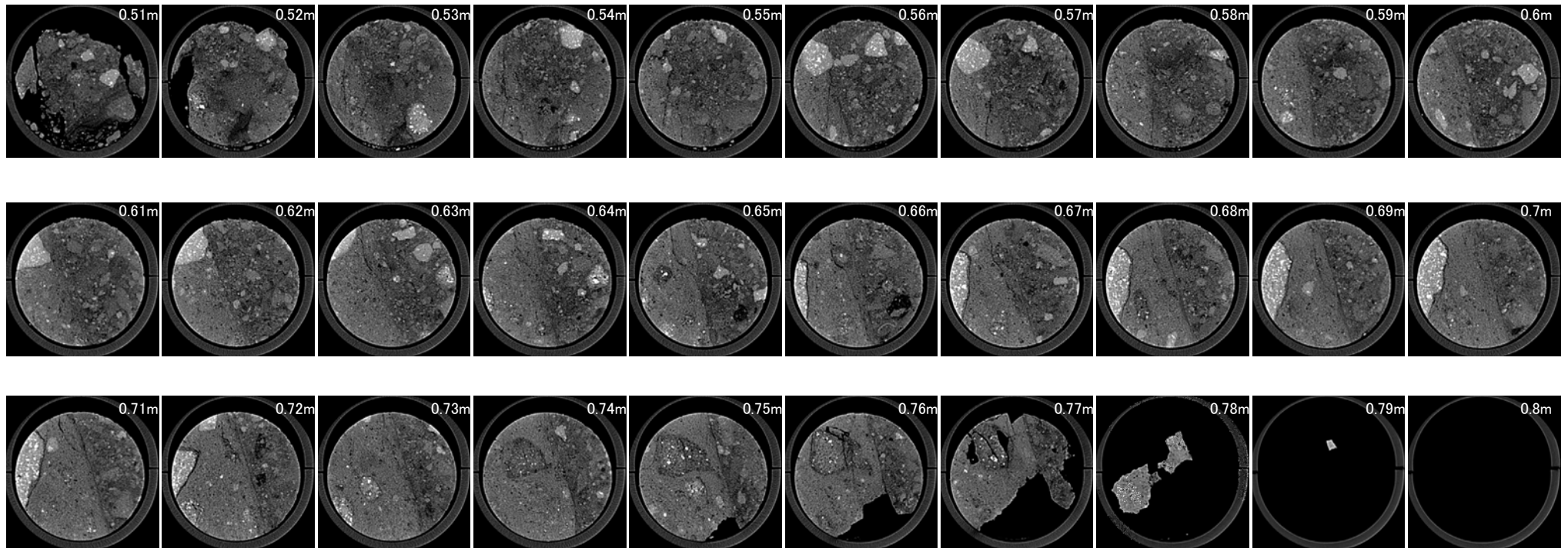


CTスキャン画像(横断面)

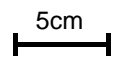




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.25-1) [0.51~0.8m]

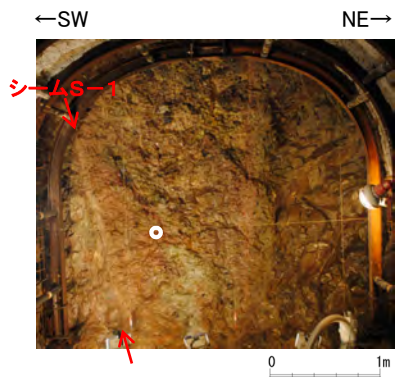


CTスキャン画像(横断面)

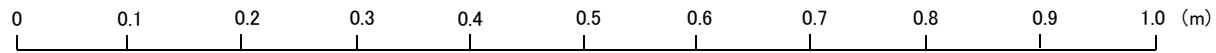
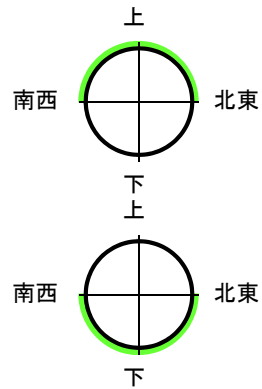




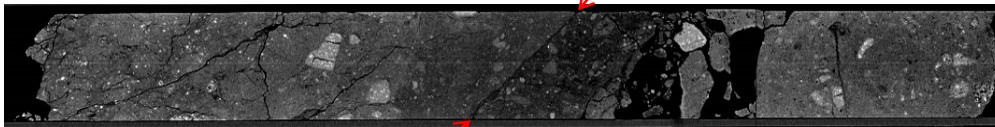
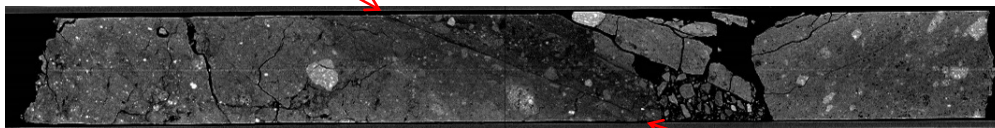
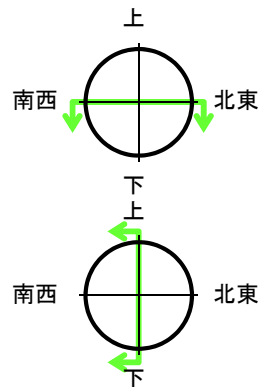
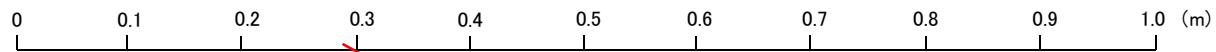
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-1)



試料採取位置(No.26切羽)



コア写真



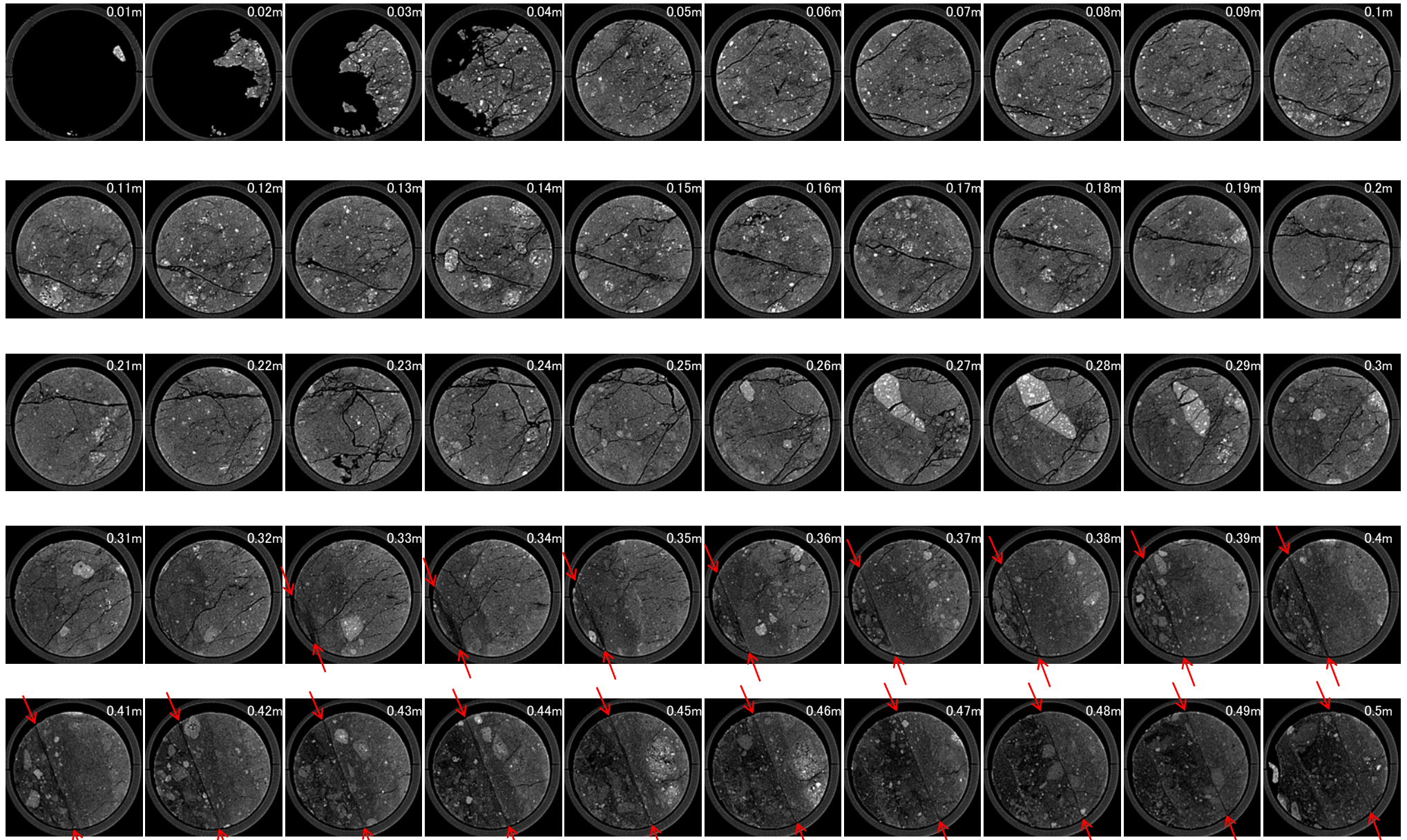
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

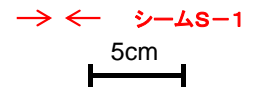
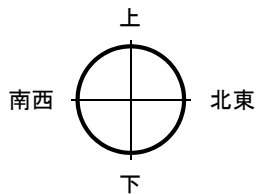
- ・切羽面に対して南西側20° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.33~0.55m区間において、シームS-1を確認。



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-1) [0.01~0.5m]

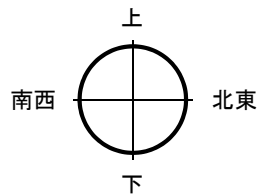
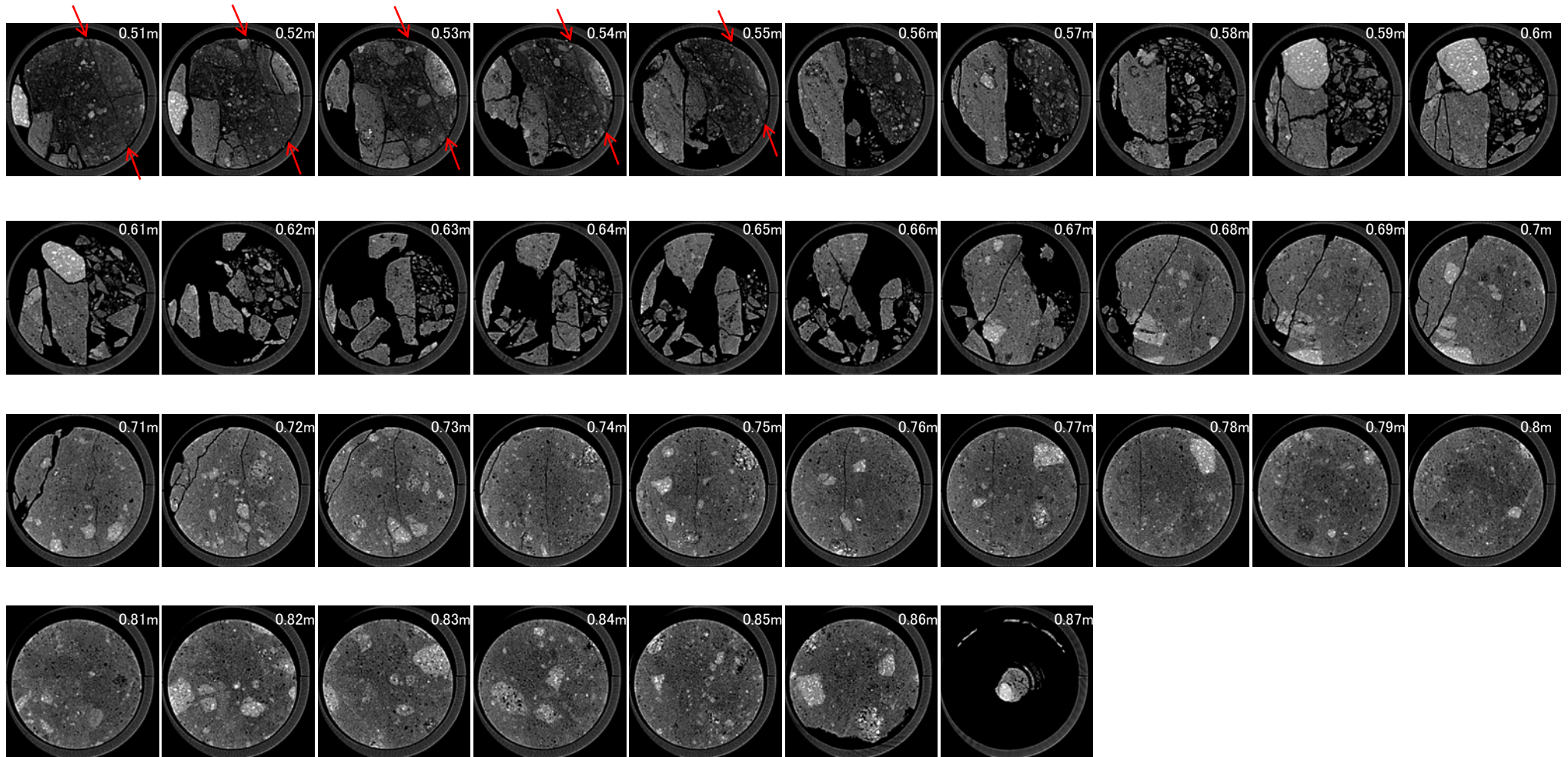


CTスキャン画像(横断面)

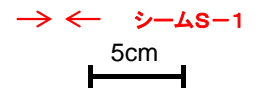




CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-1) [0.51~0.87m]

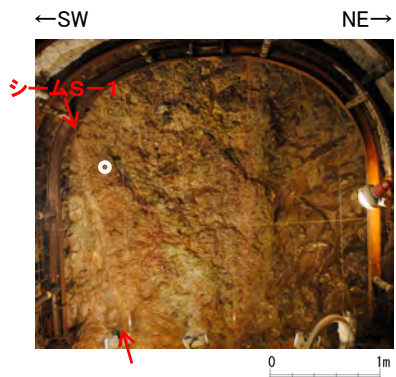


CTスキャン画像(横断面)

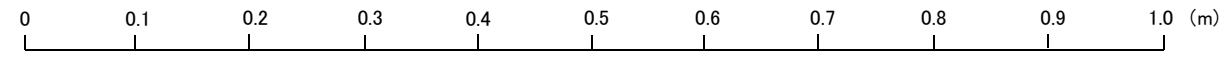
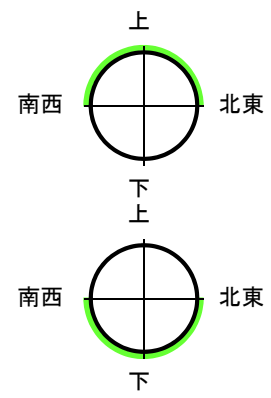




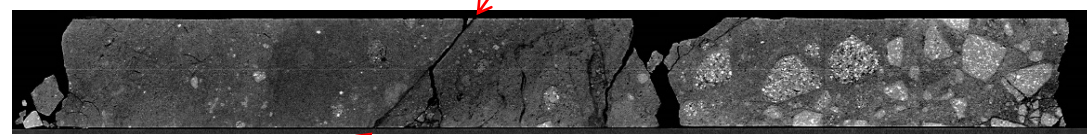
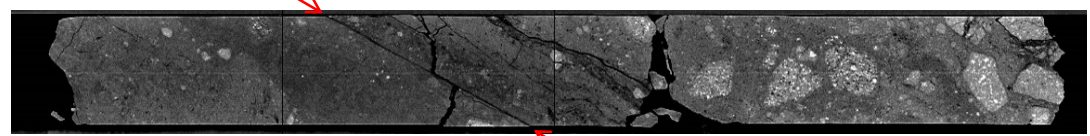
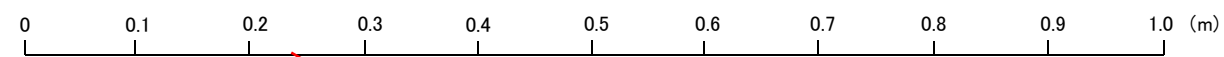
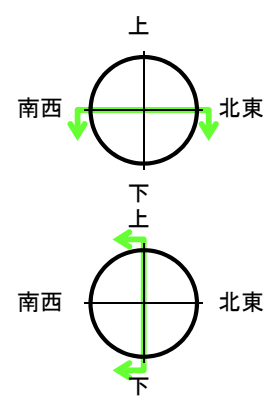
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-2)



試料採取位置(No.26切羽)



コア写真



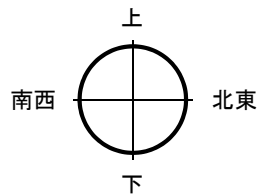
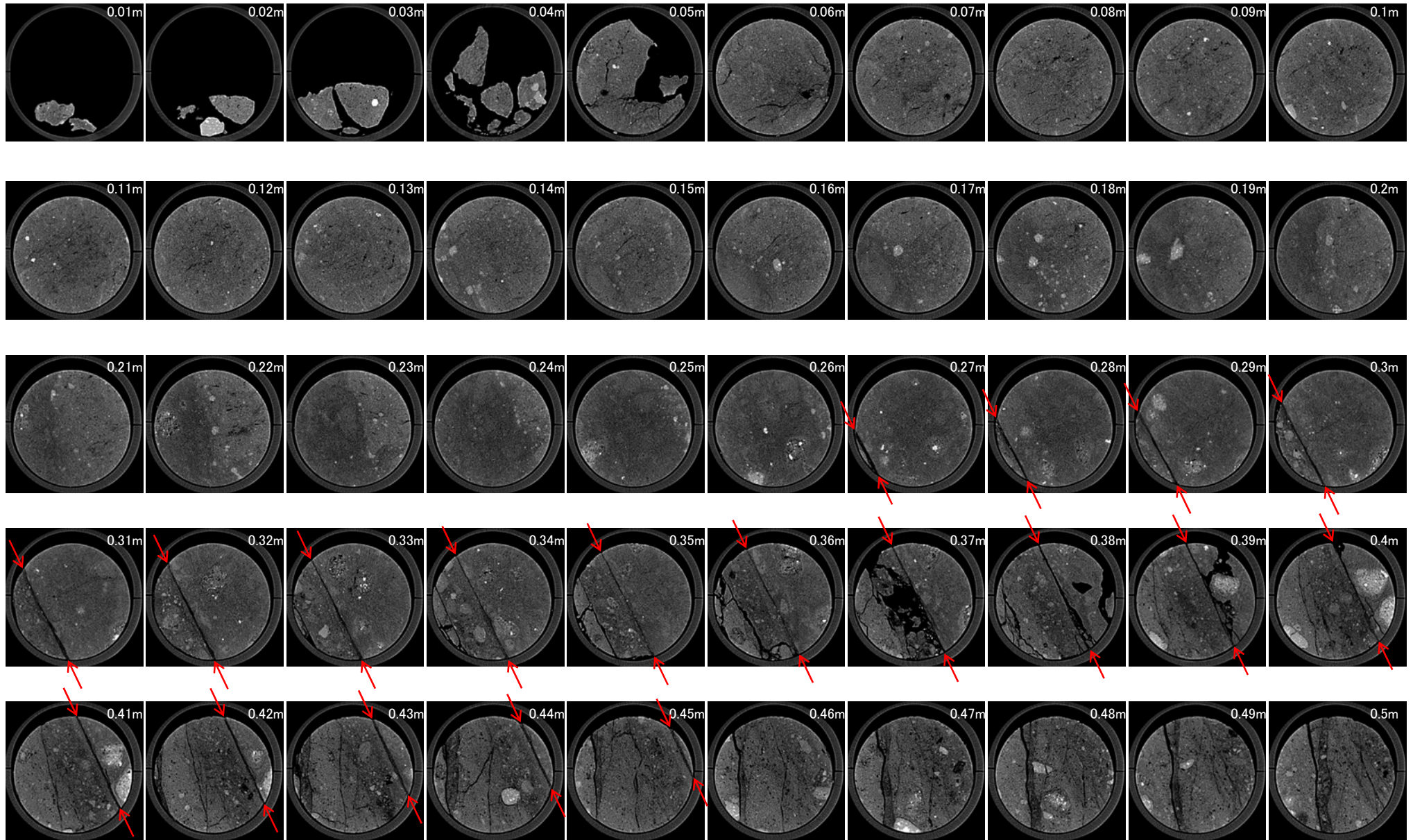
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

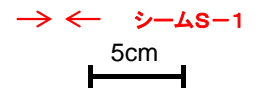
- ・切羽面に対して南西側20° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.27~0.45m地点において、シームS-1を確認。



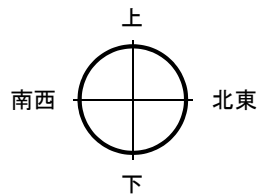
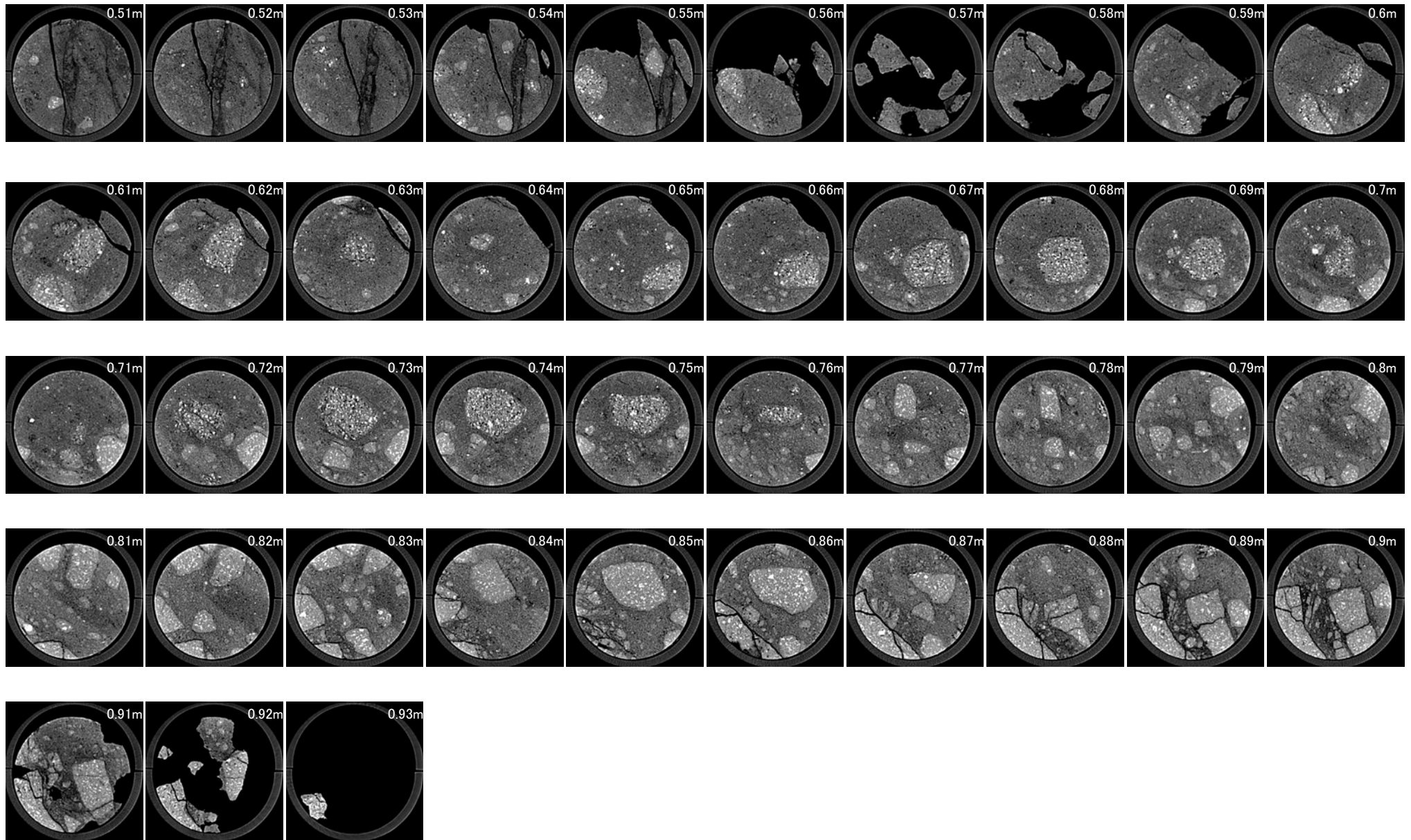
CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-2) [0.01~0.5m]



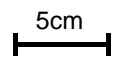
CTスキャン画像(横断面)



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.26-2) [0.51~0.93m]

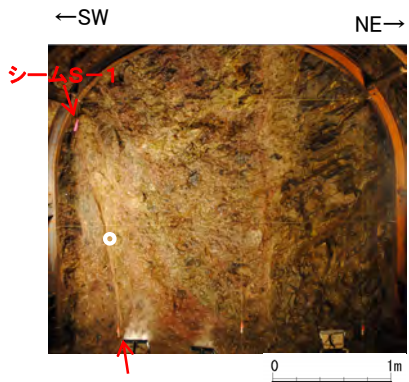


CTスキャン画像(横断面)

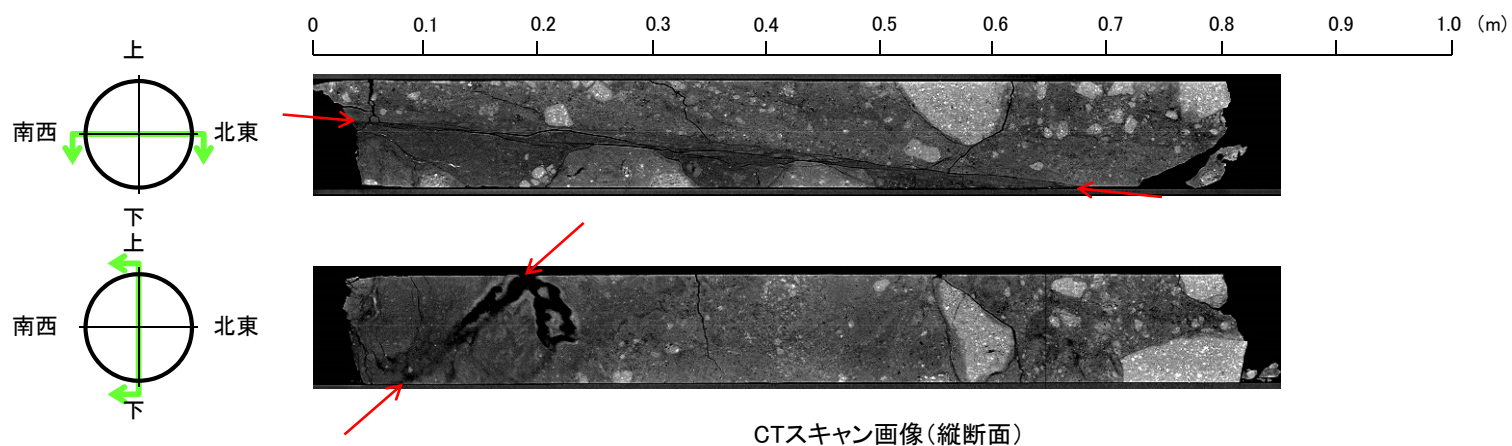
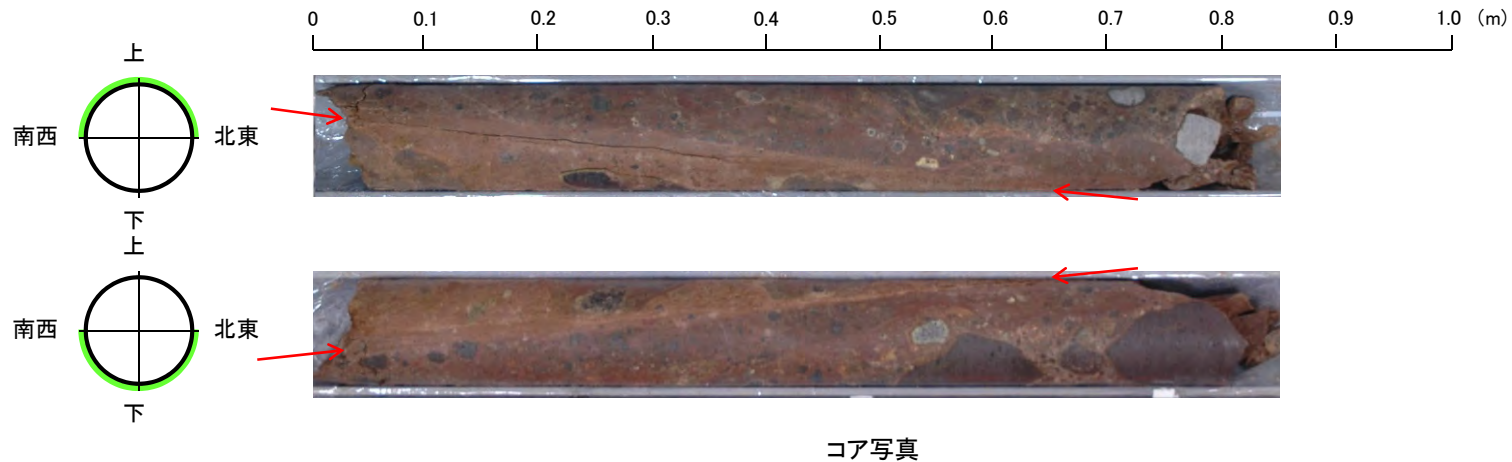




# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-1)



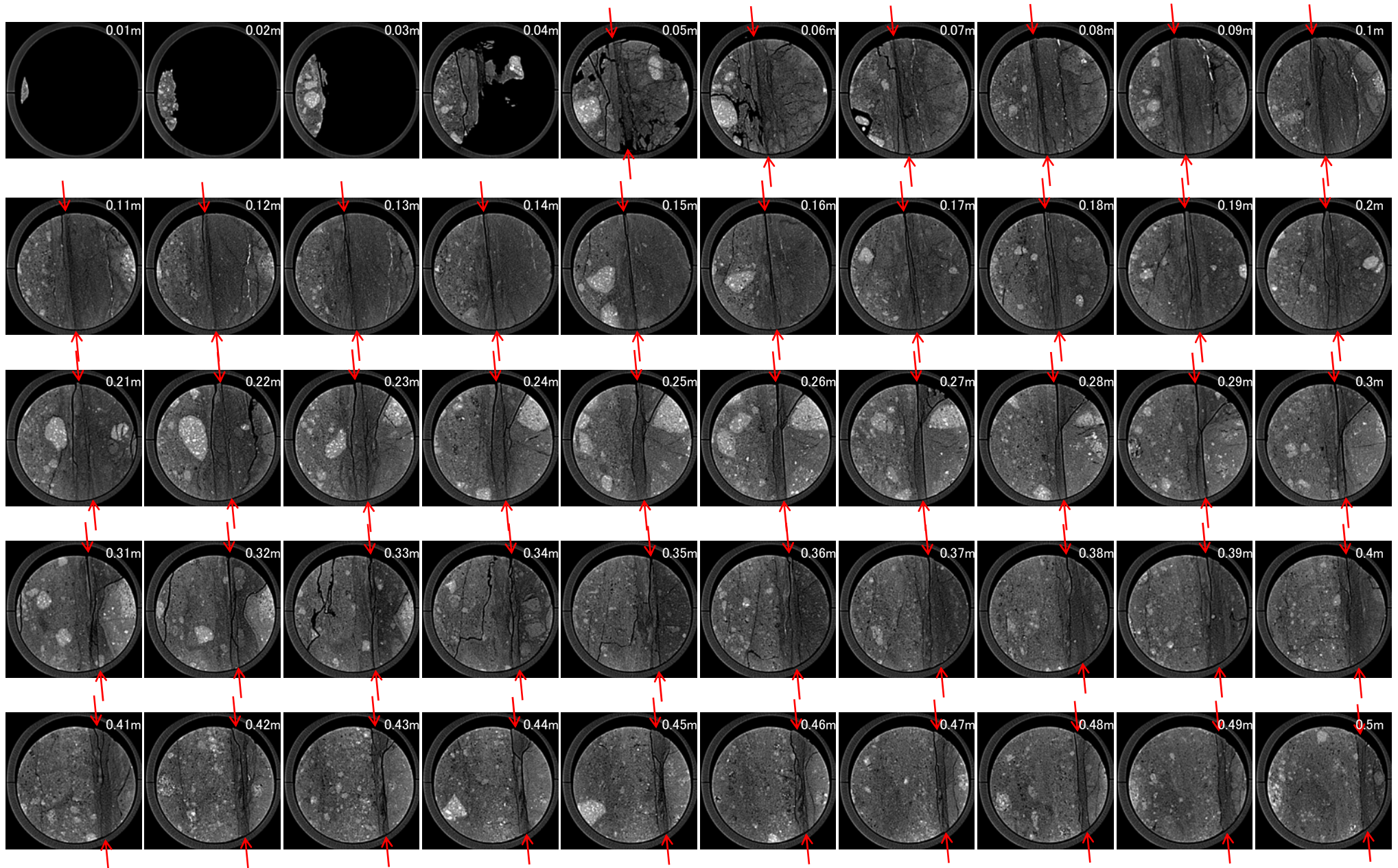
試料採取位置(No.27切羽)



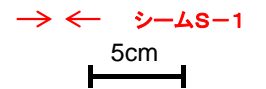
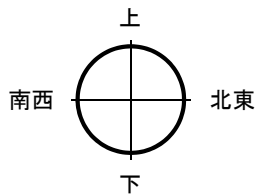
→ ← シームS-1

- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.05~0.67m区間において、シームS-1を確認。

CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-1) [0.01~0.5m]

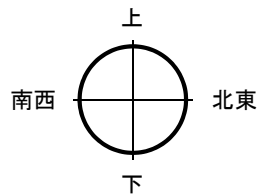
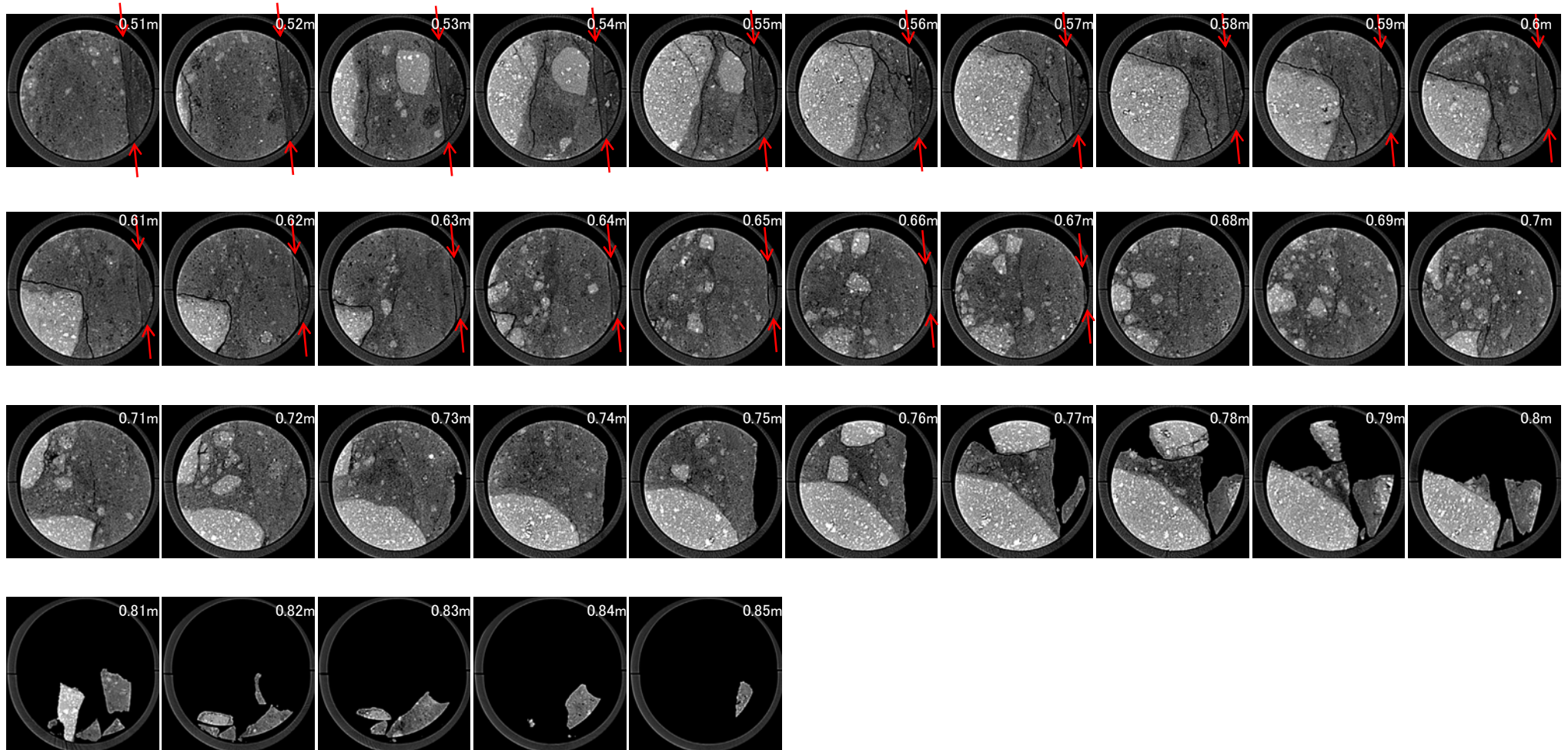


CTスキャン画像(横断面)

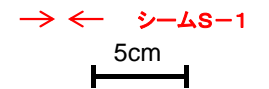




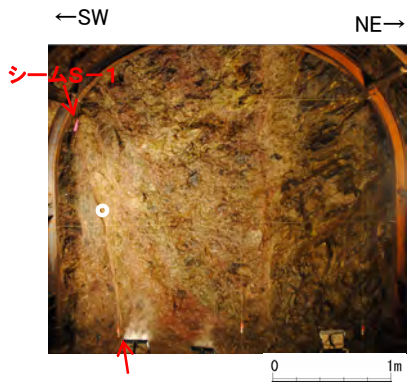
CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-1) [0.51~0.85m]



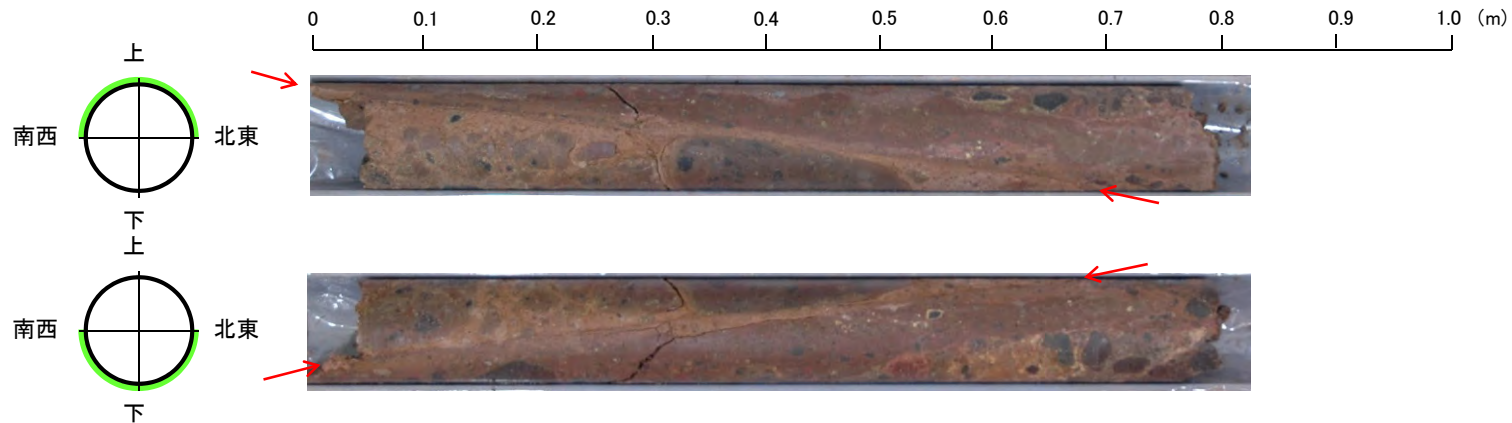
CTスキャン画像(横断面)



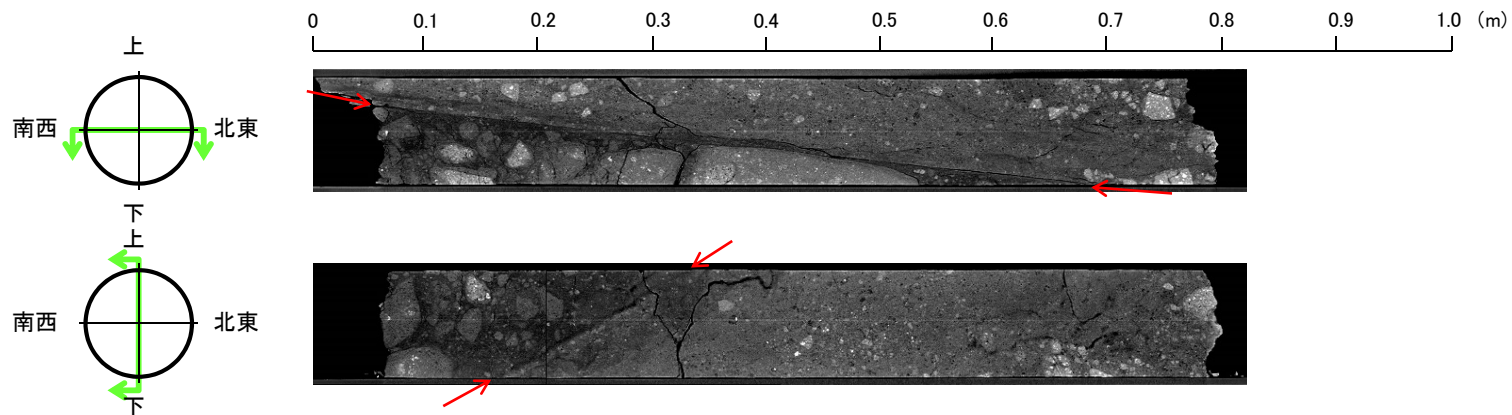
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-2)



試料採取位置(No.27切羽)



コア写真



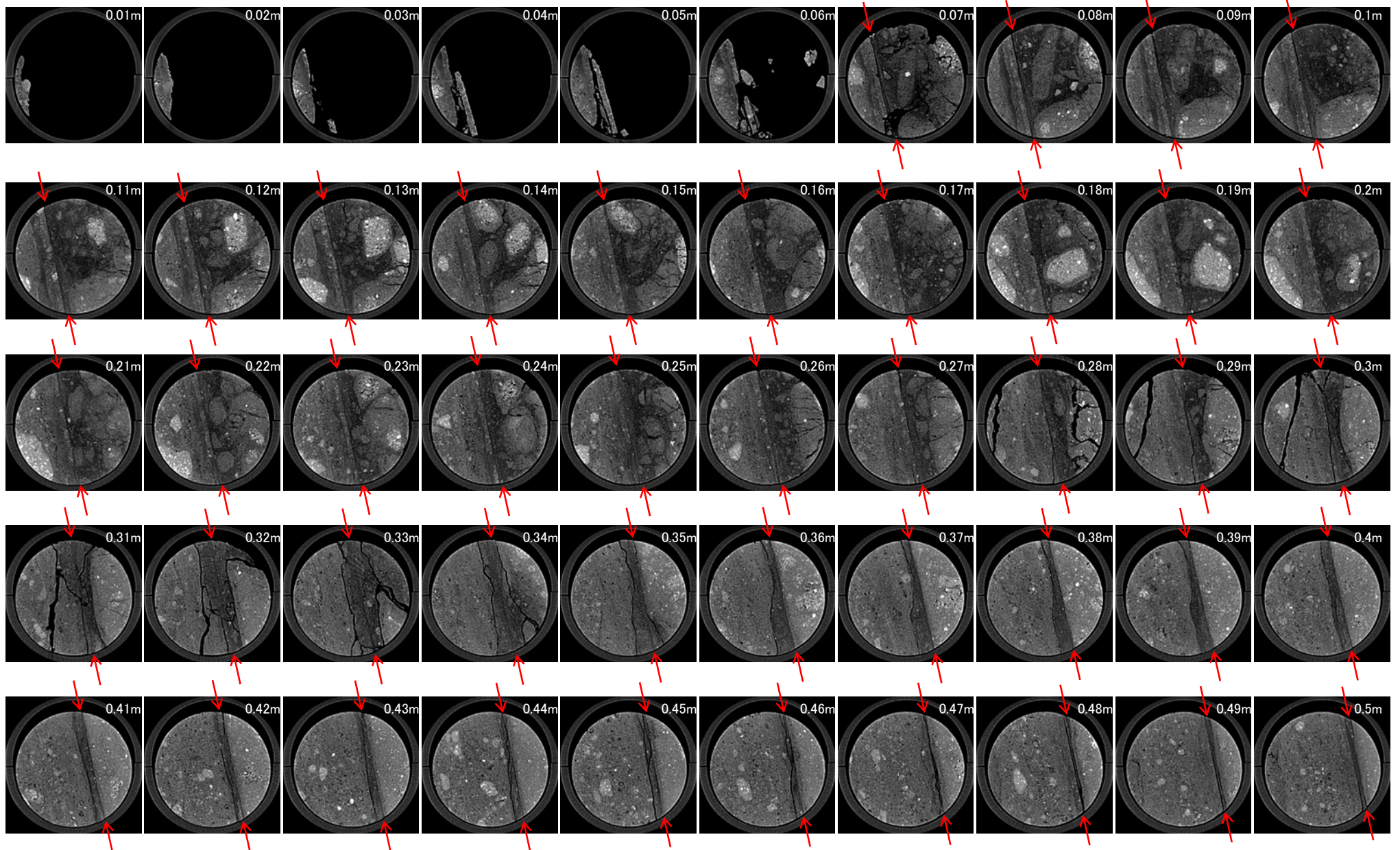
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

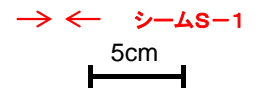
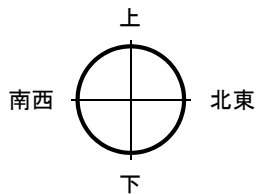
- ・切羽面に対して水平ボーリングを実施。
- ・0.07~0.68m区間において、シームS-1を確認。



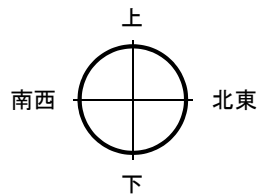
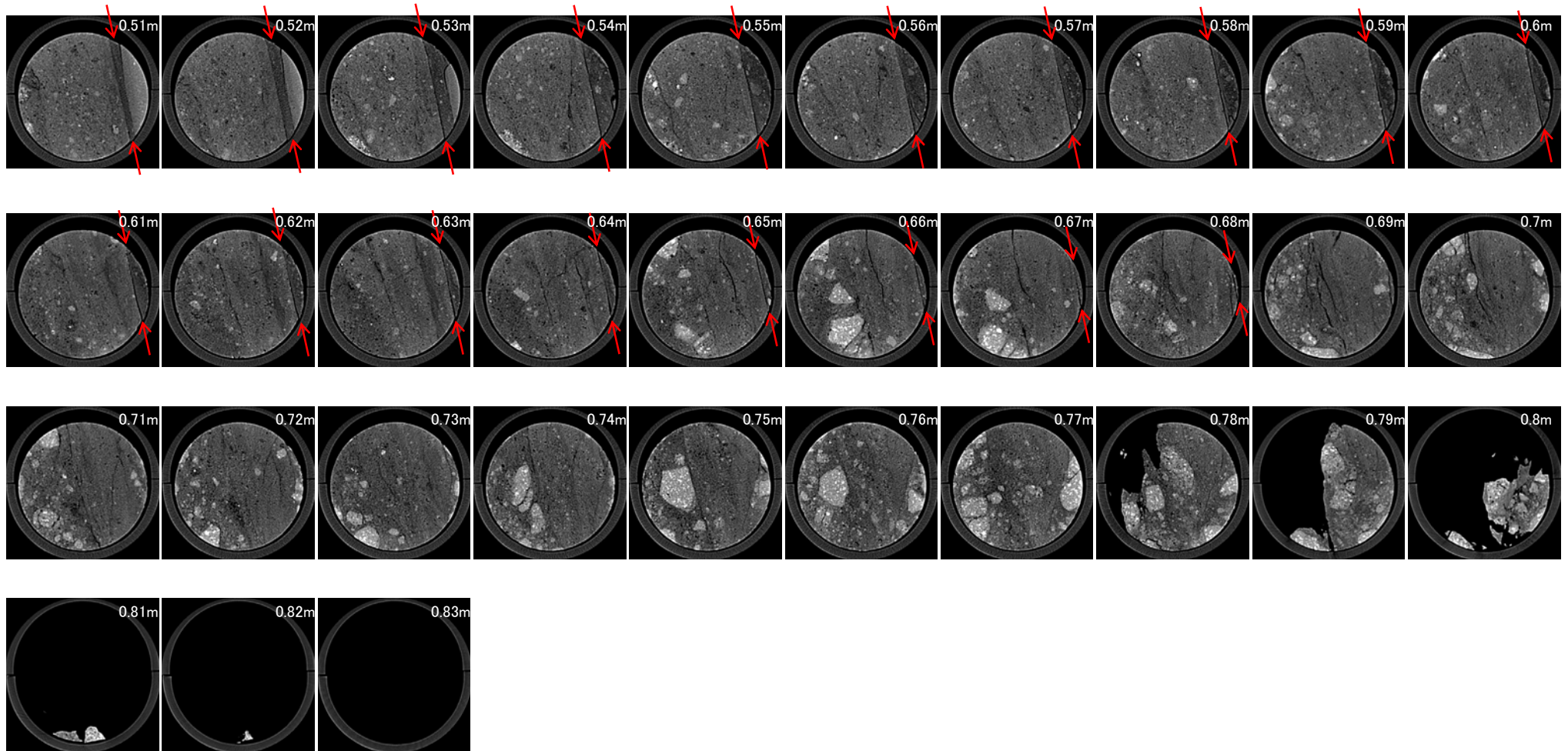
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-2) [0.01~0.5m]



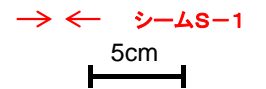
CTスキャン画像(横断面)



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.27-2) [0.51~0.83m]

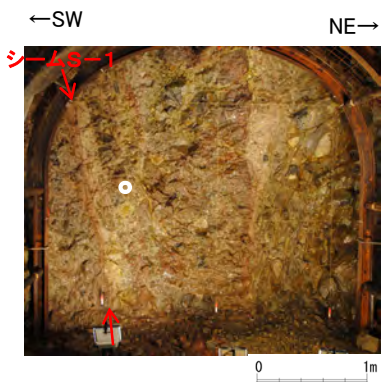


CTスキャン画像(横断面)

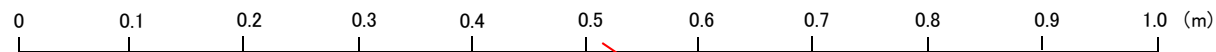
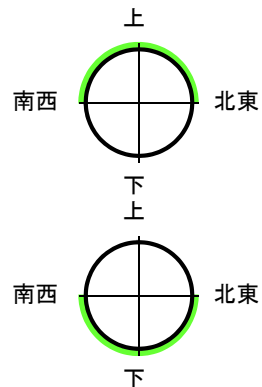




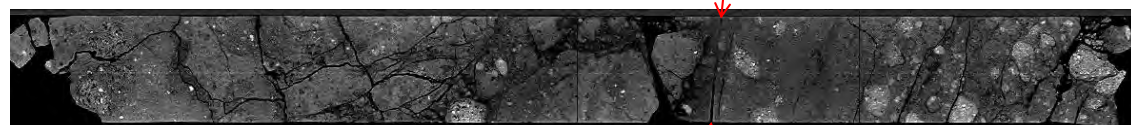
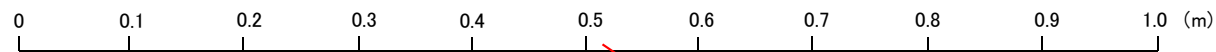
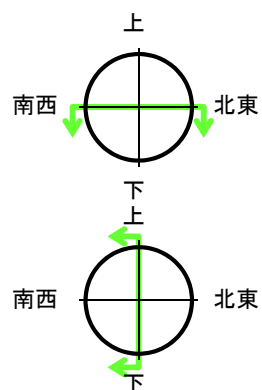
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.28)



試料採取位置(No.28切羽)



コア写真

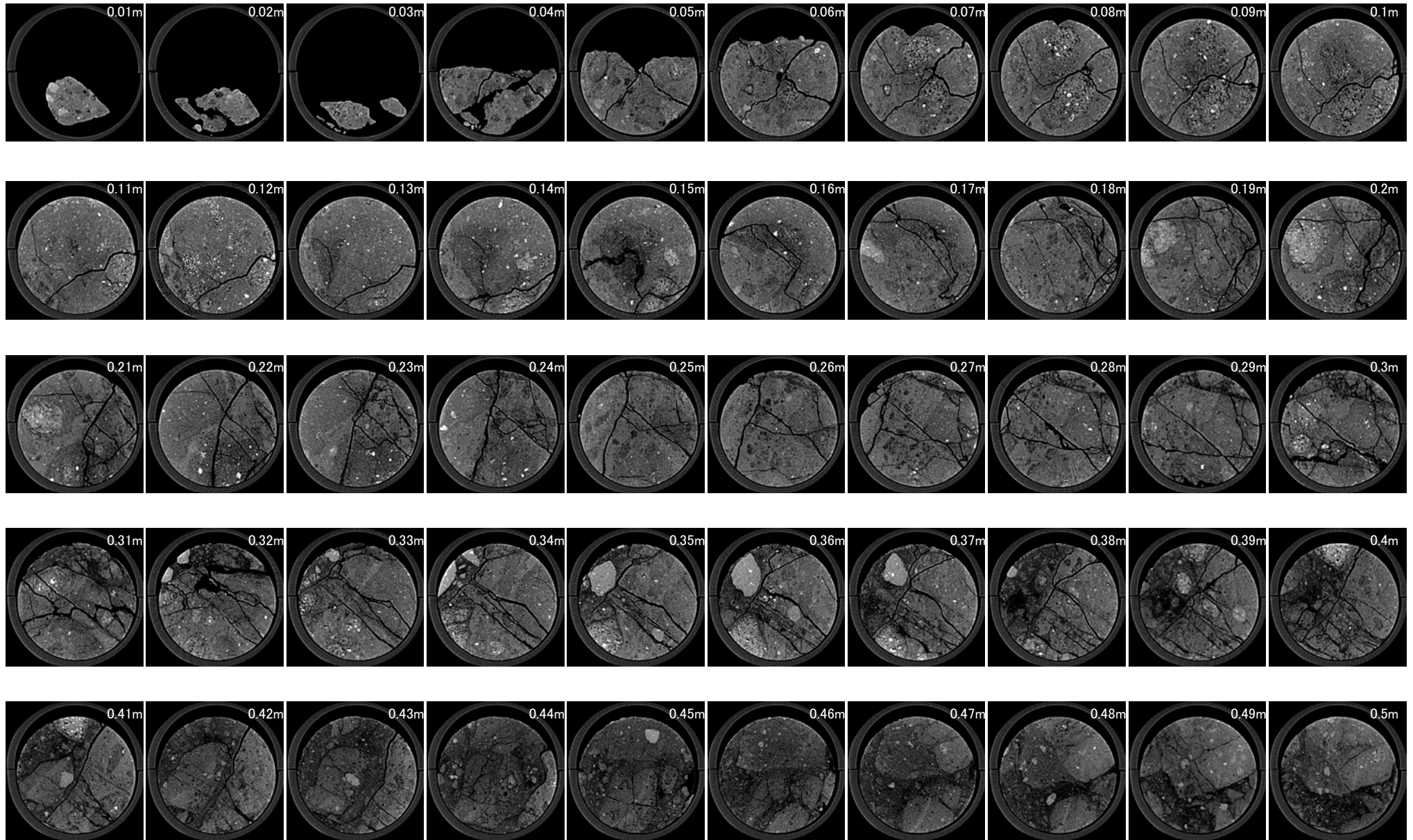


CTスキャン画像(縦断面)

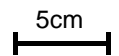
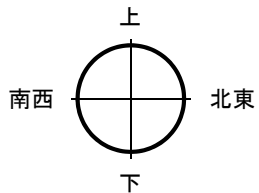
→ ← シームS-1

- ・切羽面に対して南西側30° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.58~0.7m区間において、シームS-1を確認。

CT画像解析結果(水平ボーリングNo.28) [0.01~0.5m]

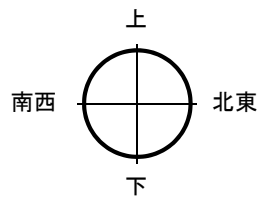
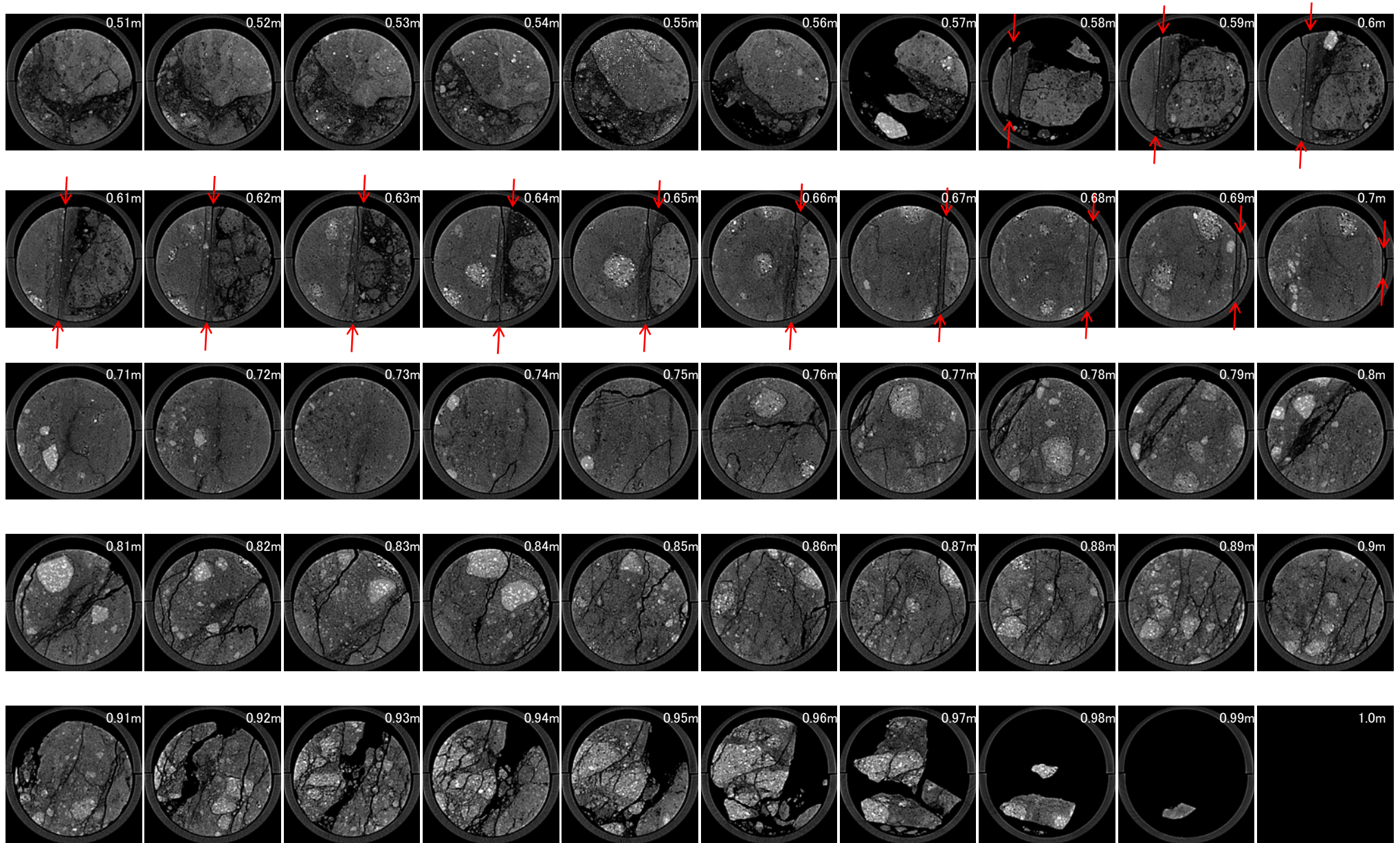


CTスキャン画像(横断面)

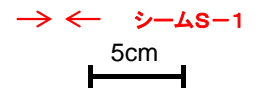




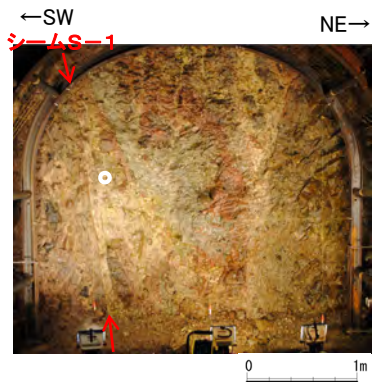
CT画像解析結果(水平ボーリングNo.28) [0.51~1.0m]



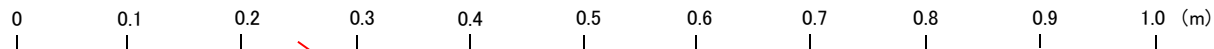
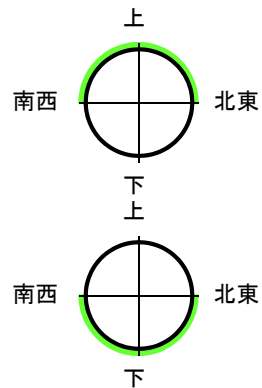
CTスキャン画像(横断面)



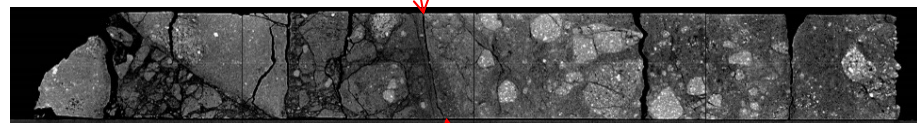
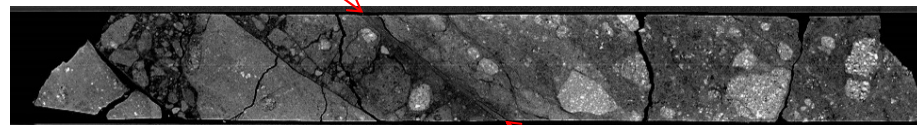
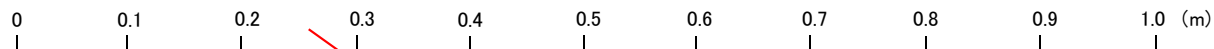
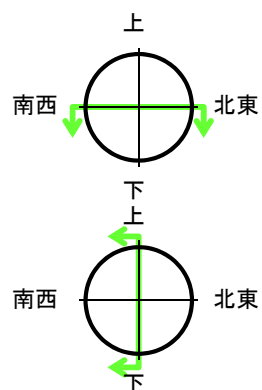
# CT画像解析結果(水平ボーリングNo.29)



試料採取位置(No.29切羽)



コア写真



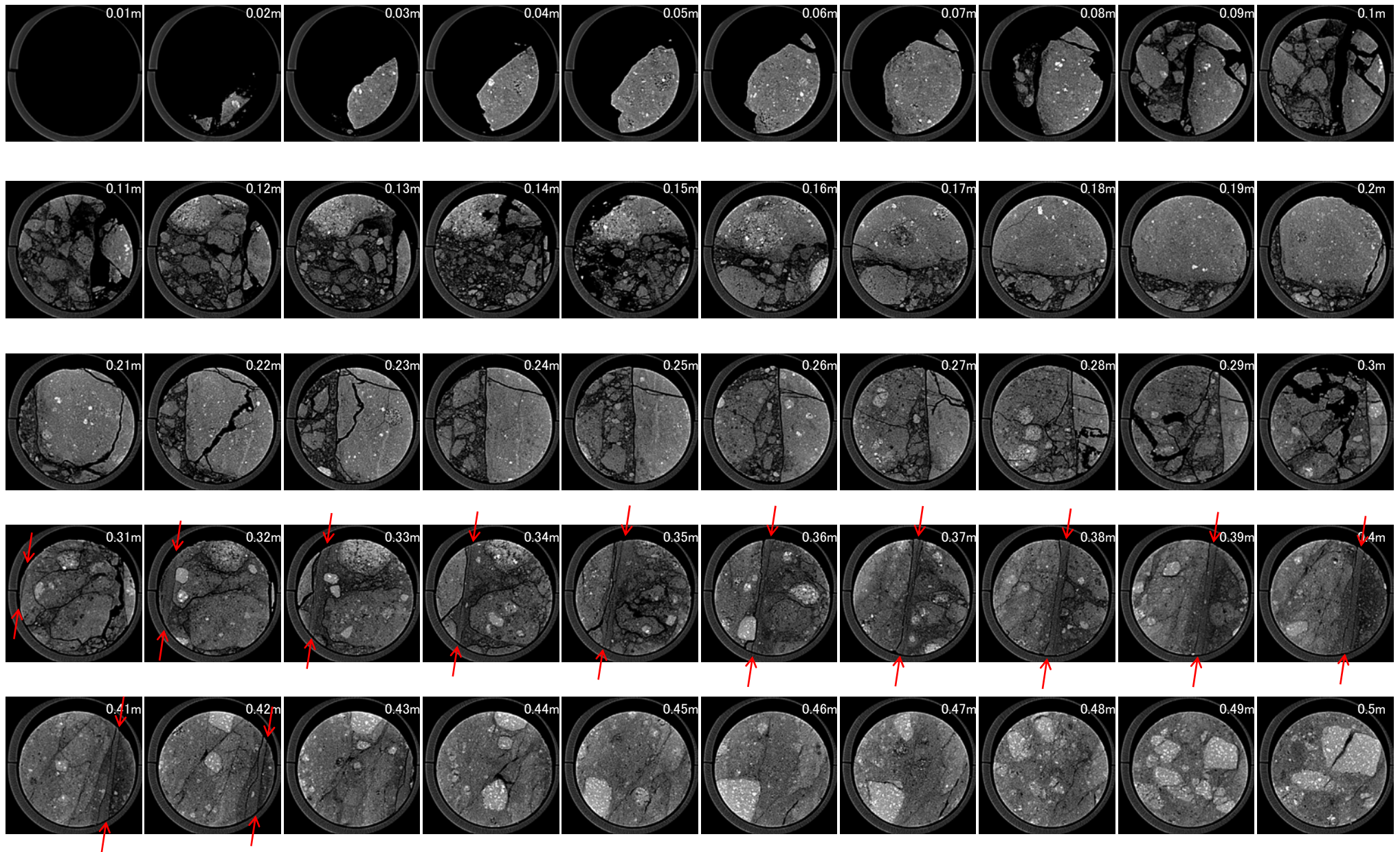
CTスキャン画像(縦断面)

→ ← シームS-1

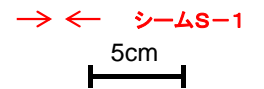
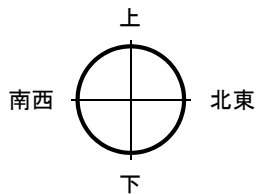
- ・切羽面に対して南西側30° 方向に水平ボーリングを実施。
- ・0.31~0.42m区間において、シームS-1を確認。



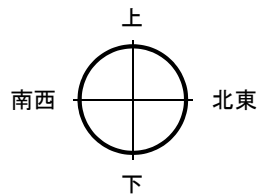
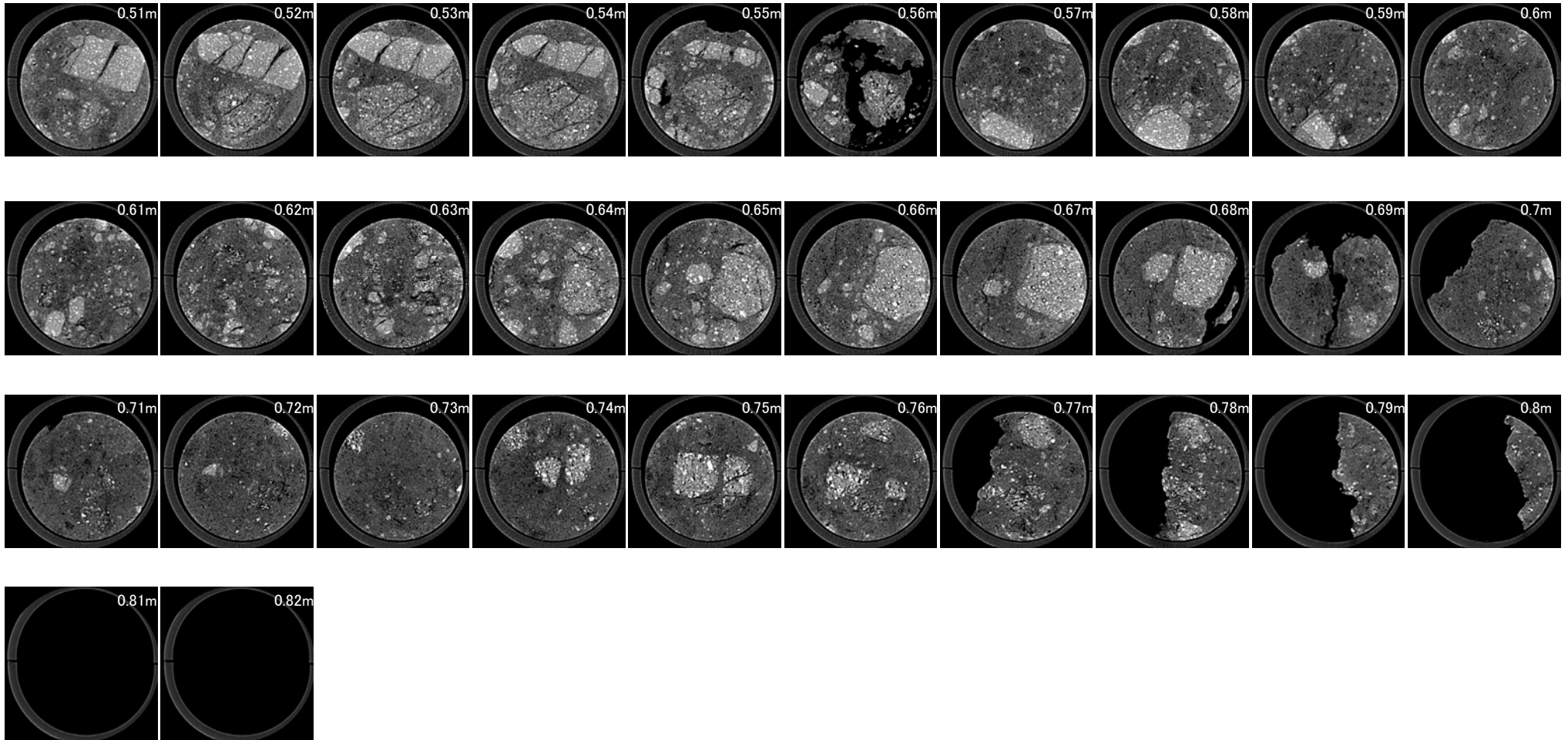
CT画像解析結果(水平ボーリングNo.29) [0.01~0.5m]



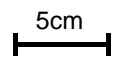
CTスキャン画像(横断面)



CT画像解析結果(水平ボーリングNo.29) [0.51~0.82m]



CTスキャン画像(横断面)





## 4. 条線觀察結果

# 最新すべり面における変位センスの認定について

## (1) 最新すべり面の抽出

・最新すべり面の認定については、以下の順で抽出した。

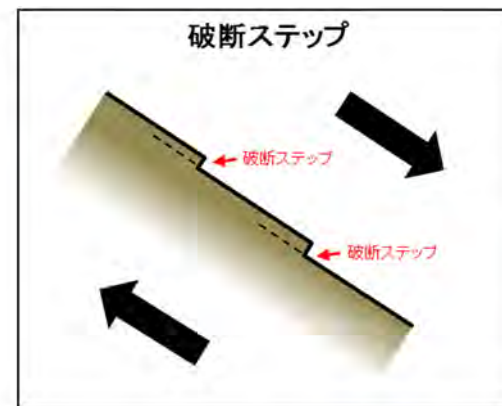
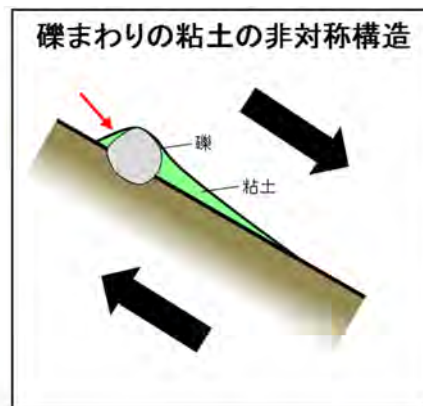
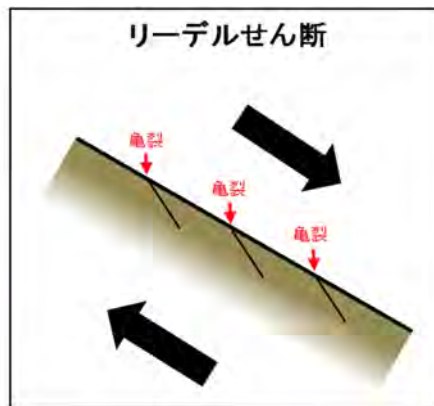
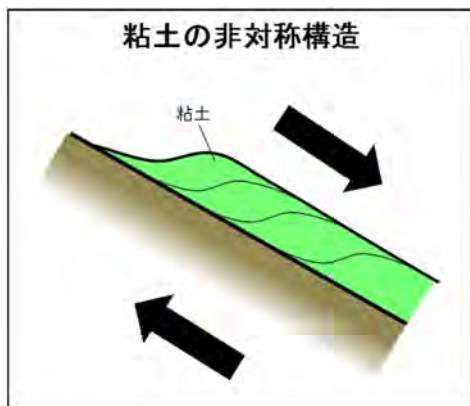
露頭、コア試料、CT画像等の目視観察により、他の構造に切られていない直線的な面を絞りこむ



シーム周辺において最も剥がれやすい面を最新すべり面として抽出  
(すべり後からの癒合時間が短く、強度回復していないと考えられるため)

## (2) 変位センスの認定

・最新すべり面における変位センスの認定については、以下の指標を用いて行った。



⇄ 変位方向



# 条線観察結果一覧表(1)

## シームS-1

試料番号		条線のレイク※	変位センス
鉛直ボーリングNo.6V	下盤側	40° R	右横ずれ逆断層
	上盤側	75° R	(不明)
		40° R	右横ずれ逆断層
鉛直ボーリングNo.7V	上盤側	35° R	右横ずれ逆断層
鉛直ボーリングNo.8V	下盤側	50° R	(不明)
	上盤側	55° R	(不明)
		25° R	(不明)
鉛直ボーリングNo.10V	下盤側	85° R	右横ずれ逆断層
鉛直ボーリングNo.11V	下盤側	30° R	(不明)
	上盤側	30° R	右横ずれ逆断層
鉛直ボーリングNo.12V	下盤側	35° R	(不明)
鉛直ボーリングNo.13V	下盤側	40° R	(不明)
	上盤側	40° R	(不明)
		60° R	(不明)
鉛直ボーリングNo.15V	下盤側	35° R	(不明)
	上盤側	65° R	(不明)
鉛直ボーリングNo.16V	下盤側	70° R	右横ずれ逆断層
	上盤側	35° R	(不明)
鉛直ボーリングNo.17V	下盤側	35° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.13-2	下盤側	30° R	(不明)
		65° R	(不明)

試料番号		条線のレイク※	変位センス
水平ボーリングNo.14	下盤側	80° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.18-1	下盤側	65° R	(不明)
	上盤側	20° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.19	下盤側	25° R	(不明)
水平ボーリングNo.20(1)	下盤側	60° R	(不明)
水平ボーリングNo.20(2)	下盤側	25° R	(不明)
		40° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.22-1	下盤側	40° R	(不明)
	上盤側	50° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.23-1	下盤側	60° R	(不明)
水平ボーリングNo.25-1	下盤側	40° R	(不明)
		60° R	(不明)
水平ボーリングNo.25-2	下盤側	40° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.26-1	下盤側	25° R	右横ずれ逆断層
		40° R	(不明)
水平ボーリングNo.27-1	下盤側	40° R	右横ずれ逆断層
水平ボーリングNo.27-2	上盤側	45° R	(不明)
		30° R	(不明)
No.24-2ブロック	下盤側	35° R	(不明)
		45° R	右横ずれ逆断層
No.25-2ブロック	下盤側	40° R	右横ずれ逆断層
ボーリングJ-9" (深度29.33m)	上盤側	50° R	(不明)

※上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す

## 条線観察結果一覧表(2)

### シームS-1

試料番号		条線のレイク <sup>※</sup>	変位センス
ボーリングL-13.5 (深度293.88m)	下盤側	40° R	(不明)
ボーリングM-12.5 (深度63.43m)	下盤側	60° R	(不明)
		45° R	(不明)
ボーリング駐車場No.1	下盤側	20° R	(不明)
		40° R	(不明)
ボーリング駐車場No.2	下盤側	70° R	(不明)
		20° R	(不明)
	上盤側	70° R	(不明)
		105° R	(不明)
ボーリングN-13 (深度11.10m)	下盤側	50° R	(不明)
ボーリングN-13' (深度23.39m)	上盤側	60° R	(不明)
ボーリングN-14.5 (深度21.31m)	下盤側	56° R	(不明)
		26° R	(不明)
ボーリングO-16 (深度20.36m)	下盤側	51° R	(不明)
えん堤左岸トレンチ底盤	下盤側	90° R	(不明)
		110° R	(不明)
ボーリングO-17.3 (深度41.82m)	下盤側	28° R	(不明)
		63° R	右横ずれ逆断層
ボーリングO-17.5 (深度25.29m)	下盤側	40° R	(不明)

### シームS-1南東端エリアのシームを伴う割れ目

試料番号		条線のレイク <sup>※</sup>	変位センス
ボーリングO-17.9 (深度16.02m)	下盤側	39° R	左横ずれ正断層
ボーリングO-17.9 (深度17.72m)	下盤側	条線は認められない	
ボーリングO-18 (深度6.61m)	上盤側	25° R	右横ずれ逆断層
ボーリングO-18-2 (深度23.83m)	下盤側	171° R	(不明)
ボーリングO-18' (深度57.77m)	上盤側	112° R	左横ずれ逆断層

### シームS-2

試料番号		条線のレイク <sup>※</sup>	変位センス
ボーリングL-6' (深度13.82m)	下盤側	160° R	(不明)
		120° R	(不明)

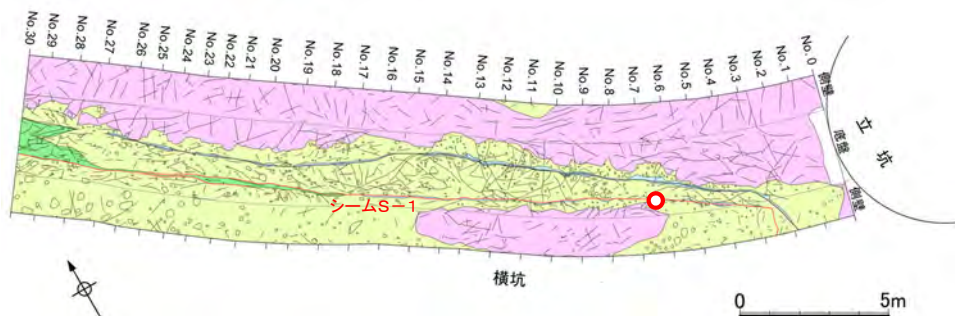
### シームS-6

試料番号		条線のレイク <sup>※</sup>	変位センス
ボーリングF-8.5 (深度8.93m)	上盤側	140° R	(不明)
ボーリングE-8.5 (深度14.40m)	上盤側	140° R	(不明)
ボーリングE-8.6 (深度11.70m)	上盤側	50° R	(不明)
ボーリングE-8.7 (深度10.09m)	下盤側	75° R	(不明)
ボーリングC-9.1 (深度10.82m)	下盤側	135° R	(不明)
ボーリングC-9.2 (深度10.56m)	下盤側	115° R	(不明)
		160° R	(不明)

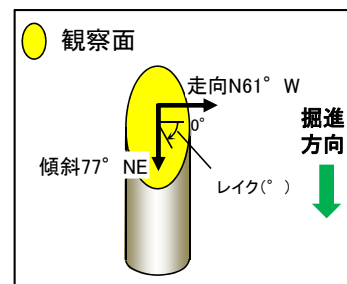
※上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(下盤側))



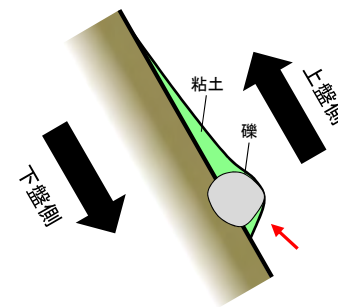
位置図



概念図

※走向は真北で示す。

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

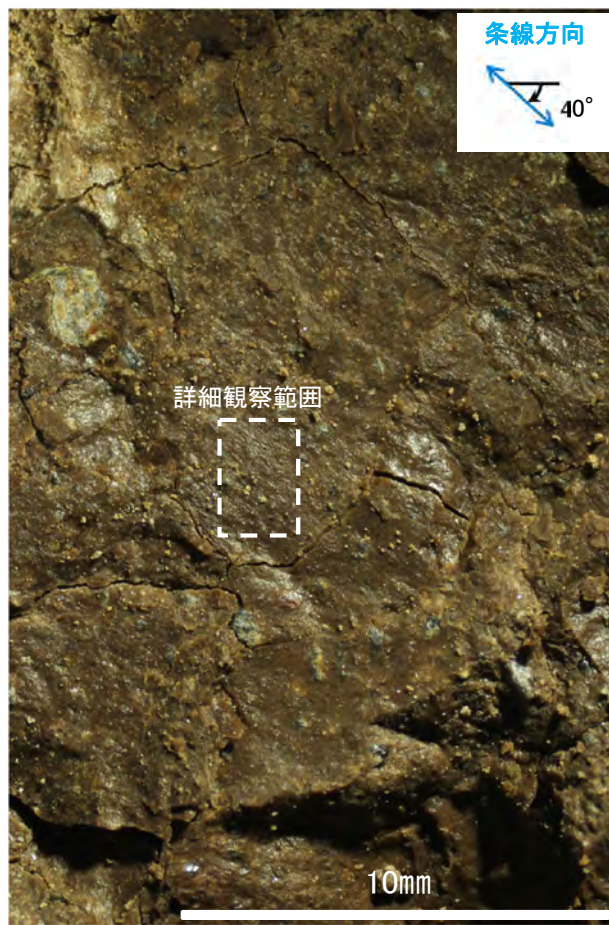


凡例

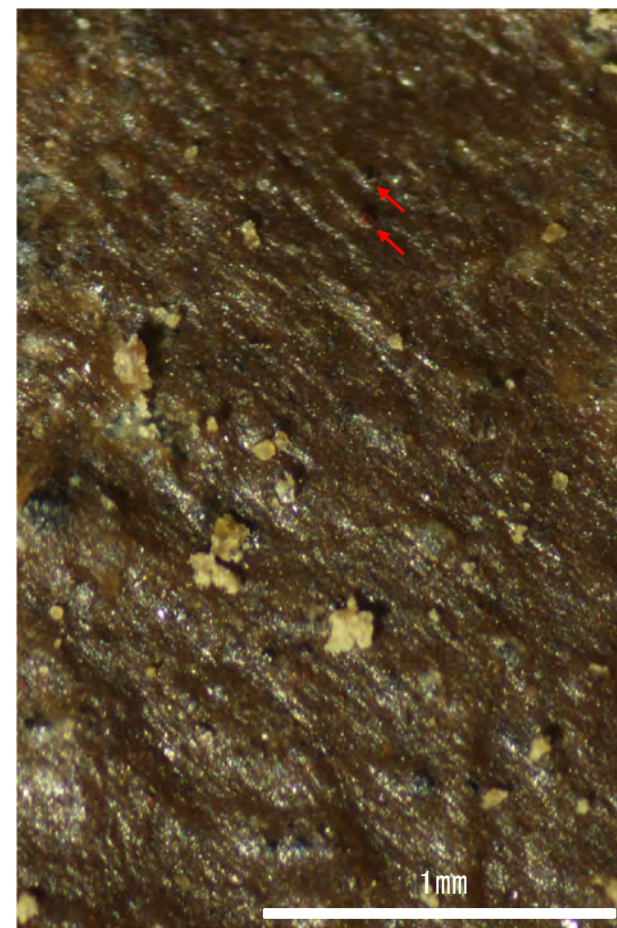
- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山砕屑岩 I
- 帯状を呈する火山砕屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所 (No.6V)



観察面写真



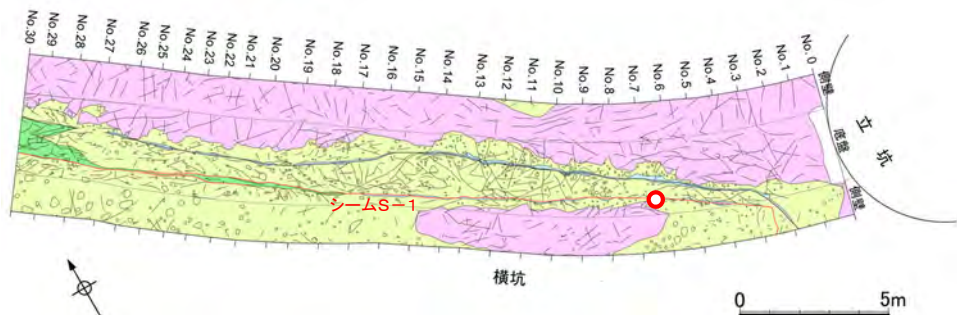
観察面拡大写真



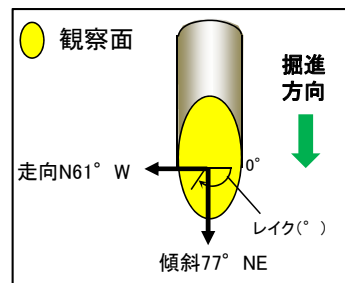
詳細観察写真



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(上盤側)①)



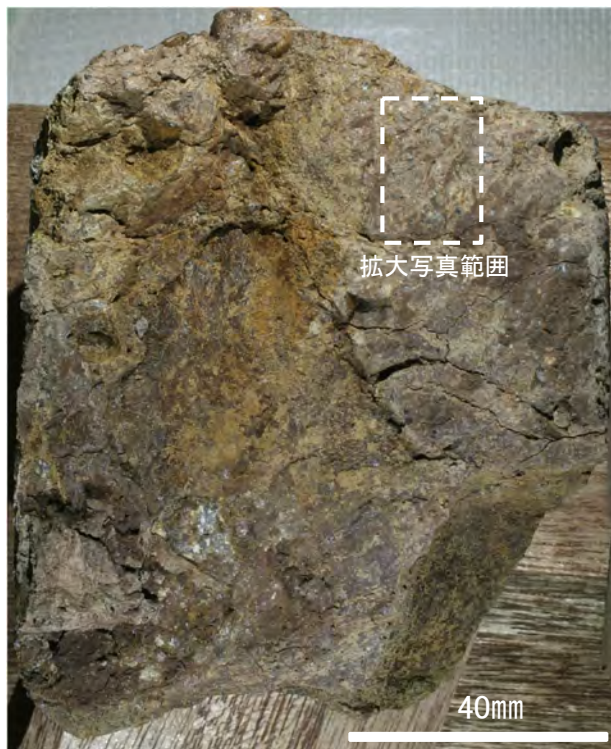
位置図



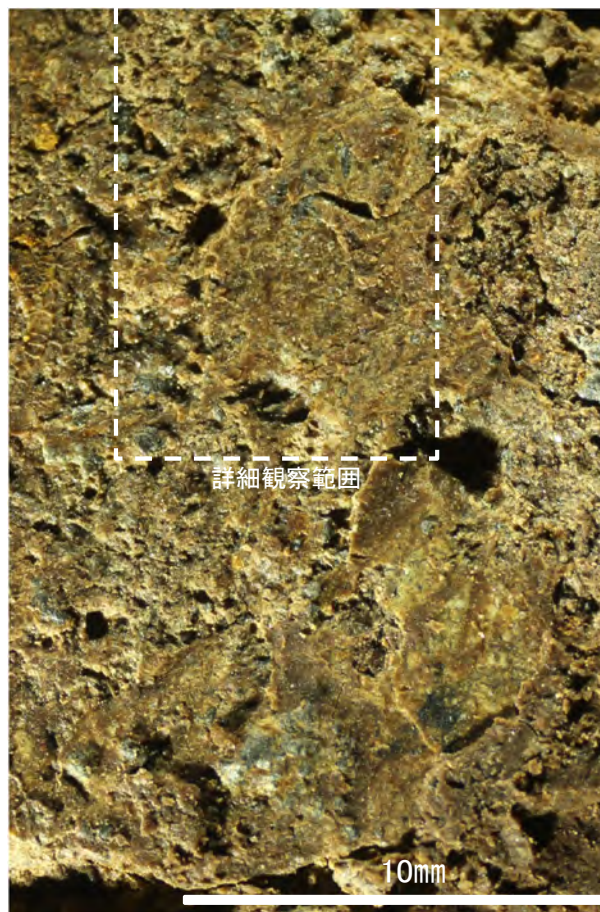
概念図

※走向は真北で示す。

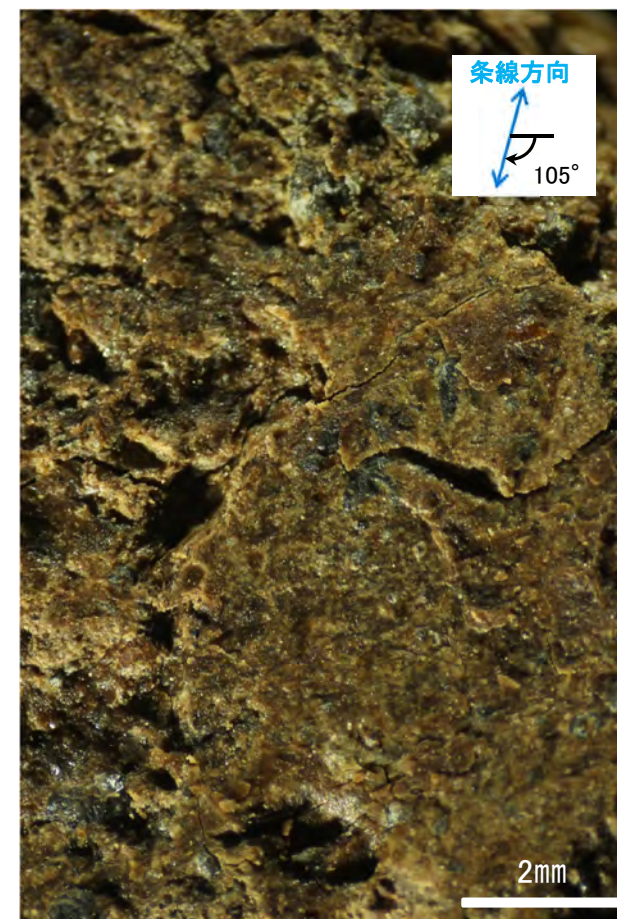
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.6V)



観察面写真



観察面拡大写真

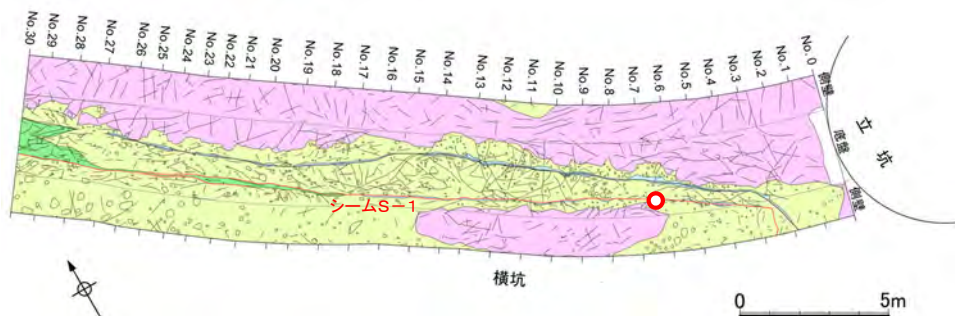


詳細観察写真

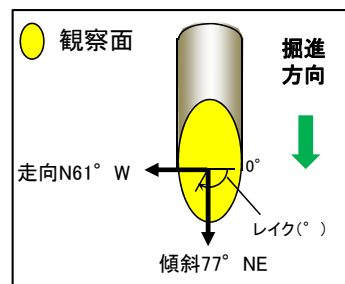
・条線のレイクは75° R(下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(上盤側)②)

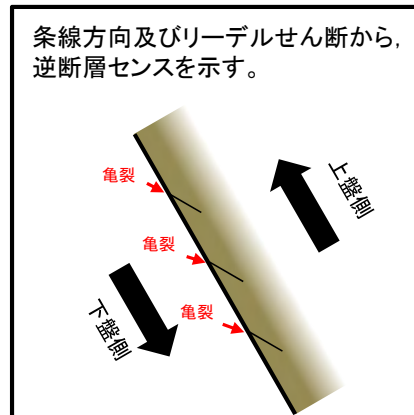


位置図



概念図

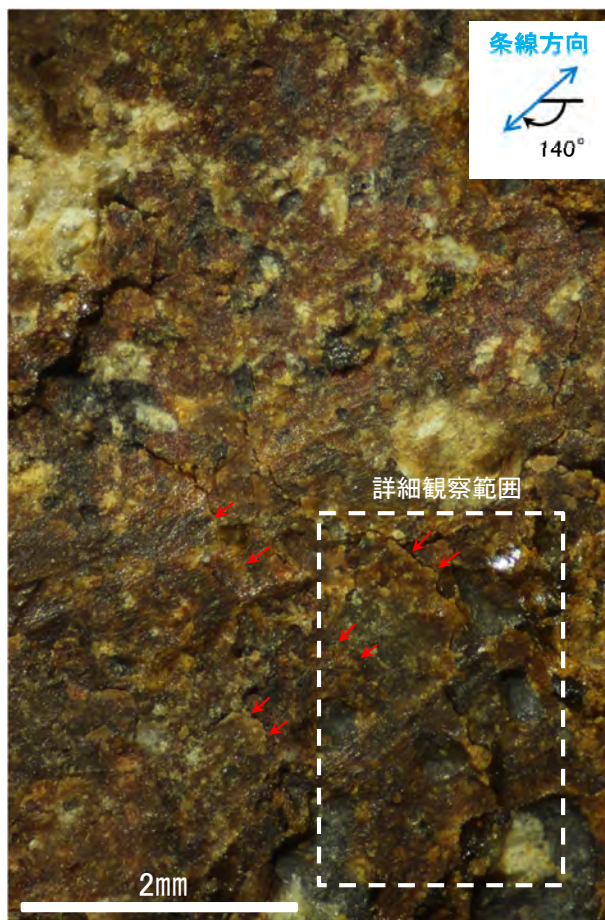
※走向は真北で示す。



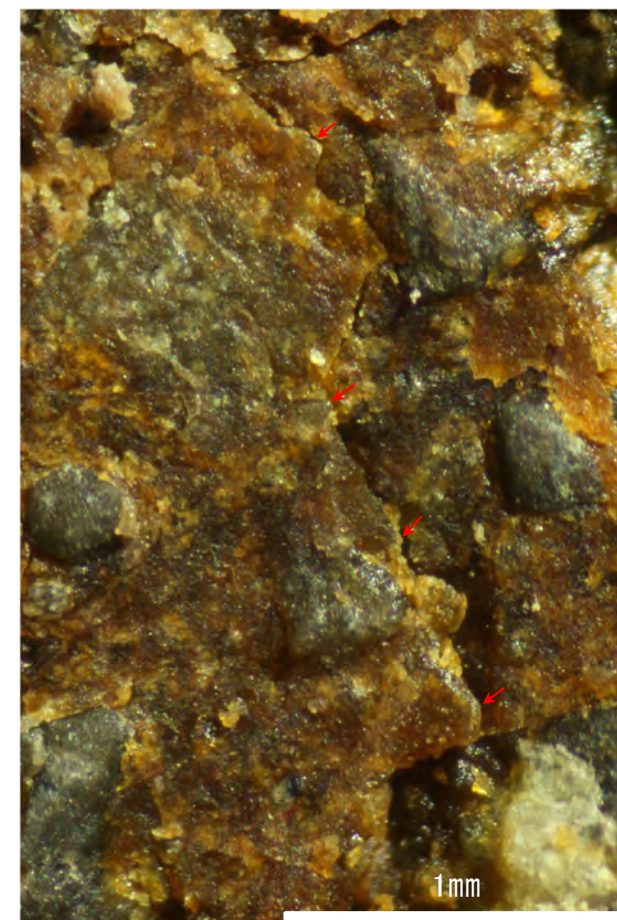
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.6V)



観察面写真



観察面拡大写真

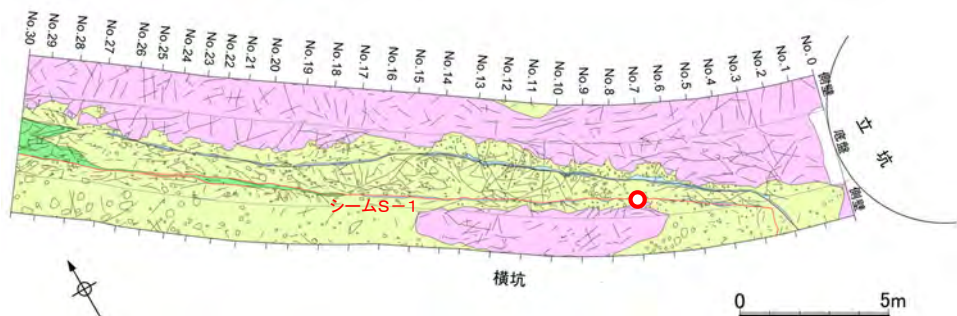


詳細観察写真

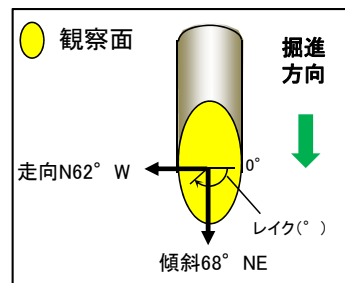
・条線のレイクは40° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.7V(上盤側))



位置図



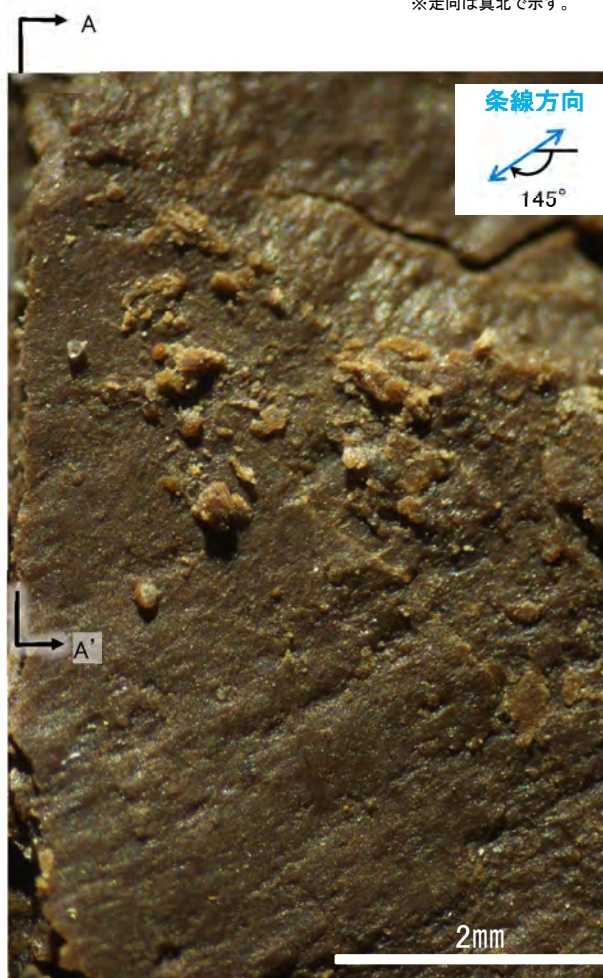
概念図

※走向は真北で示す。

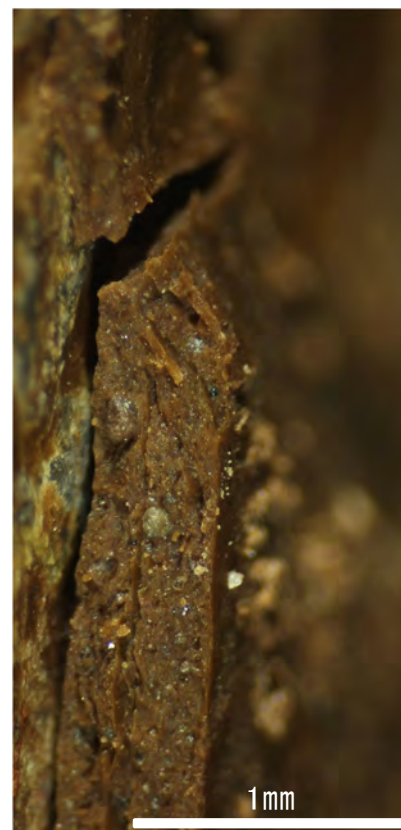
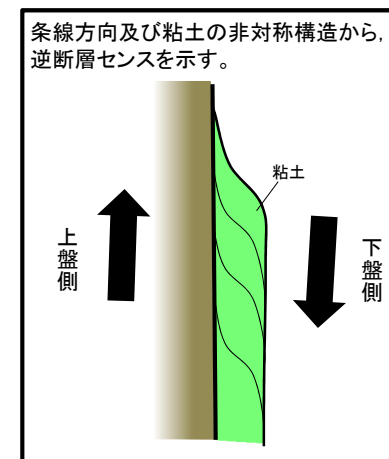
- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.7V)



観察面写真



観察面拡大写真

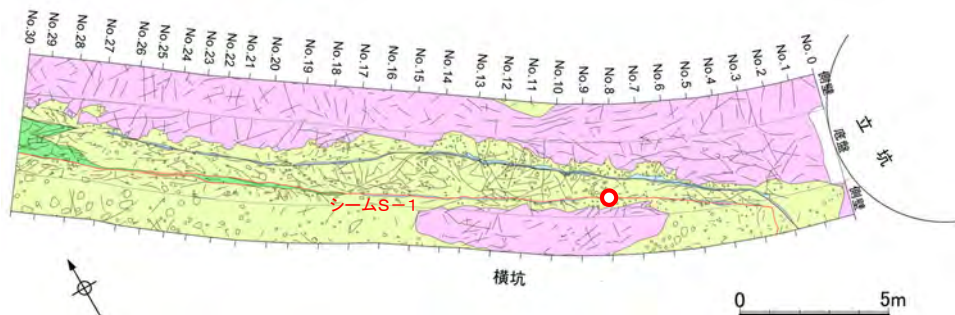


詳細観察写真(A-A'断面)

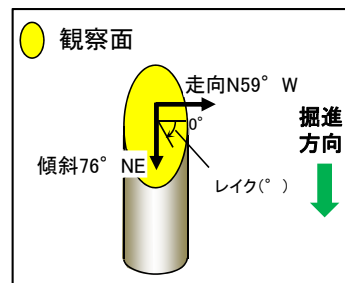
・条線のレイクは35° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.8V(下盤側))



位置図

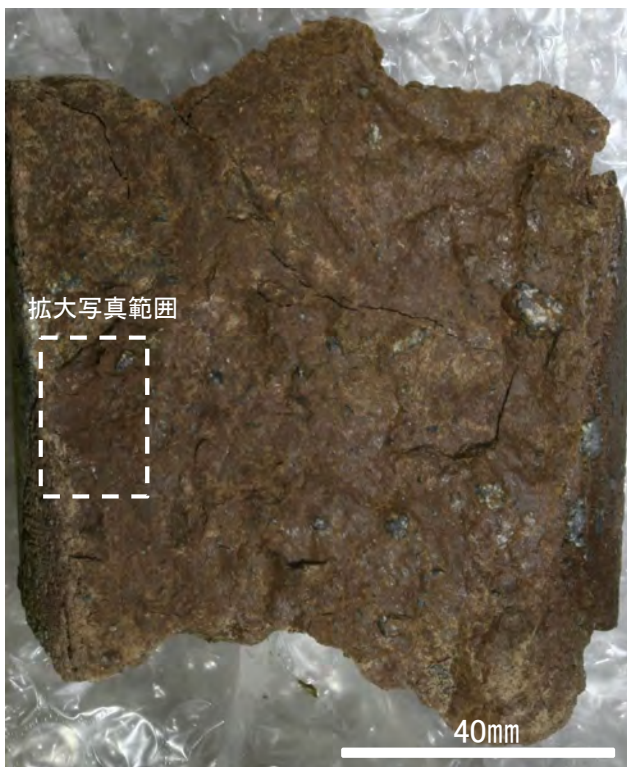


概念図

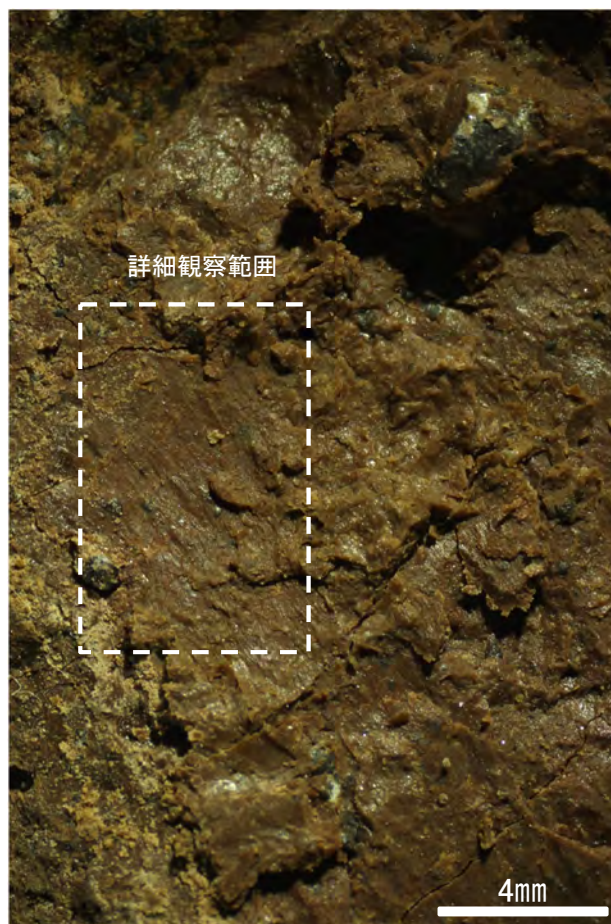
※走向は真北で示す。

凡例

- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩 I
- 帯状を呈する火山碎屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所(No.8V)



観察面写真



観察面拡大写真

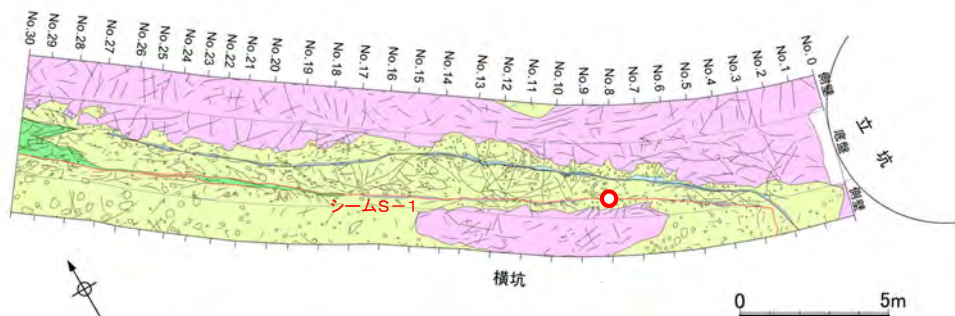


詳細観察写真

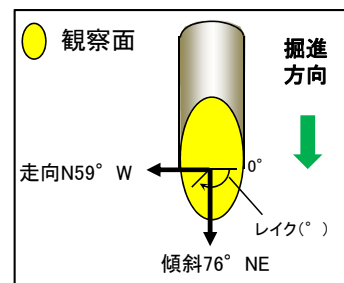
・条線のレイクは50° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.8V(上盤側))



位置図



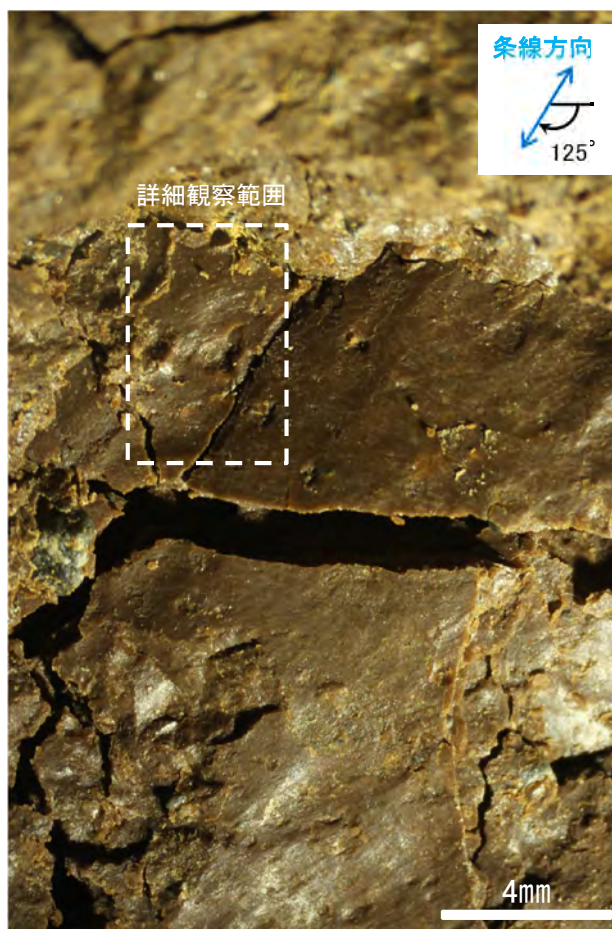
概念図

※走向は真北で示す。

- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.8V)

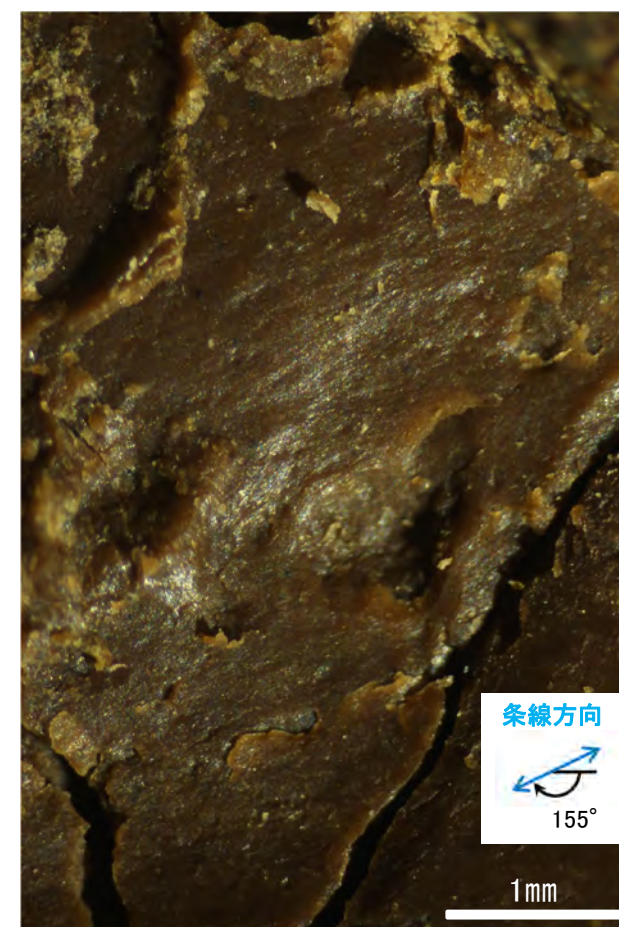


観察面写真



観察面拡大写真

・条線のレイクは55° R (下盤側換算), 変位センスは不明

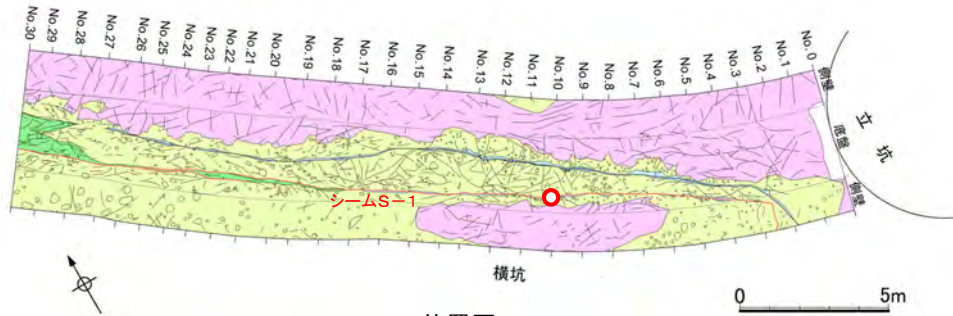


詳細観察写真

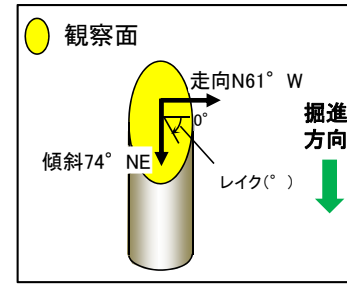
・条線のレイクは25° R (下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.10V(下盤側))

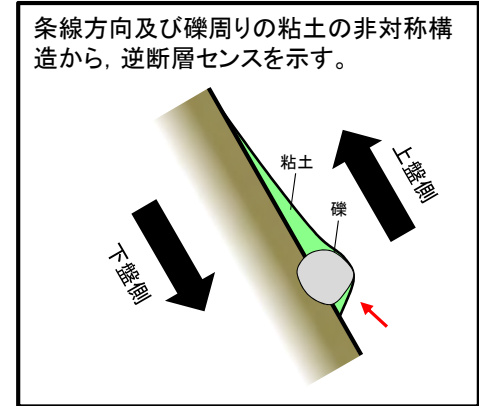


位置図



概念図

※走向は真北で示す。

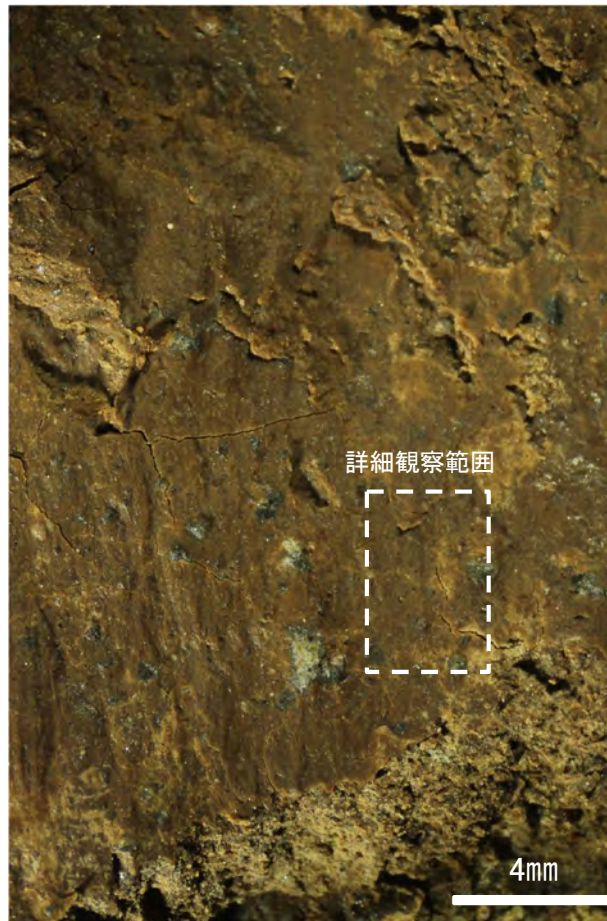


条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

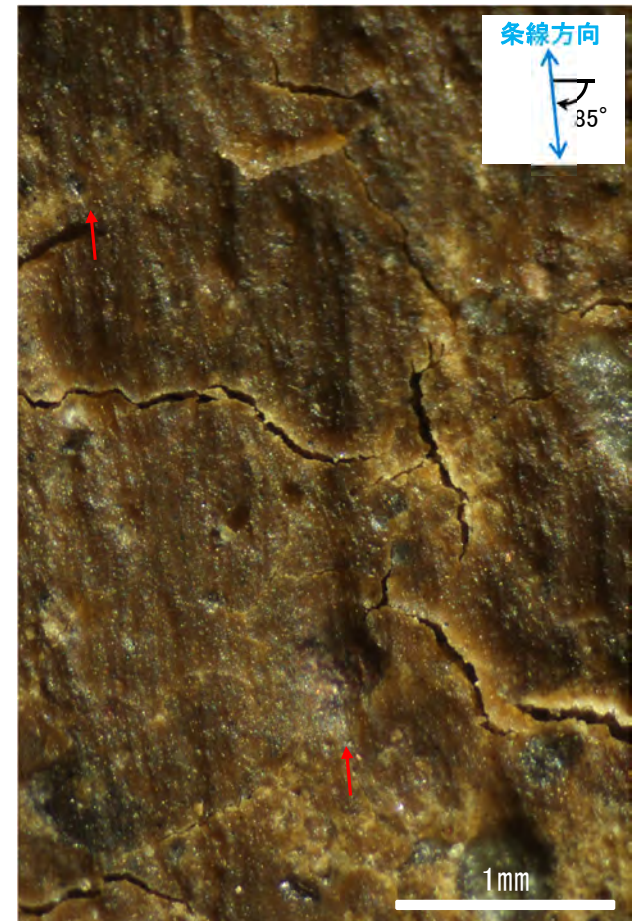
- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.10V)



観察面写真



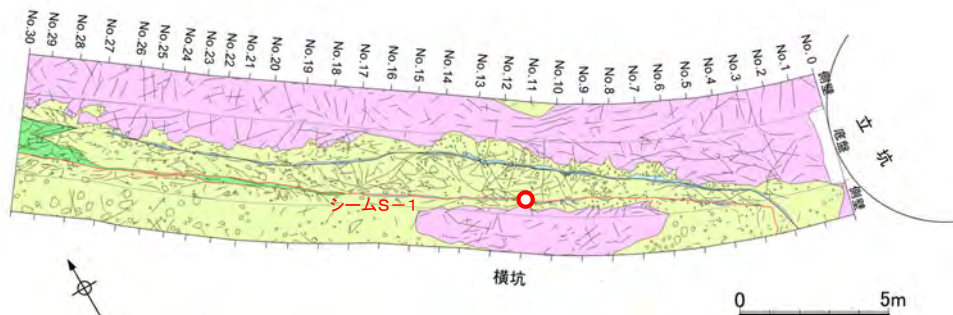
観察面拡大写真



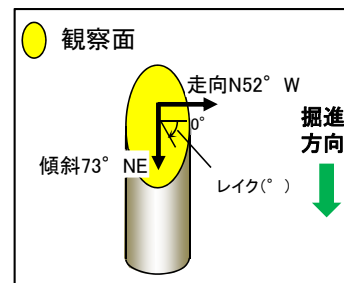
詳細観察写真



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.11V(下盤側))



位置図



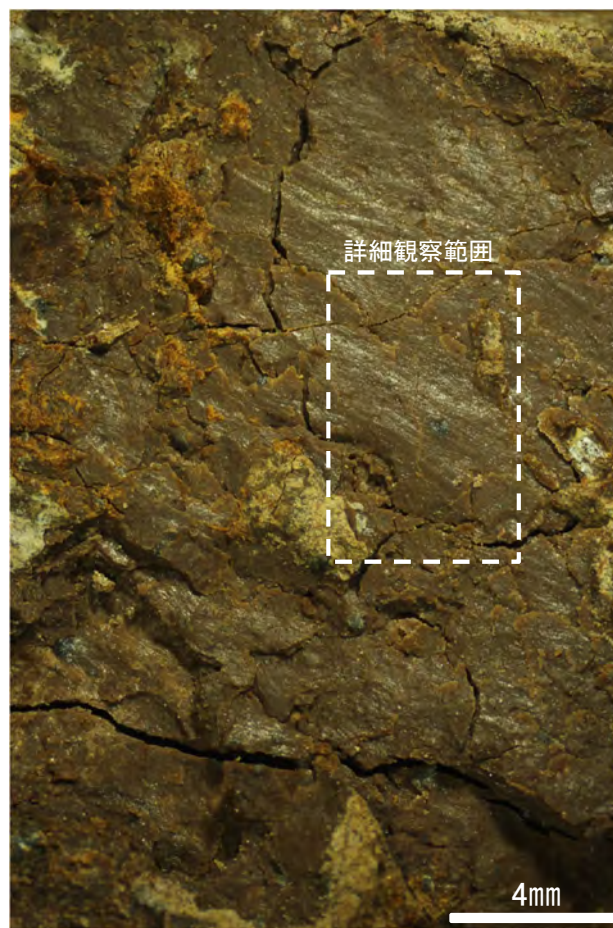
概念図

※走向は真北で示す。

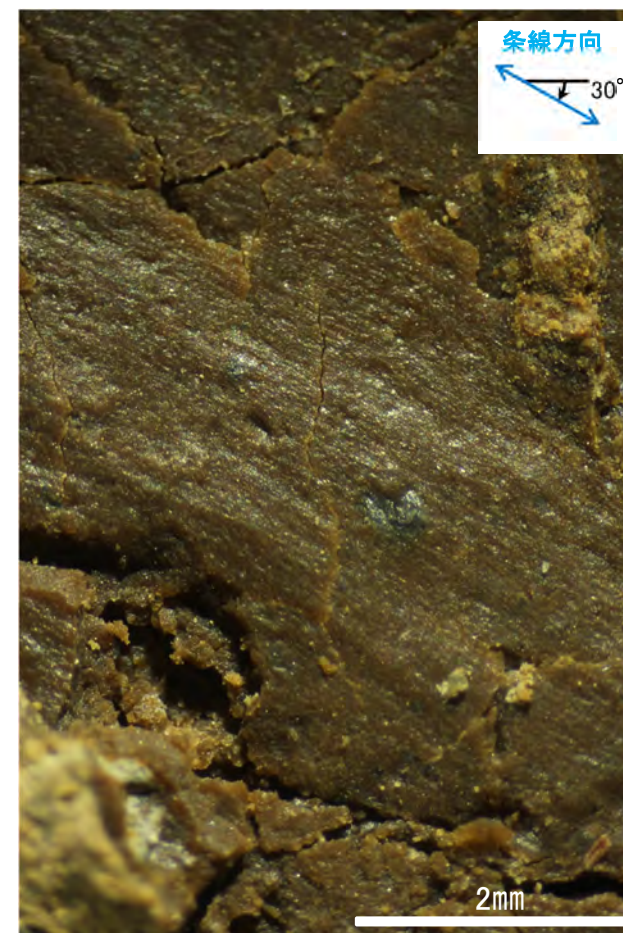
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所(No.11V)



観察面写真



観察面拡大写真

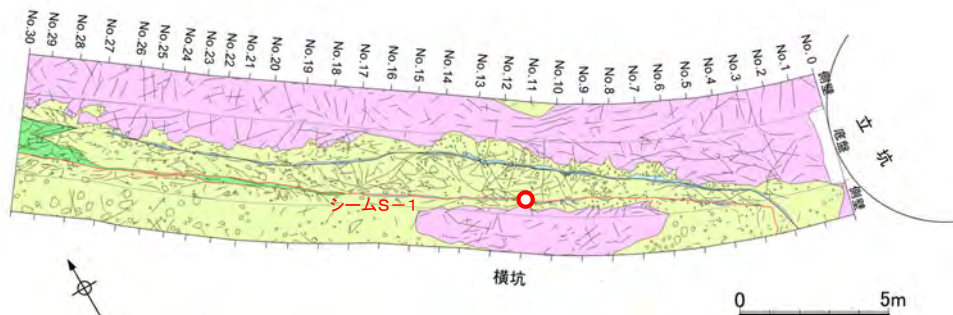


詳細観察写真

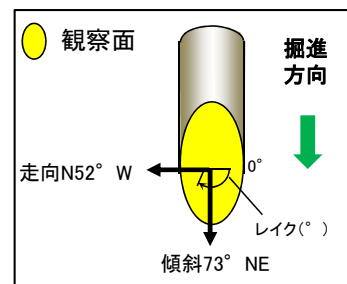
・条線のレイクは30° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.11V(上盤側))



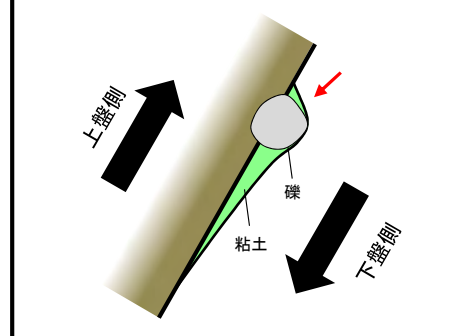
位置図



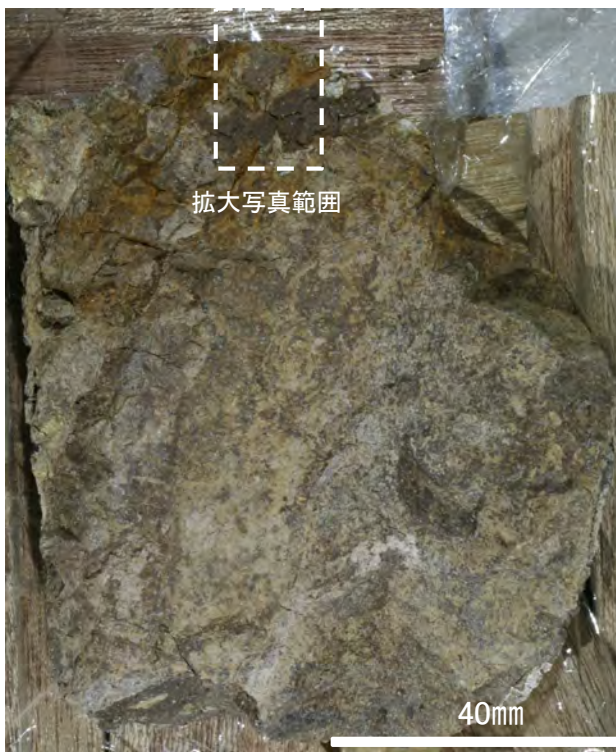
概念図

※走向は真北で示す。

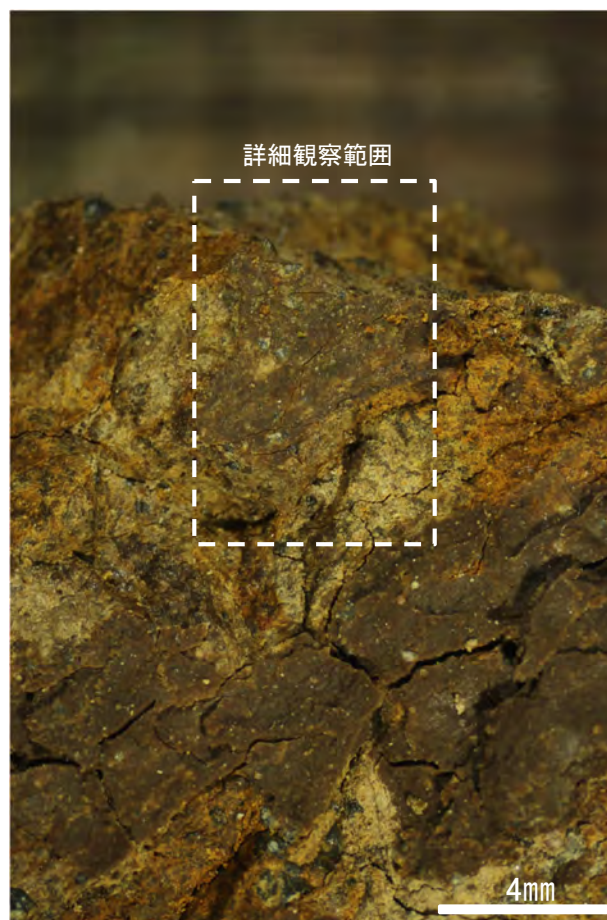
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



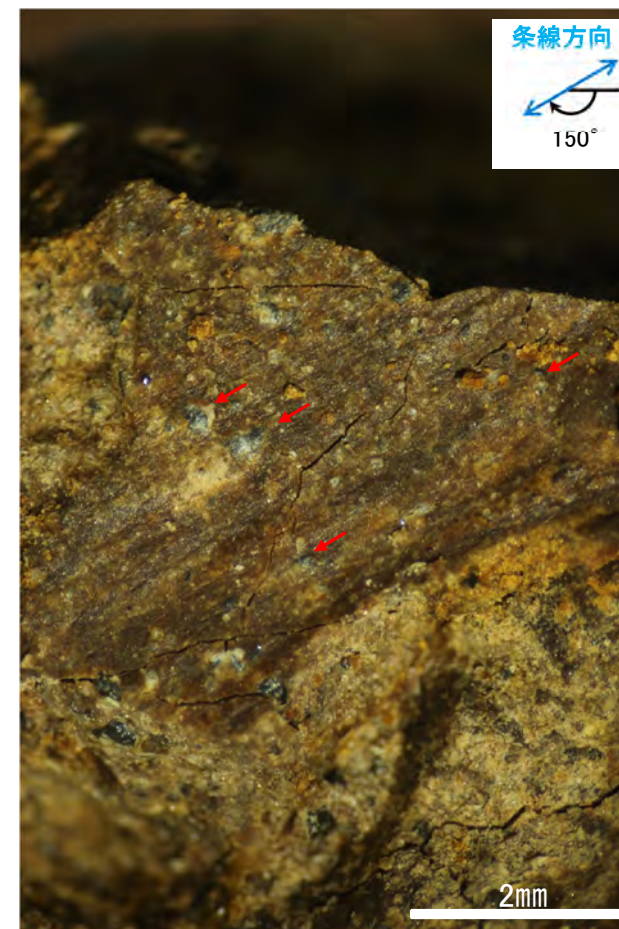
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所(No.11V)



観察面写真



観察面拡大写真

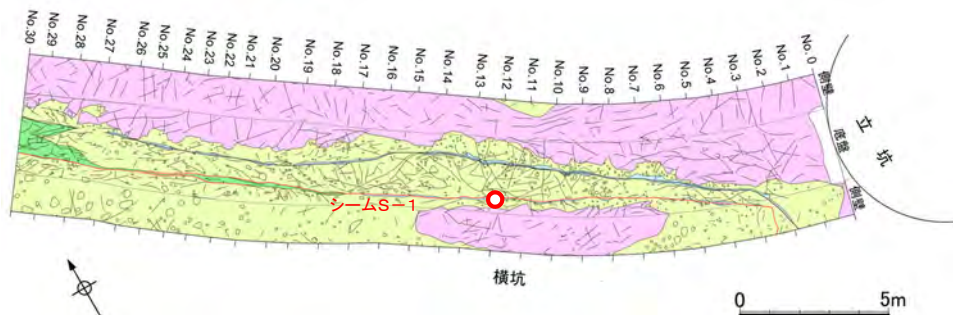


詳細観察写真

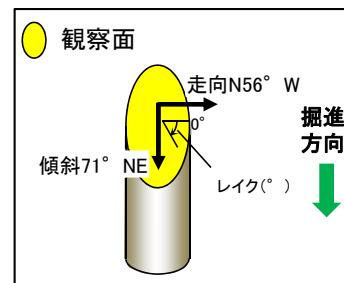
・条線のレイクは30° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.12V(下盤側))



位置図

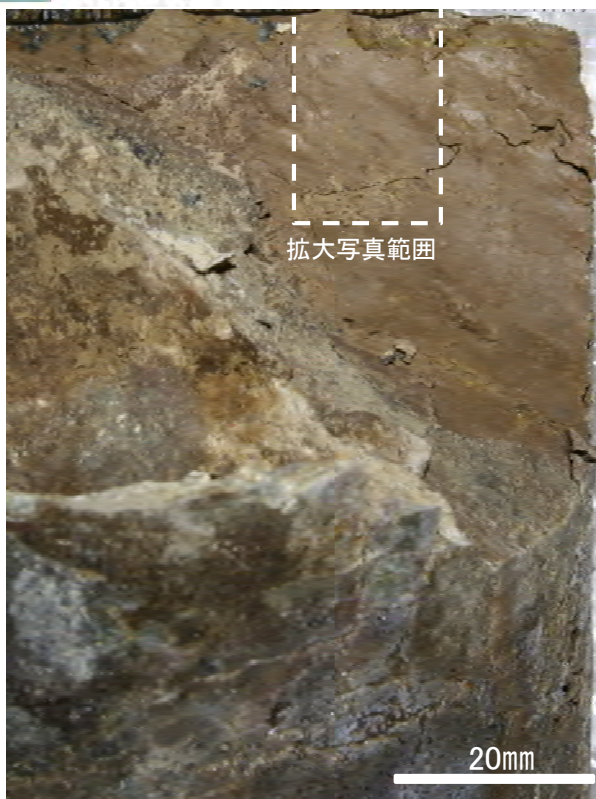


概念図

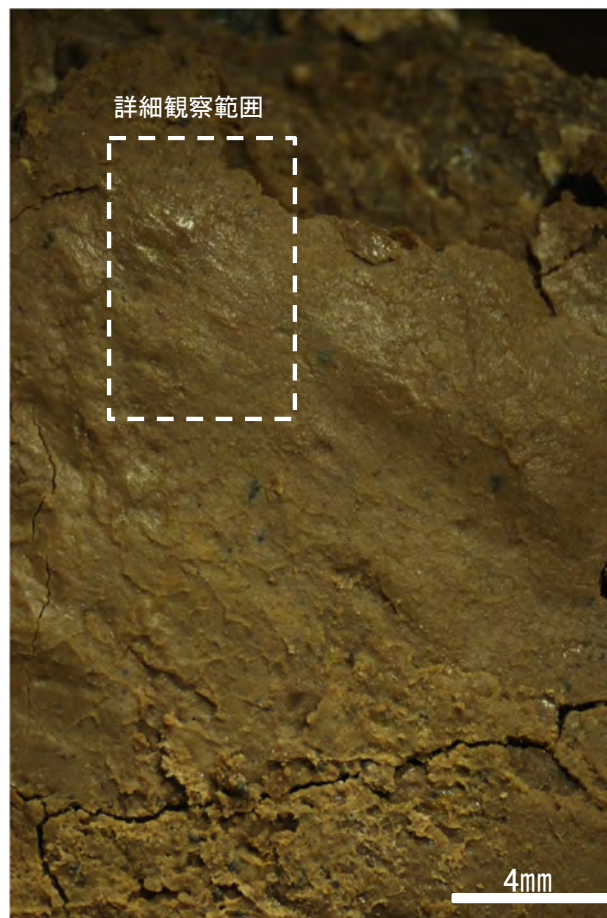
※走向は真北で示す。

凡例

- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩 I
- 帯状を呈する火山碎屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所 (No.12V)



観察面写真



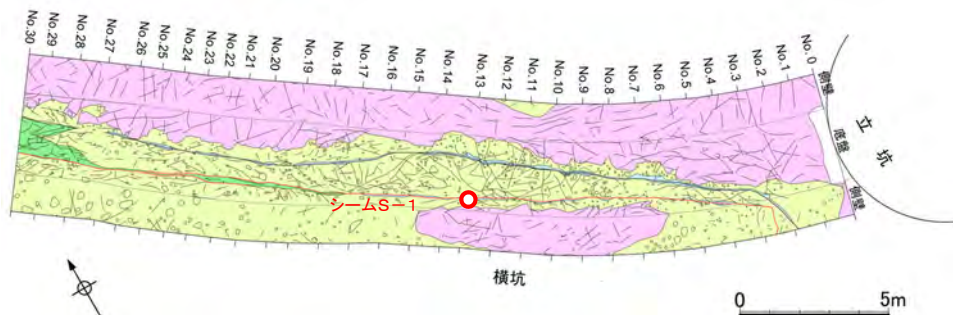
観察面拡大写真



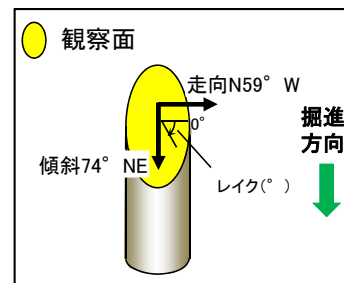
詳細観察写真



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.13V(下盤側))



位置図



概念図

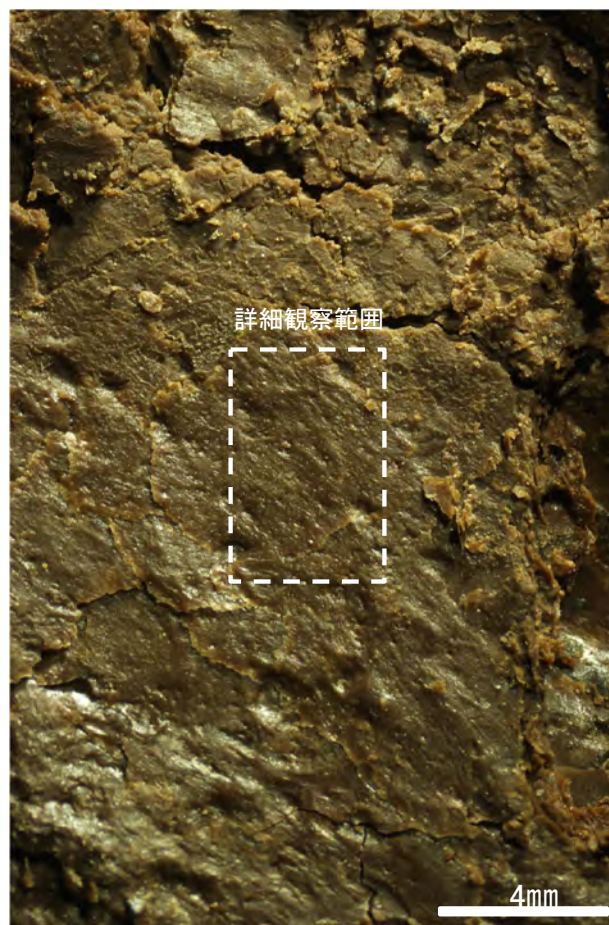
※走向は真北で示す。

凡例

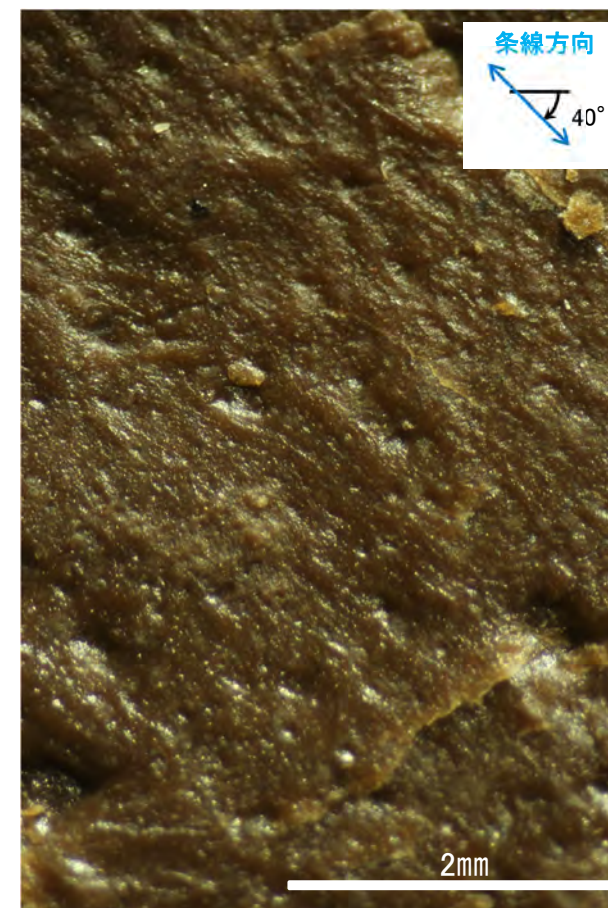
- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩 I
- 帯状を呈する火山碎屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所(No.13V)



観察面写真



観察面拡大写真

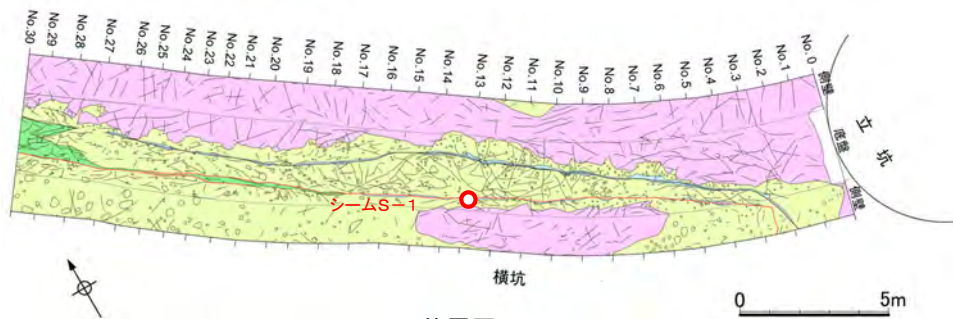


詳細観察写真

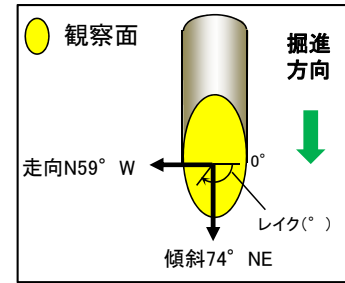
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.13V(上盤側))



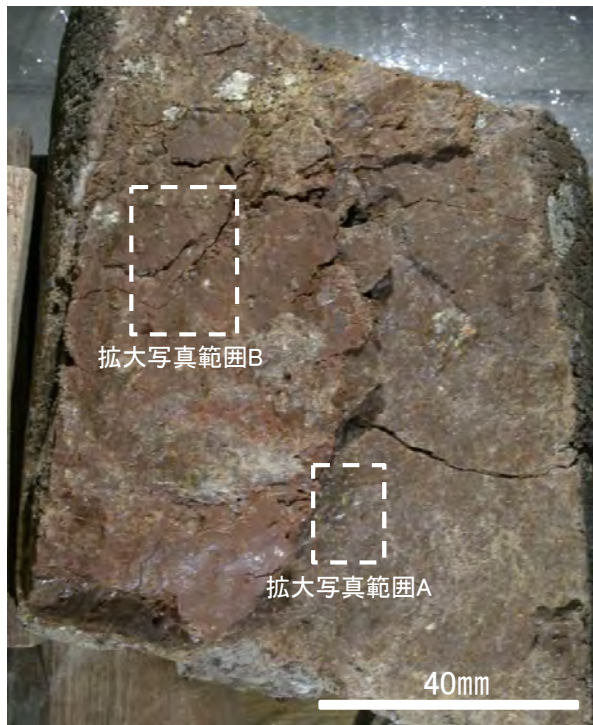
位置図



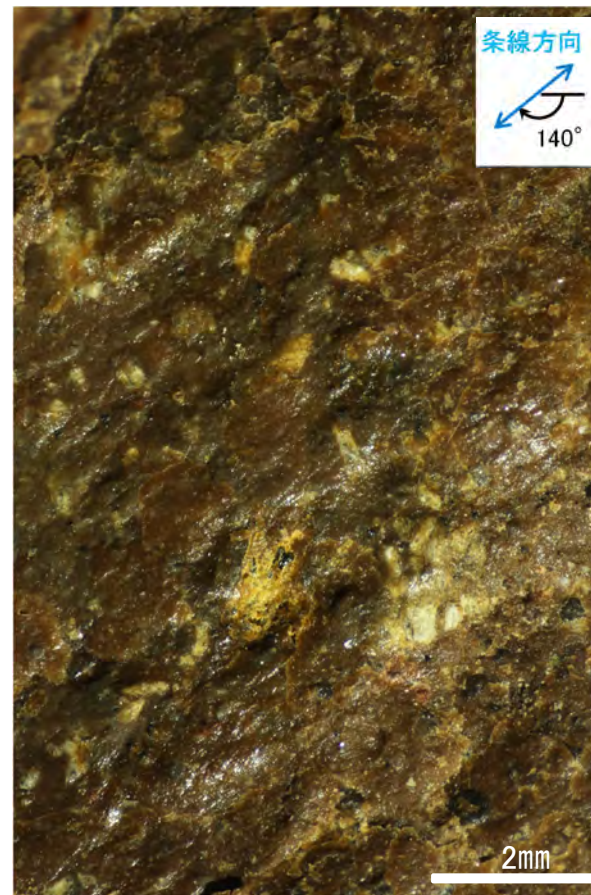
概念図

※走向は真北で示す。

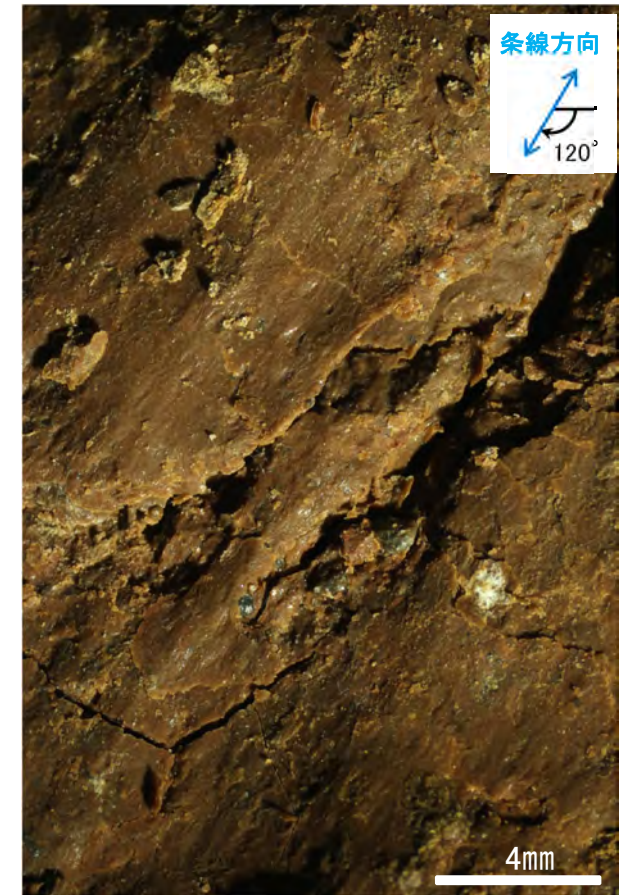
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.13V)



観察面写真



観察面拡大写真A



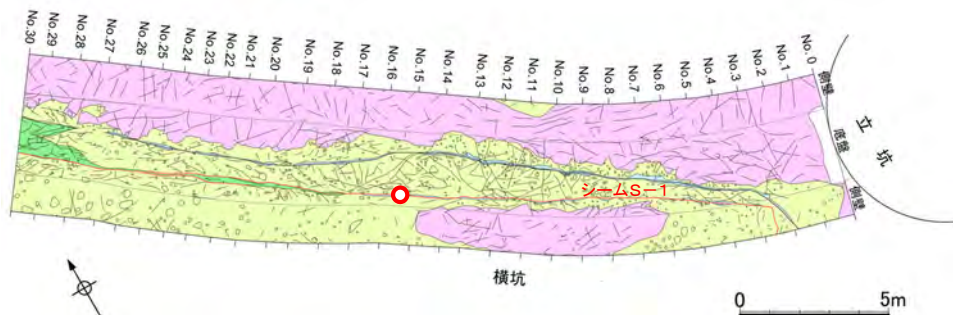
観察面拡大写真B

・条線のレイクは40° R(下盤側換算), 変位センスは不明

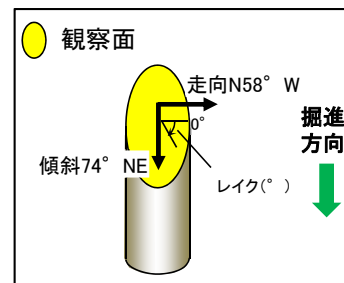
・条線のレイクは60° R(下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.15V(下盤側))



位置図



概念図

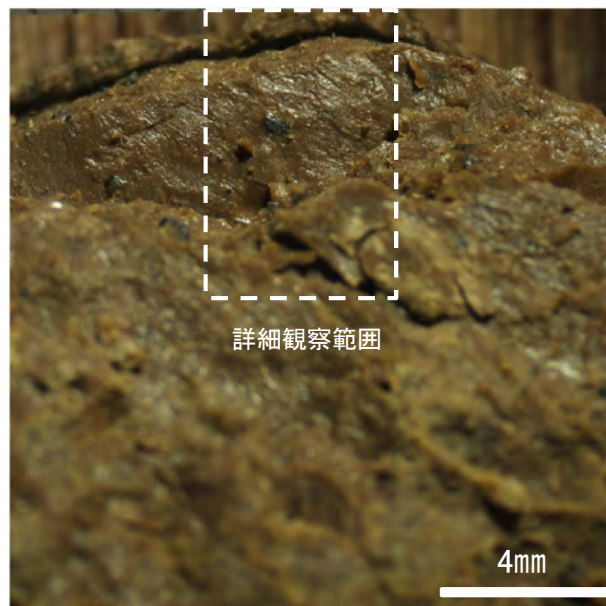
※走向は真北で示す。

凡 例

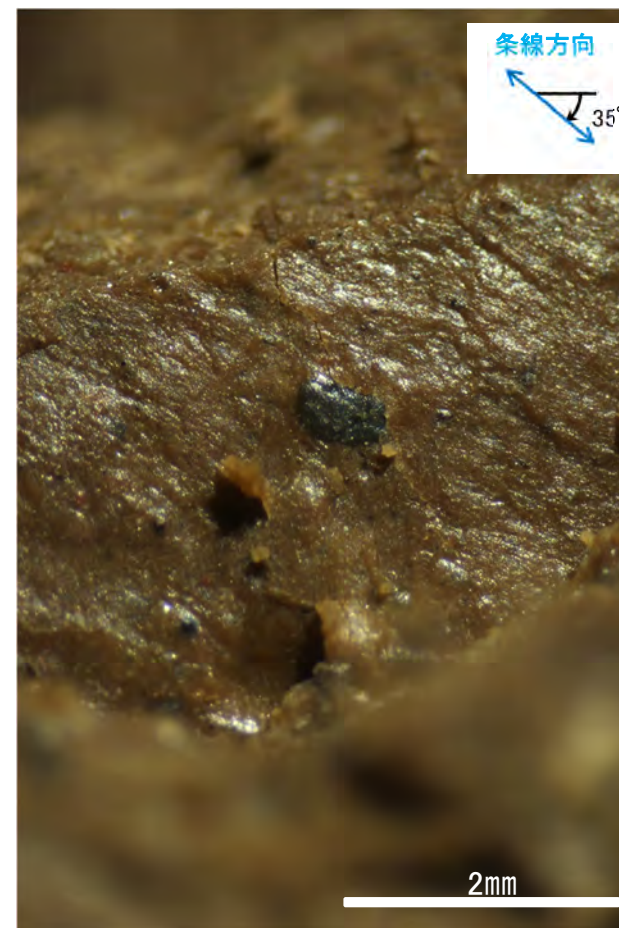
- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩 I
- 帯状を呈する火山碎屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所 (No.15V)



観察面写真



観察面拡大写真

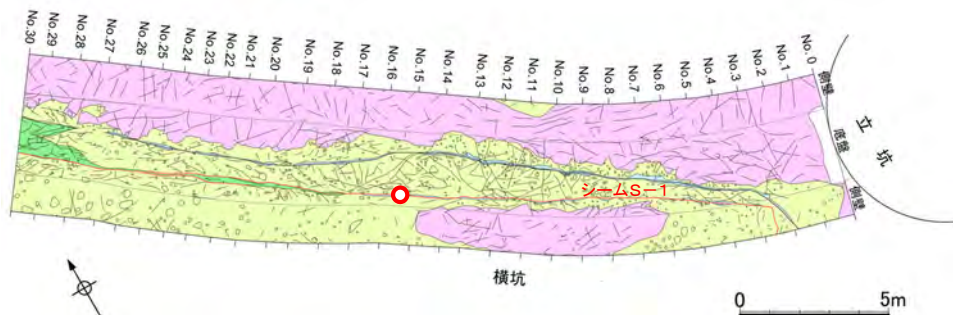


詳細観察写真

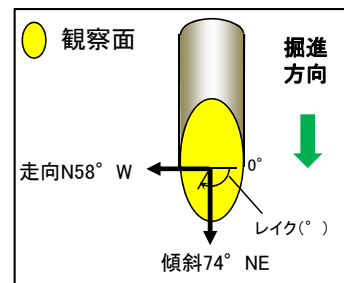
・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.15V(上盤側))



位置図

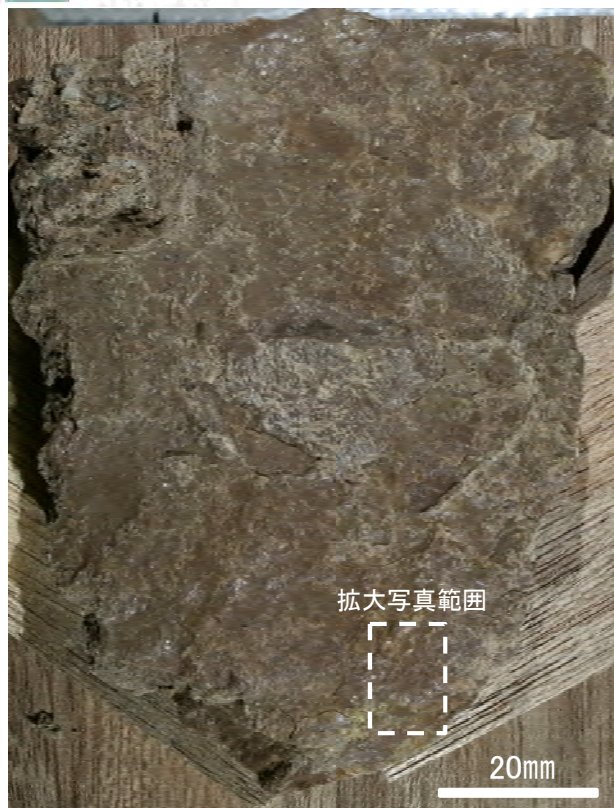


概念図

※走向は真北で示す。

## 凡例

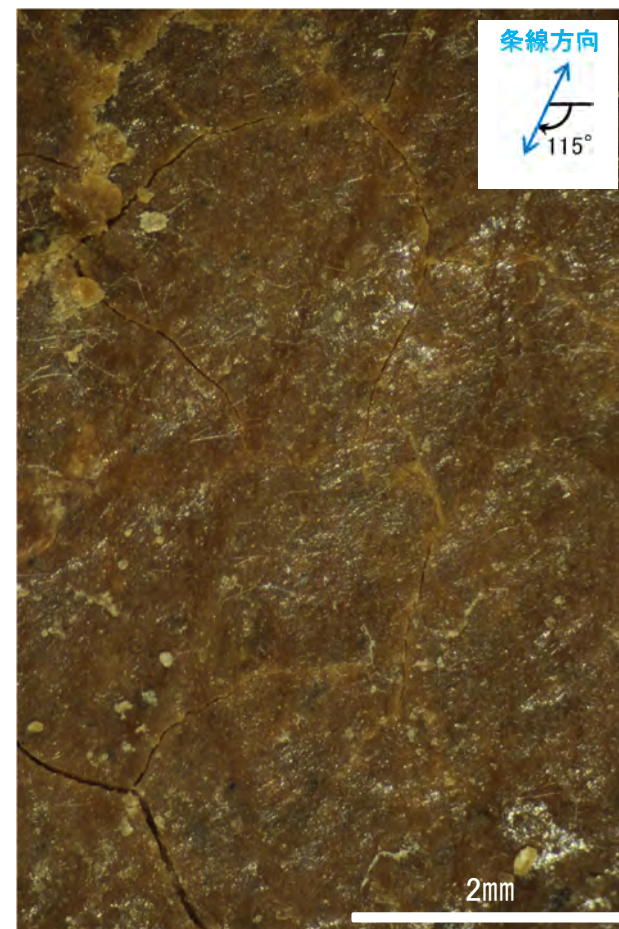
- 穴水累層 安山岩(均質)
- 帯状を呈する火山碎屑岩 I
- 帯状を呈する火山碎屑岩 II
- 凝灰質な細粒部
- ボーリング箇所(No.15V)



観察面写真



観察面拡大写真

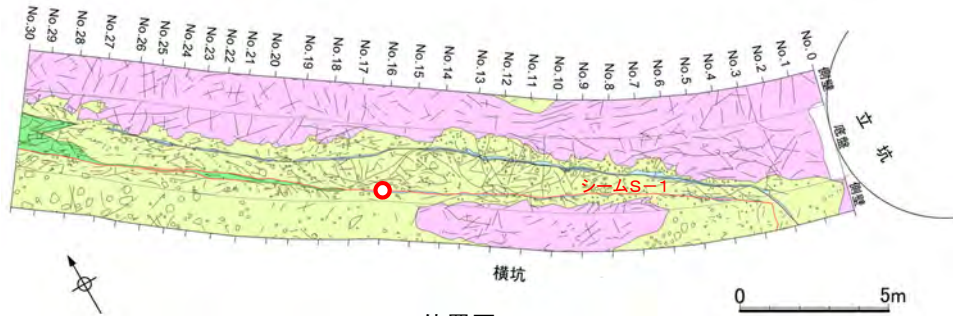


詳細観察写真

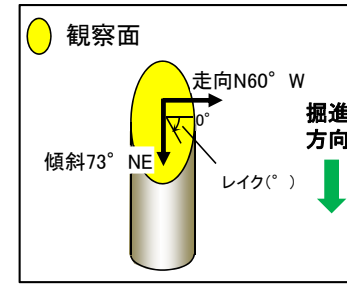
・条線のレイクは65° R(下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.16V(下盤側))

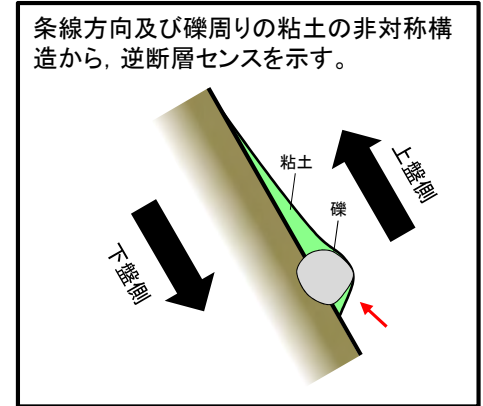


位置図



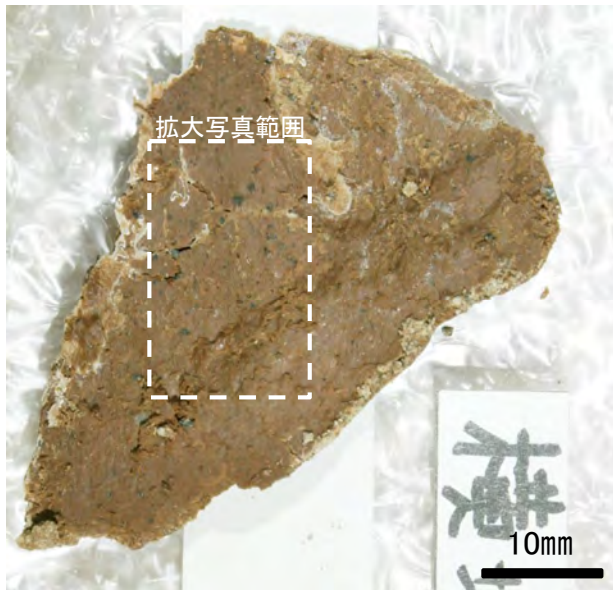
概念図

※走向は真北で示す。

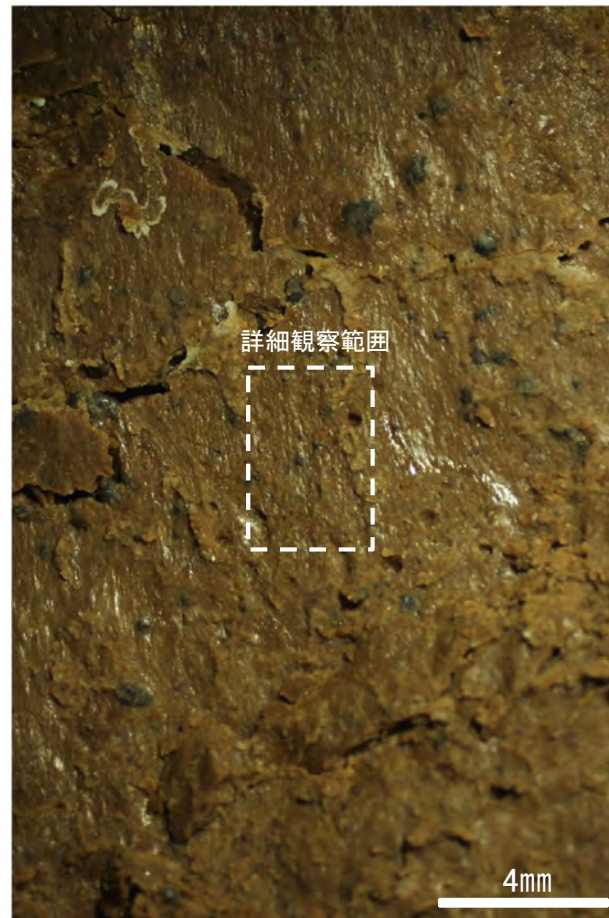


条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

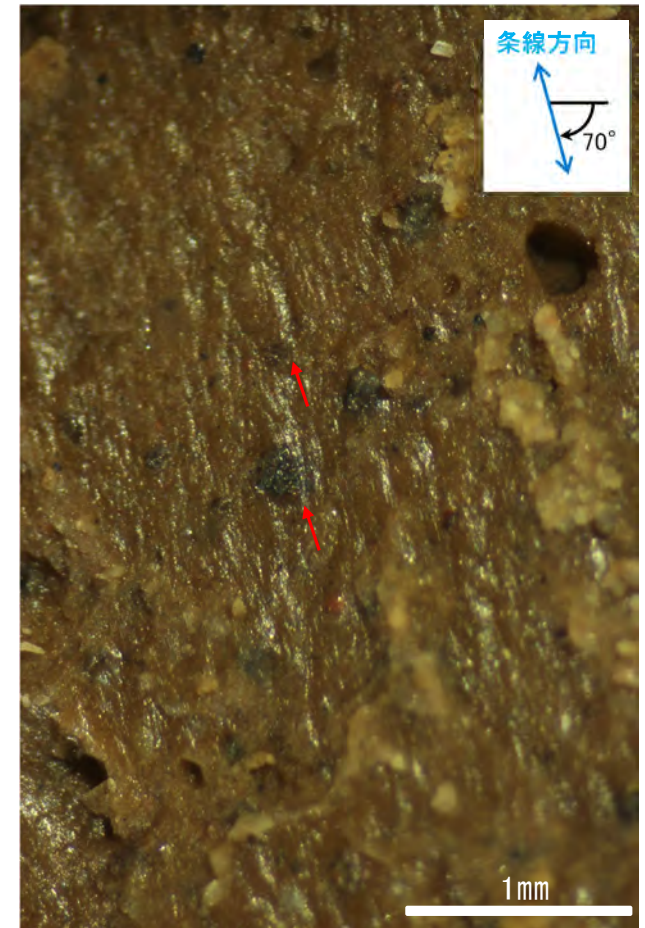
- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.16V)



観察面写真



観察面拡大写真

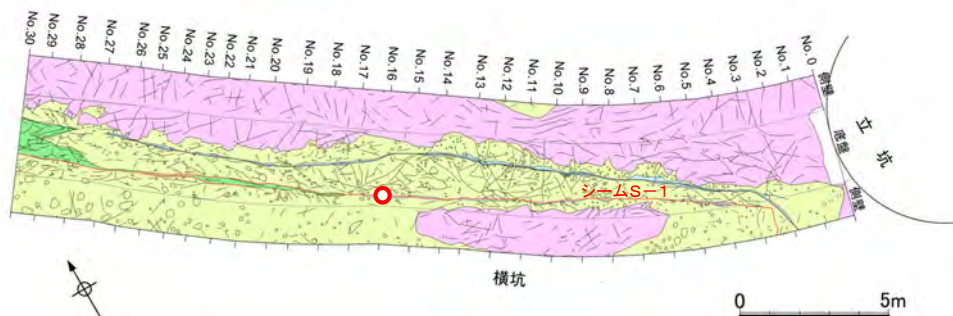


詳細観察写真

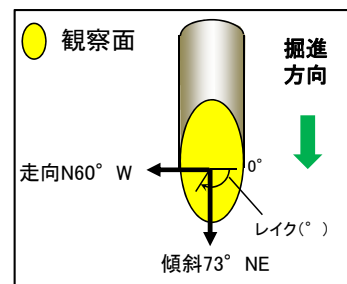
・条線のレイクは70° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.16V(上盤側))



位置図



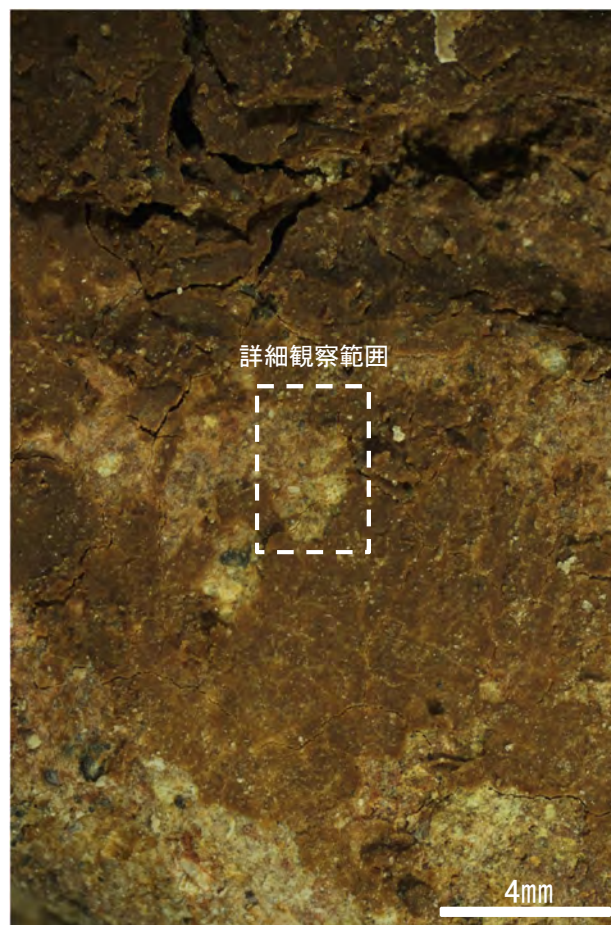
概念図

※走向は真北で示す。

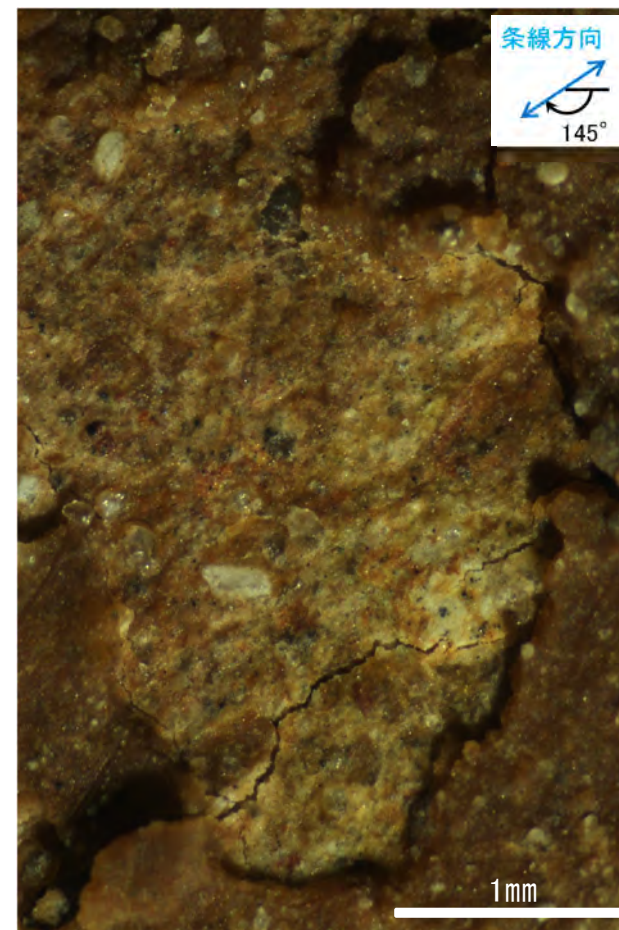
- 凡 例
- 穴水累層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.16V)



観察面写真



観察面拡大写真

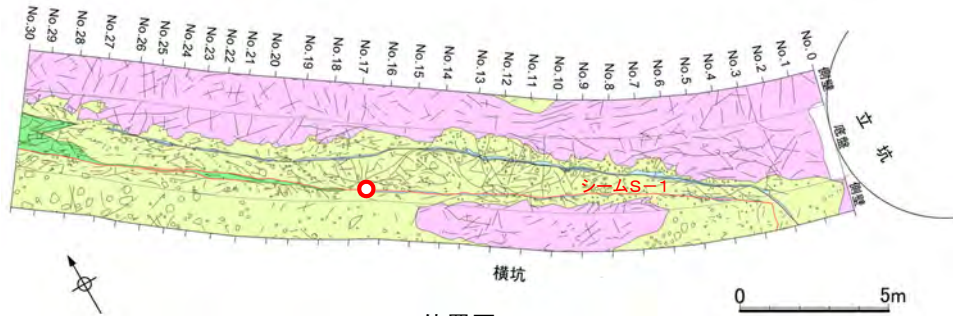


詳細観察写真

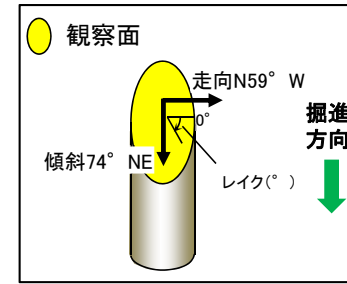
・条線のレイクは35° R(下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.17V(下盤側))

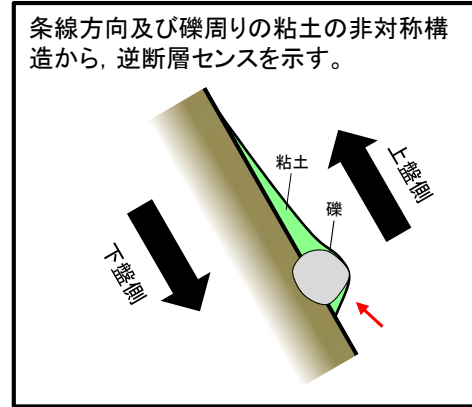


位置図



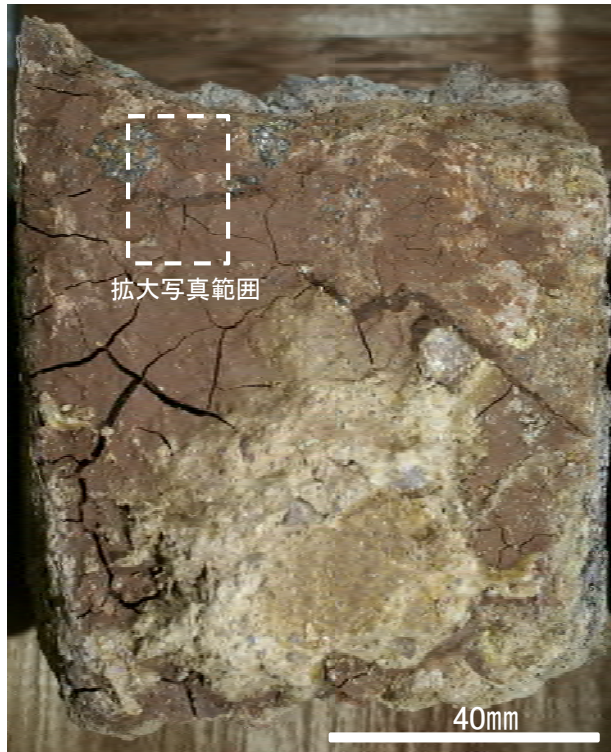
概念図

※走向は真北で示す。

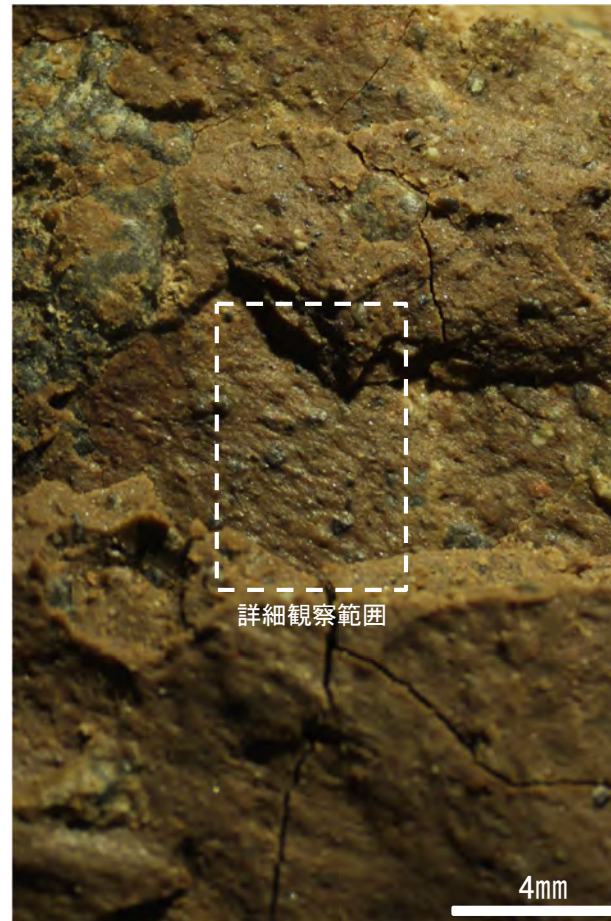


条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

- 凡例
- 穴水果層 安山岩(均質)
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 I
  - 帯状を呈する火山碎屑岩 II
  - 凝灰質な細粒部
  - ボーリング箇所 (No.17V)



観察面写真



観察面拡大写真

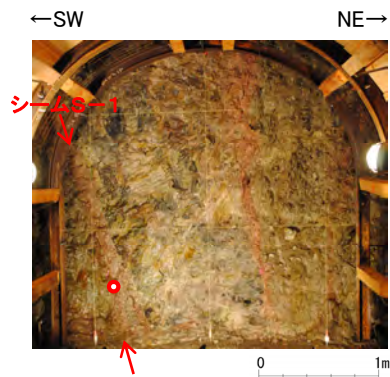


詳細観察写真

・条線のレイクは35° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

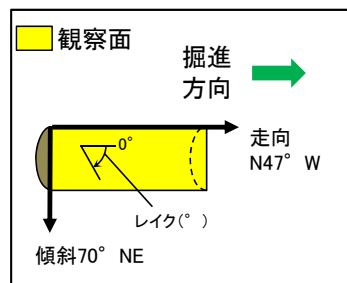


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.13-2(下盤側)①)

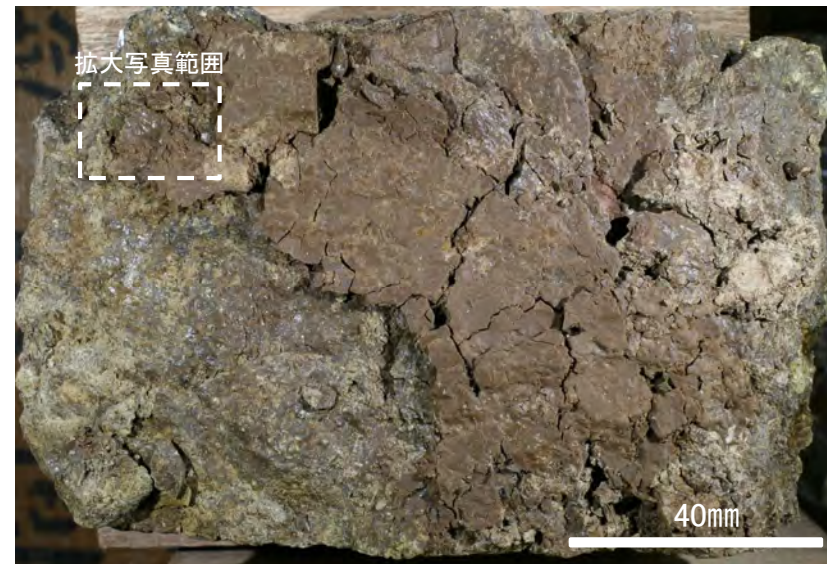


試料採取位置(No.13切羽)

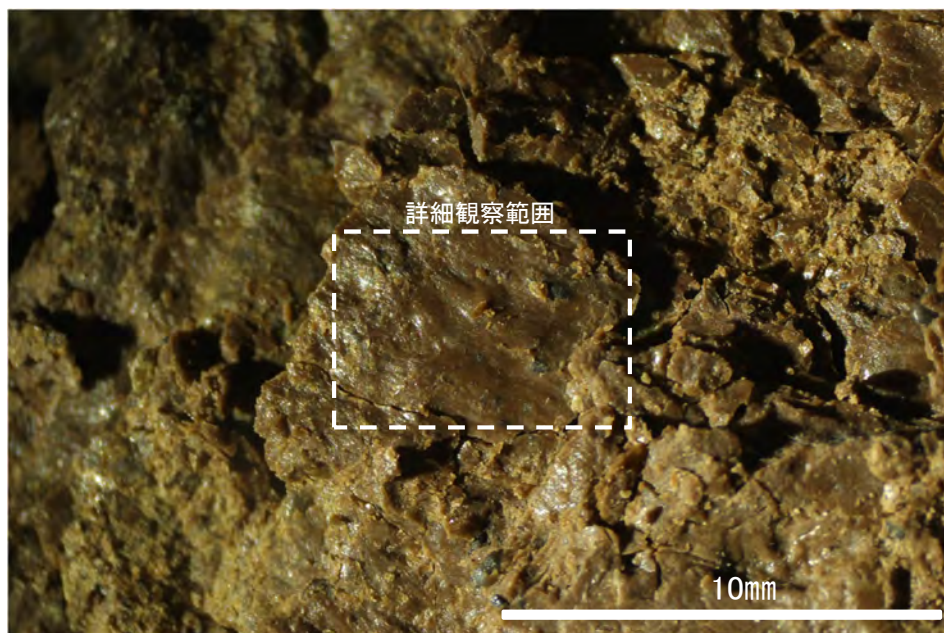
○ ボーリング箇所(No.13)



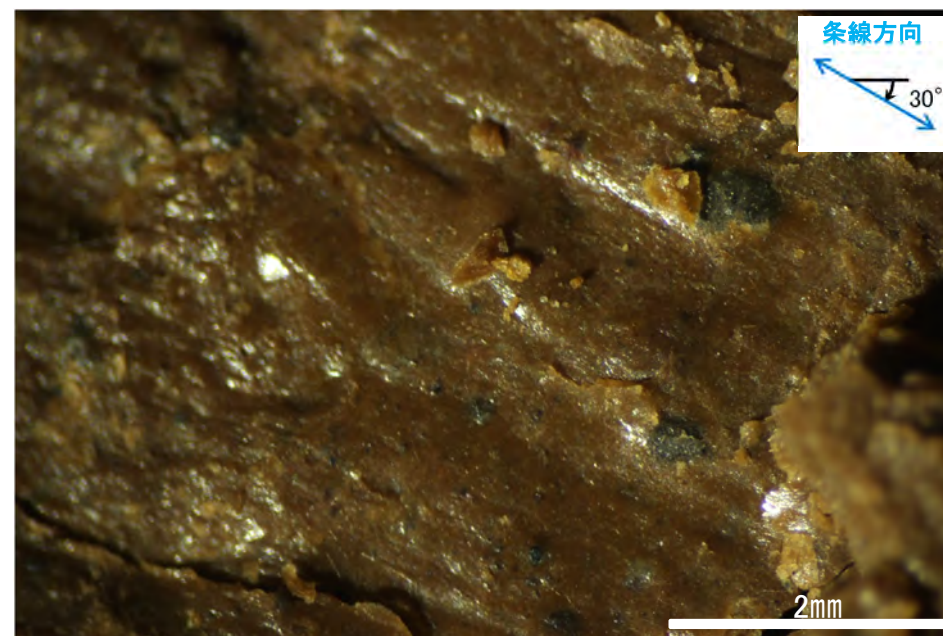
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

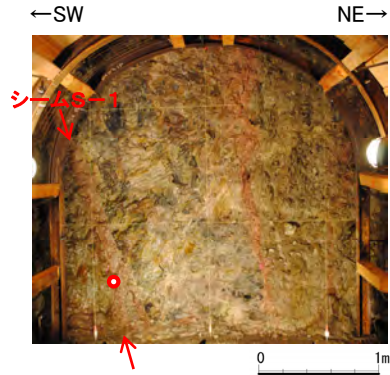


詳細観察写真

・条線のレイクは30° R, 変位センスは不明

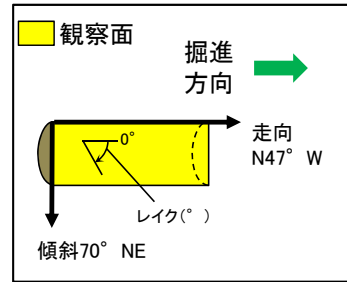


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.13-2(下盤側)②)

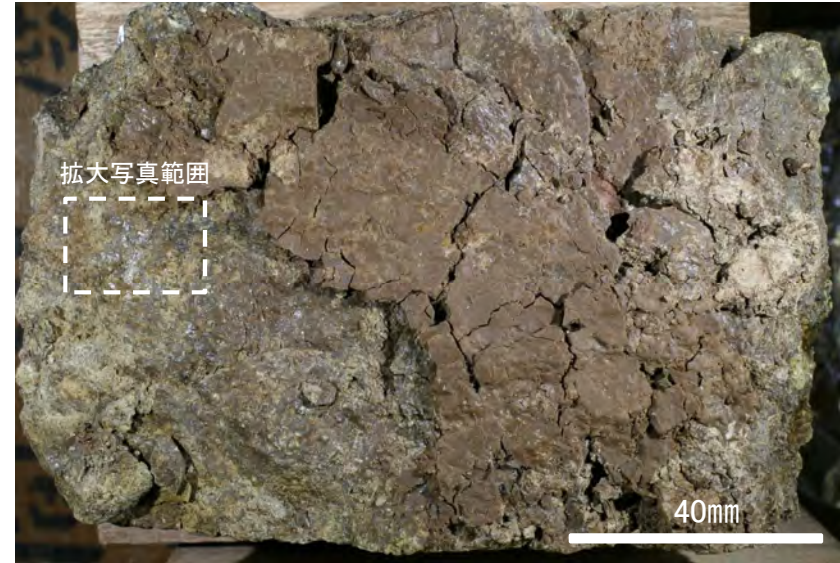


試料採取位置 (No.13切羽)

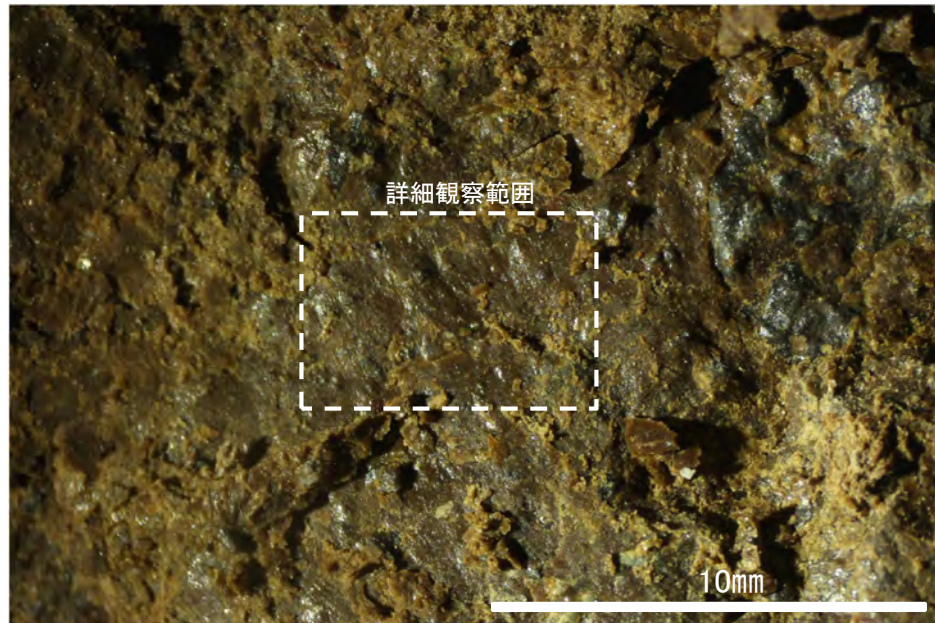
○ ボーリング箇所 (No.13)



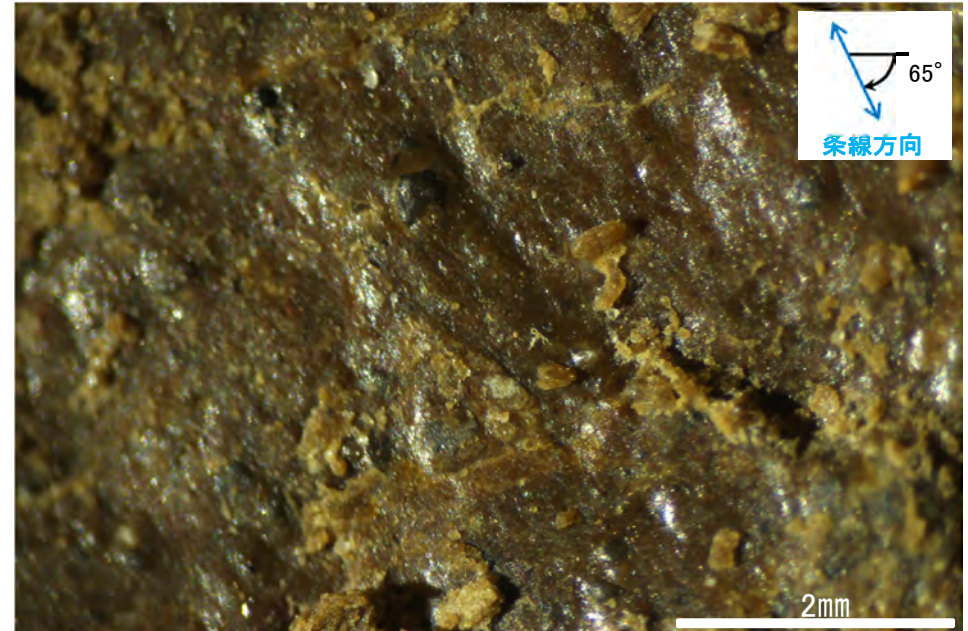
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

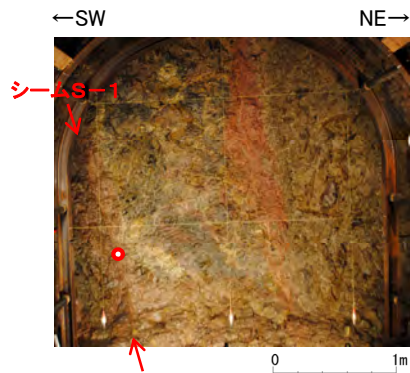


詳細観察写真

・条線のレイクは65° R, 変位センスは不明

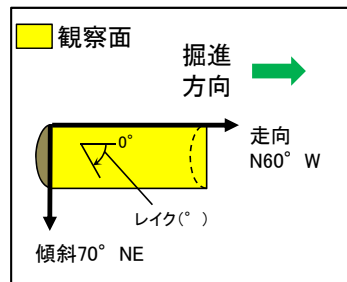


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.14(下盤側))

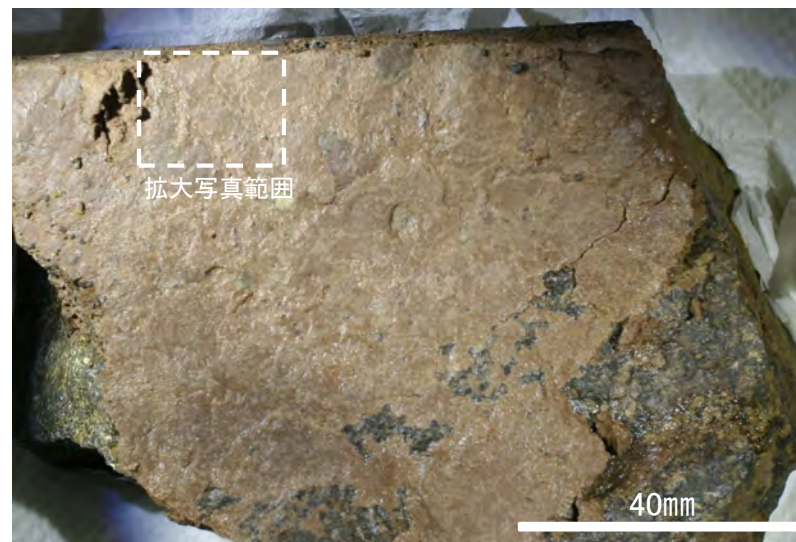


試料採取位置(No.14切羽)

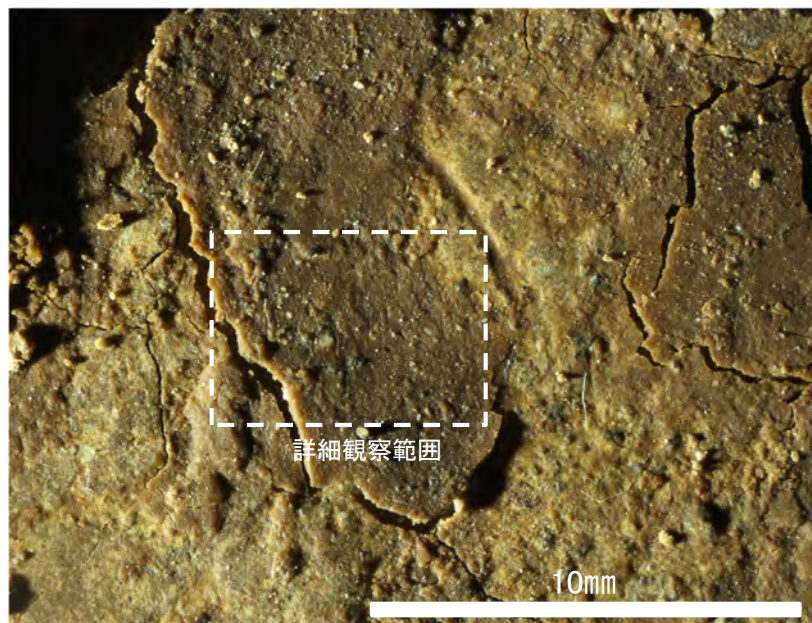
● ボーリング箇所(No.14)



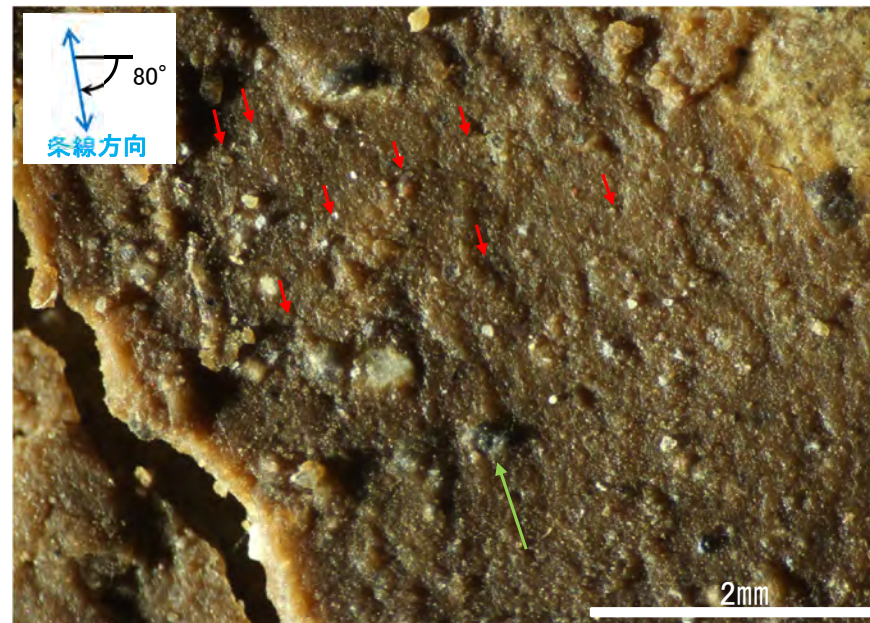
概念図



観察面写真

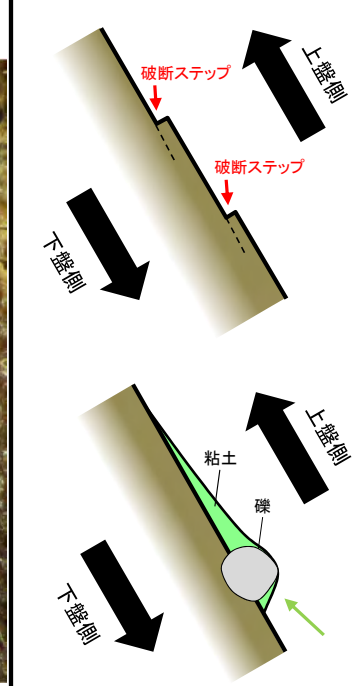


観察面拡大写真



詳細観察写真

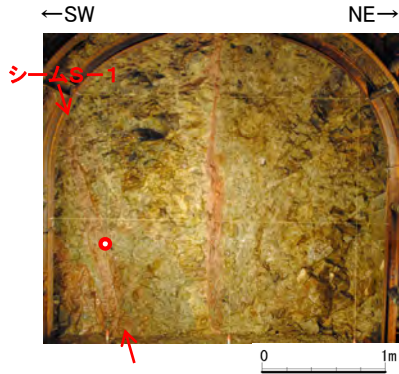
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造, 破断ステップの配列から, 逆断層センスを示す。



・条線のレイクは80° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

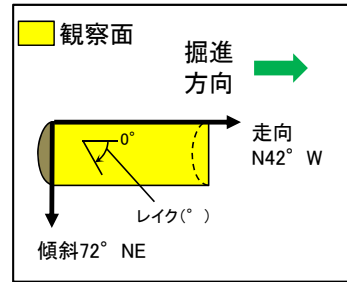


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.18-1(下盤側))

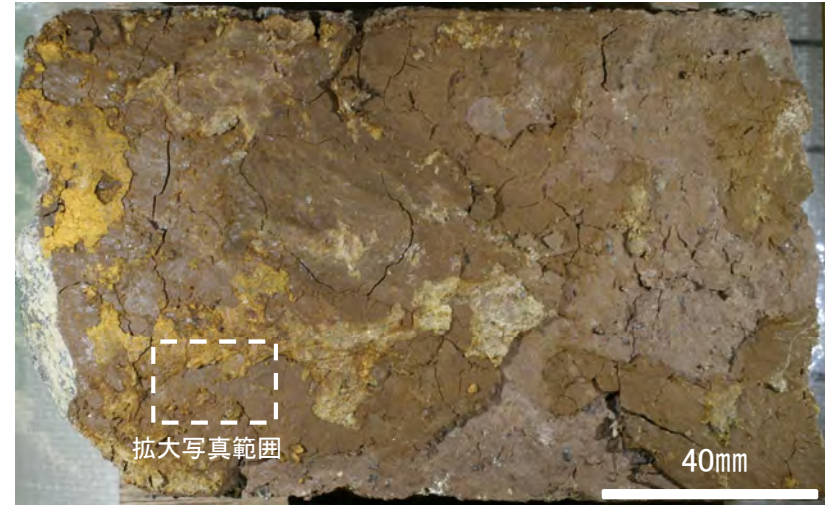


試料採取位置(No.18切羽)

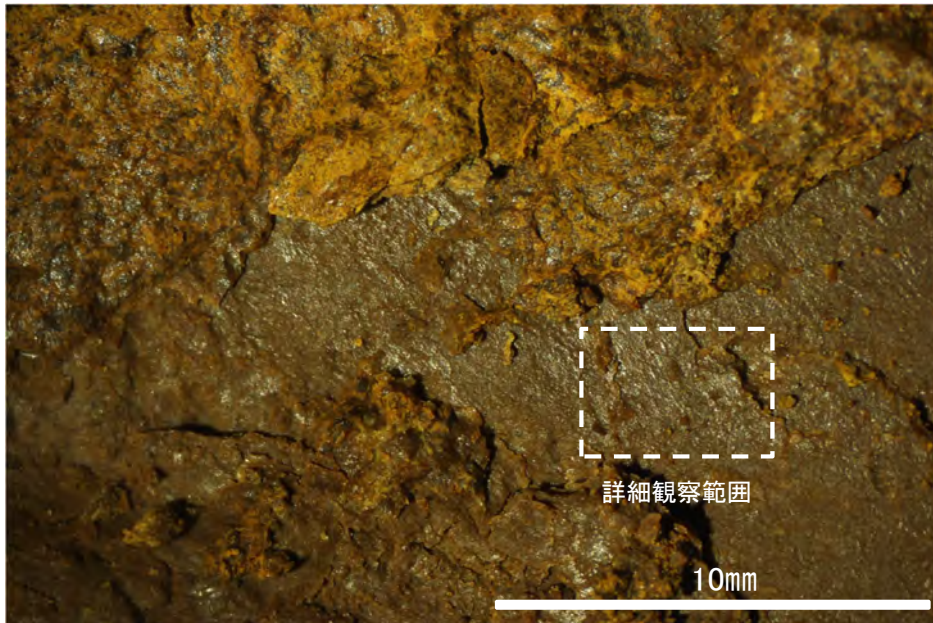
○ ボーリング箇所(No.18-1)



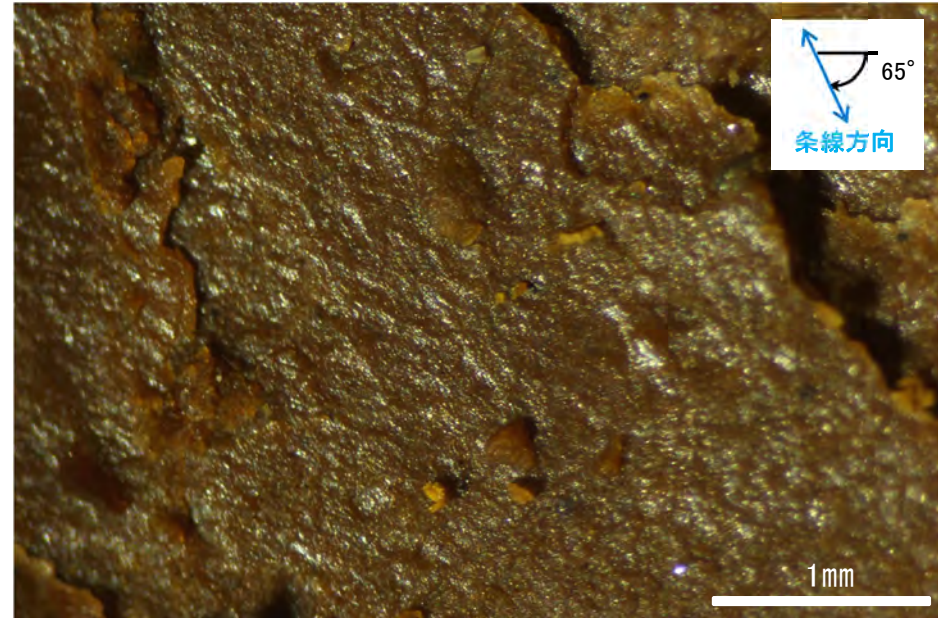
概念図



観察面写真



観察面拡大写真



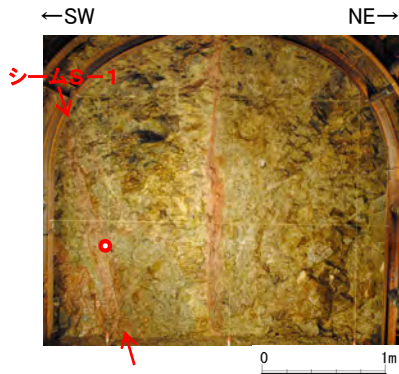
詳細観察写真

※低角度の条線は認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。

・条線のレイクは65° R, 変位センスは不明

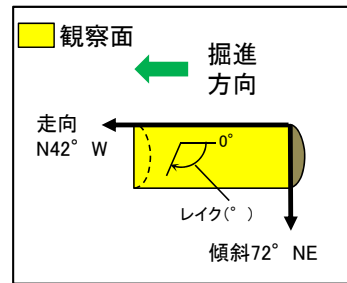


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.18-1(上盤側))

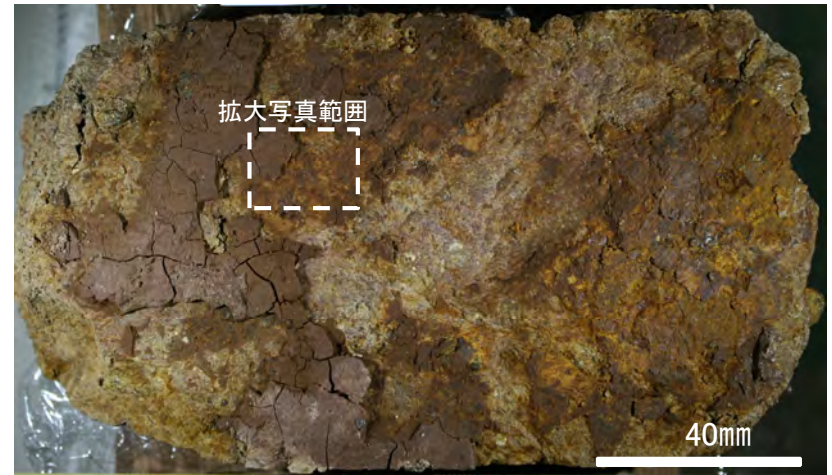


試料採取位置(No.18切羽)

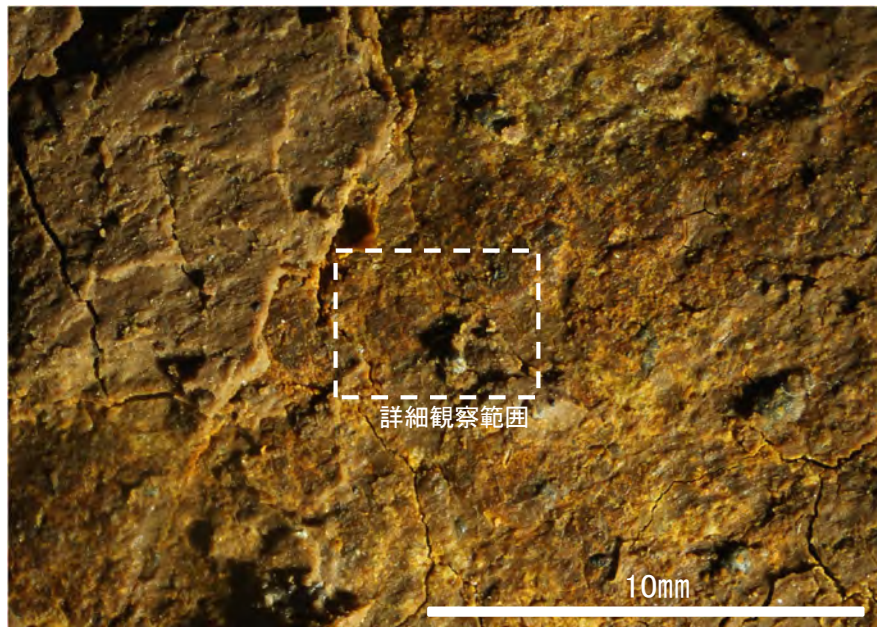
○ ボーリング箇所(No.18-1)



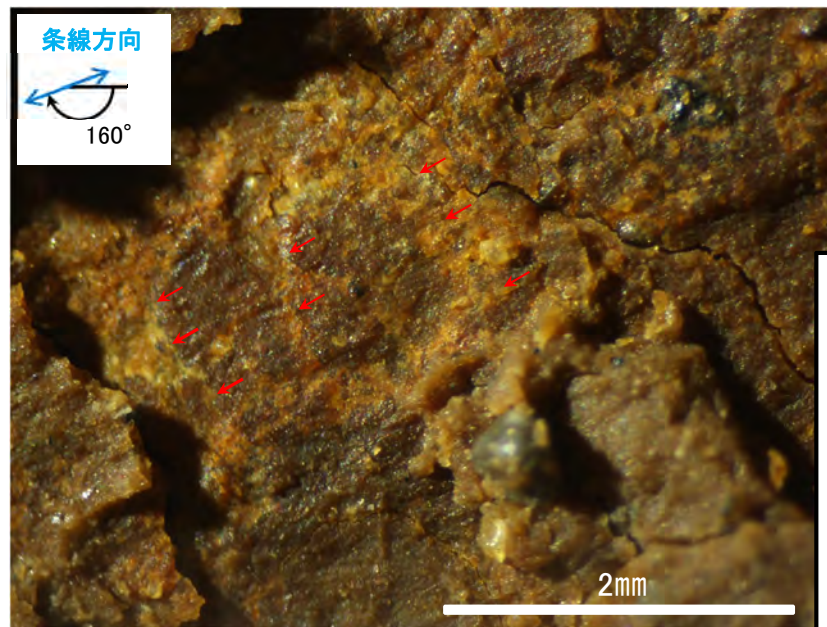
概念図



観察面写真

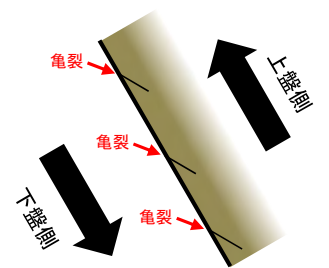


観察面拡大写真



詳細観察写真

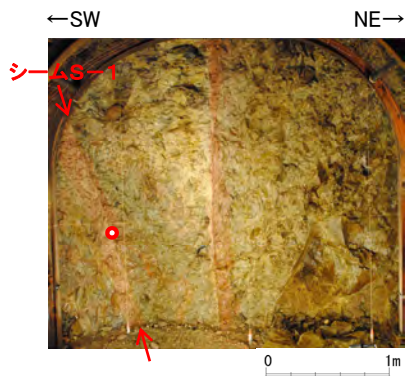
条線方向及びリーデルせん断から、逆断層センスを示す。



・条線のレイクは20° R(下盤側換算), 変位センスは右ずれ逆断層センス

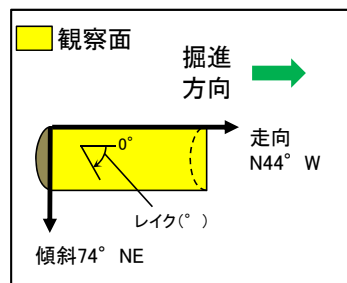


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.19(下盤側))

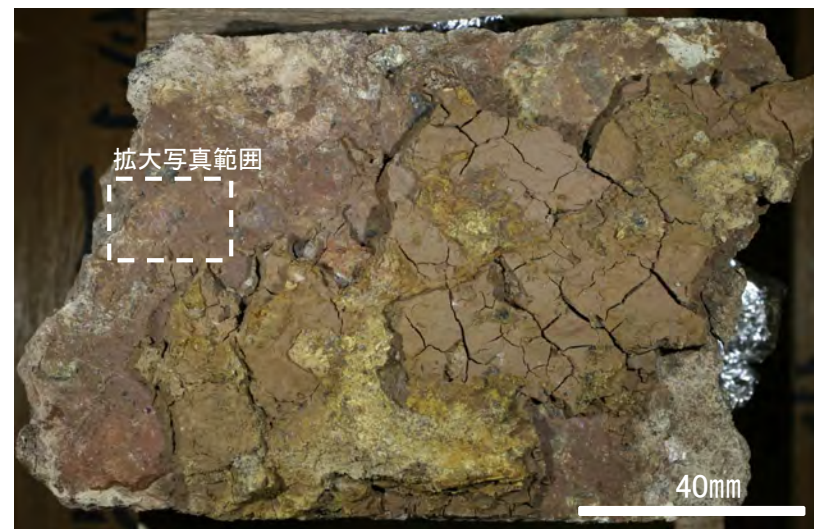


試料採取位置(No.19切羽)

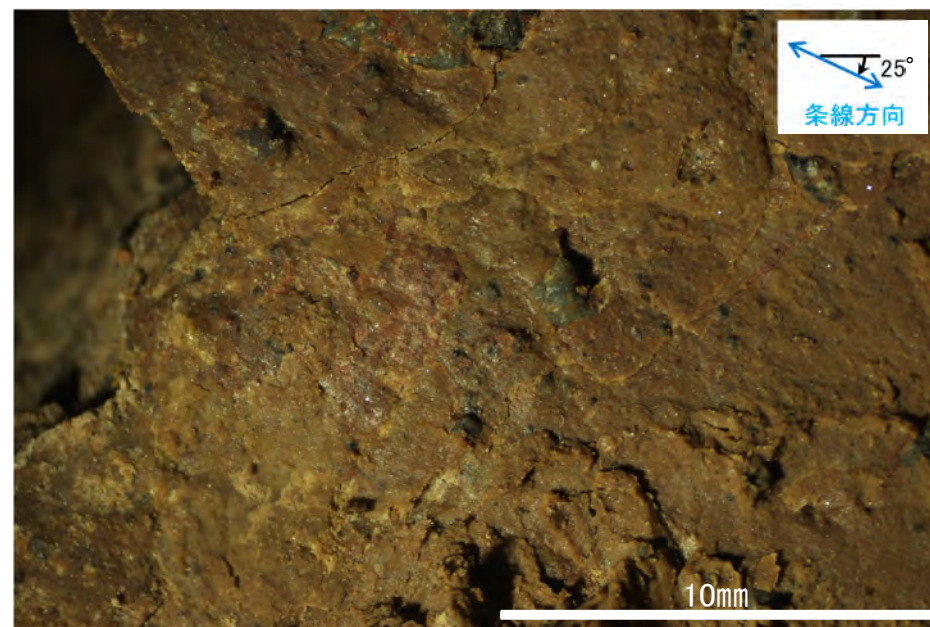
○ ボーリング箇所(No.19)



概念図



観察面写真

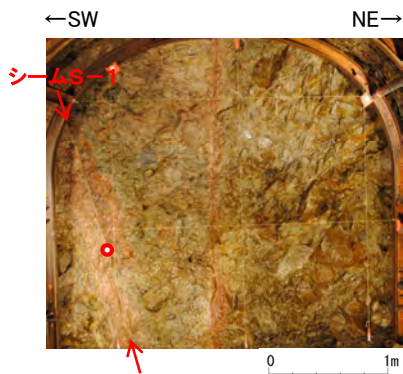


観察面拡大写真

・条線のレイクは25° R, 変位センスは不明

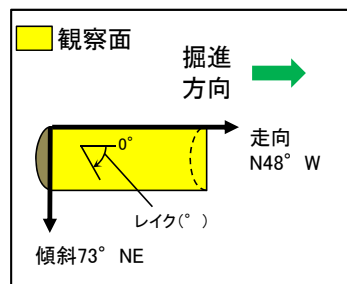


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(1)(下盤側))

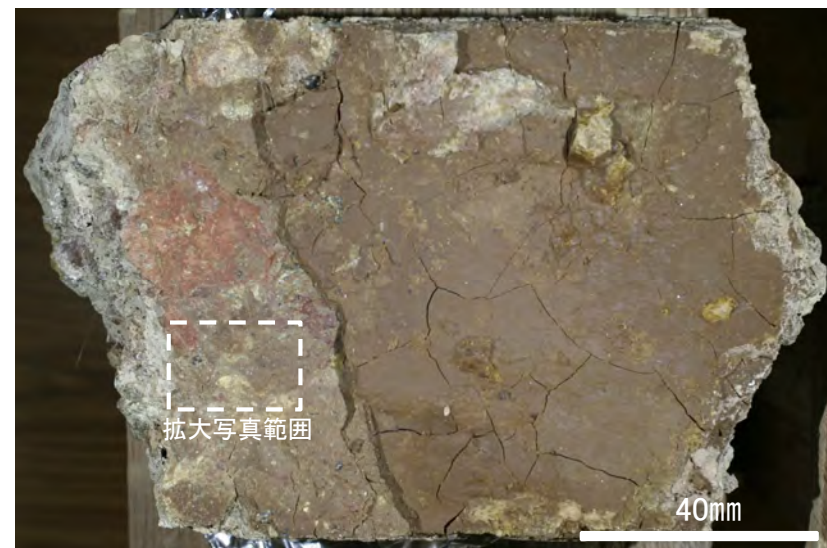


試料採取位置(No.20切羽)

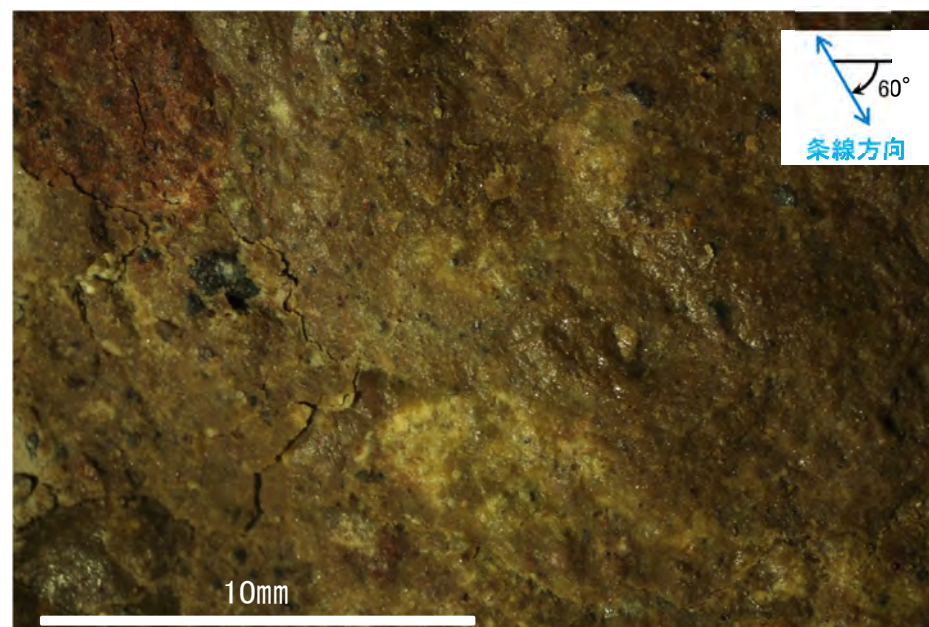
○ ボーリング箇所(No.20)



概念図



観察面写真

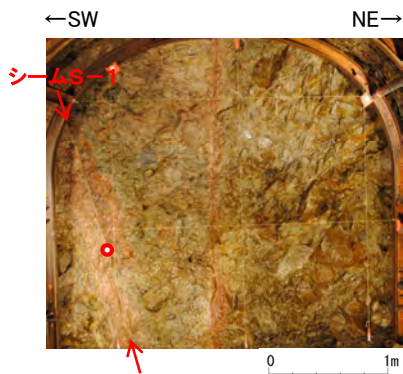


観察面拡大写真

・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

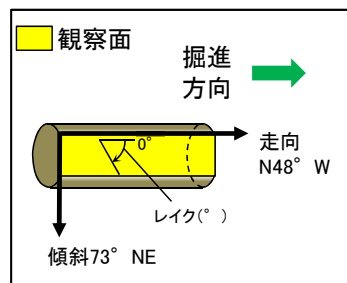


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(2)(下盤側)①)

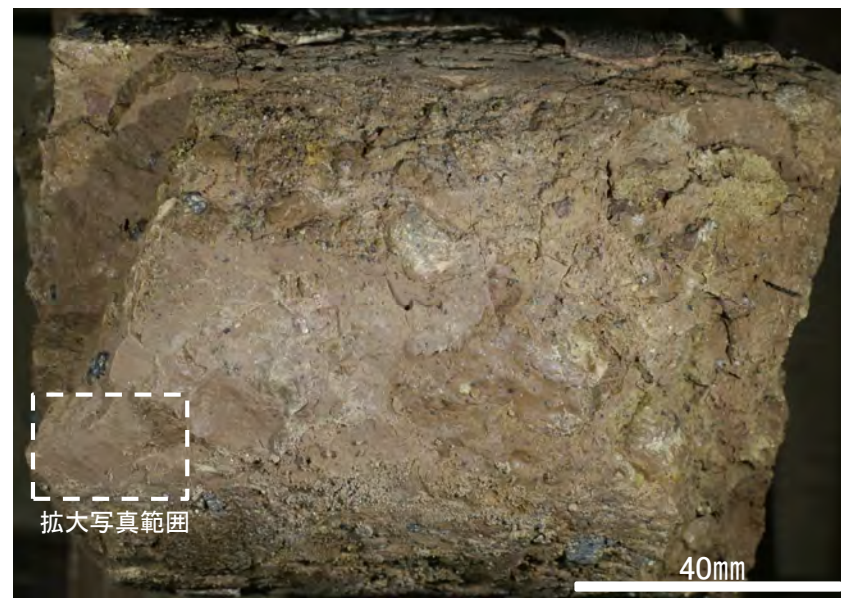


試料採取位置(No.20切羽)

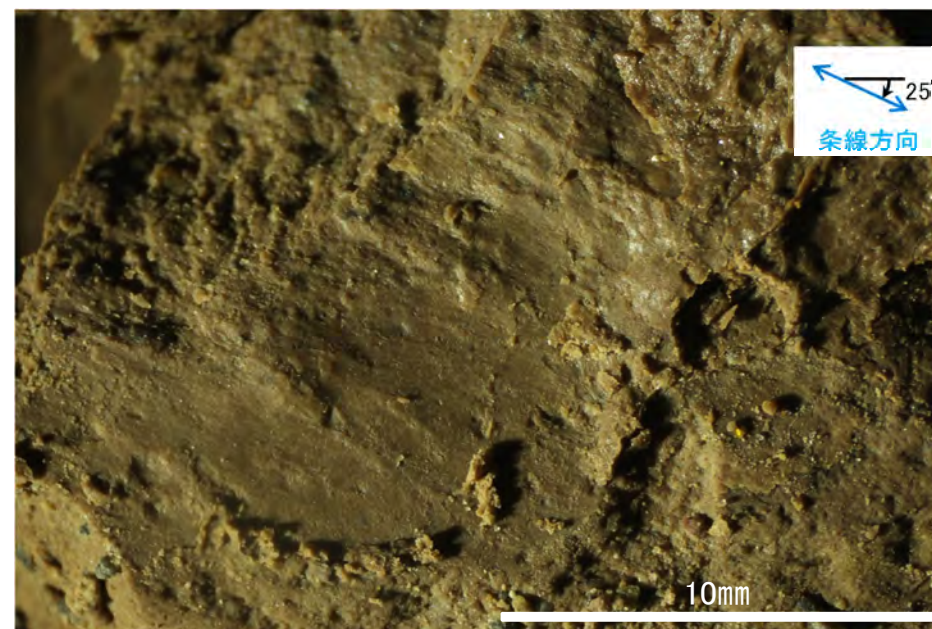
○ ボーリング箇所(No.20)



概念図



観察面写真

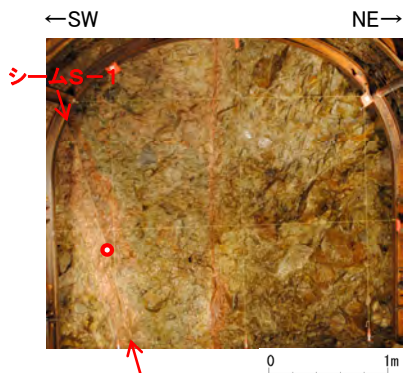


観察面拡大写真

・条線のレイクは25° R, 変位センスは不明

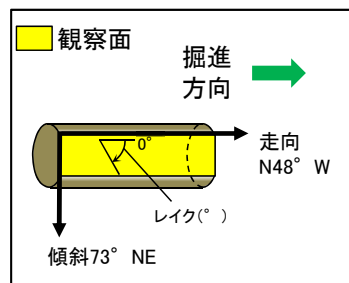


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(2)(下盤側)②)

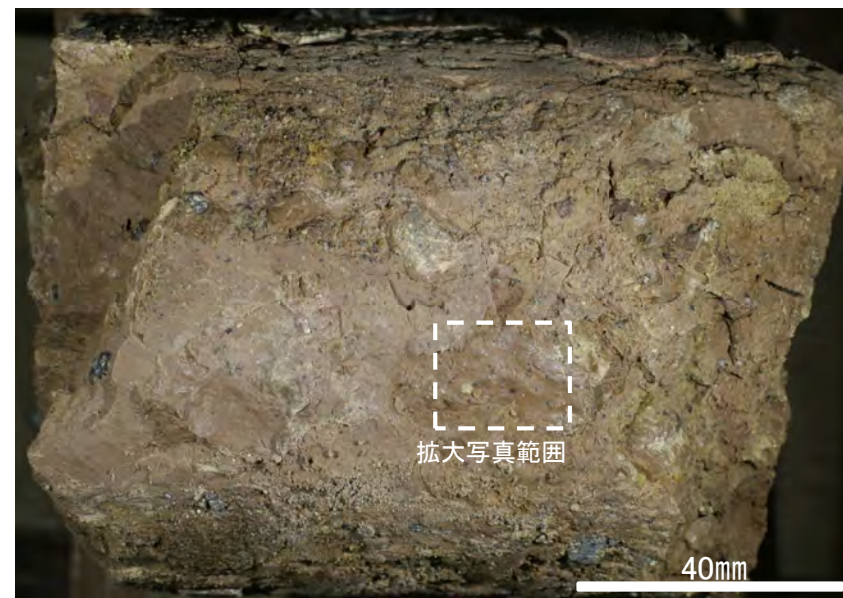


試料採取位置(No.20切羽)

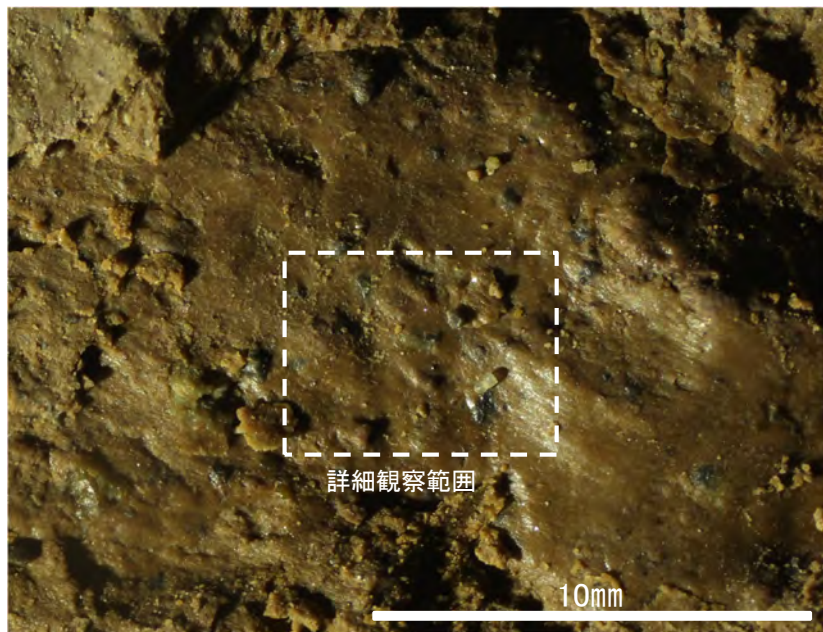
● ボーリング箇所(No.20)



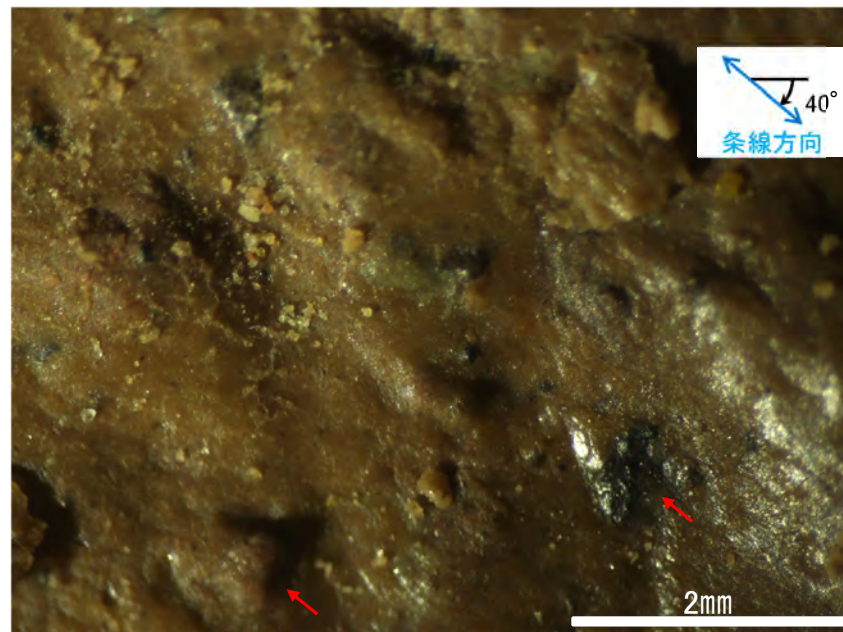
概念図



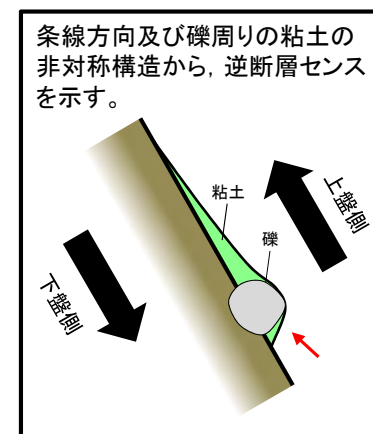
観察面写真



観察面拡大写真



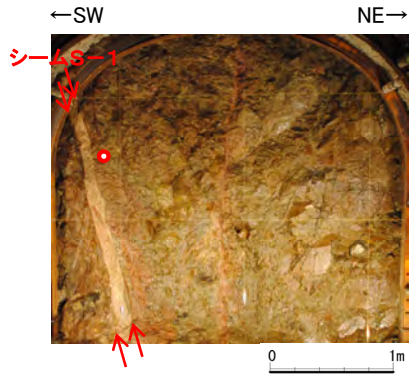
詳細観察写真



・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

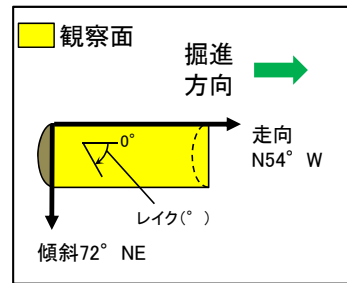


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.22-1(下盤側))

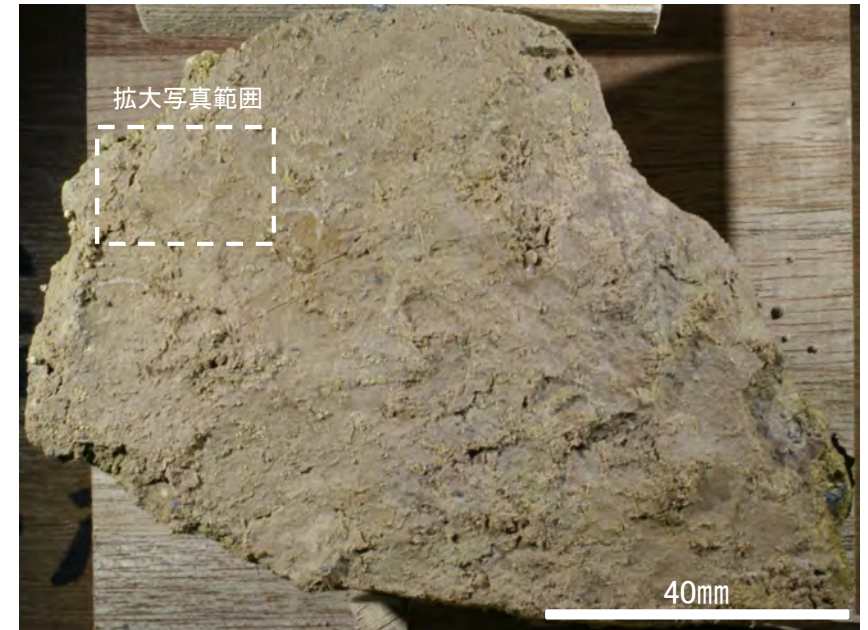


試料採取位置(No.22切羽)

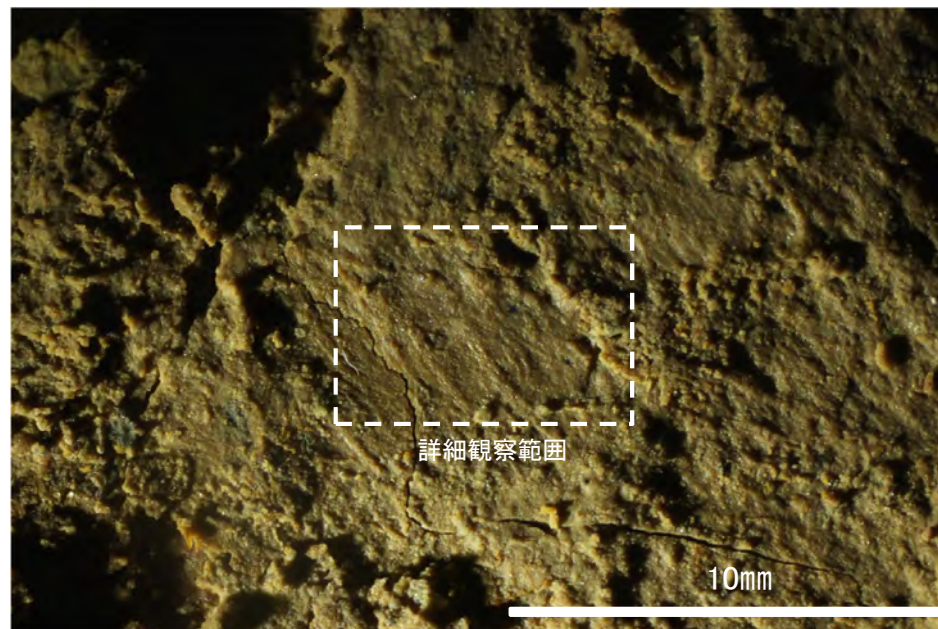
○ ボーリング箇所(No.22-1)



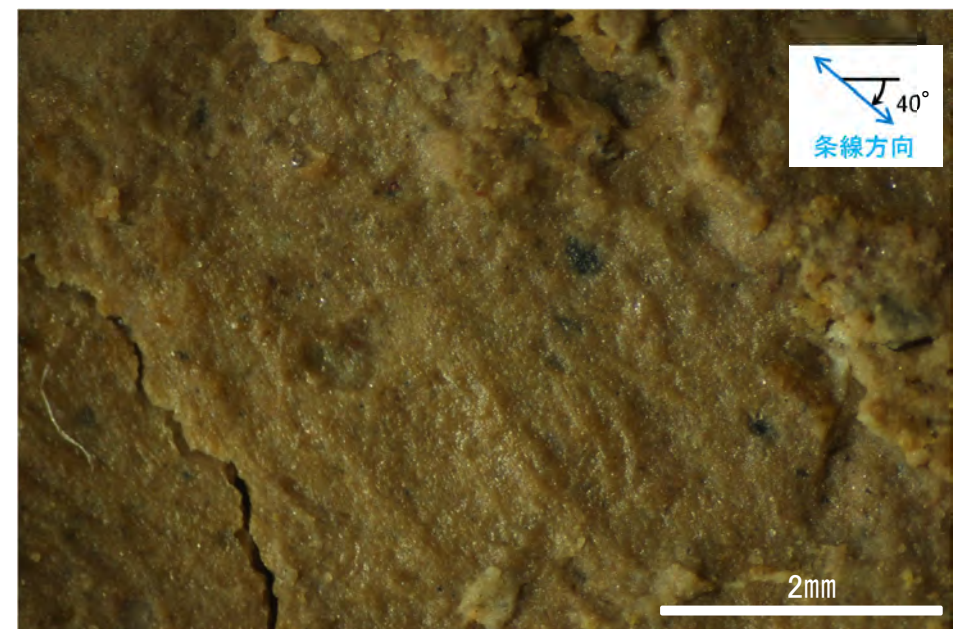
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

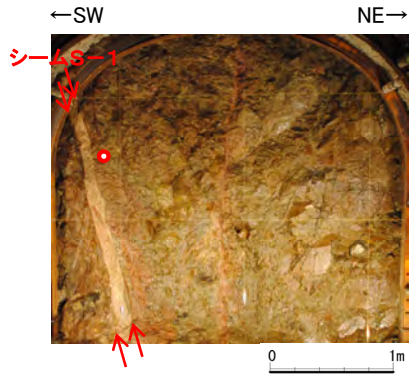


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

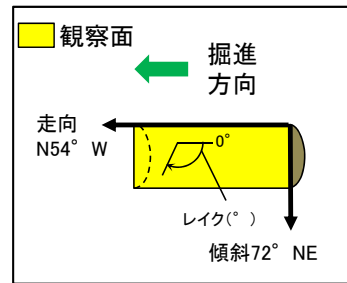


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.22-1(上盤側))

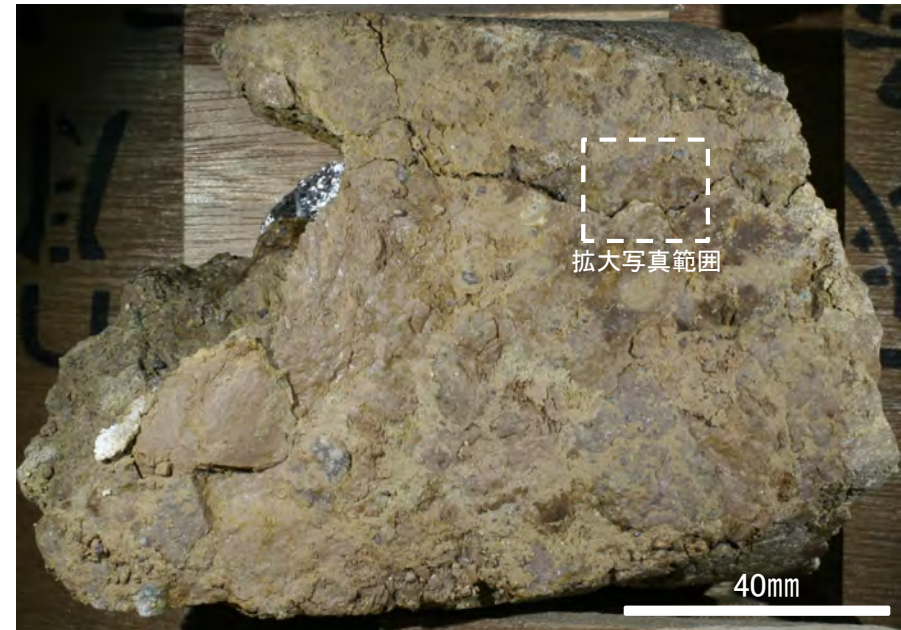


試料採取位置(No.22切羽)

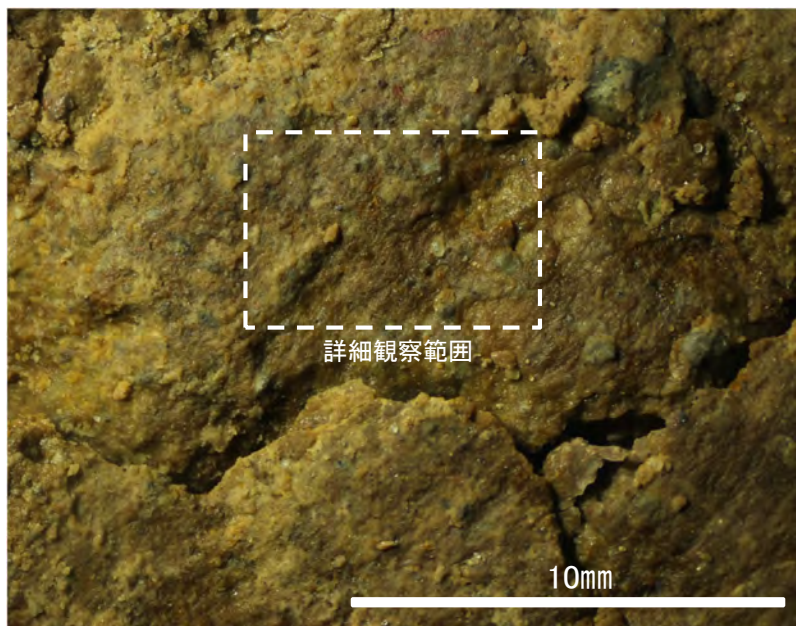
● ボーリング箇所(No.22-1)



概念図



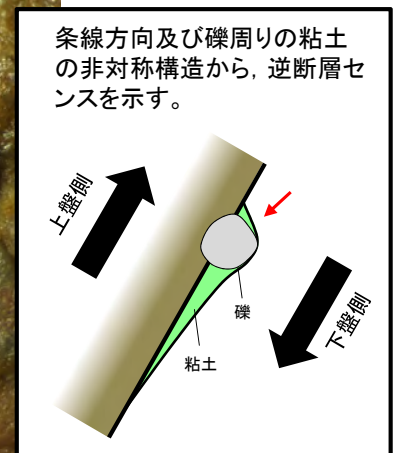
観察面写真



観察面拡大写真



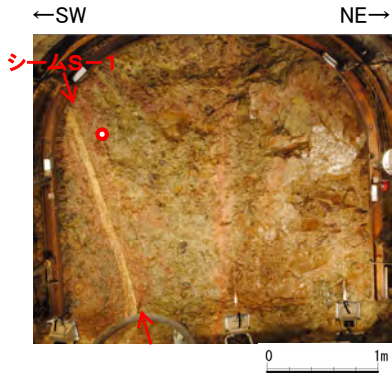
詳細観察写真



・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは右ずれ逆断層センス

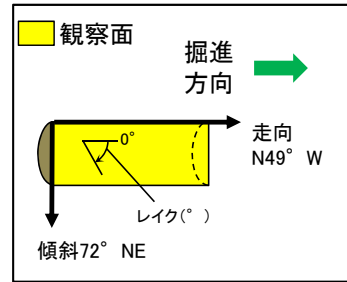


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.23-1(下盤側))

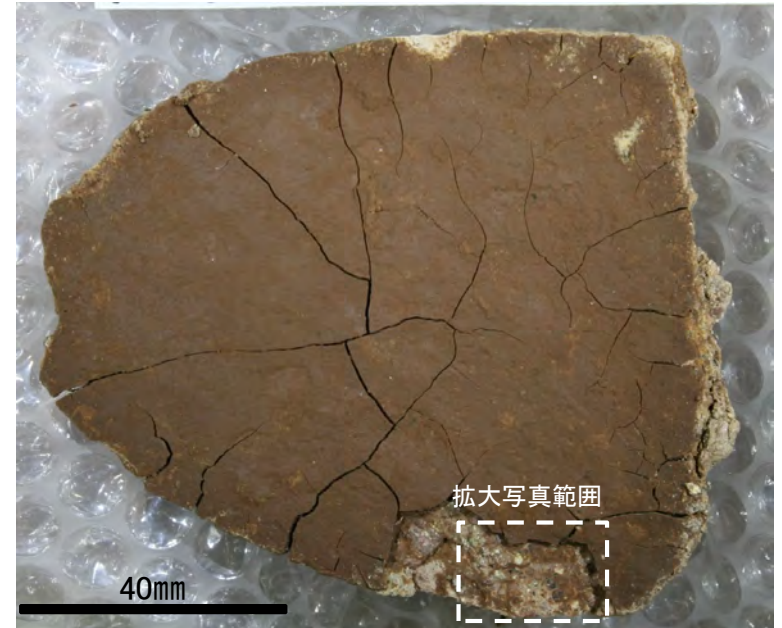


試料採取位置(No.23切羽)

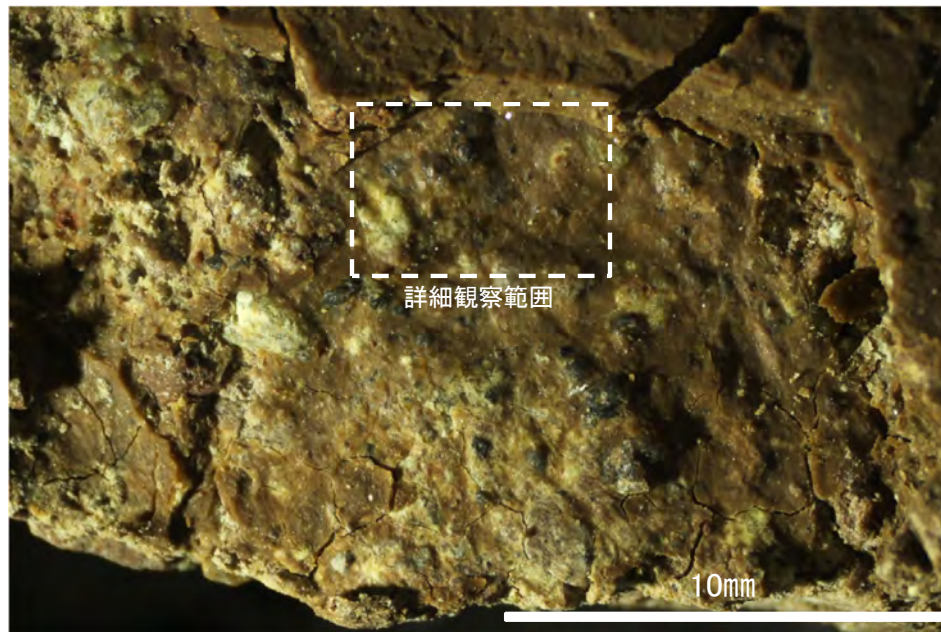
● ボーリング箇所(No.23-1)



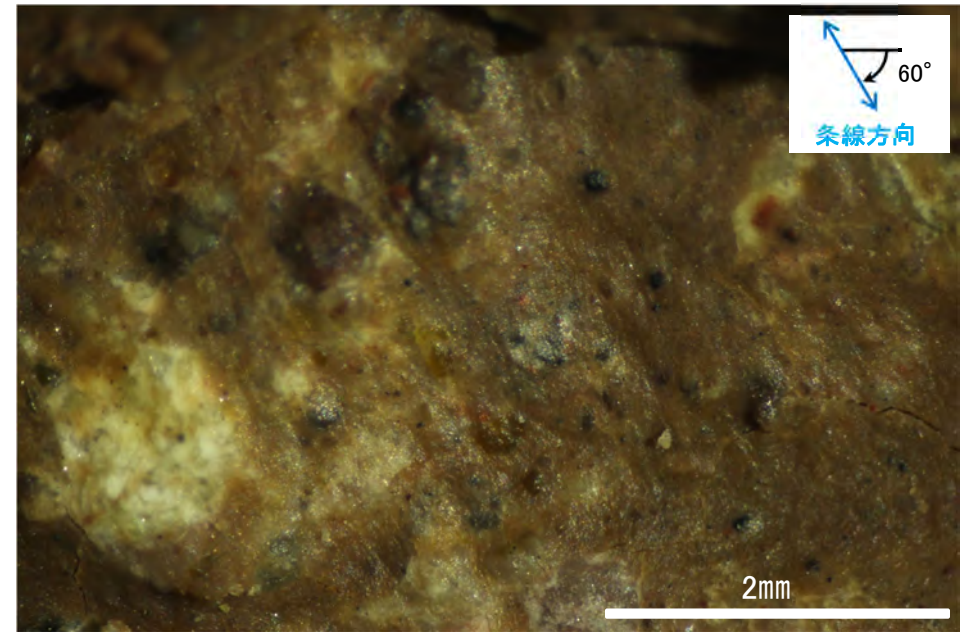
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

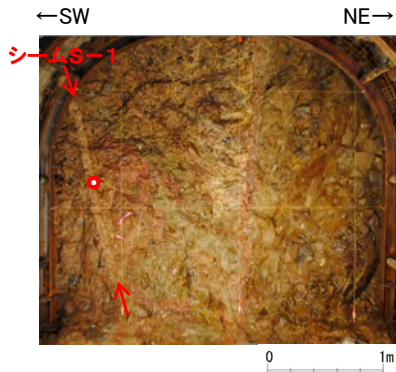


詳細観察写真

・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

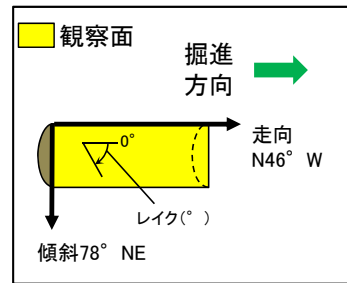


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-1(下盤側)①)

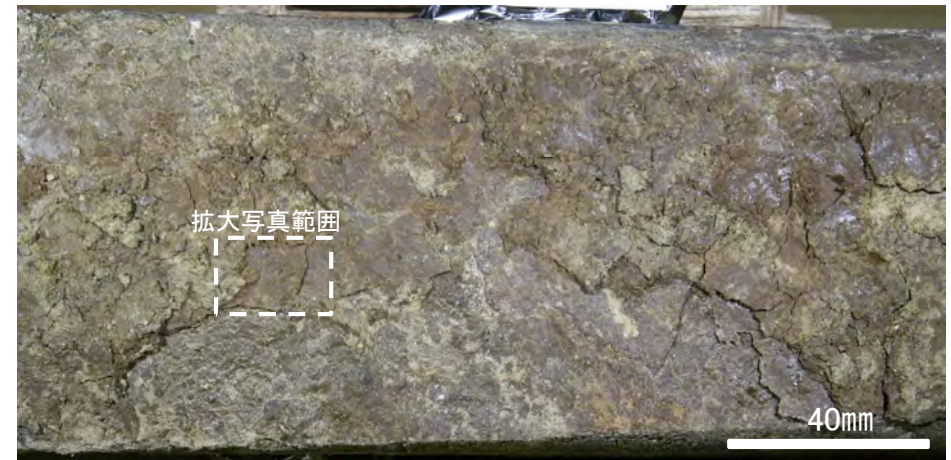


試料採取位置(No.25切羽)

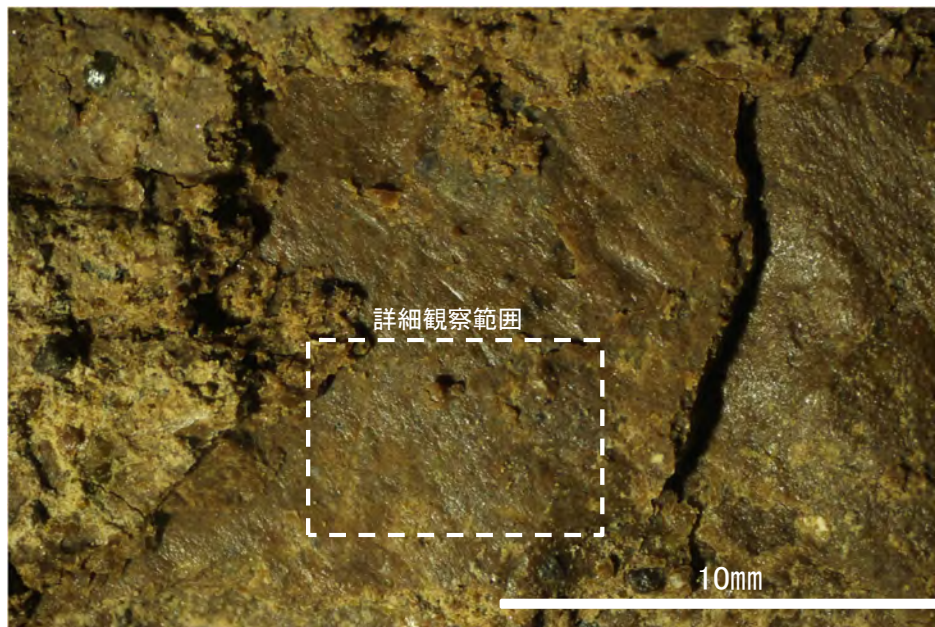
● ボーリング箇所(No.25-1)



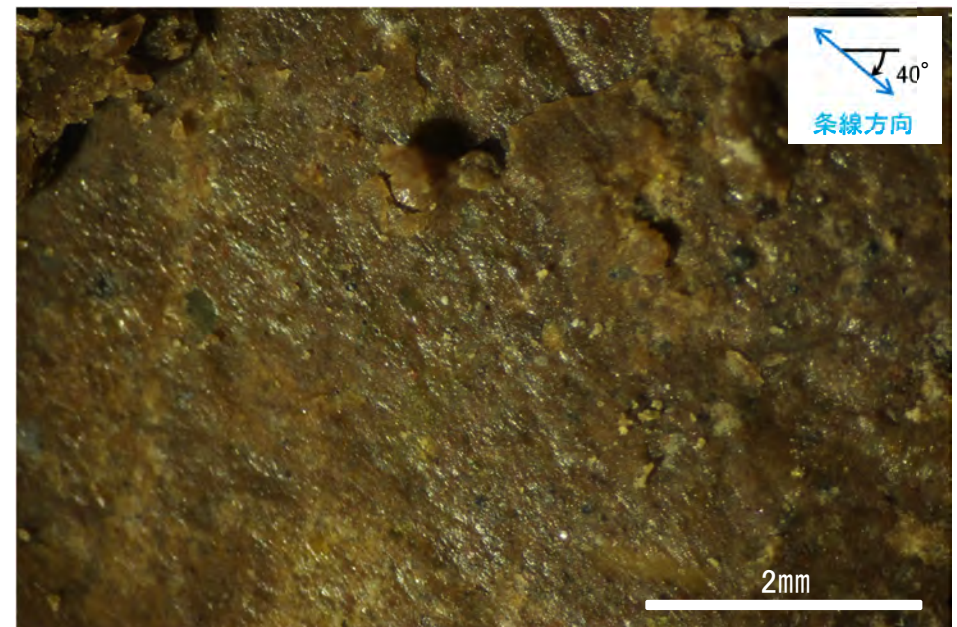
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

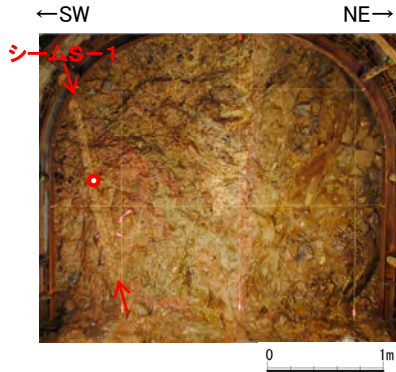


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

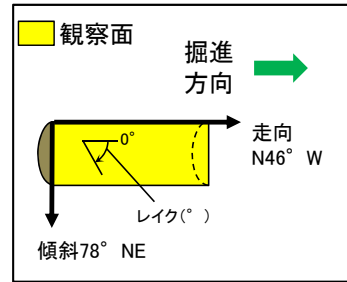


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-1(下盤側)②)

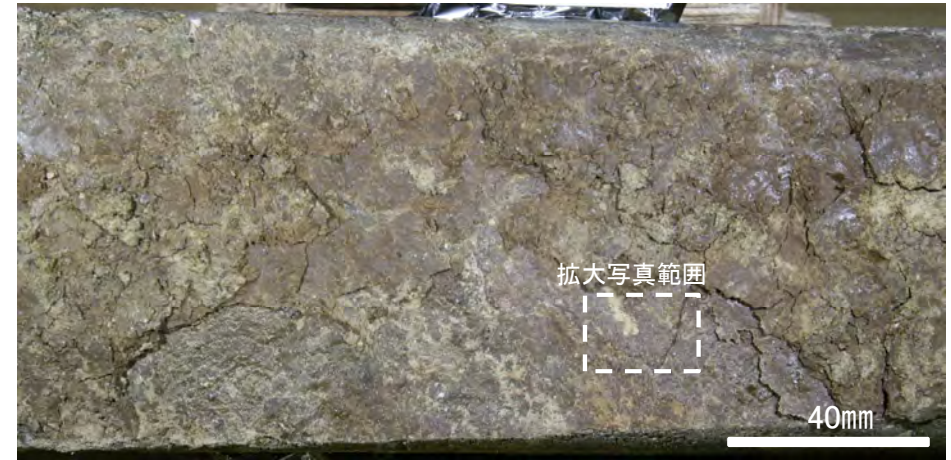


試料採取位置(No.25切羽)

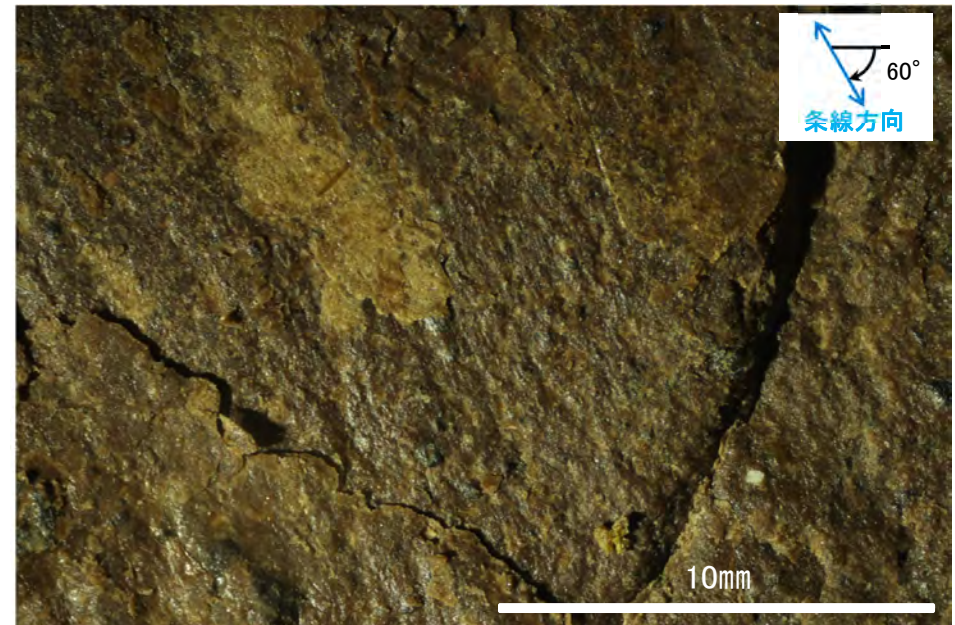
○ ボーリング箇所(No.25-1)



概念図



観察面写真

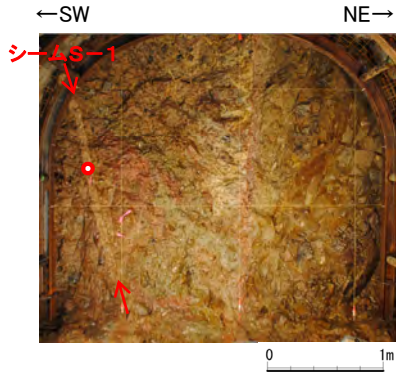


観察面拡大写真

・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

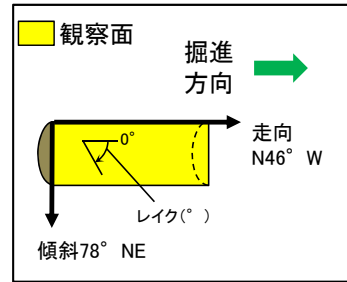


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-2(下盤側))

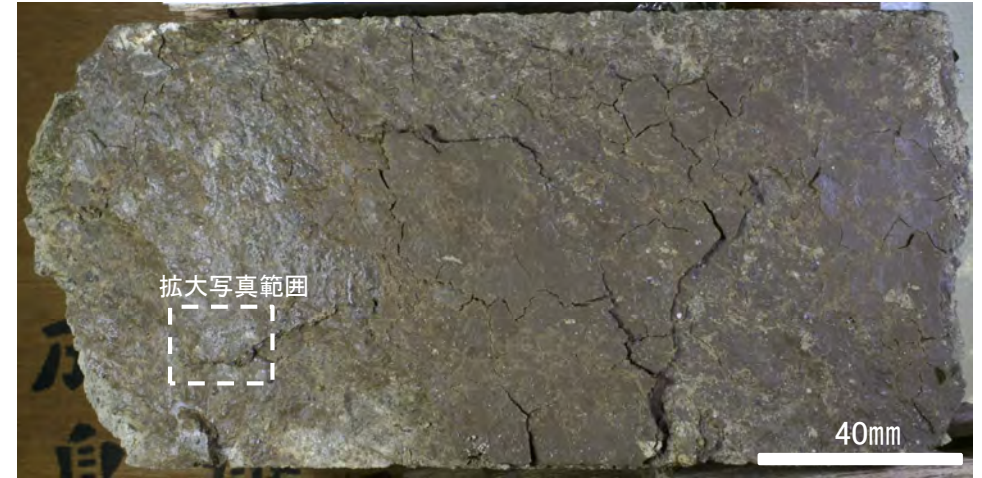


試料採取位置(No.25切羽)

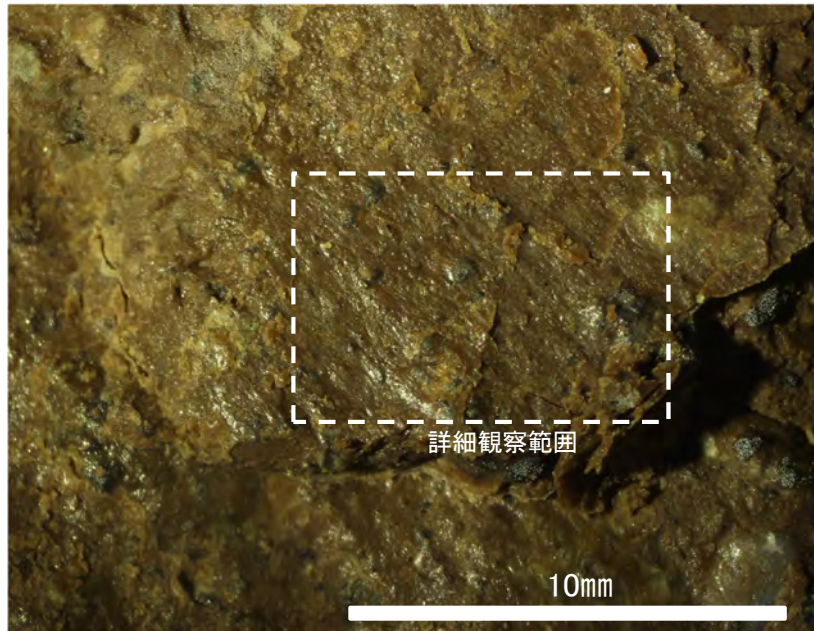
○ ボーリング箇所(No.25-2)



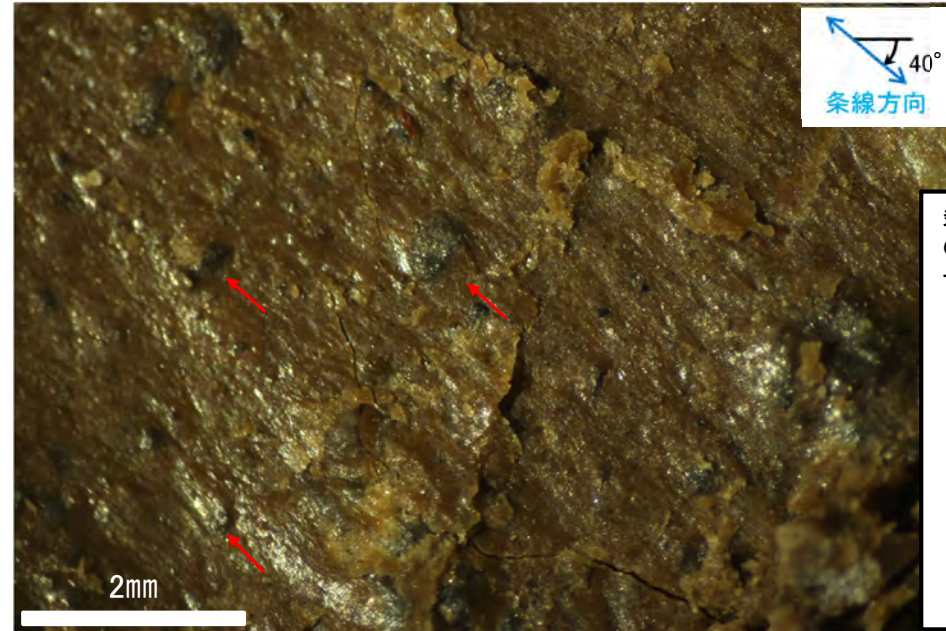
概念図



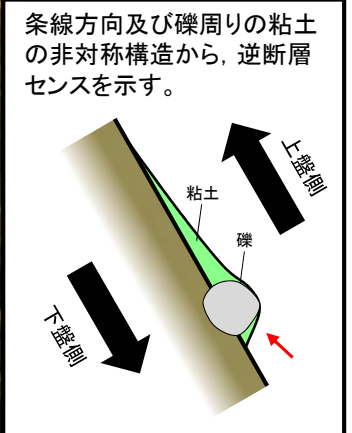
観察面写真



観察面拡大写真



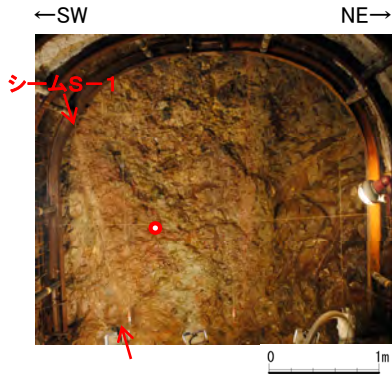
詳細観察写真



・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

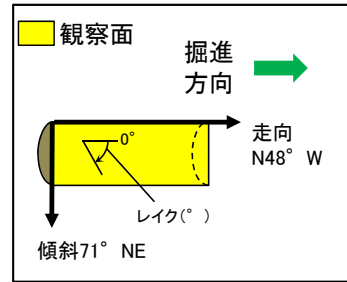


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.26-1(下盤側)①)

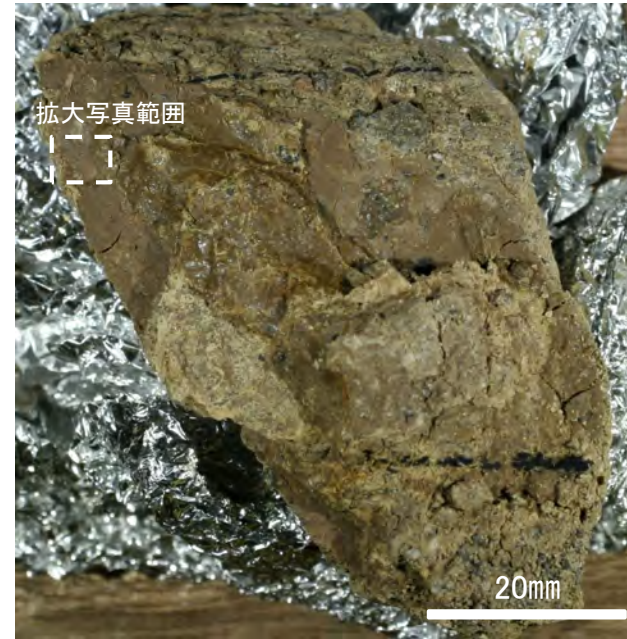


試料採取位置(No.26切羽)

○ ボーリング箇所(No.26-1)

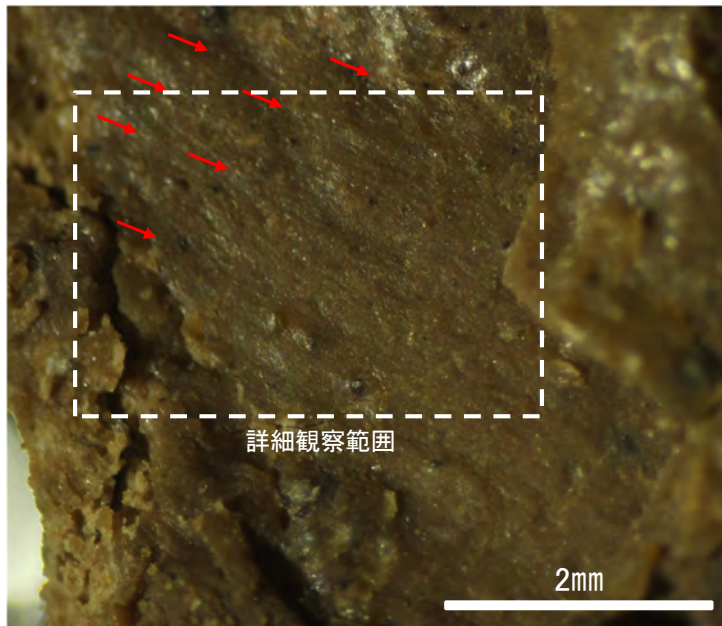
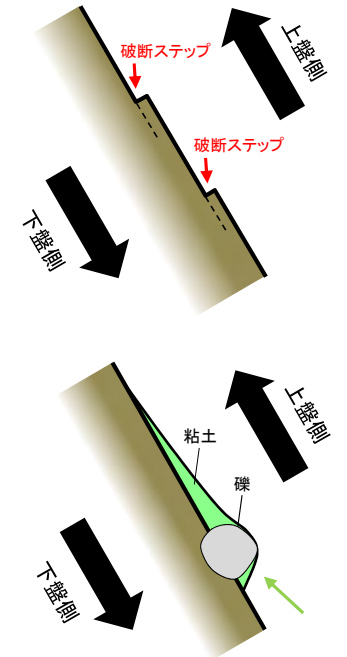


概念図

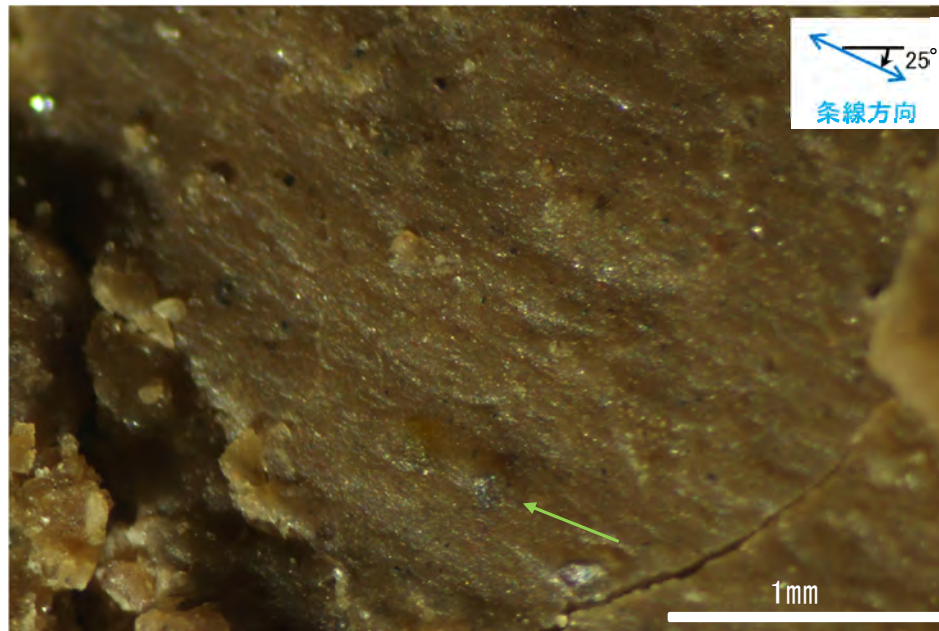


観察面写真

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造、破断ステップの配列から、逆断層センスを示す。



観察面拡大写真

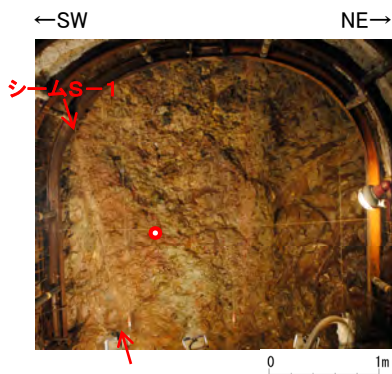


詳細観察写真

・条線のレイクは25° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

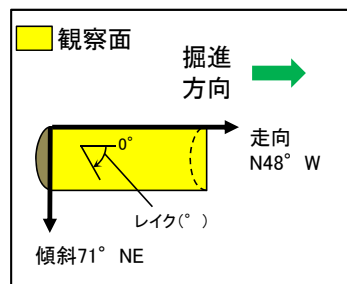


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.26-1(下盤側)②)

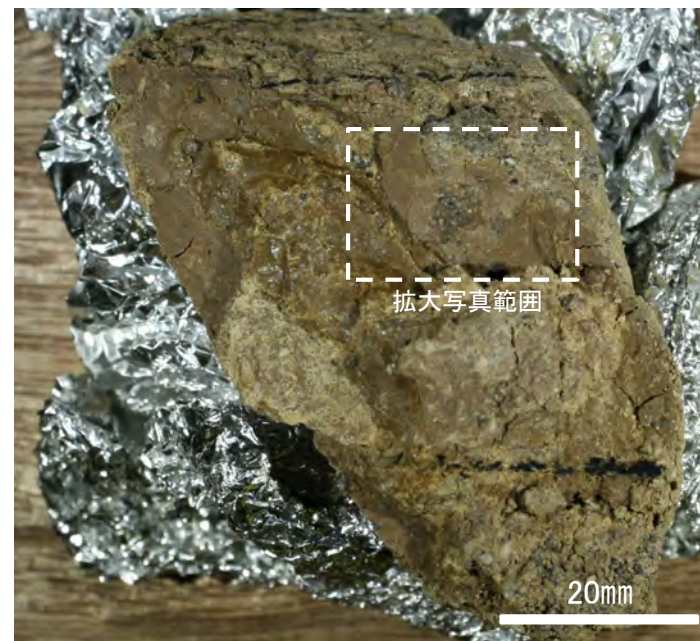


試料採取位置(No.26切羽)

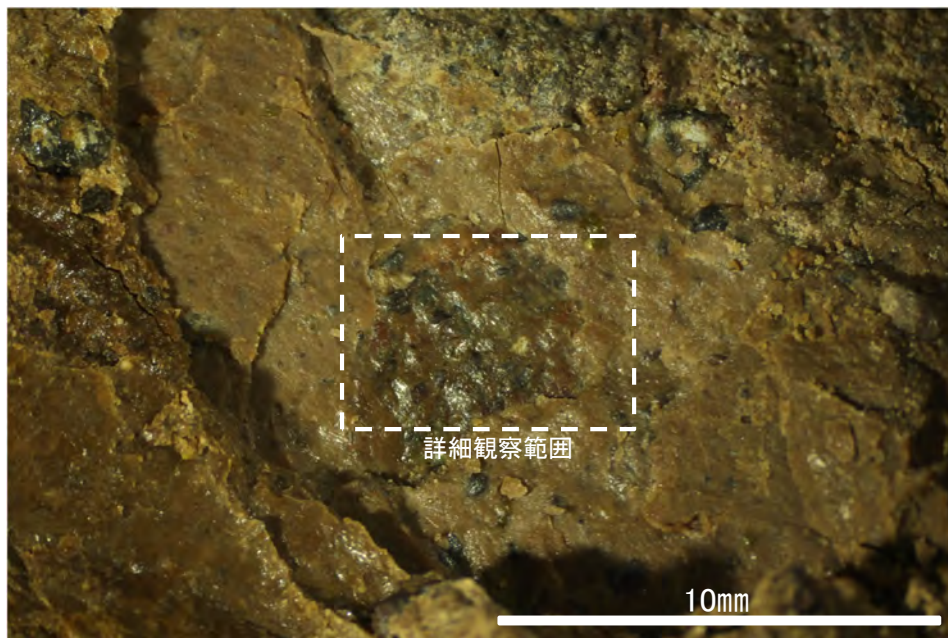
○ ボーリング箇所(No.26-1)



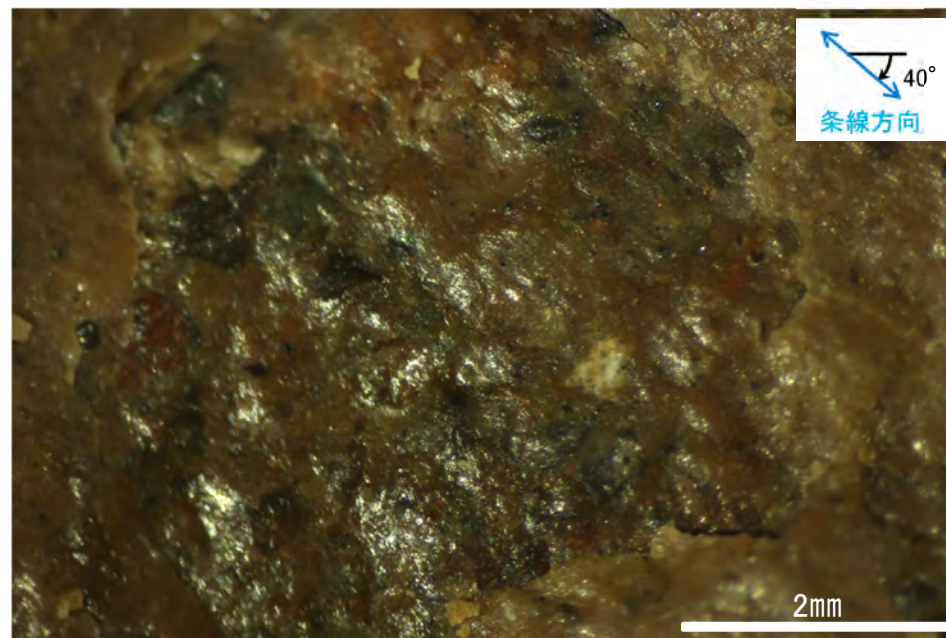
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

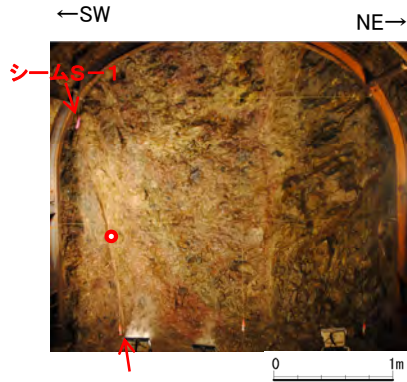


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

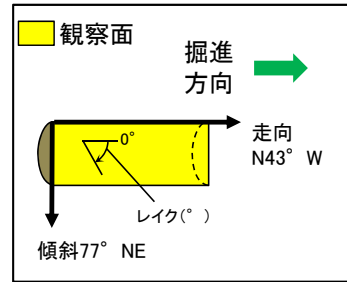


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-1(下盤側))

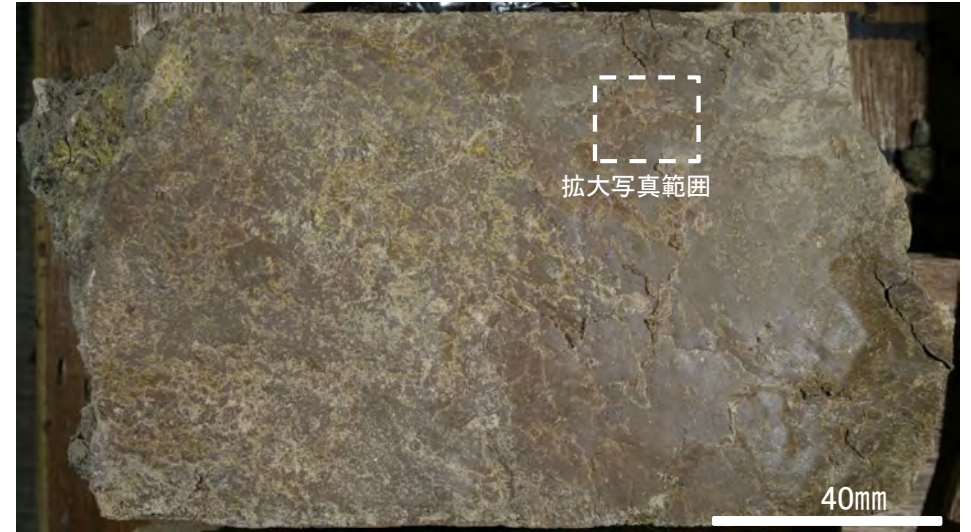


試料採取位置(No.27切羽)

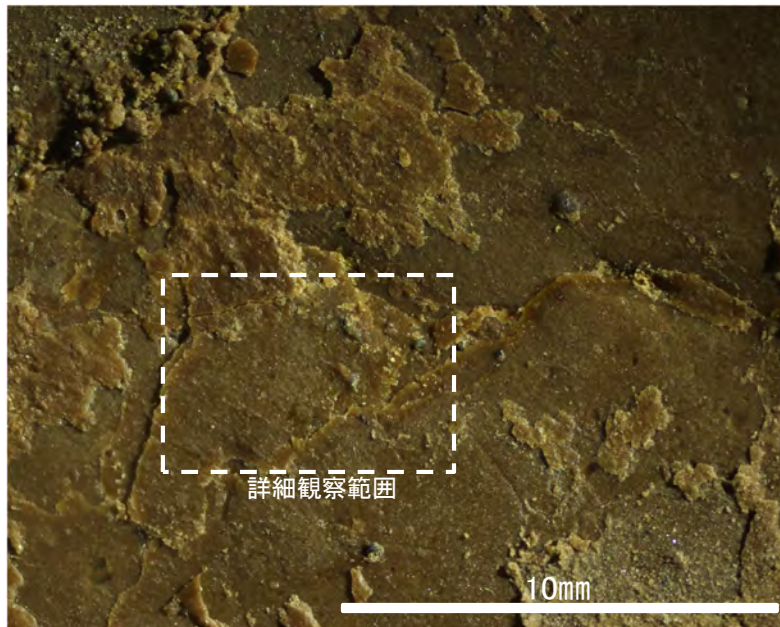
○ ボーリング箇所(No.27-1)



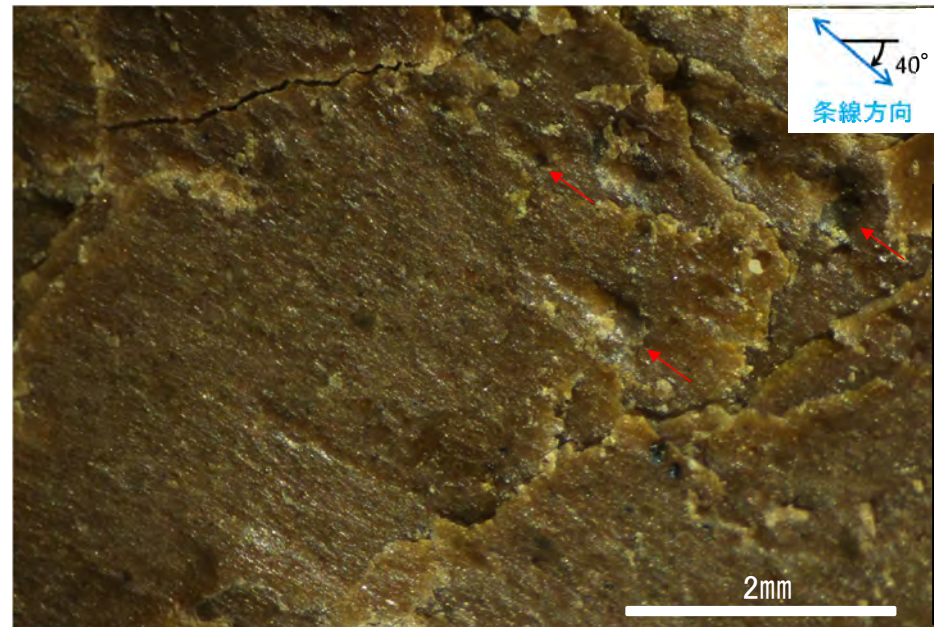
概念図



観察面写真

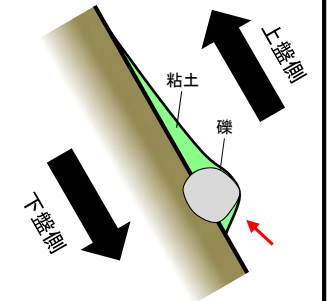


観察面拡大写真



詳細観察写真

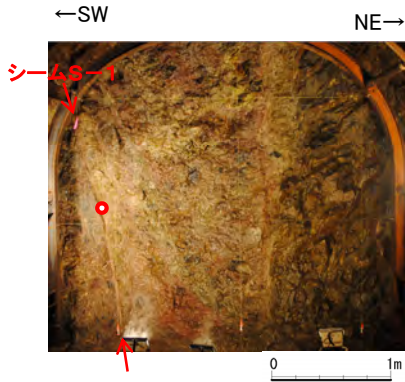
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

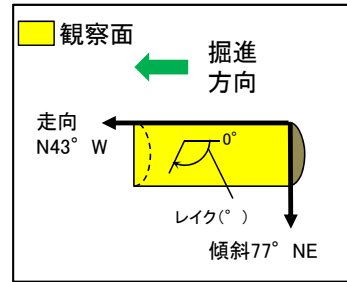


条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-2(上盤側)①)

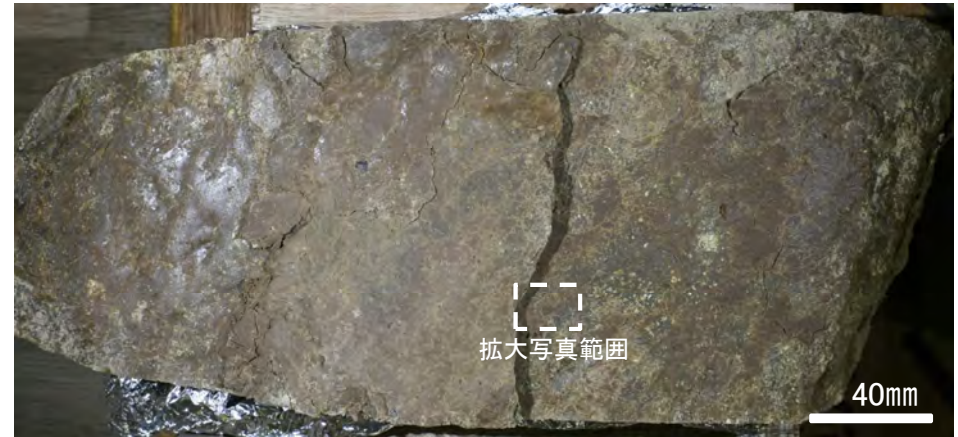


試料採取位置(No.27切羽)

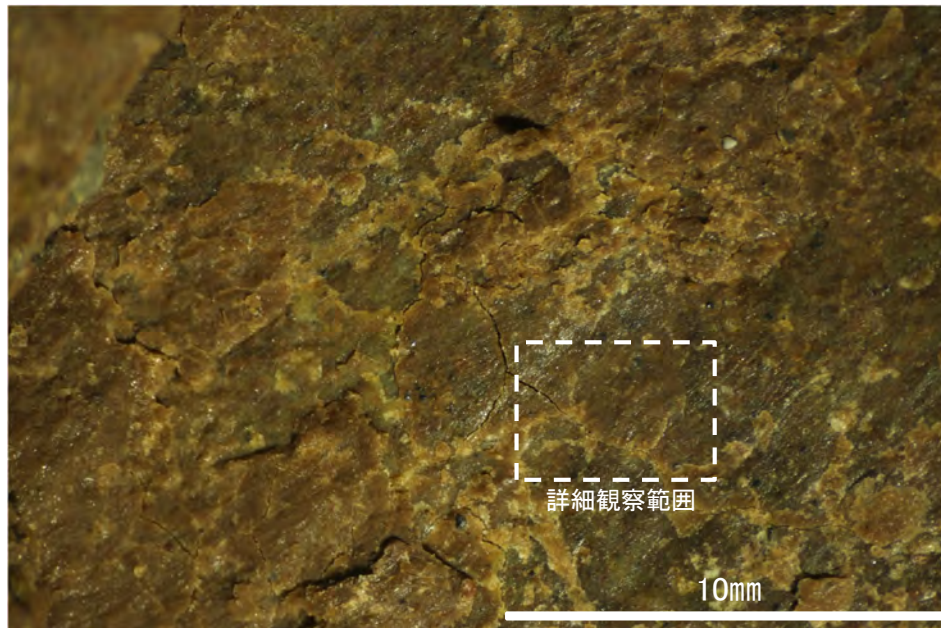
○ ボーリング箇所(No.27-2)



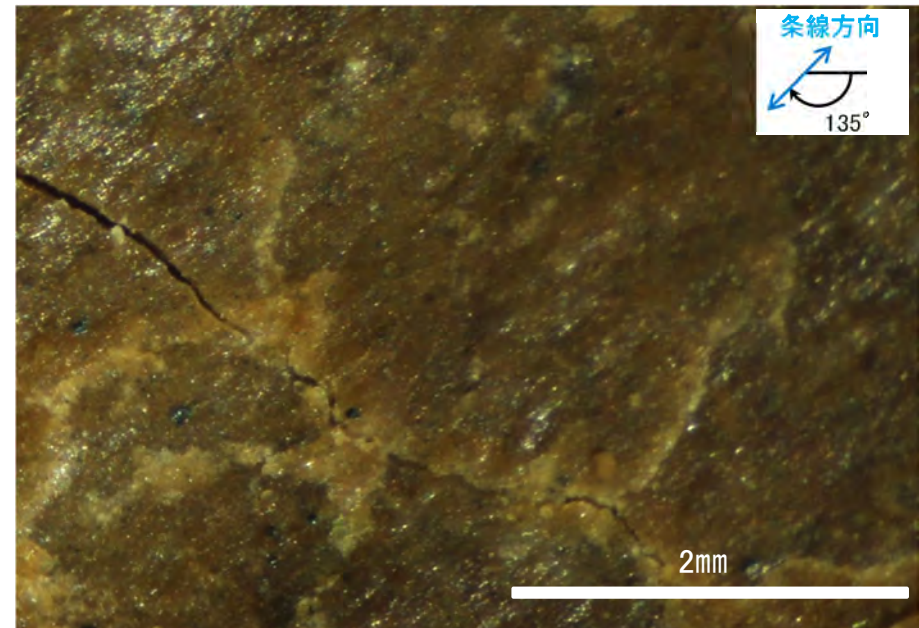
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

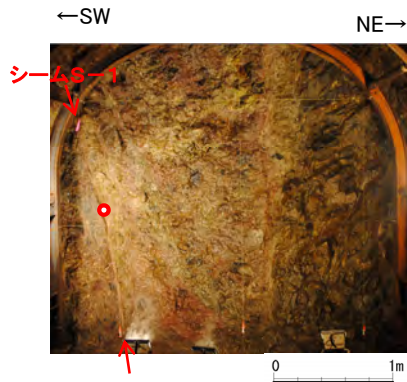


詳細観察写真

・条線のレイクは45° R(下盤側換算), 変位センスは不明

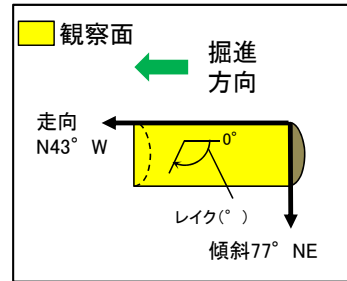


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-2(上盤側)②)

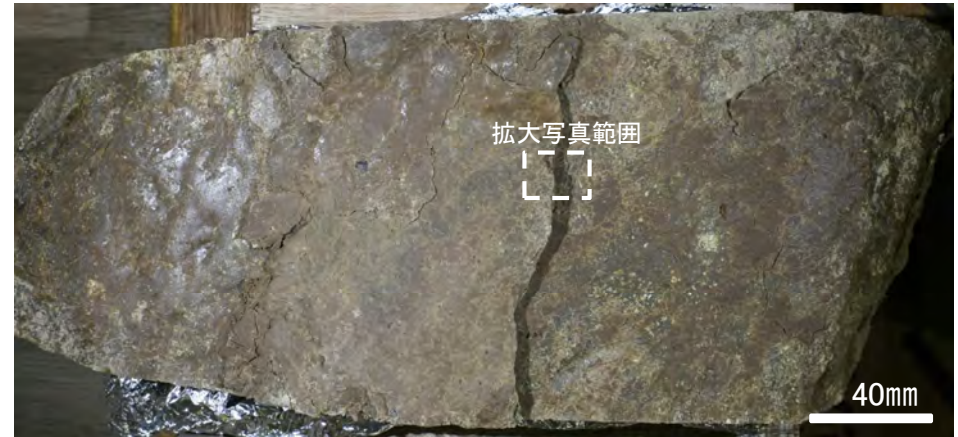


試料採取位置(No.27切羽)

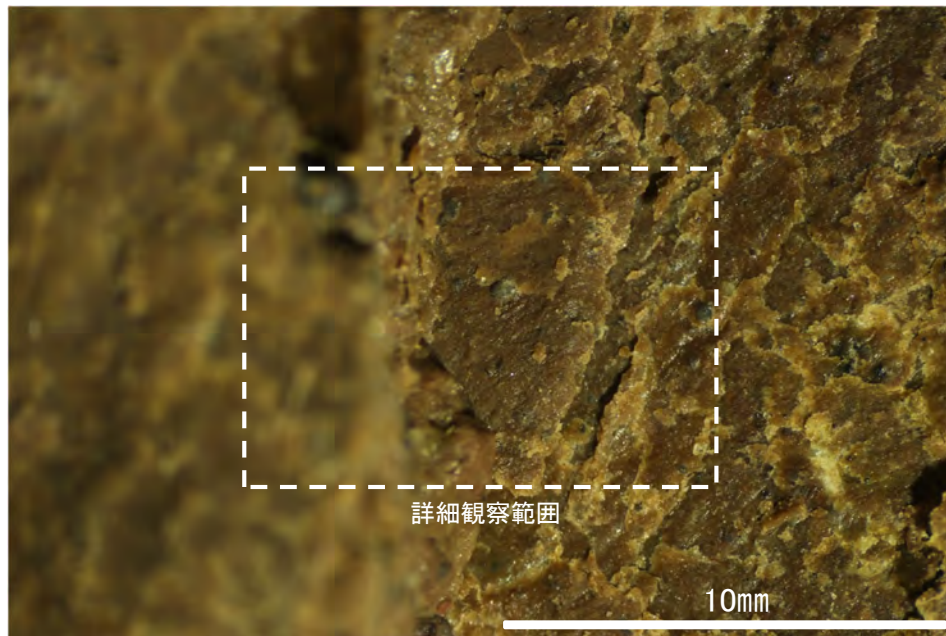
○ ボーリング箇所(No.27-2)



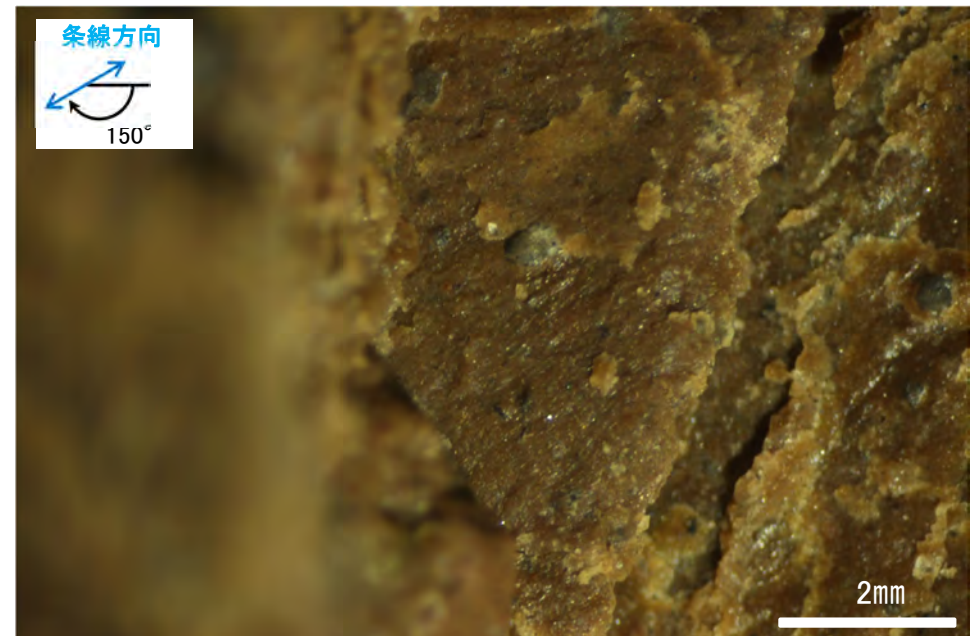
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

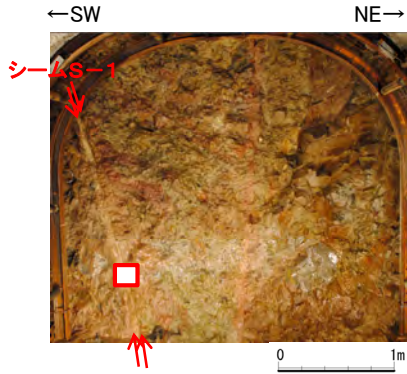


詳細観察写真

・条線のレイクは30° R(下盤側換算), 変位センスは不明

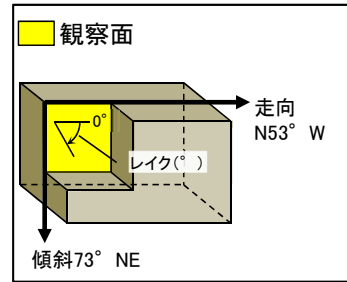


# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.24-2ブロック(下盤側)①)



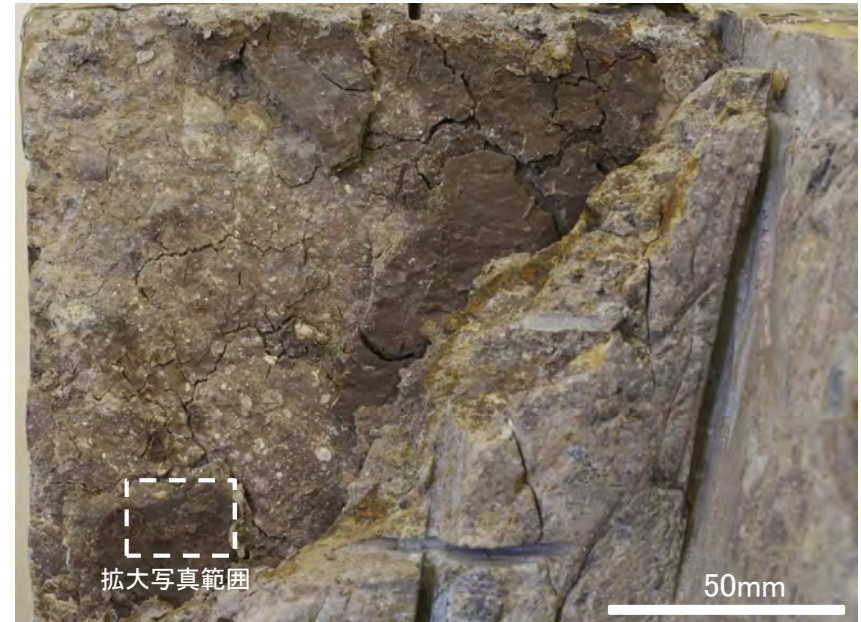
試料採取位置(No.24切羽)

□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)

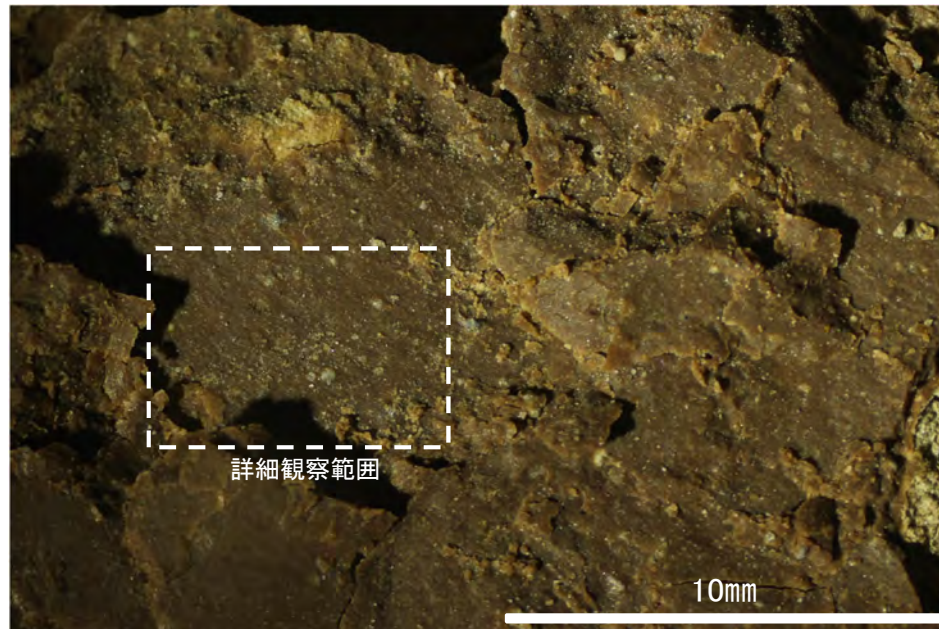


概念図

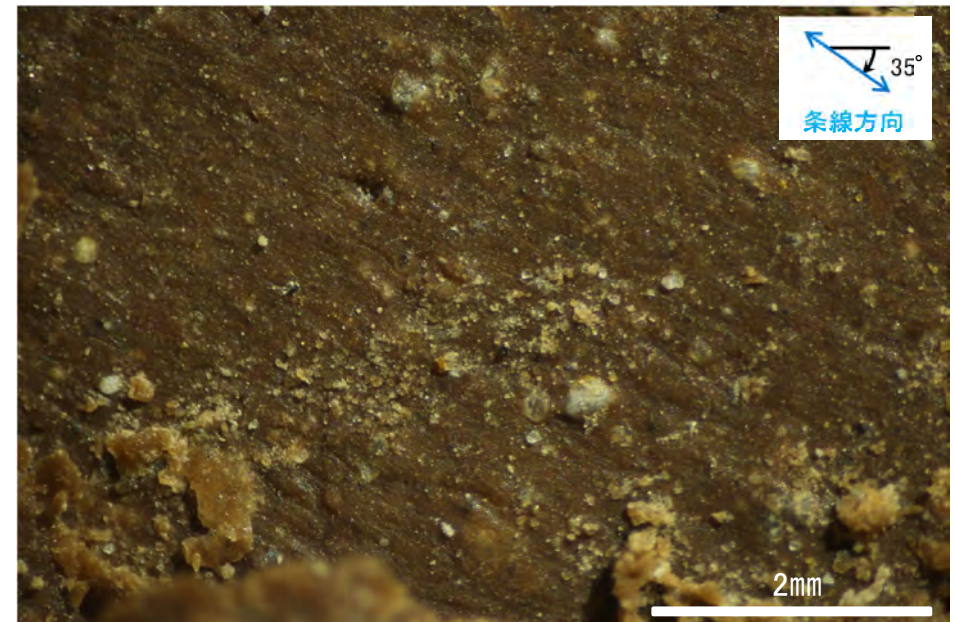
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

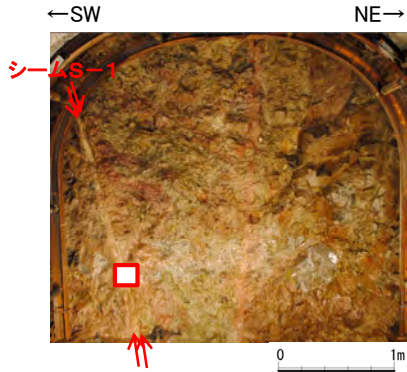


詳細観察写真

・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

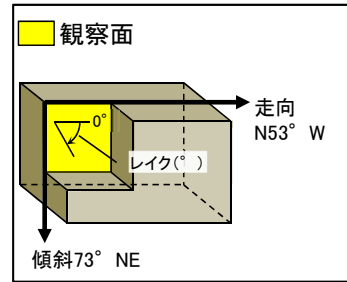


# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.24-2ブロック(下盤側)②)



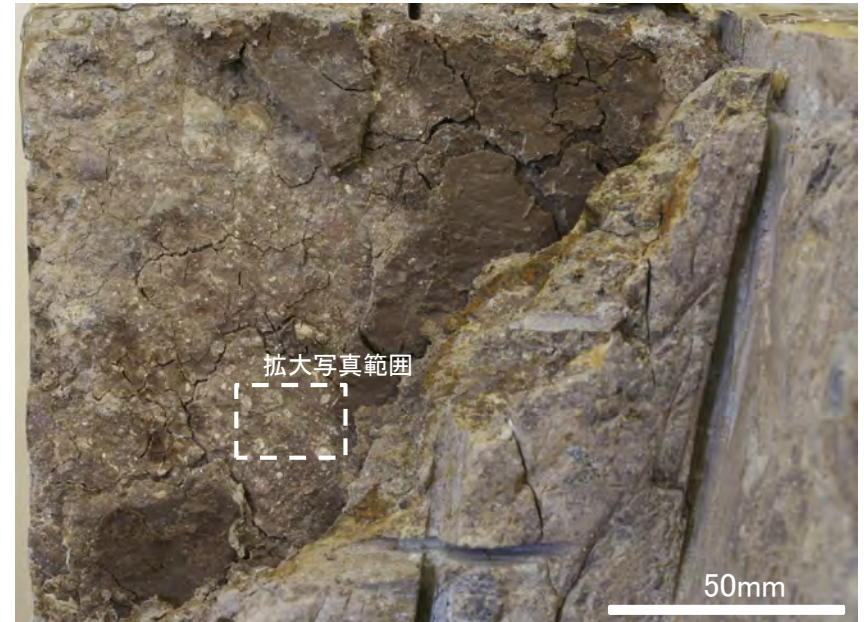
試料採取位置(No.24切羽)

□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)

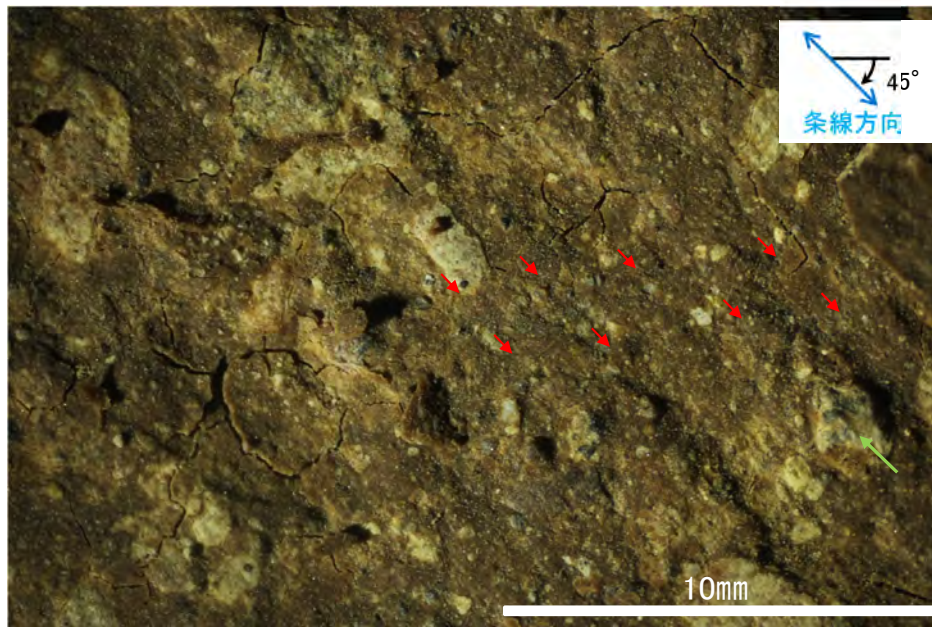


概念図

※走向は真北で示す。

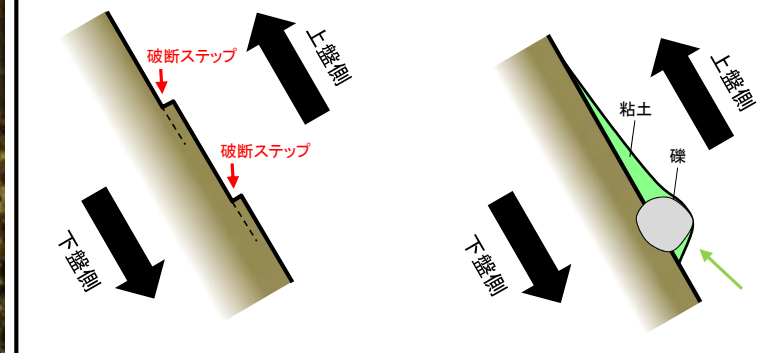


観察面写真



観察面拡大写真

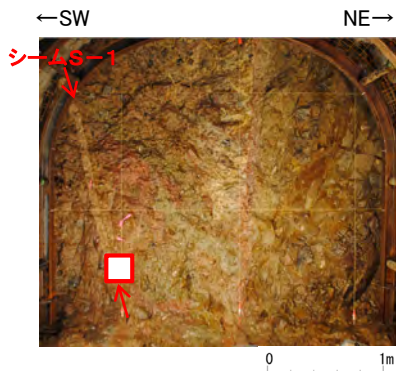
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造, 破断ステップの配列から, 逆断層センスを示す。



・条線のレイクは45° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

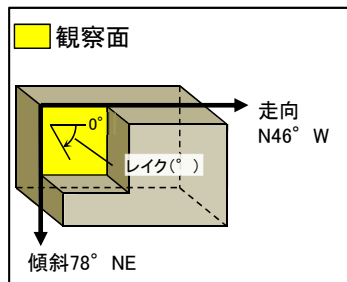


# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.25-2ブロック(下盤側))

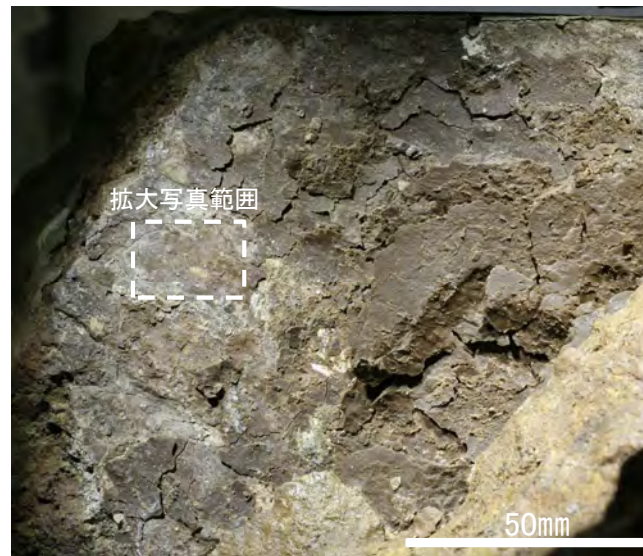


試料採取位置(No.25切羽)

試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)

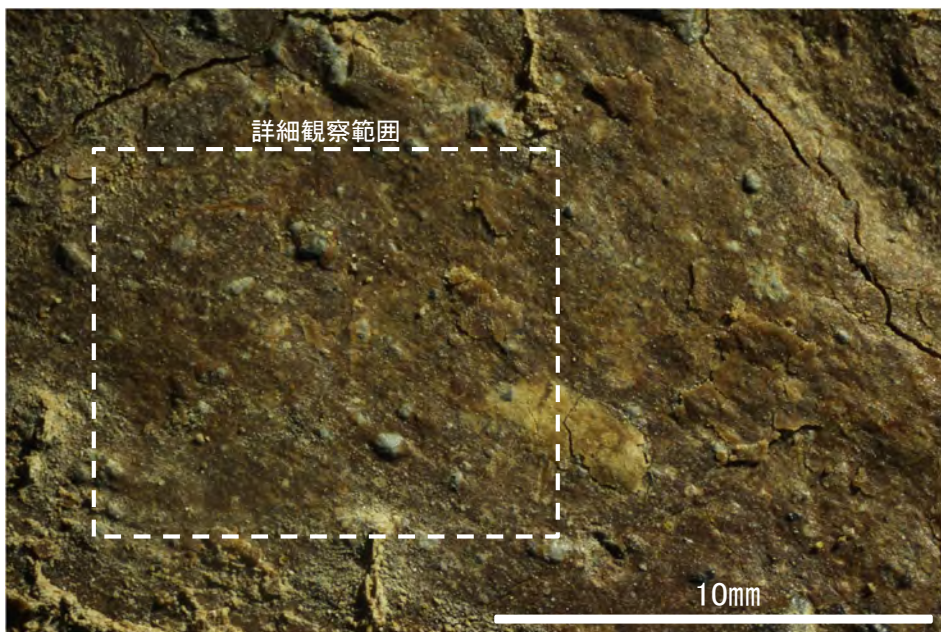
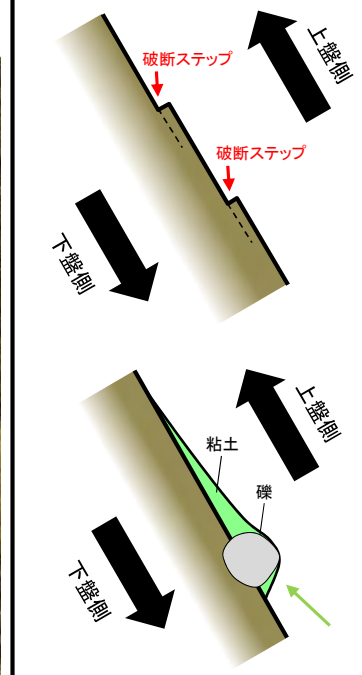


概念図  
※走向は真北で示す。

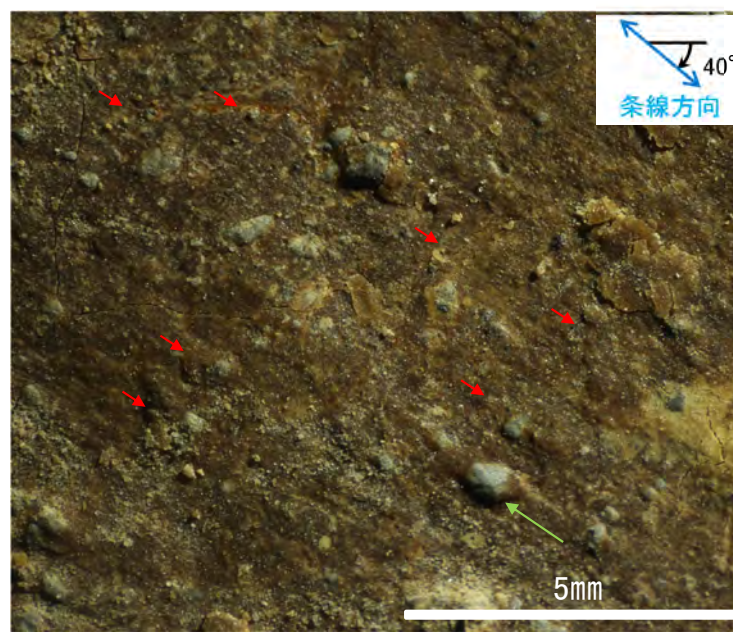


観察面写真

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造、破断ステップの配列から、逆断層センスを示す。



観察面拡大写真

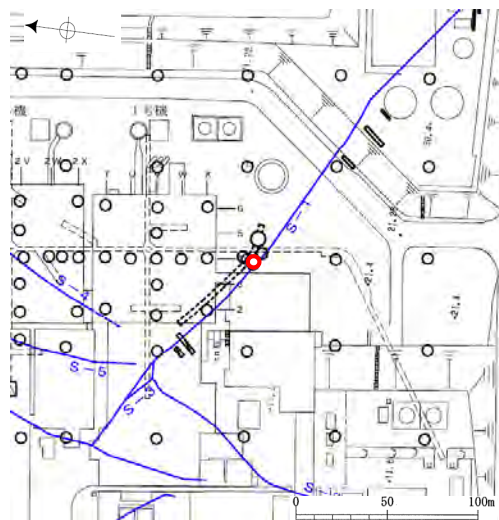


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

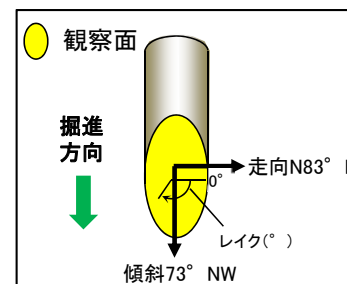


# 条線観察結果(J-9”[深度29.33m](上盤側))

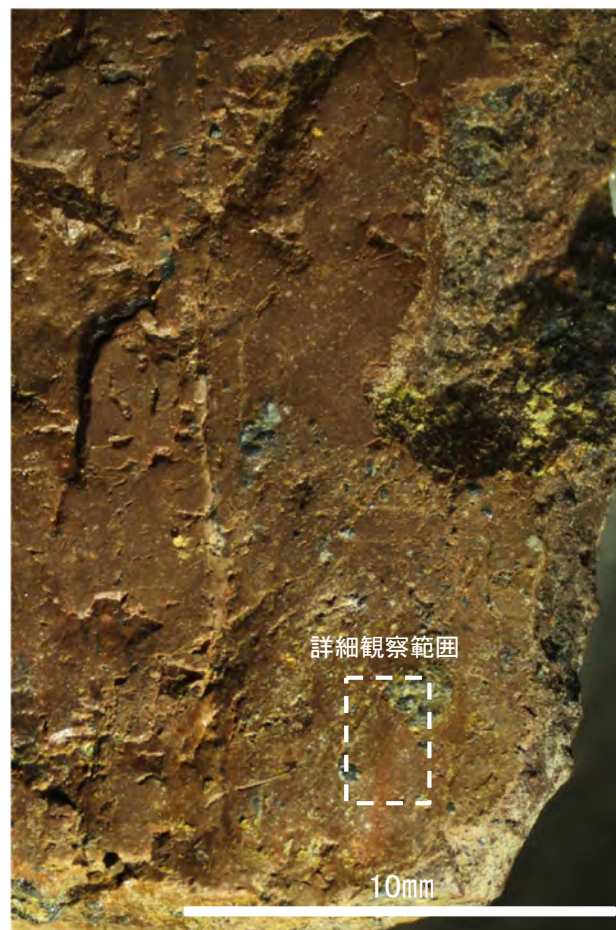


位置図

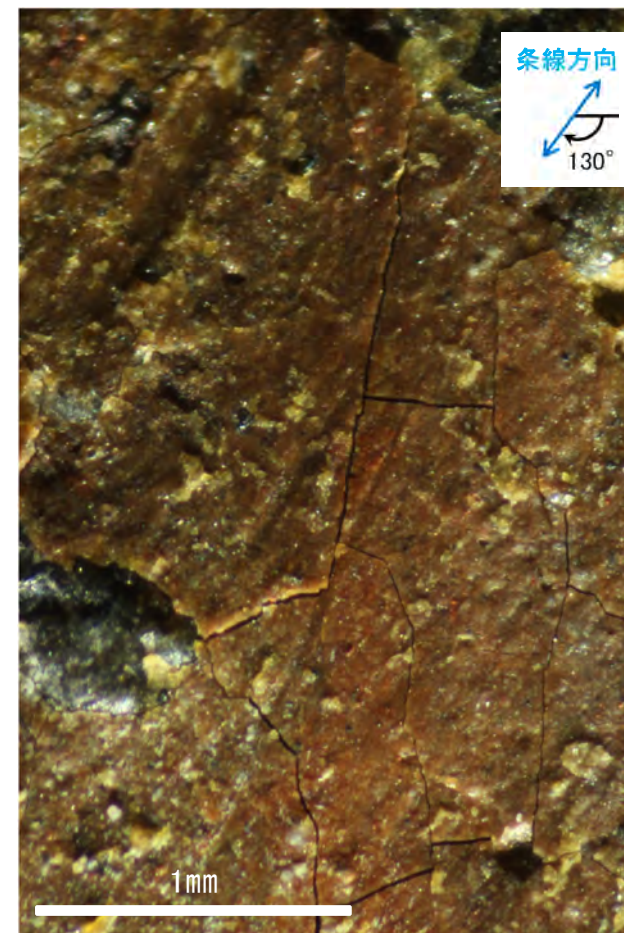
- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(J-9”)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



詳細観察写真



観察面写真

・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明

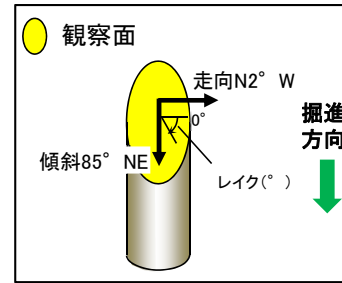


# 条線観察結果(L-13.5[深度293.88m](下盤側))



位置図

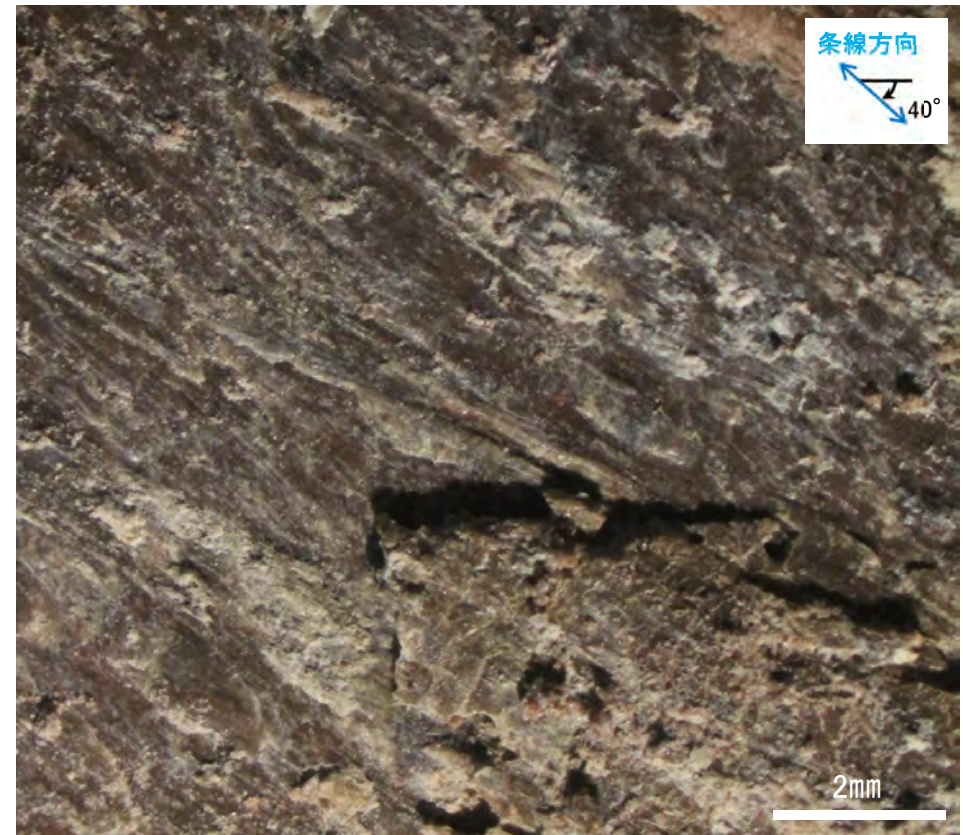
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (L-13.5)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

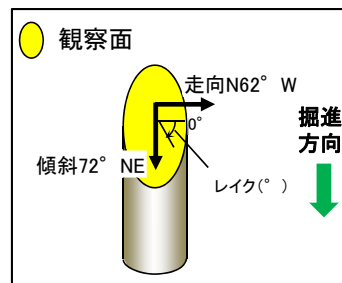


# 条線観察結果(M-12.5[深度63.43m](下盤側)①)



位置図

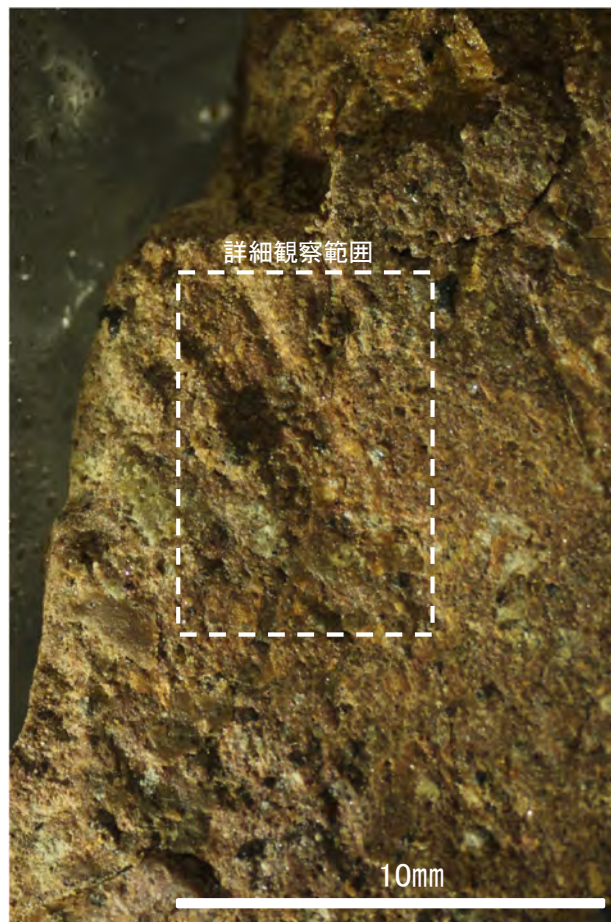
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (M-12.5)



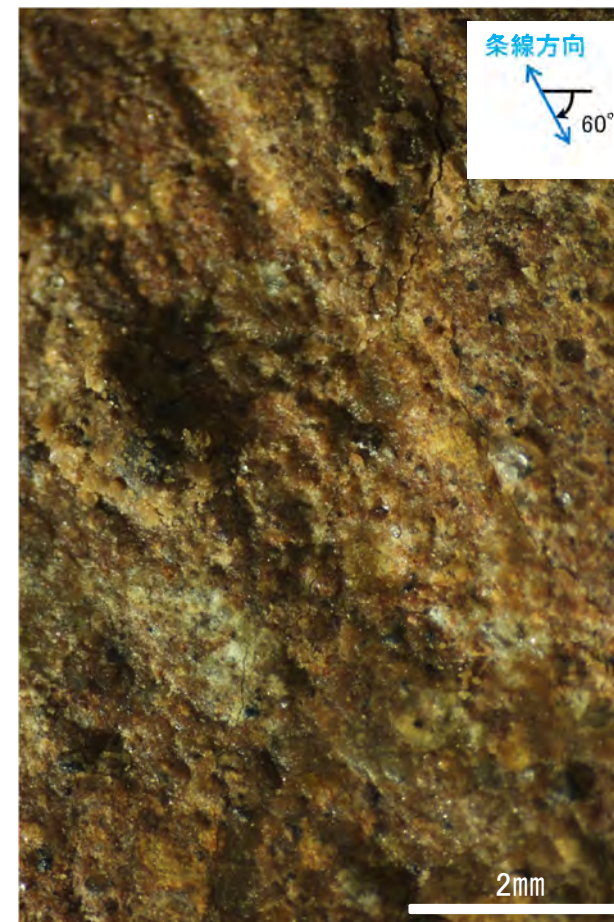
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

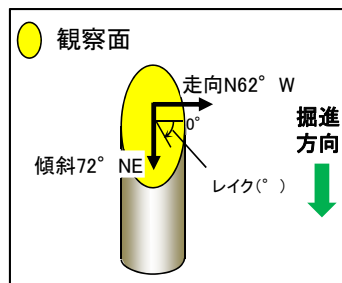


# 条線観察結果(M-12.5[深度63.43m](下盤側)②)



位置図

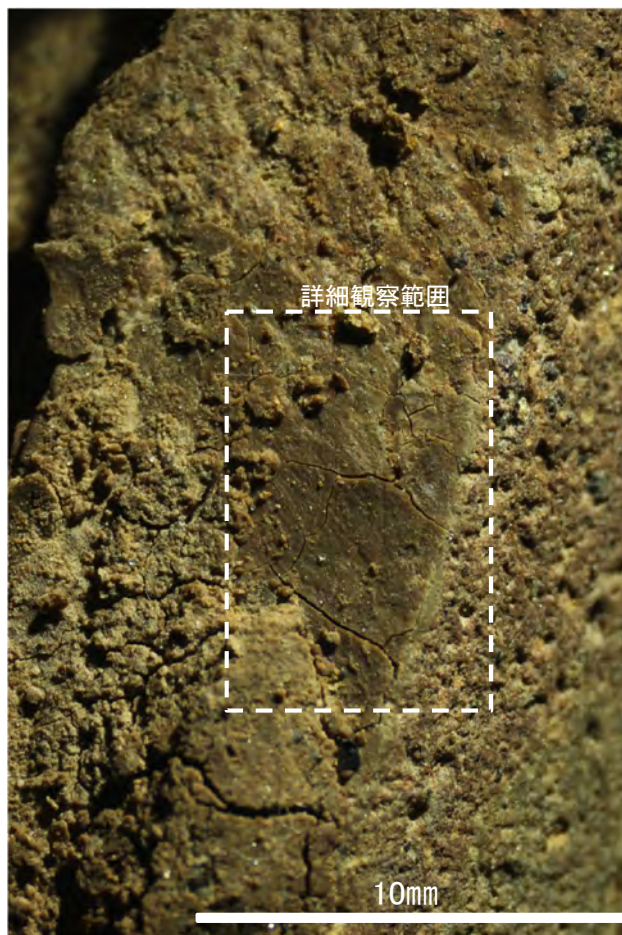
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (M-12.5)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



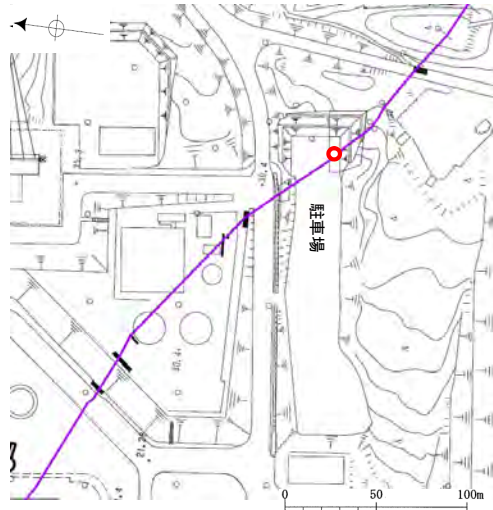
詳細観察写真

※高角度の条線は認められるものの、複数認められないため、人為的にできたものと考えられる。

・条線のレイクは45° R, 変位センスは不明

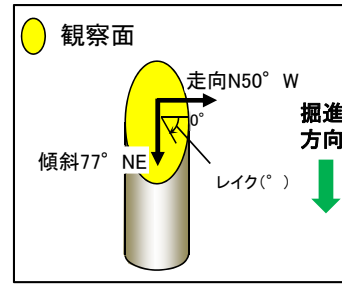


# 条線観察結果(駐車場No.1(下盤側))



位置図

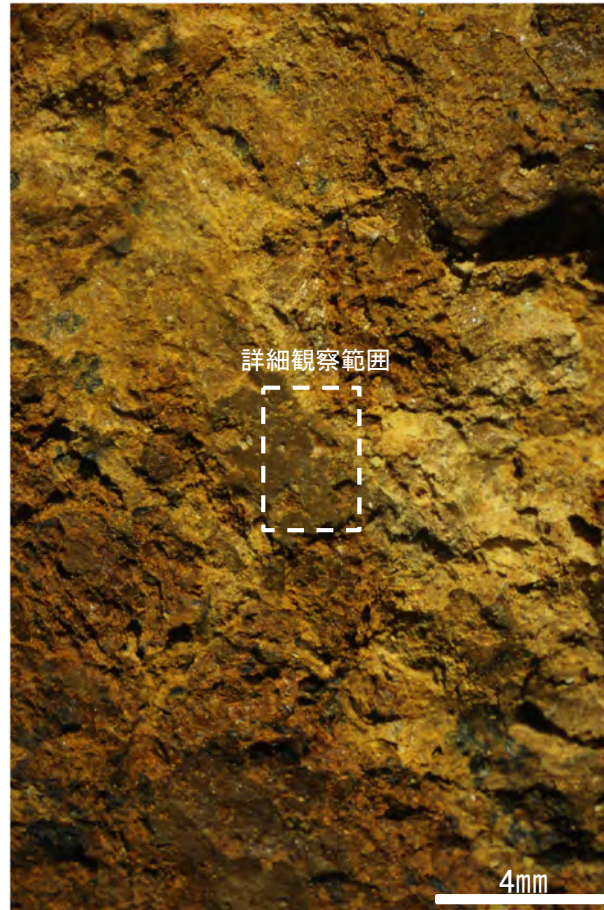
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (駐車場No.1)



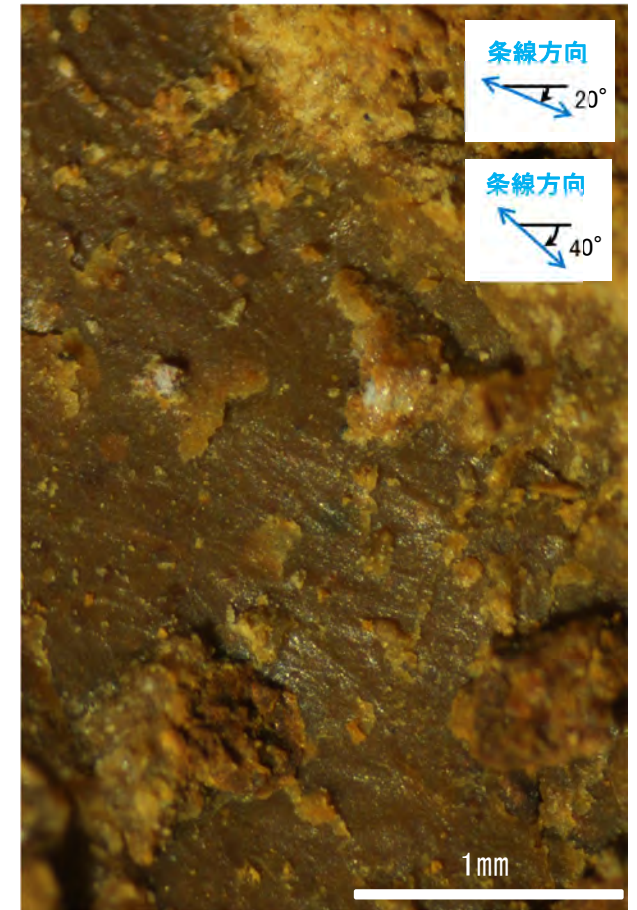
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは20° R及び40° R,  
それぞれ変位センスは不明

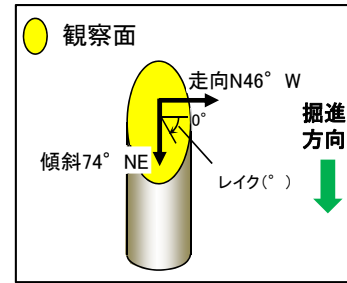


# 条線観察結果(駐車場No.2(下盤側))



位置図

- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (駐車場No.2)

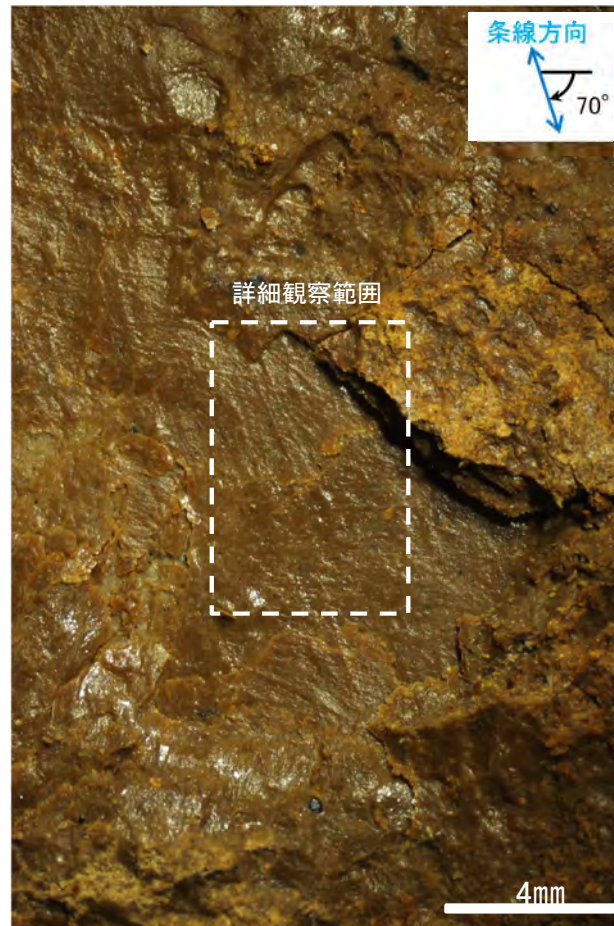


概念図

※走向は真北で示す。

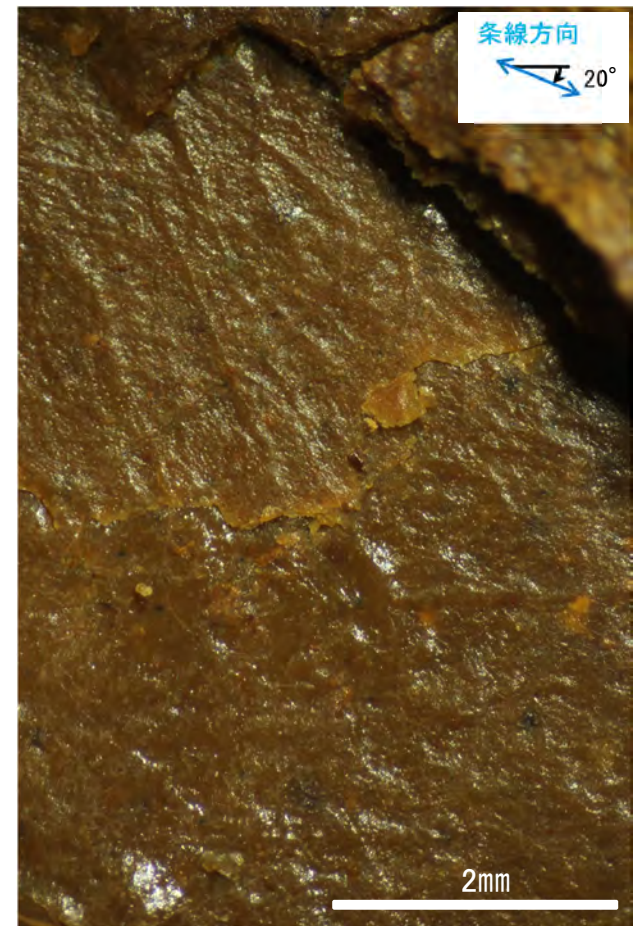


観察面写真



観察面拡大写真

・条線のレイクは70° R, 変位センスは不明

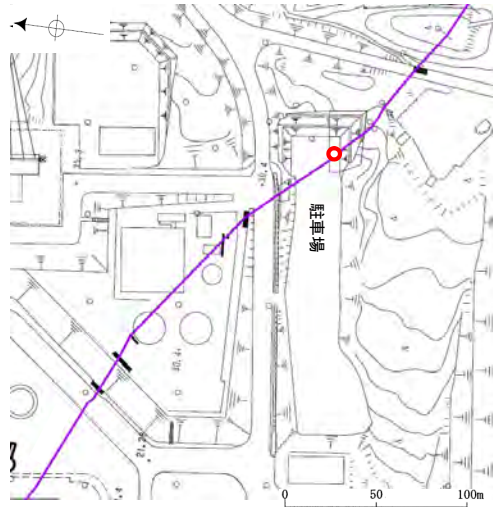


詳細観察写真

・条線のレイクは20° R, 変位センスは不明

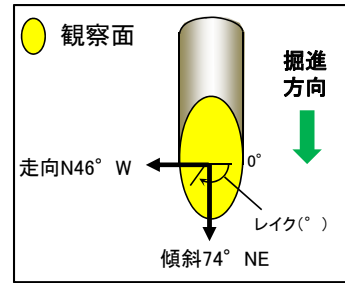


# 条線観察結果(駐車場No.2(上盤側))



位置図

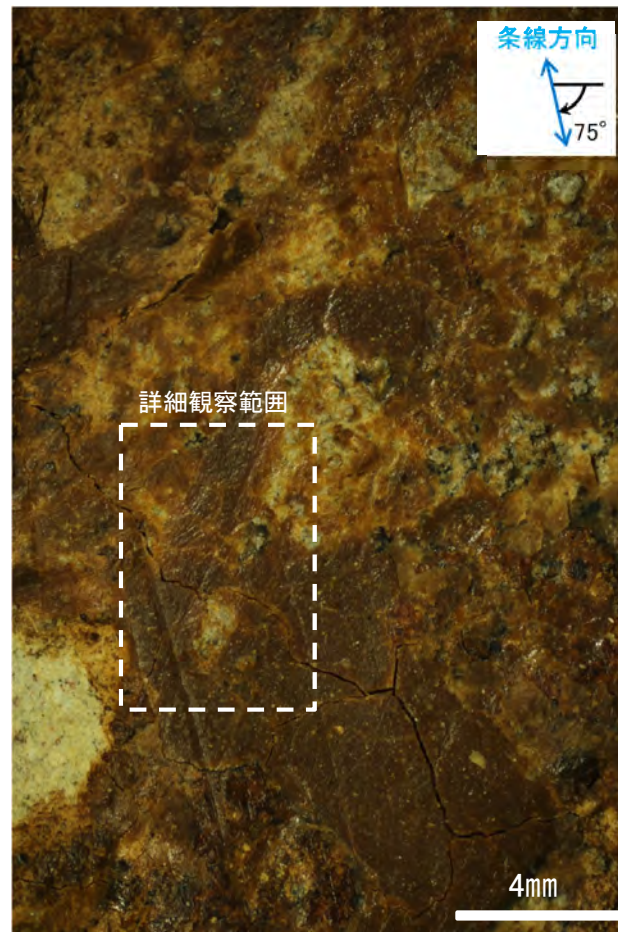
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (駐車場No.2)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

・条線のレイクは105° R(下盤側換算), 変位センスは不明

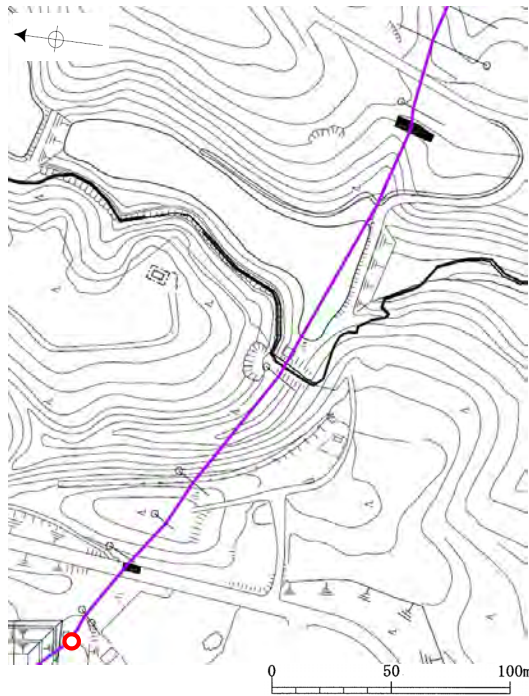


詳細観察写真

・条線のレイクは70° R(下盤側換算), 変位センスは不明

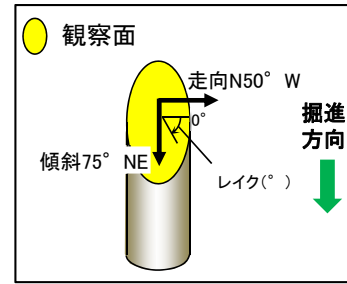


# 条線観察結果(N-13[深度11.10m](下盤側))

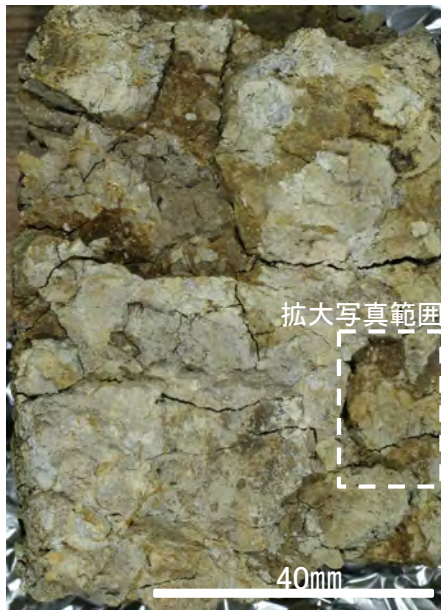


位置図

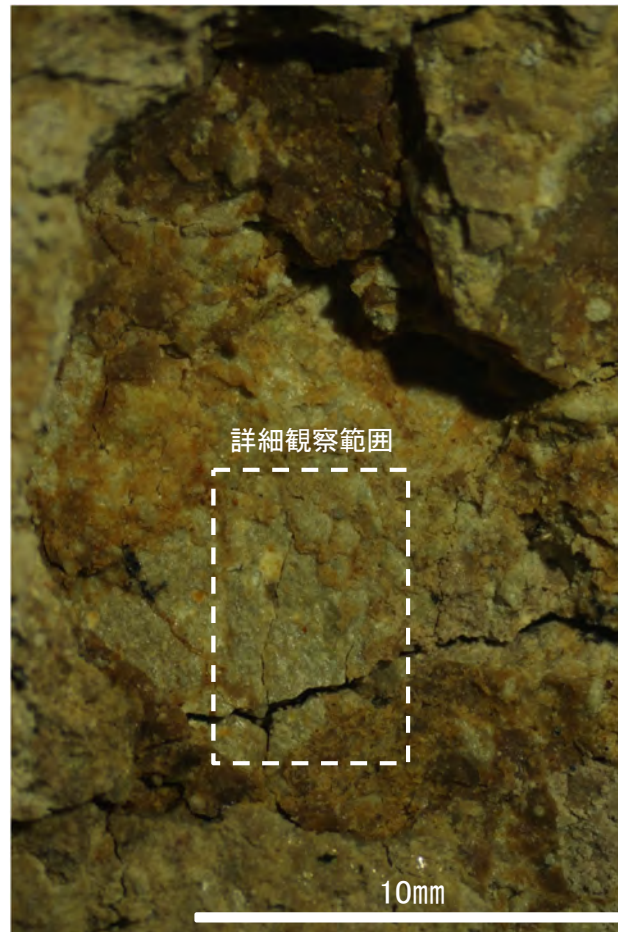
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (N-13)



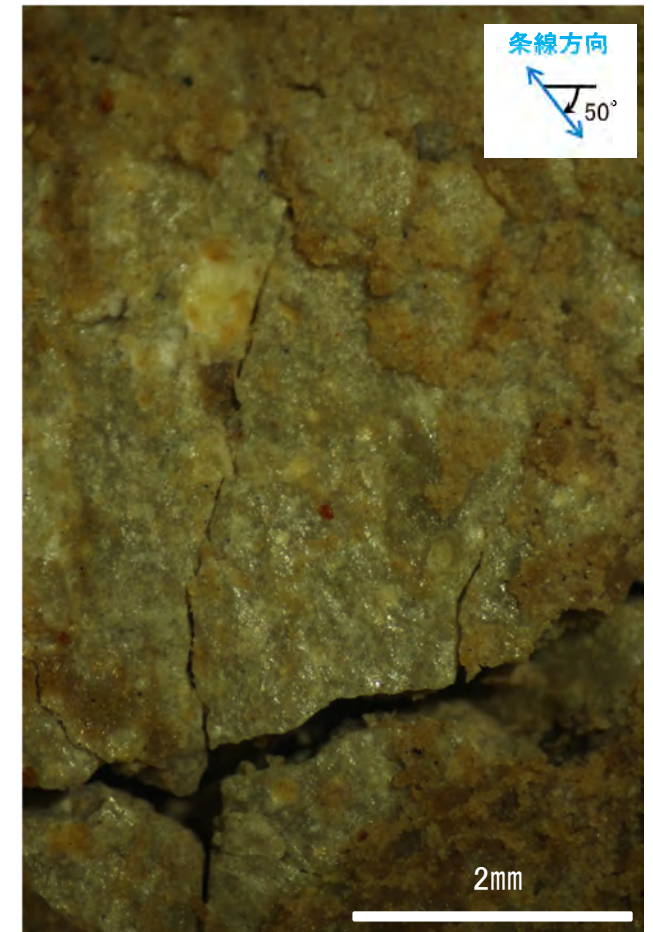
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

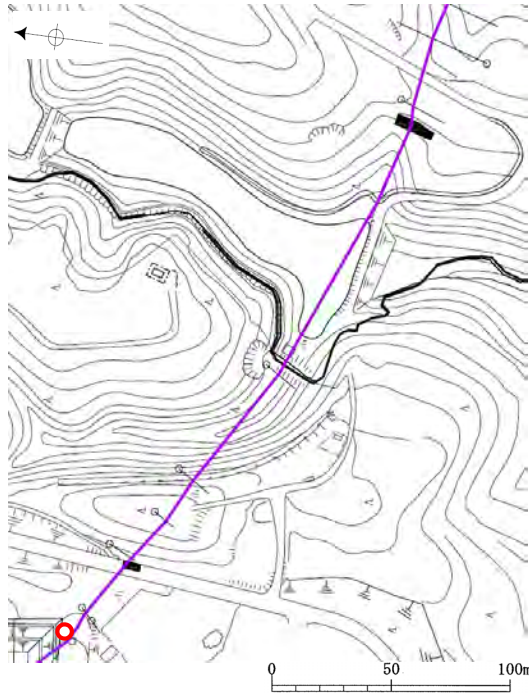


詳細観察写真

・条線のレイクは50° R, 変位センスは不明

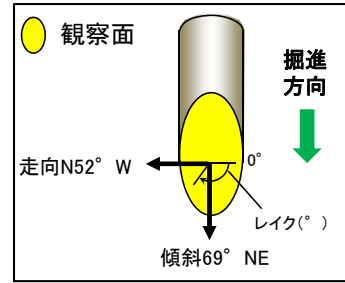


# 条線観察結果(N-13' [深度23.39m](上盤側))



位置図

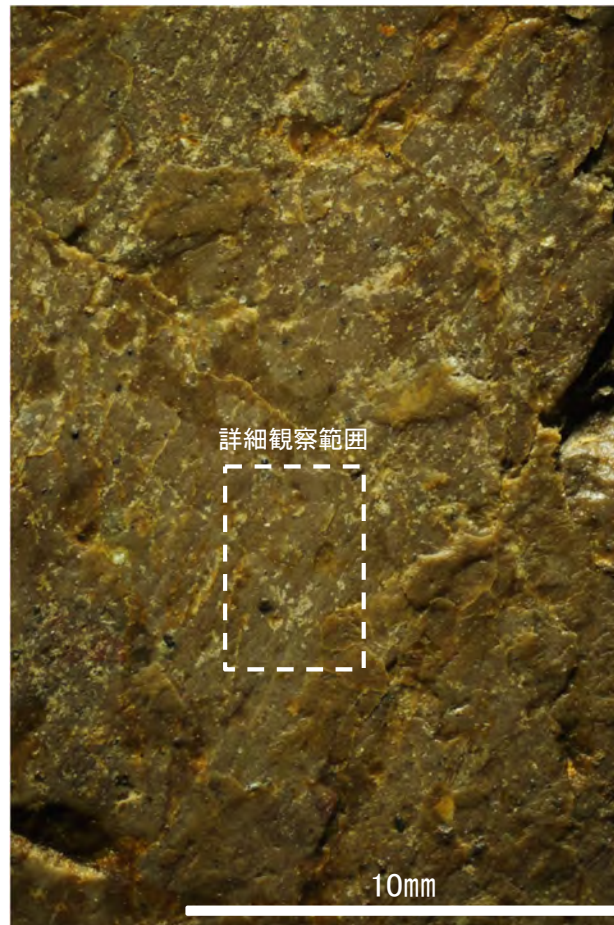
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (N-13')



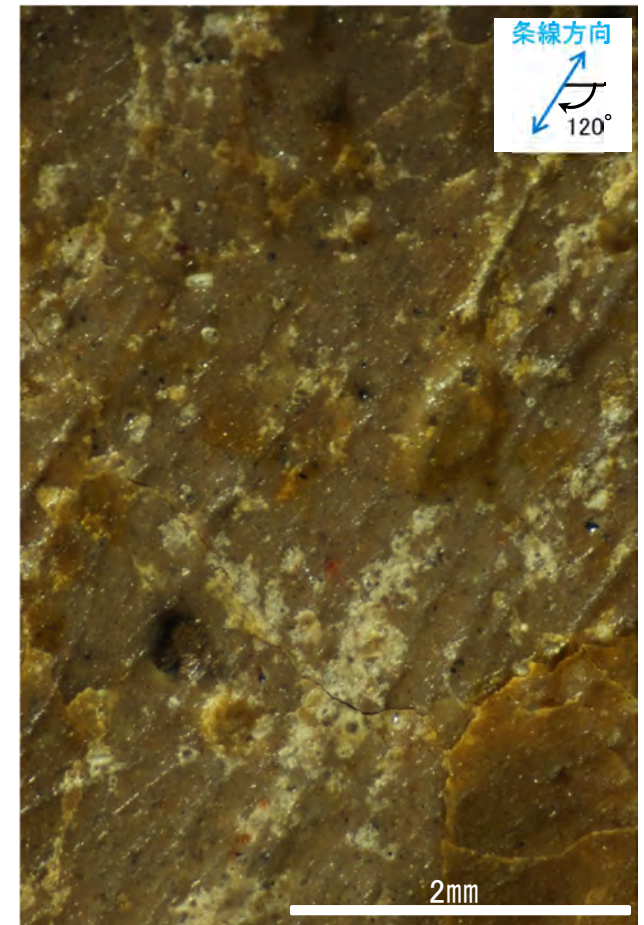
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

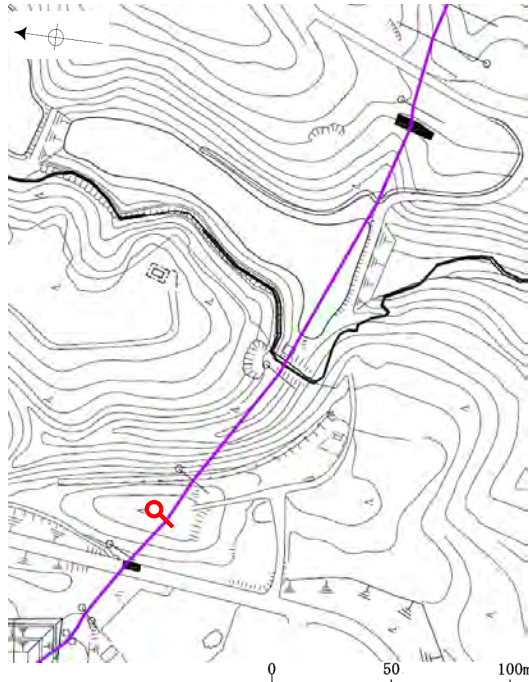


詳細観察写真

・条線のレイクは60° R(下盤側換算), 変位センスは不明

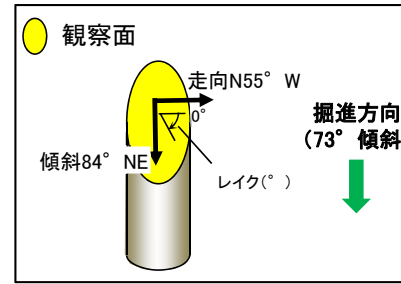


# 条線観察結果(N-14.5[深度21.31m](下盤側)①)

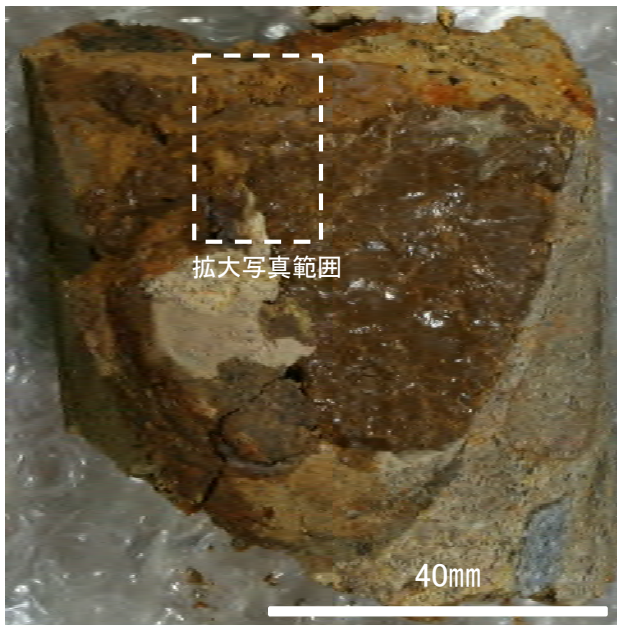


位置図

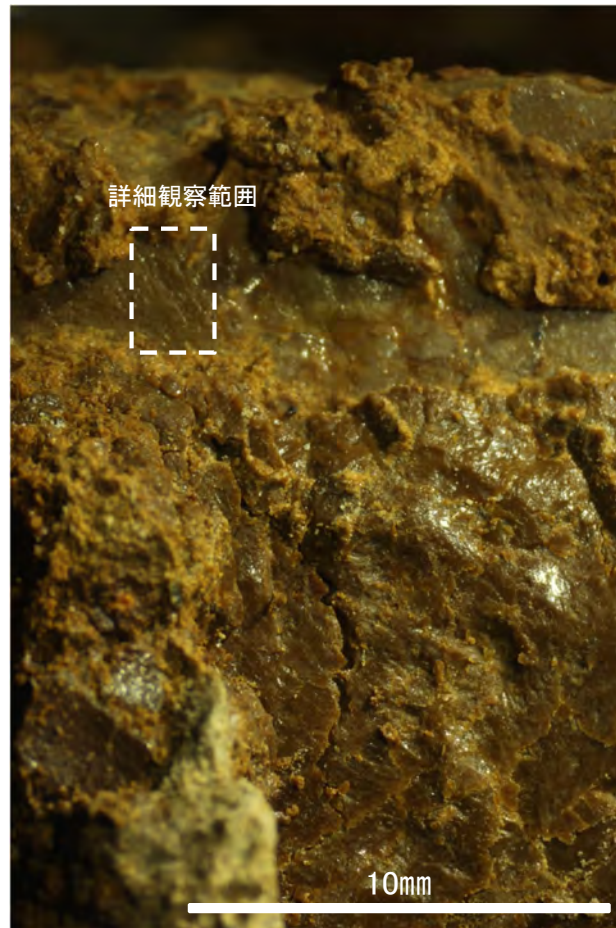
- シームS-1 (EL28m)
- ボーリング箇所 (N-14.5)



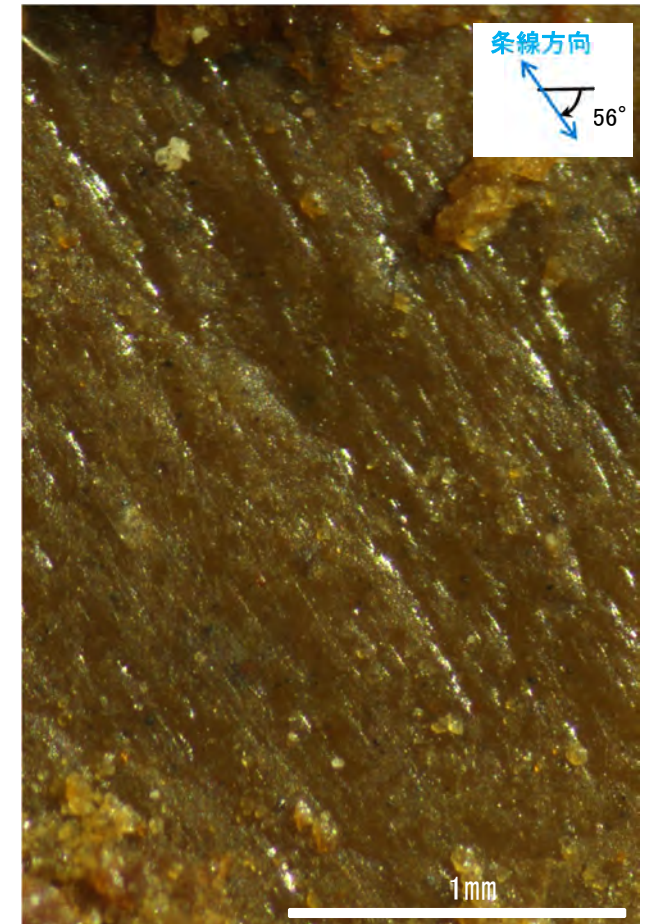
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

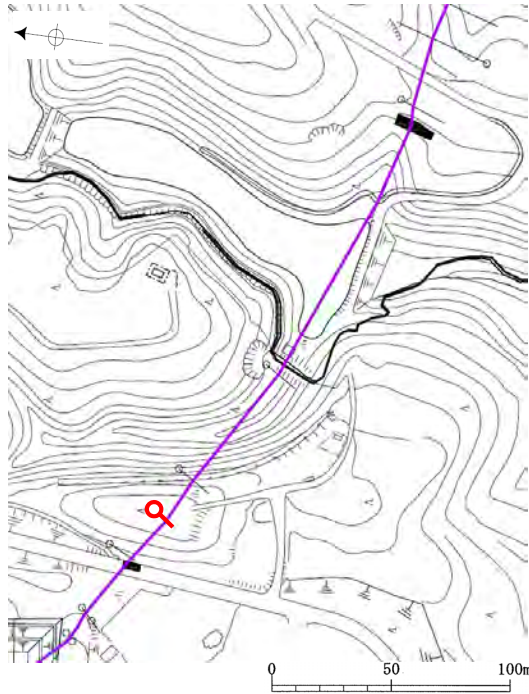


詳細観察写真

・条線のレイクは56° R, 変位センスは不明

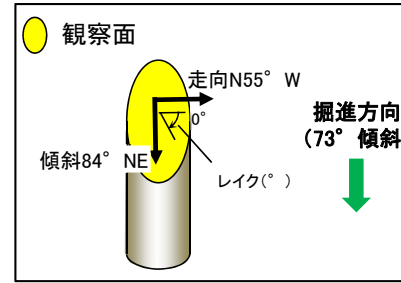


# 条線観察結果(N-14.5[深度21.31m](下盤側)②)

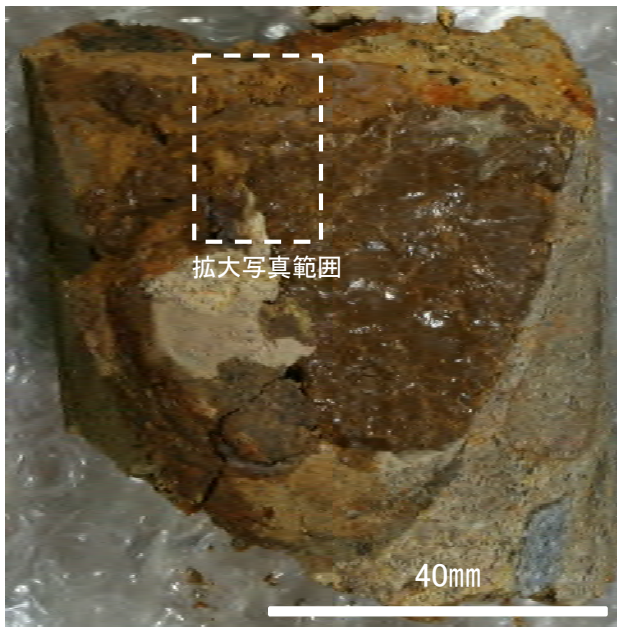


位置図

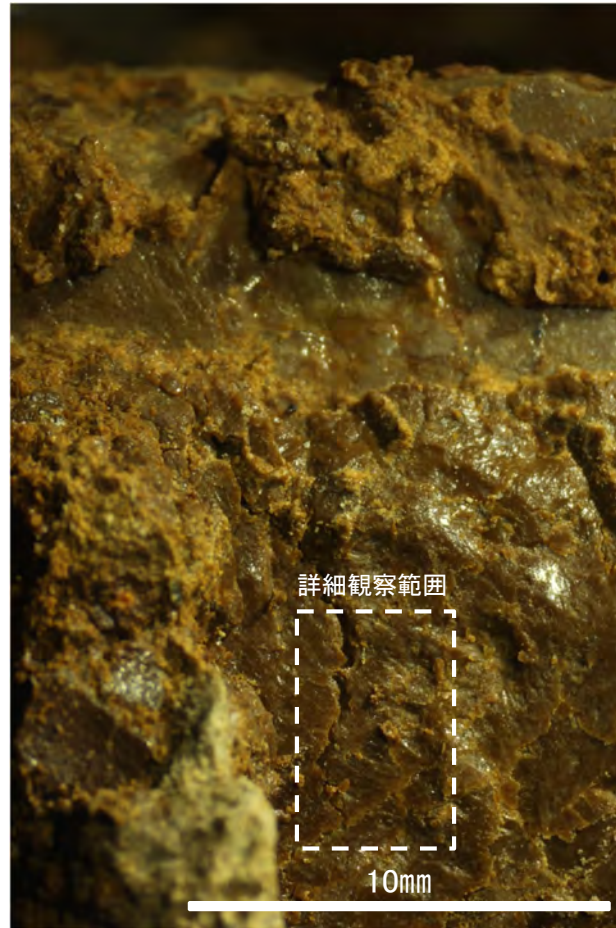
- シームS-1 (EL28m)
- 🔍 ボーリング箇所 (N-14.5)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

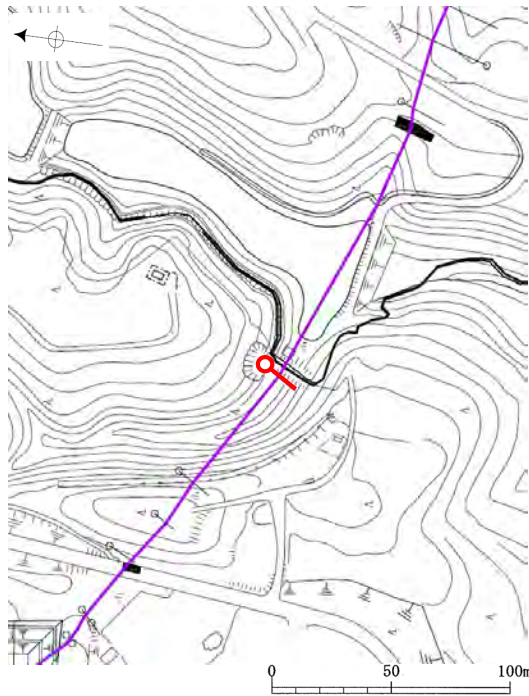


詳細観察写真

・条線のレイクは26° R, 変位センスは不明

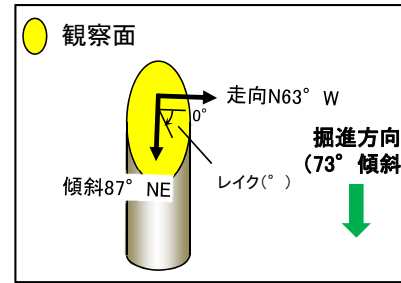


# 条線観察結果(O-16[深度20.36m](下盤側))



位置図

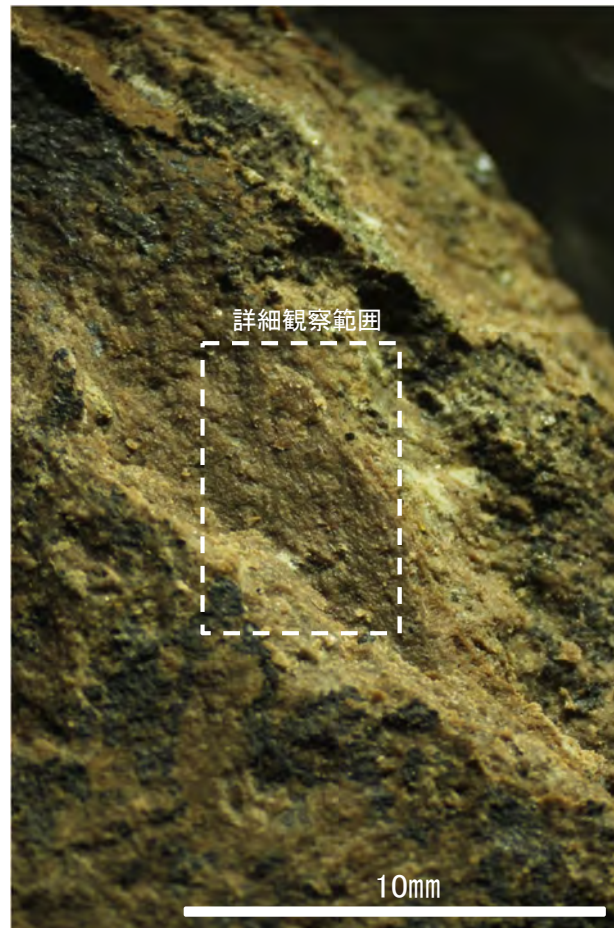
- シームS-1 (EL28m)
- 📍 ボーリング箇所(O-16)



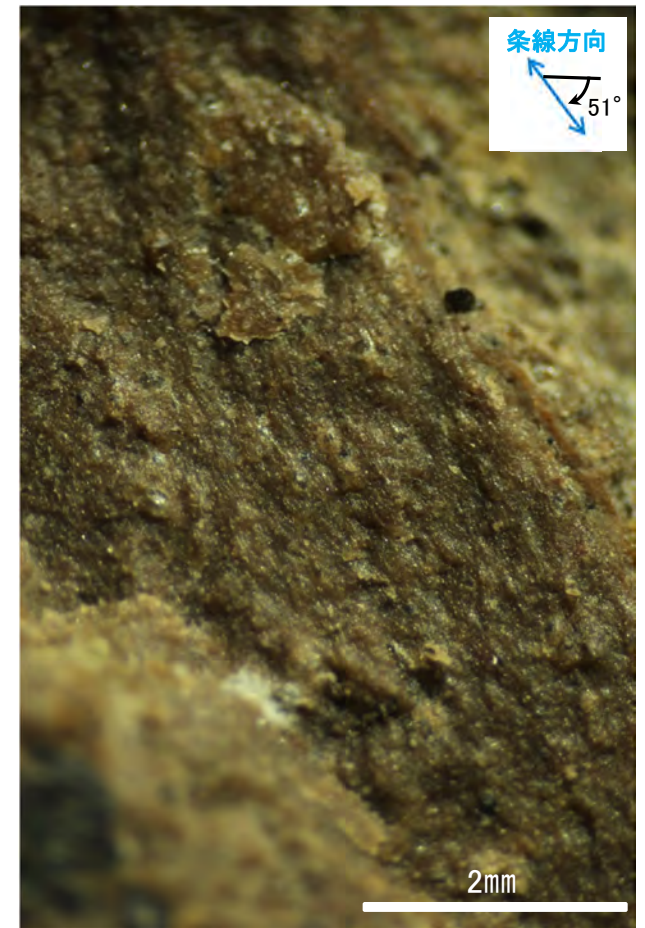
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

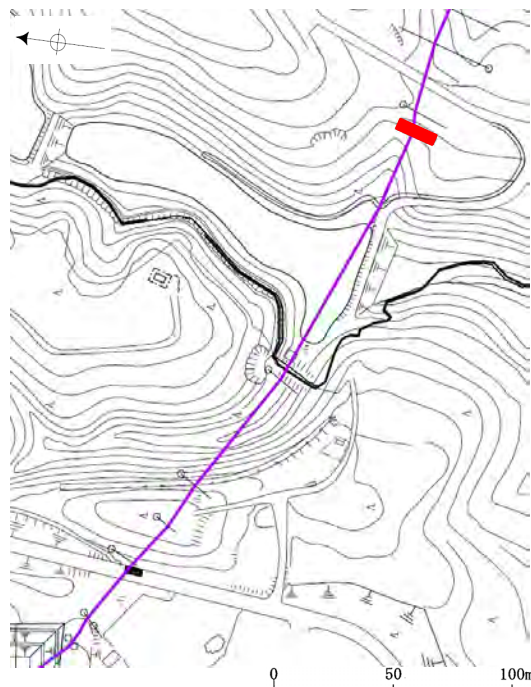


詳細観察写真

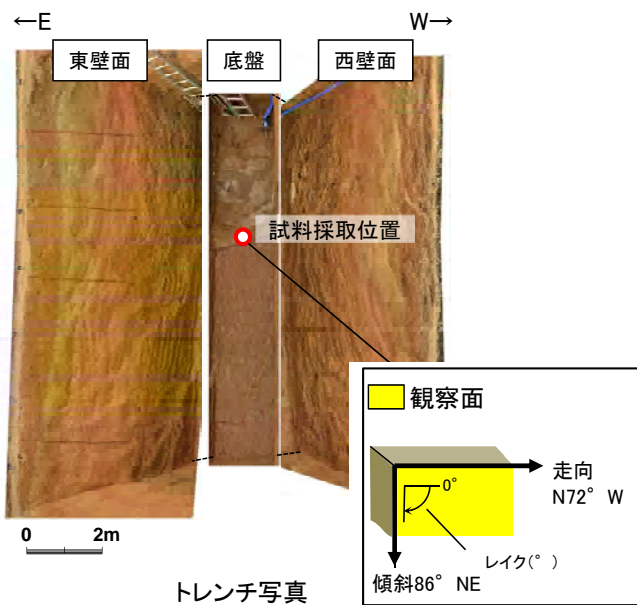
・条線のレイクは51° R, 変位センスは不明



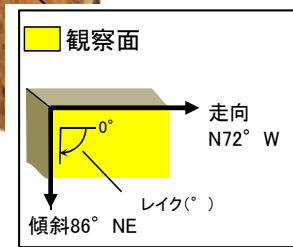
# 条線観察結果(えん堤左岸トレンチ底盤(下盤側)①)



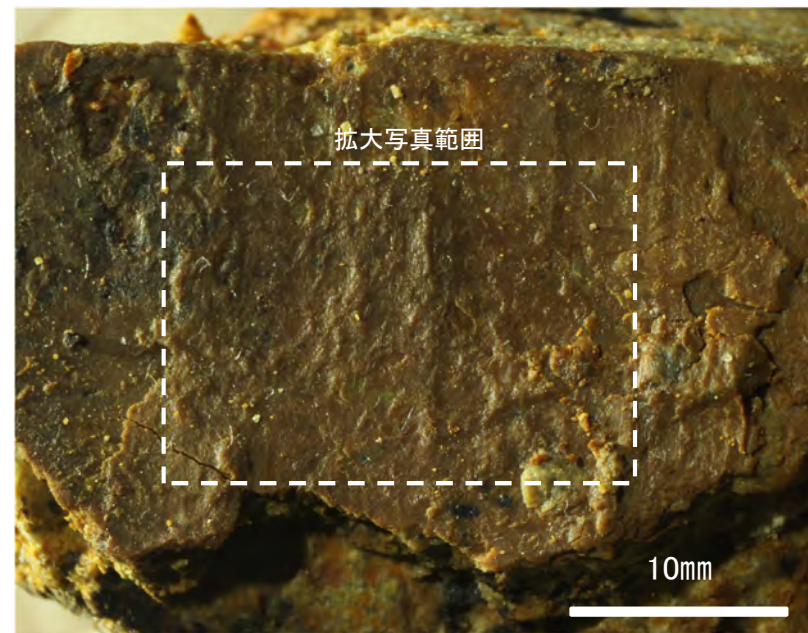
位置図  
 シームS-1 (EL28m)  
 トレンチ箇所(えん堤左岸)



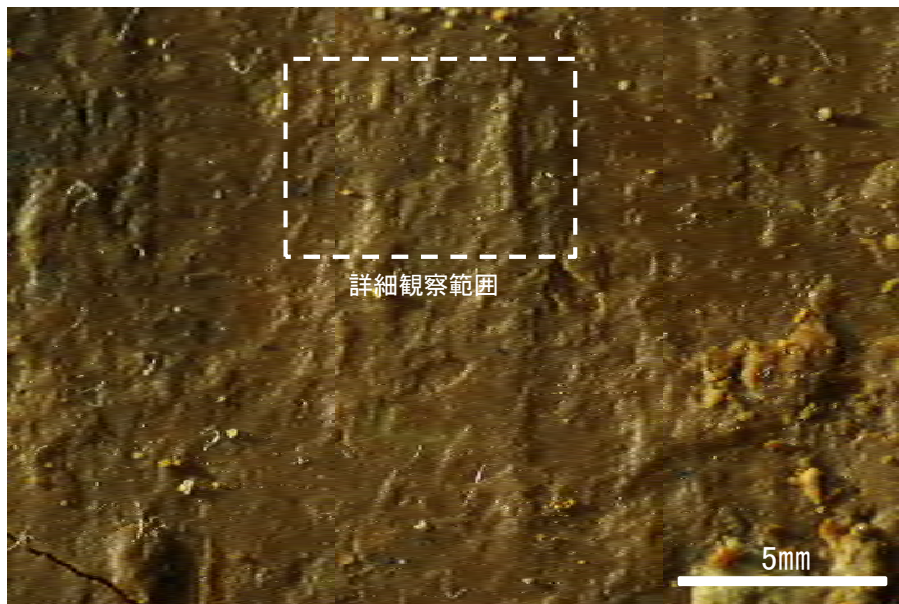
トレンチ写真



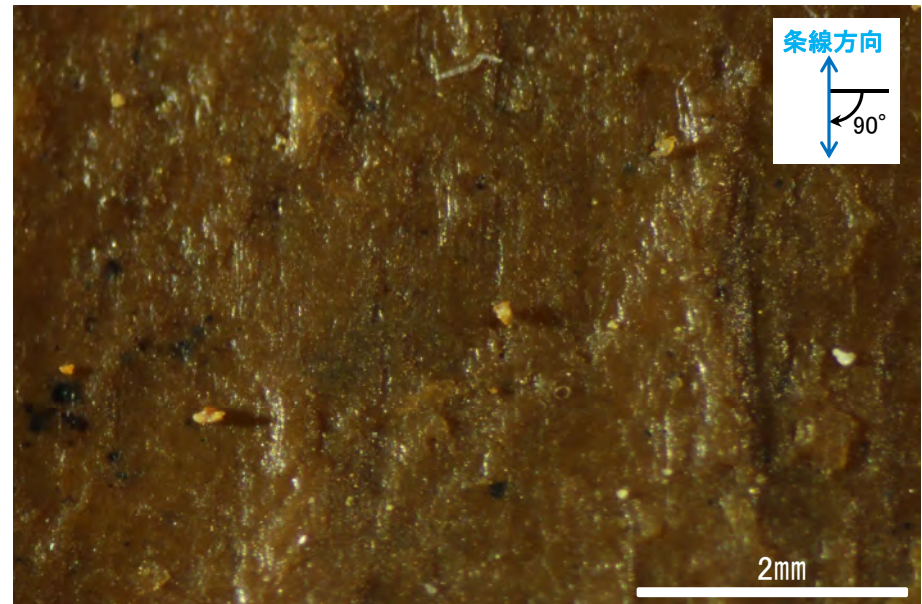
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

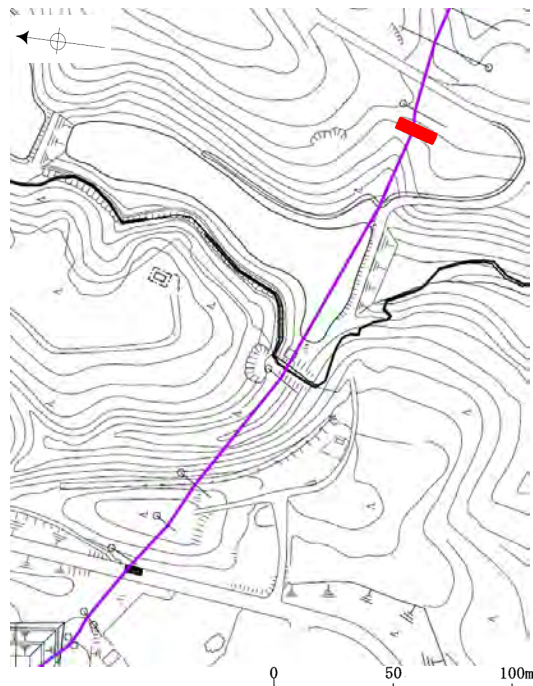


詳細観察写真

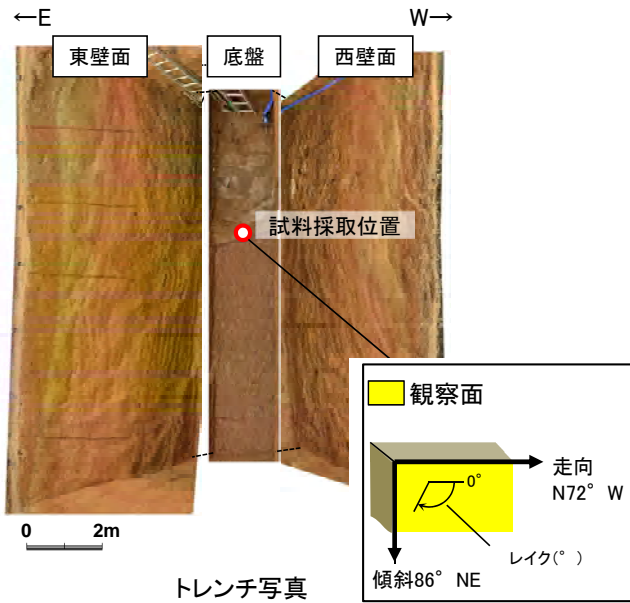
・条線のレイクは90° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(えん堤左岸トレンチ底盤(下盤側)②)

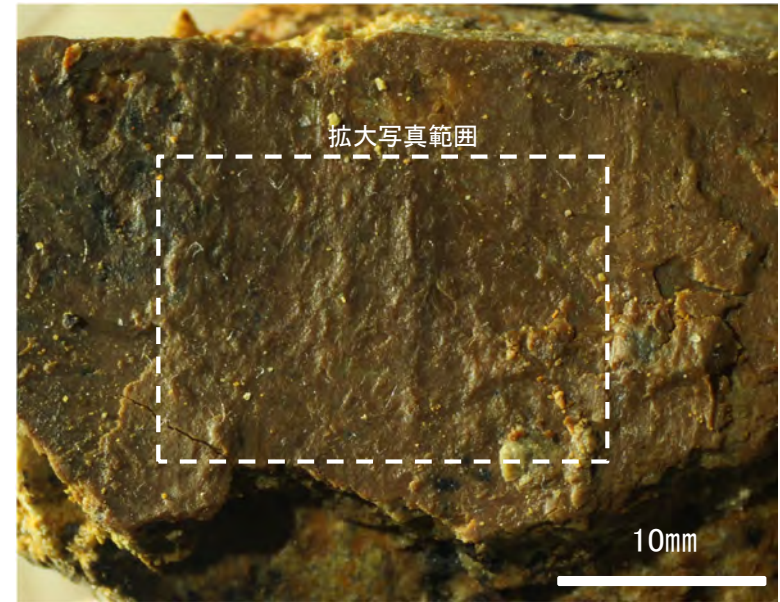


位置図

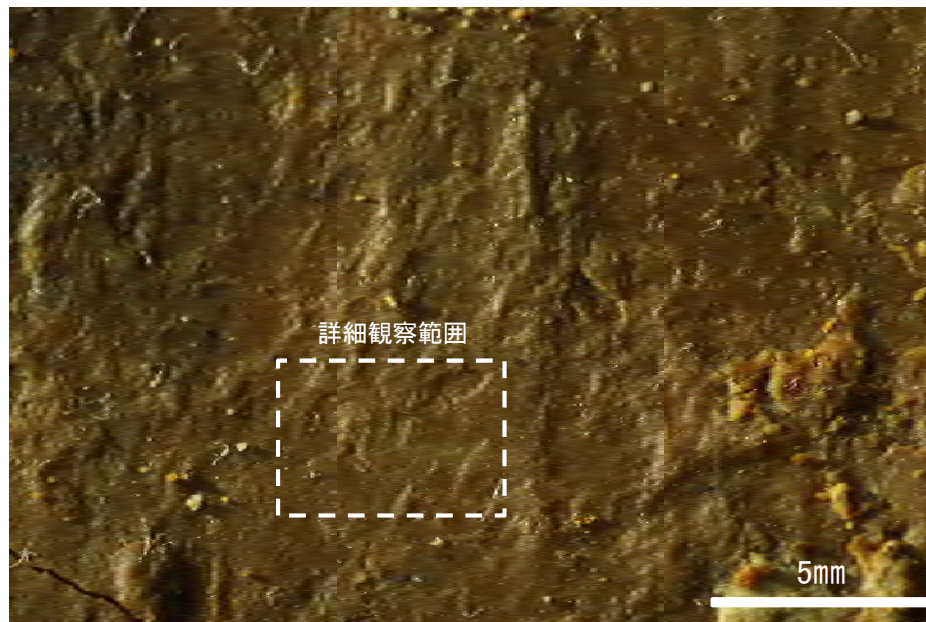


トレンチ写真

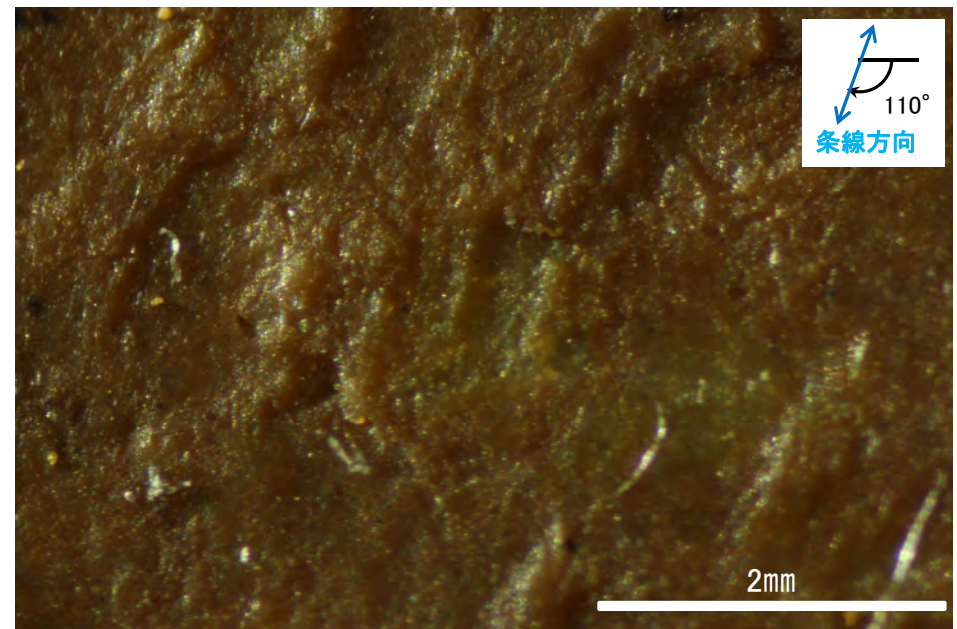
概念図



観察面写真



観察面拡大写真

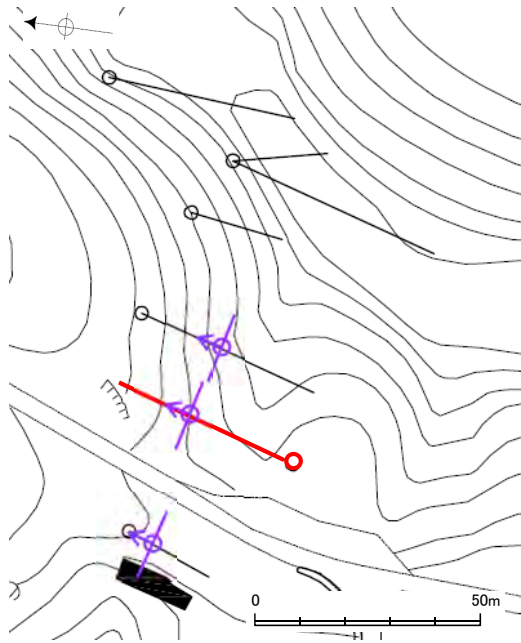


詳細観察写真

・条線のレイクは110° R, 変位センスは不明



# 条線観察結果(O-17.3[深度41.82m](下盤側)①)

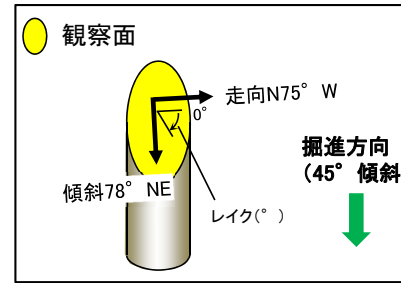


位置図

🔍 ボーリング箇所(O-17.3)

📍 シームS-1

EL28mに投影した位置  
長線は走向、矢印は傾斜方向を示す



概念図

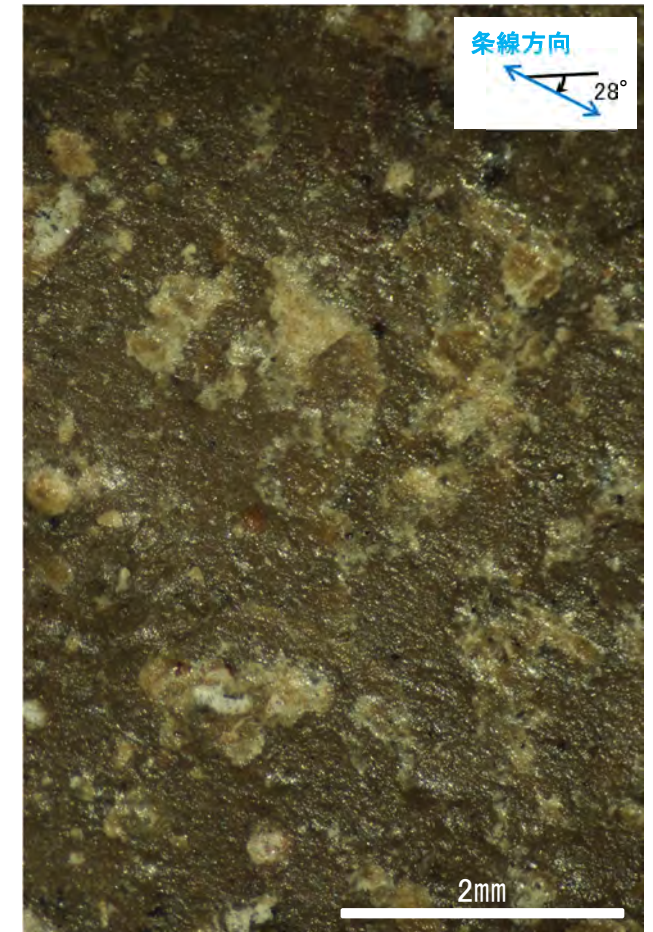
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

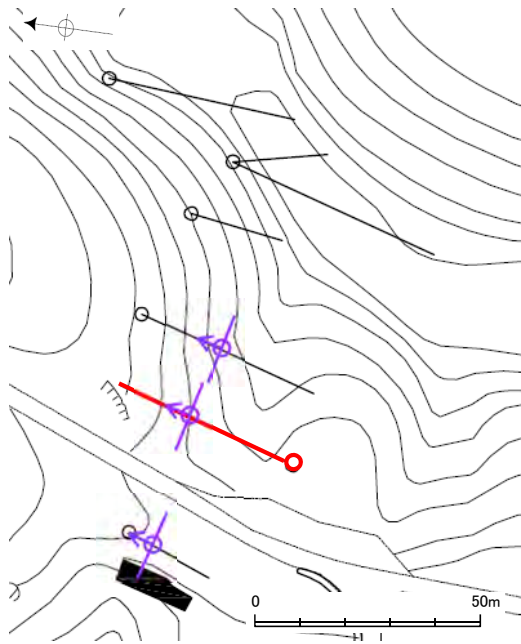


詳細観察写真

・条線のレイクは28° R, 変位センスは不明



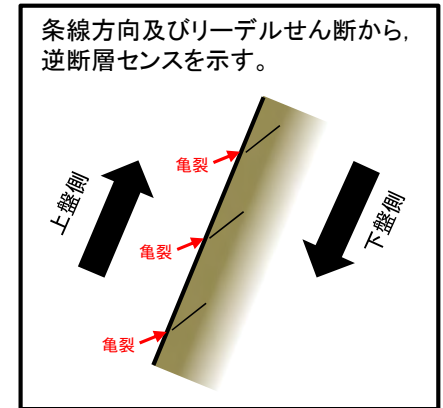
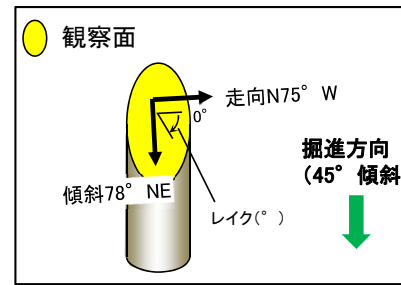
# 条線観察結果(O-17.3[深度41.82m](下盤側)②)



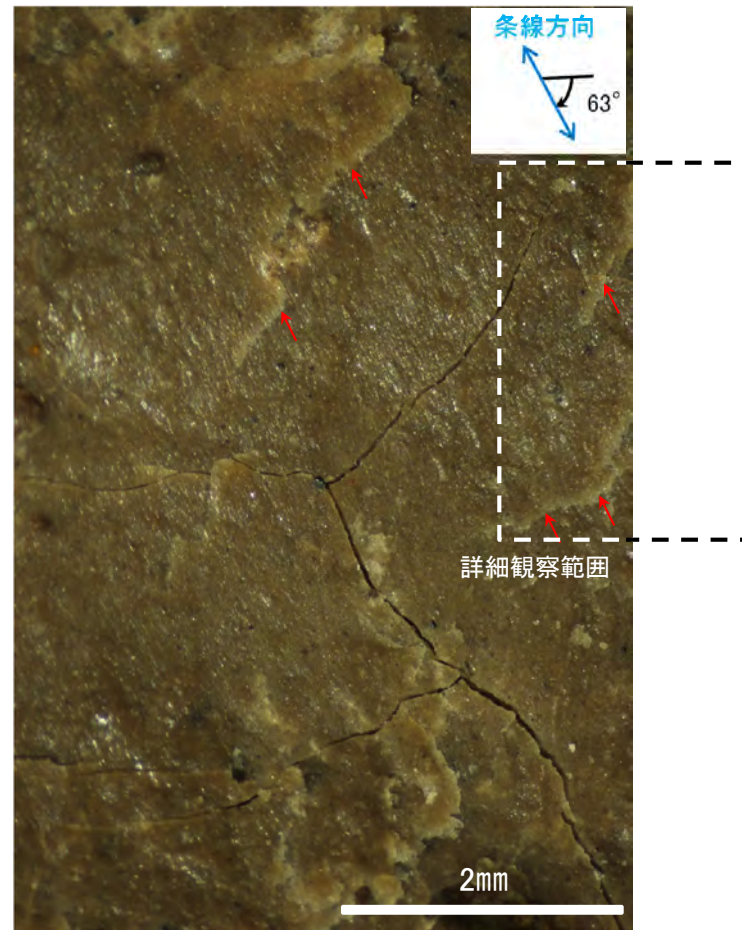
🔍 ボーリング箇所(O-17.3)

📏 シームS-1

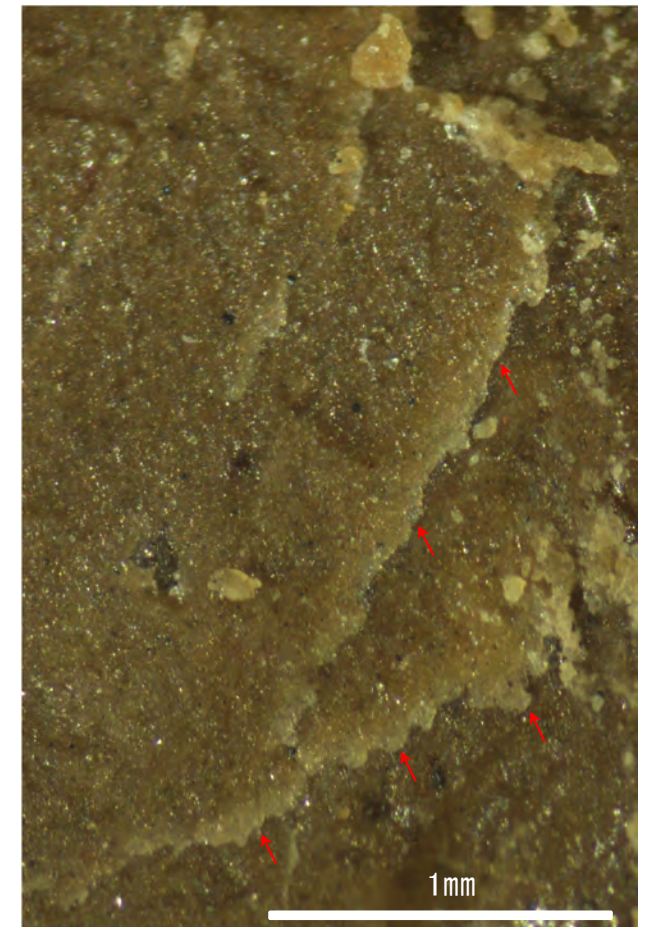
EL28mに投影した位置  
長線は走向, 矢印は傾斜方向を示す



観察面写真



観察面拡大写真

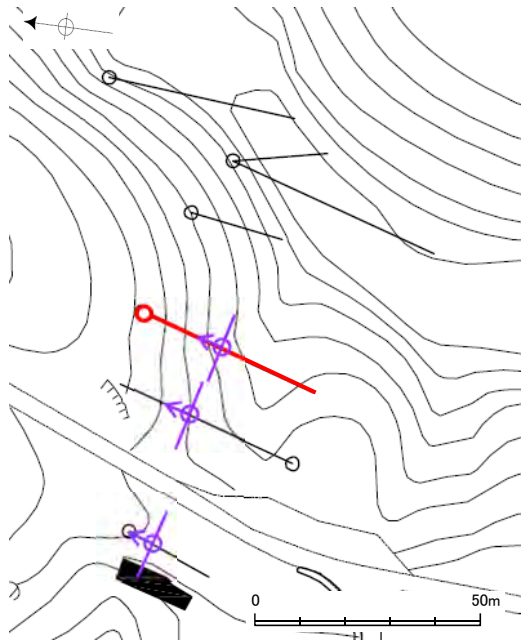


詳細観察写真

・条線のレイクは63° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(O-17.5[深度25.29m](下盤側))

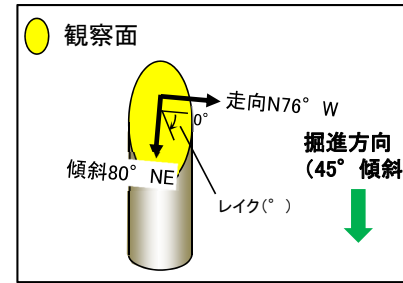


位置図

🔍 ボーリング箇所(O-17.5)

📐 シームS-1

EL28mに投影した位置  
長線は走向、矢印は傾斜方向を示す

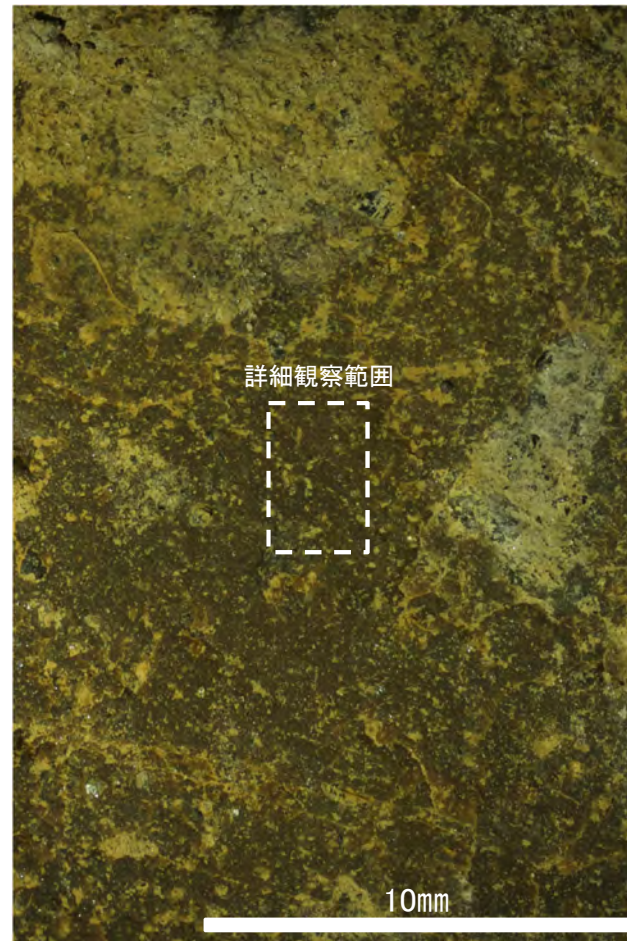


概念図

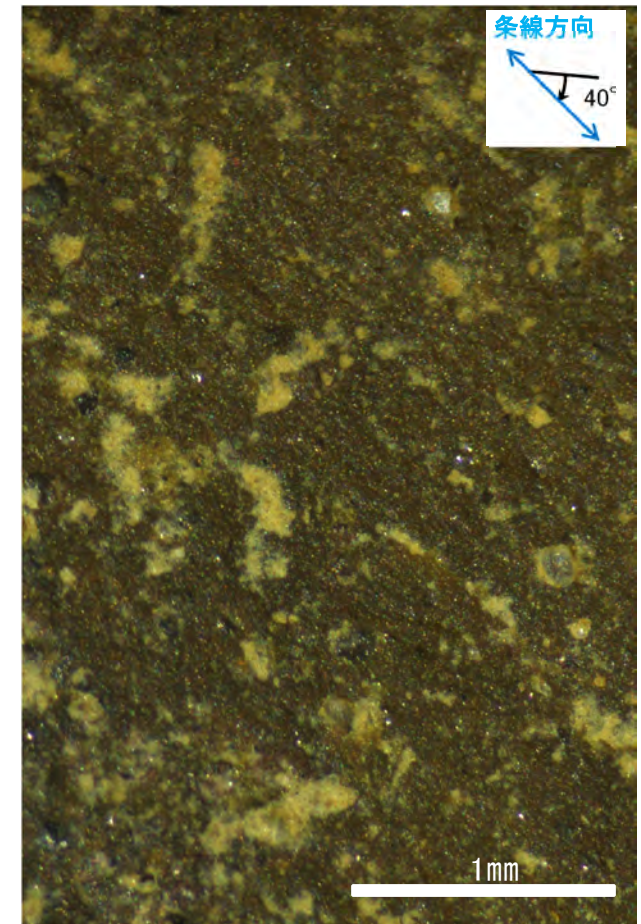
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

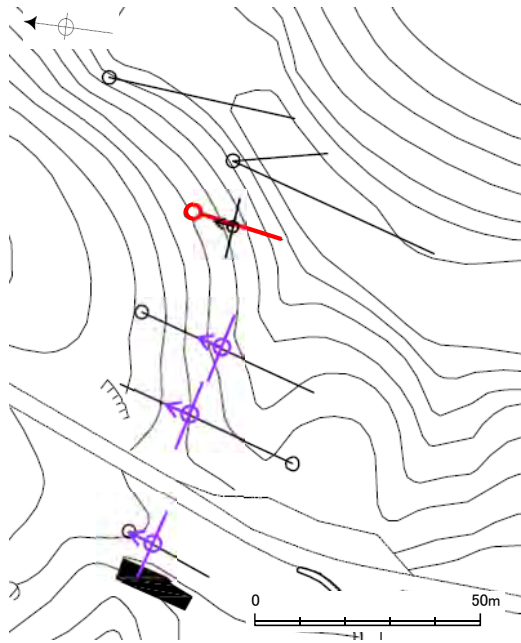


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明





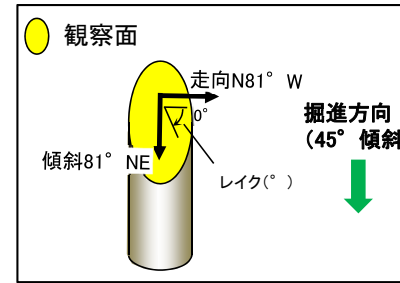
# 条線観察結果(O-17.9[深度16.02m](下盤側))



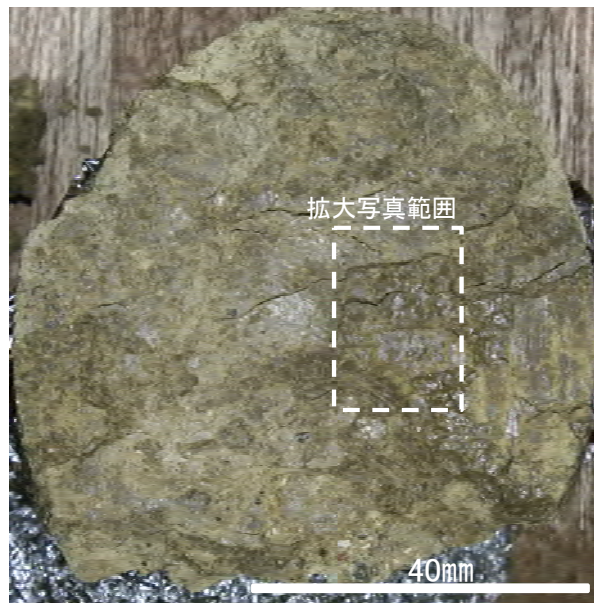
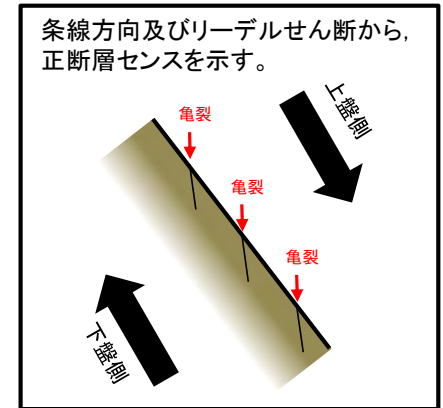
位置図

🔍 ボーリング箇所(O-17.9)

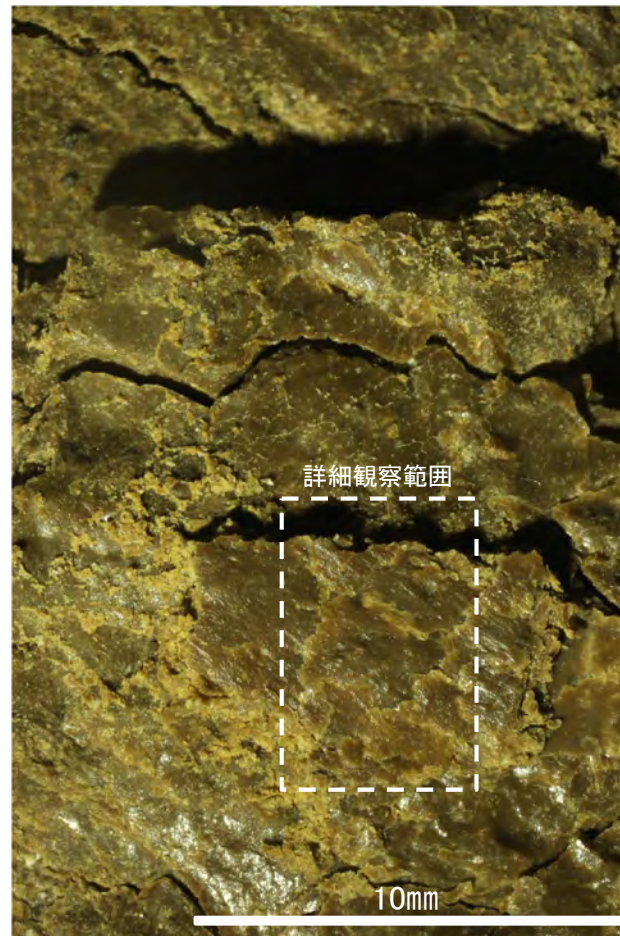
 シームS-1  
 シームを伴う割れ目  
 EL28mに投影した位置  
 長線は走向、矢印は傾斜方向を示す



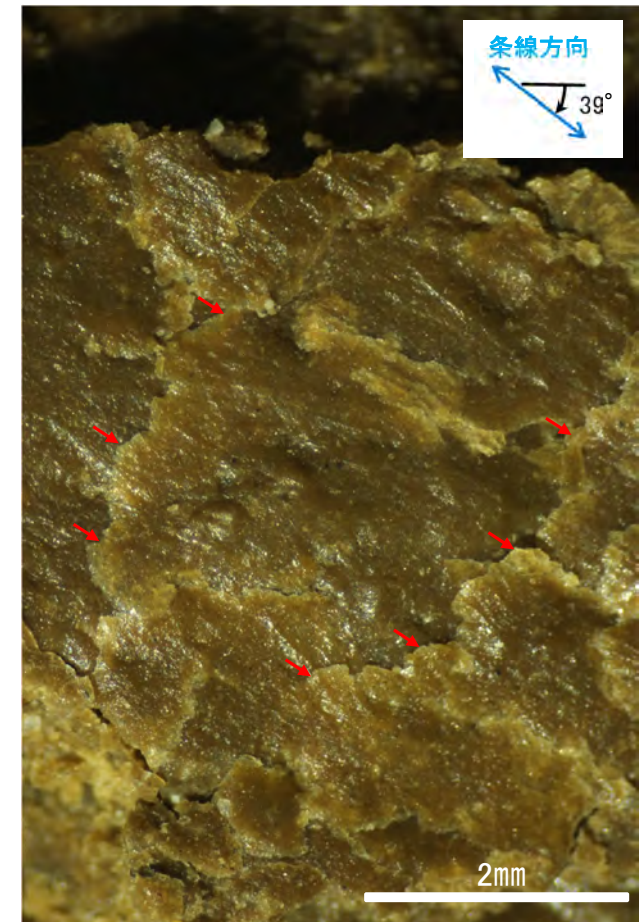
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

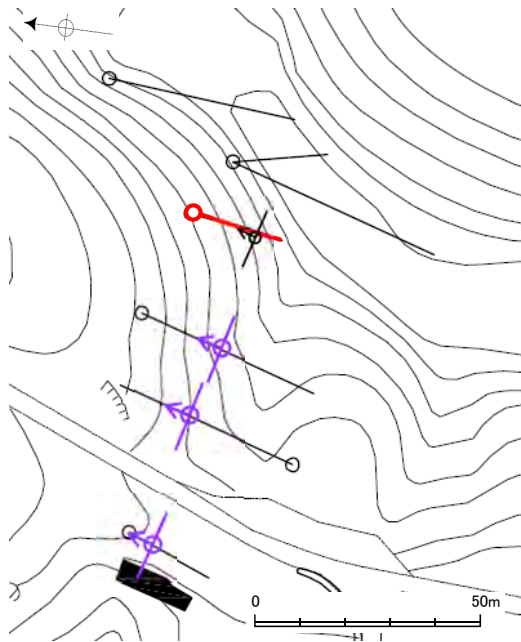


詳細観察写真

・条線のレイクは39° R, 変位センスは左ずれ正断層センス



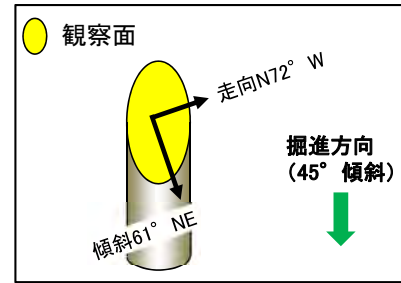
# 条線観察結果(O-17.9[深度17.72m](下盤側))



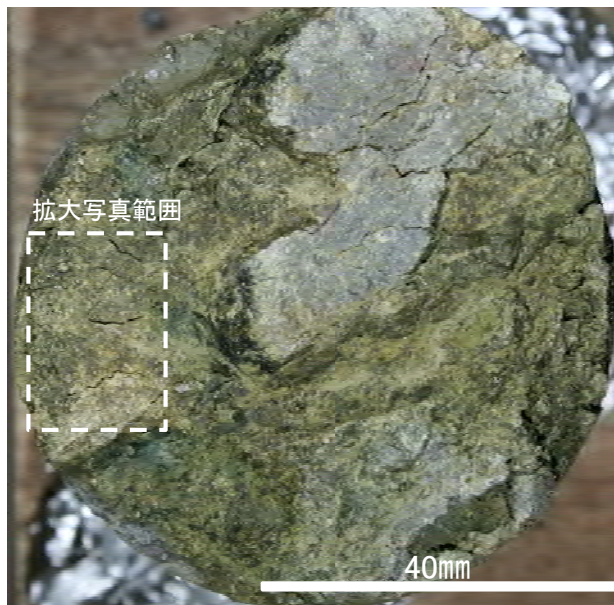
位置図

🔍 ボーリング箇所(O-17.9)

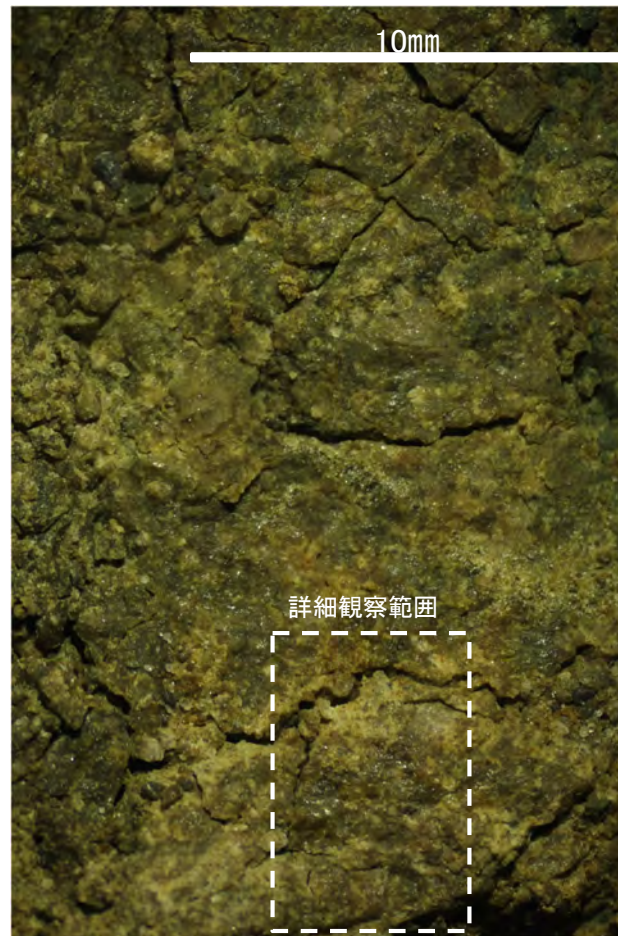
シームS-1  
 シームを伴う割れ目  
 EL28mに投影した位置  
 長線は走向, 矢印は傾斜方向を示す



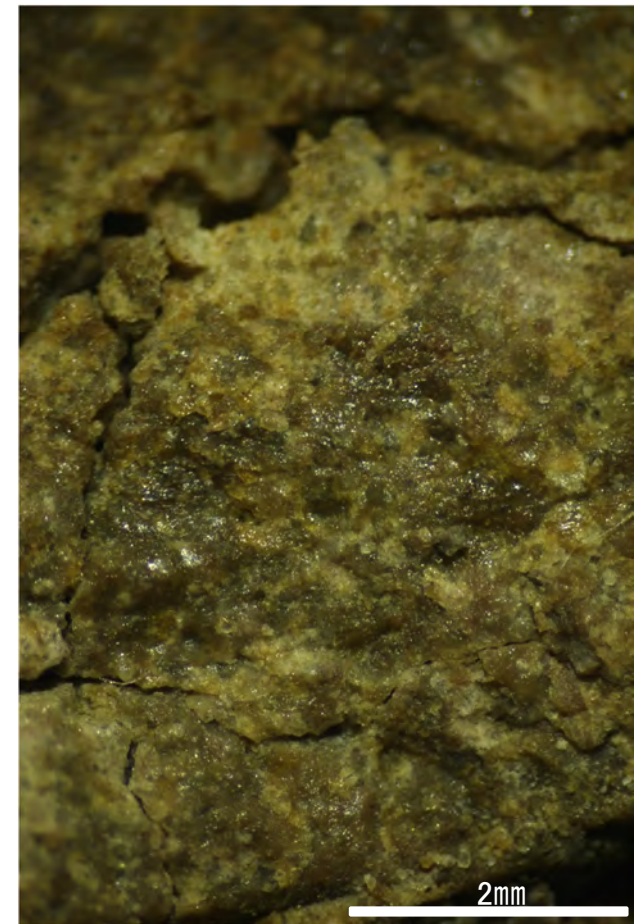
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

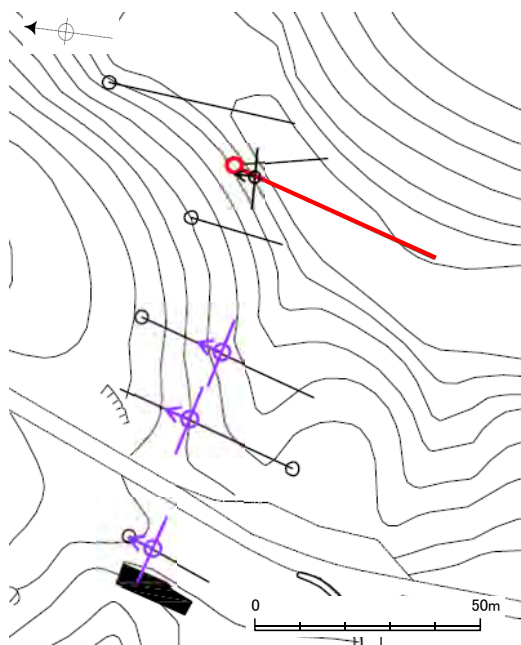


詳細観察写真

・条線は認められない

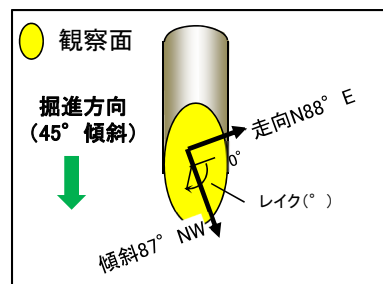
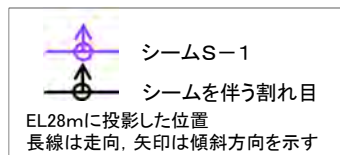


# 条線観察結果(O-18[深度6.61m](上盤側))



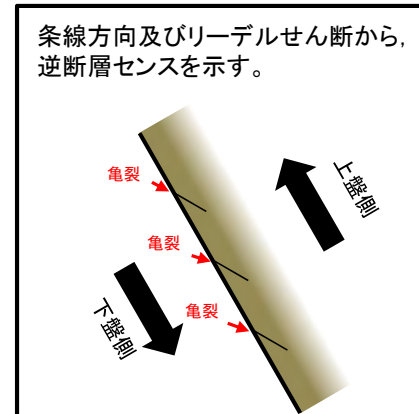
位置図

🔍 ボーリング箇所(O-18)

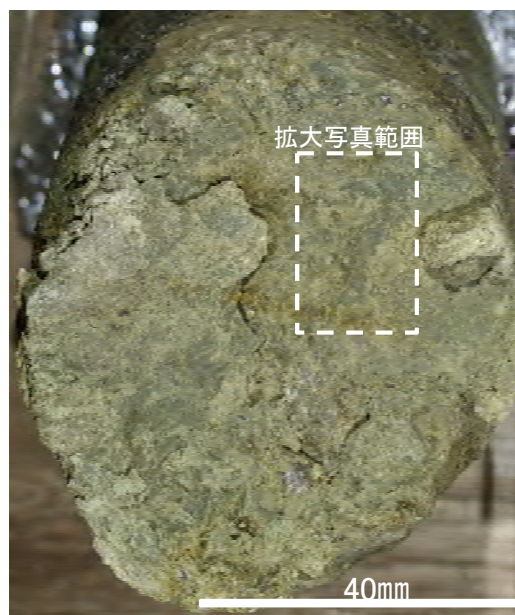


概念図

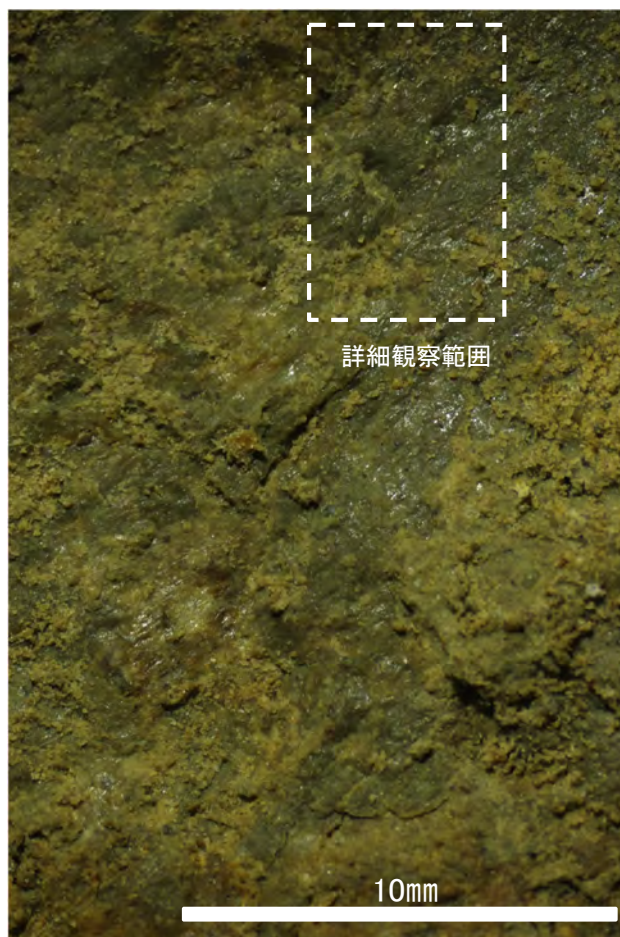
※走向は真北で示す。



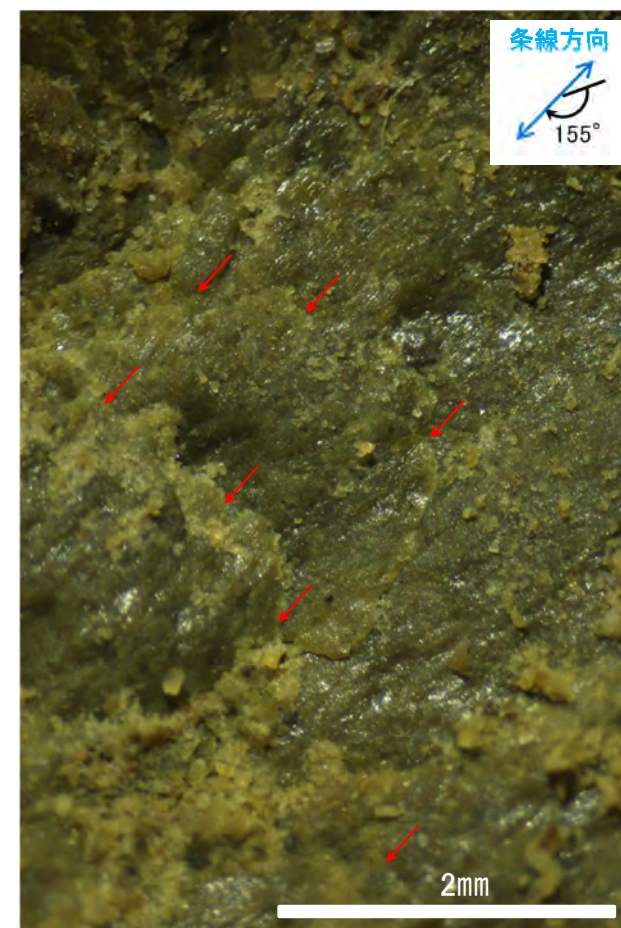
条線方向及びリーデルせん断から、逆断層センスを示す。



観察面写真



観察面拡大写真

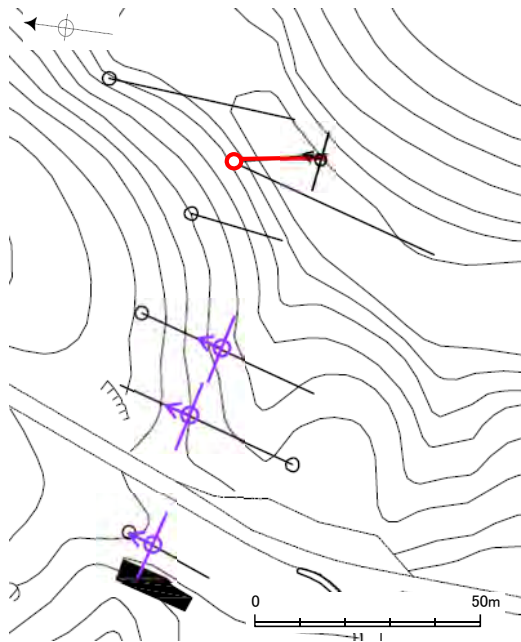


詳細観察写真

・条線のレイクは25° R(下盤側換算), 変位センスは右ずれ逆断層センス

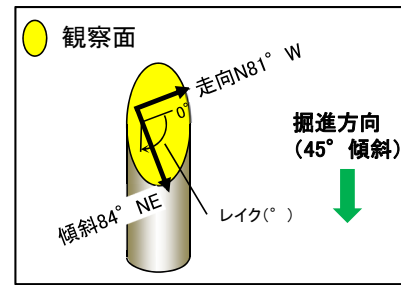
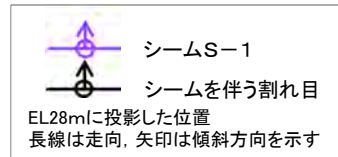


# 条線観察結果(O-18-2[深度23.83m](下盤側))

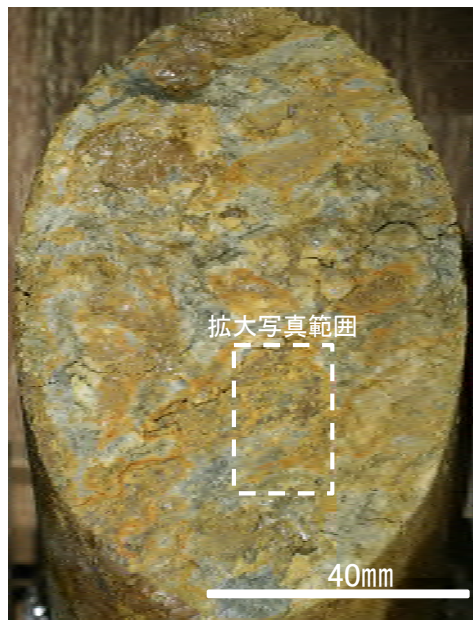


位置図

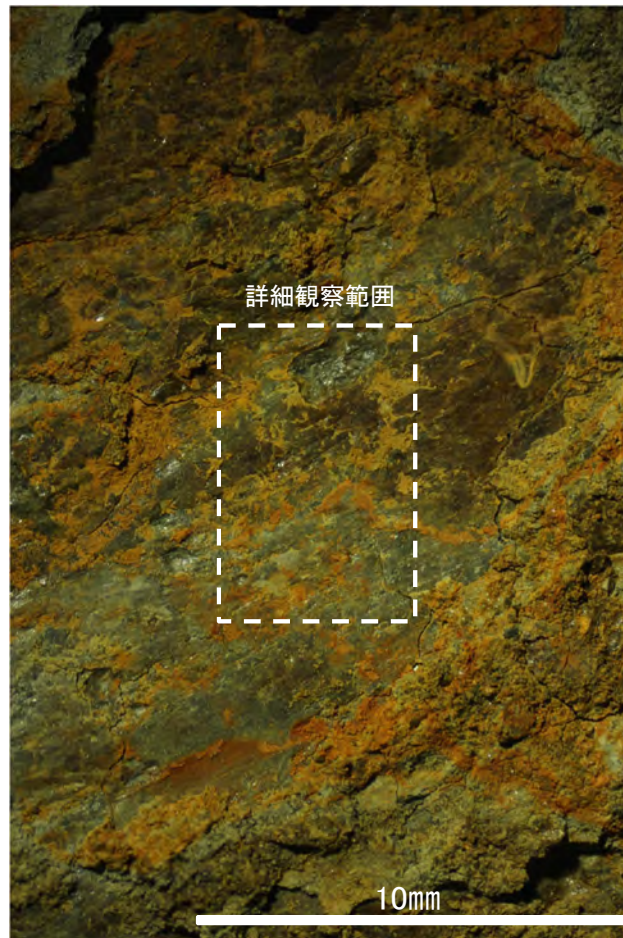
🔍 ボーリング箇所(O-18-2)



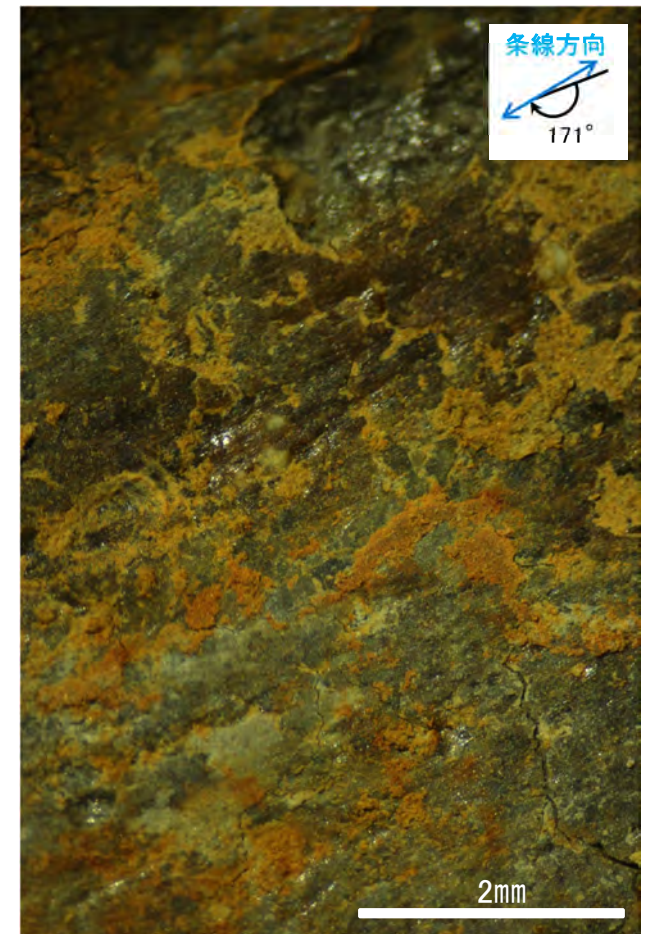
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

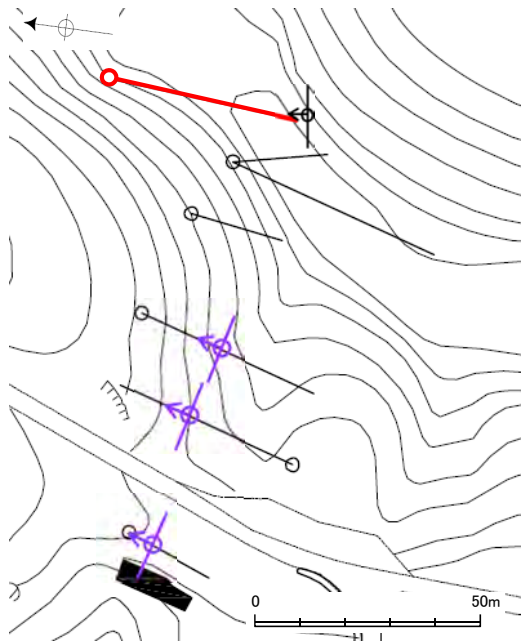


詳細観察写真

・条線のレイクは171° R, 変位センスは不明





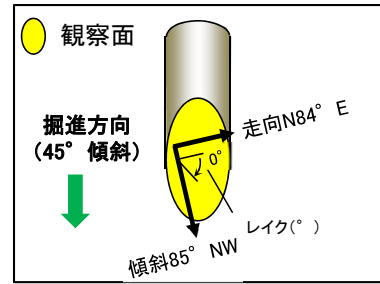
# 条線観察結果(O-18' [深度57.77m](上盤側))



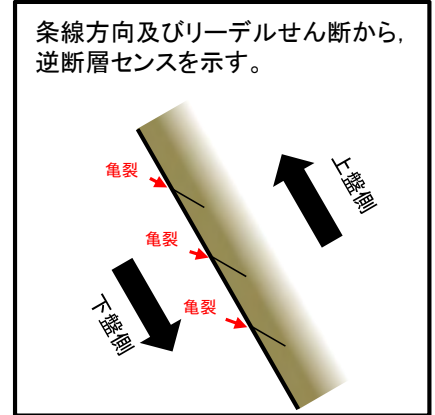
位置図

🔍 ボーリング箇所(O-18')

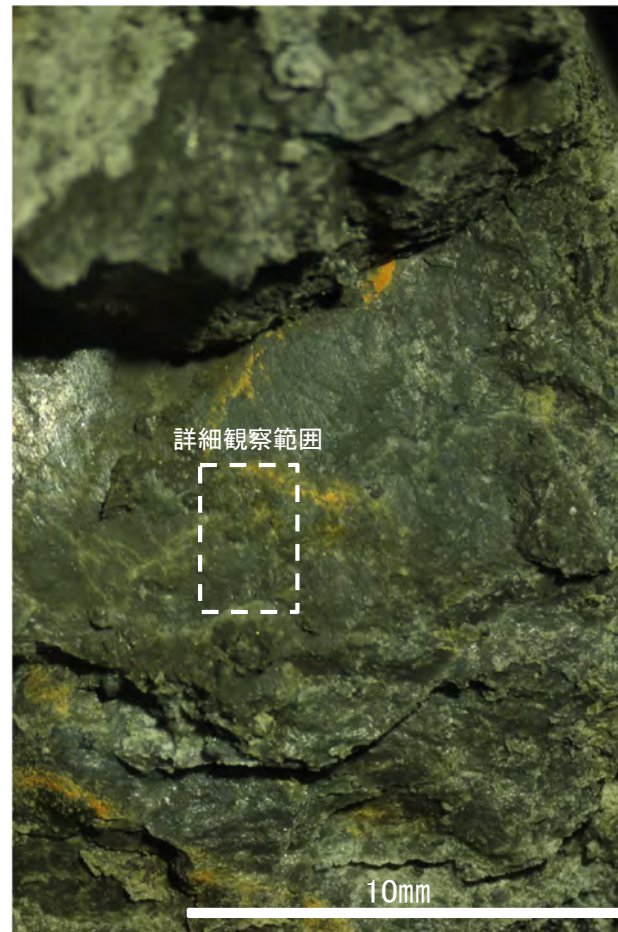
 シームS-1  
 シームを伴う割れ目  
 EL28mに投影した位置  
 長線は走向, 矢印は傾斜方向を示す



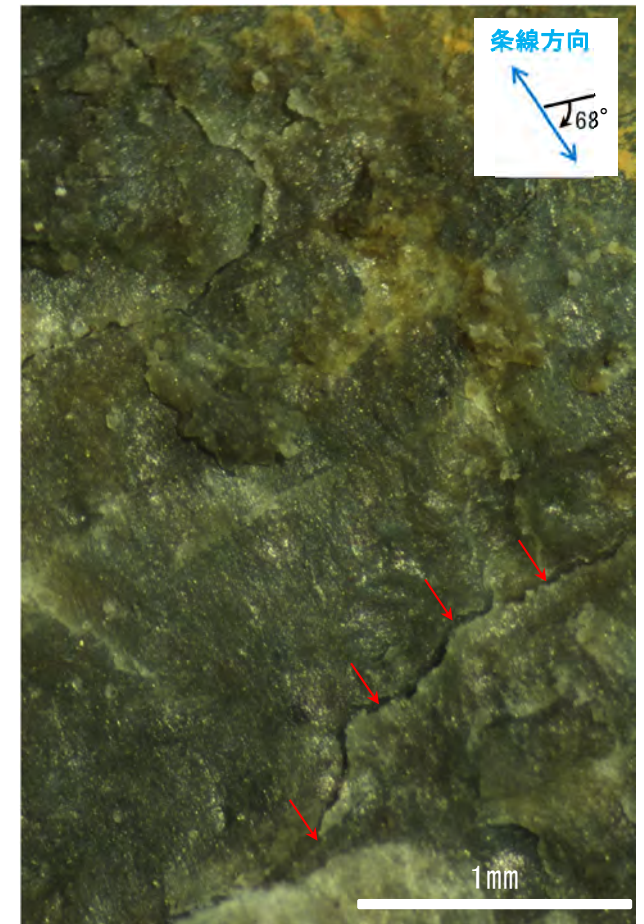
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

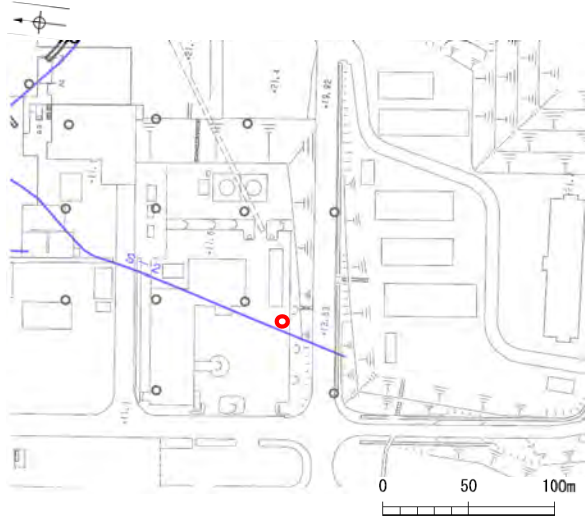


詳細観察写真

・条線のレイクは $112^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは左ずれ逆断層センス

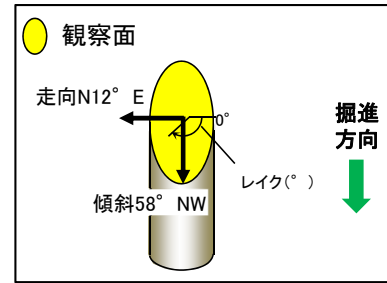


# 条線観察結果(L-6' [深度13.82m](下盤側))



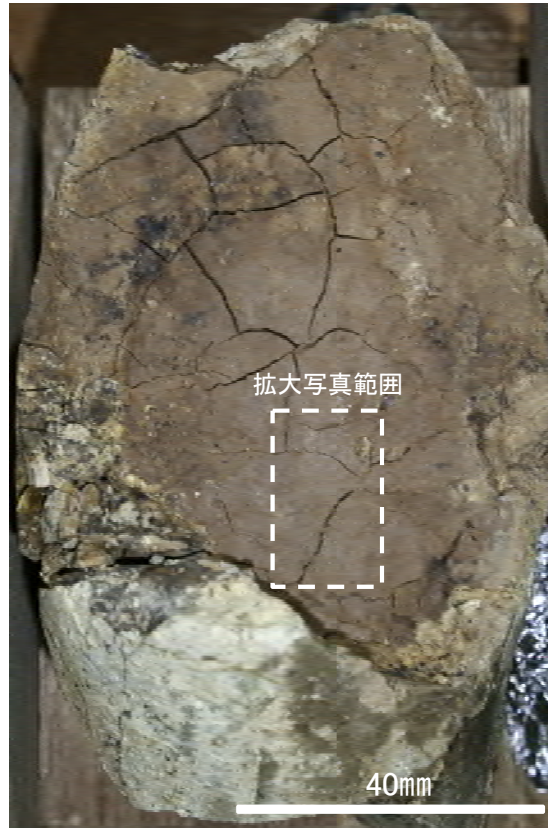
位置図

- シーム (EL-4.7m)
- ボーリング箇所 (L-6')

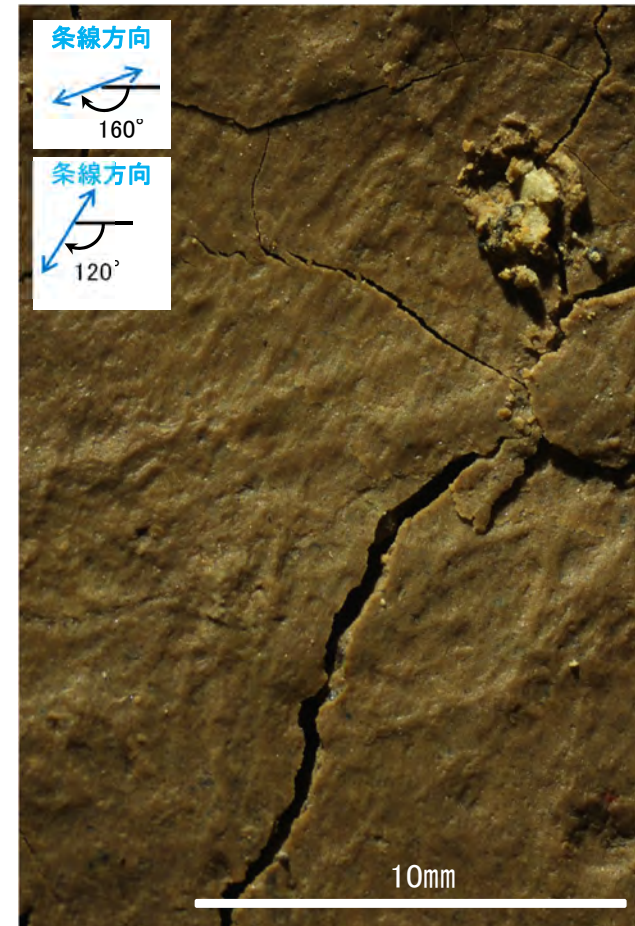


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真

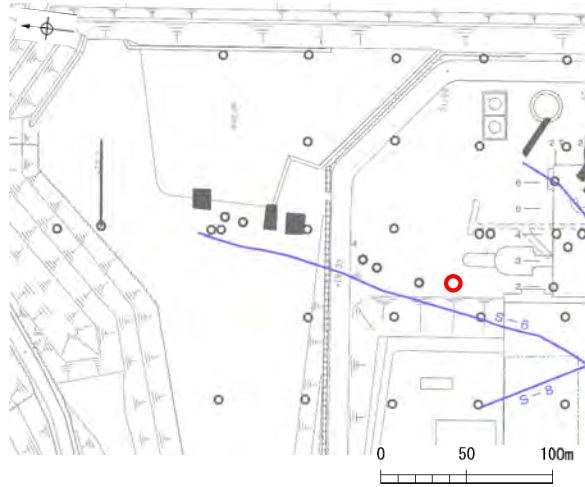


観察面拡大写真

・条線のレイクは160° R及び120° R, 変位センスは不明

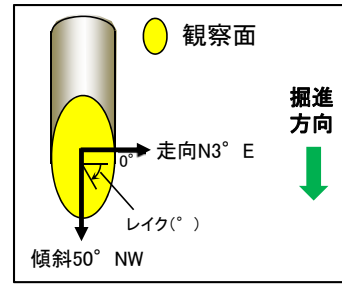


# 条線観察結果(F-8.5[深度8.93m])(上盤側)

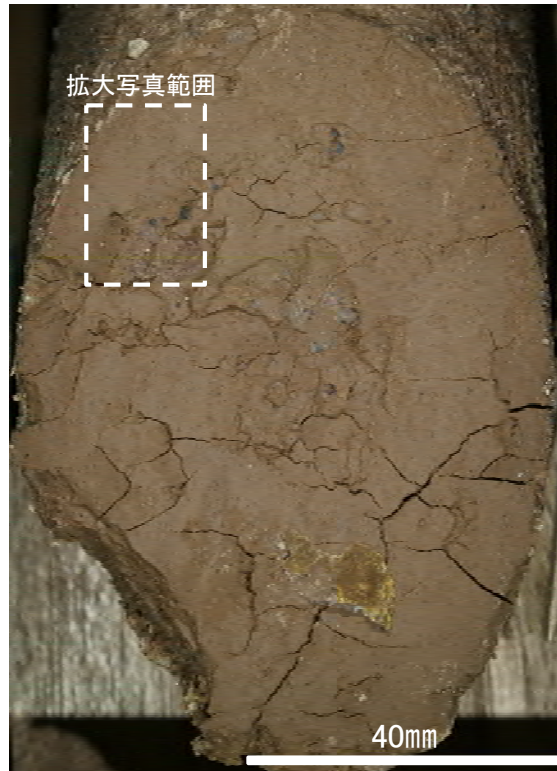


位置図

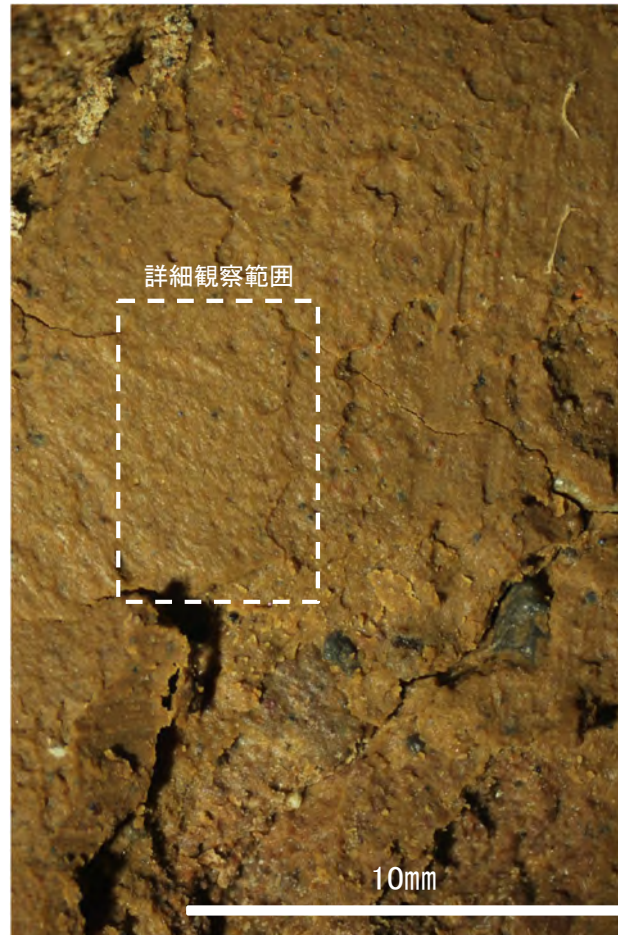
- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(F-8.5)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



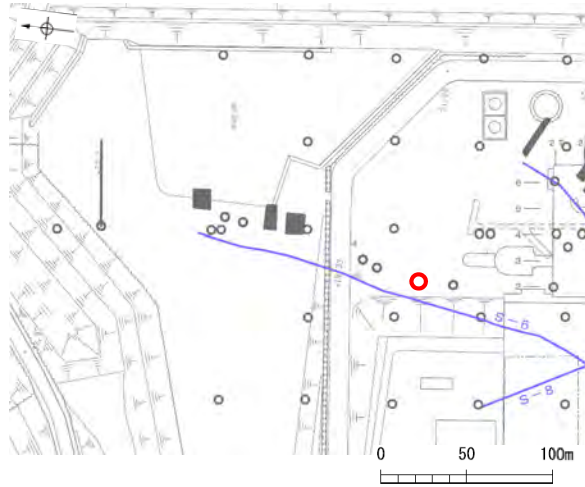
詳細観察写真

※高角度の条線は認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。

・条線のレイクは140° R(下盤側換算), 変位センスは不明

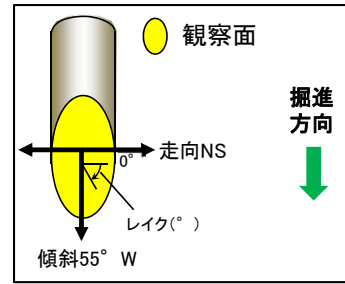


# 条線観察面(E-8.5[深度14.40m](上盤側))

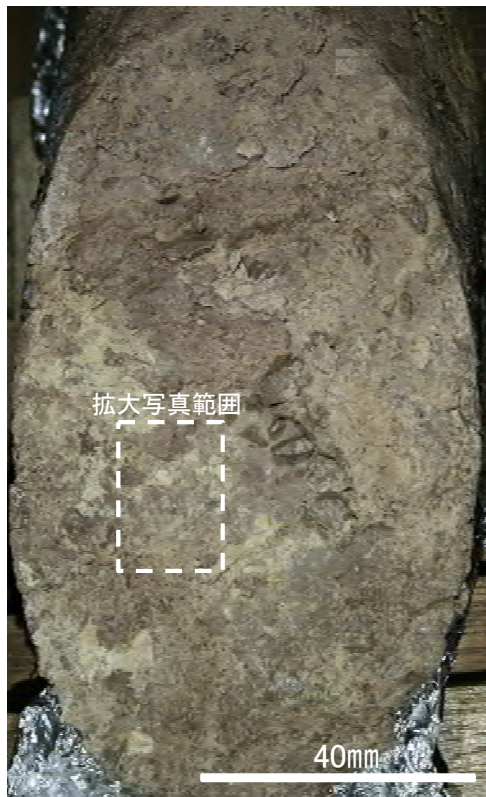


位置図

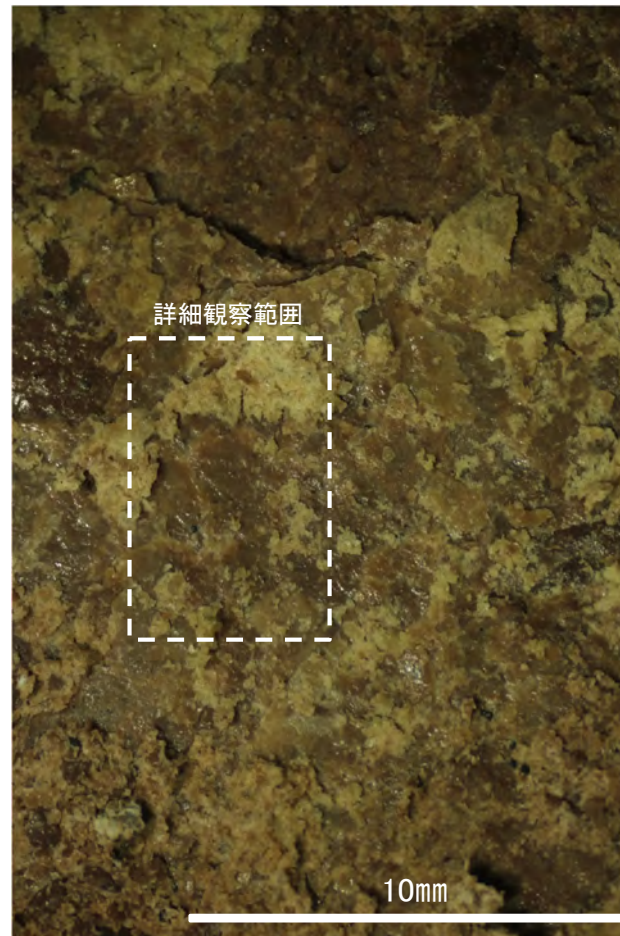
- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(E-8.5)



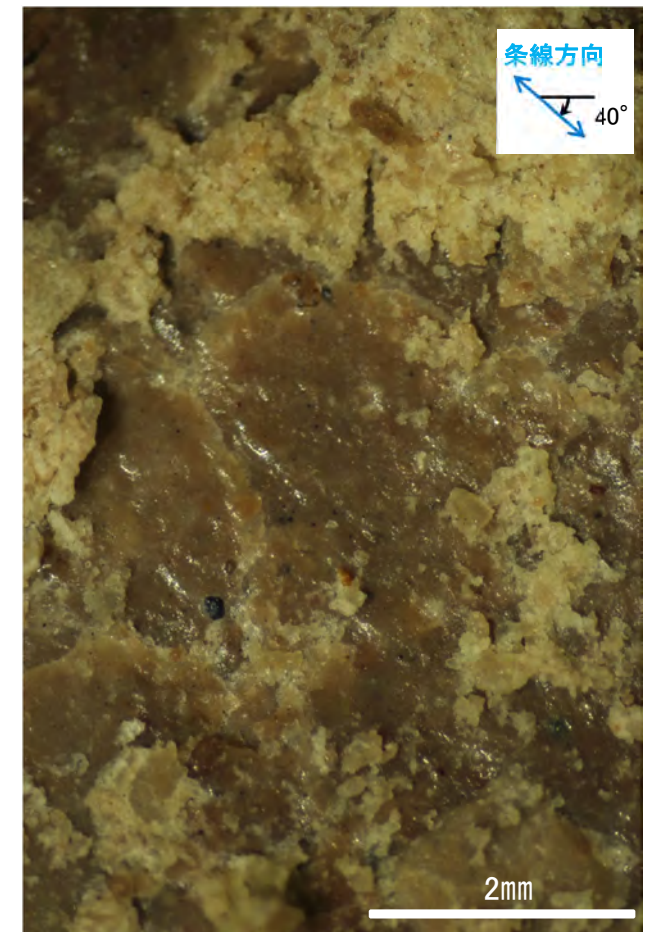
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは140° R(下盤側換算), 変位センスは不明

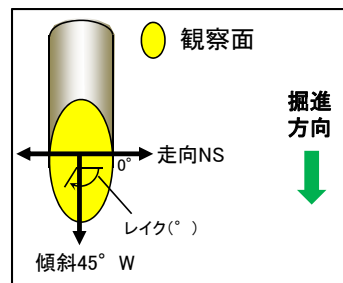


# 条線観察面(E-8.6[深度11.70m])(上盤側))



位置図

- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(E-8.6)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

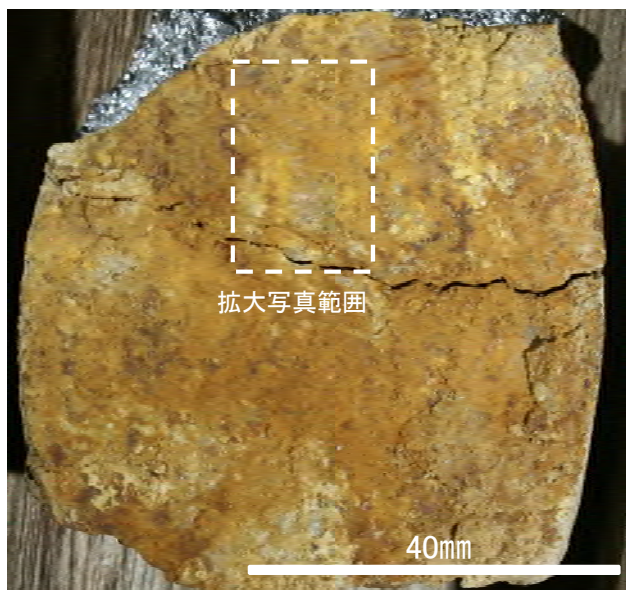
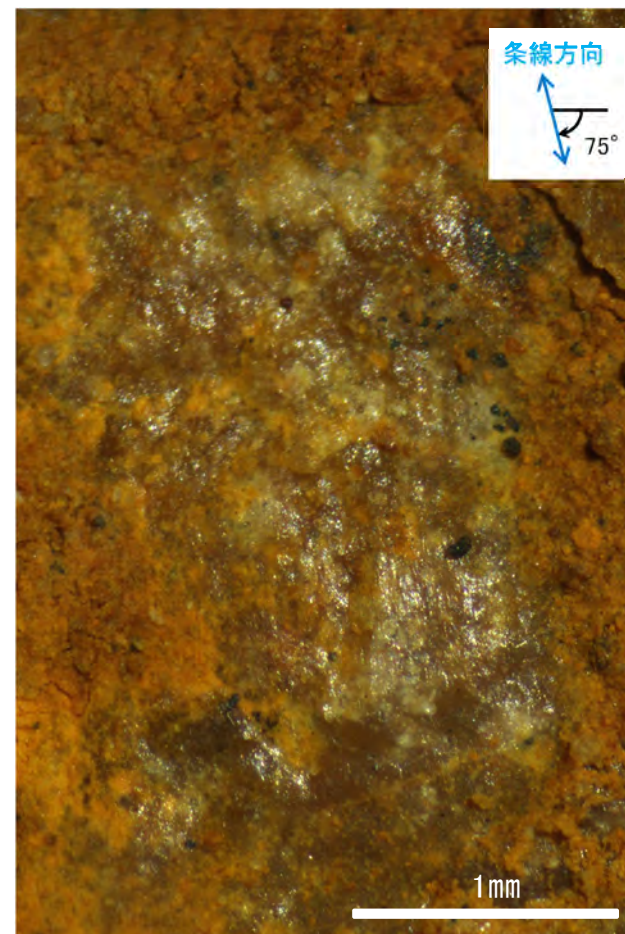
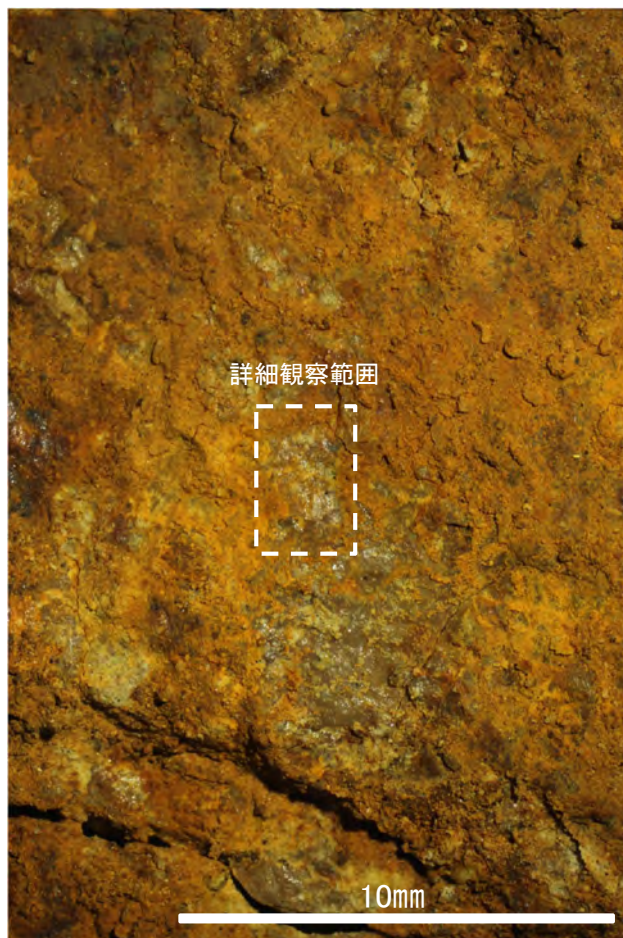
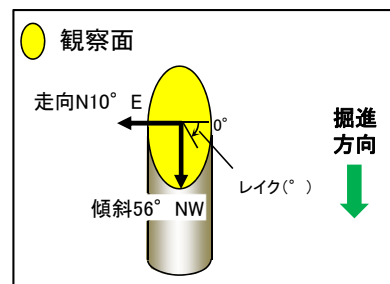
・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明



# 条線観察結果(E-8.7[深度10.09m](下盤側))



- シーム (EL-4.7m)
- ボーリング箇所 (E-8.7)



観察面写真

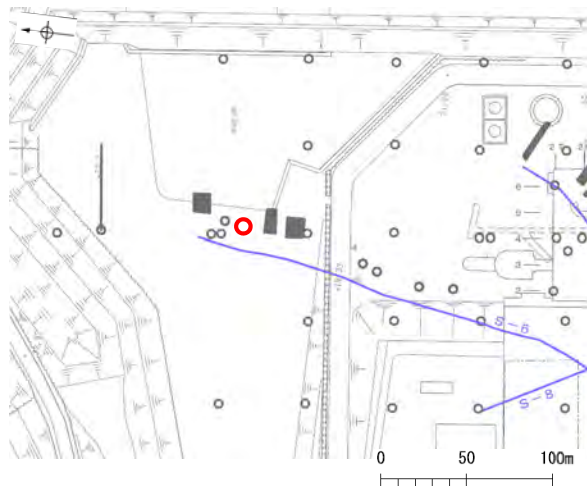
観察面拡大写真

詳細観察写真

・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

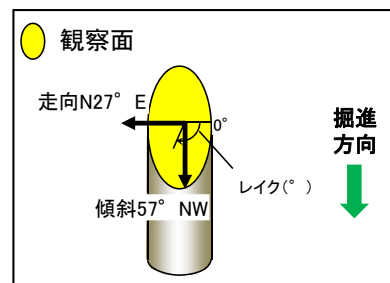


# 条線観察面 (C-9.1 [深度10.82m] (下盤側))



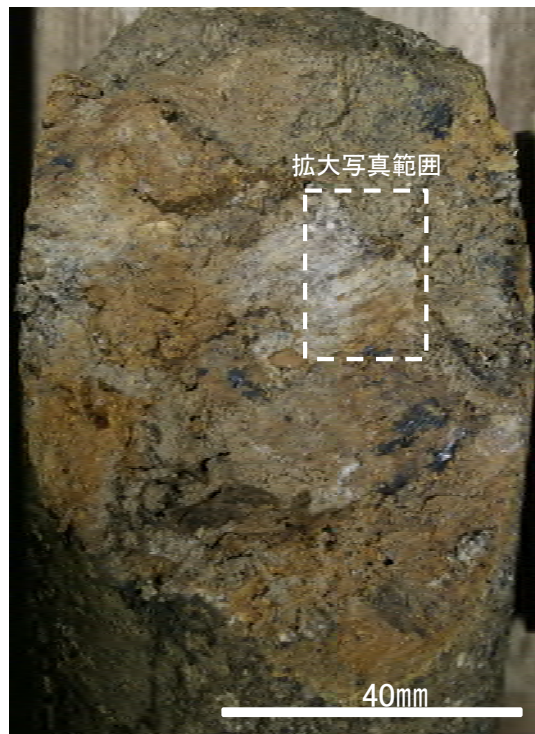
位置図

- シーム (EL-4.7m)
- ボーリング箇所 (C-9.1)

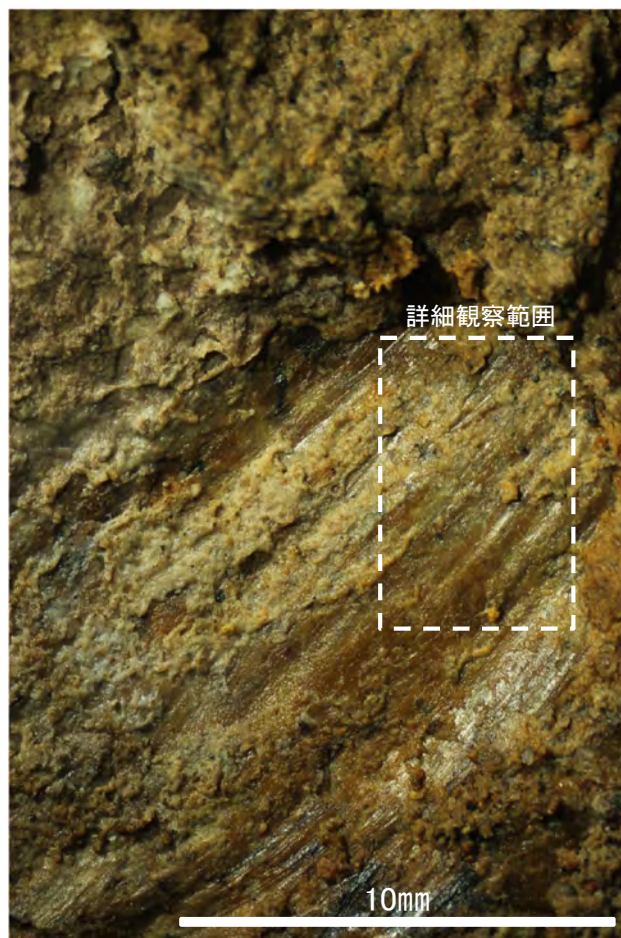


概念図

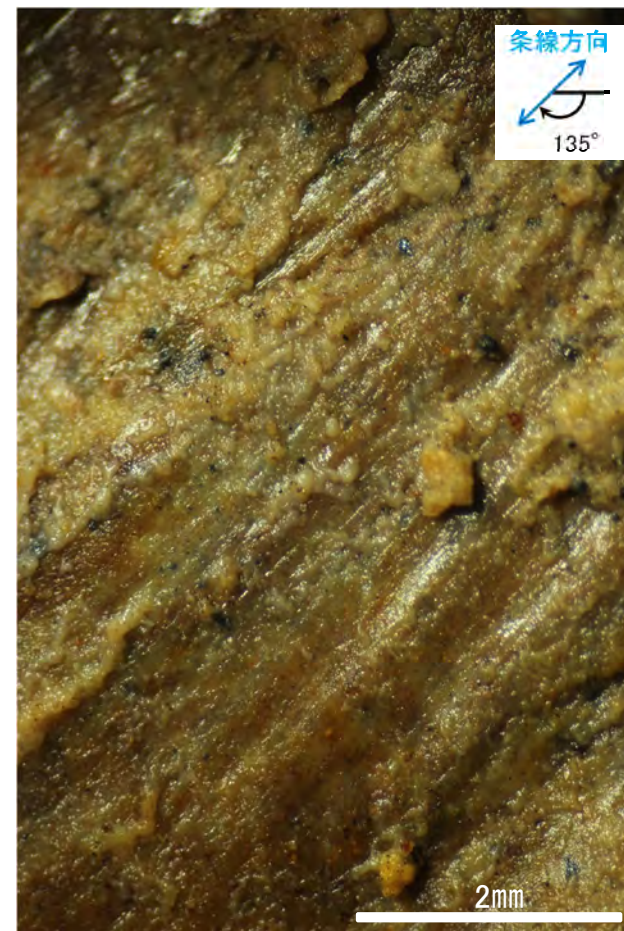
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

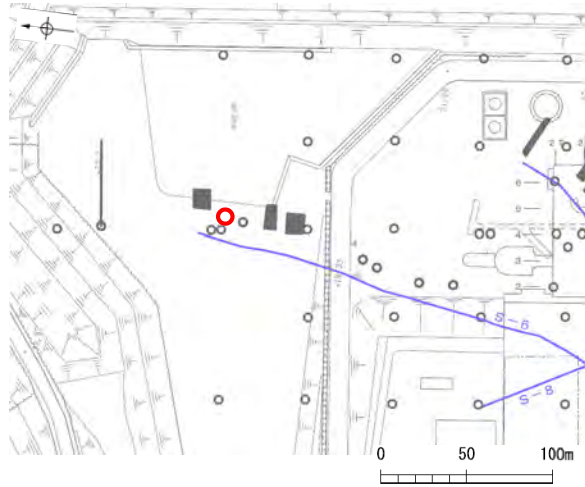


詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明

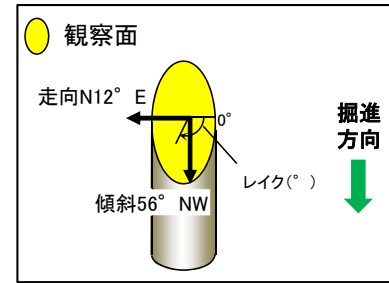


# 条線観察面(C-9.2[深度10.56m](下盤側)①)



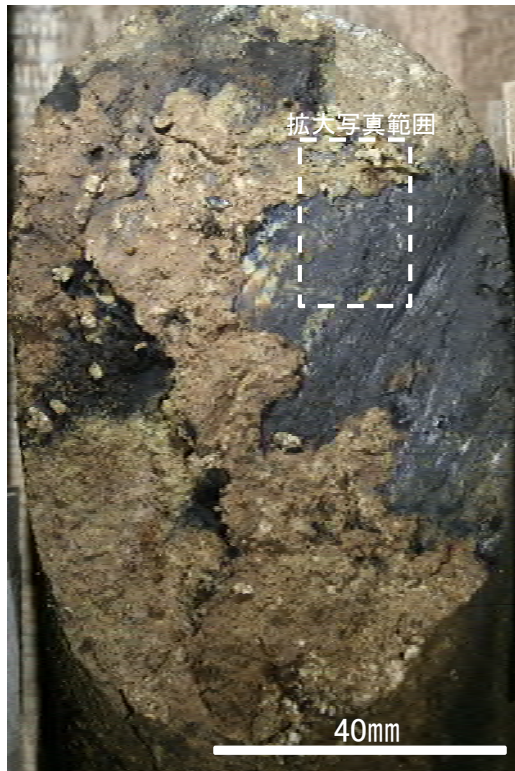
位置図

- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(C-9.2)

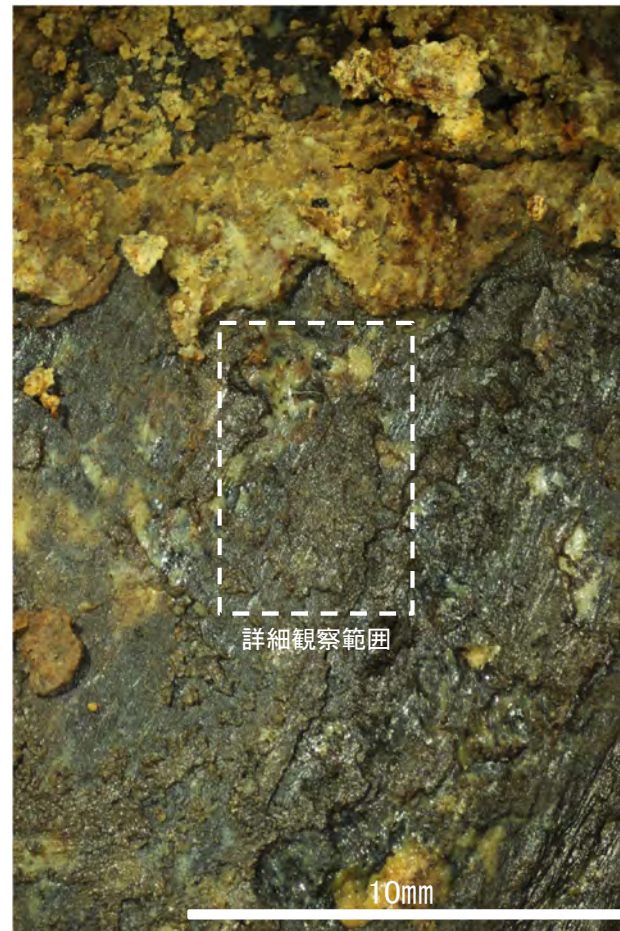


概念図

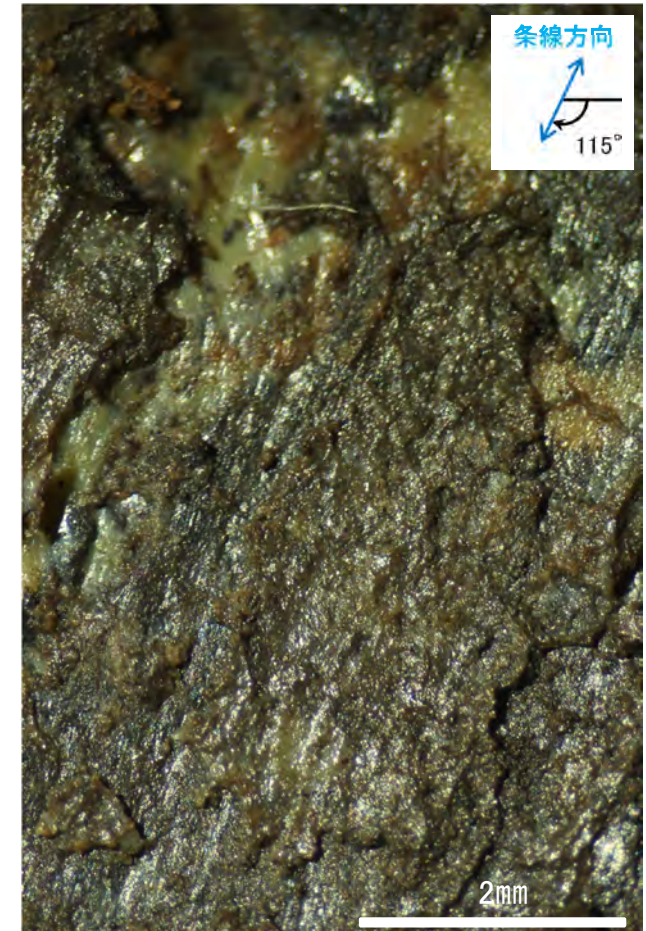
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

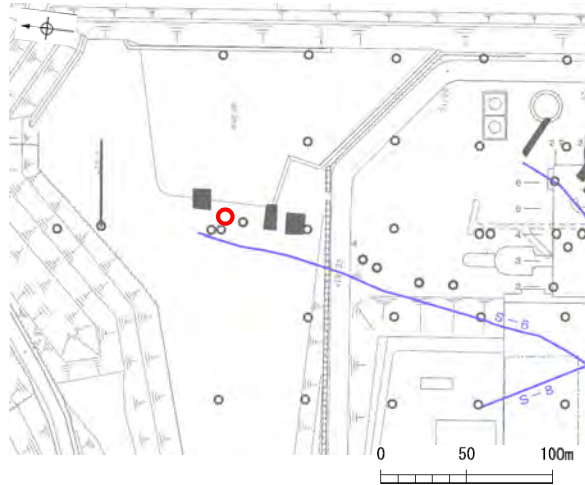


詳細観察写真

・条線のレイクは115° R, 変位センスは不明

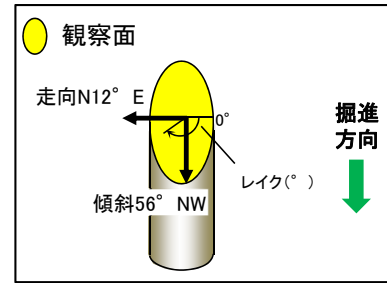


# 条線観察面(C-9.2[深度10.56m](下盤側)②)



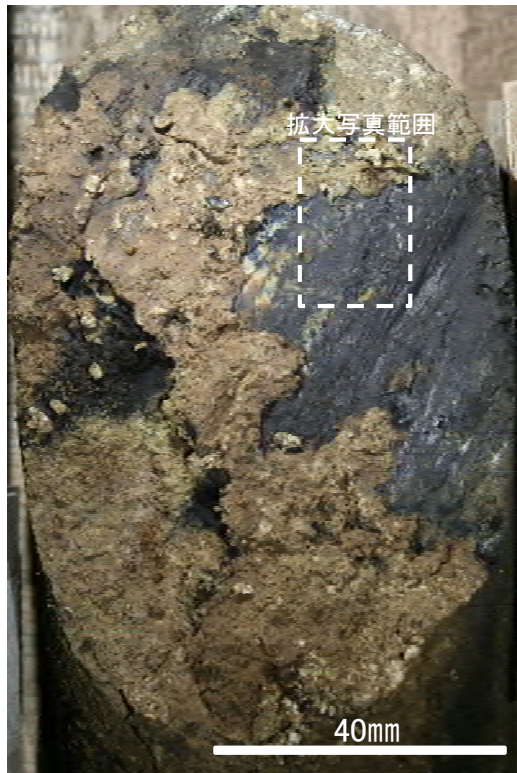
位置図

- シーム(EL-4.7m)
- ボーリング箇所(C-9.2)

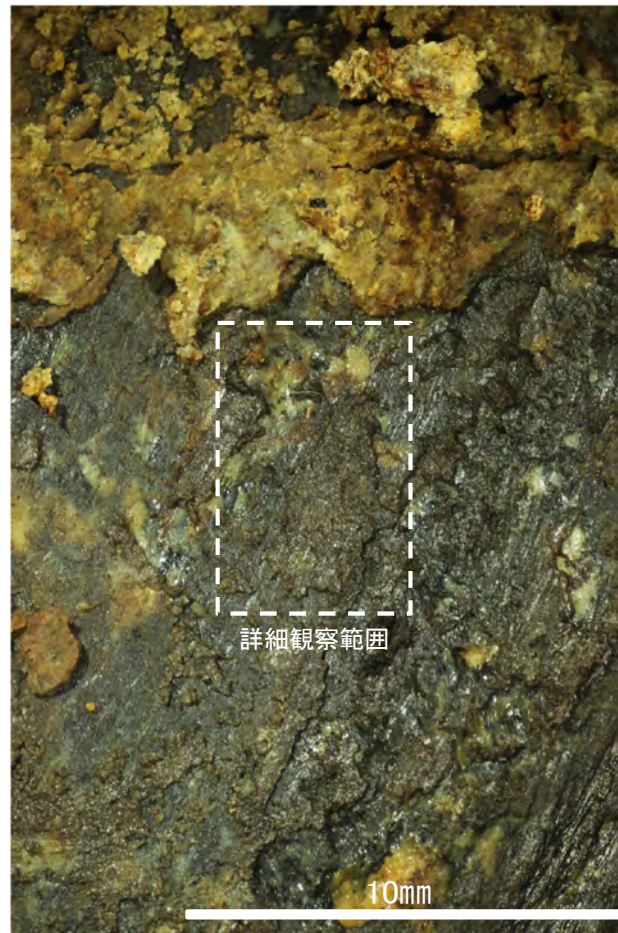


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは160° R, 変位センスは不明



## 5. シーム付近のコア写真及びBHTV画像一覧



# シームS-1(コア写真)①

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	J-9'	28.67	淡黄色	礫混じり 粘土	3.0~4.0	有	N72° W/74° NE	
	J-9''	29.33	暗灰黄色 ~ オリーブ 褐色	礫混じり 粘土	0.5~2.0	有	N83° E/73° NW	
	T-1	水平 3.34	赤褐色	粘土	0.5	有	N60° W/68° NE	
	T-2	水平 2.85	赤褐色	粘土	0.8	有	N62° W/65° NE	
	T-3	水平 2.55	赤褐色	砂混じり 粘土	1.5	有	N61° W/67° NE	

※走向は真北で示す。



## シームS-1(コア写真)②

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	T-4	水平 2.00	赤褐色	シルト質 粘土	0.2	有	N62° W/71° NE	
	L-12.5	174.18	明緑灰色 ～ 赤褐色	礫混じり 粘土	3.0	無	N85° W/66° NE	
	L-13.5	293.88	灰赤色	礫混じり 粘土	0.2～1.0	有	N2° W/85° NE	
	M-12.5	63.43	明黄褐色	粘土	フィルム状 ～ 0.5	有	N62° W/72° NE	
	N-13	11.10	淡黄色	粘土	0.1～0.4	有	N50° W/75° NE	

※走向は真北で示す。



### シームS-1(コア写真)③

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	N-13'	23.39	褐灰色	粘土	フィルム状 ~ 0.2	有	N52° W/69° NE	
	N-13.5'	10.90 (傾斜73°)	黄灰色 ~ 暗褐色	粘土	0.1~1.4	有	N87° E/73° NW	
	N-14	30.97 (傾斜73°)	淡褐灰色	礫混じり 粘土	1.3~4.2 (岩盤の局所的 なV字割れ目 に入り込んでいる 部分を除く)	有	N36° W/80° NE	
	N-14.5	21.31 (傾斜73°)	暗黄褐色	粘土	0.1~0.2	有	N55° W/84° NE	
	O-14.5	26.93 (傾斜73°)	暗赤褐色	砂質 粘土	0.3~0.4	有	N72° W/89° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1(コア写真)④

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	O-16	20.36 (傾斜73°)	明灰褐色	礫混じり 粘土	0.6~1.4	有	N63° W/87° NE	
	O-17	16.28 (傾斜70°)	黄緑灰色 ~ 赤灰色	礫混じり 粘土	1.0~5.5	有	N74° W/85° NE	
	O-17.3	41.82 (傾斜45°)	黄褐色 ~ 暗赤褐色	粘土	0.1~0.2	有	N75° W/78° NE	
	O-17.5	25.29 (傾斜45°)	暗灰色	粘土質 シルト	0.2~0.3	無	N76° W/80° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像)①

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	J-9'	28.67	淡黄色	礫混じり 粘土	3.0~4.0	有	N72° W/74° NE	
	J-9''	29.33	暗灰黄色 ~ オリーブ 褐色	礫混じり 粘土	0.5~2.0	有	N83° E/73° NW	
	T-1	水平 3.34	赤褐色	粘土	0.5	有	N60° W/68° NE	

※走向は真北で示す。



## シームS-1 (BHTV画像)②

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	T-2	水平 2.85	赤褐色	粘土	0.8	有	N62° W/65° NE	
	T-3	水平 2.55	赤褐色	砂混じり 粘土	1.5	有	N61° W/67° NE	
	T-4	水平 2.00	赤褐色	シルト質 粘土	0.2	有	N62° W/71° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像) ③

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	L-12.5	174.18	明緑灰色 ～ 赤褐色	礫混じり 粘土	3.0	無	N85° W/66° NE	
	L-13.5	293.88	灰赤色	礫混じり 粘土	0.2～1.0	有	N2° W/85° NE	
	M-12.5	63.43	明黄褐色	粘土	フィルム状 ～ 0.5	有	N62° W/72° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像)④

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	N-13	11.10	淡黄色	粘土	0.1~0.4	有	N50° W/75° NE	
	N-13'	23.39	褐灰色	粘土	フィルム状 ~ 0.2	有	N52° W/69° NE	
	N-13.5'	10.90 (傾斜73°)	黄灰色 ~ 暗褐色	粘土	0.1~1.4	有	N87° E/73° NW	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像)⑤

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	N-14	30.97 (傾斜73°)	淡褐灰色	礫混じり 粘土	1.3~4.2 (岩盤の局所的 なV字割れ目に入 り込んでいる部 分を除く)	有	N36° W/80° NE	
	N-14.5	21.31 (傾斜73°)	暗黄褐色	粘土	0.1~0.2	有	N55° W/84° NE	
	O-14.5	26.93 (傾斜73°)	暗赤褐色	砂質 粘土	0.3~0.4	有	N72° W/89° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像)⑥

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	O-16	20.36 (傾斜73°)	明灰褐色	礫混じり 粘土	0.6~1.4	有	N63° W/87° NE	
	O-17	16.28 (傾斜70°)	黄緑灰色 ~ 赤灰色	礫混じり 粘土	1.0~5.5	有	N74° W/85° NE	
	O-17.3	41.82 (傾斜45°)	黄褐色 ~ 暗赤褐色	粘土	0.1~0.2	有	N75° W/78° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-1 (BHTV画像)⑦

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-1	O-17.5	25.29 (傾斜45°)	暗灰色	粘土質 シルト	0.2~0.3	無	N76° W/80° NE	

※走向は真北で示す。



# シームS-2(コア写真)

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-2	L-6'	13.82	にぶい 黄褐色	粘土	0.1~0.8	有	N12° E/58° NW	<div style="text-align: right; margin-right: 20px;">シームS-2</div>

※走向は真北で示す。



# シームS-2(BHTV画像)

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-2	L-6'	13.82	にぶい 黄褐色	粘土	0.1~0.8	有	N12° E/58° NW	

※走向は真北で示す。




# シームS-6(コア写真)①

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-6	F-8.5	8.93	明赤灰色	粘土	0.1~0.2	有	N3° E/50° NW	
	E-8.5	14.40	赤灰色	粘土	フィルム状 ~0.4	有	NS/55° W	
	E-8.6	11.70	淡赤褐色	礫・砂混 じりシル ト	3.5~4.0	有	NS/45° W	
	E-8.7	10.09	褐色	粘土	フィルム状	有	N10° E/56° NW	
	C-9.1	10.82	褐色	シルト	0.1~0.4	有	N27° E/57° NW	

※走向は真北で示す。



## シームS-6(コア写真)②

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	コア写真
			色	物	厚さ(cm)			
S-6	C-9.2	10.56	黄褐色	粘土	フィルム状	無	N12° E/56° NW	シームS-6
								<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>10.4</span> <span>10.5</span> <span>10.6</span> <span>10.7</span> <span>10.8</span> <span>10.9</span> <span>11.0 (m)</span> </div> 

※走向は真北で示す。



# シームS-6(BHTV画像)①

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-6	F-8.5	8.93	明赤灰色	粘土	0.1~0.2	有	N3° E/50° NW	
	E-8.5	14.40	赤灰色	粘土	フィルム状 ~0.4	有	NS/55° W	
	E-8.6	11.70	淡赤褐色	礫・砂混 じりシル ト	3.5~4.0	有	NS/45° W	

※走向は真北で示す。



## シームS-6(BHTV画像)②

シーム名	孔名	深度(m)	挟在物			凝灰質な 細粒部 の有無	走向・傾斜	BHTV画像
			色	物	厚さ(cm)			
S-6	E-8.7	10.09	褐色	粘土	フィルム状	有	N10° E/56° NW	
	C-9.1	10.82	褐色	シルト	0.1~0.4	有	N27° E/57° NW	
	C-9.2	10.56	黄褐色	粘土	フィルム状	無	N12° E/56° NW	

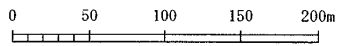
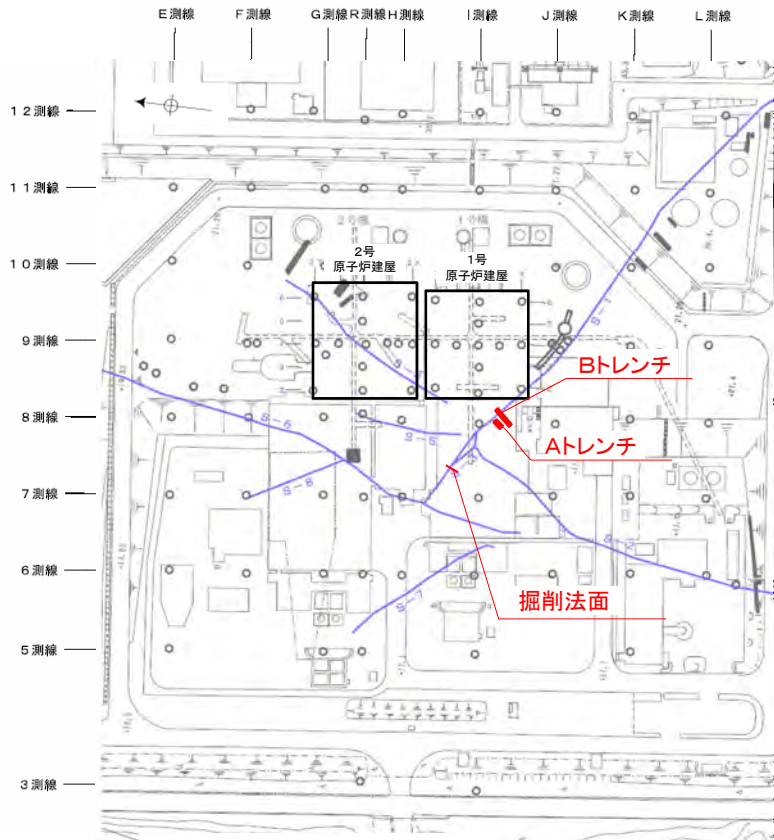
※走向は真北で示す。



## 6. 既往調査結果

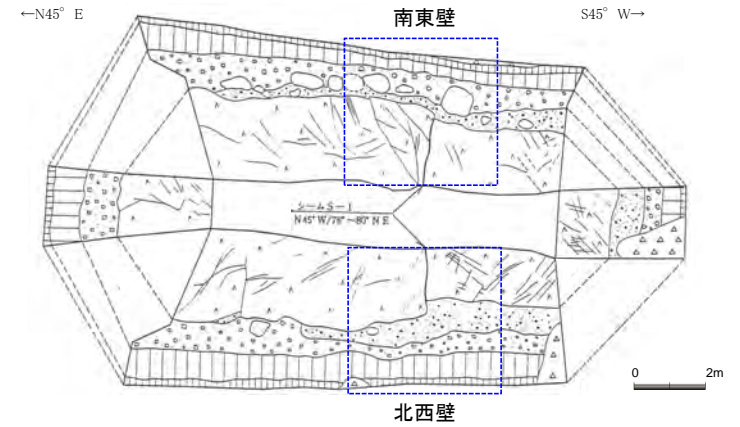
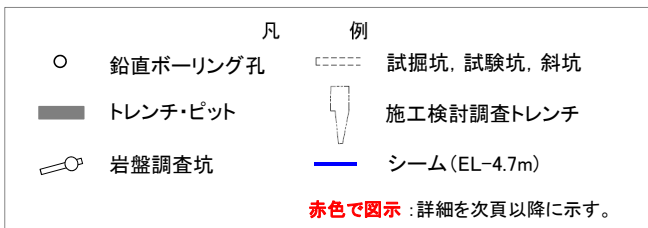


# (1) シームS-1に関する既往調査結果



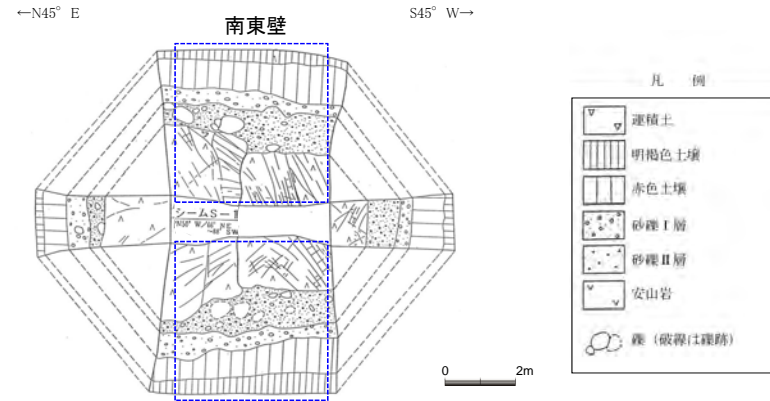
シーム(EL-4.7m)

## 調査位置図



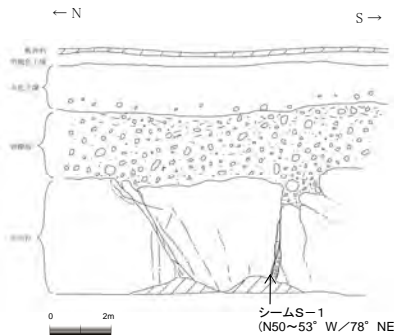
## Bトレンチ展開図

「能登原子力発電所 原子炉設置許可申請書, 第3.4-28図(1) トレンチ地質展開図」を一部編集



## Aトレンチ展開図

「志賀原子力発電所 1号機 原子炉安全専門審査会 第51部会 Cグループ 現地調査資料」を一部編集

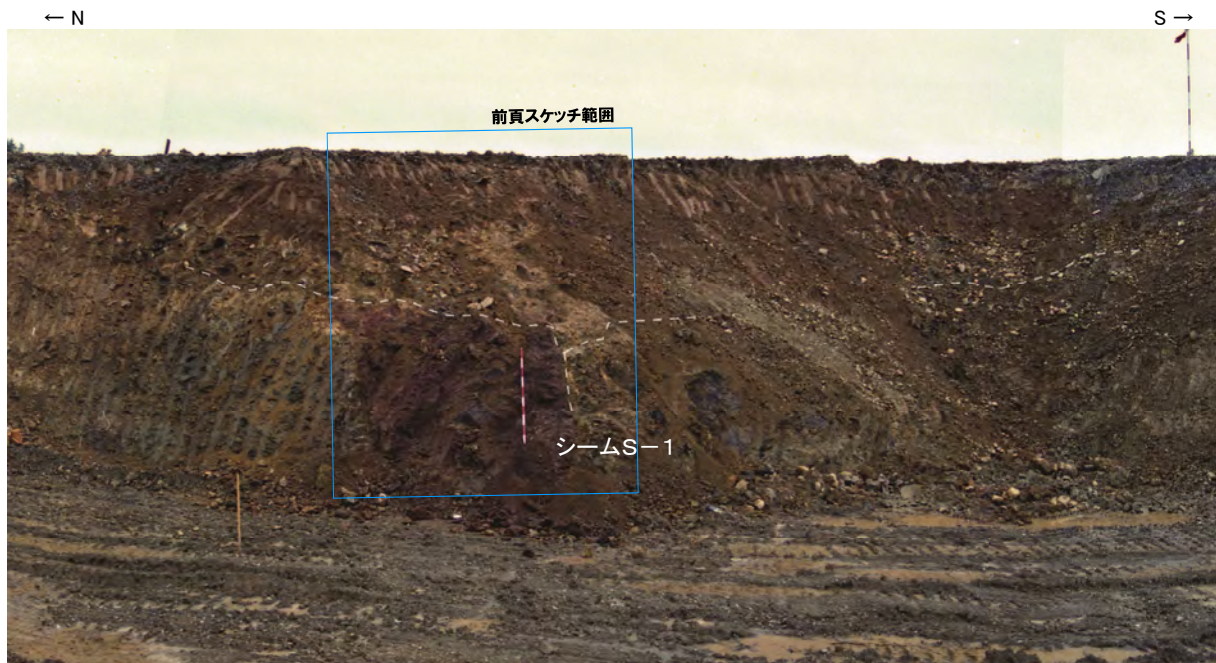


## 掘削法面スケッチ

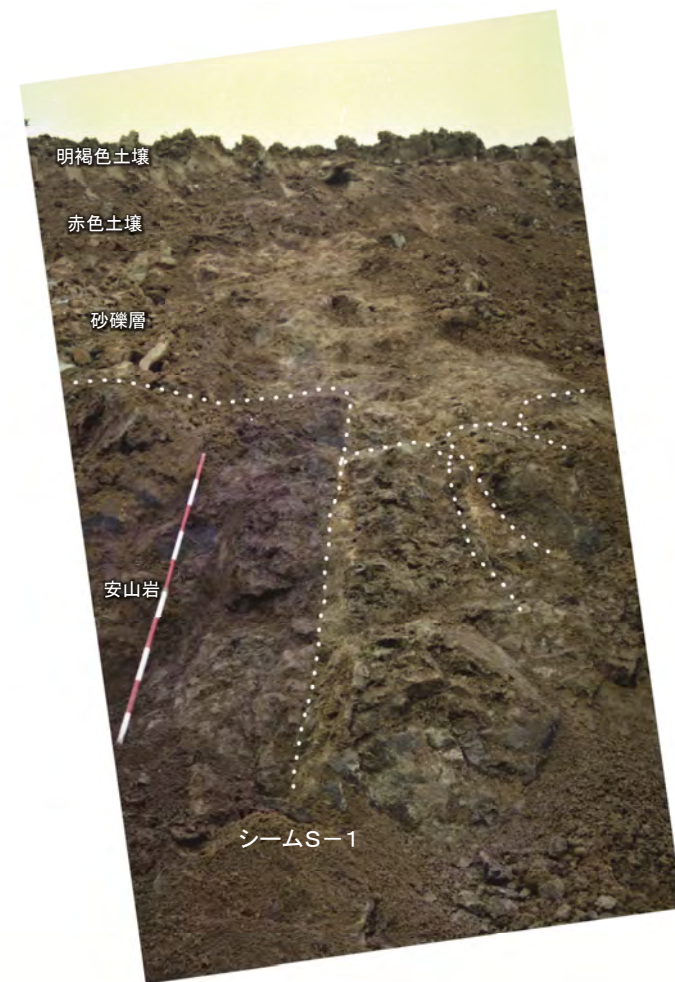
詳細スケッチ範囲



# シームS-1 掘削法面写真



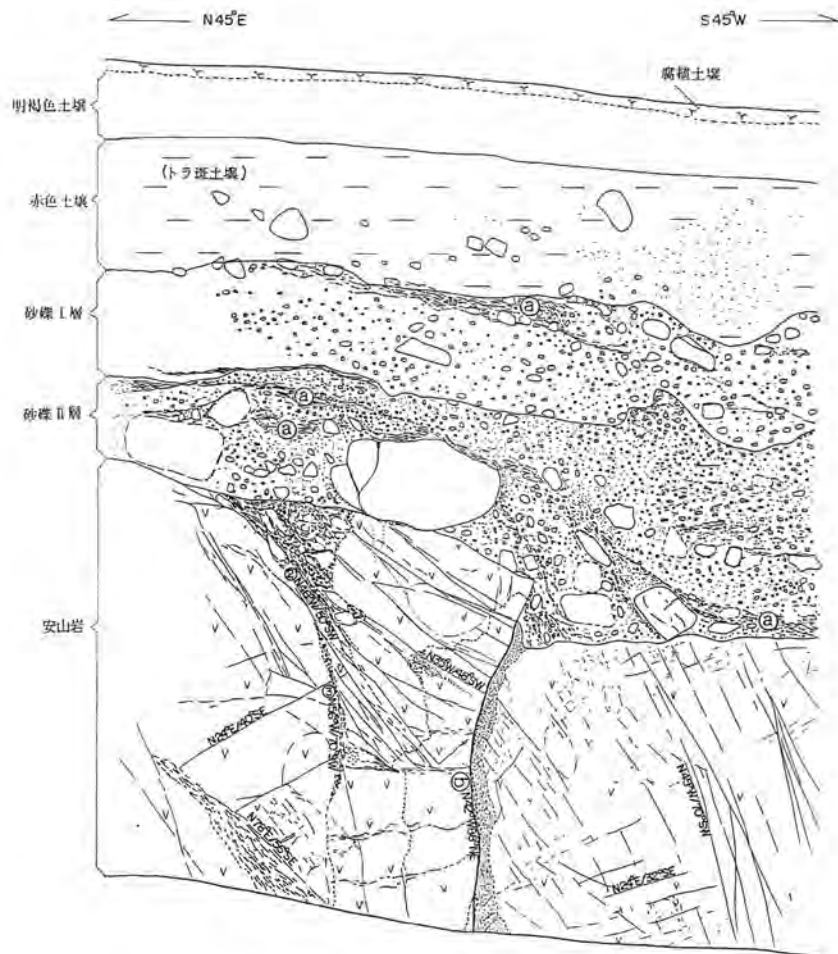
全景写真  
(1988年7月撮影)



拡大写真  
(1988年7月撮影)



# シームS-1 Aトレンチ南東壁スケッチ



明褐色土層 (軽塩土)  
 色調: 7.5YR5/6 ~ 10YR5/4,  
 土壌構造: きわめて弱い

赤色土層  
 トラ斑土層 (軽塩土)  
 色調: 2.5YR4/8 と 7.5YR7/3 からなるやや明  
 瞭な横縞へまだら状の斑紋が認められる。  
 土壌構造: 中~強度, 細粒亜角塊状構造。  
 礫: 径 1 ~ 20cm 程度の安山岩半くさり~く  
 さり礫が点在する。  
 砂礫 I 層との境界は比較的明瞭。

砂礫 I 層  
 色調: 黄褐色~雑色。  
 礫: 最大径 20cm, 平均径 3 ~ 5cm, 安山岩角  
 ~亜円礫主体, 一部くさり礫化。  
 基質: 固結した粗粒砂~細砂で安山岩片及び石  
 英・長石を主体とする。粒子間は淡黄褐  
 色膠結物質が充填する。  
 砂礫 II 層との境界はおおむね明瞭

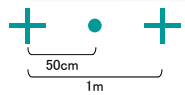
砂礫 II 層  
 全体にくさり礫を多数含有し砂礫 I 層と比較  
 して軟質である。  
 色調: 明褐色~雑色。  
 礫: 最大径 85cm, 平均径 1 ~ 3cm, 安山岩  
 亜角~亜円礫主体。くさり礫多い。  
 基質: 安山岩起源の粗粒砂及び細礫を主体と  
 する。しまり良好。

(a) 厚さ 2 ~ 10cm, 白色軟質物質が水平~網目  
 状に分布する。砂礫 II 層の上部~下部にか  
 けて及び砂礫 I 層上部に分布する。

(b) シーム S-1  
 幅フィルム状~1cmの明黄色~赤灰色粘土。  
 走向傾斜 N42°W/66° ~ 88°NE。  
 比較的明瞭な面が緩く波曲しながら上方ほど  
 低角となる。面の表面には鏡肌が認められ一  
 部に縦ずれ性条線が刻かれている。  
 砂礫 II 層と岩盤の境界付近では粘土は不明瞭  
 となり鏡肌は断続的となる。  
 岩盤上限面の見掛け上の段差は 20cm。

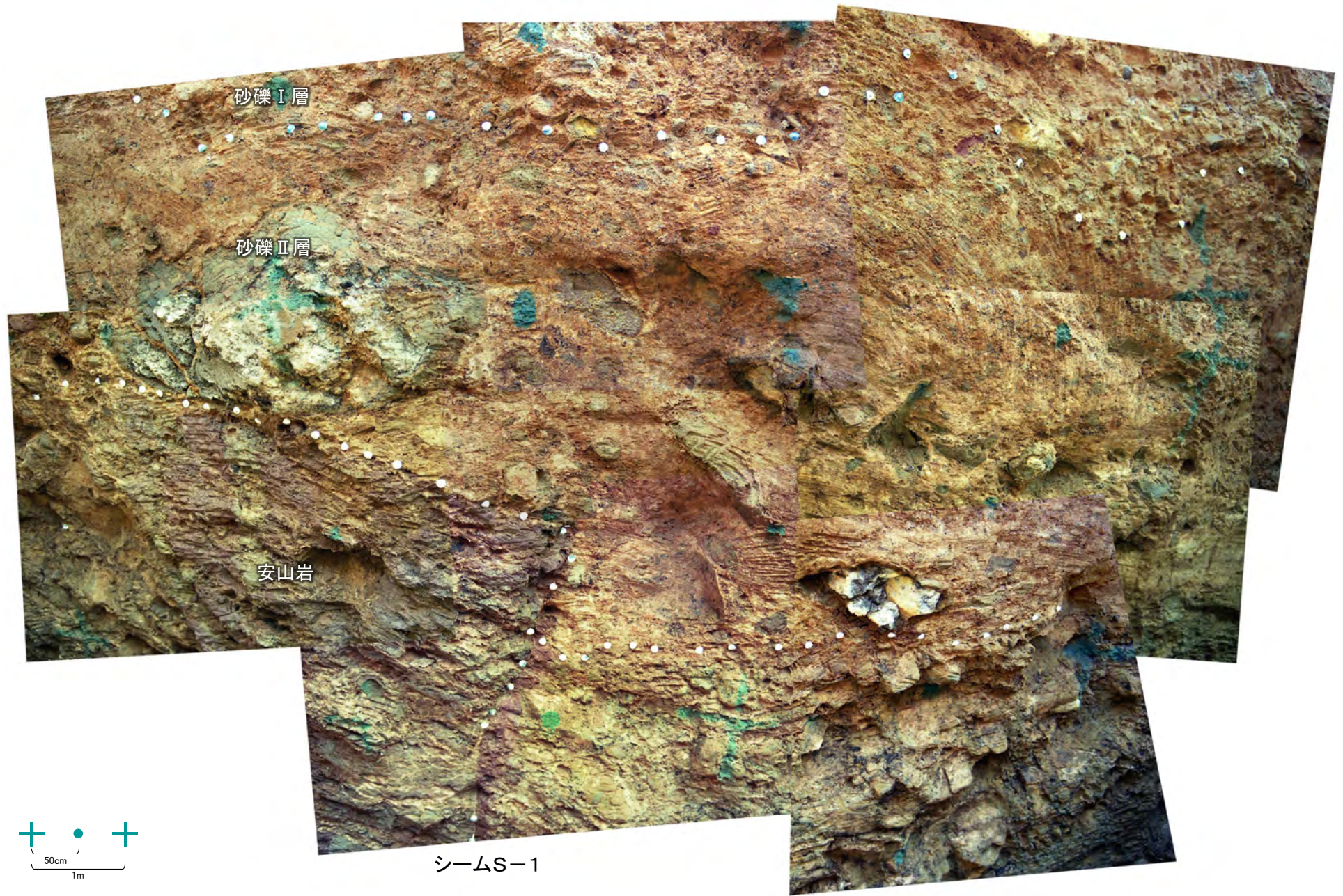


# シームS-1 Aトレンチ南東壁写真(全景)



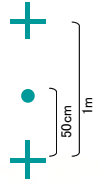
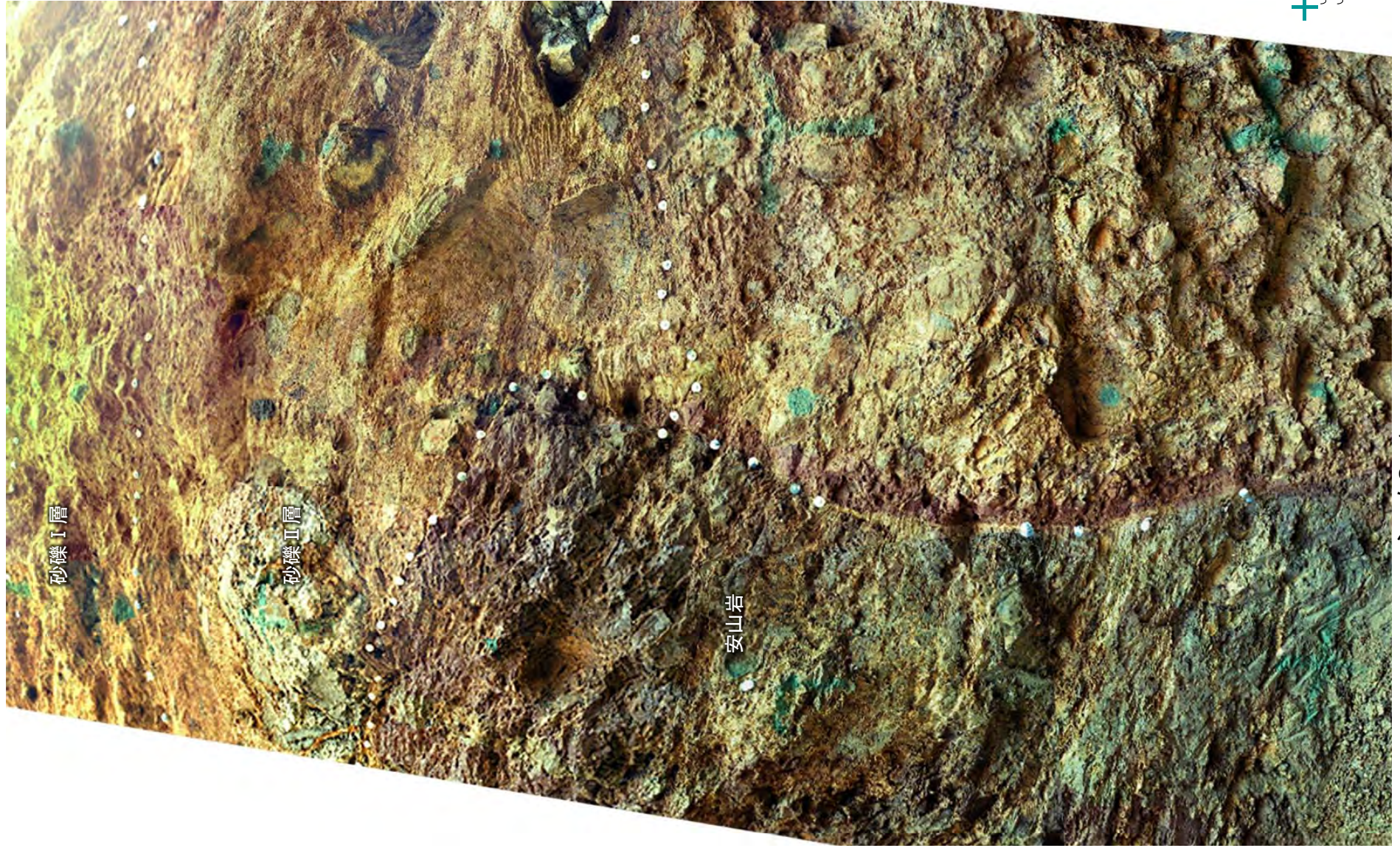


シームS-1 Aトレンチ南東壁写真(シームS-1付近①)





シームS-1 Aトレンチ南東壁写真(シームS-1付近②)



シームS-1



シームS-1 Aトレンチ南東壁写真(シームS-1付近③)

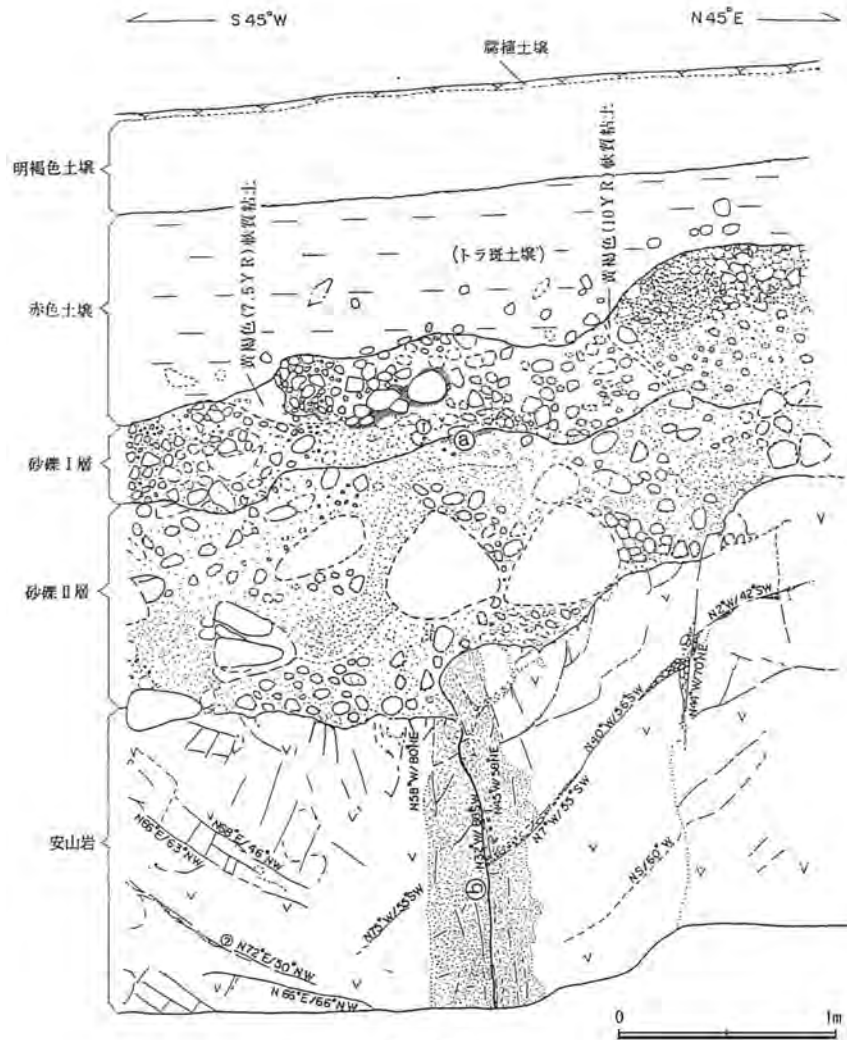


シームS-1





# シームS-1 Aトレンチ北西壁 スケッチ



明褐色土壌 (軽埴土)  
色調 7.5YR5/6、無構造

赤色土壌  
トラ斑土壌 (軽埴土)  
色調: 2.5YR4/8 と 7.5YR7/3 からなる明瞭な横縞へまだら状の斑紋が認められる。  
土壌構造: 中～強度、細～中粒亜角塊状構造。  
礫: 径1～8cm程度の安山岩くさり礫が点在する。  
砂礫I層との境界は比較的明瞭。

砂礫I層  
色調: 黄褐～雑色。  
礫: 最大径20cm、平均径2～5cm、安山岩亜角～亜円礫主体、一部くさり礫化。  
基質: 固結した粗粒砂～細礫で安山岩片及び石英・長石を主体とする。粒子間は淡黄褐色膠結物質が充填する。  
砂礫II層との境界はおおむね明瞭

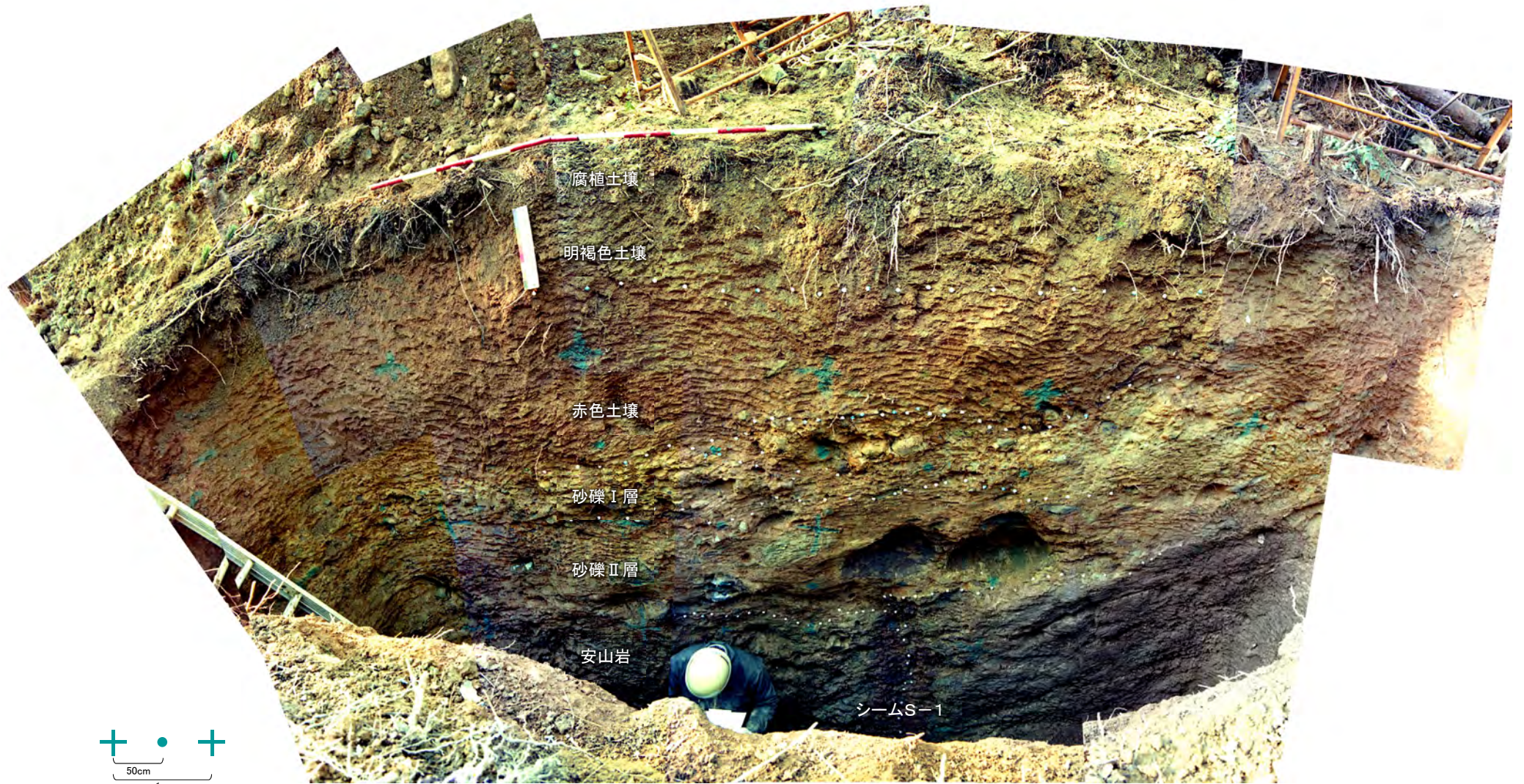
砂礫II層  
全体にくさり礫を多数含有し砂礫I層と比較して軟質である。  
色調: 明褐～雑色。  
礫: 最大径80cm、平均径1～4cm、安山岩亜角～亜円礫主体。くさり礫多い。  
基質: 安山岩起源の粗粒砂及び細礫よりなる。

① 厚さ2～8cm、白色軟質物質が砂礫I層・II層中に局部的に分布する。

② シームS-1  
幅フィルム状～1cmの褐灰色～暗黄灰色粘土。走向傾斜N32°W/88°SW。  
比較的明瞭な面が連続ないしは一部断続する。面の表面には鏡肌が認められ一部に縦ずれ性条線が刻されている。  
砂礫II層と岩盤の境界付近では粘土は不明瞭となり鏡肌は断続的となる。  
岩盤上限面の見掛け上の段差は20cm。



シームS-1 Aトレンチ北西壁写真(全景)





シームS-1 Aトレンチ北西壁 写真(シームS-1付近①)



シームS-1



シームS-1 Aトレンチ北西壁 写真(シームS-1付近②)



砂礫II層

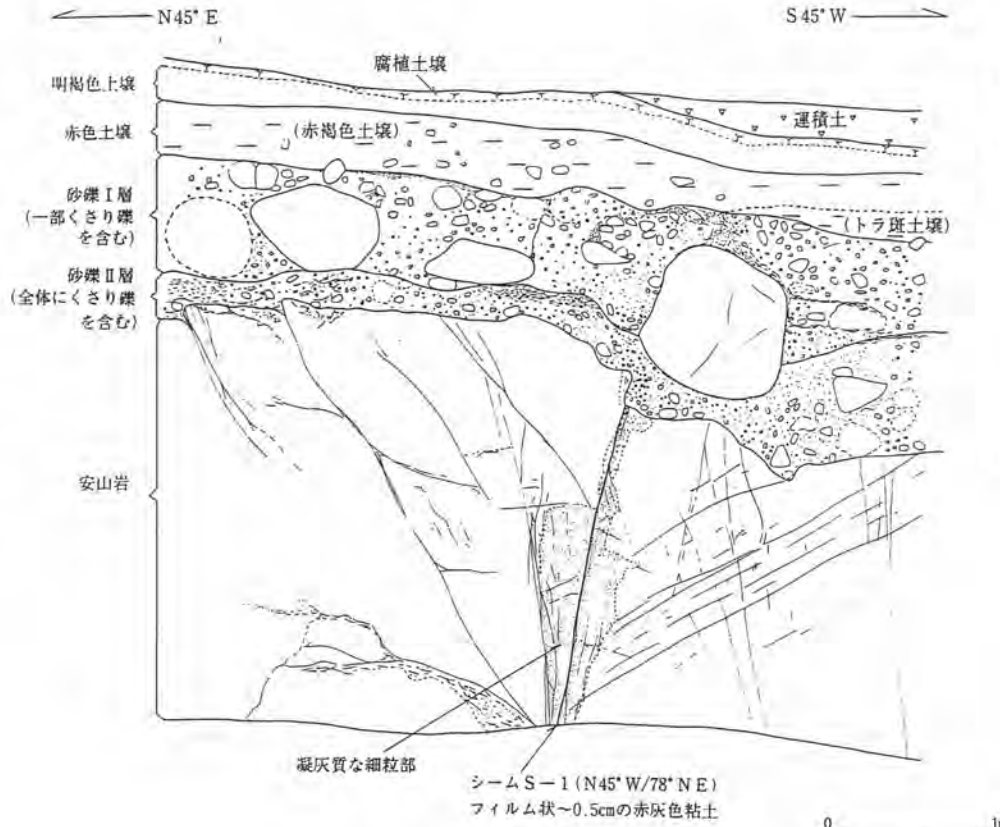
安山岩



↑  
シームS-1上方延長



# シームS-1 Bトレンチ南東壁 スケッチ



**明褐色土壌 (軽埴土)**  
色調 7.5YR5/6 ~ 10Y5/4, 無構造

**赤色土壌**  
赤褐色土壌 (軽埴土 ~ 埴埴土)  
色調: 5YR4.5/8.  
土壌構造: 中 ~ 弱度, 中粒亜角塊状構造。  
礫: 最大径 15cm, 平均径 3 ~ 5cm, 安山岩  
亜角礫が散在する。  
下部で一部にトラ斑土壌が認められる。

**トラ斑土壌 (軽埴土)**  
色調: 5YR4/8, キュータン 2.5YR5/8, 斑点状  
に弱い斑紋が認められる。  
土壌構造: 中 ~ 強度, 細粒亜角塊状構造。  
砂礫 I 層との境界は比較的明瞭。

**砂礫 I 層**  
黄褐色 ~ 雑色  
礫: 最大径 90cm, 平均径 3 ~ 5cm, 安山岩  
角 ~ 亜円礫主体, 一部くさり礫化。  
基質: 固結した粗粒砂 ~ 細礫で安山岩片及び石英・長石を主体とする。粒子間は淡黄褐色膠結物質が充填する。  
砂礫 II 層との境界はおおむね明瞭

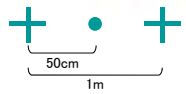
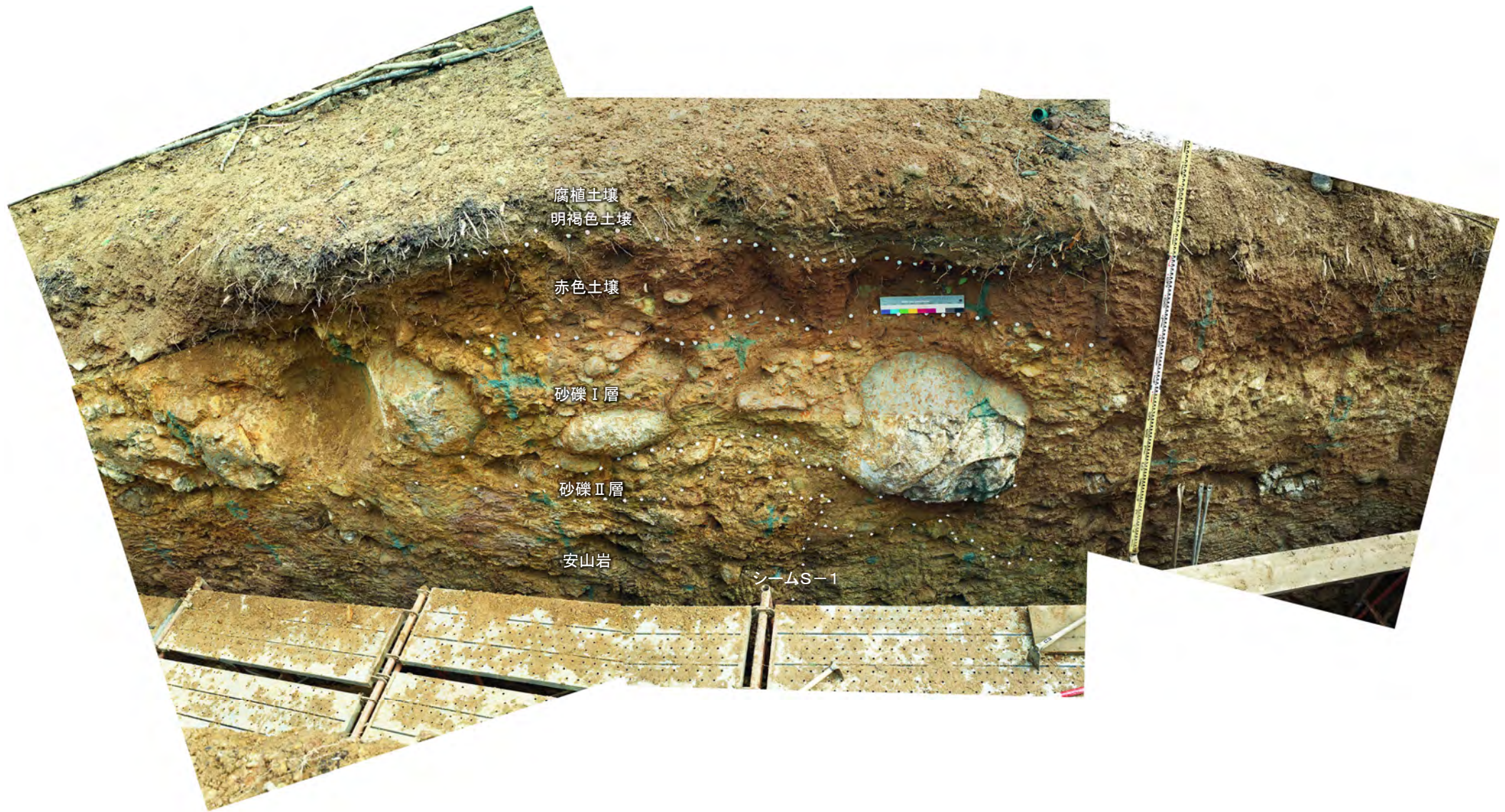
**砂礫 II 層**  
明褐色 ~ 雑色, 全体にくさり礫を多数含有し  
砂礫 I 層と比較して軟質である。  
礫: 最大径 30cm, 平均径 1 ~ 3cm, 安山  
岩亜角 ~ 亜円礫主体, くさり礫が多い。  
基質: 安山岩起源の粗粒砂及び細礫よりなる。縮まり良好。

**シーム S-1**  
幅フィルム状 ~ 0.5cm の赤灰色粘土。  
走向傾斜 N45° W/78° NE。  
比較的明瞭な面が連続ないし一部断続する。  
面の表面には鏡肌認められ一部に縦ずれ性  
条線が刻されている。  
砂礫 II 層と岩盤の境界付近では粘土は不明瞭  
となる。  
岩盤上限面の見掛け上の段差は 20cm

「能登原子力発電所 原子炉設置許可申請書, 第3.4-28図(3) トレンチスケッチ(南東壁)」を引用

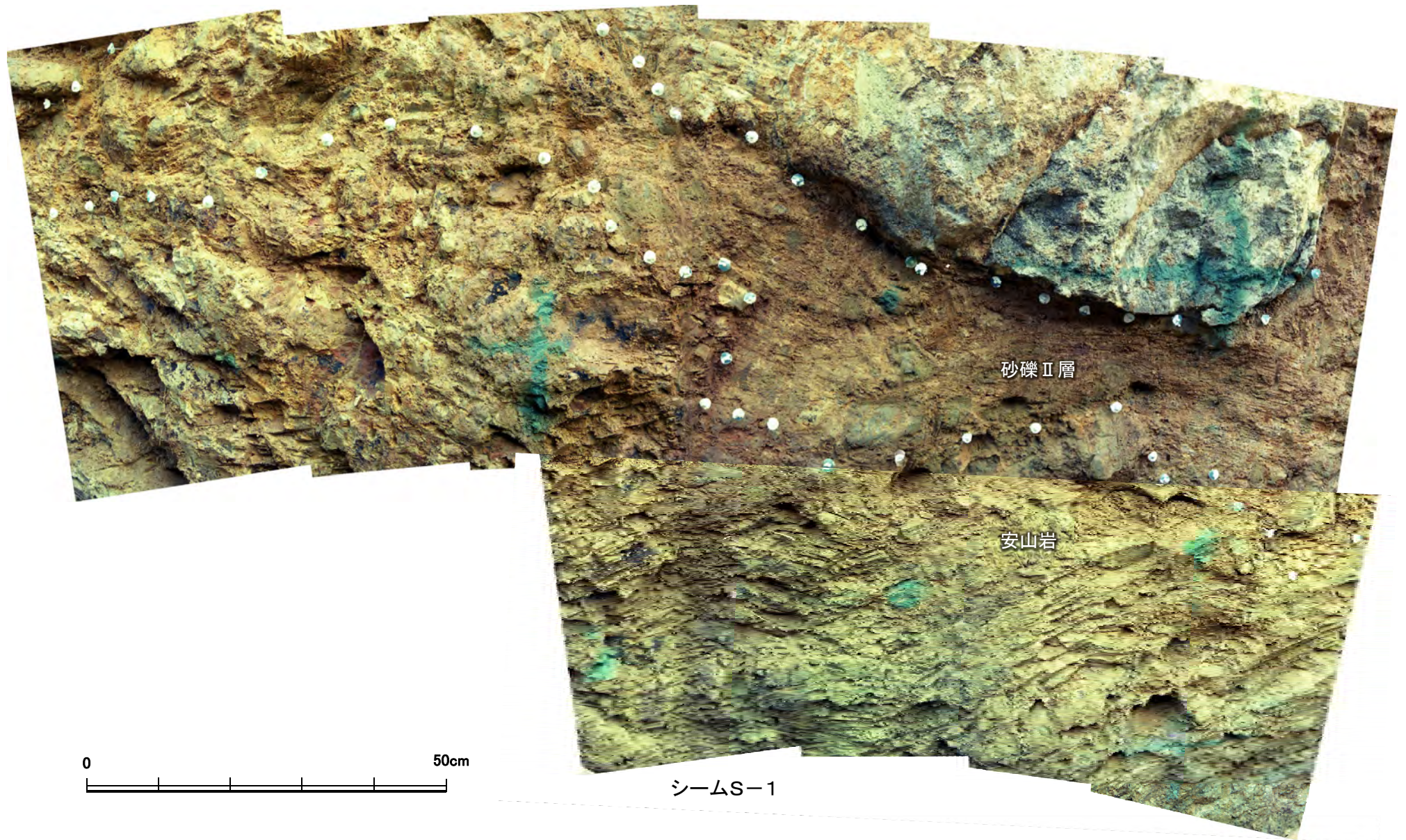


シームS-1 Bトレンチ南東壁 写真(全景)

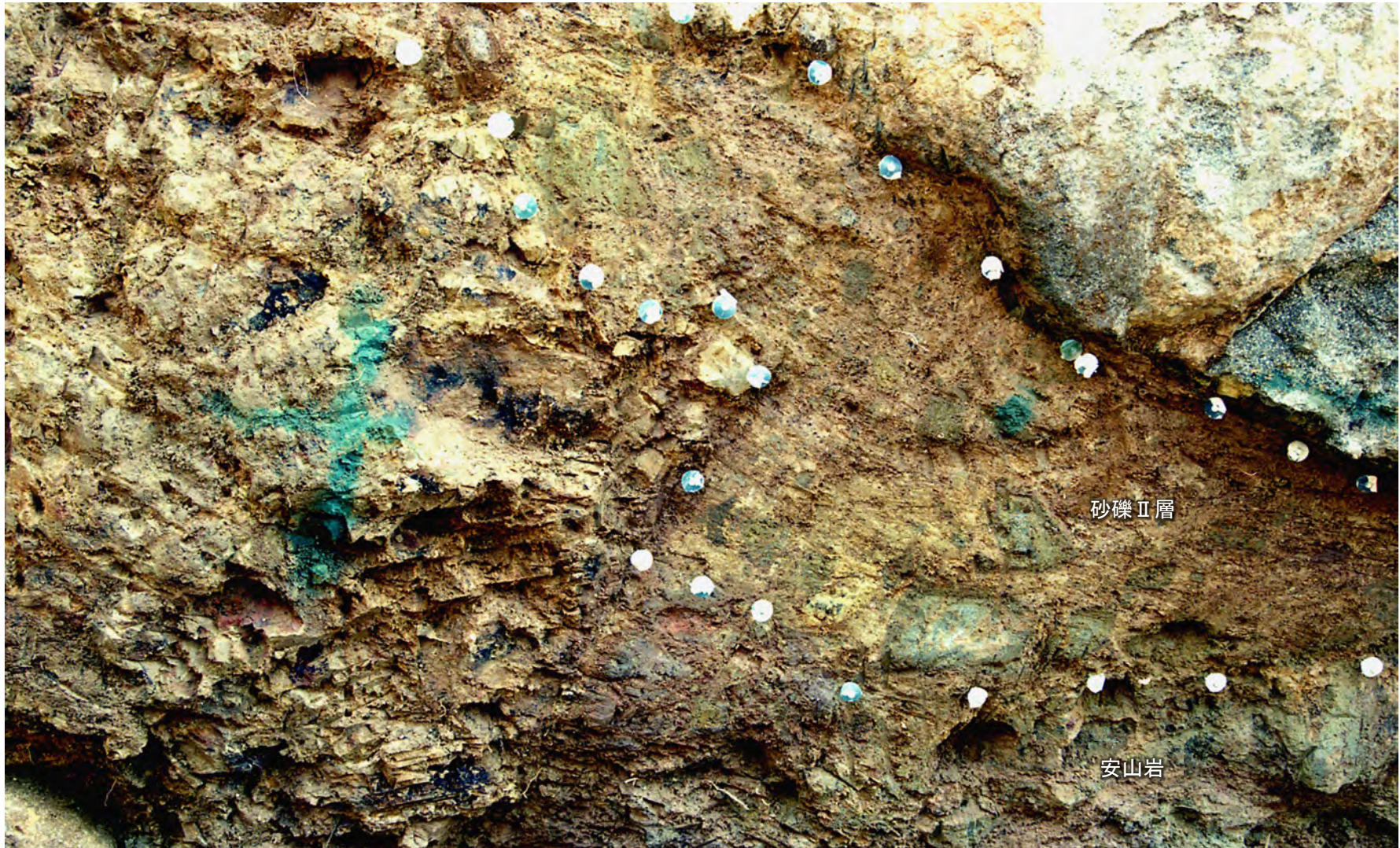




シームS-1 Bトレンチ南東壁 写真(シームS-1付近①)





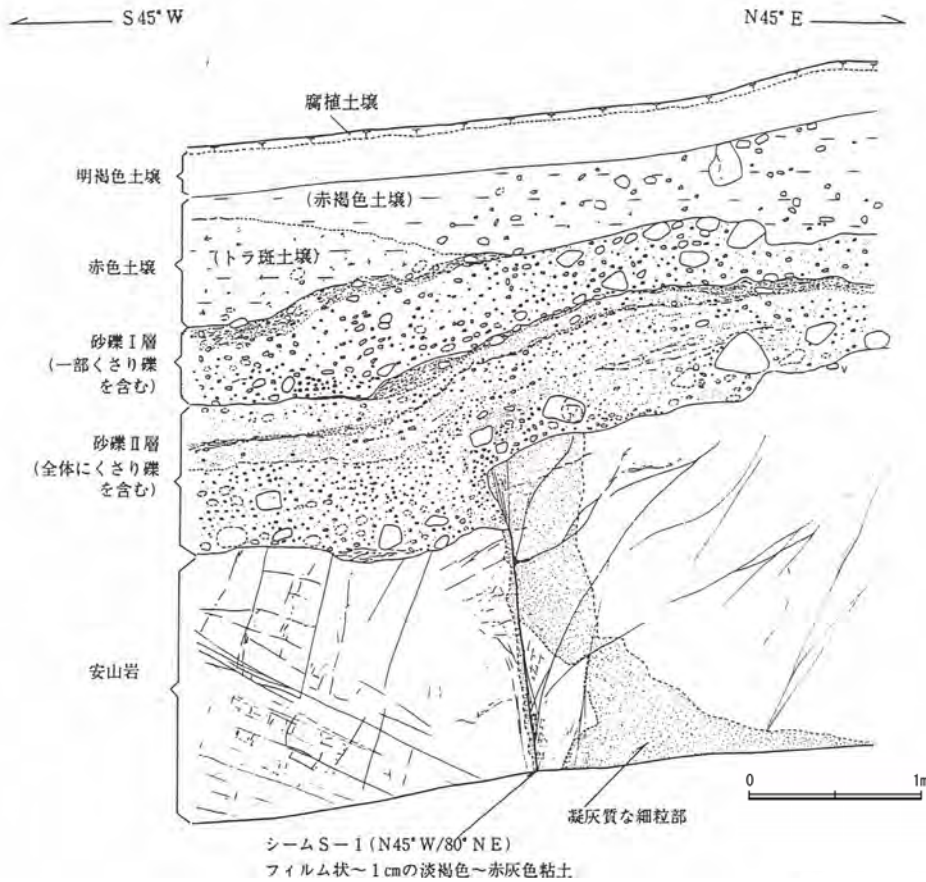


シームS-1





# シームS-1 Bトレンチ北西壁 スケッチ



明褐色土壌 (軽埴土)  
色調 7.5YR5/6 ~ 10Y5/4, 無構造

赤色土壌  
赤褐色土壌 (軽埴土~埴壤土)  
色調: 5YR4.5/8。  
土壌構造: 中~弱度, 細~中粒亜角塊状構造。  
礫: 最大径 25cm, 平均径 3~5cm, 安山岩  
亜角礫が散在する。  
下部で一部にトラ斑土壌が認められる。

トラ斑土壌 (軽埴土)  
色調: 5YR4.5/8, キュータン 2.5YR5/8, 斑点  
状に弱い斑紋が認められる。  
土壌構造: 中~強度, 細粒亜角塊状構造。  
礫: 径 1~8cm 程度の安山岩くさり礫点在。  
砂礫I層との境界は比較的明瞭。

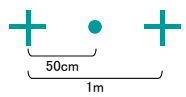
砂礫I層  
黄褐~雑色  
礫: 最大径 20cm, 平均径 3~5cm, 安山岩亜  
角~亜円礫主体, 一部くさり礫化。  
基質: 固結した粗粒砂~細礫で安山岩片及び石  
英・長石を主体とする。粒子間は淡黄褐  
色膠結物質が充填する。  
砂礫II層との境界はおおむね明瞭

砂礫II層  
明褐~雑色, 全体にくさり礫を多数含有し  
砂礫I層と比較して軟質である。  
上部層: 厚さ 30~40cm  
礫: 安山岩起源の細礫  
基質: 粗粒砂と白色粒状物質を主体とす  
る。しまり良好。  
下部層に比べ層理の識別が可能。  
下部層: 厚さ 30~40cm (上盤側) 及び 50  
~60cm (下盤側)。  
礫: 最大径 30cm, 平均径 1~3cm, 安  
山岩亜角~亜円礫主体。くさり礫  
が多い。  
基質: 上部層と同質の粗粒砂及び細礫よ  
りなる。しまり良好。白色粒状物  
質の混入は減少する。  
上部層と下部層の境界は上盤側ではやや  
不明瞭。

シームS-1  
幅フィルム状~1cmの淡褐色~赤灰色粘  
土。  
走向傾斜 N45°W/80°NE。  
比較的明瞭な面が連続しないし一部断続す  
る。  
面の表面には鏡肌が認められ一部に縦ず  
れ性条線が刻されている。  
砂礫II層と岩盤の境界付近では粘土は不  
明瞭となる。  
岩盤上限面の見掛け上の段差は 35cm。  
上盤側の岩盤には N40°E/80°NW ~ 80°SE  
の断裂が分布する。



シームS-1 Bトレンチ北西壁 写真(全景)





シームS-1 Bトレンチ北西壁 写真(シームS-1付近①)

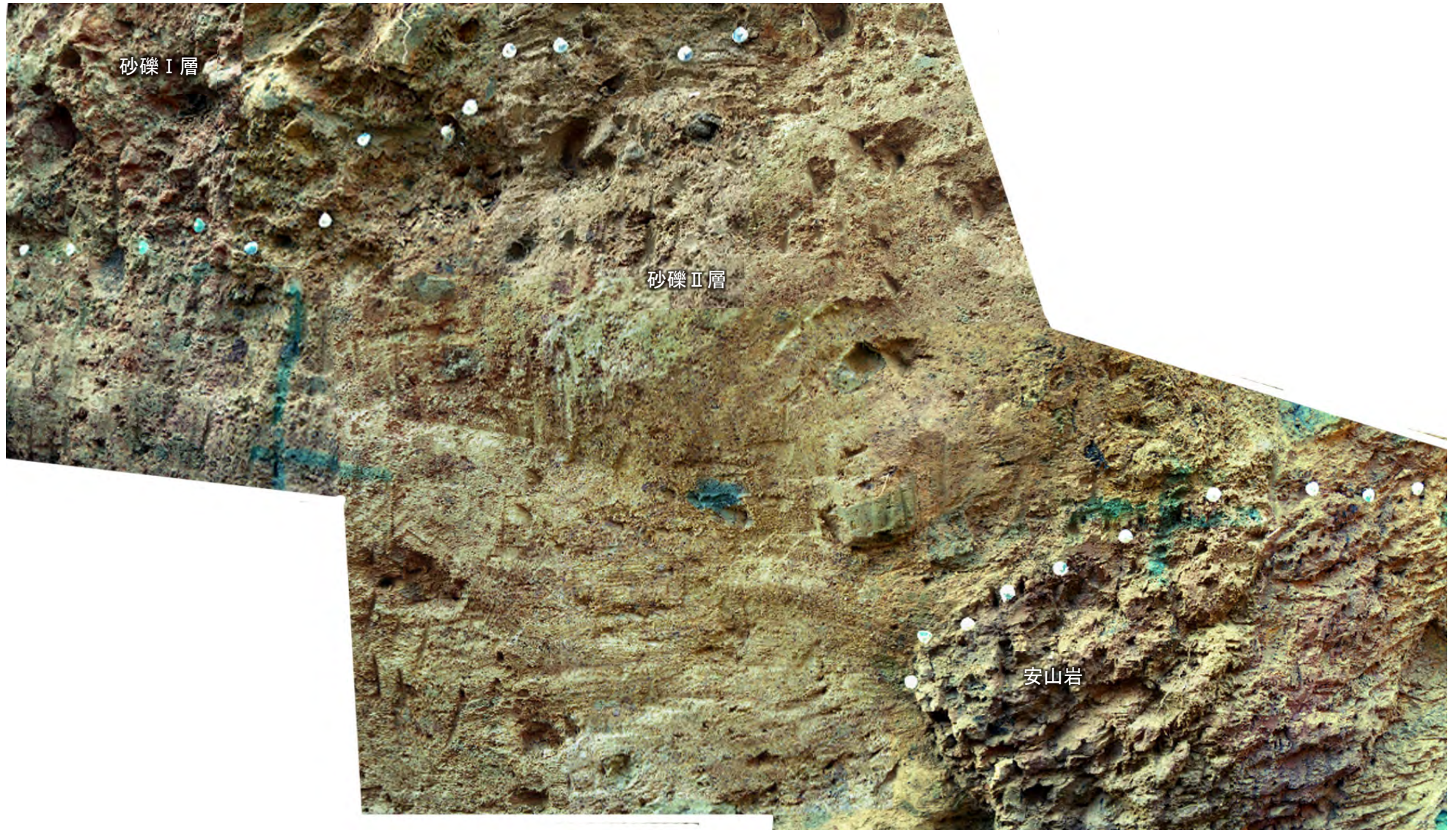


0 50cm

シームS-1



シームS-1 Bトレンチ北西壁 写真(シームS-1付近②)

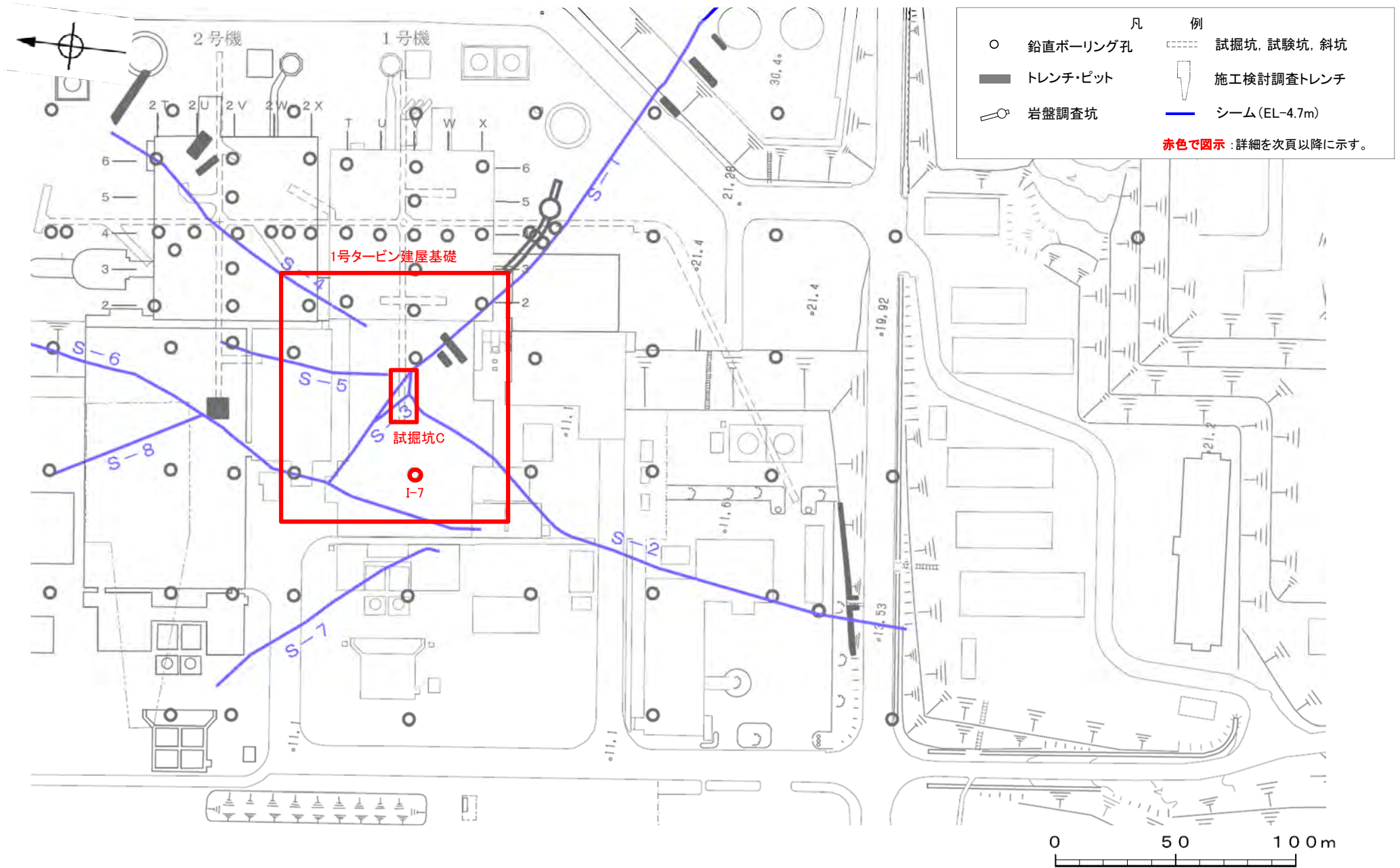


0 50cm

↑  
シームS-1上方延長



## (2) シームS-2に関する既往調査結果

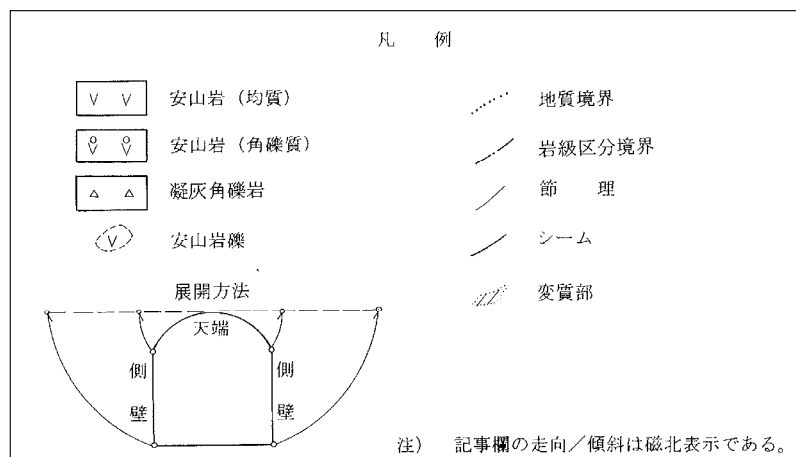
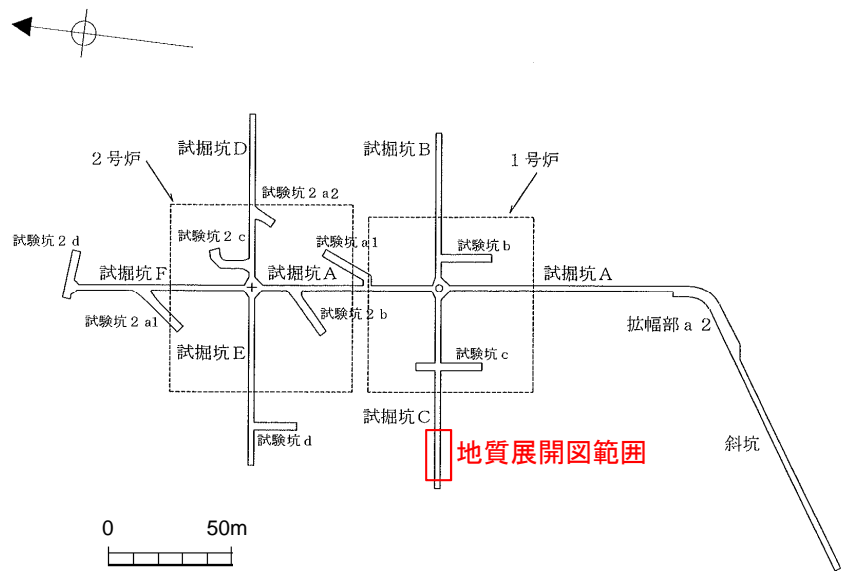


シームS-2位置図

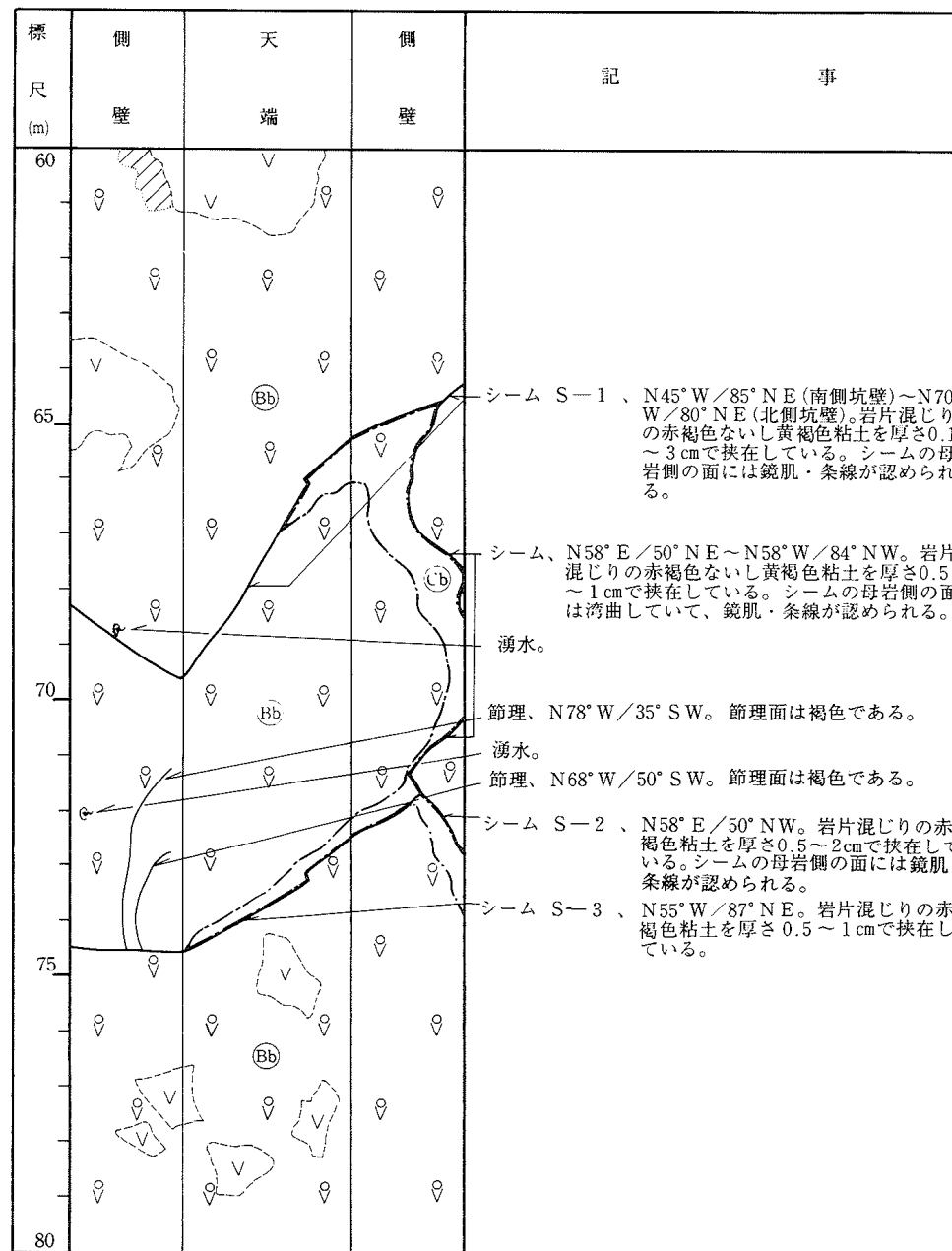


# シームS-2 北東端の確認(試掘坑C展開図)

※能登原子力発電所 原子炉設置許可申請書  
(昭和63年7月一部補正)を一部編集



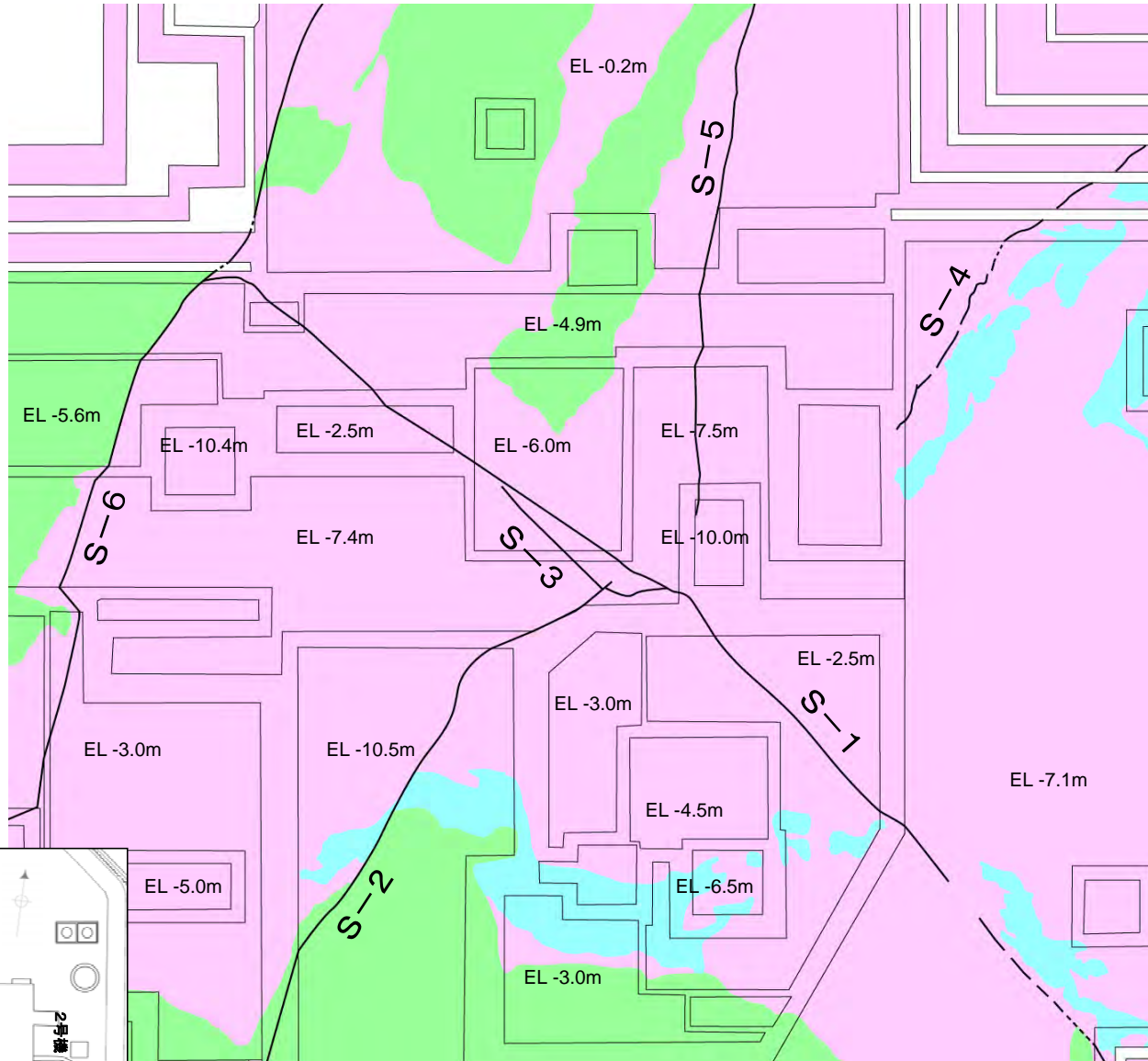
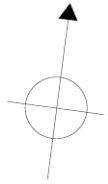
• 試掘坑Cにおいて、シームS-2はシームS-1の北東側には認められない。



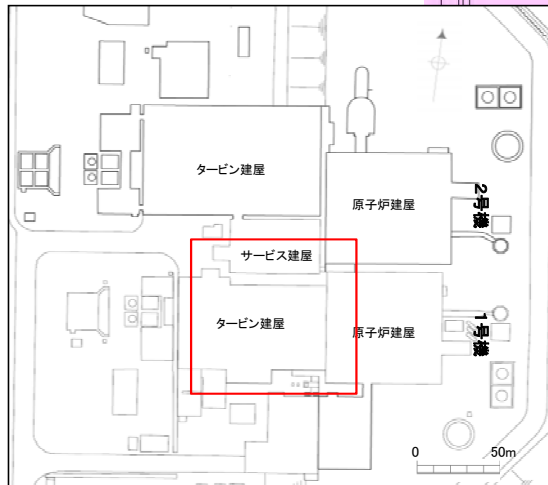
試掘坑地質展開図(試掘坑C)



# シームS-2 北東端の確認(1号タービン建屋基礎)



1号基礎掘削面 地質平面図(岩盤分類図)

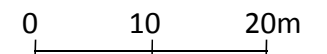


建屋平面図

地質図範囲

・1号タービン建屋基礎掘削面底盤において、シームS-2はシームS-1の北東側には認められない。

## 凡 例





# シームS-2 深部方向の確認(ボーリング調査結果(I-7) [40~60m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

I-7                      GL = 20.47m                      L = 220.68m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)		RQD (%)	記事
									20	40		
40			▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗灰	Ba	2 a		22	38	22	42.00~44.30・44.70~45.05 細片状~半柱状コア。
									0	20		
45	-25.23	45.70	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗灰	Ba	2 a		20	29	20	
									20	20		
50	-25.33	46.80	△△△△	暗黄灰	Bb	2 b			55	57	55	52.50~59.00 岩質は固固よりやや軟質。
									97	90		
55			△△△△	暗黄灰	Bb	2 b			44	88	70	58m S-2 推定位置 (シームなし)
									70	75		
60	-38.99	59.46	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗灰	Bb	2 b		100	100	100	64.70~71.65 節理面に暗黄灰色~暗緑灰色の細粒物質が付着。
									100	100		
65	-44.23	64.70	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗灰	Bb	2 b		12	35	47	71.00~71.51 主として半柱状コア。
									93	90		
70	-51.18	71.65	▽▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Ba	2 a		72	50	15	77.00~78.00 多孔質。
									50	92		
75			▽▽▽▽	暗灰(炭素 灰を含む)	Bb	2 b			100	100	95	
									100	90		
80			▽▽▽▽	暗灰	Bb	2 b			90	90	90	
									90	90		

記事  
コア写真範囲



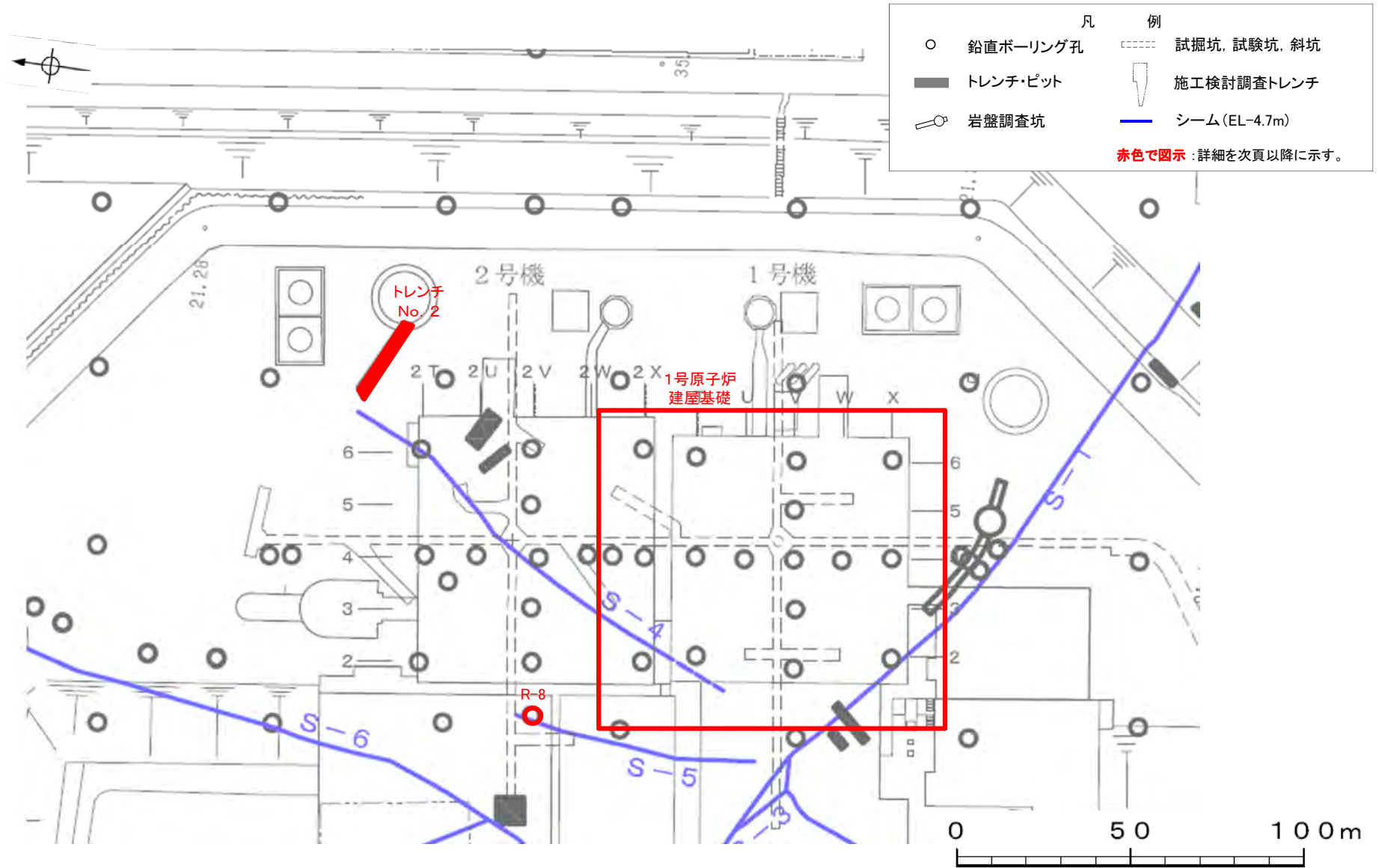
58m付近  
シームS-2  
想定位置







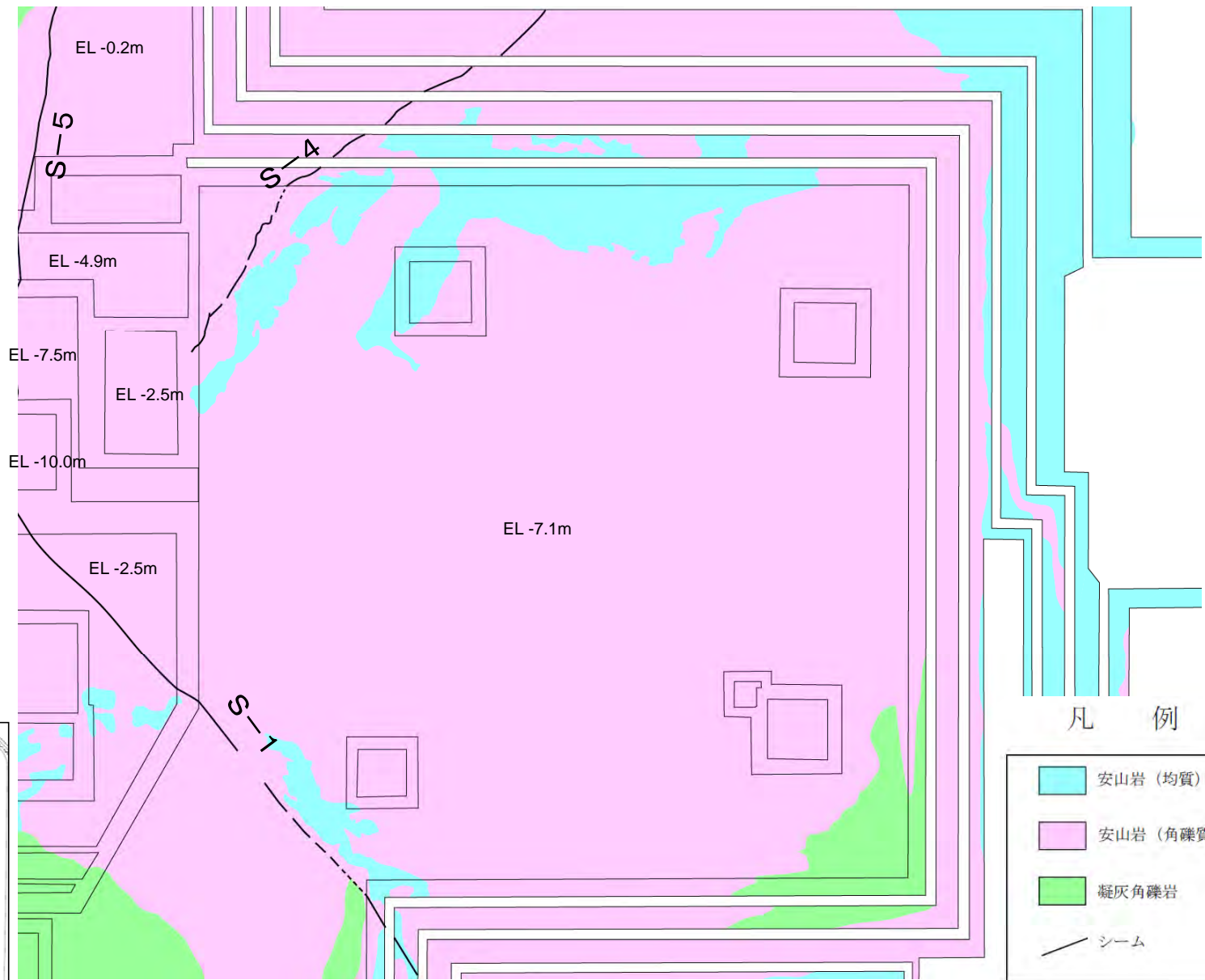
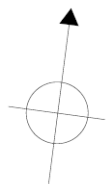
### (3) シームS-4に関する既往調査結果



シームS-4位置図



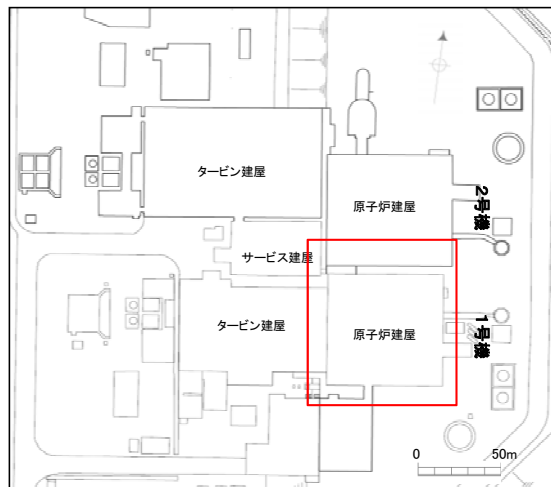
# シームS-4 南西端の確認(1号原子炉建屋基礎)



凡 例

- 安山岩 (均質)
- 安山岩 (角礫質)
- 凝灰角礫岩
- シーム

0 10 20m



建屋平面図

地質図範囲

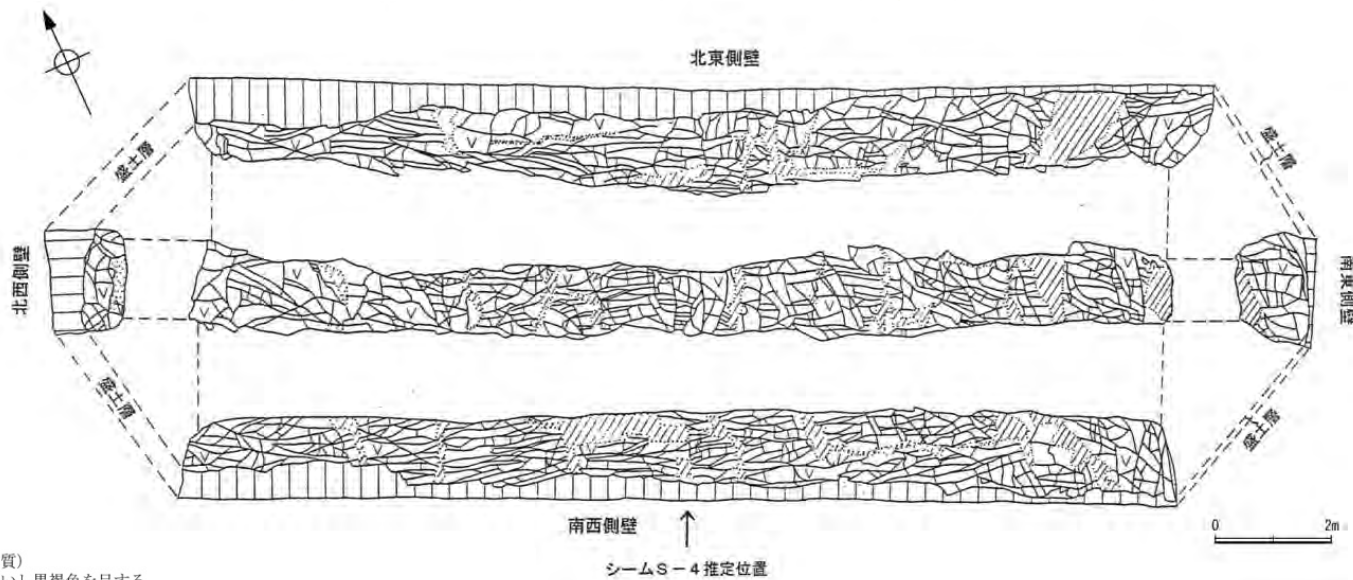
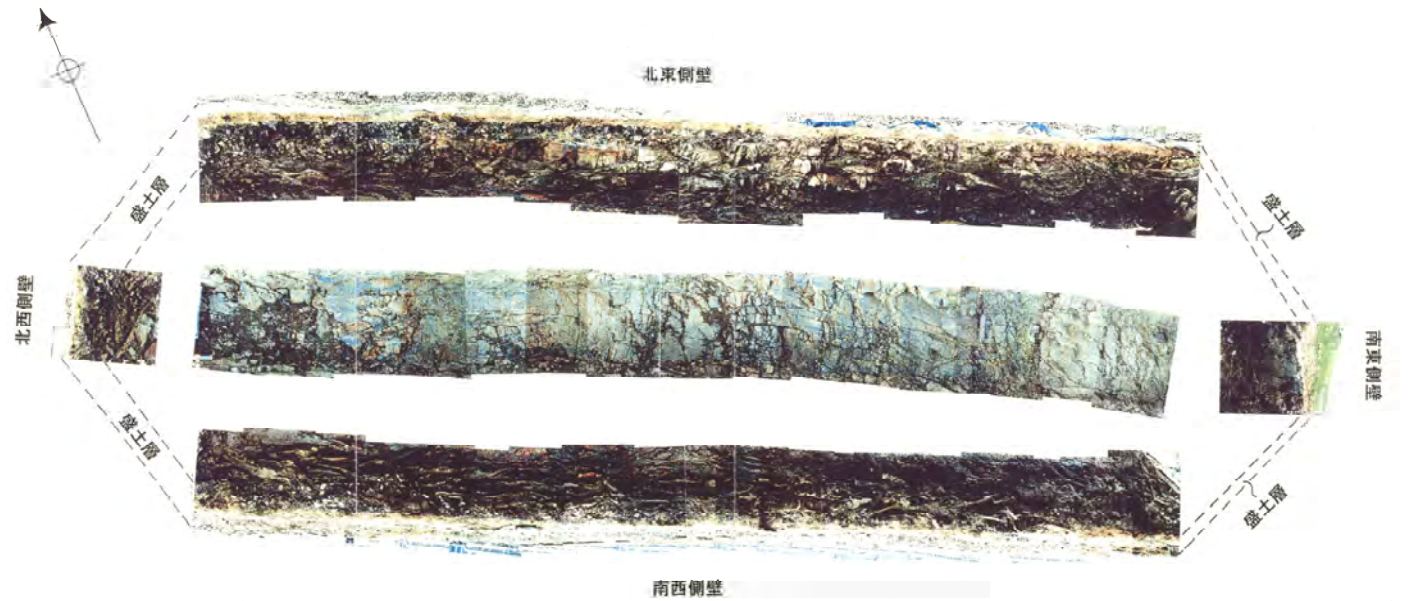
1号基礎掘削面 地質平面図(岩盤分類図)

• 1号原子炉建屋基礎掘削面西側法面(EL-2.5m~EL-7.1m)において、シームS-4の南西端を確認。



# シームS-4 北東端の確認(トレンチ調査結果(トレンチNo. 2))

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2より抜粋



安山岩 (均質)  
暗灰色ないし黒褐色を呈する。  
節理が発達し、節理間隔は5～10cm程度である。  
全体に硬質であるが、しばしば節理に沿って網目状に変質を受けた変質部が厚さ  
数cm～20cmで不規則に分布する。これらは特定の方向性を有しない。

凡 例

	安山岩 (均質)
	節 理
	変質部

•トレンチNo. 2において、シームS-4は認められない。

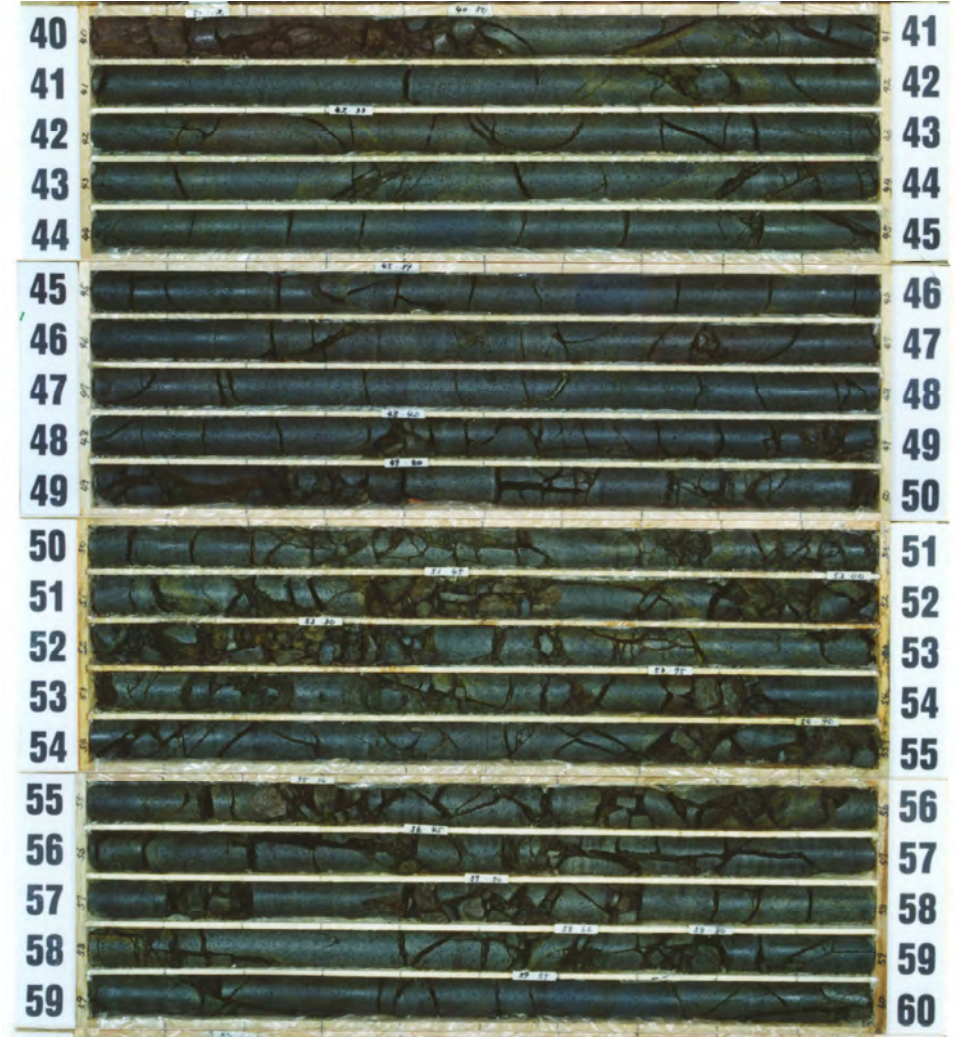


# シームS-4 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-8)[40~60m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

R-8		G L = 13.11m		L = 164.12m							
標尺	標高	深度	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	RQD (%)	記事
(m)	(m)	(m)					①②③④	①②③④	20 40 60 80	(%)	
40	27.39	40.50		安山岩 (角礫質)	暗赤	Bb	2 b	細片状	30	30	40.50~49.00 傾斜角20°の節理あり。 節理面にオリブ色の細粒物質が付着。
68											
70											
56											
66											
77											
46											
68											
23											
22											
50				暗オリブ 灰		Ba	2 a	細片状	13	10	50.70~50.80 細片状コア。
18											
13											
10											
0											
27											
29											
23											
49											
55.90											
60				安山岩 (角礫質)	オリブ灰			細片状	49	49	55.90 傾斜角60°の節理面に各線あり。
60											
68											
77											
60											
45											
13											
24											
54											
22											
47											
63											
26											
37											
18											
23											
26											
27											
14											
21											
36											

コア写真範囲





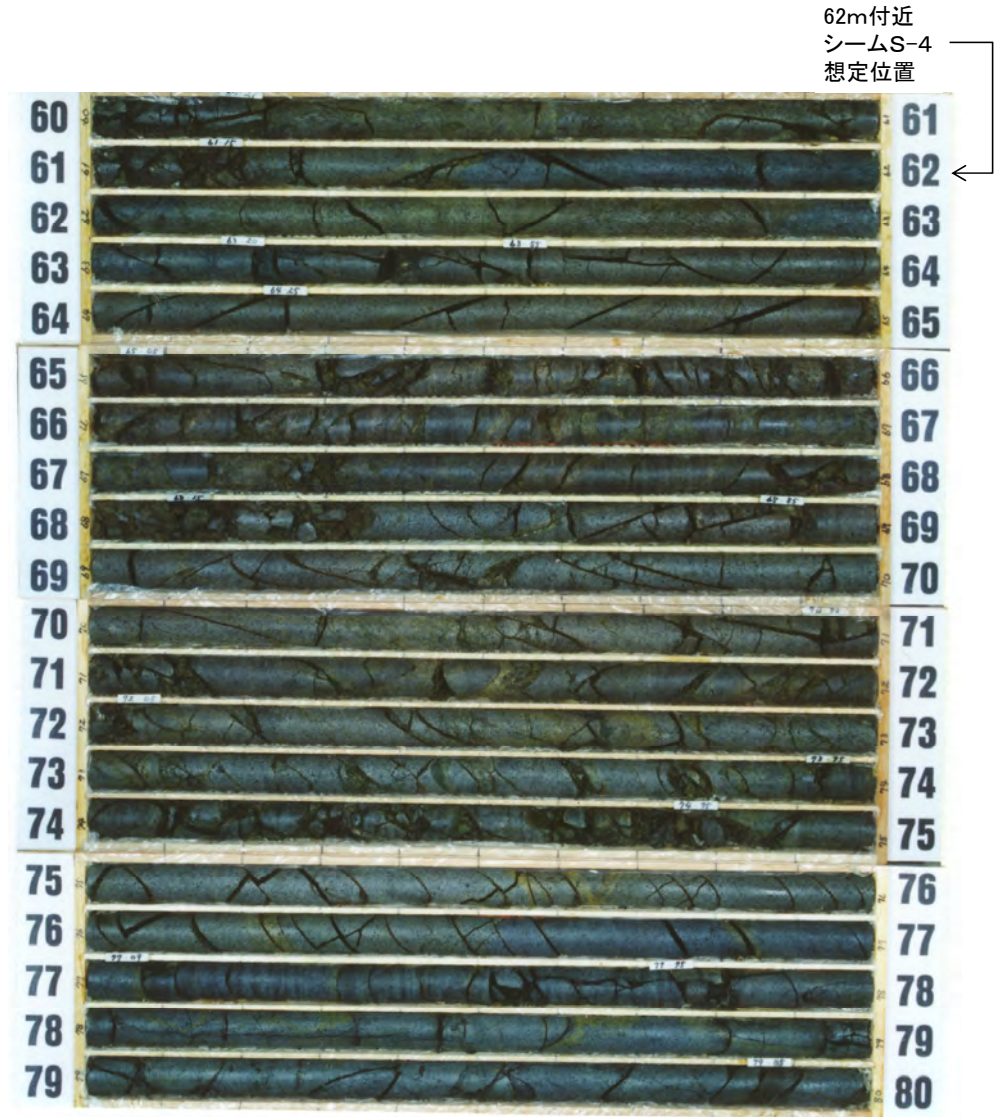
# シームS-4 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-8)[60~80m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

R-8    G L = 13.11m    L = 164.12m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)				R Q D (%)	記事
									20	40	60	80		
40	27.39	40.50	Y Y	安山岩 (角礫質)	暗赤	Bb	2 b					30	40.50~49.00 傾斜角20°の節理あり。 節理面にオリブ色の細粒物質が付着。	
			V V									68		
			V V									70		
			V V									56		
			V V									66		
			V V									77		
			V V									46		
			V V									68		
			V V									23		
			V V									22		
			V V	暗オリブ灰								13		
			V V									10	50.70~50.80 細片状コア。	
			V V			Ba	2 a					18		
			V V									13		
			V V									10		
			V V									0		
			V V									27	56.10~60.25 節理面にオリブ色の細粒物質が付着。	
			V V									29		
			V V									23		
			V V									49	58.90 傾斜角60°の節理面に多線あり。	
			V V	安山岩 (均質)								60	60.25~71.90 節理面に黄緑色・褐色の細粒物質が付着。	
			V V									68		
			V V	オリブ灰								77	62m S-4 推定位置 (シームなし)	
			V V									60		
			V V									45		
			V V									13		
			V V			Ca	3 a					24	66.40~67.30 岩質は周囲より軟質。	
			V V									54		
			V V	灰								22	66.25~68.35 細片状コア。	
			V V									47		
			V V									63		
			V V									26		
			V V									37		
			V V			Ba	2 a					18		
			V V									23	74.60~74.80 細片状コア。	
			V V	増育灰								26		
			V V									27		
			V V									14	77.50~90.80 傾斜角70°~90°の節理あり。 節理面に増緑色の細粒物質が付着。	
			V V									21		
			V V									36		

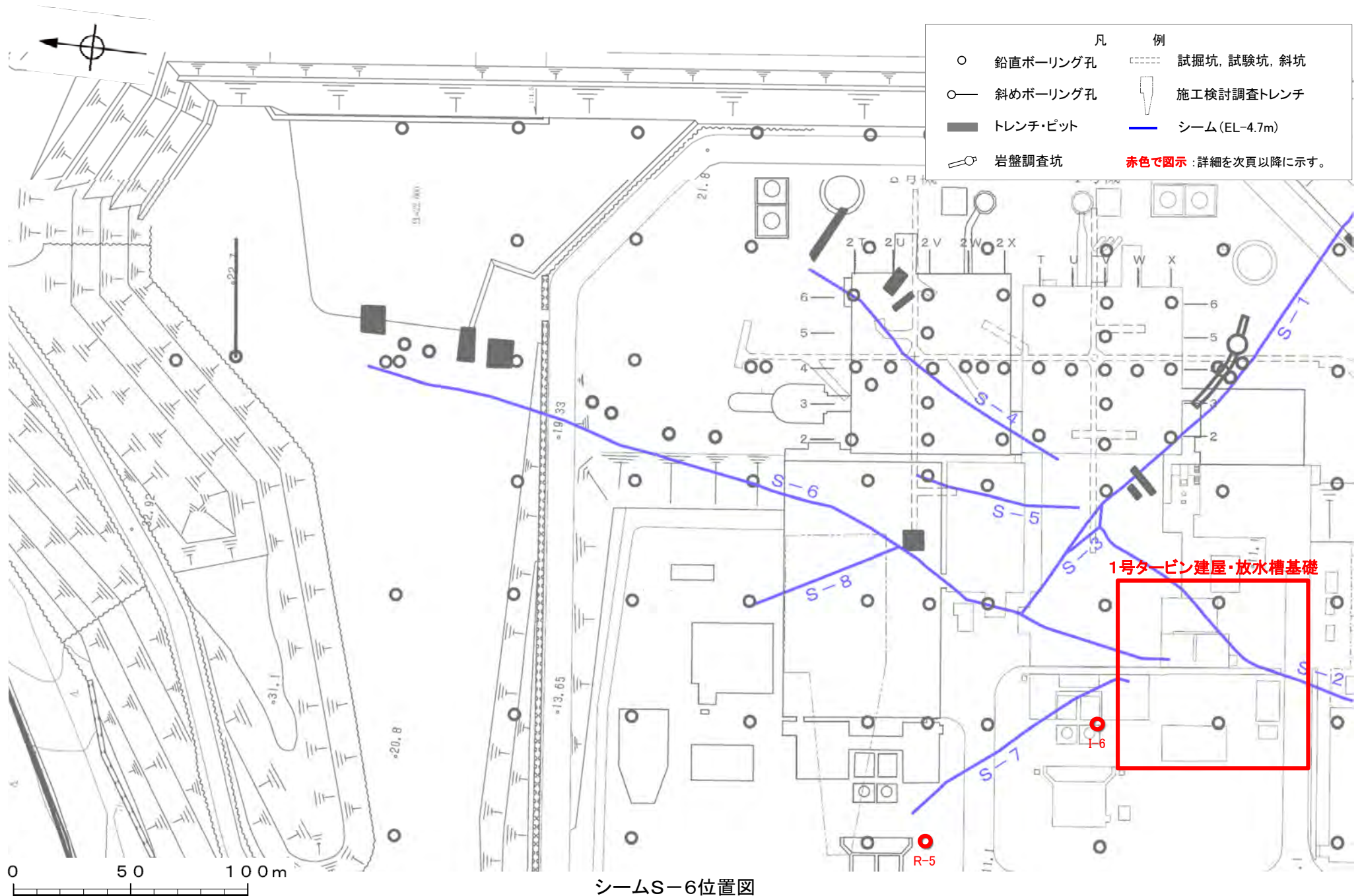
コア写真範囲



•シームS-4の延長は深度62m付近に想定されるが、コアでは確認されない。

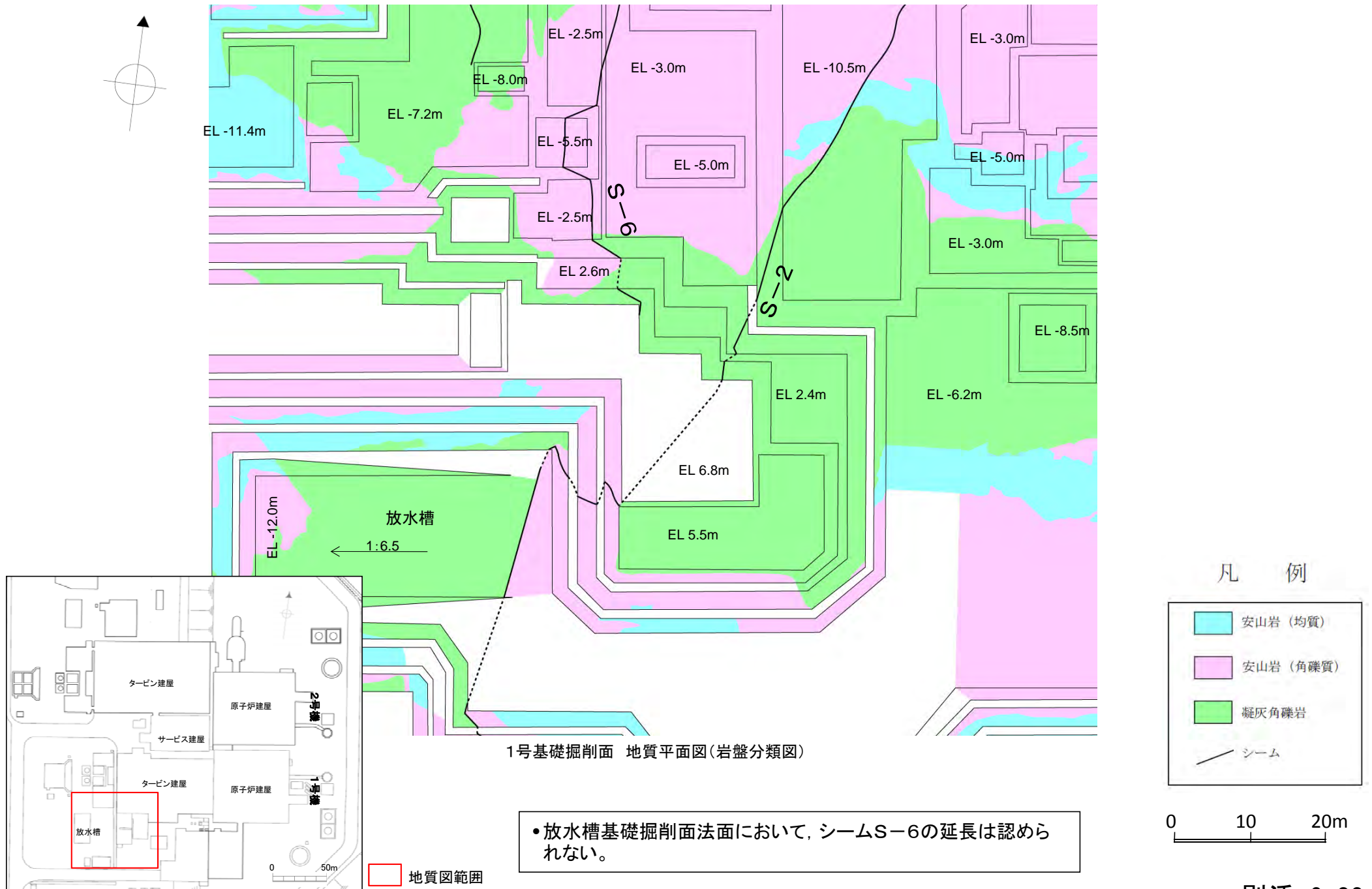


# (4) シームS-6に関する既往調査結果





# シームS-6 南西端の確認(1号タービン建屋・放水槽基礎)





# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(I-6)[40~60m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

I-6

GL = 19.93m

L = 221.67m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	R Q D (%)	記事
40	-22.97	42.90	V V V	安山岩 (角礫質)	オリブ輝 ~ オリブ黒	Ca	3 a		3 a	14	
						Ba	2 a				
45	-27.57	47.50	V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤・暗褐 ・黒褐など	Bb	2 b		21	21	
						Ba	2 a				
50	-34.47	54.40	V V V	安山岩 (角礫質)	オリブ黒 ・暗灰	Ca	3 a		46	46	47.50~49.00・53.00~54.40 岩片の間隙を固結した細粒物質が充填。 48.00~49.00 細片状~柱状コア。 49.70~53.40 細片状~半柱状コア。
						Ba	2 a				
55	-35.77	55.70	V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤・赤褐 ・黒褐	Bb	2 b		48	48	53.40~54.10 土砂状コア。 54.10~54.60 細片状コア。
						Ba	2 a				
60	-37.82	57.75	V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤・赤褐 ・黒褐	Bb	2 b		26	26	60.00~62.50 節理面にオリブ黒色の細粒物質が付着。
						Ba	2 a				
65	-48.87	68.80	V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤・赤褐 ・黒褐、に ぶい赤褐な ど	Bb	2 b		0	0	65m S-6 推定位置 (シームなし) 66.00~72.05 節理面に黄褐色の細粒物質が付着。 67.00~67.40 細片状~半柱状コア。
						Ba	2 a				
70	-57.17	77.10	V V V	安山岩 (角礫質)	灰	Bb	2 b		0	0	73.00~75.31・76.50~77.70 細片状~半柱状コア。 74.30 節理に固結した暗緑灰色の細粒物質が快在。
						Ba	2 a				
80			V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		0	0	77.10~77.90 岩質は層間より軟質。
						Ba	2 a				

コア写真範囲





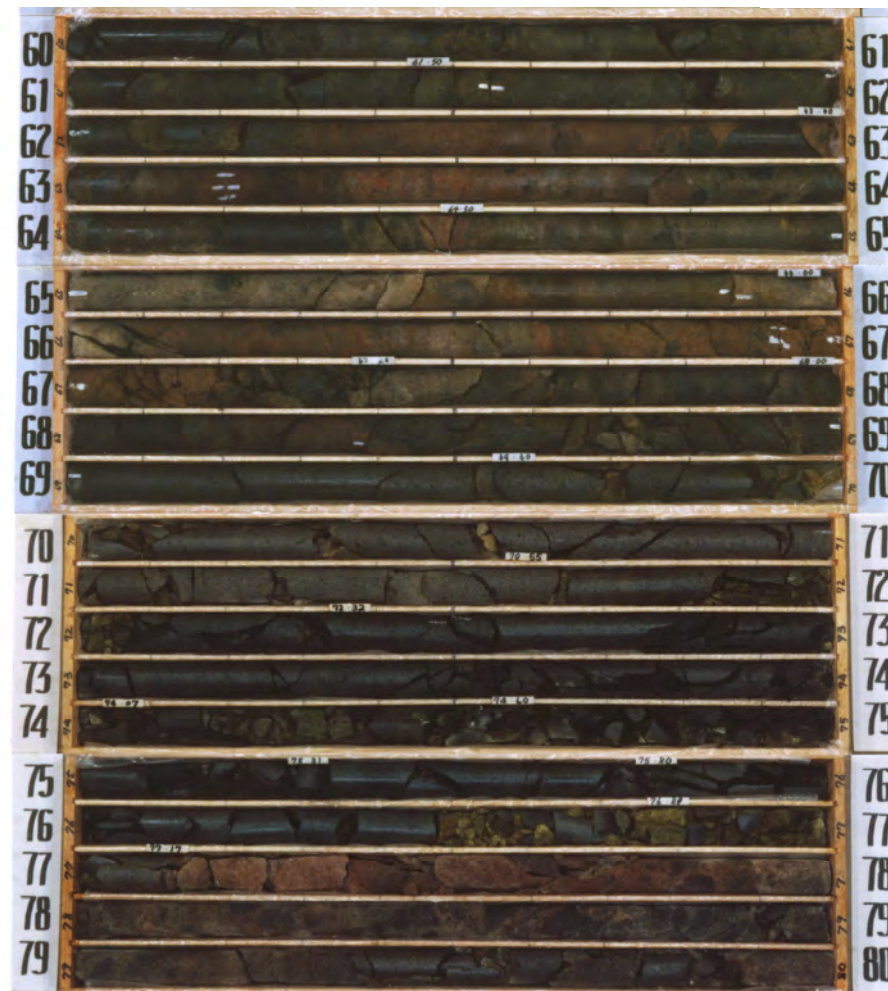
# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(I-6)[60~80m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

I-6                      GL = 19.93m                      L = 221.67m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	RQD (%)	記事
									20 40 60 80		
40			V V V	安山岩 (角礫質)	オリブ輝 ~	Ca	3 a	細粒状	3 a	14	
	-22.97	42.90	V V V		オリブ輝	Ba	2 a		2 a	0	
			V V V			Ca	3 a		3 a	21	
			V V V			Ba	2 a		2 a	43	
45			V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤・暗褐・黒褐など	Bb	2 b			46	
	-27.57	47.50	V V V							34	
			V V V							48	
			V V V							60	47.50~49.00・53.00~54.40 岩片の間隙を充填した細粒物質が充填。 48.00~49.00 細片状~柱状コア。
			V V V			Ca	3 a		3 a	26	
			V V V			Ba	2 a		2 a	10	49.70~53.40 細片状~半柱状コア。
			V V V			Ca	3 a		3 a	0	
	-34.47	54.40	V V V							0	
			V V V							0	
			V V V							0	
	-35.77	55.70	V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤~赤褐・黒褐	Bb	2 b			0	53.40~54.10 土砂状コア。 54.10~54.60 細片状コア。
			V V V							86	
			V V V							100	
	-37.82	57.75	V V V	凝灰角礫岩	黄・橙・褐・黒褐	Bb	2 b			51	
			V V V							95	
			V V V							61	
			V V V							87	60.00~62.30 節理面にオリブ黒色の細粒物質が付着。
			V V V							90	
			V V V	安山岩 (角礫質)	オリブ灰・暗灰	Bb	2 b			97	
			V V V		にぶい赤褐 (茶を含む)					100	
			V V V							91	
			V V V		オリブ灰・黒褐・にぶい赤褐など					91	65m S-6 推定位置 (シームなし)
			V V V			Cb				64	66.00~72.05 節理面に黄褐色の細粒物質が付着。 67.00~67.40 細片状~半柱状コア。
	-45.87	68.80	V V V			Bb				27	
			V V V							44	
			V V V							43	
			V V V							14	
			V V V			Ba				53	
			V V V	安山岩 (角礫質)	暗緑灰	Ba	2 a			49	
			V V V							44	
			V V V			Ca				0	73.90~75.31・76.50~77.70 細片状~半柱状コア。 74.30 節理に固結した暗緑灰色の細粒物質が挟在。
			V V V			Ba				13	
			V V V			Ca				11	
	-57.17	77.10	V V V			Cb	3 b			43	77.10~77.90 岩質は節理より軟質。
			V V V	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b			76	
			V V V							33	

コア写真範囲



65m付近  
シームS-6  
想定位置



# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(I-6)[80~100m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

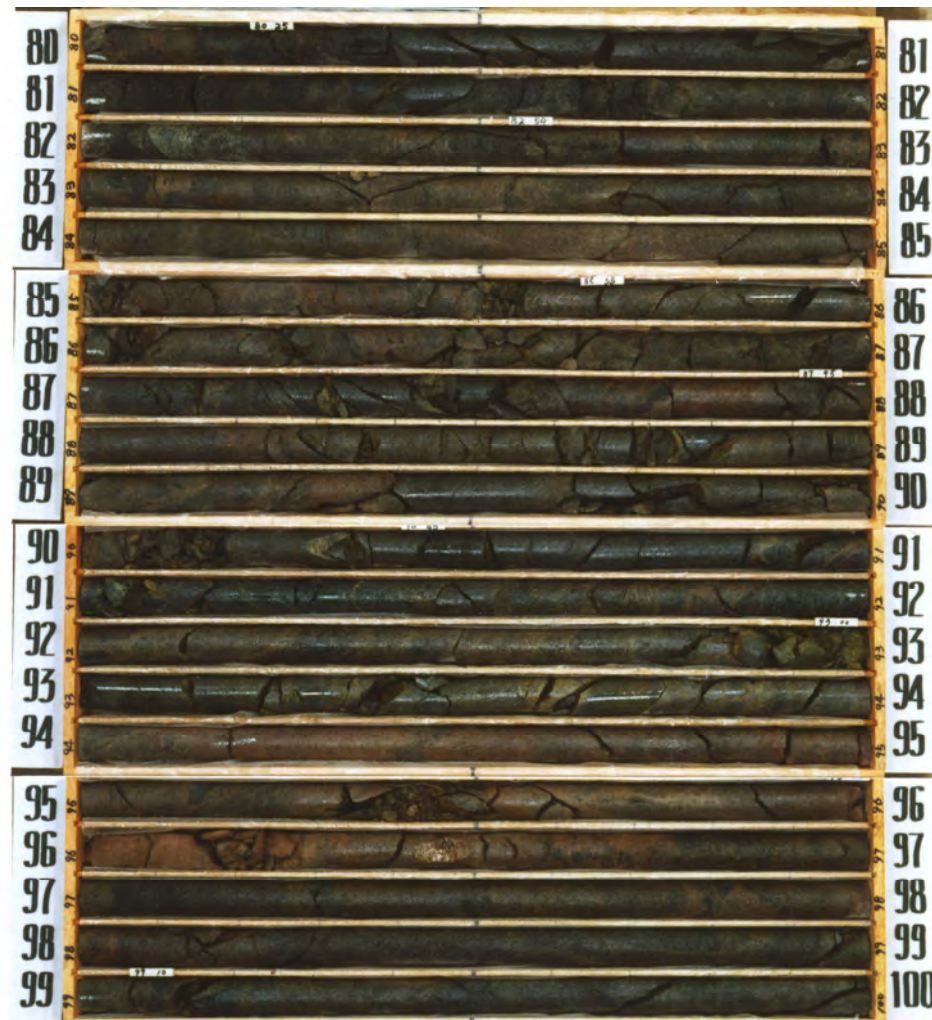
I-6

GL = 19.93m

L = 221.67m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状					RQD (%)	記事
								採取率 (%)	20	40	60	80		
80				暗赤褐								41		
												49		
												74	82.00~83.10 緑灰色の硬あり。	
												87		
												95		
					にふい赤褐 (暗灰を含む)							0		
												23	86.50~86.70・87.30~87.70 半柱状~短柱状コア。	
												40		
												23		
												46		
												37	90.00~90.20 細片状コア。	
												71		
						Bb						78		
												35		
												90		
												64	95.40~95.50 細片状コア。	
				安山岩 (角礫質)	にふい赤褐		2 b					67		
												100		
												93		
												85		
												85		
												96	102.00~102.20・102.70~103.10 104.80~105.20・105.90~106.45 主として半柱状コア。	
					にふい赤褐 (暗灰・黒 を含む)							0		
												87		
												50		
												36	105.20~105.60 傾斜角70°~80°の節理あり。 節理面に鏡肌・糸線あり。	
						Cb						38		
												61		
												45		
						Bb						40		
												65		
												73		
												72		
						Ca	3 a					45		
						Ba						36	114.00~114.50・115.00~115.50 116.50~119.80 主として細片状~半柱状コア。	
						Ca						37		
						Ba	2 a					25		
												14		
						Ca						37		
						Ba						0		

記事  
コア写真範囲





# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(I-6)[100~120m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

I-6

GL = 19.93m

L = 221.67m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	RQD (%)	記事																																																									
												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																	
80			▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	暗赤褐						41																																																										
85												にぶい赤褐 (精灰を含む)	安山岩 (角礫質)	Bb	2 b			49	82.00~83.10 緑灰色の輝あり。																																																	
90																				にぶい赤褐 (精灰・黒を含む)	安山岩 (角礫質)	Bb	2 b		74	86.50~86.70・87.30~87.70 半柱状~短柱状コア。																																										
95																											にぶい赤褐 (精灰・黒を含む)	安山岩 (角礫質)	Bb	2 b		87	90.00~90.20 細片状コア。																																			
100																																		にぶい赤褐 (精灰・黒を含む)	安山岩 (角礫質)	Bb	2 b		95	95.40~95.50 細片状コア。																												
105																																									暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		96	102.00~102.20・102.70~103.10 104.80~105.20・105.90~106.45 主として半柱状コア。																					
110	-92.32	112.25																																														暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		98	105.20~105.60 傾斜角70°~80°の節理あり。 節理面に隕杭・条線あり。														
115																																																							暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ba	2 a		100	114.00~114.50・115.00~115.50 116.50~119.80 主として細片状~半柱状コア。							
120																																																														暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		101	
			暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		103																																																												
										暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		104																																																					
																	暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		105																																														
																								暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		106																																							
																															暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		107																																
																																						暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		108																									
																																													暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		109																		
																																																				暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		110											
																																																											暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		111				
																																																																		暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca
			暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		113																																																												
										暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		114																																																					
																	暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		115																																														
																								暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		116																																							
																															暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		117																																
																																						暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		118																									
																																													暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		119																		
																																																				暗赤褐	安山岩 (角礫質)	Ca	3 a		120											

コア写真範囲



・シームS-6延長は深度65m付近に想定されるが、  
コアでは確認されない。



# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-5)[120~140m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

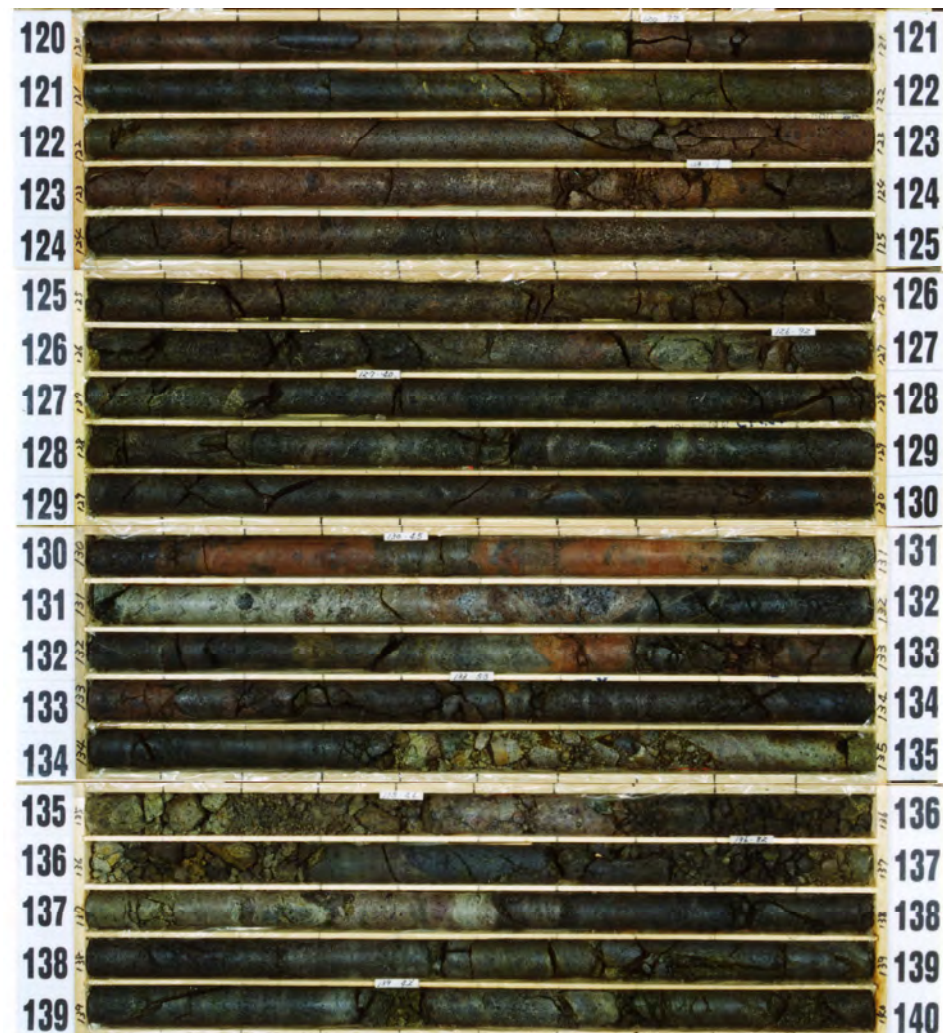
R-5

GL = 11.12m

L = 212.55m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	R Q D (%)	記事
120	-110.28	121.40	▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		75	75	121.40~121.60 黄色の小礫あり。
	-110.48	121.60		凝灰角礫岩	黒褐	Bb			85	85	
125			▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		64	64	123.70~123.80 細片状コア。
				凝灰角礫岩	暗赤褐(暗赤褐を含む)	Bb			63	63	
130	-118.98	130.10	▽	凝灰角礫岩	暗赤褐	Bb	2 b		40	40	130.10~137.55 緑灰色・黒褐色の礫あり。 節理面に隕肌あり。
									77	77	
135	-126.43	137.55	▽	凝灰角礫岩	暗赤褐	Bb	2 b		57	57	134.35~137.00 主として細片状~半柱状コア。
									19	19	
140			▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		31	31	142.70~142.80・144.05~144.15 細片状コア。
									44	44	
145	-134.18	145.30	▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		18	18	147.40~147.90・149.00~149.75 岩質は周囲より軟質。
									85	85	
150	-138.63	149.75	▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		0	0	151.00~151.10・151.70~151.80 152.35~152.45・152.70~152.85 細片状コア。
									32	32	
155			▽	安山岩(角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		39	39	154m S-6 推定位置(シームなし)
									35	35	
160			▽						86	86	
			▽						77	77	

コア写真真範囲





# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-5)[140~160m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

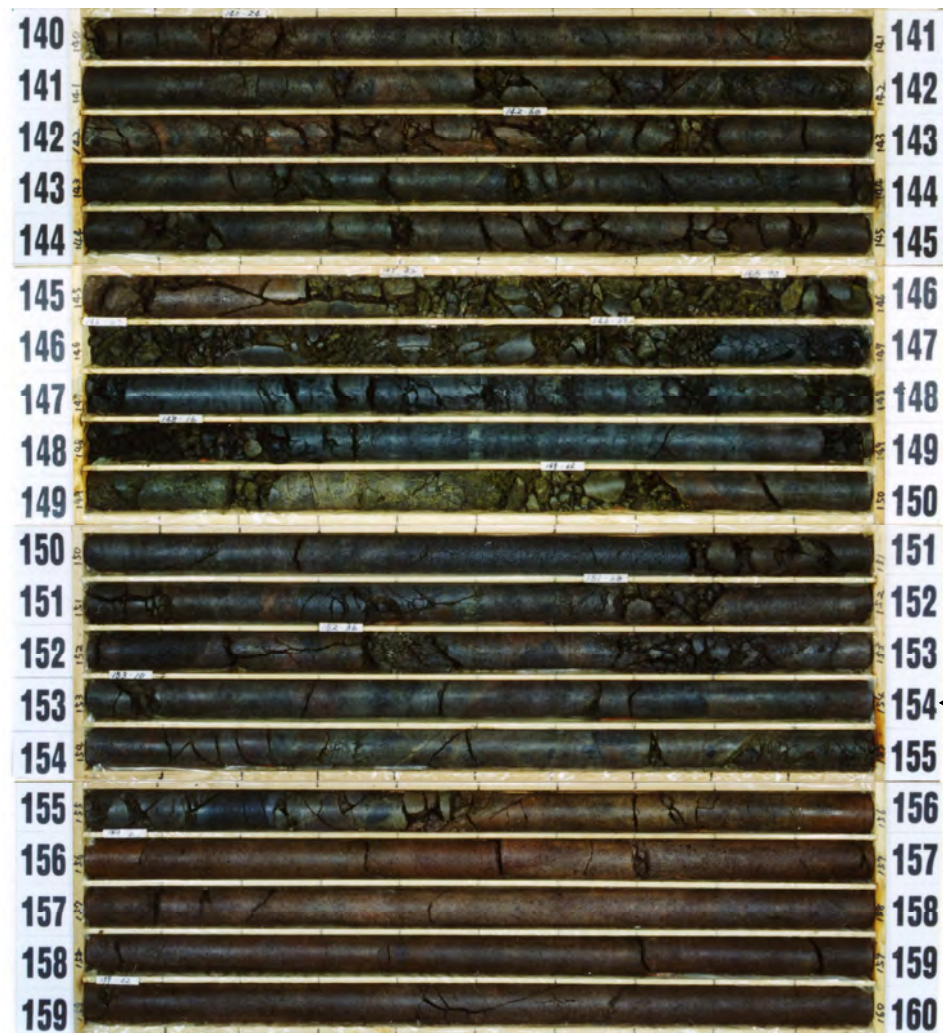
R-5

GL = 11.12m

L = 212.55m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)	R Q D (%)	記事
120	-110.28	121.40	▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		75	75	
	-110.48	121.60		凝灰角礫岩	黒褐	Bb	2 b		75	85	
125			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		64	64	121.60 傾斜角65°の節理面に鏡肌あり。
									63	63	123.70~123.80 細片状コア。
130			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	黒褐(暗赤褐を含む)	Bb	2 b		75	75	130.10~137.55 緑灰色・黒褐色の礫あり。 節理面に鏡肌あり。
									59	40	
									40	77	
									87	77	
135			△△△	凝灰角礫岩	暗赤褐	Bb	2 b		99	99	132.70~132.85 細片状コア。
									84	57	
									19	55	
140			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		0	0	134.35~137.00 主として細片状~半柱状コア。
									31	31	
									44	39	
145			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		57	57	139.95~139.95 細片状コア。
									50	31	
150			▽▽▽	安山岩 (均質)	褐灰	Ca	2 a		18	18	142.70~142.80・144.05~144.15 細片状コア。
					暗緑灰	Cn	3 a		85	15	
					灰オリーブ	Ba	2 a		0	0	
						Ca	3 a		32	59	
155			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		77	77	147.90~148.25・149.55~149.75 細片状コア。
					赤褐 ~ 灰赤	Bb			40	39	
160			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	暗赤褐	Bb	2 b		88	88	151.00~151.10・151.70~151.80 152.35~152.45・152.70~152.85 細片状コア。
					赤褐 ~ 灰赤	Bb			39	35	

コア写真範囲



154m付近  
シームS-6  
想定位置



# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-5)[160~180m])

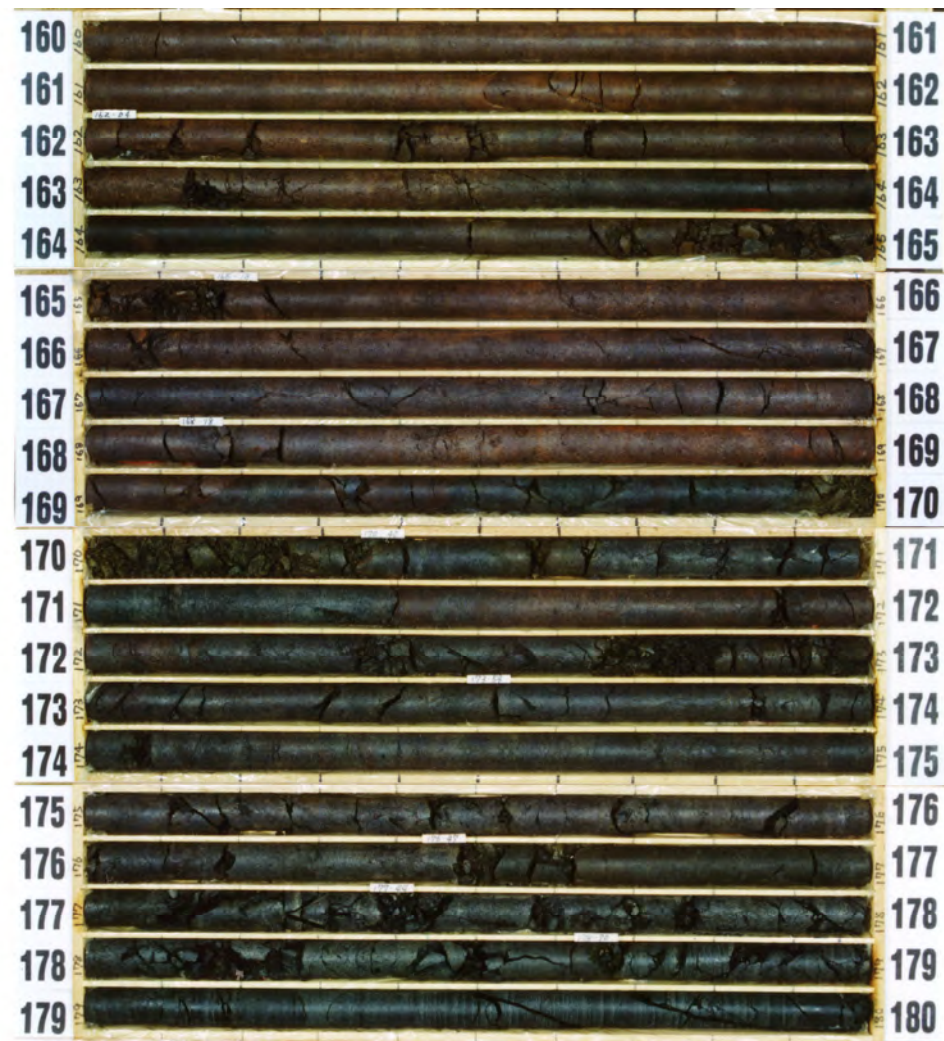
※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

R-5

GL = 11.12m

L = 212.55m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状	コア採取率 (%)		R Q D	記事										
									①	②												
160				赤褐 ~ 灰赤		Bb			100	100		コア写真範囲  164.75~165.15 細片状コア。  169.95~170.25 細片状コア。  172.55~173.00 細片状~半柱状コア。  177.10~178.30 岩質は周囲より軟質。 177.10~212.55 断層面に黒色・緑黒色の細粒物質が付着。 177.25~177.45・178.10~178.20 180.00~180.10・180.45~180.60 細片状コア。  187.45~187.55 細片状コア。  191.40~192.00 岩質は周囲より軟質。  195.00~195.40・196.00~196.10 細片状コア。  198.55~198.65 細片状コア。										
165																						
170																						
175																						
180	-165.98	177.10							黒褐・赤褐		2 b				0	0						
185																						
190																						
195																						
200															暗緑灰 ~ 緑黒		3 a			0	0	



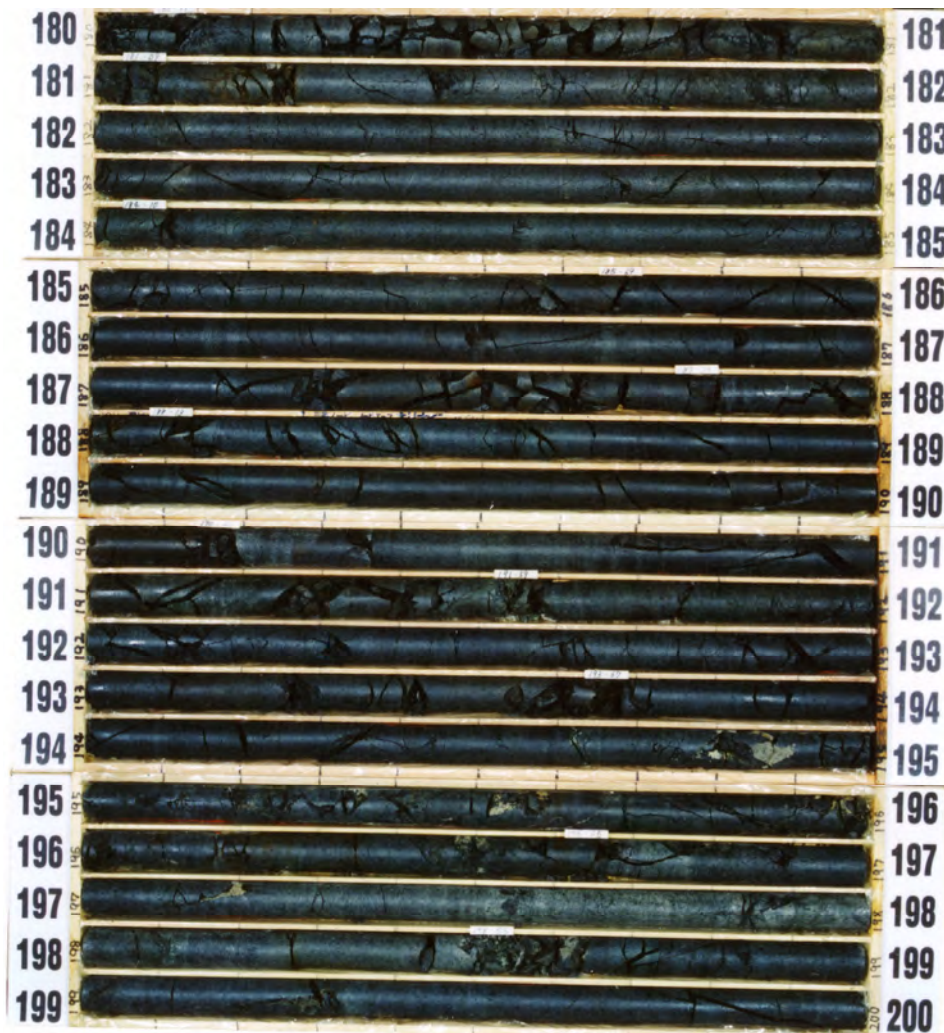


# シームS-6 深部方向の確認(ボーリング調査結果(R-5)[180~200m])

※H9.10.20 2号機安全審査顧問会  
参考資料-SK2を一部編集

R-5                      GL = 11.12m                      L = 212.55m

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	岩級区分	コアの硬さ	コアの形状				R Q D	記事				
								①	②	③	④						
								コア採取率 (%)									
								20	40	60	80						
160			▽▽▽	安山岩 (角礫質)	赤褐 ~ 灰赤	Bb	2 b	100				100	164.75~165.15 細片状コア。				
														94			
														83			
														73			
165														65			
														76			
														80			
														37			
														72			
														59			
170				黒褐・赤褐	Bb	2 b						169.95~170.25 細片状コア。					
											20						
											88						
											12						
											48						
175				安山岩 (角礫質)	暗緑灰 ~ 緑黒	Ba	2 a					172.65~173.00 細片状~半柱状コア。					
													60				
													47				
													60				
													41				
													0				
													23				
													0				
													11				
													49				
180				安山岩 (角礫質)	暗緑灰 ~ 緑黒	Ba	2 a					177.10~178.30 岩質は層面より軟質。 177.10~212.55 節理面に黒色・緑黒色の細粒物質が付着。 177.25~177.45・178.10~178.20 180.05~180.10・180.45~180.60 細片状コア。					
													22				
													44				
													36				
													70				
													17				
													24				
													57				
													62				
													42				
185				安山岩 (角礫質)	暗緑灰 ~ 緑黒	Ca	3 a					187.45~187.55 細片状コア。					
													11				
													49				
													22				
													44				
													36				
													70				
													17				
													24				
													57				
190				安山岩 (角礫質)	暗緑灰 ~ 緑黒	Ca	3 a					191.40~192.00 岩質は層面より軟質。					
													11				
													49				
													22				
													44				
													36				
													70				
													17				
													24				
													57				
195				安山岩 (角礫質)	暗緑灰 ~ 緑黒	Ba	2 a					195.00~195.40・196.00~196.10 細片状コア。					
													23				
													29				
													0				
													73				
													58				
													74				
													0				
													23				
													73				
200								58									
								74									



コア写真範囲

・シームS-6の延長は深度154m付近に想定されるが、コアでは確認されない。



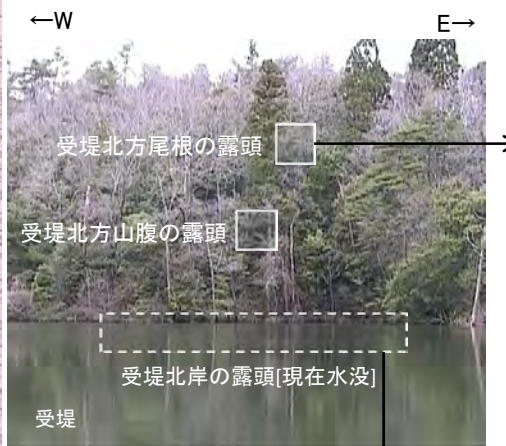
## 7. 福浦断層受堤北方周辺での調査結果



# 福浦断層受堤北方周辺での調査結果①



位置図



位置写真(南方から撮影)

断層

←E → W

←E → W

表土

穴水累層 安山岩  
・凝灰角礫岩状で全体的に風化が進み、軟質

断層  
・厚さ0.2~1cmのにぶい赤褐色粘土を伴い、走向・傾斜はN6° E/80° W

シルト質粘土層  
・赤褐色を呈する粘土~シルトで、しまりがよくかなり硬質。マンガン斑が濃集し、トラ斑を伴う  
・断層近傍では砂・礫混じりシルト~粘土で安山岩くさり礫(角~垂角)を含む  
・火山灰分析の結果、火山灰は検出されない

礫混じり砂質シルト層  
・赤褐色を呈する礫混じりシルト~粘土で粘土分が多く、礫の一部はくさり礫化  
・火山灰分析の結果、β石英を検出

礫混じり砂質シルト層  
・赤褐色を呈する礫混じりシルト~粘土でしまりが悪い  
・火山灰分析の結果、β石英を検出

A地点 (簡易ボーリング)  
EL.87.2m

0 50cm

受堤北方尾根の露頭の写真, スケッチ

- ・リニアメント・変動地形とほぼ一致する断層が確認された。
- ・断層の走向傾斜はN6° E/80° W。
- ・断層下盤側のシルト質粘土層は、締りの程度、くさり礫やトラ斑の分布等から古い時代の堆積物と想定されるが年代は不明。
- ・断層下盤側での簡易ボーリングの結果、地表下約3.5mに穴水累層の安山岩を確認(A地点)。



凡例

【リニアメント・変動地形】

- La (変動地形である可能性がある)
- Lc (変動地形である可能性が高い)
- Ls (変動地形である可能性は非常に低い)

ケハは低下側を示す。  
↓は地形面の傾斜の向きを示す。

【地質】

地質時代	地層の層序	地層・岩石名
第四紀	AL	沖積層
	OF	古期扇状地堆積層
更新世	MI	中位段丘I面堆積層
	IAa	穴水累層 安山岩
新第三紀	IAC	穴水累層 安山岩質火砕岩 (凝灰角礫岩)
	IAT	穴水累層 安山岩質火砕岩 (凝灰岩)

断層

←W → E

破碎部

断層面に沿って幅5mm以下の淡褐色粘土を挟む

断層面は風化を受け不明瞭となっている

不規則に明黄褐色の軟質粘土が挟まれる

赤色を呈する

断層面は比較的明瞭で、不鮮明ながら部分的に鏡肌・条線が認められる

径1~2cmの垂角礫(強風化した赤褐色安山岩)が散在  
・礫表面に鏡肌が認められるものがある

淡褐色粘土を挟む  
黒色を呈する

0 1m

受堤北岸の露頭の断層拡大写真, スケッチ

- ・リニアメント・変動地形とほぼ一致する断層が確認された。
- ・断層の走向傾斜はN9° E/60° W。
- ・破碎部の幅は、10~30cmで、鏡肌が認められるものの全体に強風化しており、破碎構造は不鮮明。



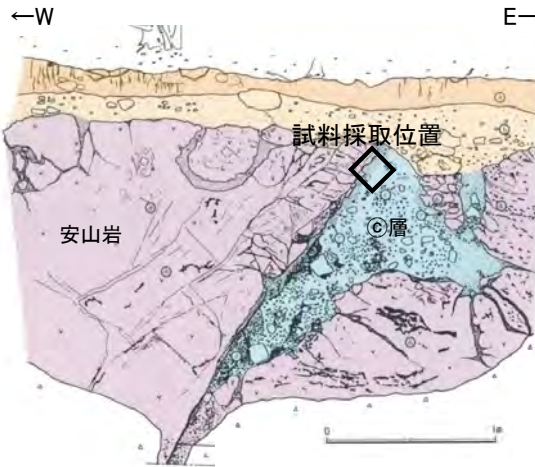
# 福浦断層受堤北方周辺での調査結果②

■ 受堤北方山腹の露頭について、断層活動の痕跡がある箇所と、赤色風化以降に断層活動の痕跡がない箇所について、研磨面、軟X線写真等を用いて内部の詳細構造を観察、比較した。

※ H21.1.22 原子力安全委員会 地震・地震動評価委員会及び施設健全性評価委員会「WG2第8-2-7号」を一部編集

## 赤色風化以降に断層活動の痕跡がない箇所

○ 受堤北方山腹の露頭(安山岩と◎層の境界付近)

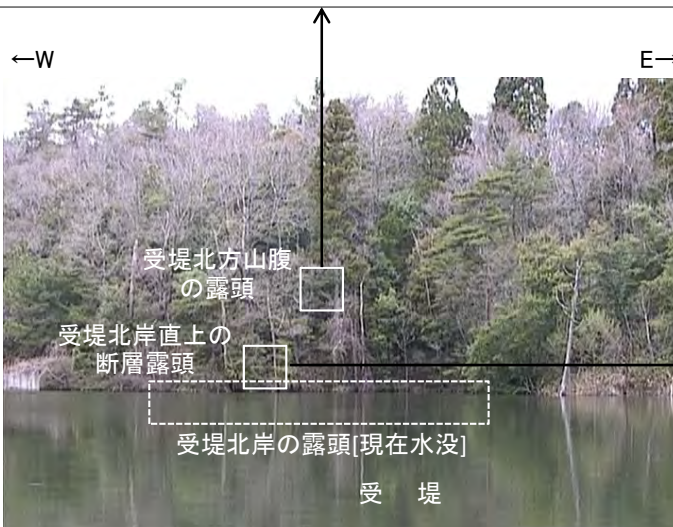


受堤北方山腹の露頭スケッチ



試料採取位置写真

- 受堤北方山腹の露頭の安山岩と◎層の境界付近で試料を採取

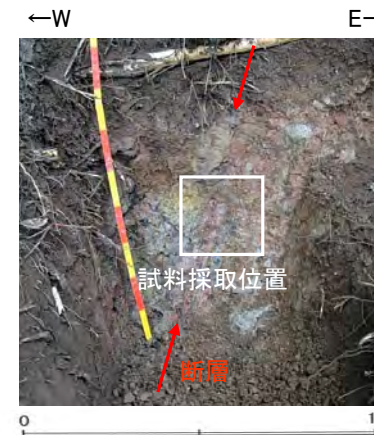


位置写真(南方から撮影)

- 受堤北岸の露頭(現在水没)の直上で風化した安山岩中に断層露頭を確認

## 断層活動の痕跡がある箇所

○ 受堤北岸の露頭の直上の断層露頭(安山岩中の断層部)



試料採取位置写真

- 受堤北岸の露頭(現在水没)の直上の風化した安山岩中の断層部で試料を採取



# 福浦断層受堤北方周辺での調査結果③

※ H21.1.22 原子力安全委員会 地震・地震動評価委員会及び  
施設健全性評価委員会「WG2第8-2-7号」を一部編集

	研磨面の写真	軟X線写真	観察結果
<p>(赤色風化以降に断層活動の痕跡がない箇所) 安山岩と◎層の境界</p>			<p>○研磨面による観察結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安山岩と◎層の境界は凹凸し、赤色土壌化を受けた風化物が安山岩中に入り込んでおり、これに破碎構造は認められない</li> </ul> <p>○軟X線写真による観察結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安山岩と◎層の境界付近の濃淡の分布に直線的な構造は認められない</li> </ul>
<p>(断層活動の痕跡がある箇所) 安山岩中の断層</p>			<p>○研磨面による観察結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・破碎部(粘土部、礫混じり粘土部及び角礫質破碎部)では、破碎に伴う内部構造が帯状に認められる</li> </ul> <p>○軟X線写真による観察結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安山岩と破碎部との境界、破碎部の帯状の構造が識別でき、内部構造に対応する筋状の構造も明瞭に認められる</li> </ul>

・安山岩中の断層では帯状の破碎構造が明瞭に認められるが、安山岩と◎層の境界は凹凸し、赤色土壌化を受けた風化物が安山岩中に入り込んでおり、これに破碎構造は認められない。



# 福浦断層受堤北方周辺での調査結果④



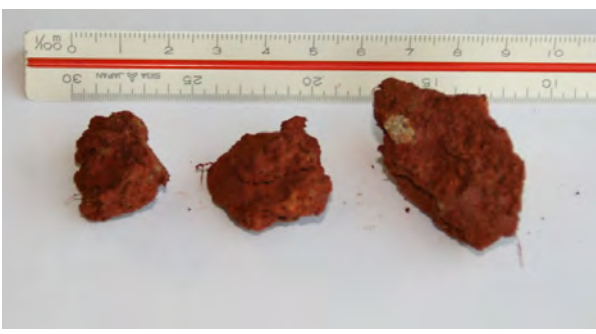
※ H21.1.22 原子力安全委員会 地震・地震動評価委員会及び  
施設健全性評価委員会「WG2第8-2-7号」を一部編集

■受堤北方山腹の赤色土壌化を受けた風化物(◎層)が形成された年代を検討するため、赤色土壌化に関する観察及び遊離酸化鉄分析を実施した。

○赤色土の形成時期について

- ・赤色土は下末吉期(海洋酸素同位体ステージ5e)の温暖な気候下で形成されたと考えられ、高位段丘を識別する重要な特徴とされている。<sup>※1, 2, 3</sup>
- ・赤色土が下末吉期以前に形成されたものであることが、隆起サンゴ礁や火山灰の年代に基づき推定されている。<sup>※4, 5</sup>

○赤色土壌化に関する観察結果

中位段丘の土壌	高位段丘の土壌	◎層
		
色調: 赤褐色5YR~褐色7.5YR 土壌構造: 中~弱構造(中~大粒) 土壌のしまり:「やや良好」 くさり礫: 一部に見られる 細粒物質:シルト~砂質シルト	色調:赤褐色2.5YR~赤色10R 土壌構造: 強~中構造 (細粒~中粒) 土壌のしまり:「良好」 くさり礫: 多い 細粒物質:粘土	色調:赤褐色2.5YR~赤色10R 土壌構造: 中構造(中粒) 土壌のしまり:「良好」 くさり礫: 多い 細粒物質:粘土が主体
・◎層の赤色風化は著しく、また、◎層の赤色土壌化(色調2.5YR~10R、土壌構造の発達)及びくさり礫化(風化)は高位段丘構成層の赤色土壌と同様の性状を示しており、しまりの程度も良好である。 ・赤色土壌化を受けた風化物は◎層と同様の色調と土壌構造を示している。		

・赤色土壌化を受けた風化物は、高位段丘構成層の赤色土壌に相当する。

※1 松井 健・加藤 芳朗(1965):中国・四国地方およびその周辺における赤色土の産状と生成時期-西南日本の赤色土の生成にかんする古土壌学的研究第2報, 資源研究所彙報, Vol.64.

※2 成瀬 洋(1974):西南日本太平洋岸地域の海岸段丘に関する2・3の考察, 大阪経大論集, 第99号.

※3 阿部 勝征・岡田 篤正・垣見 俊弘(1985):地震と活断層, アイ・エス・ユー株式会社.

※4 Nagatsuka, S. and Maejima, Y. (2001): Dating of Soils on the Raised Coral Reef Terraces of Kikai Island in the Ryukyus, Southwest Japan : With Special Reference to the Age of Red-Yellow Soils, *The Quaternary Research*, 40, 137-147.

※5 赤木 功・井上 弦・長友 由隆(2003):九州南部に分布する赤黄色土(古赤色土)の産状, 日本土壌肥科学雑誌, 74, 623-630.



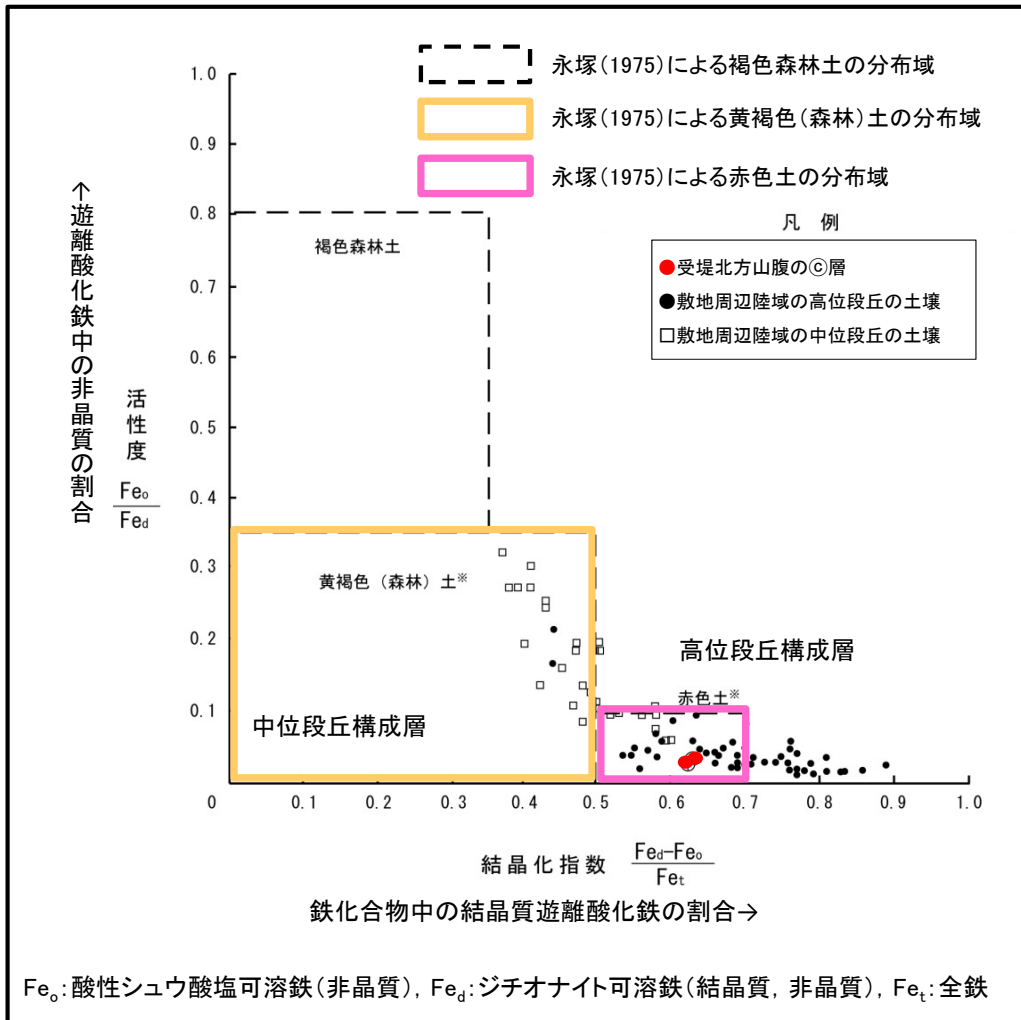
# 福浦断層受堤北方周辺での調査結果⑤

※ H21.1.22 原子力安全委員会 地震・地震動評価委員会及び施設健全性評価委員会「WG2第8-2-7号」を一部編集

## ○遊離酸化鉄分析について

- ・遊離酸化鉄分析とは、土壤中の遊離酸化鉄の活性度、結晶化指数等により土壌を定量的に分類する方法
- ・前期更新世から中期更新世の地形面の土壌に関する遊離酸化鉄の活性度、結晶化指数が示されている。\*1
- ・遊離酸化鉄の結晶化指数と段丘形成時期との間には、相関性があることを示している。\*2

## ○遊離酸化鉄分析結果



遊離酸化鉄分析結果

褐色森林土	—	遊離酸化鉄中の非晶質部分の占める割合が比較的大きい
黄褐色(森林)土	中位・低位段丘面に分布	中間的性質
赤色土	高位段丘面に分布	鉄化合物中で結晶質遊離酸化鉄が支配的

永塚(1975)による土壌の分類

・◎層の遊離酸化鉄分析結果は、永塚(1975)が区分した赤色土に対応し、また周辺の高位段丘構成層と同程度の値を示している。

\*1 永塚 鎮男(1975): 西南日本の黄褐色森林土および赤色土の生成と分類に関する研究, 農業技術研究所報告B第26号別刷。

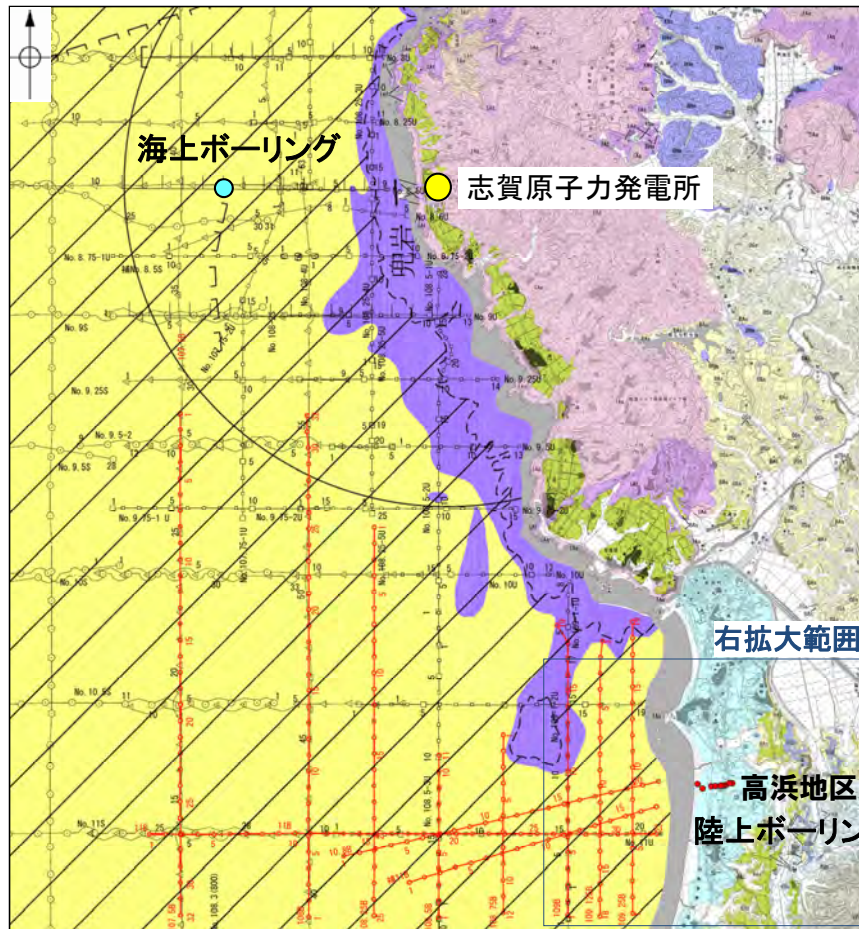
\*2 Maejima, Y., Nagatsuka, S. and Higashi, T. (2002): Application of the Crystallinity Ratio of Free Iron Oxides for Dating Soils Developed on the Raised Coral Reef Terraces of Kikai and Minami-Daito Islands, Southwest Japan, *The Quaternary Research*, 41, 485-493.



## 8. 陸上ボーリング(高浜地区), 海上ボーリング調査結果



# ボーリング調査位置図



調査位置図

- No. B 調査測線(北陸電力:スパーカー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
- No.9・S 調査測線(北陸電力:スパーカー・シングルチャンネル・約360ジュール)
- No.8U 調査測線(北陸電力:ブーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)(2006年実施)
- NI-06BM 調査測線(原子力安全保安院:ブーマー・マルチチャンネル)

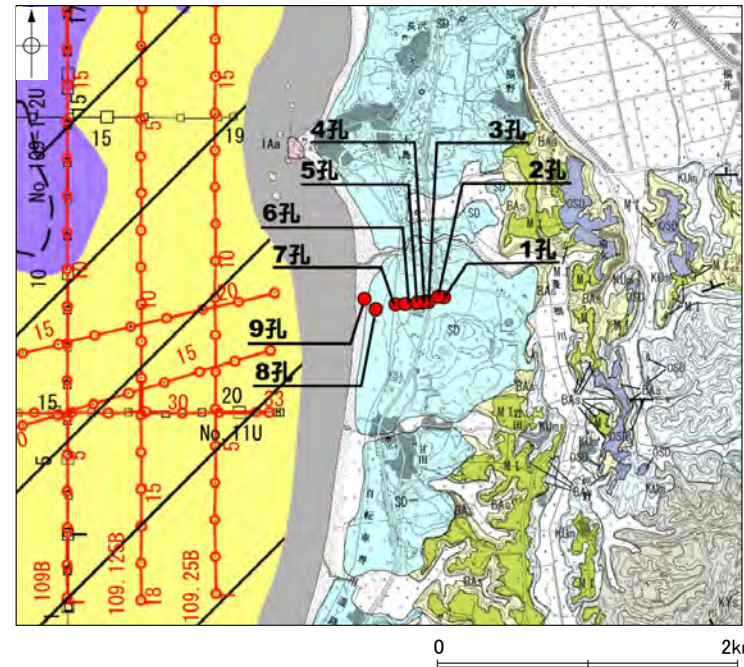
- A層(後期更新世～完新世)分布域
- B層(中・後期更新世)
- D層(先第三紀～鮮新世)

## ● 海上ボーリング調査

- ・本数: 1本
- ・掘進長: 44m
- ・掘削径  $\phi$  86mm(オールコア)
- ・掘進方向: 鉛直

## ● 陸上ボーリング調査

- ・本数: 9本
- ・掘進長: 計250m
- ・掘削径  $\phi$  86mm(オールコア)
- ・掘進方向: 鉛直

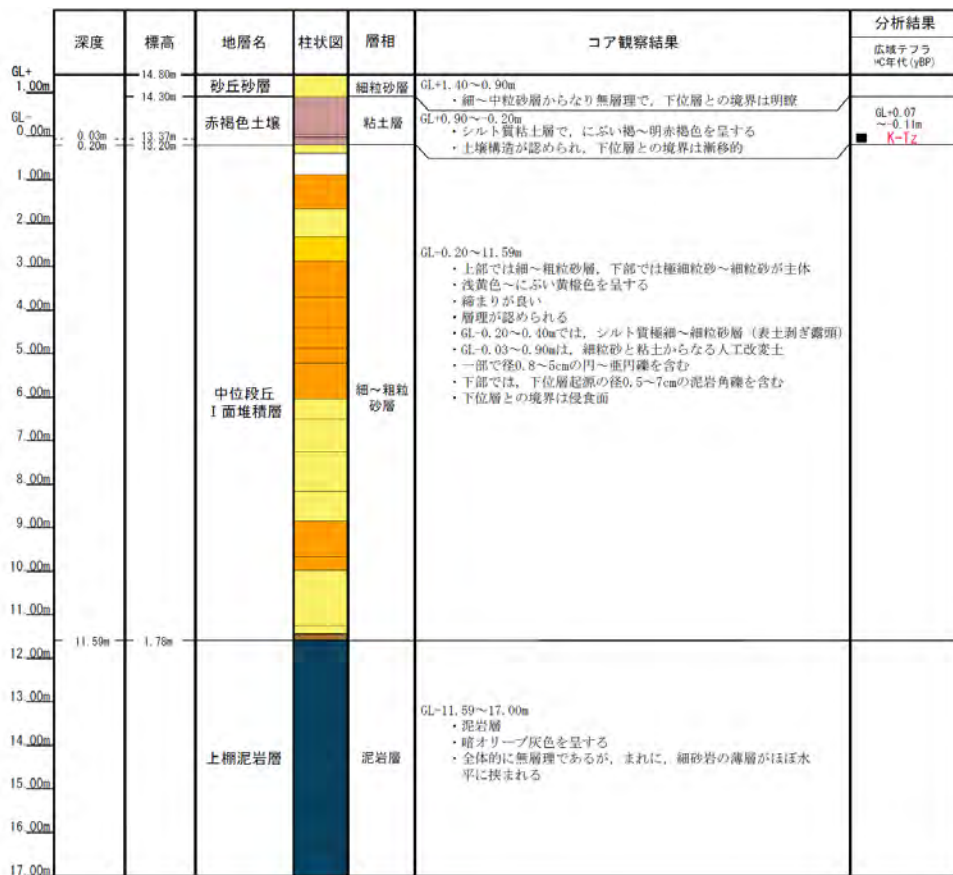


拡大位置図(高浜地区)

【地質】		凡 例	
地質時代	地層・岩石名	記号	地層・岩石名
完新世	砂丘砂層	SD	砂丘砂層
	沖積層	AL	沖積層
	古砂丘砂層	OSD	古砂丘砂層
	古期扇状地堆積層	OF	古期扇状地堆積層
更新世	中位段丘I面堆積層	M I	中位段丘I面堆積層
	出雲石灰質砂岩層(非石灰質部)	OSs	出雲石灰質砂岩層(非石灰質部)
新中世	出雲石灰質砂岩層(石灰質部)	OLS	出雲石灰質砂岩層(石灰質部)
	浜田泥岩層	BHn	浜田泥岩層
新第三紀	赤浦砂岩層	BAc	赤浦砂岩層
	草木互層	KNs	草木互層
	上棚泥岩層	KUn	上棚泥岩層
白垩紀	後山砂岩層	KYs	後山砂岩層
	穴水累層 安山岩	IAa	穴水累層 安山岩
	穴水累層 安山岩貫火砕岩(瀨田角礫岩)	JAc	穴水累層 安山岩貫火砕岩(瀨田角礫岩)
岩層	穴水累層 安山岩貫～石英安山岩貫火砕岩(瀨灰岩)	IAF	穴水累層 安山岩貫～石英安山岩貫火砕岩(瀨灰岩)



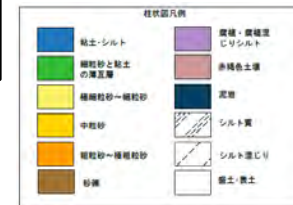
# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真・表土剥ぎ露頭写真(高浜地区1孔)



柱状図

テフラの年代(町田・新井, 2003)

K-Tz: 9.5万年前



GL (m)  
+1.4



表土剥ぎ露頭

(EL13.40m) 0

-0.4

表土剥ぎ露頭写真

ボーリング1孔

1孔(孔口標高13.37m, 掘進長17m)

深度(m)  
(EL13.37m) 0



深度(m)

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17

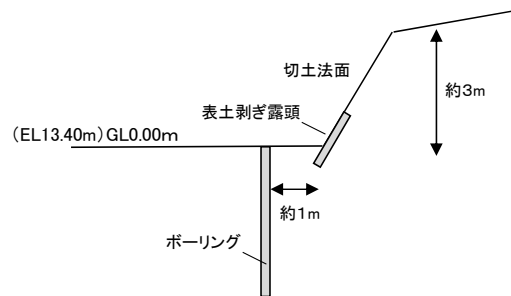
コア写真

別添-8-3

←N S→



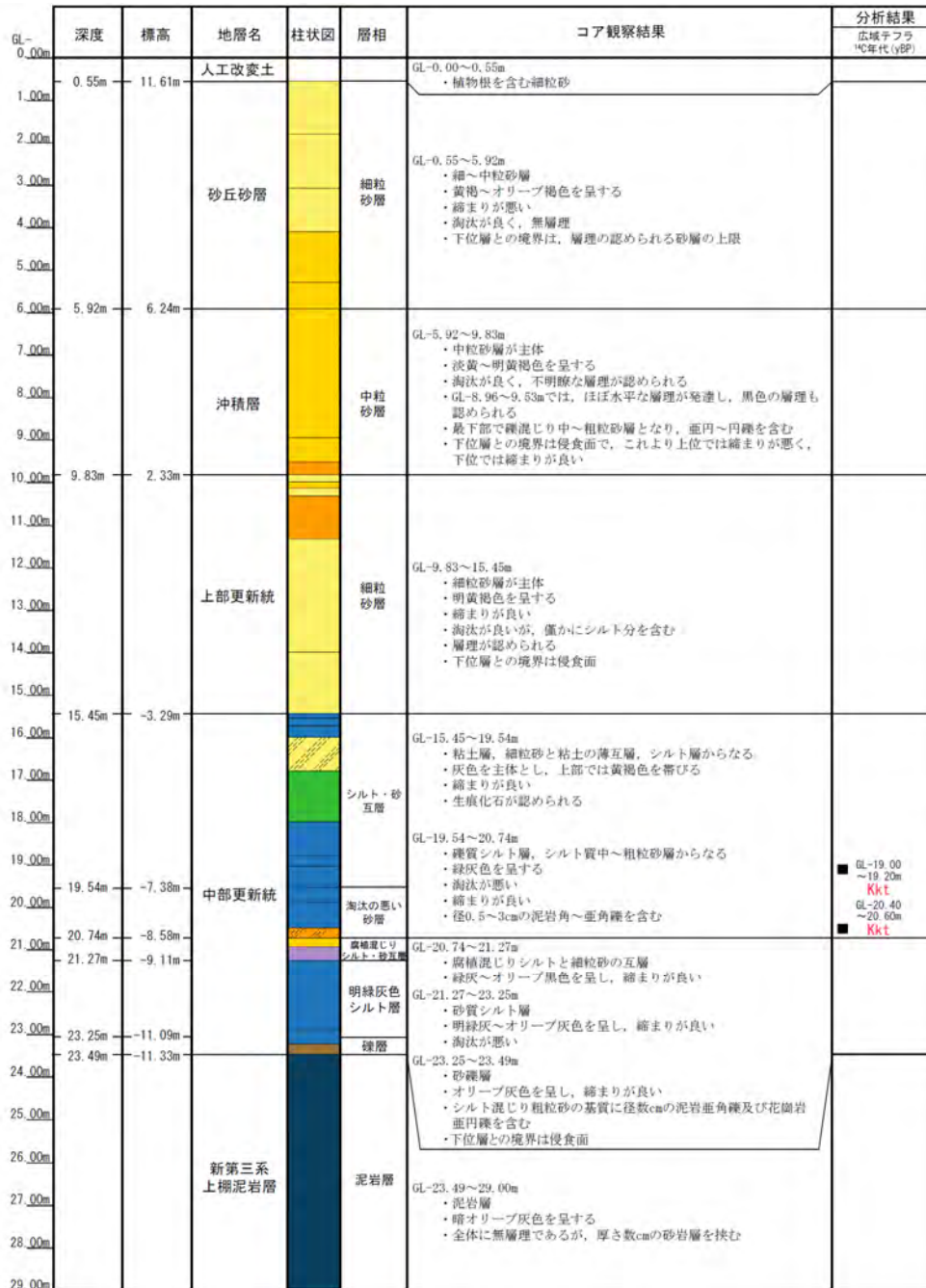
調査位置写真



調査位置模式断面図



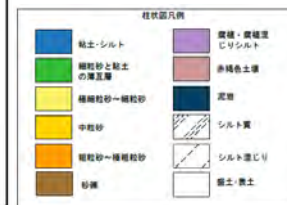
# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区2孔)



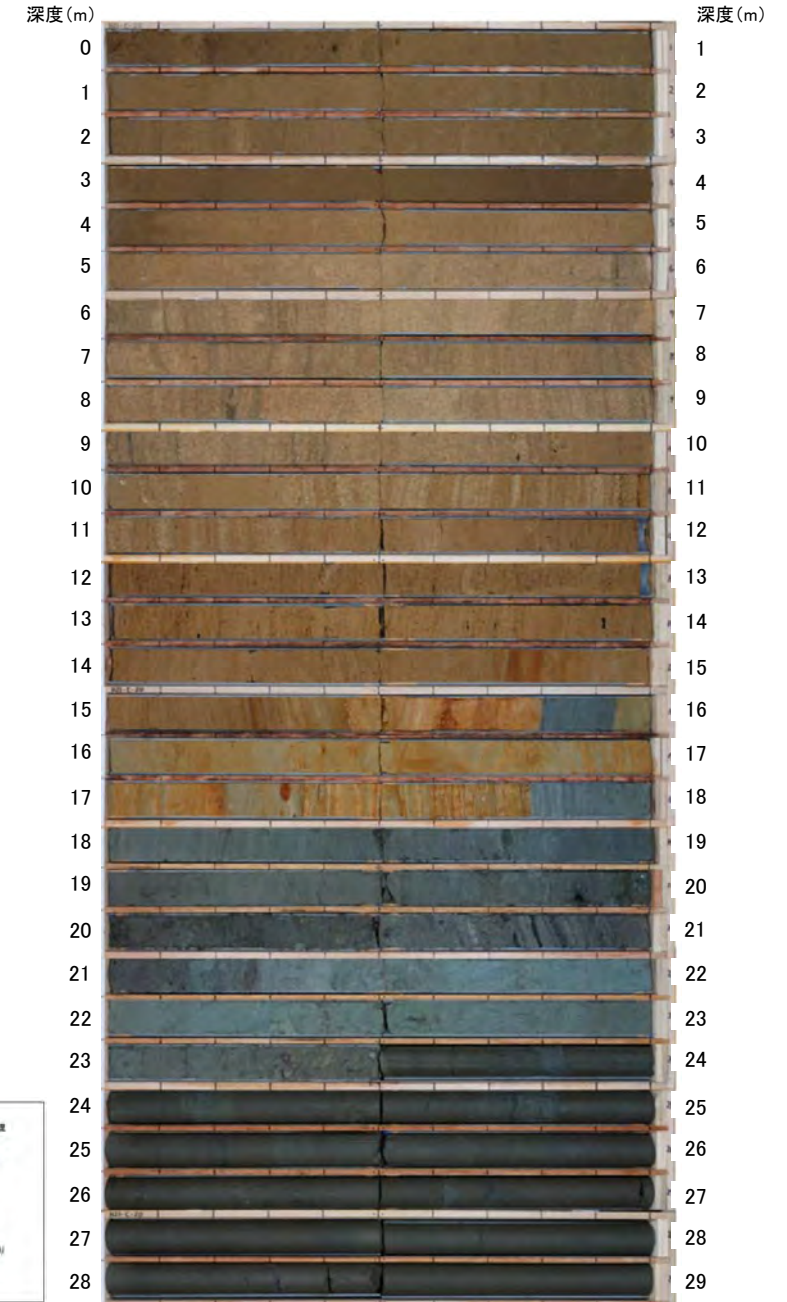
柱状図

テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前



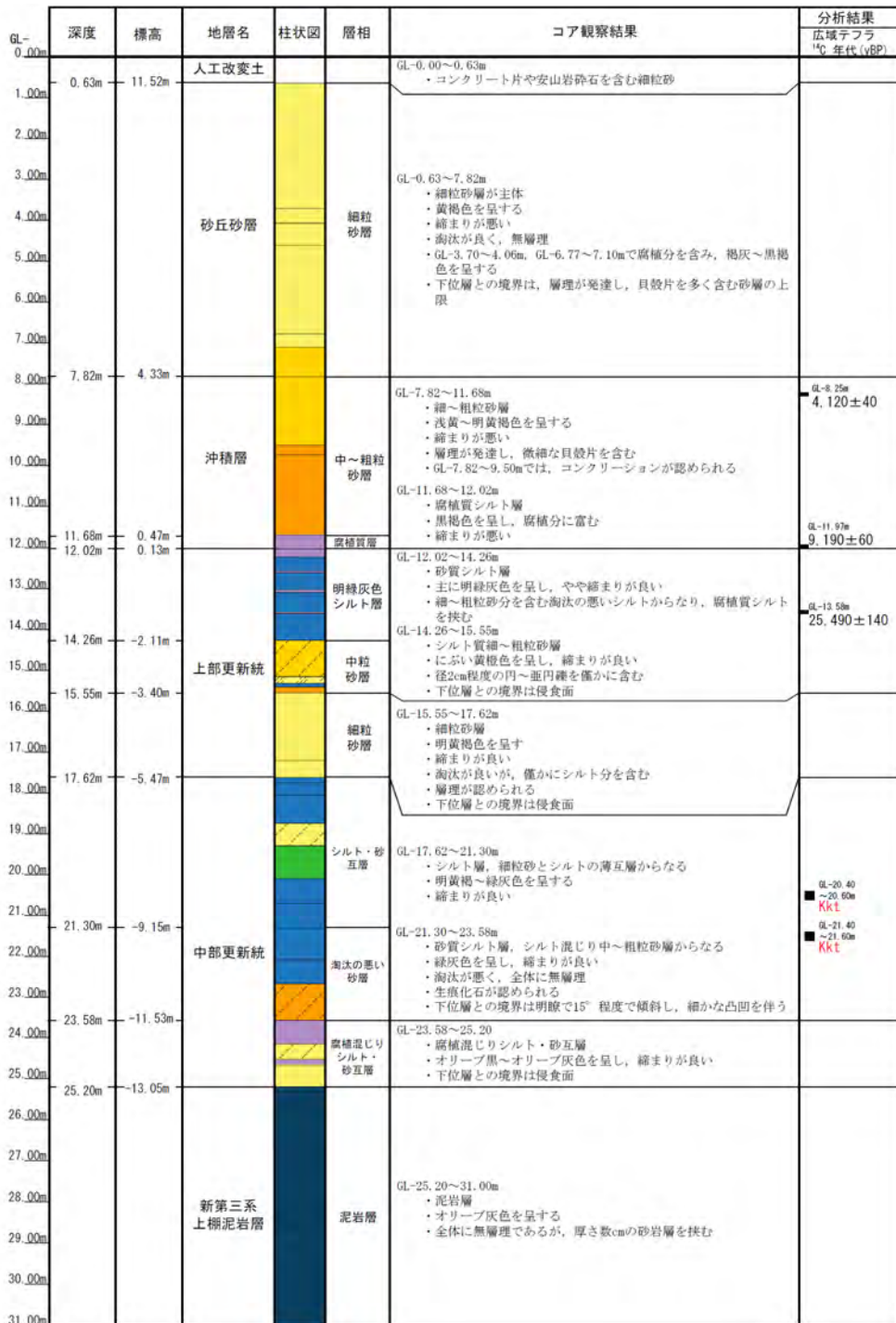
2孔(孔口標高12.16m, 掘進長29m)



コア写真



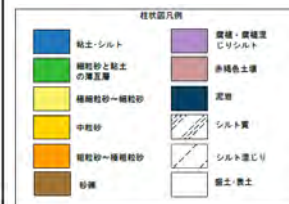
# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区3孔)



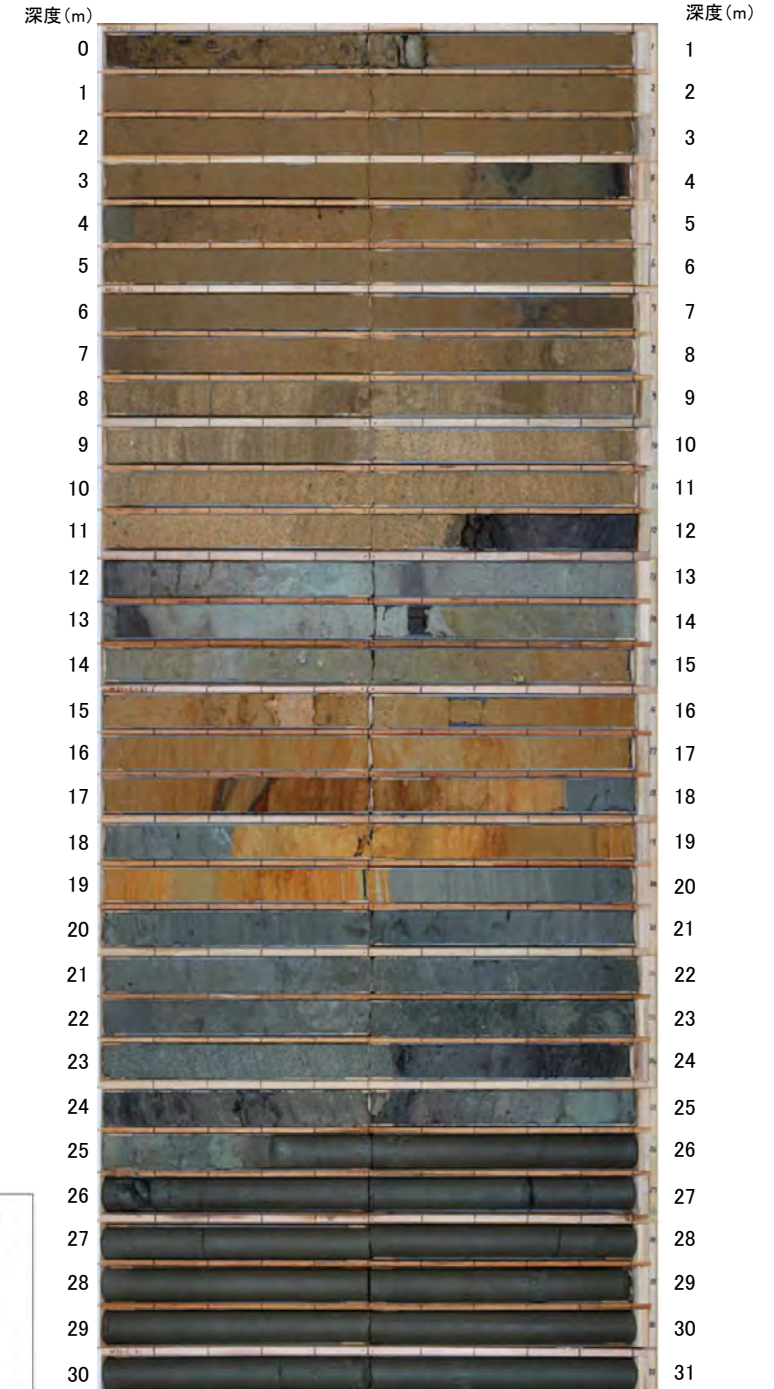
柱状図

テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前



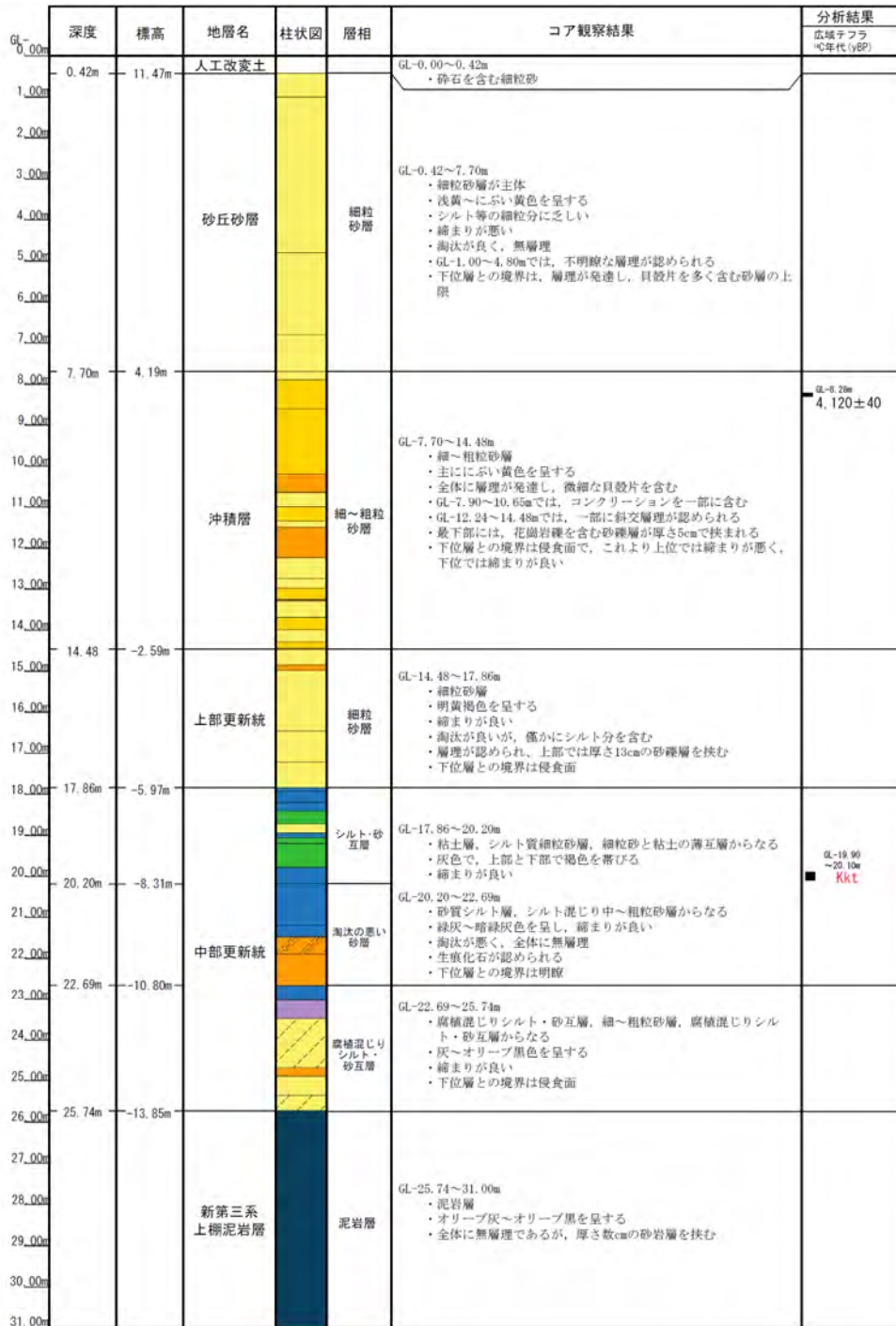
3孔(孔口標高12.15m, 掘進長31m)



コア写真

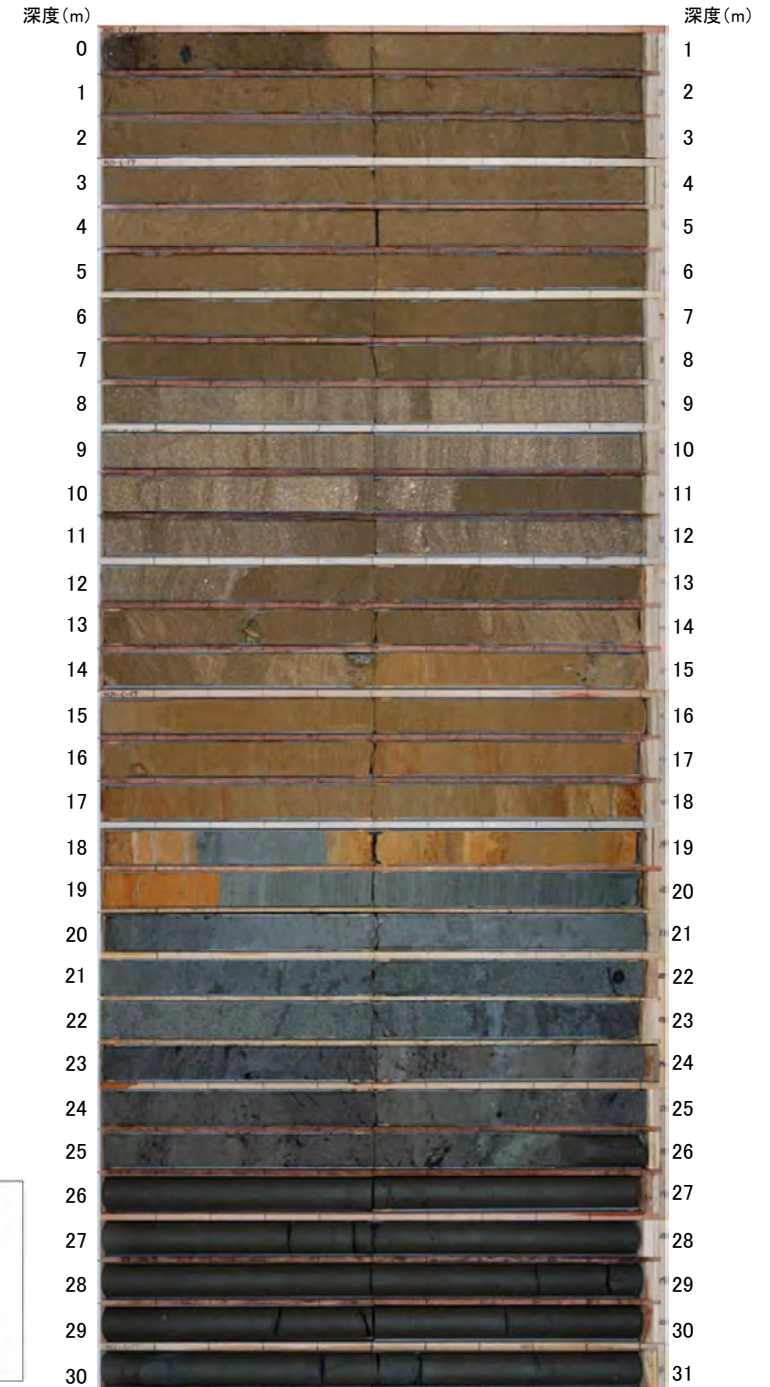


# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区4孔)



柱状図

4孔(孔口標高11.89m, 掘進長31m)

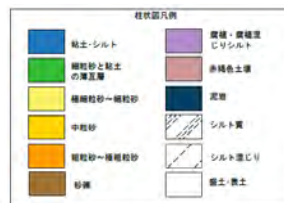


コア写真

別添-8-6

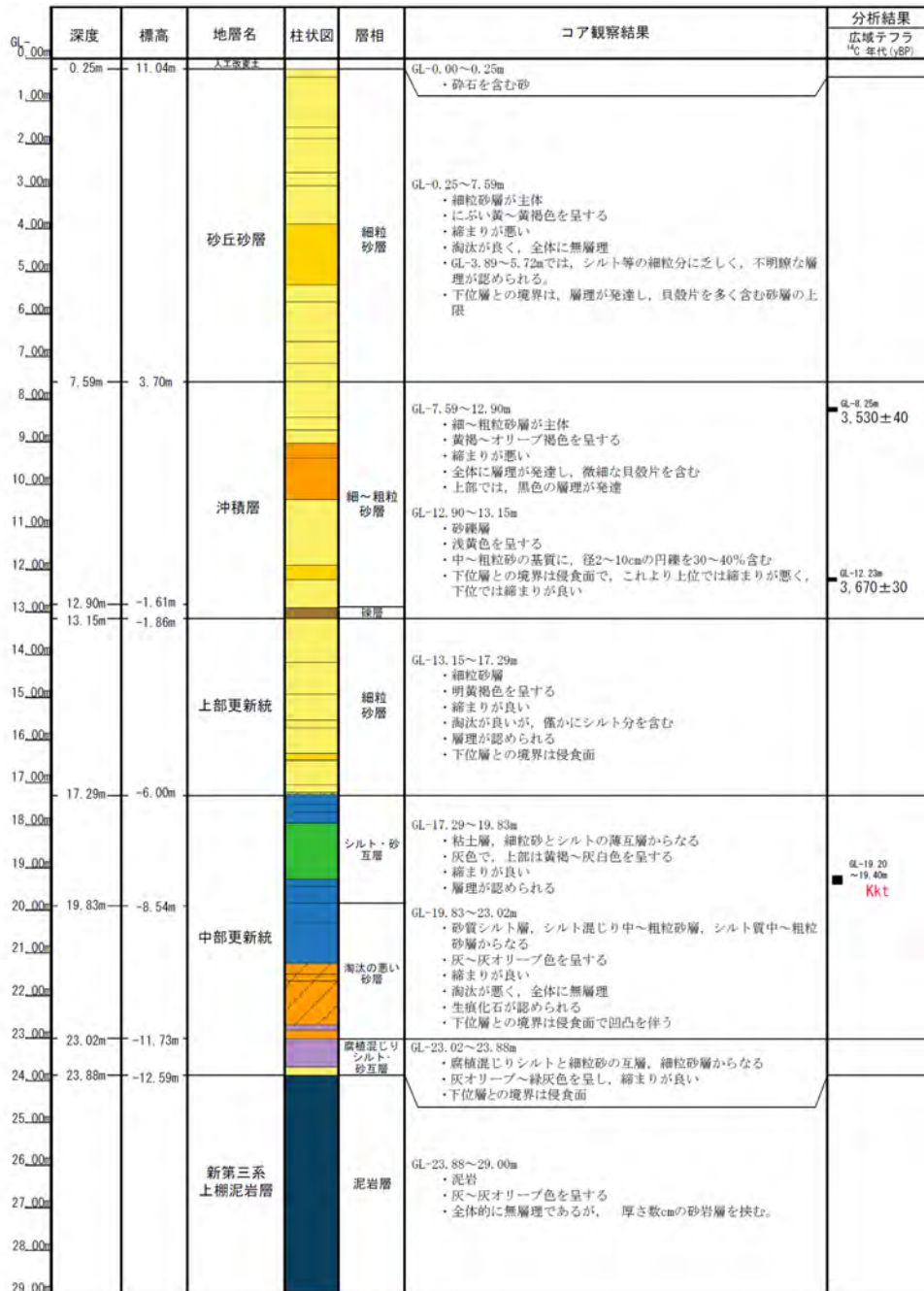
テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前



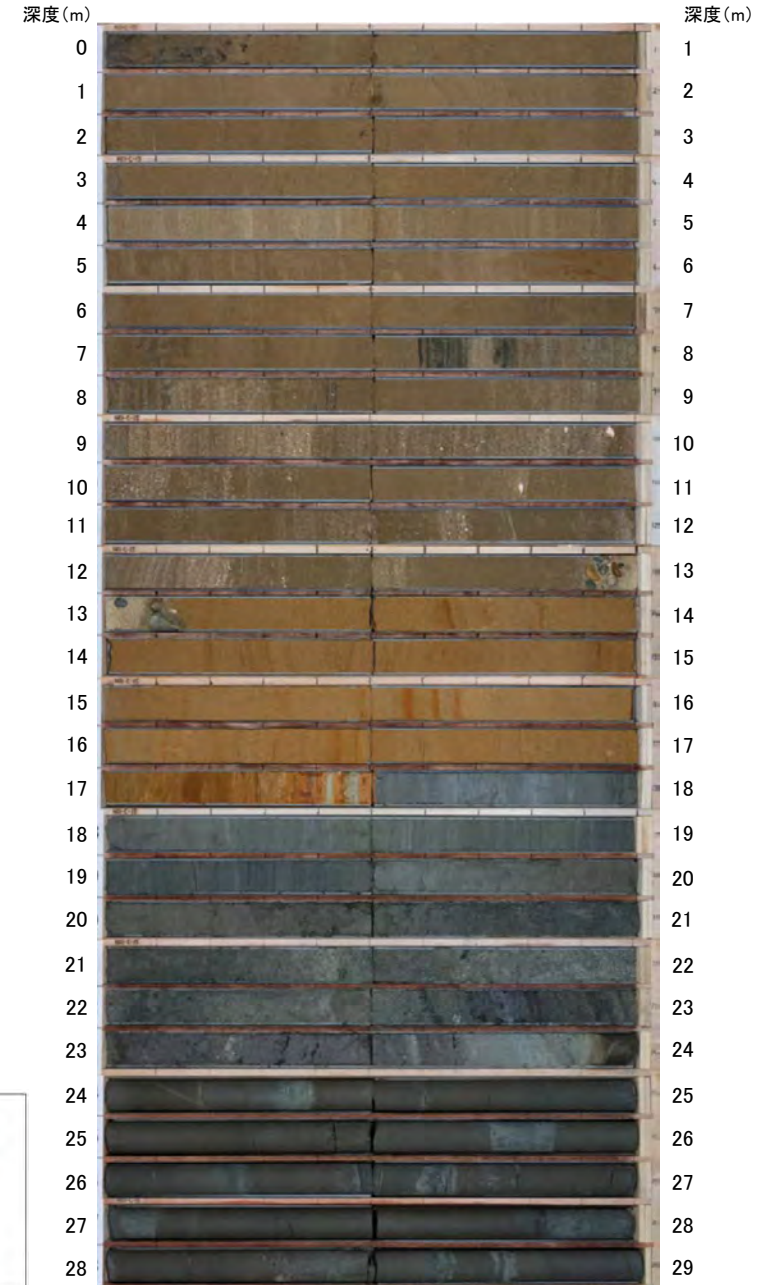


# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区5孔)



柱状図

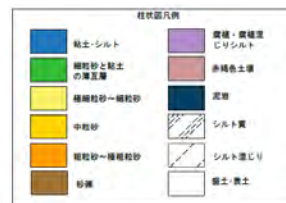
5孔(孔口標高11.29m, 掘進長29m)



コア写真

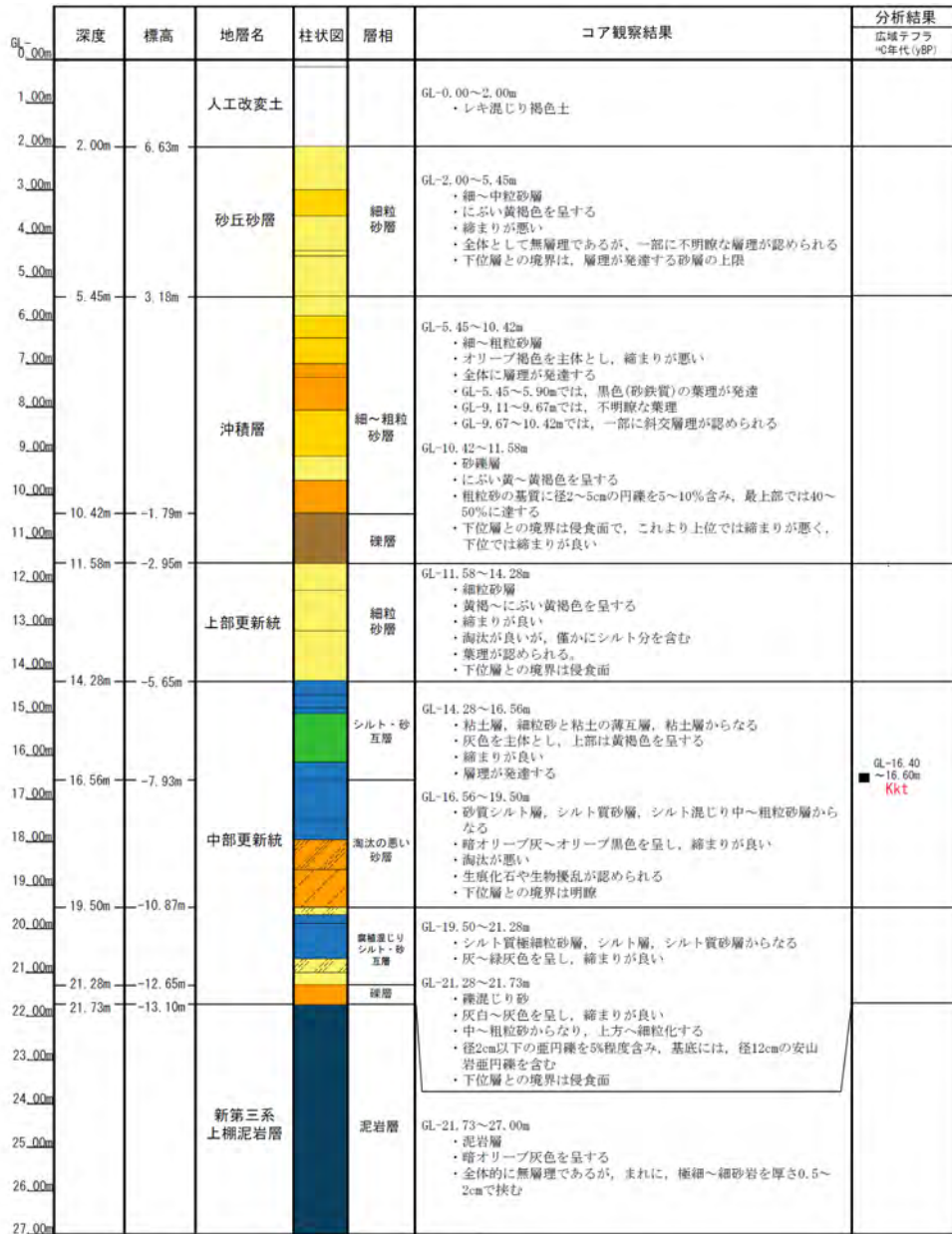
テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前





# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区6孔)



柱状図

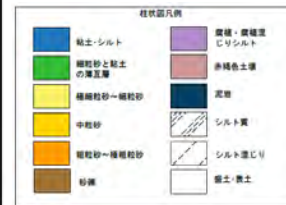
6孔(孔口標高8.63m, 掘進長27m)



コア写真

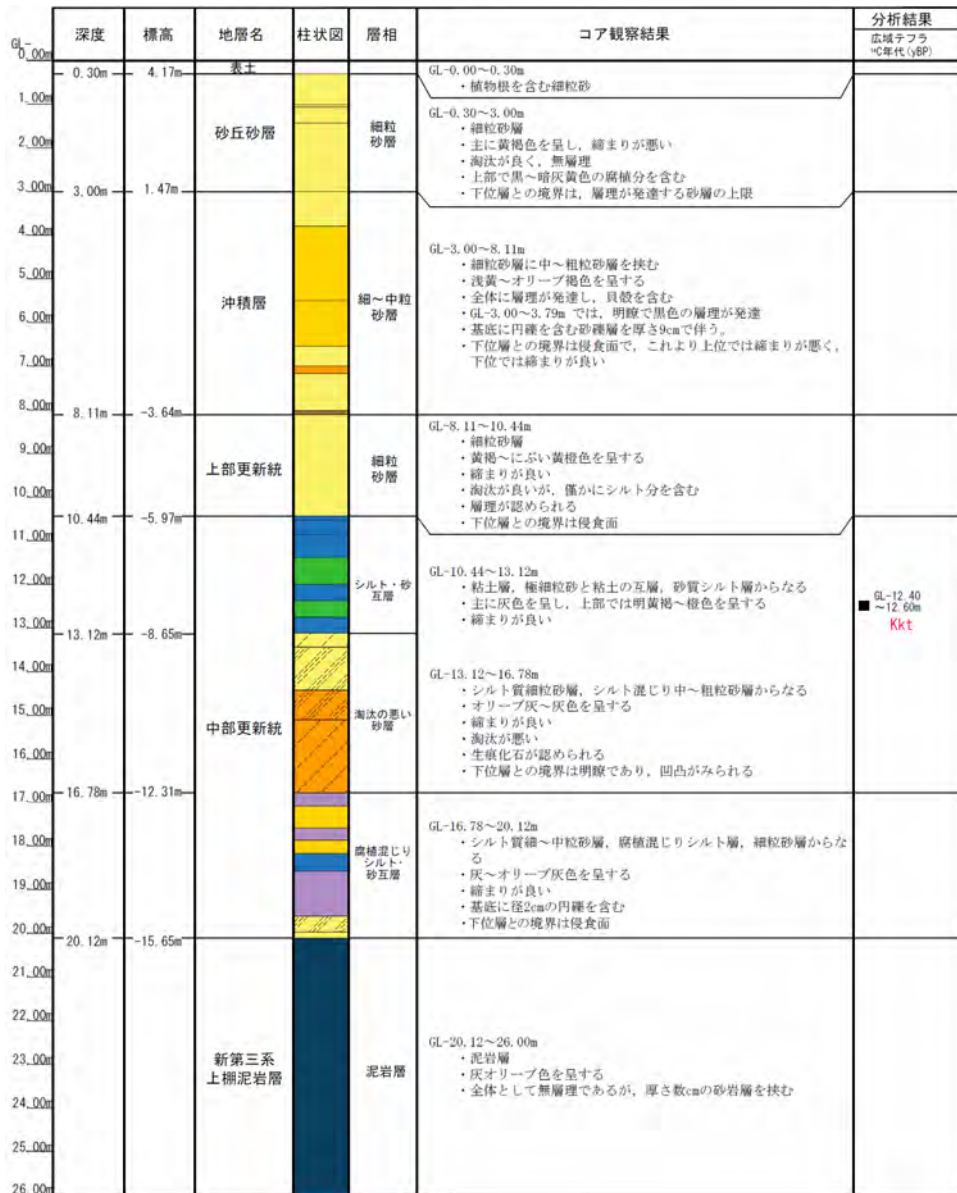
テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前





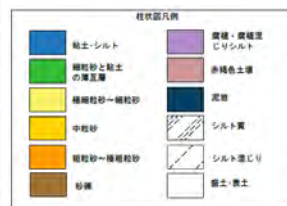
# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区7孔)



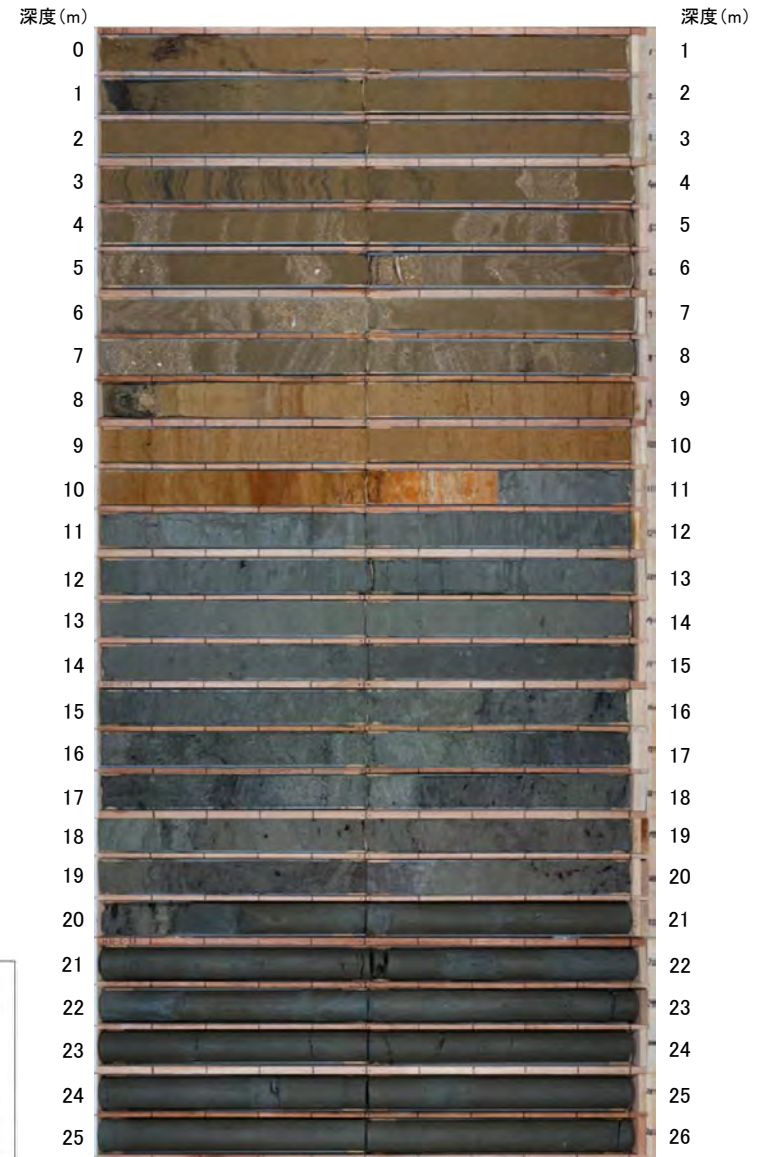
柱状図

テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前



7孔(孔口標高4.47m, 掘進長26m)



コア写真

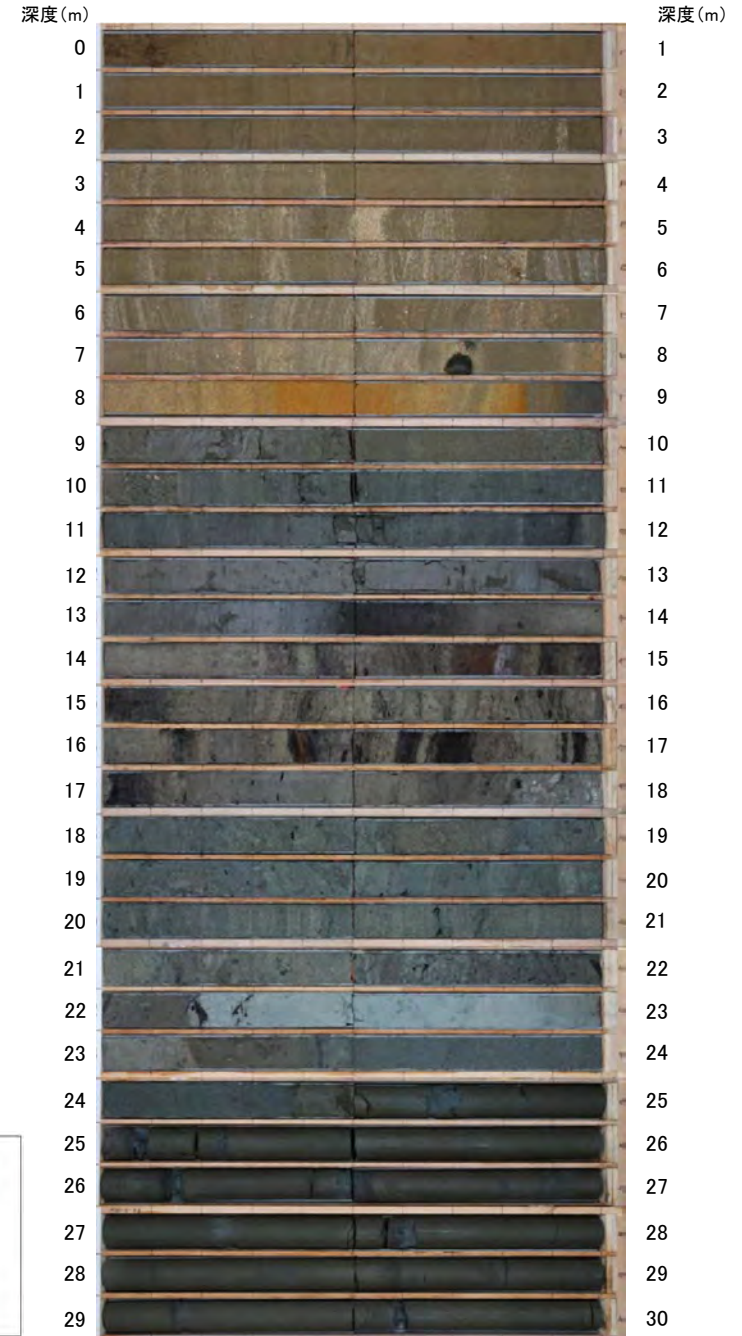


# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区8孔)



柱状図

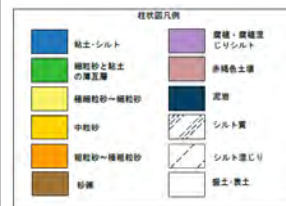
8孔(孔口標高3.08m, 掘進長30m)



コア写真

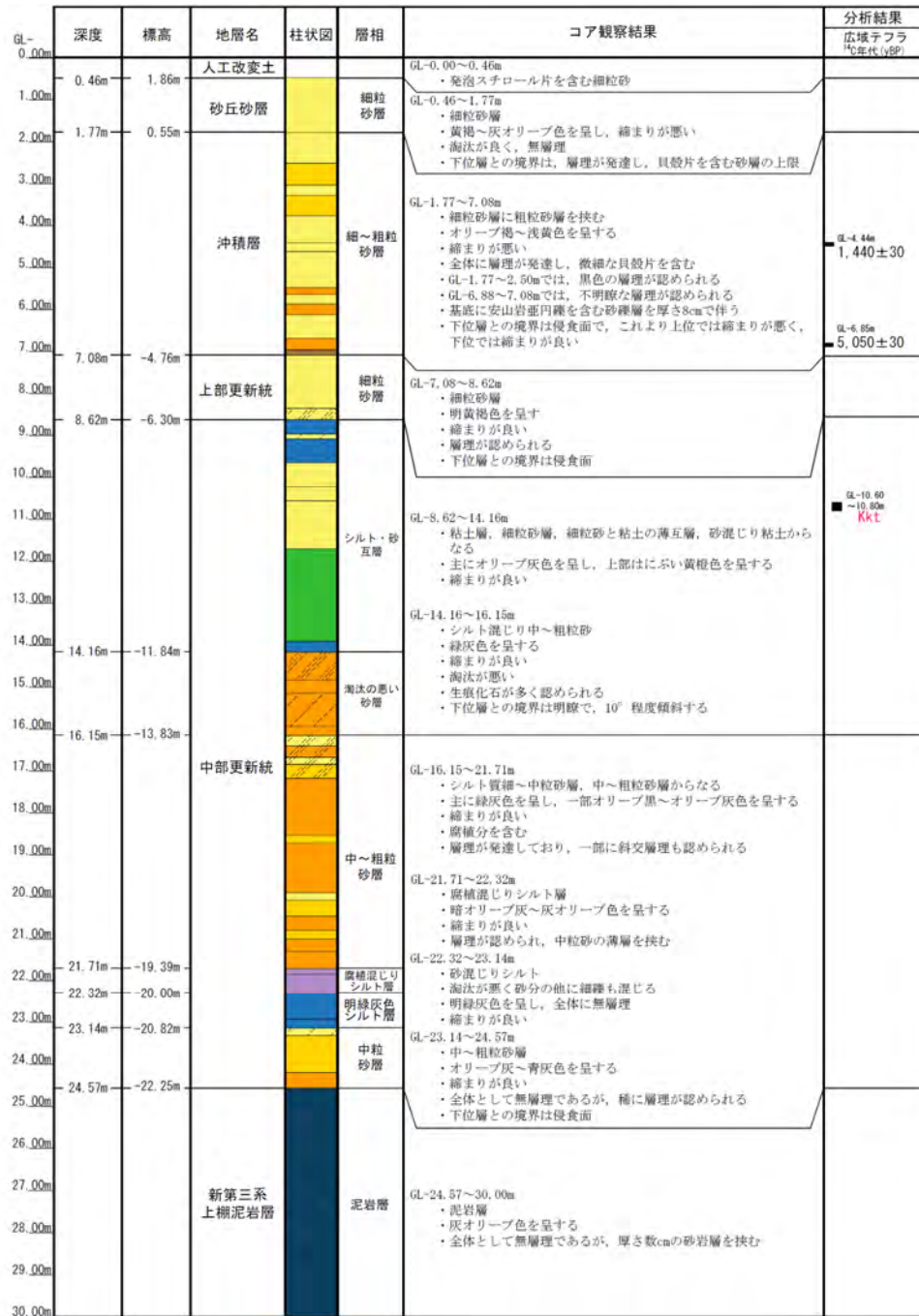
テフラの年代(町田・新井, 2003)

AT: 2.6万~2.9万年前



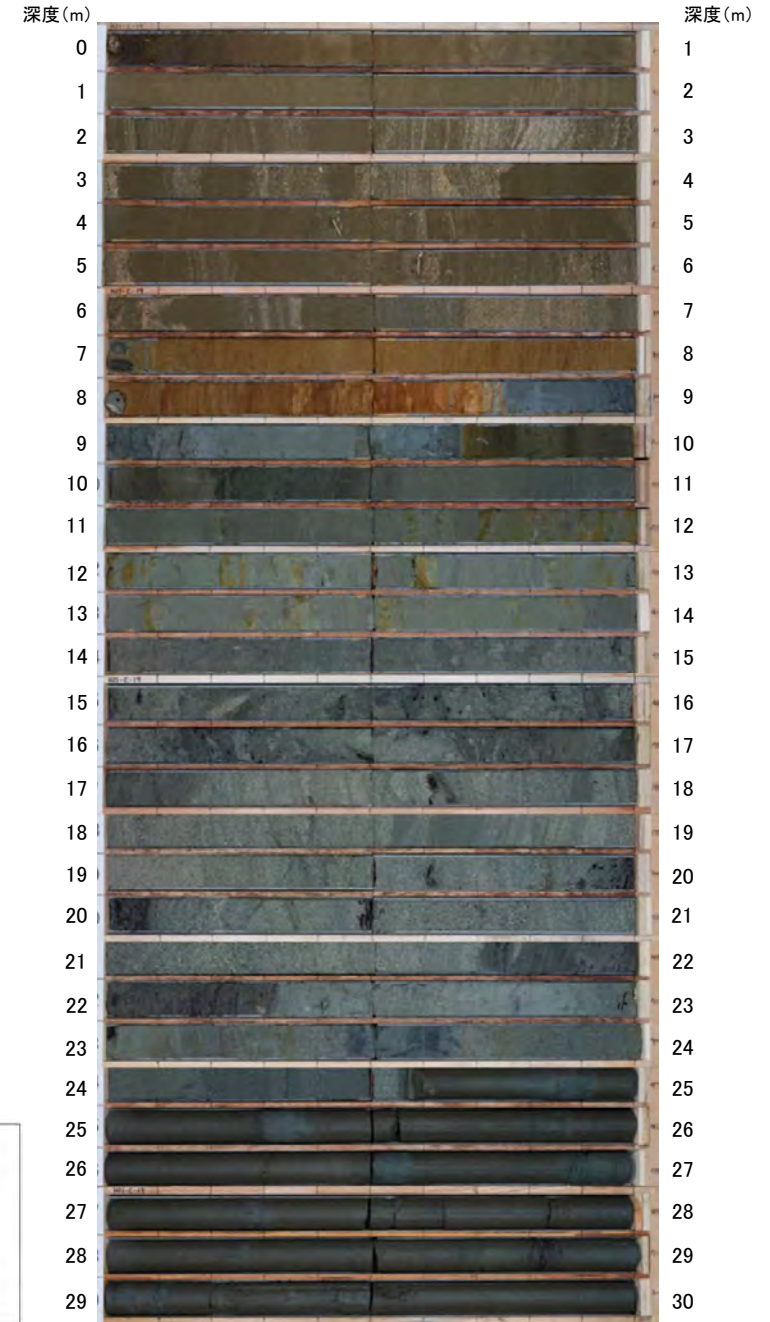


# 陸上ボーリング 柱状図およびコア写真(高浜地区9孔)



柱状図

9孔(孔口標高2.32m, 掘進長30m)



コア写真

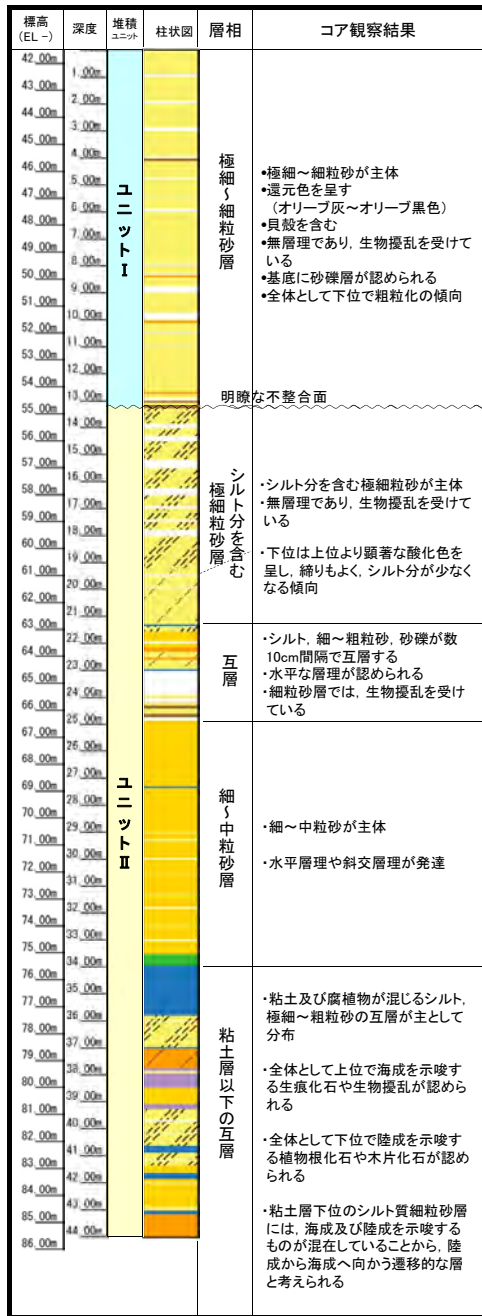
テフラの年代(町田・新井, 2003)

Kkt: 33万~34万年前

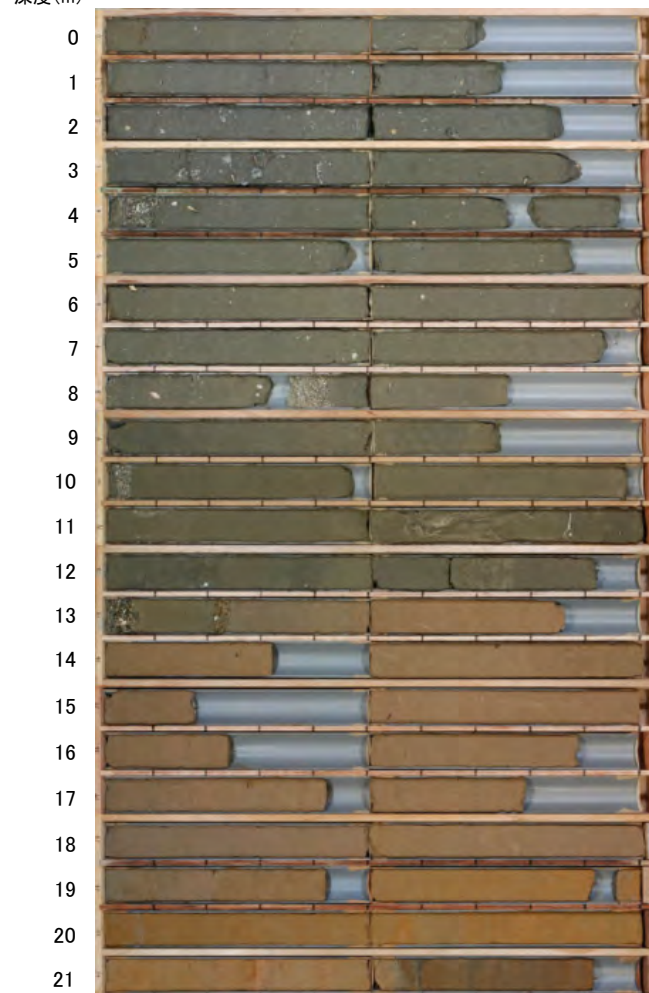




# 海上ボーリング コア写真

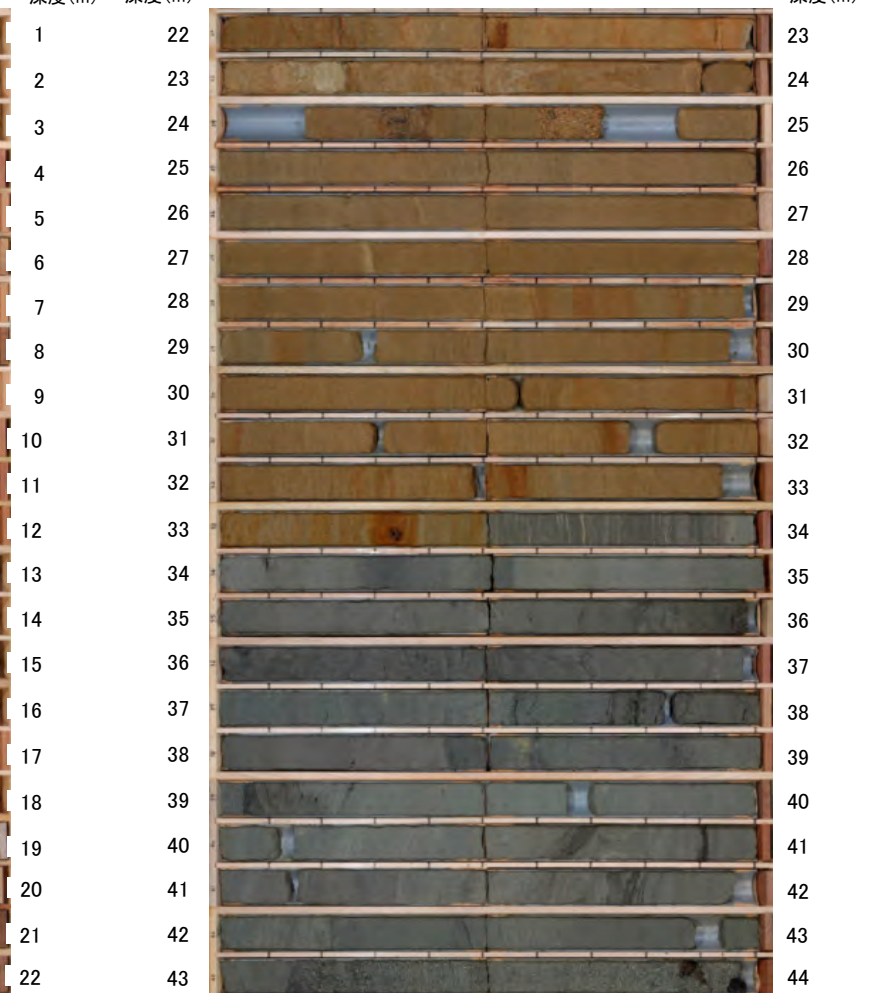


海上ボーリング (孔口標高-41.56m, 掘進長44m)

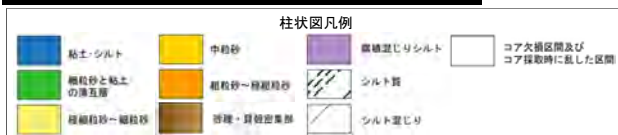


コア写真 (深度0～22m)

海上ボーリング (孔口標高-41.56m, 掘進長44m)



コア写真 (深度22～44m)



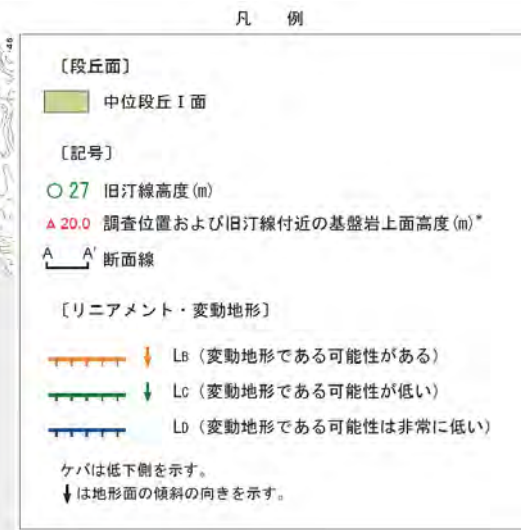
※○層～●層の場合は粒度の粗い方の凡例を使用している



## 9. 敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線高度調査結果

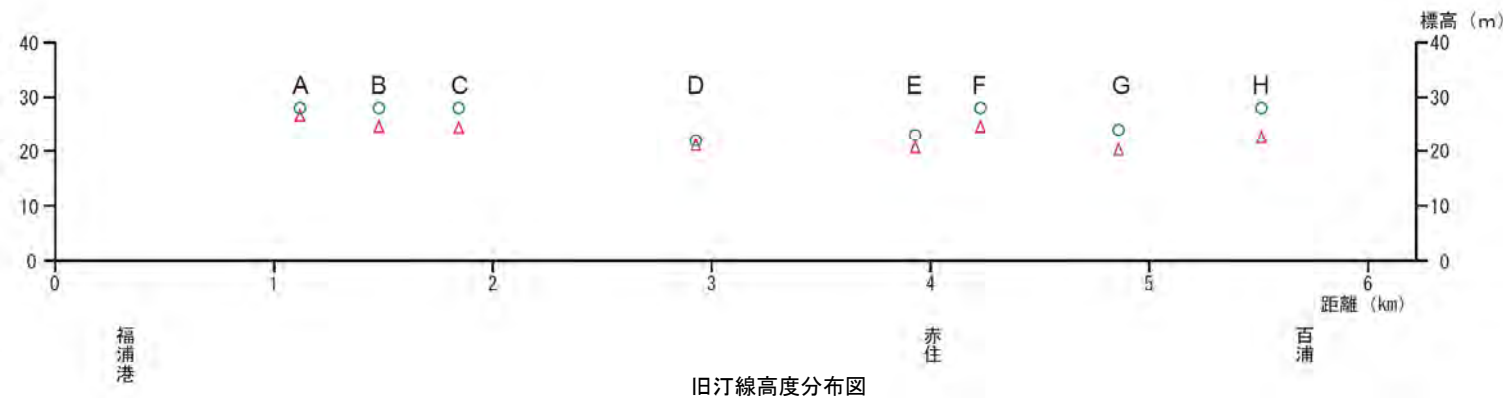


# 敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線高度分布

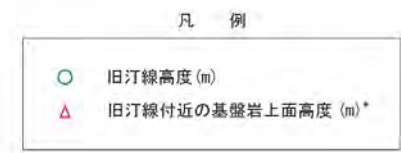


- ・信頼度の高い旧汀線高度を解明することを目的として、地形調査により認定した旧汀線(A~H)付近の複数箇所において地質調査(ピット調査等)を行った。
- ・旧汀線に直交する方向で断面図を作成し、基盤岩上面推定線の傾斜変換部を旧汀線付近の基盤岩上面高度とした。

段丘面分布図



旧汀線高度分布図

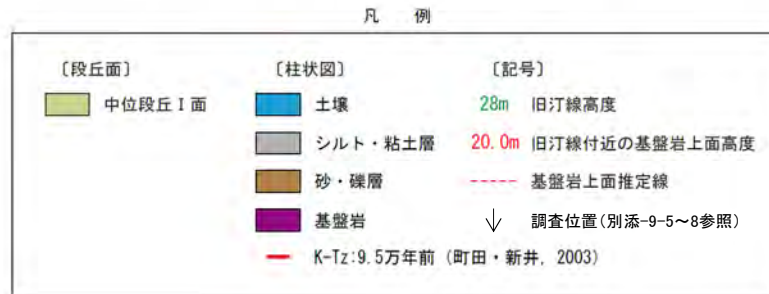
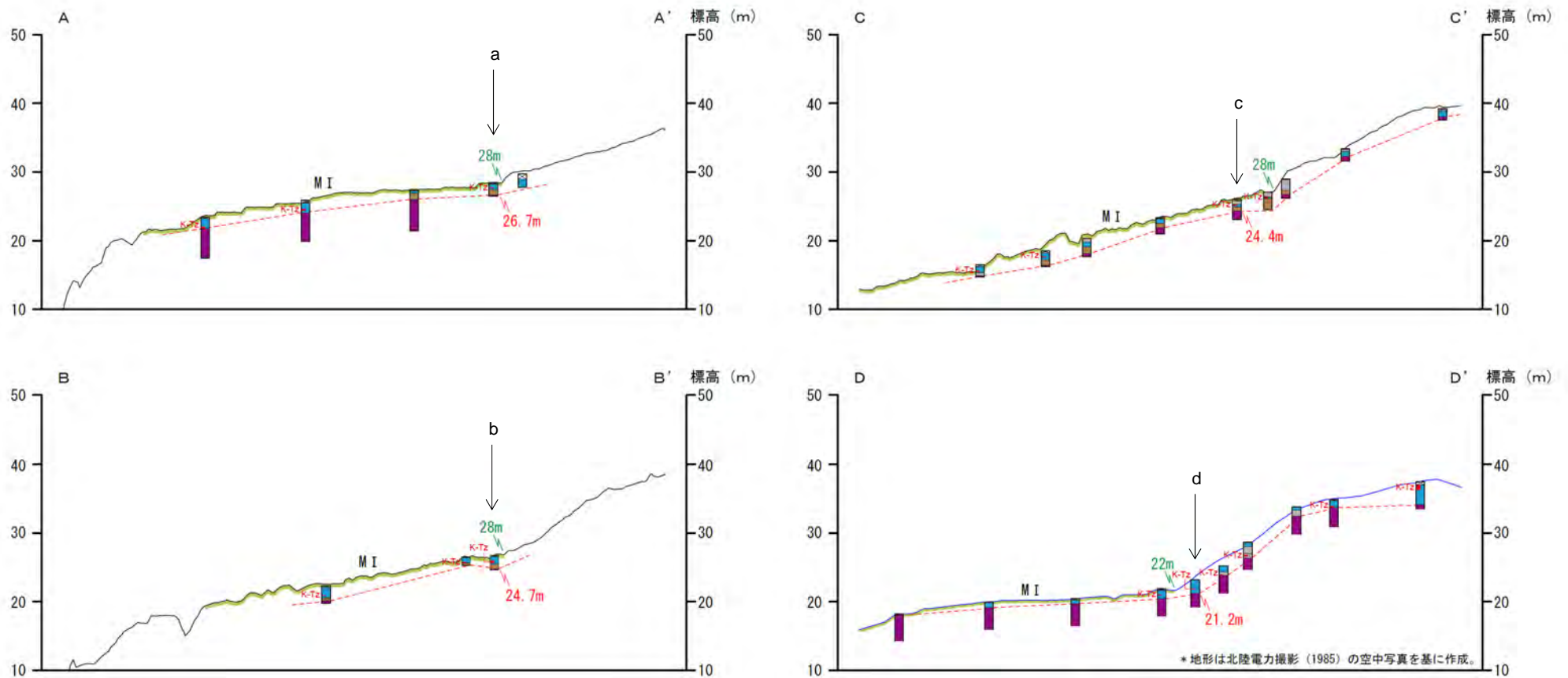


\* 地質調査(ピット等)によって推定した敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線付近の基盤岩上面高度。

・敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線はほぼ同じ高度で連続する。  
 ・なお、中位段丘 I 面の旧汀線付近の基盤岩上面高度についても顕著な高度不連続は認められない。



# 敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線付近の地形断面図①

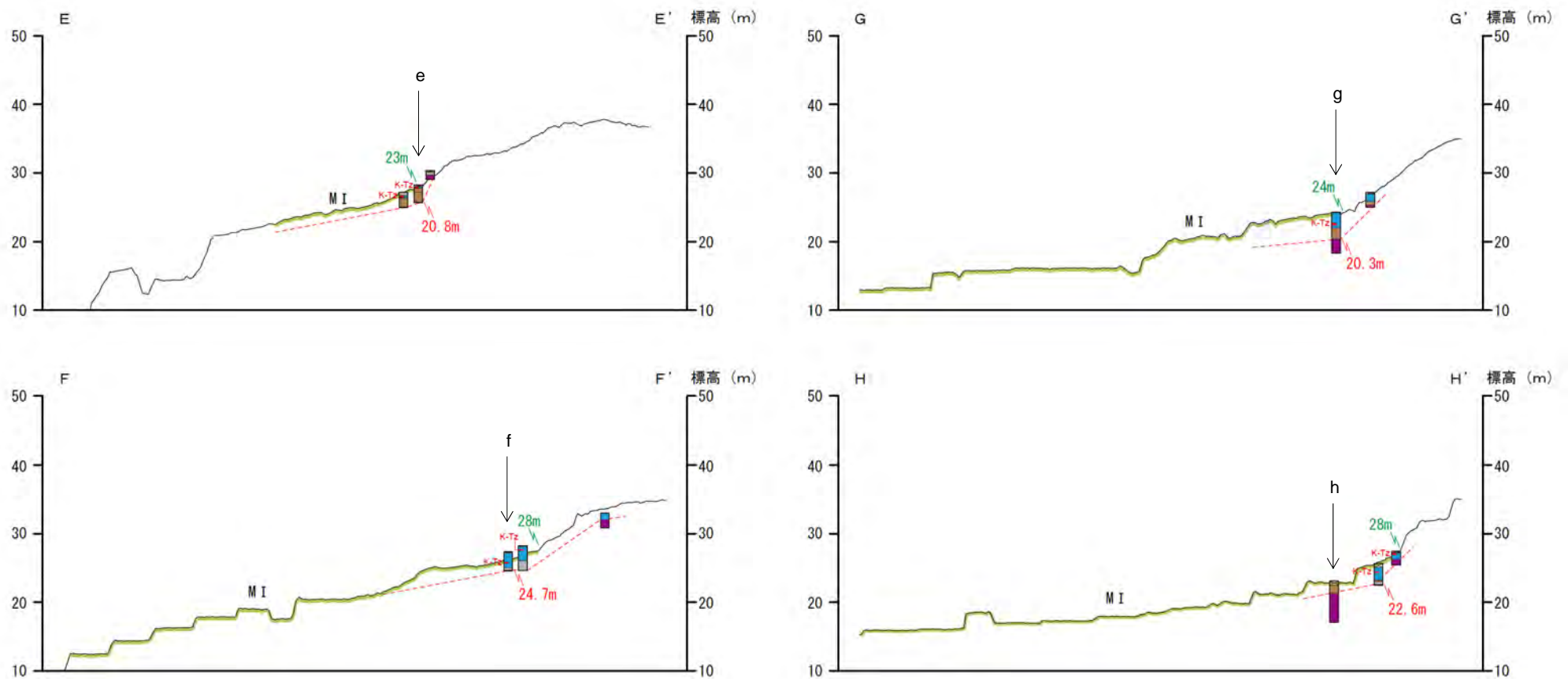


地形断面図(H:V=1:4)





# 敷地付近の中位段丘 I 面の旧汀線付近の地形断面図②



凡 例



地形断面図(H:V=1:4)



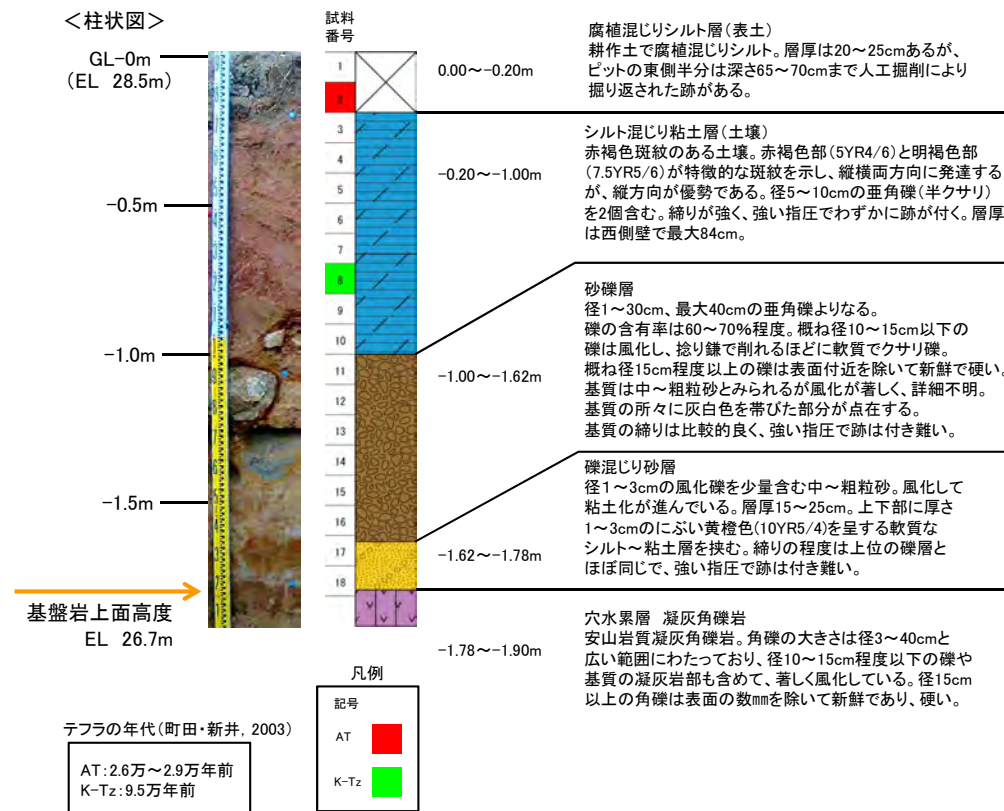


# ピット調査結果(a)



位置図

- ピット箇所
- 中位段丘 I 面



試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
1		50 100 150 200	20 40 60 80	10 20	2 4 6				
2	AT								
3									
4									
5									
6									
7									
8	K-Tz								
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									

試料は10cm間隔

■ パブルウォール(Bw)タイプ

■ Opx: 斜方輝石

■ GHo: 褐色普通角閃石

■ Cum: カミンゲン閃石

Count: 個数

火山灰分析結果

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約28.5mにおいて、ピット調査を実施。
- ・基盤岩上面には、礫混じり砂層、砂礫層が分布し、上部を土壤等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約26.7mである。
- ・火山灰分析の結果、土壤中にK-Tzが認められる。

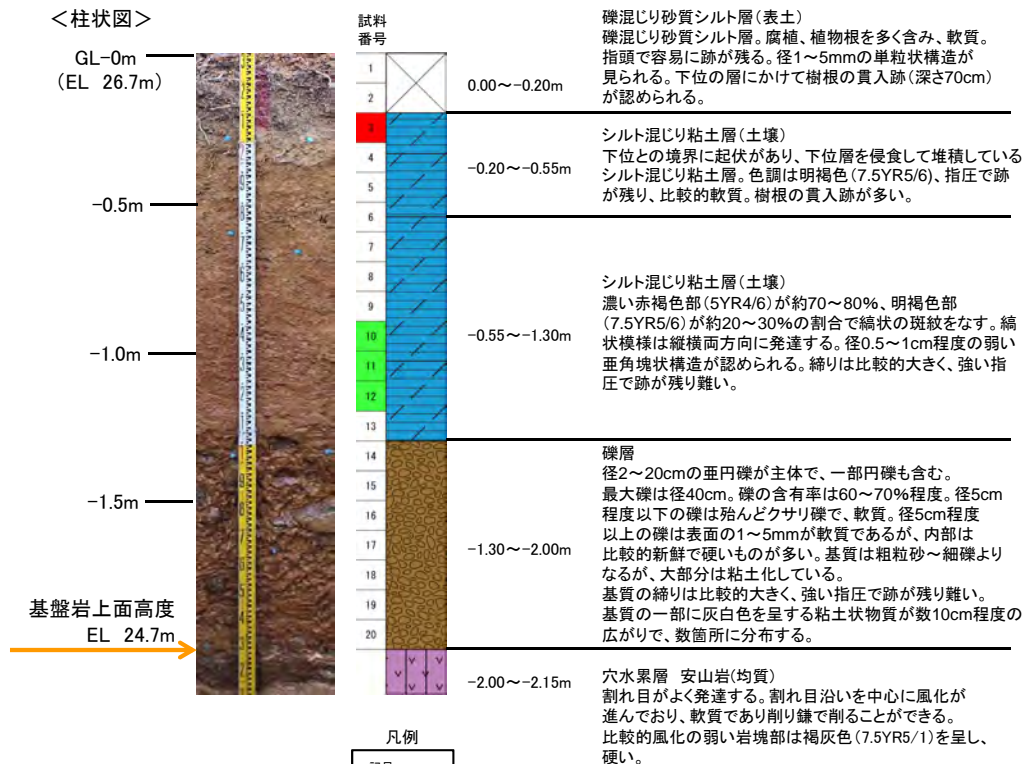


# ピット調査結果 (b)



位置図

- ピット箇所
- 中位段丘 I 面



テフラの年代 (町田・新井, 2003)

AT: 2.6万~2.9万年前  
K-Tz: 9.5万年前

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
1									
2									
3	AT								
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11	K-Tz								
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

火山灰分析結果

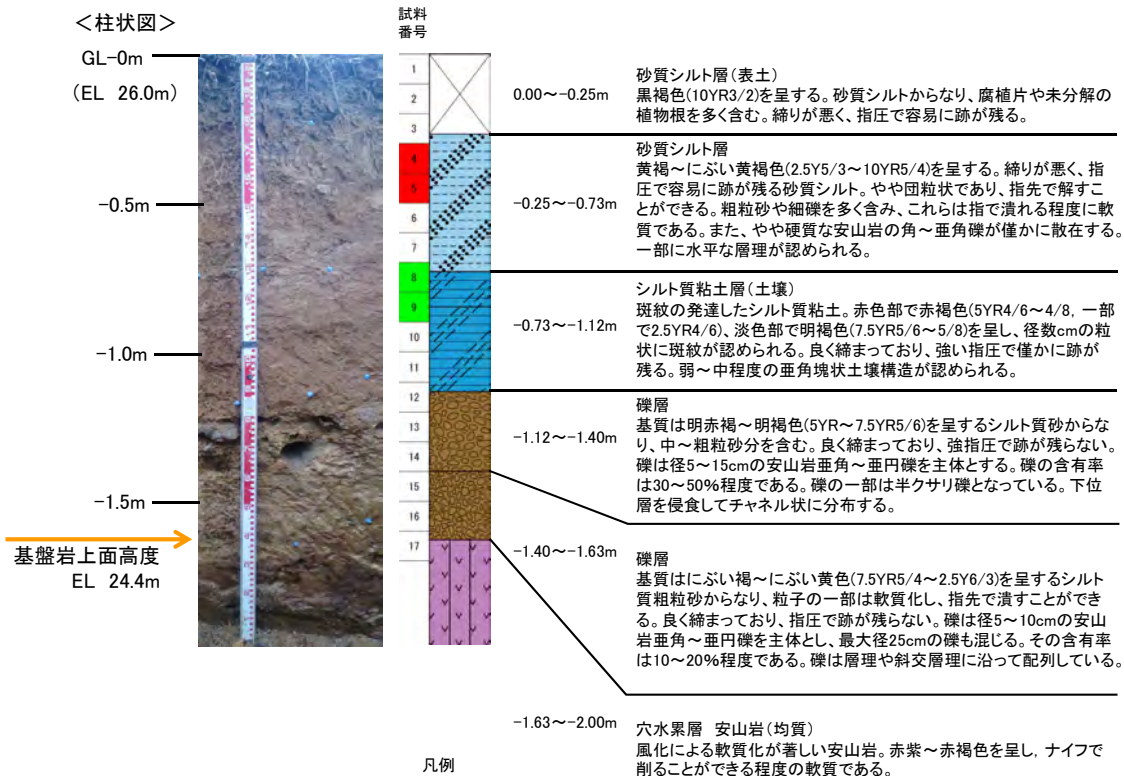
- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約26.7mにおいて、ピット調査を実施。
- ・基盤岩上面には、礫層が分布し、上部を土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約24.7mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。

# ピット調査結果(c)



位置図

- ピット箇所
- 中位段丘 I 面



テフラの年代(町田・新井, 2003)

AT: 2.6万~2.9万年前  
K-Tz: 9.5万年前

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			OpX	GHo	Cum			1.500	1.510
1		100 200	0 100 150	0 20 30	2 4 6				
2									
3									
4	AT								
5									
6									
7									
8	K-Tz								
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

試料は10cm間隔

■ ハブルウォール(Bk)タイプ

OpX: 斜方輝石

GHo: 緑色普通角閃石

Cum: カンダクン閃石

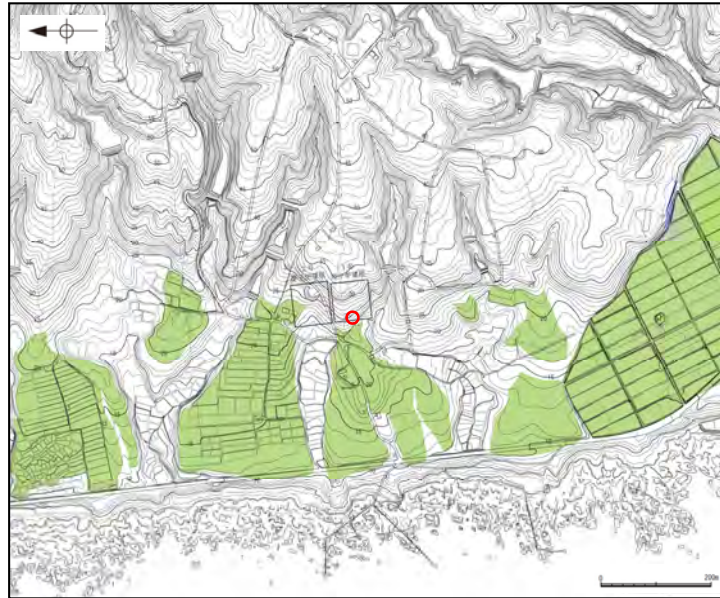
Count値

火山灰分析結果

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約26.0mにおいて、ピット調査を実施。
- ・基盤岩上面には、礫層が分布し、上部を土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約24.4mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。



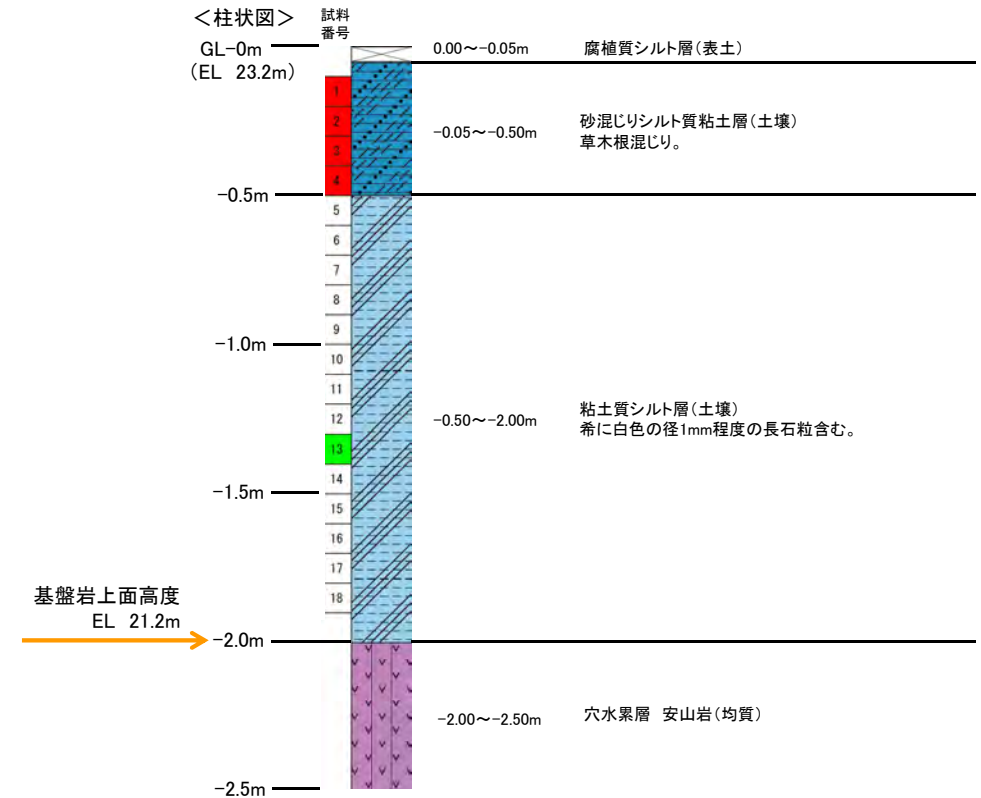
# ボーリング調査結果(d)



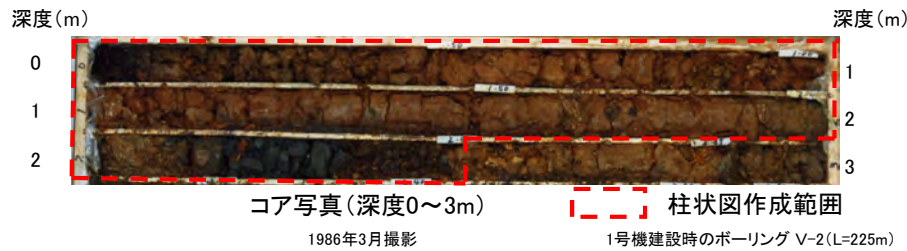
○ ボーリング箇所  
 ■ 中位段丘 I 面

位置図

この図は、1961年の空中写真(北陸電力撮影、縮尺15,000分の1)及び1985年の空中写真(北陸電力撮影、縮尺8,000分の1)をもとに作成した地形図(等高線は1m間隔)。



基盤岩上面高度  
 EL 21.2m



コア写真(深度0~3m)

柱状図作成範囲

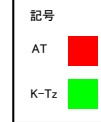
1986年3月撮影

1号機建設時のボーリング V-2(L=225m)

テフラの年代(町田・新井, 2003)

AT: 2.6万~2.9万年前  
 K-Tz: 9.5万年前

凡例



試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)			重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
		100	200	300	400	Opx	GHo			Cum	2
1	AT	■	■	■	■	■	■	■		1.500	1.510
2		■	■	■	■	■	■	■			
3		■	■	■	■	■	■	■			
4		■	■	■	■	■	■	■			
5		■	■	■	■	■	■	■			
6		■	■	■	■	■	■	■			
7	K-Tz	■	■	■	■	■	■	■			
8		■	■	■	■	■	■	■			
9		■	■	■	■	■	■	■			
10		■	■	■	■	■	■	■			
11		■	■	■	■	■	■	■			
12		■	■	■	■	■	■	■			
13		■	■	■	■	■	■	■			
14		■	■	■	■	■	■	■			
15		■	■	■	■	■	■	■			
16		■	■	■	■	■	■	■			
17		■	■	■	■	■	■	■			
18		■	■	■	■	■	■	■			

試料は10cm間隔

■ バブルウォール(0a)タイプ  
 ■ ハミス(0b)タイプ  
 ■ 低発泡(0c)タイプ

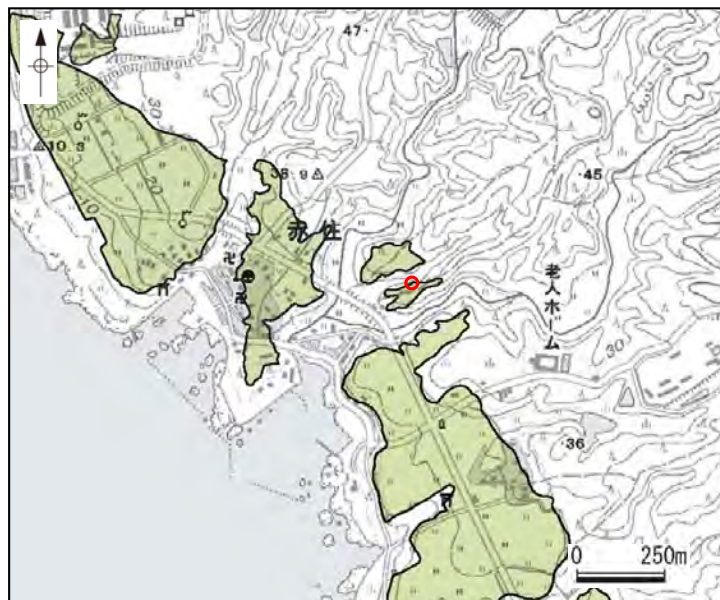
■ Opx: 斜方輝石  
 ■ GHo: 緑色普通角閃石  
 ■ Cum: カルシウム閃石

Count 個数  
 20  
 0

火山灰分析結果

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約23.2mにおいて、1号機建設時にボーリング調査(ボーリング V-2)を実施。
- ・基盤岩上面には、土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約21.2mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。

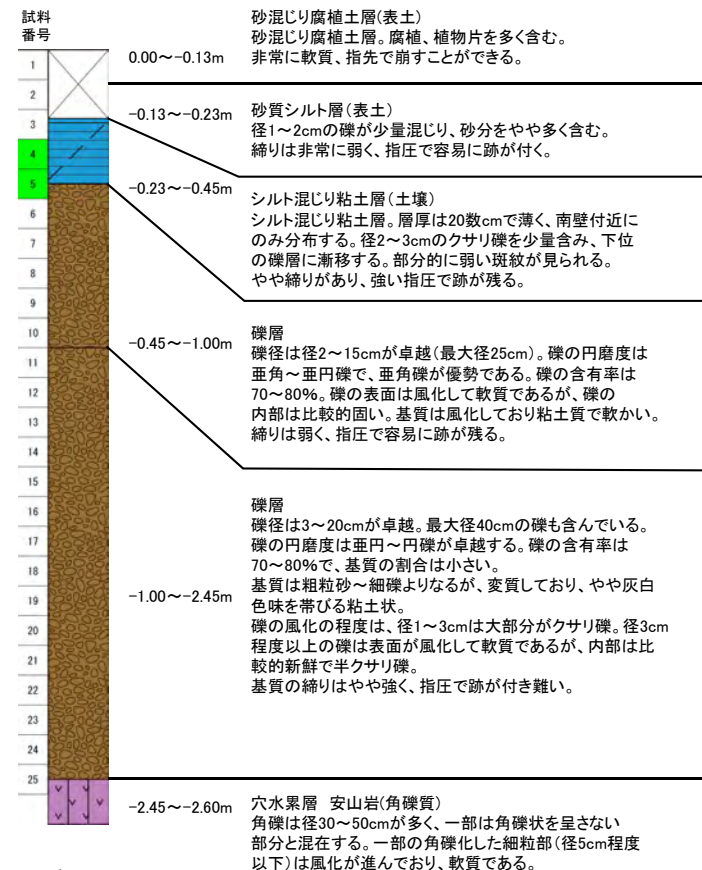
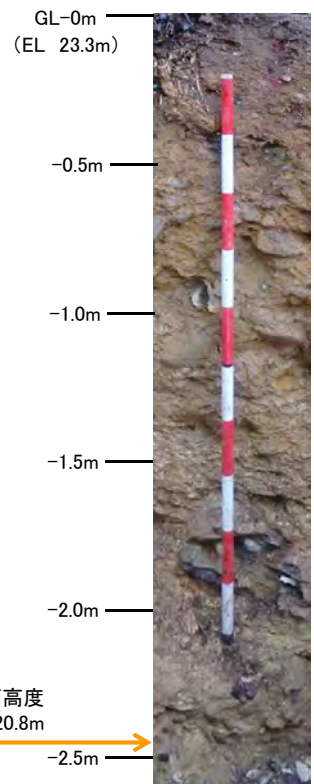
# ピット調査結果(e)



位置図

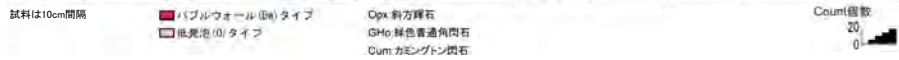
- ピット箇所
- 中位段丘 I 面

## <柱状図>



基盤岩上面高度  
EL 20.8m

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
1									
2									
3									
4	K-Tz								
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									



火山灰分析結果

テフラの年代(町田・新井, 2003)

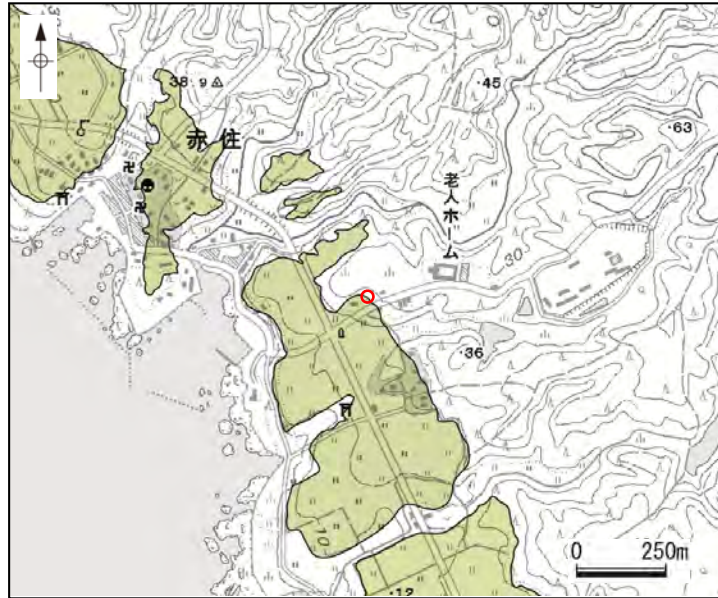
K-Tz: 9.5万年前

凡例  
記号  
K-Tz

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約23.3mにおいて、ピット調査を実施。
- ・基盤岩上面には、礫層が分布し、上部を土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約20.8mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。



# 簡易ボーリング調査結果(f)



位置図

- 簡易ボーリング箇所
- 中位段丘 I 面

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)		角閃石の屈折率 (n <sub>z</sub> )	
			Opx	GHa	Cum			1.500	1.510	1.690	1.700
1											
2											
3	AT										
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14										Aso-4型Hcを呈す	
15	K-Tz										
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											

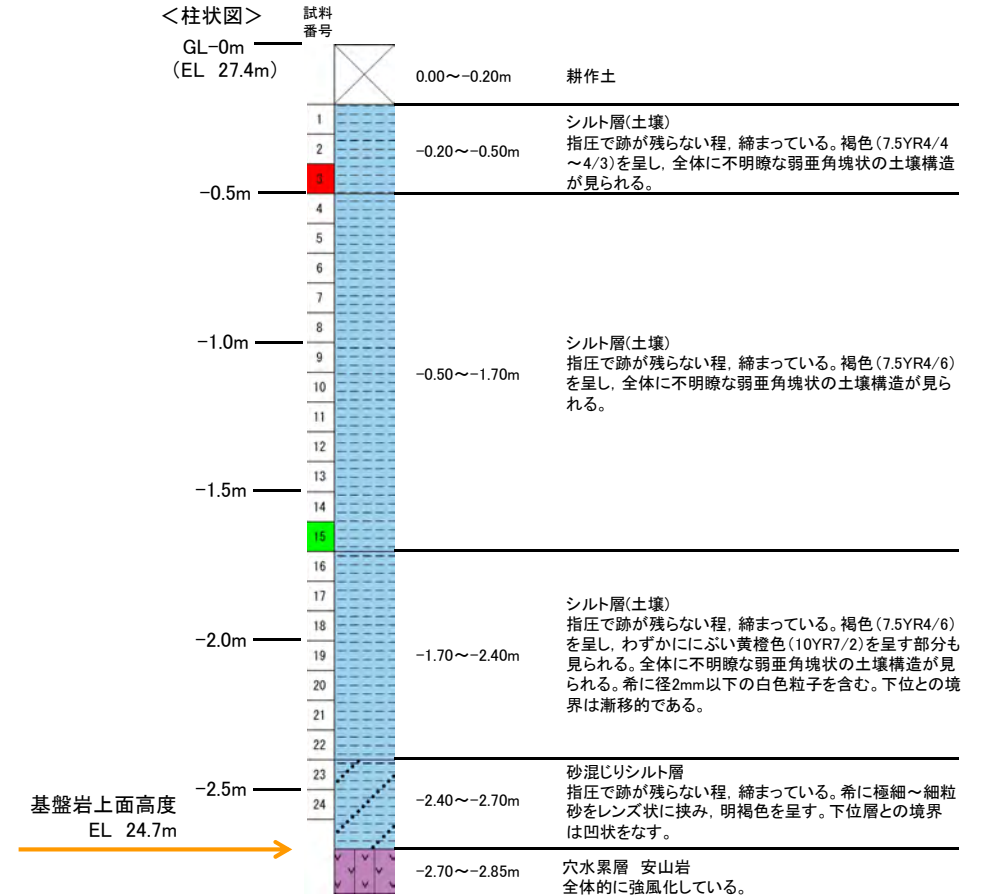
試料は10cm間隔

■ パブルウォール型テフラ  
■ パリス型テフラ  
■ 磁鉄石 (H) タイプ

■ Opx 斜方輝石  
■ GHa 褐色斜長輝石  
■ Cum: カルシウム輝石

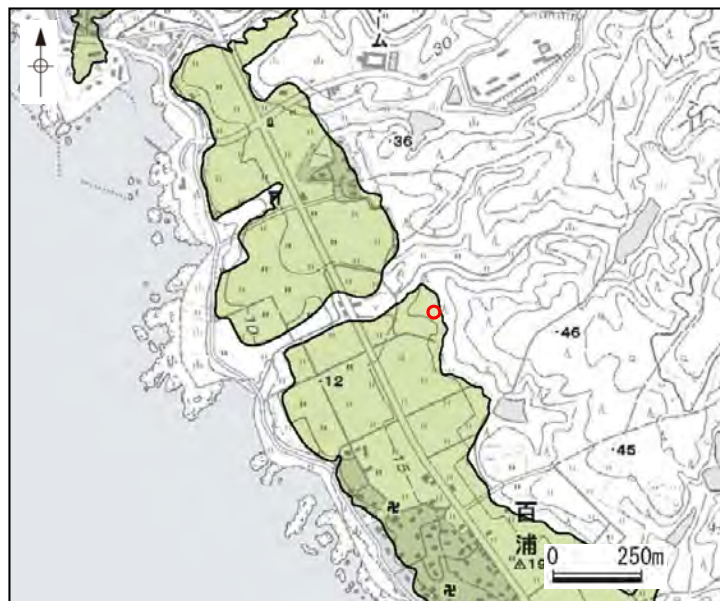
Count値

火山灰分析結果



- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約27.4mにおいて、簡易ボーリング調査を実施。
- ・基盤岩上面には、砂混じりシルト層が分布し、上部を土壤等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約24.7mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。

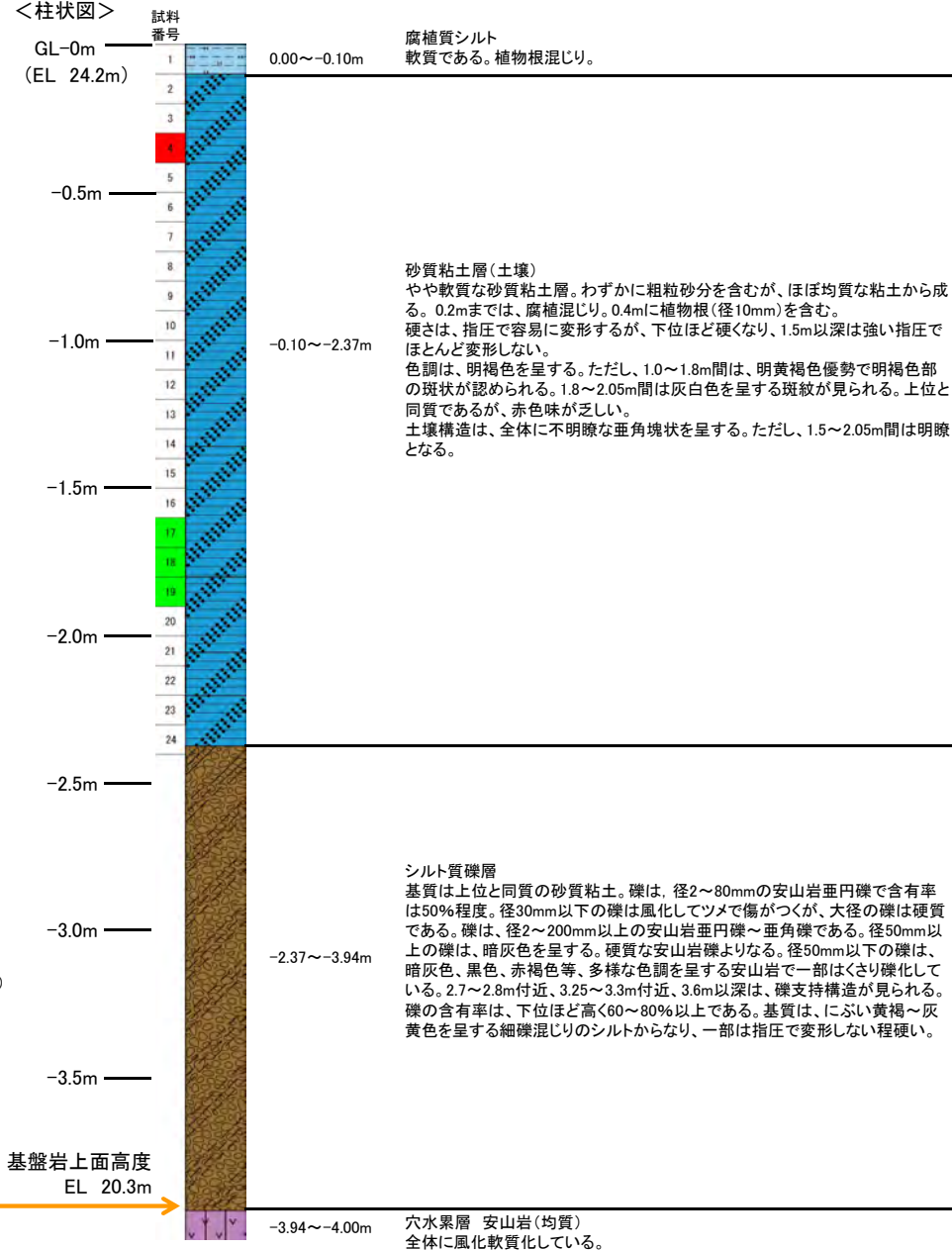
# ボーリング調査結果 (g)



位置図

- ボーリング箇所
- 中位段丘 I 面

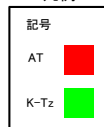
## <柱状図>



テフラの年代(町田・新井, 2003)

AT: 2.6万~2.9万年前  
K-Tz: 9.5万年前

凡例



コア写真(深度0~3m)

柱状図作成範囲

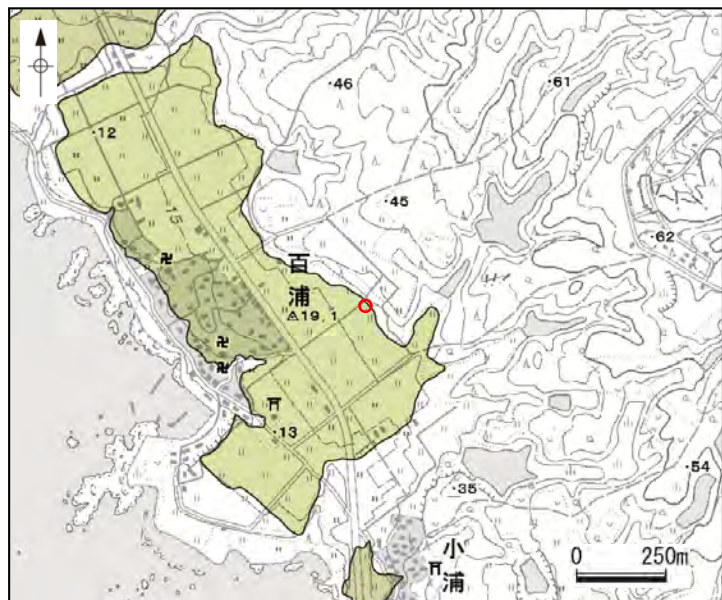
試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
			Opx	Chfs	Cum			1500	1510
1									
2									
3									
4	AT								
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17	K-Tz								
18									
19									
20									
21									
22									

火山灰分析結果

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約24.2mにおいて、ボーリング調査を実施。
- ・基盤岩上面には、シルト質礫層が分布し、上部を土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約20.3mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。



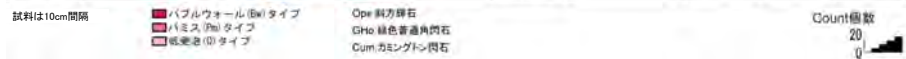
# 簡易ボーリング調査結果 (h)



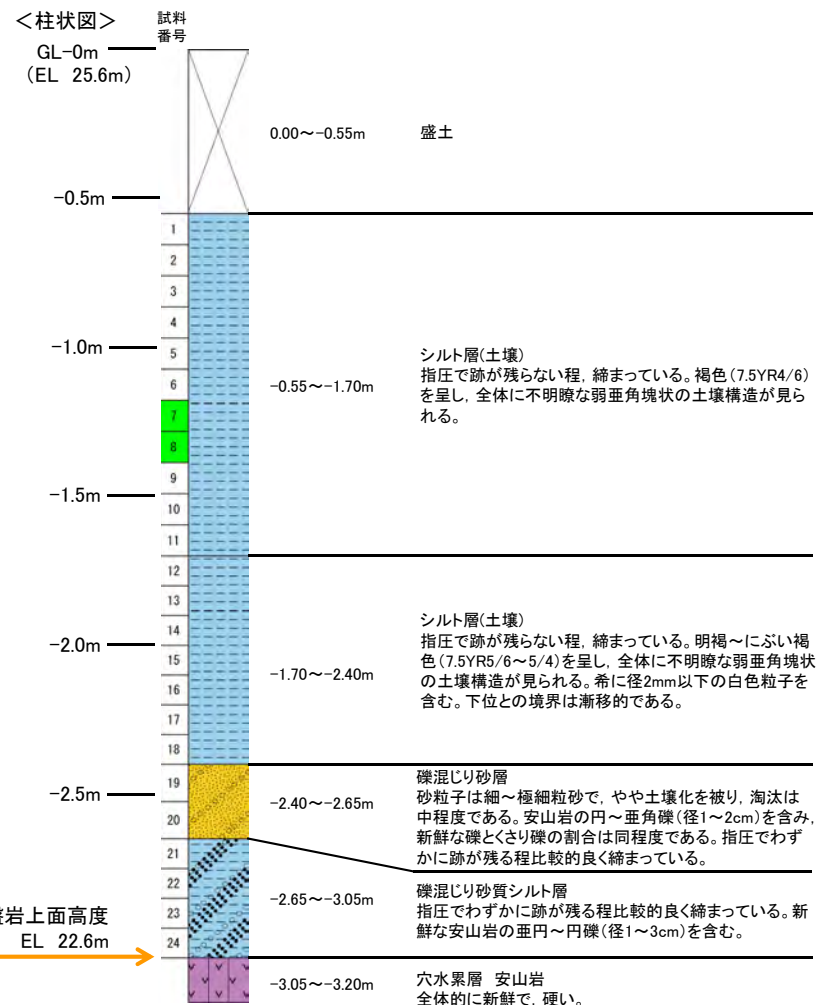
位置図

- 簡易ボーリング箇所
- 中位段丘 I 面

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	角閃石の屈折率 (n <sub>z</sub> )	
			Opx	GHo	Cum			1.690	1.700
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7	K-Tz								
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									



火山灰分析結果



基盤岩上面高度  
EL 22.6m

- テフラの年代 (町田・新井, 2003)
- K-Tz: 9.5万年前
  - 記号 K-Tz

- ・中位段丘 I 面の旧汀線付近の標高約25.6mにおいて、簡易ボーリング調査を実施。
- ・基盤岩上面には、礫混じり砂質シルト層、礫混じり砂層が分布し、上部を土壌等が被覆する。
- ・基盤岩上面高度は、標高約22.6mである。
- ・火山灰分析の結果、土壌中にK-Tzが認められる。